

五代伊勢宮VII・VIII遺跡

五代南部工業団地（拡張）土地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

2018.3

前橋市教育委員会

五代伊勢宮VII・VIII遺跡

五代南部工業団地（拡張）土地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

2018.3

前橋市教育委員会

口絵写真 1



五代伊勢宮VII遺跡北側調査区全景



五代伊勢宮VII遺跡南側調査区全景



五代伊勢宮跡遺跡全景

はじめに

関東平野の北西部に群馬県は位置し、前橋市はその中央、上毛三山のひとつ名峰赤城を背にし、利根川や広瀬川が市街地を貫流する、四季折々の風情に溢れる県都です。豊かな自然環境にも恵まれ、2万年前から人々が生活を始め、縄文時代の遺跡も、市内の随所に存在します。

古代において前橋台地は、広大な穀倉地帯を控え、前橋天神山古墳などの初期古墳をはじめ王山古墳・天川二子山古墳といった首長墓が連綿と築かれ、上毛野国の中核地として栄えました。また、律令時代になってからは總社・元總社地区に山王庵寺、国分僧寺、国分尼寺、国府など上野国の中核をなす施設が次々に造されました。

中世になると、戦国武将の長尾氏、上杉氏、武田氏、北条氏が鎧をけずった地として知られ、近世においては、譜代大名の酒井氏、松平氏が居城した関東三名城の一つに数えられ、「関東の華」とも呼ばれた厩橋城が築かれました。

やがて近代になると、生糸の一大生産地であったことから、横浜に至る街道は「日本のシルクロード」とも呼ばれ、横浜港からは前橋シルクの名で海外に輸出され、近代日本の発展の一翼を担いました。

今回、報告書を上梓する五代伊勢宮VII・VIII遺跡は、五代南部工業団地拡張事業に伴う発掘調査です。五代南部工業団地のある五代町は、赤城山南麓の自然に恵まれた地で、縄文時代をはじめ、様々な時代の痕跡が多く残る地域です。

今回の調査では、縄文時代から平安時代にかけての集落跡、古墳時代の方形周溝墓など多岐にわたる遺構が見つかりました。現状のままでの保存が困難なため、記録保存という形になりましたが、今後、地域の歴史・前橋の歴史を解明する上で、貴重な資料を得ることができました。

最後になりましたが、関係機関や各方面の多大なるご配慮・ご尽力により調査事業を円滑に進められことに厚くお礼申しあげます。

平成30年3月

前橋市教育委員会

教育長 塩崎政江

例　　言

1. 本報告書は、五代南部工業団地（拡張）土地区画整理事業に伴う五代伊勢宮VII・VIII遺跡発掘調査報告書である。
2. 調査は、前橋市の委託を受け、前橋市教育委員会の指導・監督のもと、有限会社毛野考古学研究所が実施した。
3. 発掘調査の要項は次のとおりである。

遺　跡　所　在　地：群馬県前橋市五代町 952-1 他

遺　跡　略　称：28 C 49（五代伊勢宮VII遺跡） 28 C 50（五代伊勢宮VIII遺跡）

発　掘　調　査　面　積：3,750 m²（五代伊勢宮VII遺跡） 3,600 m²（五代伊勢宮VIII遺跡）

発　掘　調　査　期　間：平成 28 年 7 月 15 日～平成 28 年 10 月 26 日（五代伊勢宮VII遺跡）

平成 29 年 2 月 13 日～平成 29 年 5 月 17 日（五代伊勢宮VIII遺跡）

整理・報告書作成期間：平成 29 年 5 月 22 日～平成 30 年 3 月 23 日

発　掘　・　整　理　担　当　者：日沖剛史・李スルチヨン・春里桃子（有限会社毛野考古学研究所）

4. 本遺跡に関わる遺構測量は、小出拓磨・石塚伸輝・亀田浩子（有限会社毛野考古学研究所）が担当した。

5. 本遺跡における空撮は、小出拓磨（有限会社毛野考古学研究所）が担当した。

6. 本書の編集は、日沖・春里（有限会社毛野考古学研究所）が行った。原稿執筆は、Iを小峰 篤（前橋市教育委員会）、II～Iを日沖、その他の春里が担当した。

7. 調査に関わる資料は、一括して前橋市教育委員会文化財保護課が保管している。

8. 発掘調査・整理作業に関わった方々は、下記のとおりである。（五十音順・敬称略）

【発掘調査】 天田眞由美 井口ヒロ子 石倉稔夫 碓井俊夫 岡庭秋男 岡村美弥子 亀田浩子 北野進二
小関泰洋 桜井豊 佐藤闇雄 鈴木正 曽山莉沙 竹中美保子 勅使川原幸枝 永井述史
中島勝由 萩原秀子 橋元裕児 馬場陽典 森山恵子 森山孝男

【整理作業】 井口ヒロ子 石原理久子 内田恵美子 岡庭秋男 小野沢絹子 亀田浩子 下條真美代

瀬尾則子 竹中美保子 萩戸玲子 橋元裕児 伴場りく 深谷道子 真下弘美 森山恵子

9. 発掘調査の実施から報告書刊行に至る間、以下の方々に御指導・御協力を賜った。記して感謝の意を表したい。（順不同・敬称略）

井上慎也 軽部達也 後藤佳一 鈴木徳雄 早田勉 中村岳彦 能登健 萩原俊樹 福田貴之 山口逸弘

凡　　例

1. 採図中の北方位は座標北を示し、座標値は日本測地系（国家座標第IX系）に基づいている。
2. 調査区に被せる方眼（グリッド）は、本遺跡地周辺の原点としているX = 46,200・Y = -64,700 を起点としてX 0・Y 0と名称を付し、4 mごとに西から東へX 0、X 1…、北から南へY 0、Y 1…と設定してある。
3. 等高線や断面図における水準値は、海拔標高を示す。
4. 遺構図の縮尺は、随時図中にスケールを付してある。
5. 採図中に使用されているトーンについては、随時図中に注釈を付してある。
6. 遺構埋没土等の色調観察は『新版 標準土色帖』（農林水産技術会議事務局 財団法人日本色彩研究所監修 2006）に従っている。
7. 遺構および遺構施設の略称は、次のとおりである。
H：古墳時代以降の堅穴住居跡　J：縄文時代の堅穴住居跡　C：方形周溝墓　D：古墳時代以降の土坑
J D：縄文時代の土坑　B：掘立柱建物跡　W：溝　S X：性格不明遺構　P：ビット
8. 本書ではテフラ（火山噴出物）の呼称として次の略号を用いた。
A s - A：浅間A軽石（天明3年：1783年）　A s - B：浅間B軽石（天仁元年：1108年）
H r - F P：榛名ニッ岳伊香保テフラ（6世紀中頃）　H r - F A：榛名ニッ岳渋川テフラ（6世紀初頭）
A s - C：浅間C軽石（3世紀後半）　A s - Y P：浅間板鼻黄色軽石（1.5～1.65年前）
A T：始良T n 火山灰（2.8～3万年前）
9. 遺物番号は遺構図・実測図・観察表・写真図版とともに共通である。
8. 本文中および表中の数値で（ ）内は推定値を示し、〔 〕内は残存値を示す。

目 次

口絵写真

はじめに

例言・凡例

目次・図版目次・表目次・写真図版目次

I 調査に至る経緯	1
II 遺跡の位置と環境	2
1 地理的環境	2
2 歴史的環境	3
III 調査方針と経過	8
1 調査の方針	8
2 調査の経過	9
IV 基本土層	10
V 遺構	11
1 遺跡の概要	11
2 住居跡	14
3 方形周溝墓	33
4 土坑	34
5 挖立柱建物跡	40
6 溝	41
7 性格不明遺構	42
8 ピット	43
9 遺構外出土遺物	52
VI まとめ	190
付編	193
抄録	
写真図版	
奥付	

図版目次

Fig. 1	五代伊勢宮VII・VIII遺跡調査区域図	1	Fig. 40	住居跡（35）	87
Fig. 2	五代伊勢宮VII・VIII遺跡位置図	2	Fig. 41	住居跡（36）	88
Fig. 3	周辺遺跡図	4	Fig. 42	住居跡（37）	89
Fig. 4	基本土層	10	Fig. 43	住居跡（38）	90
Fig. 5	五代伊勢宮VII・VIII遺跡全体図	12	Fig. 44	住居跡（39）	91
Fig. 6	住居跡（1）	53	Fig. 45	住居跡（40）	92
Fig. 7	住居跡（2）	54	Fig. 46	住居跡（41）	93
Fig. 8	住居跡（3）	55	Fig. 47	住居跡（42）	94
Fig. 9	住居跡（4）	56	Fig. 48	方形周溝墓（1）	95
Fig. 10	住居跡（5）	57	Fig. 49	方形周溝墓（2）	96
Fig. 11	住居跡（6）	58	Fig. 50	方形周溝墓（3）	97
Fig. 12	住居跡（7）	59	Fig. 51	土坑分布図（1）	98
Fig. 13	住居跡（8）	60	Fig. 52	土坑分布図（2）	99
Fig. 14	住居跡（9）	61	Fig. 53	土坑分布図（3）	100
Fig. 15	住居跡（10）	62	Fig. 54	土坑分布図（4）	101
Fig. 16	住居跡（11）	63	Fig. 55	土坑分布図（5）	102
Fig. 17	住居跡（12）	64	Fig. 56	土坑分布図（6）	103
Fig. 18	住居跡（13）	65	Fig. 57	土坑分布図（7）	104
Fig. 19	住居跡（14）	66	Fig. 58	土坑分布図（8）	105
Fig. 20	住居跡（15）	67	Fig. 59	土坑分布図（9）	106
Fig. 21	住居跡（16）	68	Fig. 60	土坑（1）	107
Fig. 22	住居跡（17）	69	Fig. 61	土坑（2）	108
Fig. 23	住居跡（18）	70	Fig. 62	土坑（3）	109
Fig. 24	住居跡（19）	71	Fig. 63	土坑（4）	110
Fig. 25	住居跡（20）	72	Fig. 64	土坑（5）	111
Fig. 26	住居跡（21）	73	Fig. 65	土坑（6）	112
Fig. 27	住居跡（22）	74	Fig. 66	土坑（7）	113
Fig. 28	住居跡（23）	75	Fig. 67	土坑（8）	114
Fig. 29	住居跡（24）	76	Fig. 68	土坑（9）	115
Fig. 30	住居跡（25）	77	Fig. 69	土坑（10）	116
Fig. 31	住居跡（26）	78	Fig. 70	土坑（11）	117
Fig. 32	住居跡（27）	79	Fig. 71	土坑（12）	118
Fig. 33	住居跡（28）	80	Fig. 72	土坑（13）	119
Fig. 34	住居跡（29）	81	Fig. 73	土坑（14）	120
Fig. 35	住居跡（30）	82	Fig. 74	土坑（15）	121
Fig. 36	住居跡（31）	83	Fig. 75	土坑（16）	122
Fig. 37	住居跡（32）	84	Fig. 76	土坑（17）	123
Fig. 38	住居跡（33）	85	Fig. 77	土坑（18）	124
Fig. 39	住居跡（34）	86	Fig. 78	土坑（19）	125

Fig. 79 土坑 (20)	126	Fig. 104 遺物実測図 (3).....	151
Fig. 80 土坑 (21)	127	Fig. 105 遺物実測図 (4).....	152
Fig. 81 土坑 (22)	128	Fig. 106 遺物実測図 (5).....	153
Fig. 82 土坑 (23)	129	Fig. 107 遺物実測図 (6).....	154
Fig. 83 土坑 (24)	130	Fig. 108 遺物実測図 (7).....	155
Fig. 84 土坑 (25)	131	Fig. 109 遺物実測図 (8).....	156
Fig. 85 土坑 (26)	132	Fig. 110 遺物実測図 (9).....	157
Fig. 86 挖立柱建物跡 (1)	133	Fig. 111 遺物実測図 (10).....	158
Fig. 87 挖立柱建物跡 (2)	134	Fig. 112 遺物実測図 (11).....	159
Fig. 88 挖立柱建物跡 (3)・溝 (1)	135	Fig. 113 遺物実測図 (12).....	160
Fig. 89 溝 (2)	136	Fig. 114 遺物実測図 (13).....	161
Fig. 90 溝 (3)	137	Fig. 115 遺物実測図 (14).....	162
Fig. 91 溝 (4)・性格不明遺構 (1)	138	Fig. 116 遺物実測図 (15).....	163
Fig. 92 性格不明遺構 (2)	139	Fig. 117 遺物実測図 (16).....	164
Fig. 93 ピット分布図 (1)	140	Fig. 118 遺物実測図 (17).....	165
Fig. 94 ピット分布図 (2)	141	Fig. 119 遺物実測図 (18).....	166
Fig. 95 ピット分布図 (3)	142	Fig. 120 遺物実測図 (19).....	167
Fig. 96 ピット分布図 (4)	143	Fig. 121 遺物実測図 (20).....	168
Fig. 97 ピット分布図 (5)	144	Fig. 122 遺物実測図 (21).....	169
Fig. 98 ピット分布図 (6)	145	Fig. 123 遺物実測図 (22).....	170
Fig. 99 ピット分布図 (7)	146	Fig. 124 遺物実測図 (23).....	171
Fig. 100 ピット分布図 (8)	147	Fig. 125 遺物実測図 (24).....	172
Fig. 101 ピット分布図 (9)	148	Fig. 126 A s - B 混土が埋没土に含まれる堅穴 住居跡の系統と変遷	191
Fig. 102 遺物実測図 (1)	149	Fig. 127 堅穴状遺構の類例	192
Fig. 103 遺物実測図 (2)	150		

表目次

Tab. 1 周辺遺跡一覧表 (1)	6	Tab. 14 ピット一覧表 (5)	48
Tab. 2 周辺遺跡一覧表 (2)	7	Tab. 15 ピット一覧表 (6)	49
Tab. 3 参考文献一覧表	8	Tab. 16 ピット一覧表 (7)	50
Tab. 4 土坑一覧表 (1)	35	Tab. 17 ピット一覧表 (8)	51
Tab. 5 土坑一覧表 (2)	36	Tab. 18 ピット一覧表 (9)	52
Tab. 6 土坑一覧表 (3)	37	Tab. 19 出土遺物観察表 (1)	173
Tab. 7 土坑一覧表 (4)	38	Tab. 20 出土遺物観察表 (2)	174
Tab. 8 土坑一覧表 (5)	39	Tab. 21 出土遺物観察表 (3)	175
Tab. 9 土坑一覧表 (6)	40	Tab. 22 出土遺物観察表 (4)	176
Tab. 10 ピット一覧表 (1)	44	Tab. 23 出土遺物観察表 (5)	177
Tab. 11 ピット一覧表 (2)	45	Tab. 24 出土遺物観察表 (6)	178
Tab. 12 ピット一覧表 (3)	46	Tab. 25 出土遺物観察表 (7)	179
Tab. 13 ピット一覧表 (4)	47	Tab. 26 出土遺物観察表 (8)	180

Tab. 27	出土遺物観察表（9）	181	Tab. 32	出土遺物観察表（14）	186
Tab. 28	出土遺物観察表（10）	182	Tab. 33	出土遺物観察表（15）	187
Tab. 29	出土遺物観察表（11）	183	Tab. 34	出土遺物観察表（16）	188
Tab. 30	出土遺物観察表（12）	184	Tab. 35	出土遺物観察表（17）	189
Tab. 31	出土遺物観察表（13）	185	Tab. 36	出土遺物観察表（18）	190

写真図版目次

P L . 1	H-5号住居跡遺物出土状況
五代伊勢宮VII遺跡南半全景	H-5号住居跡全景
五代伊勢宮VII遺跡南半全景	H-5号住居跡層断面
P L . 2	H-5号住居跡炉跡全景
五代伊勢宮VII遺跡南半全景	H-6号住居跡全景
五代伊勢宮VII遺跡北半全景	H-6号住居跡炉跡全景
P L . 3	P L . 8
五代伊勢宮VII遺跡全景	H-7号住居跡全景
五代伊勢宮VII遺跡全景	H-7号住居跡粘土出土状況
P L . 4	H-7号住居跡炭化物・炭化物出土状況
五代伊勢宮VII遺跡全景	H-7号住居跡炭化物・灰出土状況
H-1号住居跡全景	H-8号住居跡全景
H-1号住居跡遺物出土状況	H-8号住居跡カマド全景
H-1号住居跡カマド全景	H-8号住居跡カマド土層断面
H-2号住居跡全景	H-9号住居跡全景
P L . 5	P L . 9
H-2号住居跡遺物出土状況	H-9号住居跡P3礫出土状況
H-2号住居跡カマド全景	H-10号住居跡全景
H-3号住居跡全景	H-11号住居跡全景
H-4a号住居跡遺物出土状況	H-11号住居跡カマド全景
H-4a号住居跡層断面	H-12号住居跡全景
H-4a号住居跡遺物出土状況	H-12号住居跡カマド全景
H-4a号住居跡遺物出土状況	H-13号住居跡全景
H-4a号住居跡遺物出土状況	H-14号住居跡全景
P L . 6	P L . 10
H-4a号住居跡遺物出土状況	H-14号住居跡カマド全景
H-4a号住居跡全景	H-14号住居跡カマド遺物出土状況
H-4a号住居跡炉跡全景	H-14号住居跡遺物出土状況
H-4b号住居跡全景	H-15号住居跡全景
H-4b号住居跡遺物出土状況	H-15号住居跡P1礫出土状況
H-5号住居跡全景	H-16号住居跡全景
H-5号住居跡遺物出土状況	H-16号住居跡遺物出土状況
H-5号住居跡遺物出土状況	H-16号住居跡カマド遺物出土状況
P L . 7	P L . 11
H-5号住居跡遺物出土状況	H-16号住居跡カマド全景
	H-17号住居跡全景

- H- 17 号住居跡遺物出土状況
H- 17 号住居跡新カマド全景
H- 17 号住居跡旧カマド全景
H- 17 号住居跡旧カマド煙道近景
H- 18 号住居跡全景
H- 18 号住居跡カマド全景
- P L. 12**
- H- 19 号住居跡全景
H- 19 号住居跡遺物出土状況
H- 19 号住居跡カマド全景
H- 20 号住居跡全景
H- 21 号住居跡全景
H- 22 号住居跡全景
H- 22 号住居跡遺物出土状況
H- 22 号住居跡遺物出土状況
- P L. 13**
- H- 22 号住居跡カマド全景
H- 22 号住居跡カマド遺物出土状況
H- 23 号住居跡全景
H- 23 号住居跡遺物出土状況
H- 23 号住居跡遺物出土状況
H- 23 号住居跡遺物出土状況
H- 24 号住居跡全景
H- 24 号住居跡遺物出土状況
- P L. 14**
- H- 24 号住居跡遺物出土状況
H- 24 号住居跡遺物出土状況
H- 24 号住居跡新カマド全景
H- 24 号住居跡旧カマド全景
H- 25 号住居跡全景
H- 25 号住居跡遺物出土状況
H- 25 号住居跡カマド全景
H- 26 号住居跡全景
- P L. 15**
- H- 26 号住居跡遺物出土状況
H- 26 号住居跡遺物出土状況
H- 26 号住居跡カマド全景
H- 27 号住居跡全景
H- 27 号住居跡炉跡全景
H- 28 号住居跡全景
H- 29 号住居跡全景
H- 29 号住居跡遺物出土状況
- P L. 16**
- H- 29 号住居跡 P 1 柱痕アタリ検出状況
- H- 29 号住居跡貯蔵穴・柱穴検出状況
H- 29 号住居跡柱穴 (P 4) 内遺物出土状況
H- 29 号住居跡 P 4 柱痕確認状況
H- 29 号住居跡柱穴 (P 4) 内遺物取り上げ状況
H- 30 号住居跡全景
H- 30 号住居跡遺物出土状況
H- 30 号住居跡カマド全景
- P L. 17**
- H- 31 号住居跡全景
H- 32 号住居跡全景
H- 33 号住居跡全景
J- 1 号住居跡全景
J- 1 号住居跡遺物出土状況
J- 1 号住居跡遺物出土状況
J- 1 号住居跡遺物出土状況
- P L. 18**
- J- 2 号住居跡全景
J- 2 号住居跡遺物出土状況
J- 2 号住居跡遺物出土状況
J- 2 号住居跡炉跡全景
J- 3 号住居跡全景
J- 3 号住居跡全景
C- 1 号方形周溝墓全景
C- 1 号方形周溝墓遺物出土状況
- P L. 19**
- C- 1 号方形周溝墓全景
C- 1 号方形周溝墓遺物出土状況
C- 2 号方形周溝墓全景
C- 2 号方形周溝墓全景
C- 2 号方形周溝墓遺物出土状況
C- 3 号方形周溝墓全景
D- 1 号土坑全景
D- 1 号土坑遺物出土状況
- P L. 20**
- D- 10 号土坑土層断面
D- 10 号土坑 A s - C 堆積状況
D- 10 号土坑全景
D- 13 号土坑土層断面
D- 13 号土坑全景
D- 17 号土坑土層断面
D- 17 号土坑全景
D- 38 号土坑全景

P L. 21	P L. 28
D - 38 号土坑土层断面	出土遗物④
D - 38 号土坑遗物出土状况	
D - 39 号土坑全景	P L. 29
D - 39 号土坑土层断面	出土遗物⑤
D - 46 号土坑土层断面	
D - 46 号土坑全景	P L. 30
D - 50 号土坑全景	出土遗物⑥
D - 50 号土坑遗物出土状况	
P L. 22	P L. 31
J D - 33 号土坑全景	出土遗物⑦
J D - 33 号土坑遗物出土状况	
J D - 33 号土坑遗物出土状况	P L. 32
J D - 62 号土坑遗物出土状况	出土遗物⑧
J D - 81 号土坑全景	
J D - 81 号土坑遗物出土状况	P L. 33
J D - 81 号土坑遗物出土状况	出土遗物⑨
J D - 81 号土坑遗物出土状况	
J D - 84 号土坑遗物出土状况	P L. 34
	出土遗物⑩
P L. 23	
J D - 98 号土坑遗物出土状况	P L. 35
B - 1 号掘立柱建物跡全景	出土遗物⑪
B - 1 号掘立柱建物跡全景	
B - 1 号掘立柱建物跡 D - 3 号土坑土层断面	P L. 36
B - 1 号掘立柱建物跡 D - 7 号土坑全景	出土遗物⑫
B - 2 号掘立柱建物跡全景	
B - 3 号掘立柱建物跡全景	P L. 37
W - 1 号溝全景	出土遗物⑬
P L. 24	P L. 38
W - 1 号溝全景	出土遗物⑭
W - 4 号溝全景	
W - 5 号溝全景	P L. 39
W - 6 号溝全景	出土遗物⑮
S X - 1 号性格不明遗構全景	
S X - 2 号性格不明遗構全景	P L. 40
S X - 3 号性格不明遗構全景	出土遗物⑯
S X - 4 号性格不明遗構全景	
P L. 25	P L. 41
出土遗物⑰	出土遗物⑰
P L. 26	P L. 42
出土遗物⑱	出土遗物⑲
P L. 27	
出土遗物⑳	

I 調査に至る経緯

五代南部工業団地（拡張）に伴う土地区画整理事業にあたり、平成28年度に発掘調査を実施した「五代伊勢宮VII遺跡」の南隣接地について、平成28年11月9日付けで試掘調査依頼が前橋市長 山本 龍（区画整理課）（以下「前橋市」という。）より提出された。これを受け、前橋市教育委員会（以下「市教委」という。）では、同年12月21日～22日に試掘調査を実施した。調査の結果、縄文時代から平安時代にかけての集落跡、古墳時代の方形周溝墓など多くの遺構を検出した。

当該事業における工事計画と試掘調査結果を照らし合わせると、遺構の現状保存は困難なものと判断し、埋蔵文化財の取り扱いについて前橋市と協議を行なった。しかしながら、工事計画の変更は困難であることから、記録保存を目的とした発掘調査を実施することで、前橋市と市教委は合意に至った。

平成29年1月6日付けで前橋市より、埋蔵文化財発掘調査・整理業務に係る依頼が、市教委に提出された。市教委直営による発掘調査は、他事業で実施中でありますと判断し、民間調査組織へ発掘調査・整理業務委託することで依頼者である前橋市と合意に至った。業務実施にあたっては市教委の作成する仕様書に則り、市教委による監理・指導のもと発掘調査・整理業務を実施することとなった。平成29年1月27日付けで前橋市と民間調査組織である有限会社毛野考古学研究所との間で業務委託契約が締結され発掘調査に着手した。遺跡名称「五代伊勢宮VII遺跡」（遺跡コード：28C50）で、「五代」は町名、「伊勢宮」は旧小字名を採用した。ローマ数字については、過去に実施した発掘調査を区別するため付番したものである。

なお、当該発掘調査・整理業務には、前述した「五代伊勢宮VII遺跡」の発掘調査・整理業務に加え、平成28年度に発掘調査実施済みの「五代伊勢宮VII遺跡」の整理業務が含まれる。本発掘調査報告書は、「五代伊勢宮VII遺跡」と「五代伊勢宮VII遺跡」の2遺跡調査成果をまとめたものである。

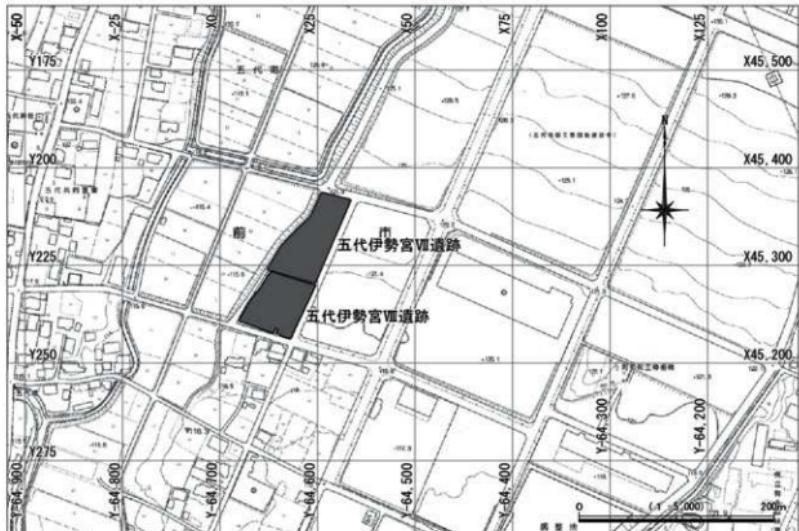


Fig. 1 五代伊勢宮VII・VIII遺跡調査区域図（前橋市役所発行『前橋市現形図』1/2,500を50%縮小）

II 遺跡の位置と環境

1 地理的環境

五代伊勢宮^{VII}・^{VIII}跡は、前橋市の中心部から北東へ約5kmにある五代南部工業団地内に位置する。この五代南部工業団地の北端は、一般国道17号（上武道路）に接しており、近年において本地域は流通の拠点としても注目を集めている。本工業団地から周囲を概観すると北には雄大な裾野を持つ赤城山、北西に榛名山・小野子山・子持山、西に浅間山・妙義山、南に前橋台地（関東平野）、東に大間々扇状地・足尾山地を眺望することができる。なお、本跡はこれら景観のうち、赤城山南麓の末端付近に立地することになる。

赤城山は複式成層火山で、裾野は火山麓扇状地・岩なだれ堆積面・火碎流堆積面から形成されており、そこの中腹付近に源を持つ藤沢川・薬師川・寺沢川などの小河川が放射状に流路を取る。そして小河川は、幾重もの谷底平野を作り出している。本遺跡辺は、山裾を形成する地形のうち火山麓扇状地・火碎流堆積面・谷底平野で構成されており、概ね南流する藤沢川を境として西側が約2万年前に形成された赤城白川の扇状地、東側が7.5万年前に形成された大胡火碎流堆積面とされている。なお、谷底平野はこれら赤城白川の扇状地・大胡火碎流堆積面が小河川により浸食されたことにより形成されたものである。さらに、南へ目を向けると山麓を南流する小河川を集める桃ノ木川が南東流しており、两岸に広瀬川低地帯を発達させている。この低地帯は幅1km程の間隔を保っており、これより南は約2万年前の前橋泥流堆積物で形成された前橋台地（関東平野）へと地形区分が変わるとされている。

これら様々な地形的な様相が見られる中で、本遺跡は大胡火砕流堆積面の台地上に立地していることになる。河川による浸食を逃れた舌状に延びる台地上では、縄文時代の集落が数多く確認されているが、古墳時代から奈良・平安時代の集落も多い。現時点において舌状台地上での調査は多く行われているが、谷底平野の調査は少ない状況と言える。

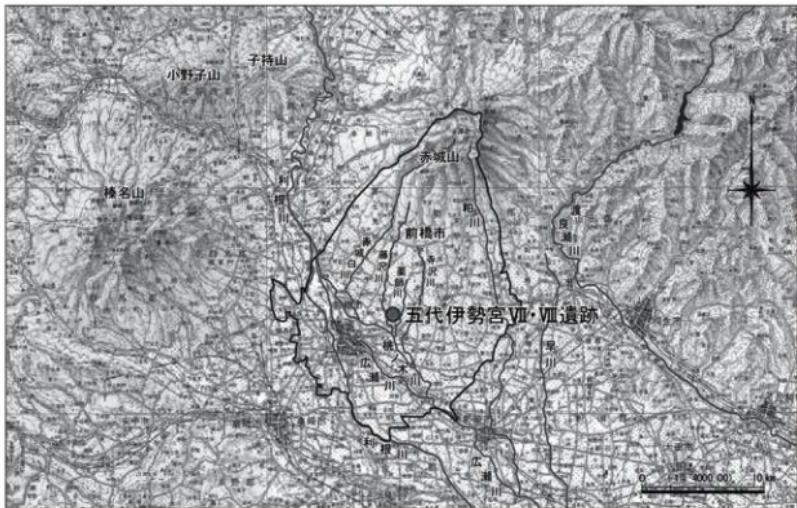


Fig. 2 五代伊勢宮VII・VIII遺跡位置図(国土地理院発行『宇都宮』・『長野』1/200,000を50%縮小)

2 歴史的環境

本遺跡は地形区分上、赤城山南麓南西側の大胡火砕流堆積面に位置する。本遺跡周辺周辺を概観すると、大胡火砕流堆積面が小河川に浸食されることで形成された舌状台地が無数に広がり、この台地上に旧石器時代～中近世に至るまでの遺跡が多数存在する。本遺跡が立地する藤沢川支流の右岸では、五代南部工業団地遺跡群の発掘調査が平成12年度から断続的に行われており、舌状台地に分布する遺跡の様相が明らかになってきている。以下、周辺遺跡の概要に関して時期ごとに記す。

【旧石器時代】

赤城山南麓では、岩宿遺跡をはじめとする旧石器時代の遺跡が数多く確認されている。当該期の遺跡は赤城山南東側に広がる扇状地形（大間々扇状地）に多く分布する傾向があるが、赤城山南西側の大胡火砕流堆積面にあたる本遺跡周辺でも五代砂留遺跡（27）、上泉武田遺跡（30）、上泉唐ノ掘遺跡（32）、鳥取福藏寺Ⅱ遺跡（47）、芳賀東部工業団地遺跡（48）など複数の遺跡が存在する。これらの石器群は、A s - Y P層（約1.5～1.65万年前）下からAT層（約2.8～3.0万年）下暗色帯までの層位で検出されており、本遺跡周辺は古くから人々の生活圏であったと理解される。五代南部工業団地遺跡群内では旧石器時代の遺跡は確認されていないものの、赤城山南麓における当該期遺跡の分布域として捉えることが可能である。

【縄文時代】

縄文時代草創期～早期は調査例が少ないが、堤遺跡（65）で草創期に帰属する石器ブロックが検出されている。また、本遺跡でも草創期に比定される尖頭器が少量確認されている。前期～中期の遺跡は、大胡火砕流堆積面上の舌状台地縁辺と白川扇状地に広く点在するのに対し、後期の遺跡は、分布数が減少する傾向にある。前期～後期で集落城の継続性が認められるものは、大胡火砕流堆積面と白川扇状地の境界付近に立地する芳賀東部工業団地遺跡（48）、芳賀北部工業団地遺跡（49）、九料遺跡（58）、鳥取福藏寺遺跡（46）など少数である。後期に関しては、称名寺式・堀之内式・加曾利B式期などの初頭から中葉の時期が顕著であり、芳賀東部工業団地遺跡（48）、堤遺跡（65）などで中期末葉加曾利E IV式期から後期前半に帰属する柄鏡形敷石住居が検出されている。一方、五代南部工業団地遺跡群の状況を概観すると、前期の堅穴住居跡が谷沿いに点在するのに対し、中期になると軒数が増加し、台地上にまとまって確認されるようになる。中期の集落は、中葉の阿玉台式・勝坂式期と後葉の加曾利E式期とで占地が異なる傾向にある。前者は五代伊勢宮IV遺跡（6）と五代伊勢宮VI遺跡（8）、五代深堀I遺跡No. 2遺跡（15）が挙げられ、これらの住居跡は、弧状に分布し、内側に土坑群やピット群が位置することから、環状集落である可能性が指摘されている。後者は、前述した阿玉台式・加曾利式期住居跡の分布圏とは重複せず、その北側と南側に分布が広がる。また、中期の状況として特筆されるのが、五代深堀I遺跡No. 2（15）で搬入品とみられる北陸系浅鉢（中期中葉に帰属）が出土した点である。これまで群馬県内で報告されている北陸系浅鉢の出土例は、いずれも糸魚川以東の地域を中心に分布するものであり、同遺跡のように糸魚川以西の特徴を持つ土器が県内に搬入された例は確認されていない。後期になると、本遺跡が位置する舌状台地で確認された住居跡は五代砂留遺跡群の1軒のみであり、台地上における中期から後期への継続性は認められない。

【弥生時代】

弥生時代の遺跡は、発見数に乏しく具体的な様相は明らかでない。しかしながら、本遺跡において埋没土上位にA s - C（浅間C輕石：3世紀末降下）一次堆積層が確認できた土坑が5基検出されていることから、これらの土坑と同時期にあたる集落が近隣に存在する可能性を暗示できるものである。なお、白川扇状地上に立地する倉本遺跡（56）、湯気遺跡（59）、小神明勝沢境遺跡（69）では、当該期の住居跡が確認され、弥生時代後期の樽式土器が出土している。

【古墳時代】

古墳時代前期の遺跡は大胡火砕流堆積面の台地縁辺に点在する。当該期の小規模集落が本遺跡・五代江戸屋敷遺跡（2）で確認されているのに対し、芳賀東部工業団地遺跡（48）の東側台地及び（同遺跡と隣接する）五代中原Ⅱ・Ⅲ遺跡（25・26）では、前期から中期の住居跡が計100軒以上検出されている。墓域としては、方形周溝墓が検出されている本遺跡・五代江戸屋敷遺跡（2）や端氣遺跡群Ⅰ（63）が挙げられる。五代江戸屋敷遺跡は、本遺跡東側に隣接しており同一遺跡として捉えられるが、検出された住居跡や方形周溝墓の状況を踏まえる

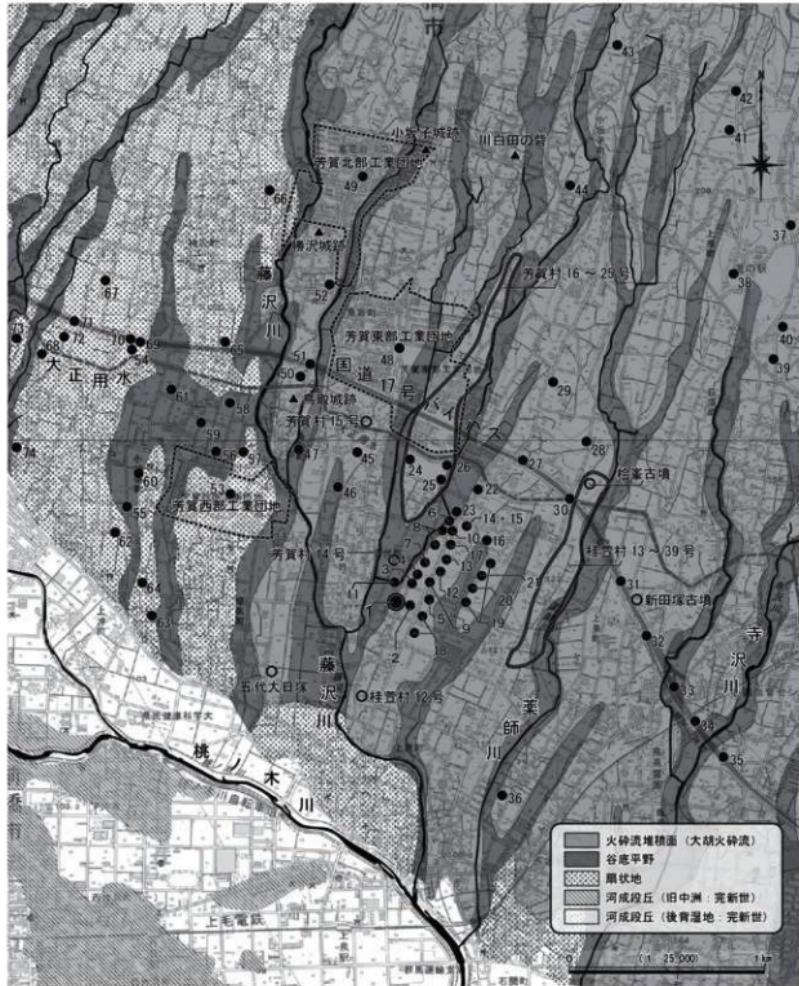


Fig. 3 周辺遺跡図（国土地理院発行『前橋』・『大胡』・『鼻毛石』・『渋川』1/25,000に加筆）

と、集落域と墓域が近接する点が注目される。中期になると白川扇状地東端まで集落域の占地が広がり、九料遺跡（58）や東田之口遺跡（71）がこれにあたる。なお、本遺跡が立地する台地上で当該期の集落は確認されていない。中期の墓域としては九料遺跡南側の台地上に位置する芳賀西部工業団地遺跡（53）が挙げられ、5世紀後半から6世紀初頭の古墳が31基検出されている。後期の遺跡は、大胡火砕流堆積面の台地上と白川扇状地で広く確認される。検出された住居跡の軒数は、前期～中期と比較して明らかに増加し、本遺跡が位置する台地上に積極的にも集落域が展開してくる。芳賀東部工業団地遺跡は古墳時代前期～後期に帰属する住居跡が多数検出され、当該期における大集落として把握される。同遺跡が位置する舌状台地は東側と西側に大別されており、後期になると東側台地から西側台地に集落域が移動する状況も認められる。さらに、それまで中期の集落域であった東側台地には後期古墳と考えられる芳賀団地遺跡古墳群（48）や芳賀村16～25号古墳（78）が分布しており、集落域から墓域への変遷が想定される。このほか後期古墳の状況をみると、桧峯古墳（79）や新田塚古墳（80）、五代大日塚古墳（75）などが台地上に分布し、集落域と墓域が近接する状況が捉えられる。また、台地周辺における生産域の具体的な様相は把握されていないものの、谷底平野付近に位置する五代東田遺跡（11）や龜泉西久保II遺跡（34）でHr - FA降下前後の水田跡が存在する可能性が指摘されている。

【奈良・平安時代】

奈良・平安時代の集落域は、大胡火砕流堆積面の台地上と白川扇状地で広く確認される。それまで集落域がみられなかった地域に新たに展開するものがある中、古墳時代後期からの継続性が認められるものも多い。本遺跡周辺では、芳賀東部工業団地遺跡（48）400軒以上の住居跡と200軒以上の掘立柱建物跡が検出されたほか、五代南部工業団地遺跡群でも計340軒程の住居跡が確認されている。さらに、本遺跡と同じ台地上に位置する桧峯遺跡（28）では、住居跡より奈良三彩の小壺が出土しており、台地上における大規模な集落の広がりが想定される。また、調査例は少ないものの、五代東田遺跡（11）、萩庭南田遺跡（33）、龜泉西久保II遺跡（34）、龜泉坂上遺跡（35）で、棚田状を呈する水田跡が確認されており、古墳時代同様に谷底平野を利用した水田開発の状況が把握される。さらに、五代伊勢宮VI遺跡（8）、五代深堀I遺跡No.2（15）、五代木福III遺跡（20）、五代砂留遺跡群（27）、芳賀東部工業団地遺跡（48）、芳賀北部工業団地遺跡（49）などで当該期の鍛冶・製鉄関連遺構が確認されており、遅くとも9世紀には生産が開始したとみられる。

【中世（As - B降下以降）】

中世以降になると基本的に堅穴住居跡はみられなくなるため、本遺跡周辺における集落域の状況は必ずしも明らかでない。これに関して、本遺跡ではAs - B混土で埋没した平安時代末～中世に帰属する住居跡が7軒確認されており、堅穴住居跡から堅穴状遺構へと変遷する過程の状況として捉えられる可能性がある。また、戦国期の城郭や館跡が出現し、本遺跡周辺では鳥取城跡、勝沢城跡、小坂子城跡、川白田の砦などが挙げられる。発掘調査事例としては、端気遺跡群I・II遺跡（63・64）で薬研堀の環濠と石敷遺構が検出されたほか、小神明遺跡群（54）でも薬研堀の環濠が検出されており、当該期に帰属する可能性がある。さらに、上泉唐ノ堀遺跡（32）ではAs - B降下後に掘削された堀が確認され、伝承や地名として残る「カラノボリ」であるとみられる。生産遺跡としては、五代東田遺跡（11）でAs - B混水田跡が検出されており、古墳時代以降継続して谷底平野の利用が認められる。

※As - YP（浅間板鼻黄色軽石）及びAT（姶良Tn火山灰）の降下年代は、本書「付録」表2で火山灰考古学研究所が示した年代に基づくものとする。

番号	道路名	時代						道路の概要		文献
		前石器	縄文	弥生	古墳	秦・漢	唐・宋	中世		
1	五代伊勢宮跡・諱道跡		●		●	●	●	○△	本道跡〔縄文〕前・中期住居跡3。ピット群〔古墳〕方形周溝墓3。前・後期住居跡22、掘立柱建物跡3〔奈良・平安〕住居跡2・〔中世〕住居跡7。地下式坑、礫〔その他〕時期不明住居跡3。	本道跡
2	五代伊戸原遺跡			●	●	●	○△	○	〔古墳〕方形周溝墓2。前・後期住居跡42〔奈良・平安〕住居跡12・掘立柱建物跡1。〔中世〕	1
3	五代伊勢宮I遺跡			●	●	●	○△	○	〔古墳〕後期住居跡2。〔奈良・平安〕住居跡4。〔中世〕礫	2
4	五代伊勢宮II遺跡			●	●	●	○△	○	〔古墳〕前・中期住居跡7〔古墳〕中・後期住居跡11〔奈良・平安〕住居跡6。掘立柱建物跡3〔中世〕礫	3
5	五代伊勢宮III遺跡		○		●	●	○△	○	〔古墳〕土坑〔奈良・平安〕住居跡3〔中世〕地下式坑〔その他〕掘立柱建物跡。整穴状遺跡	4
6	五代伊勢宮IV遺跡		●○		●	●	○△	○	〔古墳〕中期住居跡3。土坑群〔奈良・平安〕住居跡1〔中世〕土坑、道路跡	4
7	五代伊勢宮V遺跡		●		●○	●○	○△	○	〔古墳〕前・中期住居跡12〔古墳〕後期住居跡22。小石擣1〔奈良・平安〕住居跡30、礫住居跡跡6。〔中世〕礫	5
8	六代伊勢宮VI遺跡		●		●	●	○△	○	〔古墳〕中期住居跡22。土坑群〔古墳〕後期住居跡13〔奈良・平安〕住居跡10、網治開港道遺跡〔中世〕礫〔その他〕掘立柱建物跡。整穴状遺跡	6
9	五代伊勢宮遺跡・(1)		●		●	●	○△	○	〔古墳〕中期住居跡3。土坑〔古墳〕後期住居跡9〔奈良・平安〕住居跡12、掘立柱建物跡2。〔中世〕礫〔その他〕整穴状遺跡	7
10	五代伊勢宮遺跡・(2)		○		●	●	○△	○	〔古墳〕土坑〔奈良・平安〕〔中世〕道路状遺跡1〔その他〕掘立柱建物跡	8
11	六代栗原遺跡		●	●	●○	●○	○△	○	〔古墳〕H-r-F-A×B水田跡。不明道路〔奈良・平安〕A×B下式水田跡。用水路〔中世〕A×A普通水田跡。〔中世〕	9
12	六代竹花道路		●		●	●	○△	○	〔古墳〕中期住居跡2・〔古墳〕後期住居跡7〔奈良・平安〕住居跡16〔中世〕礫、等	2
13	五代竹花II遺跡		●		●	●	○△	○	〔古墳〕中期住居跡10。土坑〔古墳〕後期住居跡2〔奈良・平安〕住居跡17、掘立柱建物跡〔中世〕住居跡。地下式坑、道路状遺跡〔心地〕整穴状遺跡	10
14	六代深澤I遺跡		●		●	●	○△	○	〔古墳〕中期住居跡1。土坑〔奈良・平安〕住居跡2・〔中世〕土坑〔その他〕掘立柱建物跡	11
15	六代深澤II遺跡・N		●		●	●	○△	○	〔古墳〕中期住居跡5。土坑群〔奈良・平安〕住居跡6。〔中世〕礫〔その他〕掘立柱建物跡1、道路状遺跡、土坑	12
16	六代深澤II遺跡		●		●	●	○△	○	〔古墳〕中期住居跡1〔古墳〕後期住居跡3〔奈良・平安〕住居跡6〔中世〕礫	4
17	五代深澤III遺跡		●○		●	●	○△	○	〔古墳〕中期住居跡3。土坑〔奈良・平安〕住居跡29、掘立柱建物跡5等	13
18	五代木場I遺跡		●		●	●	○△	○	〔古墳〕前期住居跡1〔古墳〕後期住居跡31〔奈良・平安〕住居跡19〔中世〕礫、地下水式坑	2
19	五代木場II遺跡		○		●	●	○△	○	〔古墳〕配石遺跡〔古墳〕後期住居跡64〔奈良・平安〕住居跡111〔中世〕地下水式坑〔その他〕時期不明住居跡21、礫、土坑、掘立柱建物跡16	11
20	五代木場III遺跡		●		●	●	○△	○	〔古墳〕後期住居跡3、〔奈良・平安〕住居跡22、掘立柱建物跡、網治開港道遺跡1〔中世〕礫、地下水式坑、道路状遺跡〔心地〕整穴状遺跡	10
21	五代木場IV遺跡		●		●	●	○△	○	〔古墳〕後期住居跡1〔奈良・平安〕住居跡17、掘立柱建物跡5。地下水式坑〔中世〕礫	13
22	六代山街道I遺跡		●		●	●	○△	○	〔古墳〕中期住居跡9〔古墳〕後期住居跡1〔奈良・平安〕住居跡2、掘立柱建物跡1	14
23	六代山街道II遺跡		○		●	●	○△	○	〔古墳〕土坑〔その他〕時期不明遺跡、等	14
24	五代中原I遺跡		●		●	●	○△	○	〔古墳〕前期住居跡3。土坑〔古墳〕中・後期住居跡6〔奈良・平安〕住居跡18〔中世〕礫、〔その他〕掘立柱建物跡、整穴状遺跡	4
25	五代中原II遺跡		●		●	●	○△	○	〔古墳〕前期住居跡4。〔古墳〕前・中期住居跡35、掘立柱建物跡3〔中世〕土坑、道路状遺跡	6
26	六代中原III遺跡		●		●	●	○△	○	〔古墳〕前期住居跡45、土坑	14
27	五代砂田遺跡群	△	●	●	●○	●○	○△	○	〔古石器〕前中期住居跡8。土坑〔奈良・平安〕住居跡15、掘立柱建物跡。網治開港道遺跡1、〔古墳〕前中期住居跡11〔奈良・平安〕住居跡6〔中世〕礫〔その他〕掘立柱建物跡1	15・16
28	前集遺跡		●		●	●	○△	○	〔古墳〕前中期住居跡2〔奈良・平安〕住居跡11〔中世〕礫〔その他〕掘立柱建物跡1	17
29	五代船着II遺跡		●		●	●	○△	○	〔古墳〕前中期住居跡2等	18
30	上原武田遺跡	△	△	●	●	●	○△	○	〔古石器〕奈良ナイト形石器・石器・精光形尖頭器を含む石器群3〔弧状ブロック1〕〔縄文〕前・中期住居跡35、掘立柱建物跡3〔中世〕土器・土器少腹〔奈良・平安〕住居跡22、掘立柱建物跡、〔中世〕礫〔中世〕船着跡の可能性性	16・19
31	上原新田堀遺跡群	△	●	●	●○	●○	○△	○	〔古石器〕削面・削片・精光形尖頭器を含む石器群3。落ち込み2〔縄文〕前・中期住居跡11、礁造遺跡〔古墳〕住居跡1、後期円墳1、時期不明古墳1〔奈良・平安〕住居跡4、道路状遺跡4、道路状遺跡5〔中世〕土器・石器・落石・等	16・20
32	上原塙ノ原遺跡	△	●	●	●○	●○	○△	○	〔古石器〕奈良ナイト形石器・石器・精光形尖頭器を含む石器群3〔弧状ブロック1〕、落ち込み3〔縄文〕前・中期住居跡17、土坑群、石器・石器・等、掘立柱建物跡7、横列〔奈良・平安〕住居跡15、掘立柱建物跡10、礫、土坑、〔中世〕礫、道路状遺跡	16・21
33	新庄南田遺跡	○△	●	●○	●○	●○	○△	○	〔古文〕土坑、瓦器〔奈良・平安〕A×B下式水田跡。〔中世〕土坑、道路状遺跡〔中世〕土坑、道路状遺跡	22
34	龜魚西久保Ⅱ遺跡	○	●	●○	●○	●○	○△	○	〔古文〕配石遺跡1。土坑〔古墳〕A×C普通水田土壤〔奈良・平安〕住居跡6。A×B下式水田、土坑、〔中世〕礫、道路状遺跡〔中世〕礫	22
35	龜魚坂上遺跡	△	●	●○	●○	●○	○△	○	〔古石器〕礫岩を土体とする石器類など〔古文〕前中期住居跡6、土坑〔古墳〕後期円墳1、前・後期住居跡21、掘立柱建物跡3、峰跡〔奈良・平安〕〔古文〕前・後期円墳1、〔古文〕前・後期住居跡21、〔古文〕礫、道路状遺跡、等	23
36	上原太郎・三所遺跡	●	●	●	●	●	○△	○	〔古文〕前中期住居跡5〔奈良・平安〕住居跡2	24
37	佐佐東川遺跡	●	●	●	●	●	○△	○	〔古文〕前中期住居跡2	25
38	佐佐柳原遺跡	●	●	●	●	●	○△	○	〔奈良・平安〕住居跡10、掘立柱建物跡10	25
39	佐佐食瀬遺跡	●	●	●	●	●	○△	○	〔奈良・平安〕住居跡29、掘立柱建物跡12	26

Tab. 1 周辺遺跡一覧表(1)

番号	遺跡名	時代					遺跡の概要	文獻
		旧石器	縄文	弥生	古墳	奈・平		
40	佐倉貝塚目遺跡				●		〔奈良・平安〕住居跡 36、船形立柱建物跡 10、廣 〔縄文〕後期堅穴道遺構 1、土坑〔奈良・平安〕住居跡 8〔その他〕廣	36
41	小坂子一木葉山遺跡	○		●			〔奈良・平安〕住居跡 1、土坑〔奈良・平安〕住居跡 8〔その他〕廣	27
42	小坂子二木葉山遺跡		●	●	○		〔奈良・平安〕住居跡 1〔中世〕廣、土坑 〔縄文〕船形立柱建物跡 1、後期堅穴道遺構 3、小石棚〔奈良・平安〕廣	28
43	小坂子三木葉山遺跡	○	○	○			〔奈良・平安〕住居跡 22、土石垣、龜石遺構〔中世〕土坎、堆積、廣	29
44	川口台遺跡		●				〔奈良・平安〕住居跡 22、土石垣、龜石遺構〔中世〕土坎、堆積、廣	30
45	鳥取東原遺跡						〔中世〕江戸時代代理耕種跡 1	31
46	鳥取郡鶴寺遺跡		●	●	●	○	〔中世〕整地跡 2〔古墳〕後期住居跡 8〔奈良・平安〕住居跡 29、網治開闢遺構 1〔中 古墳〕整穴状遺構 1〔その他〕船形立柱建物跡、不明住居跡 2	32
47	鳥取郡鶴寺日造跡	△	●	●	●	○	〔印石器〕細石刃及すする石器群〔縄文〕前・後期堅穴道遺構 6〔古墳〕前・後期住居跡 13〔奈 良・平安〕住居跡 29、船形立柱建物跡、網治開闢遺構、廣	33
48	芳賀東部延地遺跡(昭 和 51～55、平 9、平 19)	△	●	○	●	●	〔印石器〕大形、小形ナイフ形石器・局部磨製石斧・削器を含む石器群〔堅穴道ブロック群〕2、 縄群〔縄文〕前・後期堅穴道跡 45、配石道構 4、袋狀土坑〔古墳〕後期円墳 4、前・後期堅 穴道跡 120、土坑〔奈良・平安〕住居跡 411、宜立柱建物跡 297、整穴状遺構、網治・製鐵開 拓遺跡 5、廣、土坑〔中世〕地下式坑、土坑、江戸時代土坑墓、廣〔その他〕船形立柱建物跡、 道路状遺構、廣、土坑	34～38
49	芳賀北源延地遺跡		●		●	○	〔縄文〕前・後期住居跡 34、配石道構 17〔奈良・平安〕住居跡 227、製鐵開拓遺構 3、船 形立柱建物跡、廣、土坑〔中世〕船形立柱建物跡 1	39
50	芳賀北原遺跡			●	●		〔古墳〕後期住居跡 4〔奈良・平安〕住居跡 6	40
51	鳥取合下・原城遺跡	△	●	○	●	●	〔印石器〕黒曜石蟹型イフ形石器・石刀石斧石器を含む石器群〔縄文〕前二期住居跡 1、 土坑〔古墳時代〕後期円墳 1、前・後期住居跡 12〔奈良・平安〕住居跡 47、宜立柱建物跡 3、 土坑〔中世〕土坑、廣、土坑〔その他〕時期不明住居跡 1	41
52	鳥取郡延地遺跡	○					〔縄文〕土坑〔中世〕廣	42
53	芳賀西源延地遺跡	○	○	○			〔縄文〕前・後期住居跡 2、配石道構 2〔古墳〕5 C 後半～6 C 初頭円・方埴輪 31、埴輪棺 1〔中 古世〕壘下式坑、土坑	43
54	小神山遺跡群		●	●	●		〔縄文〕中・後期堅穴道跡 5〔古墳〕前二期住居跡 1〔奈良・平安〕住居跡 3〔中世〕地式坑、 廣〔傳〕、船形立柱建物跡	44
55	大明神遺跡			●			〔古墳〕後期住居跡 1、廣、自然流路 1〔中世〕廣	45
56	曾木本遺跡			●			〔弥生〕住居跡 2〔古世〕廣	45
57	西田遺跡			●	○		〔縄文〕前・後期住居跡 3〔古墳〕中期住居跡 4、後期円・帆立貝形古墳 5〔中世〕廣、集 石遺構	45
58	九科遺跡(昭 58～60、 61)		●	●	●	○	〔縄文〕前・中・後期住居跡 7、土坑〔集石〕〔古墳〕中末～後期住居跡 67、宜立柱建物跡、 土坑〔奈良・平安〕住居跡 2、〔中世〕江戸時代土坑墓 5	45～49
59	謝気遺跡		●	●	●		〔弥生〕住居跡 1〔古墳〕中・後期住居跡 5〔奈良・平安〕住居跡 7〔その他〕船形立柱建物跡、 土坑、廣	46
60	谷向遺跡		○			○	〔古墳〕H = F-A 基下自然流路、〔中世〕廣	47
61	小神明造跡群 V			●			〔奈良・平安〕住居跡 2〔その他〕時期不明住居跡 1、船形立柱建物跡、土坑、廣、自然流 路	48
62	谷堀遺跡			●	●		〔古墳〕後期住居跡 2〔奈良・平安〕住居跡 1、〔中世〕廣	49
63	堀尾遺跡群 I		●	○	●		〔縄文〕後期住居跡 1〔古墳〕方形周溝遺構、前・後期住居跡 2〔中世〕石窓遺構 3〔そ の他〕廣〔遺構〕	50
64	堀尾遺跡群 II			●	●		〔縄文〕中・後期住居跡 1〔古墳〕後期住居跡 14、〔中世〕廣〔遺構〕〔その他〕整穴状遺 構	51
65	堤遺跡	△	●		●	○	〔縄文〕堅穴道石器ブロック 6、後期住居跡 11、土坑、配石・集石遺構、自然流路〔奈良・ 平安〕住居跡 1、廣〔中世〕整穴状遺構、長方形土坑、火葬跡〔以上を方形区画の遺構 群と認む〕、廣	52
66	芳賀油曲輪遺跡		●		○		〔縄文〕前・後期住居跡 17〔奈良〕後期円墳 6	53
67	鶴見川之口遺跡				●		〔奈良・平安〕住居跡 3〔中世〕廣〔その他〕	54
68	南世之口遺跡	○		●			〔縄文〕土坑 1、2 〔古墳〕中・後期住居跡 8〔中世〕廣〔その他〕船形立柱建物跡 1	55
69	小神明汎城遺跡	○	●	●	○		〔縄文〕埋設土器〔弥生〕住居跡 2〔古墳〕後期住居跡 7〔奈良・平安〕廣〔中世〕廣	56
70	小神明汎土塙遺跡	△	●	●	●		〔縄文〕呂基層・埴輪〔弥生〕後期住居跡 8、〔奈良・平安〕住居跡 40〔奈良・平安〕住居 跡 15、廣〔中世〕廣、土坑、廣	56
71	東田之口遺跡	△		●	○		〔縄文〕土・石器〔古墳〕中・後期住居跡 66、船形立柱建物跡、粘土探査坑〔奈良・平安〕 住居跡 2、粘土探査坑、廣〔中世〕船形立柱建物跡、廣	57
72	上綱井北遺跡群 N n. 1		●	○	●	○	〔縄文〕前・後期住居跡 1、土坑〔古墳〕後期円墳 1、中・後期住居跡 40〔奈良・平安〕住居 跡 15、廣〔中世〕廣、土坑	58
73	上綱井北遺跡群 N n. 2		○	●	●		〔縄文〕土坑〔集石〕1 〔古墳〕後期円墳 2、中・後期住居跡 1〔奈良・平安〕住居跡 1〔その他 〕時期不明住居跡 2、廣〔遺構〕、土坑	59
74	西脇遺跡		○		●		〔縄文〕土・石器〔古墳〕中・後期住居跡 56、船形立柱建物跡、粘土探査坑〔奈良・平安〕 住居跡 2、粘土探査坑、廣〔中世〕船形立柱建物跡、廣	60
75	五代人石垣古墳			○			〔古墳〕後期堅穴道遺構〔横穴式石室〕	61
76	芳賀村14号古墳			○			〔古墳〕時期不詳、前方後円	61
77	芳賀村15号古墳			○			〔古墳〕時期不詳、圓墳	61
78	芳賀村16～25号古墳			○			〔古墳〕時期不詳、圓墳	61
79	松原集落			○			〔古墳〕後期円墳 1〔古墳〕後期円墳 2、直径 17.6 m	61
80	新田遺跡			○			〔古墳〕後期円墳、直径 30 m	61
81	桂村13号古墳			○			〔古墳〕時期不詳、14号・前方後円、D = 21、70×71、26～30、33～39号〕円墳	61
82	桂村13～39号古墳			○			〔古墳〕時期不詳、14号・前方後円、D = 21、70×71、26～30、33～39号〕円墳	61

凡例：●…住居跡・船形立柱建物跡、○…古墳・周溝墓・土塙墓等、△…水田・品跡、△…遺物のみ出土・包含層、○…灰記を除く当該期の遺構

註1：遺跡の数は、時期不明と判断したものを除外して記載した。

Tab. 2 周辺遺跡一覧表 (2)

1	福島市埋蔵文化財発掘調査団 2000『五代江戸屋敷遺跡』	30	川白田遺跡調査会・山武考古学研究所 1998『川白田遺跡』
2	福島市埋蔵文化財発掘調査団 2000『五代竹舟遺跡・五代本福寺遺跡・五代伊勢宮Ⅰ遺跡』	31	福島市埋蔵文化財発掘調査会 1998『鳥取東京遺跡』
3	福島市埋蔵文化財発掘調査団 2001『五代伊勢宮Ⅱ遺跡』	32	福島市埋蔵文化財発掘調査会 1998『鳥取福島寺遺跡』
4	福島市埋蔵文化財発掘調査団 2002『五代伊勢宮Ⅲ遺跡・五代深堀Ⅱ遺跡・五代中原Ⅱ遺跡・五代伊勢宮Ⅳ遺跡』	33	福島市埋蔵文化財発掘調査会 1999『鳥取福島寺遺跡』
5	福島市埋蔵文化財発掘調査会 2003『五代伊勢宮Ⅴ遺跡』	34	福島市教育委員会 1984『芳賀東部沿地道路Ⅰ・古墳・平安時代編その1』
6	福島市埋蔵文化財発掘調査会 2003『五代伊勢宮Ⅵ遺跡・五代中原Ⅲ遺跡』	35	福島市教育委員会 1988『芳賀東部沿地道路Ⅱ・古墳・平安時代編その2』
7	福島市埋蔵文化財発掘調査会 2007『五代伊勢宮Ⅶ遺跡（1）』	36	福島市教育委員会 1990『芳賀東部沿地道路Ⅲ・古墳・中世編』
8	福島市埋蔵文化財発掘調査会 2009『五代伊勢宮Ⅷ遺跡（2）』	37	福島市埋蔵文化財発掘調査会 1996『芳賀東部沿地道路』
9	福島市教育委員会 2017『五代東屋遺跡』	38	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2013『芳賀東部沿地道路－闕文時代以降編－』
10	福島市埋蔵文化財発掘調査会 2004『五代花見日遺跡・五代本福寺遺跡』	39	福島市教育委員会 1994『芳賀北西部沿地道路Ⅰ・古墳・奈良・平安時代編－』
11	福島市埋蔵文化財発掘調査会 2005『五代木坂遺跡・五代深堀Ⅲ遺跡』	40	福島市埋蔵文化財発掘調査会 1991『芳賀北原遺跡』
12	福島市教育委員会 2015『五代深堀Ⅳ遺跡 No. 2』	41	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2012『久慈松合下塙跡・朝倉遺跡』
13	福島市埋蔵文化財発掘調査会 2005『五代木坂IV遺跡・五代深堀III遺跡』	42	福島市埋蔵文化財発掘調査会 2007『古處重跡』
14	福島市埋蔵文化財発掘調査会 2004『五代中原遺跡・五代山街道Ⅰ遺跡・五代山街道Ⅱ遺跡』	43	福島市埋蔵文化財発掘調査会 1991『芳賀西原遺跡』
15	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2012『五代砂原遺跡』	44	福島市教育委員会 1992『小神明遺跡群Ⅱ』
16	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2012『上武道跡・臼石郡時代遺跡群（3）』	45	福島市教育委員会 1984『小神明遺跡群Ⅲ・倉本遺跡・九利遺跡・西田遺跡・大馬神遺跡』
17	福島市教育委員会 1991『竹塚遺跡』	46	福島市教育委員会 1988『小神明遺跡群Ⅳ・鬼塚遺跡・九利遺跡』
18	福島市埋蔵文化財発掘調査会 1993『五代深堀遺跡Ⅱ』	47	福島市教育委員会 1985『小神明遺跡群Ⅴ・谷向遺跡』
19	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2012『上武武道跡・上巻新田塚遺跡群』	48	福島市教育委員会 1987『小神明遺跡群Ⅵ』
20	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2011『上原塚・下原塚・上巻新田塚遺跡群』	49	福島市教育委員会 1990『谷向遺跡早期埋蔵調査報告書』
21	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2010『上巻塚・宿場跡』	50	福島市教育委員会 1982『小神明新跡群Ⅰ』
22	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2008『龜石西久保Ⅱ遺跡・伏原角出遺跡』	51	福島市教育委員会 1983『小神明新跡群Ⅱ』
23	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2008『東坂塚上遺跡』	52	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2013『鬼塚跡』
24	福島市埋蔵文化財発掘調査会 1998『上野太郎・三浦跡』	53	福島市埋蔵文化財発掘調査会 1996『芳賀北曲輪跡』
25	福島市埋蔵文化財発掘調査会 2002『我孫塚遺跡・猿塚遺跡』	54	福島市埋蔵文化財発掘調査会 2008『鶴ヶ出之地遺跡』
26	福島市埋蔵文化財発掘調査会 2002『我孫塚遺跡・猿塚合葬Ⅱ遺跡』	55	福島市埋蔵文化財発掘調査会 1985『南田川之口遺跡』
27	福島市埋蔵文化財発掘調査会 2003『小坂塚・木暮塚』	56	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2012『小神明新穴尻遺跡・小神明新土塹遺跡』
28	福島市埋蔵文化財発掘調査会 2006『小坂・木暮塚』	57	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2011『東田之口遺跡』
29	福島市埋蔵文化財発掘調査会 1997『小坂塚油田Ⅰ・Ⅱ遺跡』	58	福島市埋蔵文化財発掘調査会 2009『上井田・北越跡群 N. 1』
		59	福島市埋蔵文化財発掘調査会 2010『上井田・北越跡群 N. 2』
		60	福島市教育委員会 1987『西原遺跡』
		61	群馬県教育委員会 2017『群馬古墳群調査会・占領分布地図編』『群馬古墳群研究会文・貞吉編』

Tab. 3 参考文献一覧表

III 調査方針と経過

1 調査の方針

五代伊勢宮Ⅵ遺跡およびⅦ遺跡は年度が異なる調査であるが、両遺跡は接していることから基本的な調査方針は統一性を持たせることとした。

重機による表土除去は、試掘調査の結果から縄文時代および古墳時代の遺構検出が予想されたこともあり、両時期の遺構を捉えることを目的とし、基本的にローム層上面までの掘削とした。遺構確認はジョレンを用いて行い、確認された遺構の検出に関しては、移植ゴテを使用した。

検出された遺構の測量は、各調査区周辺に基準杭を設置し、平面図をトータルステーション・断面図を方眼紙を用いた手実測で作成した。なお、平面図・断面図とも1/20の縮尺を基本として作図した。

写真撮影は、35mm白黒・35mmカラーリバーサルフィルムと1,500万画素相当のデジタルカメラを使用し、完掘後にはドローン（PHANTOM 3 STANDARD）による調査区の空中写真撮影を行った。

報告書作成作業における遺物トレース・写真加工・版組等はAdobe IllustratorCS2・Adobe PhotoshopCS2・Adobe InDesignCS2を使用して行った。

2 調査の経過

現地での発掘調査は五代伊勢宮VII遺跡が平成28年7月15日から同年10月26日まで、五代伊勢宮VIII遺跡が平成29年2月13日から同年5月17日まで行った。報告書作成は、平成29年5月22日から平成30年3月23日の間で実施した。

【五代伊勢宮VII遺跡の発掘調査】

平成28年7月15日：調査区内の除草作業。3日：調査区南側より表土除去を開始。現場周囲の安全対策。4日：発掘補助員動員。遺構確認作業と併行し遺構検出作業に着手。16日：D-1号土坑内より黒色土器（碗）が良好な状態で出土し、同遺構を墓と認定する。9月5日：柱穴が隅丸長方形状を呈するB-1号掘立柱建物跡（D-3～8号土坑）を確認。10日：D-10号土坑の埋没土上位にA s-Cの一次堆積層が存在することが判明。14日：調査区内の堅穴住居跡・方形周溝墓の検出作業進捗が終焉に近づいたことから、土坑・ピットの検出作業に調査の主体を移行する。21日：J D-33号土坑内より加曾利E IV・V式期の遺物が多量に出土。古墳時代前期と想定されるB-2号掘立柱建物跡を確認。23日：D-12号土坑内の埋没土上位からもA s-Cの一次堆積層を確認し、同遺構がD-10号土坑と同一性格の遺構と判断。27日：切り返し前の調査区の遺構検出を終了する。28日：切り返し前の調査区に対する終了確認。30日：空撮。10月1日：切り返し前の調査区における平面測量を終了し、同地区の調査を終了する。2日：重機による埋め戻し。3日：重機による表土除去開始。4日：遺構確認作業と併行して遺構検出作業に着手。5日：A s-B混土で埋没する堅穴住居跡を5軒確認。10日：重機による表土除去終了。14日：切り返し後の調査区に対する終了確認。旧石器トレンチの調査を開始。空撮。18日：遺構検出を全て終了。19日：発掘器材の撤収。20日：遺構平面測量を終了し、全ての調査を終了する。21日：ブレハブ・器材庫の撤収。22日：重機による埋め戻しを開始。26日：埋め戻し終了。

【五代伊勢宮VIII遺跡の発掘調査】

平成29年2月13日：ブレハブ・器材庫・簡易トイレ設置。発掘器材搬入。17日：近隣住民への挨拶。20日：重機による表土除去開始。基準点設置。22日：遺構確認・検出作業に着手。24日：重機による表土除去終了。25日：重機による残土置場整形。3月6日：H-17号住居跡の東および西の両壁にカマドが付設される状況を確認。9日：H-22号住居跡のカマドで残存する焚き口の懸架材が検出される。13日：W-1号溝の底面に錐状の工具痕が残存する状況が捉えられる。15日：H-19号住居跡の柱穴が2本である状況を確認。16日：H-23号住居跡は埋没過程の段階で柱が抜き取られていることが判明。22日：小型の方形周溝墓となるC-3号方形周溝墓を確認。29日：五代伊勢宮VII遺跡C-1号方形周溝墓と同一遺構の方形周溝墓を確認。24日：地下水坑となるD-38・39号土坑が並列して検出される。4月5日：調査区南西の遺構確認作業を行う。D-46号土坑の埋没土よりA s-Cの一次堆積を確認する。18日：調査区北西の遺構確認作業を行う。J-1・2号、H-32・33号住居跡の検出作業に着手。25日：D-56号土坑の埋没土よりA s-Cの一次堆積が検出され、同遺構がD-46号土坑と同一性格の遺構であると確認。5月2日：埋没土中にA s-Cの一次堆積が確認されたD-46号土坑断面の剥ぎ取り作業を行う。8日：調査区内における住居跡・土坑等の検出作業をほぼ終え、調査主体をピットの遺構確認作業および検出作業に移行する。現場終了確認。10日：A s-Cを埋没土に含むB-3号掘立柱建物跡を確認・検出する。11日：ピットを含めた調査区内の遺構検出作業がほぼ終了となり、空撮に向けた清掃作業に移行する。12日：空撮を実施。15日：遺構測量を完了する。D-43号土坑及びD-59号土坑の断ち割り調査を行い、全ての調査を終了する。重機による埋め戻しを開始。発掘器材の撤収。16日：ブレハブ・器材庫の撤収。17日：調査区の埋め戻しを完了し、現地調査を終了する。

【報告書作成】

平成 29 年 5 月 22 日：遺物洗浄を開始。遺構図の修正を行う。6 月 12 日：遺物注記作業を開始。26 日：遺構図のトレースを開始。7 月 11 日：遺物の接合・復元と併行して原稿の執筆に着手。8 月 18 日：遺物の分類・選び出しを開始。22 日：遺物の写真撮影を行う。9 月 4 日：遺物実測を開始。19 日：写真図版の作成を行う。20 日：遺物観察表の作成を行う。10 月 6 日：遺物実測と併行して遺物トレースに取り掛かる。11 月 20 日：版組みに着手。平成 30 年 1 月 18 日：報告書を入稿する。2 月 13 日：報告書の校正を行う。3 月 16 日：報告書の印刷・製本。19 日：返還準備。23 日：報告書刊行。

IV 基本土層

本遺跡は 7.5 万年前に形成された大胡火砕流堆積面の台地上に立地しており、北から南へ向けて下る傾斜地となっている。このため、五代伊勢宮Ⅶ 遺跡から五代伊勢宮Ⅷ 遺跡へ向かうにつれ標高が低くなる。

遺構の検出は、Ⅶ 層からⅨ 層の間で行い、古墳時代以降の遺構が集中する地点でⅧ 層上面、これらの遺構密集が少ない場所では縄文時代の遺構を捉えるべくⅨ 層上面まで重機で掘り下げる。

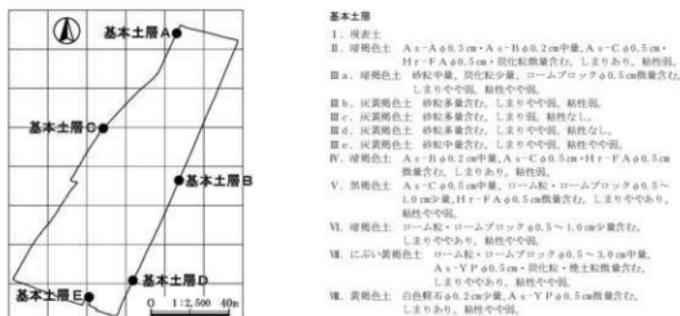
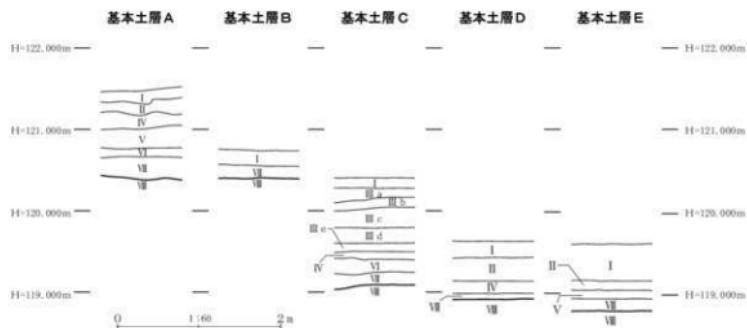


Fig. 4 基本土層

V 遺構

1 遺跡の概要

五代伊勢宮Ⅶ遺跡及びⅧ遺跡の調査では、住居跡37軒・方形周溝墓3基・土坑175基・掘立柱建物跡3棟・溝5条・性格不明遺構4基・ピット685基・倒木痕3基が検出されている。

住居跡の帰属時期は、縄文時代・古墳時代前期・古墳時代後期・平安時代・A s・B降下以降に大別される。住居跡の分布をみると、縄文時代の住居跡が調査区西寄りで検出される一方で、古墳時代以降の住居跡は調査区東側半分に寄る傾向がある。周辺遺跡の状況を概観すると、縄文時代の住居跡が舌状台地縁辺部にあたる西側に寄る傾向があるのに対し、古墳時代以降は台地中央部に住居跡が密集しており、本遺跡もこの分布傾向の中に把握される。

縄文時代の住居跡は3軒（J-1～3号住居跡）確認されており、J-3号住居跡が縄文前期初頭花積下層式期、J-1号住居跡が前期後半諸磯a式期、J-2号住居跡が中期後半加曾利EⅢ式期に帰属すると考えられる。本遺跡が立地する舌状台地上には、縄文時代前期～中期の集落が数多く確認されているが、本遺跡の住居跡は、集落が集中する範囲より南に外れた谷寄りに位置する。また、総体的にみて当該期にあたる遺物の出土や土器が埋納される遺構が少ないことから、本遺跡の住居跡は、縄文時代における集落域の末端部にあたる可能性が考えられる。

古墳時代前期の住居跡は、五代伊勢宮Ⅶ遺跡南東部からⅧ遺跡北東部に集中しており、8軒（H-4a・4b・5・6・23・27・28・32号住居跡）が確認されている。これらの住居跡はいずれも焼失家屋で、人為埋没と想定される。また、埋没土や構造、主軸方位の違いから少なくとも2パターンに区別される。H-6・27・28・32号住居跡は、いずれも主柱穴が検出されておらず、規模や主軸方位、住居跡の掘り込みが比較的浅い点などでも近似する。また、H-28号住居跡を除いては、住居跡の上に方形周溝墓が重複することを確認した。一方、H-4a・4b・5・23号住居跡は、いずれも掘り込みが深く埋没土上層にH-r-F A火山灰を含有するほか、主柱穴が検出され、規模や主軸方位などの点で類似した構造の住居跡であると捉えられる。

古墳時代後期の住居跡は、五代伊勢宮Ⅶ・Ⅷ遺跡とともに調査区の東側寄りに位置する傾向があり、14軒（H-2・12・14・16～19・22・24～26・29・31・32号住居跡）が確認された。このうちH-17・24・29号住居跡では、東壁から西壁へカマドの据え替えが行われ、これに併せて貯蔵穴を移設していることを確認した。さらに、カマドの据え替えに伴い床面をつくり替えていくことが判明しており、H-17号住居跡では床面の掘り直し、H-24・29号住居跡では貼り替える痕跡が認められる。

平安時代の住居跡としては、H-1・30号住居跡が挙げられる。いずれの住居跡でも、住居跡の上に重複する形で平安時代に帰属する長方形状の土坑が検出された点が特筆される。これらの土坑は、遺物の出土状態や平面形態から土壙墓であると考えられ、住居跡の埋没と前後して墓がつくられた状況が想定される。

A s・B降下以降の住居跡は7軒（H-7～11・13・15号住居跡）が確認されている。これらの住居跡は、A s・B混土で埋没し、カマドを想定させる掘り込みや灰、白色粘土塊等が検出されたものの、使用痕跡が明瞭に認められないという点で共通しており、類似した構造を持つ住居跡であると捉えられる。またこれらの住居跡の多くで、住居跡の対辺にあたる東西もしくは南北の壁際中央に1基ずつ、計2基のピットが検出されている。これらのピットはほとんどが30cm未溝と浅く、柱痕も認められない場合が多い中、好例としてH-9号住居跡が挙げられる。この住居跡のピットは、土層断面の観察から柱痕が確認されたほか、底面より礎石と考えられる石が検出されていることから、住居跡の上層構造に関連する柱穴である可能性が高い。

時期不明の住居跡としては、H-3・20・21号住居跡が挙げられる。これらの住居跡は出土遺物に乏しく、

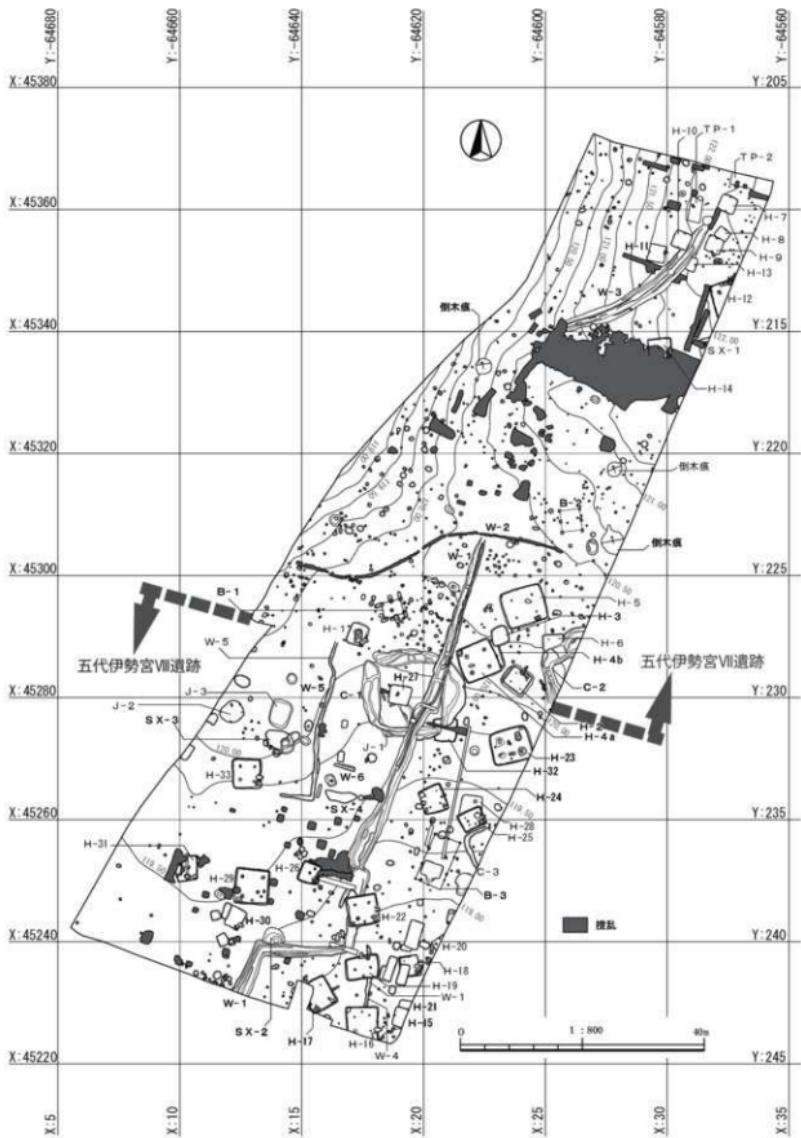


Fig. 5 五代伊勢宮VII・VIII遺跡全体図

明確な帰属時期は不明であるが、埋没土の特徴から H r - F A 降下以降から A s - B 降下以前に位置づけられる。

方形周溝墓は、五代伊勢宮Ⅶ遺跡南東部からⅧ遺跡北東部において 3 基（C - 1 ~ 3 号方形周溝墓）が確認されている。これらはいずれも周溝のみの検出で、盛土や主体部などの痕跡は認められない。また、本遺跡の東側に隣接する五代江戸屋敷遺跡では方形周溝墓が 2 基検出されており、このうち 1 基（同遺跡 C - 2 号方形周溝墓）は位置関係から本遺跡の C - 2 号方形周溝墓と同一遺構であると判断される。ただし、五代江戸屋敷遺跡では古墳時代前期に帰属する可能性がある住居跡は 1 軒のみで、本遺跡より東側に前期の住居跡が分布する状況は認められない。以上のことから、本遺跡を含めた周辺では、古墳時代前期に帰属する住居跡と 4 基の方形周溝墓がほぼ同じ範囲に分布する状況が把握される。このうち H - 6・27・32 号住居跡は、方形周溝墓の下に重複する形で検出されており、住居跡の埋没から方形周溝墓築成への時間的な変遷が認められる。一方で、H - 4a・4b・5・23 号住居跡は、前述した住居跡とは構造や規模、埋没土の点で異なる特徴を持ち、出土遺物や主軸方位などの点で方形周溝墓との関連性が想定される。ただし、方形周溝墓との時間的な前後関係は明確でない。

土坑は、五代伊勢宮Ⅶ・Ⅷ遺跡を通して、縄文時代の土坑が 108 基（J D - 1 ~ 102 号土坑）、弥生時代以降の土坑が 67 基（D - 1 ~ 62 号土坑）確認されている。調査区内における土坑の分布状況を概観すると、縄文時代の土坑は、Ⅷ遺跡の西側、Ⅶ遺跡の南西部を除くほぼ全域で確認され、総体的に本遺跡が位置する台地の縁辺にやや寄る傾向がある。一方、弥生時代以降の土坑は、住居跡の分布範囲と概ね一致しており、関連性が想定される。

掘立柱建物跡は 3 棟（B - 1 ~ 3 号掘立柱建物跡）が確認された。このうち B - 1・2 号掘立柱建物跡は桁行 2 間、梁行 1 間の側柱構造で、柱掘方が隅丸長方形状を呈する。また、B - 1 号掘立柱建物跡は柱掘方の柱位置にあたる部分が段掘りされている点が特筆される。

溝は 5 条（W - 1・3 ~ 6 号溝）が確認された。W - 1 号溝は、北東 - 南西方向に走行する溝で、五代伊勢宮Ⅶ遺跡南部からⅧ遺跡南端の調査区外へ及ぶ。埋没土の状況や底面の形状から 3 ~ 5 条の溝が重複すると判断され、出土遺物から近世以降に帰属すると考えられる。W - 2 号溝は、地形の形状に沿って走行しており、当初は古墳時代以降の地割り溝を想定して調査を行った。この結果、底面にピット状の掘り込みが多数検出されたことや埋没土の観察から、近現代に帰属する植栽の痕跡と判断され、本項では遺構として扱わないこととする。W - 3 号溝は、埋没土の状況から道路状の遺構と想定され、詳細な時期は不明であるものの、A s - B 降下以降でも比較的新しい時期に帰属すると考えられる。W - 4・5・6 号溝は遺物の出土に乏しいが、埋没土の状況から近世以降に帰属する可能性が高い。

性格不明遺構は 4 基（S X - 1 ~ 4）が確認された。調査では遺構の性格を特定するには至らなかったものの、平面形態や埋没土の状況から、S X - 1 が A s - B 降下以前に帰属する堅穴住居跡の掘り方、S X - 3 が縄文時代前期の土坑群である可能性が考えられる。S X - 2 と S X - 4 はいずれも埋没土に A s - B を含むことから、A s - B 降下以降に位置づけられる。

ピットは、五代伊勢宮Ⅷ遺跡で 497 基、Ⅶ遺跡で 188 基が確認され、埋没土から擾乱土、A s - B 混土、A s - C 混土、縄文時代の暗褐色土、縄文時代の黒褐色土の 5 類に大別される。縄文時代のピットは全体の過半数を占め、Ⅶ・Ⅷ遺跡の調査区全体に分布する傾向がある。一方で、A s - C 混土のピットは住居跡とほぼ同じ範囲に分布し、A s - B 混土のピットも住居跡の分布範囲に比較的まとまっている傾向がある。

倒木痕は、五代伊勢宮Ⅷ遺跡で 3 基検出されている。いずれも北西方向に転倒しており、埋没土の状況から縄文時代に帰属すると考えられる。

2 住居跡

H - 1号住居跡 (Fig. 6・7・102 / Tab. 19 / P L . 4・25)

位置：X 16・17、Y 226・227 グリッド。主軸方位：N -69° - W。重複：D - 1号土坑と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から、本住居跡はD - 1号土坑より古い。形状：やや隅丸の長方形を呈する。規模：3.75 m × 3.22 m。残存深度：0.32 m。面積：12.08 m²。床面の状態：表面にやや凹凸がみられるものの、比較的なだらかで、しまりがある。住居跡壁際が高く、中央部分に向かって僅かに低くなる。カマド前面の床面直上で約30 cm大の焼土ブロックが検出されている。壁周溝：確認されていない。カマド：南東壁南寄りに付設される。規模は長さ1.12 m、幅0.58 mを測る。埋没土は焼土・H r - F A・ロームブロック・A s - C を含む暗褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。貯蔵穴：住居跡南コーナーに付設される。規模は平面0.59 m × 0.47 m、深さ0.31 mを測り、円形を呈し、掘り込みの上部がややテラス状になる。埋没土は、焼土・ロームブロック・A s - C を含む黄褐色土と暗褐色土を主体とする。柱穴：確認されていない。掘り方：表面に多少の凹凸がみられ、住居跡南東側にやや深い部分が認められるが、全体的に浅く掘り込まれている。掘り方調査では、床下土坑2基（D 1・D 2）とピット1基（P 1）が検出された。各土坑・ピットの規模は、D 1が平面1.20 m × 1.02 m、深さ0.12 m、D 2が0.44 m × 0.39 m、深さ0.17 m、P 1が平面0.45 m × 0.21 m、深さ0.20 mを測る。遺構埋没状態：埋没土は、A s - C・H r - F A・焼土・ロームブロック・黒色土ブロックを含む灰黄褐色土と暗褐色土を主体とする。遺物出土状態：埋没土からの破片資料が多く、床面直上での遺物はほとんどみられない。住居跡東壁際の貯蔵穴直上において、床面より約10 cm浮いた状態で須恵器环（6）が1点出土している。出土遺物：本住居跡に帰属する遺物として土師器环、須恵器环・椀、刀子等が出土しており、このうち8点を掲載している。また、土師器・須恵器とともに环や椀類の出土が多い傾向があり、うち土師器环2点（2・3）と須恵器椀1点（7）で墨書きが確認されている。時期：9世紀後半。

H - 2号住居跡 (Fig. 7・8・9・102 / Tab. 19. / P L . 4・5・25)

位置：X 23・24、Y 228・229 グリッド。主軸方位：N -41° - E。重複：確認されていない。形状：隅丸長方形を呈する。規模：4.70 m × 4.25 m。残存深度：0.59 m。面積：19.98 m²。床面の状態：表面は概ねなだらかである。部分的に僅かな起伏がみられ、しまりがある。壁周溝：カマド周辺を除き全周する。カマド：北東壁ほぼ中央に付設され、規模は長さ1.73 m、幅0.41 mを測る。住居跡壁面の内外で燃焼部と煙道部に分けられ、燃焼部から段をもつて煙道部へとつながる構造である。燃焼部では、底面ほぼ中央と袖の内側で被熱の痕跡が確認されている。また燃焼部底面では、左袖に沿って3基、右袖に沿って4基、中央奥寄りで1基、計8基のピットが検出されており、構築材に使われた礎の抜き取り痕であるとみられる。埋没土は、焼土・灰・A s - C・ロームブロック・H r - F A・黒色土ブロックを含む明黄褐色土と暗褐色土、灰黄褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。貯蔵穴：住居跡北東コーナー付近に付設される。規模は平面0.80 m × 0.57 m、深さ0.39 mを測り、梢円形を呈する。埋没土は、A s - C・焼土・ロームブロック・H r - F A・黒色土ブロックを含む黒褐色土と灰黄褐色土、黄褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。柱穴：主柱穴と考えられる4基のピット（P 1～P 4）が検出された。土層断面の観察により、P 1で柱痕が確認されている。各ピットの規模は、P 1が平面0.24 m × 0.22 m、深さ0.47 m、P 2が平面0.17 m × 0.16 m、深さ0.34 m、P 3が平面0.22 m × 0.19 m、深さ0.40 m、P 4が平面0.20 m × 0.18 m、深さ0.44 mを測る。掘り方：表面は凹凸がやや顕著で、全体的に浅く掘り込まれている。住居跡北東壁付近がやや高い形状である。掘り方調査では、ピットや床下土坑は検出されなかつた。遺構埋没状態：カマド前面から住居跡中央部分の埋没土中層～下層では20 cm大の礎が10点以上検出されており、住居跡の埋没開始と前後してカマドが破壊され、構築材が投棄された状況が推測される。埋没土は、A s

- C・H r - F A・ロームブロックを含む黒褐色土と暗褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。遺物出土状態：埋没土から破片資料が出土した。また、床面直上の遺物はカマド周辺に分布する傾向がある。出土遺物：本住居跡に帰属する遺物として土師器壺・台付壺・甕等が出土しており、このうち4点を掲載している。時期：7世紀中頃。

H - 3号住居跡 (Fig. 9・102 / Tab. 19 / P.L. 5・25)

位置：X 22・23、Y 227 グリッド。主軸方位：N -19° - W。重複：H - 4 b 号住居跡と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から、本住居跡はH - 4 b 号住居跡より新しい。形状：やや不整形の長方形を呈する。規模：3.07 m × 2.77 m。残存深度：0.29 m。面積：8.50 m²。床面の状態：表面には多少の凹凸がみられ、住居跡中央北寄りがやや高い。また住居跡中央部分と北寄りの床面直上で縁が5点検出されている。壁周溝：確認されない。カマド・炉：確認されていない。貯蔵穴：確認されていない。柱穴：確認されていない。掘り方：表面には凹凸があり、全体的に深く掘り込まれている。住居跡中央部分と北西側、南東側の際際が高い形状である。掘り方調査では、ピットや床下土坑は検出されなかった。遺構埋没状態：埋没土は、A s - C・H r - F A・ロームブロックを含む黒褐色土と暗褐色土を主体とする。遺物出土状態：埋没土から破片資料が僅かに出土した。床面直上で遺物はみられない。出土遺物：本住居跡は遺物の出土量に乏しいが、住居跡に帰属する可能性のある遺物として、土師器壺の破片1点（1）を掲載している。時期：本住居跡は、遺構の性格や時期を示す証左に乏しいため、時期は不明とするが、埋没土の状況や出土遺物から7世紀代の可能性が高い。

H - 4a号住居跡 (Fig. 10・11・103 / Tab. 19・20 / P.L. 5・6・25・26)

位置：X 21～23、Y 227～229 グリッド。主軸方位：N -21° - W。重複：H - 4 b 号住居跡と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から、本住居跡はH - 4 b 号住居跡より新しく、H - 4 b 号住居跡を埋め戻した後に建て替えられたと判断される。形状：やや不整形の方形を呈する。規模：6.35 m × 6.05 m。残存深度：0.65 m。面積：38.42 m²。床面の状態：表面には多少の凹凸があり、硬くしまっている。住居跡北西壁と南西壁付近が10 cm程高くなる。床面で明らかに高低差がみられる部分は、H - 4 b 号住居跡との重複範囲と概ね一致する。したがって、H - 4 b 号住居跡の掘り方が本住居跡よりも深いために重複範囲で新たに施された貼床が沈下したと考えられる。壁周溝：貯蔵穴周辺を除き全周する。炉跡：住居跡中央西寄りで検出され、規模は平面 1.05 m × 0.56 m、深さ 0.11 m を測る。埋没土は、焼土・炭化粒・A s - C を含む暗褐色土を主体とする。貯蔵穴：住居跡北西コーナーに付設される。規模は平面 1.02 m × 0.66 m、深さ 0.48 m を測り、楕円形状を呈する。埋没土は、A s - C・ロームブロック・黒色土ブロックを含む灰褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。柱穴：5基のピット（P 1～P 5）が検出された。このうち主柱穴はP 1・P 2・P 3・P 4であり、土層断面の観察によりP 1で柱痕が確認されている。P 5は、住居跡南東壁付近の中央やや東寄りに位置する。土層断面の観察では、南に傾く形状で柱痕が検出されており、出入口に關係するピットであると想定される。各ピットの規模は、P 1が平面 0.63 m × 0.56 m、深さ 0.63 m、P 2が平面 0.75 m × 0.68 m、深さ 0.83 m、P 3が平面 0.75 m × 0.69 m、深さ 0.71 m、P 4が平面 0.63 m × 0.57 m、深さ 0.91 m、P 5が平面 0.35 m × 0.33 m、深さ 0.38 m を測る。掘り方：本住居跡はH - 4 b 号住居跡の建て替えに伴っており、重複範囲外である北西壁と南西壁、南東壁付近では掘り方の底面としてローム層が検出された一方で、それ以外の大部分ではH - 4 b 号住居跡の埋没土が再掘削されていることを確認した。掘り方の掘削はH - 4 b 号住居跡の貼床まではほぼ及んでおらず、表面には凹凸がみられる。掘り方調査では、ピットや床下土坑は検出されなかった。遺構埋没状態：本住居跡の埋没土最下層から床面直上では、炭化した垂木や焼土ブロックが検出された。垂木は、住居跡壁面から約 1.3 m の範囲で散在しており、ほぼ同じ範囲に焼土ブロックが点在する。出土状況から、垂木や焼土ブロックは堅穴住居の屋根材であると考え

られ、同住居跡は土葺き屋根を上屋構造に持つ焼失家屋であると推定される。埋没土上層では H r - F A 火山灰の一次堆積が認められるほか、H r - F A • A s - C を含む黒褐色土を主体とする。これに対し埋没土中層～下層は本住居跡の焼失に伴うものと判断される。A s - C • ロームブロック・焼土・炭化物を含む灰黄褐色土と暗灰褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。遺物出土状態：埋没土からは破片資料が多い。また、床面直上の遺物は残存状況が良く、住居跡中央北寄りと南東コーナー付近に集中する。住居跡中央北寄りでは土師器台付櫛 2 点（9・10）が潰れた状態で近接して出土した。このうち 10 の上半部は下半部と離れた位置にあたる南東コーナー付近壁周溝より出土し、外面に二次的な被熱痕が認められる。一方、南東コーナー付近では、正位の状態で土師器小型椀（1）・埴（2）・鉢（6）、横位の状態で高杯（5）が出土した。また、赤玉（13）は H r - F A 火山灰を含有する埋没土の直上より出土していることから、本住居跡の埋没過程で投棄されたものと捉えられる。

出土遺物：本住居跡に帰属する遺物として土師器小型椀・埴・高杯・鉢・甕・台付甕、白玉 1 点、流入遺物として赤玉 1 点等が出土しており、このうち 14 点を掲載している。時期：4 世紀代。備考：本住居跡で検出されたビットは H - 4 b 号住居跡と通し番号で記載している。

H - 4 b 号住居跡 (Fig. 12・13・104 / Tab. 20・21 / P L . 6・26)

位置：X 21 ~ 23、Y 227 ~ 229 グリッド。主軸方位：N -23° - W。重複：H - 3 号住居跡、H - 4 a 号住居跡と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から、本住居跡は H - 3 号住居跡、H - 4 a 号住居跡より古い。形状：長方形形状を呈する。規模：6.45 m × 5.00 m。残存深度：0.80 m。面積：32.25 m²。床面の状態：表面は多少の凹凸がみられ、硬くしまっている。住居跡北東側から南西側に向かって低くなる。壁周溝：北東壁、北西壁、南西壁の壁際で確認されているが、南西コーナーから南東壁の壁際では検出されていない。炉跡：確認されていない。貯蔵穴：住居跡南東コーナー付近に付設される。規模は平面 0.63 m × 0.57 m、深さ 0.53 m を測り、楕円形状を呈する。同貯蔵穴周囲には、幅 0.08 m ~ 0.31 m、深さ 0.13 m を測るテラス状の掘り込みが認められ、蓋の存在が想定される。埋没土は、A s - C • ローム粒・ロームブロック・炭化粒を含む暗褐色土とにぶい黄褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。柱穴：16 基のビット（P 6 ~ P 21）が検出された。このうち主柱穴は P 6・P 7・P 8・P 9 で、土層断面の観察から P 6 で柱痕が確認されている。また、P 8 は土層断面の観察により、柱が抜き取られた痕跡が認められる。P 11 は住居跡南東壁際の中央やや東寄りに位置し、位置関係から、出入口に關係するビットであると想定される。P 19・P 20 は底面に被熱の痕跡がみられ、甕 2 点が出土した。各ビットの規模は、P 6 が平面 0.53 m × 0.44 m、深さ 0.58 m、P 7 が平面 0.74 m × 0.53 m、深さ 0.42 m、P 8 が平面 0.60 m × 0.47 m、深さ 0.34 m、P 9 が平面 0.48 m × 0.39 m、深さ 0.40 m、P 10 が平面 0.69 m × 0.66 m、深さ 0.10 m、P 11 が平面 0.45 m × 0.38 m、深さ 0.37 m、P 12 が平面 0.27 m × 0.18 m、深さ 0.10 m、P 13 が平面 0.45 m × 0.21 m、深さ 0.20 m、P 14 が平面 0.32 m × 0.24 m、深さ 0.09 m、P 15 が 0.47 m × 0.30 m、深さ 0.14 m、P 16 が平面 0.72 m × 0.65 m、深さ 0.07 m、P 17 が平面 0.68 m × 0.27 m、深さ 0.12 m、P 18 が平面 0.62 m × [0.44] m、深さ 0.14 m、P 19 が平面 0.56 m × 0.50 m、深さ 0.13 m、P 20 が平面 0.71 m × 0.63 m、深さ 0.06 m、P 21 が平面 0.42 × 0.29 m、深さ 0.14 m を測る。掘り方：表面は凹凸が顕著である。住居跡中央部分の掘り込みがやや浅い一方で、壁付近では部分的に深く掘り込まれ、南壁側が低くなる形状である。掘り方調査では、ビット 1 基（P 22）が検出された。P 22 の規模は、平面 0.51 m × 0.32 m、深さ 0.40 m を測る。遺構埋没状態：埋没土に焼土や炭化粒が含まれ、住居跡中央付近の床面上約 0.9 m × 0.3 m で焼土が検出されたことから、焼失家屋である可能性が考えられる。埋没土は、ロームブロック・A s - C・炭化粒・焼土を含む暗褐色土と黒褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。遺物出土状態：埋没土からは破片資料が多く、床面直上の遺物は貯蔵穴周辺と南西壁付近で出土した。貯蔵穴周辺では、土師器台（1）と甕の口縁部（4）が近接して出土した。また、土師器台付甕（3）は、本住居跡のほか H - 4 a 号住居跡、H - 5 号住居跡、C -

2号方形周溝墓で出土した破片と接合し、このうち本住居跡出土の破片に二次的な被熱の痕跡が認められる。出土遺物：本住居跡に帰属する遺物として土師器器台・高壙・台付甕・壺等が出土しており、このうち4点を掲載している。時期：4世紀代。備考：本住居跡で検出されたピットはH-4a号住居跡と通し番号で記載している。

H - 5号住居跡 (Fig. 14・15・104 / Tab. 21 / P.L. 6・7・26・27)

位置：X 23～25、Y 225～227 グリッド。主軸方位：N-17° - W。重複：確認されていない。形状：長方形状を呈する。規模：7.16 m × 6.33 m。残存深度：0.76 m。面積：45.32 m²。床面の状態：表面には多少の凹凸があり、しまりがやや強い。住居跡中央付近から南壁付近がやや低く、北東コーナー付近が高くなる。壁周溝：全周する。炉跡：住居跡中央北東寄りで検出され、規模は平面 1.08 m × 0.72 m、深さ 0.10 m を測る。埋没土は、ローム粒・A s - C・焼土・炭化物を含む暗褐色土を主体とする。貯蔵穴：住居跡南東コーナーのやや西寄りに付設される。規模は平面 0.59 m × 0.48 m、深さ 0.56 m を測り、楕円形状を呈する。同貯蔵穴周囲には、幅 0.07 m～0.31 m、深さ 0.13 m を測るテラス状の掘り込みが認められ、蓋の存在が想定される。柱穴：主柱穴と考えられる4基のピット（P 1～P 4）が検出され、土層断面の観察から P 1 で柱痕が確認された。各ピットの規模は、P 1 が平面 0.32 m × 0.30 m、深さ 0.83 m、P 2 が平面 0.30 m × 0.27 m、深さ 0.82 m、P 3 が平面 0.39 m × 0.36 m、深さ 0.85 m、P 4 が平面 0.35 m × 0.27 m、深さ 0.80 m を測る。掘り方：表面には凹凸があり、全体的に掘り込まれている。住居跡北西壁付近が高く、中央部分から南東コーナー付近が低くなる。掘り方調査では、ピット 2 基（P 5・P 6）が検出された。各ピットの規模は、P 5 が平面 0.62 m × 0.44 m、深さ 0.35 m、P 6 が平面 0.41 m × 0.26 m、深さ 0.23 m を測る。遺構埋没状態：本住居跡の埋没土最下層から床面直上では、炭化した垂木や焼土ブロックが検出された。垂木は、住居跡北西壁と北東壁から約 1 m の範囲で放射状に出土し、ほぼ同じ範囲に焼土ブロックが点在する。出土状況から、垂木や焼土ブロックは堅穴住居の屋根材であると考えられ、同住居跡は土葺き屋根を上屋構造に持つ焼失家屋であると推定される。埋没土上層では、H r - F A 一次堆積層がブロック状に入る層が認められるほか、H r - F A 軽石・A s - C・ロームブロックを含む黒褐色土を主体とする。これに対し、埋没土中層～下層は本住居跡の焼失に伴うものと判断され、A s - C・ロームブロック・焼土・炭化物を含む暗褐色土と灰黄褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。遺物出土状態：埋没土から破片資料が出土したほか、床面直上の遺物は貯蔵穴周辺に集中する。貯蔵穴東側の床面直上では、土師器壺（2）の上半部と下半部が約 40 cm 離れた位置でそれぞれ出土した。下半部は正位の状態で出土し、内部より炭化物が検出されたのに対し、上半部は逆位の状態で出土している点が特筆される。また、同じく床面直上で出土した土師器壺（3）は口縁部が欠損している。出土遺物：本住居跡に帰属する遺物として土師器壺・壺・甕・台付甕のほか、ミニチュア土器 1 点等が出土しており、このうち 7 点を掲載している。時期：4世紀代。

H - 6号住居跡 (Fig. 16・104 / Tab. 21 / P.L. 7・27)

位置：X 24・25、Y 227・228 グリッド。主軸方位：N-3° - W。重複：C - 2号方形周溝墓と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から、本住居跡は C - 2 号方形周溝墓より古い。形状：残存部分から、方形もしくは長方形状を呈するとものと想定される。規模：3.48 m × [2.59] m。残存深度：0.41 m。面積：不明。床面の状態：検出範囲では、表面は比較的なだらかであり、凹凸は少ない。貼床は硬くしまっている。住居跡西壁付近の床面上約 0.8 m × 約 0.5 m の範囲で焼土が検出された。壁周溝：検出範囲では確認されていない。炉跡：検出範囲では確認されない。貯蔵穴：検出範囲では確認されていない。柱穴：1 基のピット（P 1）が検出されたが、主柱穴と考えられるものは確認されていない。P 1 の規模は、平面 0.18 m × 0.16 m、深さ 0.35 m を測る。掘り方：表面には凹凸があり、全体的に掘り込まれている。住居跡北東コーナー付近と南側が低くなる。掘り方調査では、床下土坑 1 基（D 1）が検出された。D 1 の規模は、平面 1.36 m × [0.87] m、深さ 0.27 m を測る。

遺構埋没状態：埋没土上層はA s - C・ロームブロックを含む灰黃褐色土、下層はA s - C・ロームブロック・焼土を含む暗褐色土と黒褐色土を主体とする。住居跡北西コーナーや西壁付近で炭化した木材や焼土範囲が検出されていることから焼失家屋である可能性が高く、人為埋没と想定される。**遺物出土状態**：埋没土から破片資料が出土した。床面直上の遺物は、住居跡中央部分から西側の範囲に点在している。残存状況の良好な遺物としては住居跡北壁付近で出土した土師器甕（2）が挙げられ、外側面に二次的な被熱の痕跡が確認される。**出土遺物**：本住居跡に帰属する遺物として土師器甕等が出土しており、このうち4点を掲載している。**時期**：4世紀代。

H - 7号住居跡 (Fig. 17 / P.L. 8)

位置：X 32、Y 209・210 グリッド。**主軸方位**：N -20° - E。**重複**：住居跡南西壁の一部が搅乱と重複する。**形状**：やや不整形の方形状を呈する。**規模**：2.85 m × 2.82 m。**残存深度**：0.27 m。**面積**：8.04 m²。**床面の状態**：表面はなだらかで、凹凸はみられず、床面のしまりは顕著でない。**壁周溝**：確認されていない。**カマド**：住居跡南東コーナーから約1 m の範囲では、焼土や炭化物を含む埋没土と混在する形で多量の白色粘土塊が検出された。白色粘土塊の検出範囲下を含む付近の床面では、部分的に灰の堆積や床面に被熱の痕跡が認められることから、カマドの痕跡として捉えられる可能性がある。**貯蔵穴**：確認されていない。**柱穴**：2基のピット（P 1・P 2）が検出された。これらのピットは住居跡北東壁際と南西壁際のほぼ中央にそれぞれ位置し、柱痕は確認されていない。これらのピットは、位置関係から住居跡の上屋構造に関連するものであると想定される。各ピットの規模は、P 1が平面0.24 m × 0.20 m、深さ0.13 m、P 2が平面0.21 m × 0.21 m、深さ0.13 mを測る。**掘り方**：確認されていない。**遺構埋没状態**：埋没土にA s - Bを含む点が特筆される。A s - B・ロームブロック・A s - C・焼土・炭化粒を含む暗褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。**遺物出土状態**：埋没土から破片資料が僅かに出土した。**出土遺物**：本住居跡に帰属する遺物は出土していない。**時期**：A s - B 降下以降。

H - 8号住居跡 (Fig. 17 / P.L. 8)

位置：X 31・32、Y 210・211 グリッド。**主軸方位**：N -37° - E。**重複**：H - 9号住居跡と重複する。**出土遺物**：埋没土層の観察から、本住居跡はH - 9号住居跡より新しい。**形状**：長方形状を呈する。**規模**：2.23 m × 2.02 m。**残存深度**：0.18 m。**面積**：4.50 m²。**床面の状態**：表面に多少の凹凸がみられるが、比較的なだらかで、床面のしまりは顕著でない。**壁周溝**：確認されていない。**カマド**：住居跡南西壁の中央やや南寄りで上端最大幅0.48 m、壁面からの最大長0.28 mを測る掘り込みが検出された。被熱の痕跡等、カマドとして機能していた状況は確認されないが、埋没土に白色粘土が多量に含まれることから、カマドとして捉えられる可能性がある。**貯蔵穴**：確認されていない。**柱穴**：2基のピット（P 1・P 2）が検出された。これらのピットは住居跡北東壁際と南西壁際のほぼ中央にそれぞれ位置し、柱痕は確認されていない。位置関係から、住居跡の上屋構造に関連するピットと想定される。各ピットの規模は、P 1が平面0.33 m × 0.19 m、深さ0.03 m、P 2が平面0.28 m × 0.15 m、深さ0.11 mを測る。**掘り方**：検出されていない。**遺構埋没状態**：埋没土にA s - Bを含む点が特筆される。A s - B・ロームブロック・A s - Cを含む暗褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。**遺物出土状態**：埋没土から破片資料が僅かに出土した。**出土遺物**：本住居跡に帰属する遺物は出土していない。**時期**：A s - B 降下以降。

H - 9号住居跡 (Fig. 18 / P.L. 8・9)

位置：X 31・32、Y 211 グリッド。**主軸方位**：N -21° - E。**重複**：H - 8号住居跡と重複する。**出土遺物**：埋没土層の観察から、本住居跡はH - 8号住居跡より古い。**形状**：方形状を呈する。**規模**：2.71 m × 2.66 m。**残存深度**：0.29 m。**面積**：7.21 m²。**床面の状態**：表面はなだらかで、凹凸はみられず、床面のしまりは顕著でない。住居跡中央部分や南東寄りの約0.40 m × 約0.30 mの範囲で床面が焼土化していた。**壁周溝**：確認されていない

H - 10 号住居跡 (Fig. 19 / P L . 9)

位置 : X 30・31、Y 210・211 グリッド。主軸方位 : N -21° - E。重複 : W - 3号溝と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から、本住居跡はW - 3号溝より古い。形状 : 方形状を呈する。規模 : 2.91 m × 2.82 m。残存深度 : 0.49 m。面積 : 8.21 m²。床面の状態 : 表面には凹凸があり、住居跡南側が北側に対してやや高くなる。床面のしまりは顕著でない。壁周溝 : 確認されていない。カマド : 住居跡南西壁中央や東寄りで15 cm程壁面が窪む部分が見られるが、カマドの可能性を示す痕跡は確認されていない。貯蔵穴 : 確認されていない。柱穴 : 2基のビット (P 1・P 2) が検出された。P 1が住居跡北東壁際ほぼ中央、P 2が南西壁際の中央西寄りにそれぞれ位置し、柱痕は確認されていない。位置関係から、住居跡の上屋構造に関連するビットと想定される。各ビットの規模は、P 1が平面0.30 m × 0.22 m、深さ0.20 m、P 2が平面0.18 m × 0.18 m、深さ0.10 mを測る。掘り方 : 確認されていない。遺構埋没状態 : 埋没土にA s - Bを含む点が特筆される。A s - B・A s - C・ロームブロック・H r - F Aを含む暗褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。遺物出土状態 : 埋没土から破片資料が少量出土した。出土遺物 : 本住居跡に帰属する遺物は出土していない。時期 : A s - B 降下以降。

H - 11 号住居跡 (Fig. 19 / P L . 9)

位置 : X 29・30、Y 211・212 グリッド。主軸方位 : N -80° - W。重複 : 確認されていない。形状 : 方形状を呈する。規模 : 2.94 m × 2.83 m。残存深度 : 0.29 m。面積 : 8.32 m²。床面の状態 : 表面には多少の凹凸がみられるが、比較的なだらかである。住居跡壁付近に対して中央部分が僅かに低くなる。床面のしまりは顕著でない。住居跡中央部分東寄りの約0.6 m × 約0.5 mの範囲で床面が焼土化していた。壁周溝 : 確認されていない。カマド : 東壁北寄りに付設され、規模は長さ0.77 m、幅0.21 mを測る。煙道部は壁外に延び、幅0.25 m、長さ0.38 mの範囲で左右の内壁に白色粘土が貼り付けられている。また、カマドの左脇にあたる住居跡北東コーナー付近では、約0.8 m × 約0.7 mの範囲で床面より灰が検出されており、カマドに由来するものと考えられる。埋没土は、A s - B・ローム粒・ロームブロック・白色粘土・炭化粒を含む暗褐色土とぶい黄褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。貯蔵穴 : 確認されていない。柱穴 : 2基のビット (P 1・P 2) が検出された。これらのビットは住居跡東壁際と西壁際のほぼ中央にそれぞれ位置し、柱痕は確認されていない。位置関係から、住居跡の上屋構造に関連するビットと想定される。各ビットの規模は、P 1が平面0.24 m × 0.19 m、深さ0.19 m、P 2が平面0.25 m × 0.25 m、深さ0.24 mを測る。掘り方 : 確認されていない。遺構埋没状態 : 本住居跡は、床面直上の埋没土よりA s - B火山灰のブロックが検出されている。A s - B・A s - C・ロームブロック・炭化粒を含む暗褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。遺物出土状態 : 埋没土から破片資料が少量出土した。出土遺物 : 本住居跡に帰属する遺物は出土していない。時期 : A s - B 降下以降。

H - 12号住居跡 (Fig. 20・21・105 / Tab. 21・22 / P L. 9・27)

位置：X 31・32、Y 212～214 グリッド。主軸方位：N -18° -W。重複：住居跡北西コーナー及びカマドの一部が搅乱と重複する。また、住居跡南東側の2/3が調査区外におよぶ。形状：残存部分から、方形状もしくは長方形状を呈するものと想定される。規模：[4.91] m × [3.96] m。残存深度：0.21 m。面積：[19.44] m²。床面の状態：表面には多少の凹凸がみられ、硬くしまっている。住居跡北西側が僅かに低く、南東側がやや高い。また、カマドの左脇にあたる平面 1.39 m × 0.59 m の範囲では棚状の高まりが検出され、直上より約 15 cm 大の礫が 1 点出土している。壁周溝：検出範囲では、カマド周辺を除き全周する。カマド：北西壁東寄りに付設され、規模は長さ [0.89] m、幅 0.43 m を測る。煙道部が壁外に及び、煙道部左右の内壁と袖の構築材として白色粘土が用いられている。埋没土は、白色粘土・ロームブロック・A s - C・焼土・炭化粒を含む暗褐色土と灰色土を主体とし、人為埋没と想定される。貯蔵穴：検出範囲では確認されていない。柱穴：住居跡に伴うピットは、検出範囲で 2 基 (P 1・P 2)、調査区外で 1 基 (P 5) 検出された。P 1 は主柱穴で、土層断面の観察から柱痕が確認されたほか、底面では柱の当たりによる硬化面がみられる。P 5 は調査区外に位置し、P 1 と対をなす状況にある。追加調査を実施した際に検出され、位置関係・平面形態から主柱穴と判断される。また、掘り方調査で検出された P 3 と追加調査で検出された P 5 の平面形態からは、柱の建て替えが想定される。各ピットの規模は、P 1 が平面 0.68 m × 0.64 m、深さ 0.50 m、P 2 が平面 0.19 m × 0.15 m、深さ 0.08 m、P 5 が平面 0.70 m × 0.37 m、深さ 0.49 m を測る。掘り方：表面は凹凸で、部分的に深く掘り込まれている。住居跡中央部分の掘り込みは比較的浅い状況であるのに対し、住居跡南西壁から約 50 cm 内側の位置で最大幅 0.63 m を測る溝状の産みが確認されている。掘り方調査では、ピット 2 基 (P 3・P 4) が検出された。P 3 は、平面形態や埋没土層の観察から古い柱穴であると考えられる。各ピットの規模は、P 3 が平面 0.75 m × 0.39 m、深さ 0.43 m、P 4 が平面 0.24 m × 0.17 m、深さ 0.22 m を測る。遺構埋没状態：埋没土は、A s - C・ロームブロック・ローム粒・H r - F A・焼土・白色粘土を含む暗褐色土と黒褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。遺物出土状態：埋没土から破片資料が少量出土した。床面直上の遺物は少なく、カマド前面の左側で土師器壺 (1)、主柱穴である P 5 付近より須恵器横瓶 (2) がそれぞれ出土している。出土遺物：本住居跡に帰属する遺物として土師器壺、須恵器横瓶等が出土しており、このうち 2 点を掲載している。時期：7世紀代。

H - 13号住居跡 (Fig. 21 / P L. 9)

位置：X 30・31、Y 211・212 グリッド。主軸方位：N -74° -W。重複：W - 3 号溝と重複する。埋没土層の観察から、本住居跡は W - 3 号溝より古い。形状：残存部分から、方形状もしくは長方形状を呈するものと想定される。規模：2.33 m × [1.58] m。残存深度：0.07 m。面積：[36.81] m²。床面の状態：表面には多少の凹凸がみられるが、比較的なだらかで、床面のしまりは顕著でない。住居跡北東壁付近が僅かに低い。遺構確認時に、住居跡南西壁際に位置する P 1 周辺で白色粘土の塊が検出されている。壁周溝：検出範囲では確認されていない。カマド：検出範囲では確認されていない。貯蔵穴：検出範囲では確認されていない。柱穴：1 基のピット (P 1) が検出された。P 1 は住居跡南東壁際のほぼ中央に位置する。土層断面の観察により柱痕が確認されており、位置関係から住居跡の上層構造に関連するピットと想定される。P 1 の規模は、平面 0.28 m × 0.20 m、深さ 0.13 m を測る。掘り方：検出範囲では確認されていない。遺構埋没状態：本住居跡は削平が著しく、僅かに埋没土と床面が残存するのみである。埋没土に A s - B を含む点が特筆される。A s - B・A s - C・ロームブロック・ローム粒を含む暗褐色土と暗灰色土を主体とし、人為埋没と想定される。遺物出土状態：埋没土から破片資料が少量出土した。出土遺物：本住居跡に帰属する遺物は出土していない。時期：A s - B 降下以降。

H - 14 号住居跡 (Fig. 22・106 / Tab. 22 / P L . 9・10・27)

位置：X 29・30、Y 215・216 グリッド。主軸方位：N -86° - E。重複：住居跡の南西側半分と貯蔵穴周辺、カマドの前面が搅乱と重複する。形状：残存部分から、方形もしくは長方形形状を呈するものと想定される。規模：3.85 m × [3.35] m。残存深度：0.39 m。面積：[12.90] m²。床面の状態：表面には多少の凹凸がみられるが、比較的なだらかで、硬くしまっている。住居跡北東コーナー付近が僅かに高い。壁周溝：検出範囲では、カマドと貯蔵穴、住居跡北壁の一部と西壁を除いて巡る。カマド：東壁やや南寄りに付設され、規模は長さ 1.22 m、幅 0.50 m を測る。右袖及び左袖の構築材として白色粘土が使用されている。また、左袖前端部分と右袖付近、燃焼部奥側で構築材の可能性を有する疊が複数出土している。また、残存する袖の前端付近にあたる燃焼部では良好な状態で火床面が確認された。埋没土は、ロームブロック・焼土を含む黒色土と暗灰褐色土・褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。貯蔵穴：カマドの右脇にあたる住居跡南東側に付設される。規模は平面 0.69 m × 0.55 m、深さ [0.77] m を測り、楕円形状を呈する。なお、上部は搅乱により削平されている。埋没土は、H r - F A - A s - C ・ ロームブロック・焼土を含む黒褐色土と暗褐色土、灰褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。柱穴：検出範囲では確認されていない。掘り方：表面は凹凸が頗著で部分的に深く掘り込まれており、住居跡北東コーナーと北西コーナー付近等が低い。掘り方調査では、床下土坑 2 基 (D 1・D 2) とピット 3 基 (P 1～P 3) が検出された。このうち、P 1 が残存するカマドの右袖前端部分、P 2 が燃焼部ほぼ中央に位置し、構築材を設置するためのピットであると想定される。各土坑・ピットの規模は、D 1 が平面 0.86 m × 0.85 m、深さ 0.25 m、D 2 が平面 [1.08] m × 0.68 m、深さ 0.22 m、P 1 が 0.25 m × 0.20 m、深さ 0.30 m、P 2 が平面 0.29 m × 0.20 m、深さ 0.14 m、P 3 が平面 0.25 m × 0.23 m、深さ 0.06 m を測る。遺構埋没状態：埋没土は、ローム粒・ロームブロック・A s - C ・ 炭化粒を含む暗褐色土と黒褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。遺物出土状態：埋没土から破片資料が出土したほか、床面直上の遺物はカマドと貯蔵穴の付近に集中する傾向がある。カマド燃焼部の埋没土下層では、土師器甕 (6) が破片の状態で出土している。胸部破断面の一部に被熱した粘土が付着することから、構築材として用いられた可能性が高い。また、左袖北側の東壁際では、完形の土師器甕 (4) が土師器甕 (5) に入れ子状となっており、横位の状態で出土している。出土状況から、これらの土器はカマドで使用されたと想定される。このほか住居跡北壁付近では、鉄製の釘 (9) が 1 点出土した。出土遺物：本住居跡に帰属する遺物として土師器甕・甕・甌のほか、砥石 1 点と釘 1 点等が出土しており、このうち 9 点を掲載している。時期：7 世紀代。

H - 15 号住居跡 (Fig. 23・106 / Tab. 22 / P L . 10・28)

位置：X 18・19、Y 242・243 グリッド。主軸方位：N -75° - W。重複：H - 21 号住居跡と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から、本住居跡は H - 21 号住居跡より新しい。住居跡東側半分が調査区外に及ぶ。形状：残存部分から、方形もしくは長方形形状を呈するものと想定される。規模：[3.35] m × [2.10] m。残存深度：0.39 m。面積：[7.03] m²。床面の状態：表面にやや凹凸がみられるものの、比較的なだらかで、床面のしまりは頗著でない。住居跡北コーナーが僅かに高い。住居跡検出範囲の東端、中央やや南寄りの床面上より、灰がまとまって検出されている。壁周溝：検出範囲では確認されていない。カマド：検出範囲では確認されていない。貯蔵穴：検出範囲では確認されていない。柱穴：1 基のピット (P 1) が検出された。P 1 は、住居跡西壁際中央付近に位置する。柱痕は確認されないものの、礎石の可能性を有する疊 1 点がピット内から検出されている。掘り方：検出範囲では確認されていない。遺構埋没状態：埋没土に A s - B を含む点が特筆される。A s - B ・ ロームブロック・A s - C ・ H r - F A 軽石・炭化粒を含む暗褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。遺物出土状態：埋没土から破片資料が少量出土している。床面直上で陶器甕片 (1) が 1 点出土している。出土遺物：本住居跡に帰属する遺物として、陶器甕（常滑）が出土しており、同遺物を掲載している。時期：A s - B 降下以降。

H - 16 号住居跡 (Fig. 23・24・106 / Tab. 22・23 / P L .10・11・28)

位置：X 16～18、Y 242～244 グリッド。主軸方位：N -89° - E。重複：W - 4号溝と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から、本住居跡はW - 4号溝より古い。住居跡南壁が調査区外に及ぶ。形状：残存部分から、方形もしくは長方形状を呈するものと想定される。規模：5.45 m × 5.41 m。残存深度：0.34 m。面積：29.50 m²。床面の状態：表面にやや凹凸がみられるものの、比較的なだらかであり、硬くしまっている。住居跡壁面付近が僅かに低くなる。床面検出時に、土坑1基（D 1）が確認された。規模は、平面 0.86 m × 0.75 m、深さ 0.12 m を測る。壁周溝：検出範囲は、カマド周辺を除き全周する。カマド：住居跡東壁南寄りに付設され、規模は長さ 1.35 m、幅 0.48 m を測る。左右の袖には、礫が残存しており、構築材と捉えられる。また、燃焼部底面に被熱の痕跡が確認され、この被熱範囲よりやや奥で支脚と想定される礫が 1点検出されている。また、燃焼部底面よりやや浮いた位置から、土器類 2 個体が倒れかかった状態で出土し、二列に設置されていたものが倒壊した状況であると推測される。埋没土は、ロームブロック・A s - C・白色粘土・焼土・炭化粒・灰を含む暗褐色土と暗灰色土を主体とし、人為埋没と想定される。貯蔵穴：検出範囲では確認されない。柱穴：5基のビット（P 1～P 5）が検出された。このうち主柱穴は、P 1・P 2・P 4・P 5 である。土層断面の観察から P 2 で柱痕が確認され、P 1 で柱が抜き取られた痕跡が捉えられている。各ビットの規模は、P 1 が平面 0.64 m × 0.59 m、深さ 0.36 m、P 2 が平面 0.30 m × 0.28 m、深さ 0.48 m、P 3 が平面 0.32 m × 0.24 m、深さ 0.33 m、P 4 が平面 0.32 m × 0.28 m、深さ 0.78 m、P 5 が平面 0.30 m × 0.24 m、深さ 0.61 m を測る。掘り方：表面は凹があり、全体的に掘り込まれている。住居跡中央部分が高く、壁側に向かって低くなる。掘り方調査では、床下土坑1基（D 2）とビット1基（P 6）が検出された。各土坑・ビットの規模は、D 2 が平面 0.68 m × 0.58 m、深さ 0.09 m、P 6 は平面 0.29 m × 0.27 m、深さ 0.27 m を測る。遺構埋没状態：埋没土は、A s - C・H r - F A 軽石・ロームブロックを含む暗褐色土と黒褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。遺物出土状態：埋没土から破片資料が少量出土している。床面上から出土する遺物は少ない。出土遺物：本住居跡に帰属する遺物として、土器類・甕等が出土しており、このうち4点を掲載している。時期：7世紀代。

H - 17 号住居跡 (Fig. 25・26・107 / Tab. 23 / P L .11・28)

位置：X 15・16、Y 241・242 グリッド。主軸方位：N -62° - E。重複：遺構の重複は確認されない。住居跡西側の一部が調査区外に及ぶ。形状：残存部分から、長方形状を呈するものと想定される。規模：5.27 m × 4.73 m。残存深度：0.52 m。面積：24.93 m²。床面の状態：表面は比較的なだらかで、凹凸は少ない。住居跡北西壁から南東壁に向かって緩やかに低くなり、硬くしまっている。壁周溝：検出範囲では、新カマド周辺を除き全周する。カマド：新旧 2 基のカマドが確認された。住居跡北東壁やや南寄りと南西壁やや南寄りにそれぞれ付設され、貯蔵穴や床面、壁周溝の検出状況から、北東カマド（旧カマド）が南西カマド（新カマド）より古いと考えられる。新カマドは、北西側半分が調査区外に及ぶ。規模は長さ [0.59] m、幅 [0.47] m を測る。袖の残存は不良で、床面に燃焼部の浅い窪みが確認されるに留まる。埋没土は、A s - C・ロームブロック・白色粘土・焼土・炭化粒を含む暗褐色土と褐色土、黒褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。旧カマドの規模は長さ 1.34 m、幅 0.20 m を測る。袖は据え替え時に撤去されており、煙道部のみの残存となっている。なお、煙道部底面から壁面下部にかけては、被熱の痕跡が確認される。埋没土は、A s - C・ロームブロック・焼土・白色粘土・灰を含む暗褐色土とぶい黄褐色土、褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。貯蔵穴：新旧 2 基の貯蔵穴が確認されている。新貯蔵穴は、住居跡南コーナー付近に付設され、平面 0.89 m × 0.74 m、深さ 0.72 m を測り、長方形状を呈する。同貯蔵穴周囲には幅 0.11 m ～ 0.32 m、深さ 0.14 m を測るテラス状の掘り込みが認められ、蓋の存在が想定される。埋没土は、ロームブロックと A s - C・炭化粒を含む暗褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。旧貯蔵穴の規模は平面 0.67 m × 0.58 m、深さ 0.54 m を測り、楕円形状を呈する。埋没土は、ロームブロック・焼土・

白色粘土中量と A s - C ・炭化粒を微量含む暗褐色土を主体とし、古いカマドを破壊した土で埋め戻されたと想定される。また、埋没土最上層で貼床が確認されることから、同貯蔵穴の上部は新しく床面をつくる際に削平されたと考えられる。柱穴：主柱穴と考えられる3基のビット（P 1～P 3）が検出された。柱痕は確認されていない。各ビットの規模は、P 1が平面 0.39 m × 0.33 m、深さ 0.26 m、P 2が平面 0.21 m × 0.19 m、深さ 0.66 m、P 3が平面 0.19 m × 0.27 m、深さ 0.35 m を測る。掘り方：表面には凹凸があり、全体的に掘り込まれている。住居跡中央部分が高く、壁側に向かって低くなり、南東壁際が特に低い。掘り方調査で床下土坑やビットは検出されなかつた。遺構埋没状態：埋没土は、A s - C ・ロームブロック・H r - F A 軽石・焼土・炭化粒を含む暗褐色土と黒褐色土、にぶい黄褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。遺物出土状態：埋没土中からは破片資料が多い。床面直上からの遺物は少ないものの、住居跡南東壁中央付近に集中する傾向がある。南東壁付近では、壁周溝上からやや浮いた状態で土師器壺（1）が出土し、床面直上から薔薇石の可能性がある扁平で楕円形状の礫が3点検出された。出土遺物：本住居跡に帰属する遺物として土師器壺・甕等が出土しており、このうち3点を掲載している。時期：7世紀代。

H - 18 号住居跡 (Fig. 27・107 / Tab. 23 / P.L. 11・28)

位置：X 18・19、Y 240・241 グリッド。主軸方位：N -82° -W。重複：D - 40 号土坑及び搅乱 1 基と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から、本住居跡はD - 40 号土坑より古い。形状：残存部分から、やや不整形の正方形を呈すると想定される。規模：3.46 m × 3.24 m。残存深度：0.30 m。面積：11.21 m²。床面の状態：表面にやや凹凸がみられるものの、比較的なだらかで、硬くしまっている。住居跡中央部分に対し、壁際が僅かに高くなる。壁周溝：検出範囲では、住居跡北壁・西壁・南壁で確認されるが、北東コーナー付近から東壁において途切れる箇所が存在する。カマド：東壁中央南寄りに付設される。規模は長さ 1.27 m、幅 (0.64) m を測る。埋没土は、焼土・白色粘土・A s - C ・ロームブロックを含む暗褐色土と暗灰色土を主体とし、人為埋没と想定される。貯蔵穴：住居跡南東コーナー付近に付設される。規模は平面 0.59 m × 0.58 m、深さ 0.87 m を測り、円形状を呈する。埋没土は、ロームブロック・A s - C を含む暗褐色土とにぶい黄褐色土を主体とする。同貯蔵穴周囲には、幅 0.09 m ~ 0.14 m、深さ 0.02 m を測るテラス状の掘り込みが認められ、蓋の存在が想定される。柱穴：1基のビット（P 1）が検出されたが、主柱穴と考えられるものは確認されていない。P 1の規模は、平面 0.18 m × 0.16 m、深さ 0.16 m を測る。掘り方：表面に多少の凹凸がみられ、全体的に掘り込まれている。住居跡中央と北東コーナー付近が僅かに高くなる。掘り方調査では、床下土坑 1 基（D 1）が検出された。D 1 の規模は、平面 1.07 m × 1.02 m、深さ 0.11 m を測る。遺構埋没状態：埋没土は、A s - C ・ロームブロック・H r - F A 軽石・焼土・炭化粒を含む暗褐色土と黒褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。遺物出土状態：埋没土からは破片資料が多く、床面直上からの遺物は少ない。出土遺物：本住居跡に帰属する遺物として土師器壺・鉢・甕、須恵器高壺等が出土しており、このうち5点を掲載している。時期：7世紀代。

H - 19 号住居跡 (Fig. 28・29・107 ~ 109 / Tab. 23 ~ 25 / P.L. 12・28 ~ 31)

位置：X 16 ~ 18、Y 240・241 グリッド。主軸方位：N -10° -W。重複：W - 4 号溝と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から、本住居跡はW - 4 号溝より古い。形状：やや不整形の隅丸長方形を呈する。規模：5.65 m × 4.05 m。残存深度：0.43 m。面積：22.88 m²。床面の状態：表面はやや凹凸があり、硬くしまっている。住居跡東側が僅かに低くなる。壁周溝：カマドと貯蔵穴周辺を除き全周する。カマド：北壁中央やや東寄りに付設され、規模は長さ 1.08 m、幅 0.45 m を測る。右袖前端部分の構築材として礫、左袖前端部分の構築材として土師器甕（15）がそれぞれ検出された。左袖構築材の土師器甕（15）は、上半部を逆位にし、下半部を入れ子状にはめ込む形で用いられている。また、カマドの焚口から燃焼部では、土師器甕 5 個体（8・10・11・13・14）

が横位の状態で出土し、(13)・(14)は出土状態から懸架材が崩落したものと想定される。燃焼部床面ほぼ中央部分では、平面 $0.14\text{ m} \times 0.12\text{ m}$ 、深さ 0.09 cm を測るビット（P 6）が検出され、支脚を据えた痕跡であると考えられる。さらに、カマドの埋没土中からは、支脚の一部とみられる礫が検出されている。埋没土はロームブロック・白色粘土・焼土・A s - C・H r - F A 軽石を含む暗褐色土と暗灰色土を主体とし、人為埋没と想定される。貯蔵穴：カマドの右脇にあたる、住居跡北壁中央東寄りに付設される。規模は平面 $0.81\text{ m} \times 0.74\text{ m}$ 、深さ 0.80 m を測り、円形形状を呈する。埋没土は、A s - C・ロームブロック・焼土を含む暗褐色土とにぶい黄褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。柱穴：6基のビット（P 1～P 6）が検出された。このうち主柱穴は P 2・P 3 であり、本住居跡は2本柱穴の構造と考えられる。土層断面の観察から、P 2 で柱痕が確認されている。P 1 は住居跡南壁寄り中央付近で検出され、柱の抜き取り痕が確認された。位置関係から、住居跡の出入口に関係する可能性がある。各ビットの規模は、P 1 が平面 $0.46\text{ m} \times 0.38\text{ m}$ 、深さ 0.15 m 、P 2 が平面 $0.38\text{ m} \times 0.30\text{ m}$ 、深さ 0.33 m 、P 3 が平面 $0.27\text{ m} \times 0.31\text{ m}$ 、深さ 0.40 m 、P 4 が平面 $[0.20]\text{ m} \times 0.36\text{ m}$ 、深さ 0.06 m 、P 5 が平面 $0.36\text{ m} \times 0.23\text{ m}$ 、深さ 0.16 m を測る。掘り方：表面には凹凸があり、全体的に掘り込まれている。住居跡中央部分と南壁付近が高くなる傾向にある。掘り方調査では、ビット 1 基（P 7）が検出された。規模は、平面 $0.45\text{ m} \times 0.40\text{ m}$ 、深さ 0.35 m を測る。遺構埋没状態：埋没土は、A s - C・H r - F A・ロームブロック・焼土・炭化粒を含む暗褐色土と黒褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。また、住居跡北西コーナー及び南西コーナー、南壁付近では床面上より焼土ブロックが検出され、焼失家屋の可能性が想定される。遺物出土状態：住居跡中央部分の埋没土下層より、多量の礫と土器の破片が散在した状態で出土した。いずれも床面よりやや浮いた位置で、東側に分布が集中する。投棄された土器類は土師器壺（9・12・16・17・18）が多く、瓶（6・7）や小型壺（3）、鉢（3・4・5）を含む。出土状況から、これらの遺物は住居跡が埋没途中に座地状となつた段階で投棄されたものと想定される。床面上の遺物としては、カマドの燃焼部内から構築材とみられる土師器壺が多く出土したほか、右袖付近より完形の土師器壺（1）が正位の状態で出土している。出土遺物：本住居跡に帰属する遺物として土師器壺・小型壺・鉢・瓶・台付甕・甕、刀子、石製模造品等が出土しており、このうち 20 点を掲載している。時期：7世紀代。

H - 20 号住居跡 (Fig. 29 / PL. 12)

位置：X 20、Y 239・240 グリッド。主軸方位：N -60° - E。重複：D - 35 号土坑と重複する。埋没土層の観察から、本住居跡は D - 35 号土坑より古い。形状：残存部分から方形形状ないし長方形形状を呈するものと想定される。規模：[2.17] m \times [1.39] m。残存深度：0.47 m。面積：[3.02] m²。床面の状態：表面は比較的なだらかで、ややしまる。住居跡南側が僅かに低くなる。壁周溝：検出範囲では確認されていない。カマド：検出範囲では確認されていない。貯蔵穴：検出範囲では確認されていない。柱穴：2基のビット（P 1・P 2）が検出されたが、主柱穴と想定されるものは確認されていない。各ビットの規模は、P 1 が平面 $0.37\text{ m} \times 0.34\text{ m}$ 、深さ 0.19 m 、P 2 が平面 $0.26\text{ m} \times 0.17\text{ m}$ 、深さ 0.07 m を測る。掘り方：表面には凹凸があり、全体的に掘り込まれている。住居跡中央付近が低く、壁際に向かって高くなる。掘り方調査では、床下土坑 1 基（D 1）が検出された。D 1 の規模は、平面 $0.71\text{ m} \times 0.67\text{ m}$ 、深さ 0.25 m を測る。遺構埋没状態：埋没土は、A s - C・ロームブロック・H r - F A 軽石を含む暗褐色土と黒褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。遺物出土状態：遺物の出土はない。出土遺物：本住居跡に帰属する遺物は出土していない。時期：H r - F A 降下（古墳時代後期）から A s - B 降下（平安時代）に比定される。

H - 21 号住居跡 (Fig. 30 / PL. 12)

位置：X 18・19、Y 242 グリッド。主軸方位：N -80° - W。重複：H - 15 号住居跡と重複する。出土遺物・

埋没土層の観察から、本住居跡はH-15号住居跡より古い。形状：残存部分から方形形状ないし長方形形状を呈するものと想定される。規模：[1.96] m × [1.33] m。残存深度：0.22 m。面積：[2.61] m²。床面の状態：表面は比較的なだらかで、ややしまる。住居跡北壁付近がやや高い。壁周溝：検出範囲では確認されていない。カマド：検出範囲では確認されていない。貯蔵穴：検出範囲では確認されていない。柱穴：検出範囲では確認されていない。掘り方：表面には凹凸があり、全体的に掘り込まれている。住居跡北側が高く、南側が低くなる。掘り方調査では、ピットや床下土坑は検出されなかった。遺構埋没状態：埋没土は、A s - C・ロームブロック・H r - F A軽石を含む暗褐色土と黒褐色土を主体とする。遺物出土状態：埋没土から破片資料が少量出土した。出土遺物：本住居跡に帰属する遺物は出土していない。時期：埋没土の状態からH r - F A降下以降の古墳時代に帰属するものと想定される。

H-22号住居跡 (Fig. 30・31・110 / Tab. 25 / P.L. 12・13・31)

位置：X 16～18、Y 238・239 グリッド。主軸方位：N-86° - E。重複：W-1号溝と重複する。出土遺物と埋没土層の観察から、本住居跡はW-1号溝より古い。形状：方形形状を呈する。規模：5.17 m × 5.00 m。残存深度：0.55 m。面積：25.85 m²。床面の状態：表面には多少の凹凸がみられ、硬くしまっている。住居跡北側が高く、南側に向かって低くなる。壁周溝：カマドと貯蔵穴周辺を除き全周する。カマド：東壁ほぼ中央に付設され、規模は長さ 1.00 m、幅 0.38 m を測る。右袖前端部分に袖石が残存し、その上部で懸架材となる長方形形状の礫が検出された。また、燃焼部上には、設置された状態に近い位置関係で土師器甕 2点（8・10）が出土している。埋没土はA s - C・H r - F A軽石・焼土・ロームブロック・白色粘土・灰・炭化粒を含む暗褐色土と暗灰色土、褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。貯蔵穴：住居跡南東コーナー付近に付設される。規模は平面 0.74 m × 0.49 m、深さ 0.85 m を測り、橢円形形状を呈する。同時墓穴周囲には、幅 0.13 m～0.34 m、深さ 0.13 m を測るテラス状の掘り込みが認められ、蓋の存在が想定される。埋没土は、A s - C・ロームブロックを含む暗褐色土を主体とするほか、上層に焼土と炭化粒が少量確認される。柱穴：7基のピット（P 1～P 7）が検出された。このうち主柱穴はP 2～P 5で、土層断面の観察によりP 3で柱痕が確認されている。P 1とP 7は南壁寄り中央付近に並んで検出された。土層断面の観察によりP 1で柱痕が確認されており、出入口に関係するピットであると想定される。各ピットの規模は、P 1が平面 0.29 m × 0.28 m、深さ 0.16 m、P 2が平面 0.48 m × 0.35 m、深さ 0.72 m、P 3が平面 0.67 m × 0.61 m、深さ 0.78 m、P 4が平面 0.36 m × 0.29 m、深さ 0.74 m、P 5が平面 0.51 m × 0.38 m、深さ 0.59 m、P 6が平面 0.54 m × 0.44 m、深さ 0.11 m、P 7が平面 0.22 m × 0.19 m、深さ 0.15 m を測る。掘り方：表面には凹凸があり、全体的に掘り込まれている。住居跡南側がやや低くなる。掘り方調査では、床下土坑3基（D 1～D 3）とピットが2基、間仕切り溝5条が検出された。各土坑・ピットの規模は、D 1が平面 0.93 m × 0.82 m、深さ 0.42 m、D 2が平面 1.19 m × 1.04 m、深さ 0.15 m、D 3が平面 1.26 m × 0.34 m、深さ 0.20 m、P 8が平面 0.33 m × 0.26 m、深さ 0.50 m、P 9が平面 0.34 m × 0.29 m、深さ 0.55 m を測る。間仕切り溝1は、西壁からP 2方向へ直線的に延び、上端幅 0.37 m～0.29 m、深さ 0.25 m～0.22 m を測る。間仕切り溝2は、北壁から南方向に直線的に延び、上端幅 0.45 m～0.43 m、深さ 0.26 m～0.19 m を測る。間仕切り溝3は、東壁からP 5方向に直線的に延び、上端幅 0.34 m～0.29 m、深さ 0.16 m～0.17 m を測る。間仕切り溝4は、西壁からP 9方向に直線的に延び、上端幅 0.35 m～0.20 m、深さ 0.18 m～0.15 m を測る。間仕切り溝5は、西壁からP 3方向に直線的に延び、上端幅 0.37 m～0.35 m、深さ 0.17 m～0.14 m を測る。遺構埋没状態：埋没土は、A s - C・H r - F A軽石・ロームブロック・炭化粒・焼土を含む暗褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。遺物出土状態：埋没土からの破片資料が多く、床面上から出土する遺物は少ない。残存状態が良好な遺物は、主にカマドと貯蔵穴周辺から出土している。カマド内からは、土師器甕 2点（8・10）が横に並んだ状態で検出された。短頭壺（6）は、カマド左袖脇の床面上から正位の状

態で検出された。土師器甕（9）は住居跡南東コーナー付近に据えられた状態で出土した。**出土遺物**：本住居跡に帰属する遺物として土師器坏・鉢・甕・、須恵器短頸甕、二次利用遺物として石皿1点等が出土した。以上のおうち11点を掲載している。**時期**：7世紀代。

H - 23号住居跡 (Fig. 32・33・111 / Tab. 25・26 / P L. 13・32)

位置：X 22～24、Y 231・232 グリッド。**主軸方位**：N -13° - W。**重複**：確認されていない。南東コーナーが調査区外に及ぶ。**形状**：隅丸長方形状を呈する。**規模**：6.74 m × 5.74 m。**残存深度**：0.61 m。**面積**：38.69 m²。**床面の状態**：表面には多少の凹凸がみられ、硬くしまっている。住居跡北側と西側がやや高い。**壁周溝**：検出範囲では、住居跡南西コーナーの一部を除き全周する。**炉跡**：確認されていない。**貯蔵穴**：確認されていない。**柱穴**：12基のピット（P 1～P 12）が検出された。このうち主柱穴はP 2～P 5で、柱痕は確認されていない。なお、これらの柱穴は埋没土層の観察から、ある程度住居跡の埋没が進んだ段階で、埋没土を振り返し柱を抜き取っているものと捉えられた。各ピットの規模は、P 1が平面0.59 m × 0.58 m、深さ0.12 m、P 2が平面1.37 m × 1.33 m、深さ1.22 m、P 3が平面1.53 m × 1.2 m、深さ1.06 m、P 4が平面1.45 m × 1.42 m、深さ1.11 m、P 5が平面1.15 m × 0.97 m、深さ1.05 m、P 6が平面0.33 m × 0.30 m、深さ0.15 m、P 7が平面0.37 m × 0.20 m、深さ0.12 m、P 8が平面0.66 m × 0.50 m、深さ0.21 m、P 9が平面0.58 m × 0.47 m、深さ0.27 m、P 10が平面0.36 m × 0.35 m、深さ0.20 m、P 11が平面0.37 m × 0.29 m、深さ0.15 m、P 12が平面0.31 m × 0.27 m、深さ0.31 mを測る。**掘り方**：表面には凹凸があり、全体的に振り込まれている。住居跡中央部分が特に高く、南壁と東壁付近が低くなる。振り方調査では、ピット3基（P 13～15）が確認された。各ピットの規模は、P 13が平面0.34 m × 0.30 m、深さ0.19 m、P 14が平面0.58 m × 0.55 m、深さ0.35 m、P 15が平面0.21 m × 0.20 m、深さ0.23 mを測る。**構造埋没状態**：埋没土上位でH r- F A火山灰の一次堆積層が検出された。埋没土下位の土は、A s・C・H r- F A軽石・ロームブロック・焼土・炭化粒を含む黒褐色土と暗褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。**遺物出土状態**：住居跡南西コーナー付近と各主柱穴（P 2～P 5）周辺に遺物が分布する。いわゆる床面からやや浮いた状態で出土しており、住居の埋没時に伴うものと考えられる。また、住居跡北東部壁付近の床面直上で、薔薇石とみられる扁平で楕円形状の礫が13点まとめて検出された。このほかにも3点、薔薇石とみられる同様の礫が住居跡内に散在している。**出土遺物**：本住居跡に帰属する遺物として土師器坏・台付鉢・器台・鉢・甕・台付甕・甕等が出土しており、おうち14点を掲載している。**時期**：4世紀代。

H - 24号住居跡 (Fig. 34・35・112・113 / Tab. 26・27 / P L. 13・14・32・33)

位置：X 19～21、Y 233・234 グリッド。**主軸方位**：N -66° - E。**重複**：D - 37号土坑と重複する。出土遺物と埋没土層の観察から、本住居跡はD - 37号土坑より古い。**形状**：やや不整形の台形状を呈する。**規模**：4.58 m × 4.06 m。**残存深度**：0.42 m。**面積**：18.595 m²。**床面の状態**：土層断面の観察から、新旧二面の貼床が確認された。新しい貼床は比較的だらかで、住居跡北側が僅かに低く、カマドの付け替えに伴い補修されたとみられる。古い貼床は多少の凹凸がみられ、中央南寄りがやや高い。新旧ともに貼床は硬くしまっている。**壁周溝**：新旧各床面に伴う壁周溝が確認されている。新しい床面に伴う壁周溝は、カマド周辺と貯蔵穴、住居跡南東コーナー付近を除き全周する。一方、古い床面に伴う壁周溝は、カマド付近を除き全周する。**カマド**：新旧2基のカマドが確認された。住居跡東壁中央やや北寄りと西壁ほぼ中央にそれぞれ付設され、貯蔵穴の新旧関係から、東カマドが西カマドより古いと考えられる。新しいカマドの規模は、長さ（0.99）m、幅0.38 mを測る。袖前端部分の構築材として礫が用いられており、袖上部の架橋として土師器甕1個体（13）が検出された。なお、この土師器甕は検出途中に崩れ落ちてしまったため、平面図に示すことができなかった。埋没土はロームブロック・A s-

C・焼土・灰・炭化粒を含む暗褐色土と灰色土、暗灰色土を主体とし、人為埋没と想定される。旧カマドの規模は長さ 0.98 m を測り、幅は不明である。袖は残存せず、床面と壁面で燃焼部の掘り込みが僅かに確認されるのみである。埋没土は、A s - C・ロームブロック・H r - F A 軽石・白色粘土・焼土・炭化粒を含む暗褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。貯蔵穴：新旧のカマドに伴う 3 基の貯蔵穴が確認された。新カマドに伴うとみられる貯蔵穴は 2 基検出されている。新貯蔵穴 1 は住居跡北西コーナー附近に付設され、平面 1.00 m × 0.87 m、深さ 0.35 m を測る。埋没土はロームブロックを中へ多量に含む暗褐色土を主体とする。新貯蔵穴 2 は住居跡南西コーナー附近に付設される。平面 0.76 m × 0.46 m、深さ 0.65 m を測り、楕円形状を呈する。埋没土は A s - C・ロームブロック・焼土・炭化粒を含む黒褐色土と暗褐色土を主体とする。新貯蔵穴 1 は掘り込みが浅く、不整形を呈することから、本来のカマドに伴うものは新貯蔵穴 2 であると考えられる。一方、古いカマドに伴う貯蔵穴は、住居跡南東コーナー附近に付設される。平面 0.67 m × 0.53 m、深さ 0.60 m を測り、楕円形状を呈する。埋没土は、ロームブロック・A s - C・炭化粒・焼土を含む暗褐色土と黒褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。柱穴：主柱穴と考えられる 4 基のピット（P 1～P 4）が検出されたが、これらのピットで柱痕は確認されていない。各ピットの規模は、P 1 が平面 0.32 m × 0.29 m、深さ 0.45 m、P 2 が平面 0.17 m × 0.15 m、深さ 0.18 m、P 3 が平面 0.25 m × 0.22 m、深さ 0.40 m、P 4 が平面 0.28 m × 0.23 m、深さ 0.66 m を測る。掘り方：表面は凸凹で全体的に掘り込まれている。中央部分が高く、壁側に向かって低くなる。掘り方調査では、ピット 4 基（P 5～P 8）が検出された。各ピットの規模は、P 5 が平面 0.18 m × 0.17 m、深さ 0.24 m、P 6 が平面 0.21 m × 0.18 m、深さ 0.20 m、P 7 が平面 0.55 m × 0.29 m、深さ 0.14～0.42 m、P 8 が平面 0.33 m × 0.26 m、深さ 0.42 m を測る。遺構埋没状態：埋没土は、A s - C・H r - F A 軽石・ロームブロック・焼土・炭化粒を含む暗褐色土と黒褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。遺物出土状態：埋没土中からの破片資料のほか、新カマドや新貯蔵穴 1・2 周辺で残存状態の良好な遺物が多く出土している。新カマド前面のほぼ中央では、正位の土師器壺 2 点（2・3）が東西に並んだ状態で出土しており、意図的に置かれた可能性が考えられる。土師器壺（11）は、住居跡南壁際で住居の内方向に倒れた状態で出土しており、棚からの落下が想定される。また、住居跡北東コーナー附近では、扁平で楕円形状の礫が 6 点散在しており、薬綱石であると考えられる。このほか、石製模造品 1 点（14）が住居跡北東の床面直上で出土した。出土遺物：本住居跡に帰属する遺物として土師器壺・鉢・壺・台付壺・甕・臼玉等が出土しており、このうち 14 点を掲載している。

時期：7 世紀代。

H - 25 号住居跡 (Fig. 36・113 / Tab. 27 / P L. 14・34)

位置：X 21・22、Y 234・235 グリッド。主軸方位：N -65° - E。重複：H - 28 号住居跡と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は H - 28 号住居跡より新しい。形狀：長方形を呈する。規模：4.17 m × 3.20 m。残存深度：0.45 m。面積：13.344 m²。床面の状態：表面は比較的なだらかで、住居跡南西壁付近が僅かに低い。掘り方の四部に部分的に土を充填することで床面を形成しており、貼床は殆どみられない。壁周溝：カマド周辺を除き全周する。カマド：北東壁や南寄りに付設され、規模は長さ 0.81 m、幅 0.40 m を測る。カマドの構築材として白色粘土を使用している可能性があるが、袖の基部は地山の掘り残しである。埋没土は A s - C・ロームブロック・焼土・炭化粒・白色粘土を含む暗褐色土とがい黄褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。貯蔵穴：住居跡南東コーナー附近に付設される。規模は平面 0.66 m × 0.52 m、深さ 0.79 m を測り、楕円形状を呈する。同貯蔵穴周囲には、幅 0.04 m × 0.38 m を測る土手状の高まりが検出されている。埋没土は、A s - C とロームブロックを含む暗褐色土と暗灰色土を主体とし、人為埋没と想定される。柱穴：5 基のピット（P 1～P 5）が検出されたが、主柱穴と考えられるものは確認されていない。各ピットの規模は、P 1 が平面 0.14 m × 0.12 m、深さ 0.25 m、P 2 が平面 0.21 m × 0.21 m、深さ 0.09 m、P 3 が平面 0.37 m × 0.34 m、深さ 0.27 m、

P 4 が平面 $0.21\text{ m} \times 0.20\text{ m}$ 、深さ 0.15 m 、P 5 が平面 $0.28\text{ m} \times 0.26\text{ m}$ 、深さ 0.18 m を測る。掘り方：表面は凸凹で全体的に掘り込まれている。掘り方調査では床下土坑 5 基 (D 1～D 5) とピット 1 基 (P 6) が検出された。各土坑・ピットの規模は、D 1 が平面 $1.05\text{ m} \times 0.80\text{ m}$ 、深さ 0.18 m 、D 2 が平面 $1.45\text{ m} \times 1.32\text{ m}$ 、深さ 0.15 m 、D 3 が平面 $0.86\text{ m} \times 0.48\text{ m}$ 、深さ 0.32 m 、D 4 が平面 $0.50\text{ m} \times 0.39\text{ m}$ 、深さ 0.12 m 、D 5 が平面 $0.84\text{ m} \times 0.57\text{ m}$ 、深さ 0.37 m 、P 6 が平面 $0.37\text{ m} \times 0.27\text{ m}$ 、深さ 0.18 m を測る。遺構埋没状態：埋没土は、A s - C・ロームブロック・H r - F A・軽石・炭化粒を含む暗褐色土と黒褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。遺物出土状態：埋没土からの破片資料が多い。床面直上の遺物としては、住居跡南東の壁際付近より出土した土器壺 2 点 (1・2) と床面直上より出土した須恵器甕 1 点 (4) が挙げられる。出土遺物：本住居跡に帰属する遺物として土器壺、須恵器甕等が出土しており、このうち 4 点を掲載している。時期：7 世紀代。

H - 26 号住居跡 (Fig. 37・113 / Tab. 28 / P L . 14・15・34)

位置：X 14・15、Y 236・237 グリッド。主軸方位：N -76° - W。重複：住居跡南東壁において溝状の搅乱が重複している。形状：やや不整形の隅丸方形状を呈する。規模： $3.68\text{ m} \times 3.52\text{ m}$ 。残存深度： 0.40 m 。面積： 12.95 m^2 。床面の状態：表面には多少の凹凸があり、硬くしまっている。住居跡北東壁側がやや低くなる。壁周溝：住居跡東壁の搅乱と貯蔵穴周辺を除き全周する。カマド：南東壁ほぼ中央に付設されるが、溝状の搅乱によりカマドの北半分が破壊され、南半分のみ残存している。規模は残存部分で長さ [0.43] m を測り、幅は不明である。カマドの構築材として白色粘土が使用されており、右袖前端部分に被構築材の礫が据えられた状態で検出されている。また、住居跡ほぼ中央および南西壁付近の床面上で $20\sim40\text{ cm}$ 大の河原石が検出されており、投棄されたカマドの構築材であると考えられる。埋没土は、A s - C・ロームブロック・白色粘土・炭化粒・焼土を含む暗褐色土と黒褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。貯蔵穴：住居跡南東コーナー付近に付設される。規模は平面 $0.66\text{ m} \times 0.57\text{ m}$ 、深さ 0.42 m を測り、楕円形状を呈する。同貯蔵穴の周囲には、幅 $0.08\text{ m} \times 0.20\text{ m}$ 、深さ $0.03\text{ m} \sim 0.08\text{ m}$ を測るテラス状の掘り込みが認められる。さらに、掘り込みの外側は土手状にやや高まる形となり、貯蔵穴に蓋が存在したと想定される。埋没土は A s - C・ロームブロックを含む黒褐色土とにぶい黄褐色土、暗褐色土を主体とする。柱穴：検出範囲では確認されていない。掘り方：表面は凸凹で、全体的に掘り込まれている。住居跡南側が高く、北側が低くなる。掘り方調査では、床下土坑 1 基 (D 1) が検出された。D 1 は、カマド前面やや北寄りに位置し、平面 [0.70] m $\times 0.52\text{ m}$ 、深さ 0.11 m を測る。遺構埋没状態：埋没土は、A s - C・ロームブロック・H r - F A・焼土を含む暗褐色土と黒褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。遺物出土状態：埋没土からの破片資料が多い。住居跡中央付近から遺物がやまとまって出土している。床面直上の遺物は少なく、貯蔵穴南側の床面直上より出土した土器鉢 1 点 (2) が挙げられる。このほか、住居跡北東コーナーの埋没土下層より土器壺 1 点 (1) が出土している。また、住居跡ほぼ中央から南壁際にかけての床面直上では、約 $20\sim30\text{ cm}$ 大の礫が散在した状態で検出された。出土遺物：本住居跡に帰属する遺物として土器壺・鉢・鐵鏃等が出土しており、このうち 3 点を掲載している。時期：7 世紀代。

H - 27 号住居跡 (Fig. 38・114 / Tab. 28 / P L . 15・34)

位置：X 18・19、Y 229・230 グリッド。主軸方位：N -9° - E。重複：J - 1 号住居跡、J D - 100 号土坑、C - 1 号方形周溝墓と重複する。出土遺物と埋没土層の観察から、本住居跡は J - 1 号住居跡、J D - 100 号土坑より新しく、C - 1 号方形周溝墓より古い。形状：やや不整形の長方形状を呈する。規模： $3.66\text{ m} \times 3.16\text{ m}$ 。残存深度： 0.29 m 。面積： 11.57 m^2 。床面の状態：表面は比較的のなだらかである。住居跡中央部分が僅かに高く、南壁付近がやや低い。貼床は全体的にしまりがある。壁周溝：確認されていない。炉跡：住居跡中央西寄りで検

出され、規模は平面 $0.91\text{ m} \times 0.71\text{ m}$ 、深さ 0.05 m を測る。炉跡の中央やや東寄りで南北軸 0.58 m 、幅 0.17 m 、深さ 0.06 m を測る溝状の落ち込みが確認されており、炉石（枕石）の抜き取り痕と想定される。埋没土は、A s - C・焼土・炭化粒を含む暗褐色土と褐色土を主体とする。**貯蔵穴**：確認されていない。**柱穴**：確認されていない。**掘り方**：表面の凹凸は、住居跡東壁から中央部分で頗著である一方で、北壁・西壁・南壁付近では比較的なだらかである。掘り方調査では、ピット 1 基（P 1）が検出されており、平面 $0.28\text{ m} \times 0.27\text{ m}$ 、深さ 0.17 m を測る。**遺構埋没状態**：埋没土は、A s - C・ロームブロックを含む黒褐色土と暗褐色土を主体とする。**遺物出土状態**：埋没土からの破片資料が多い。床面直上で遺物はみられない。**出土遺物**：本住居跡に帰属する遺物として土師器甕等が出土しており、このうち 1 点を掲載している。**時期**：4 世紀代。

H - 28 号住居跡 (Fig. 39・114 / Tab. 28 / P L. 15・34)

位置：X 21・22、Y 233・234 グリッド。**主軸方位**：N - 8° - E。**重複**：H - 25 号住居跡と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は H - 25 号住居跡より古い。**形状**：残存部分から、長方形状を呈するものと想定される。**規模**： $3.50\text{ m} \times [3.07]\text{ m}$ 。**残存深度**： 0.12 m 。**面積**： $[10.75]\text{ m}^2$ 。**床面の状態**：表面には多少の凹凸があり、硬くしまっている。住居跡西側が東側より僅かに低い。**壁周溝**：検出範囲では確認されていない。**炉跡**：検出範囲では確認されていない。**貯蔵穴**：検出範囲では確認されていない。**柱穴**：1 基のピット（P 1）が検出されたが、主柱穴と考えられるものは確認されていない。P 1 の規模は、平面 $0.57\text{ m} \times 0.56\text{ m}$ 、深さ 0.20 m を測る。**掘り方**：表面はの凹凸は住居跡中央部分が頗著で、全体的に掘り込まれている。住居跡西側が低くなる。掘り方調査では、ピット 1 基（P 2）が検出された。規模は、平面 $0.34\text{ m} \times 0.33\text{ m}$ 、深さ 0.29 m を測る。**遺構埋没状態**：埋没土は、A s - C・ロームブロックを含む暗褐色土と黒褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。**遺物出土状態**：埋没土から破片資料が少量出土した。床面直上で遺物はみられない。**出土遺物**：本住居跡に帰属する遺物として土師器甕等が出土しており、このうち 1 点を掲載している。**時期**：4 世紀代。

H - 29 号住居跡 (Fig. 40・41・114・115 / Tab. 28・29 / P L. 15・16・34・35)

位置：X 12・13、Y 236 ~ 238 グリッド。**主軸方位**：N - 84° - W。**重複**：北壁においてピット 1 基、東西の壁において搅乱 3 基と重複する。**形状**：方形状を呈する。**規模**： $5.92\text{ m} \times 5.75\text{ m}$ 。**残存深度**： $0.30\text{ m} \sim 0.48\text{ m}$ 。**面積**： 34.04 m^2 。**床面の状態**：土層断面の観察から新旧の貼床が確認された。新しい貼床は多少の凹凸が見られ、中央部分がわずかに高く、硬化する。また、床面直上で焼土ブロックや炭化物の散在がみられることから、焼失家屋の可能性が想定される。古い貼床はやや凹凸がみられるものの、比較的なだらかで、部分的に硬化する。古い貼床の直上においては焼土や炭化物は確認されていない。**壁周溝**：新旧各床面に伴う壁周溝が確認されている。新しい床面に伴う壁周溝は、西壁の搅乱と新しい貯蔵穴周辺を除き全周する。一方、掘り方調査時に検出された壁周溝は、古い床面に伴うもので、東壁中央付近で途切れる箇所が存在する。**カマド**：壁面に重複する搅乱によつて破壊され、ほとんど痕跡が認められない。ただし、壁周溝や貯蔵穴の検出状況を踏まえると、東壁および西壁の両壁面に付設された可能性が高く、いずれもやや南に寄るものと想定される。**貯蔵穴**：新旧 2 基の貯蔵穴が確認されている。新貯蔵穴は住居跡南西コーナー付近に付設される。規模は平面 $0.82\text{ m} \times 0.65\text{ m}$ 、深さ 1.07 m を測り、隅丸長方形状を呈する。埋没土上位にカマドからの流れ込みとみられる白色粘土や炭化物、焼土粒を含有する。同貯蔵穴の周囲には、幅 $0.17\text{ m} \sim 0.20\text{ m}$ 、深さ 0.25 m を測るテラス状の掘り込みが認められ、蓋の存在が想定される。旧貯蔵穴は掘り方調査時に検出され、住居跡南東コーナーに位置する。規模は平面 $0.70\text{ m} \times 0.48\text{ m}$ 、深さ 0.88 m を測り、隅丸長方形状を呈する。埋没土はロームブロックを多量に含む暗褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。**柱穴**：5 基のピット（P 1 ~ P 5）が検出された。このうち主柱穴は P 1・P 2・P 3・P 4 である。

土層断面の観察からP 1・P 4で柱痕を確認し、P 2・P 4の底面で柱の当たりによる硬化が捉えられた。P 4からは、下半部を欠損した土師器甕2個体(11・12)が入れ子状態で出土し、柱痕はこの甕の内部を貫通する状態で確認されている。P 5は南壁寄り中央付近で検出された。位置関係から、住居跡の出入り口に関する可能性がある。各ビットの規模は、P 1が平面 $0.56\text{ m} \times 0.50\text{ m}$ 、深さ 0.64 m 、P 2が平面 $0.70\text{ m} \times 0.52\text{ m}$ 、深さ 0.63 m 、P 3が平面 $0.42\text{ m} \times 0.34\text{ m}$ 、深さ 0.67 m 、P 4が平面 $0.69\text{ m} \times 0.61\text{ m}$ 、深さ 0.82 m 、P 5が平面 $0.42\text{ m} \times 0.40\text{ m}$ 、深さ 0.17 m を測る。**掘り方**：表面には凹凸があり、全体的に深く掘り込まれている。中央部分が特に高く、壁面付近が低くなる。掘り方調査では、ビット5基(P 6～P 10)、床下土坑1基(D 1)、間仕切り溝が2条検出されている。P 6は平面 $0.38\text{ m} \times 0.26\text{ m}$ 、深さ 0.10 m を測り、底面に硬化部分が2箇所認められる。その他のビットや床下土坑の規模は、P 7が平面 $0.3\text{ m} \times 0.28\text{ m}$ 、深さ 0.124 m 、P 8が平面 $0.18\text{ m} \times 0.14\text{ m}$ 、深さ 0.27 m 、P 9が平面 $0.3\text{ m} \times 0.28\text{ m}$ 、深さ 0.28 m 、P 10が平面 $0.18\text{ m} \times 0.16\text{ m}$ 、深さ 0.42 m 、D 1が平面 $1.15\text{ m} \times 1.08\text{ m}$ 、深さ 0.152 m を測る。間仕切り溝1は、北壁からP 2方向へ直線的に延び、上端幅 $0.24\text{ m} \sim 0.16\text{ m}$ 、深さ $0.17\text{ m} \sim 0.15\text{ m}$ を測る。間仕切り溝2は、東壁からP 3方向に直線的に延び、上端幅 $0.28\text{ m} \sim 0.26\text{ m}$ 、深さ $0.18\text{ m} \sim 0.13\text{ m}$ を測る。**遺構埋没状態**：埋没土は、ローム粒・ロームブロック・焼土・炭化物・A s - C・H r - F A軽石を含む暗褐色土とぶい黄褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。**遺物出土状態**：遺物は埋没土から多く出土し、床面上では少ない。床面付近の遺物としては、新貯蔵穴周辺から出土した土師器甕2点(10・13)と南壁周溝上から出土した土師器壺2点(1・4)が挙げられる。このほか、西壁付近より石製鍊錠車(14)が浮いた状態で1点出土した。**出土遺物**：本住居跡に帰属する遺物として土師器壺・鉢・台付甕・甕・皿・須恵器壺・石製鍊錠車等が出土しており、このうち14点を掲載している。**時期**：7世紀代。

H-30号住居跡 (Fig. 42・115 / Tab. 29 / P L . 16・35)

位置：X 11・12、Y 238・239グリッド。**主軸方位**：N-59°-W。**重複**：住居跡北西壁においてD-50号土坑と重複する。同土坑と本住居跡の両方から灰釉陶器の出土が確認されており、帰属年代は近接するとみられる。なお、埋没土層の観察から、本住居跡はD-50号土坑より古い。**形状**：やや不整形の長方形形状を呈する。**規模**： $3.45\text{ m} \times 2.70\text{ m}$ 。**残存深度**：0.33m。**面積**：9.32 m²。**床面の状態**：表面は比較的なだらかで、硬くしまっている。**壁面付近**がやや高く、中央に向かって僅かに低くなる。**壁周溝**：確認されていない。**カマド**：南東壁南寄りに付設されており、規模は長さ 1.02 m 、幅 0.35 m を測る。カマド袖前端部分の構築材として礫が検出された。埋没土はA s - C・ロームブロック・焼土・白色粘土を含む暗褐色土と黒褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。**貯蔵穴**：住居跡南コーナー付近に付設される。規模は平面 $0.75\text{ m} \times 0.53\text{ m}$ 、深さ 0.23 m を測り、形状は不整形である。埋没土はA s - C・ロームブロックを含む暗褐色土を主体とし、自然埋没と想定される。貯蔵穴の壁面から底面の一部で白色粘土が検出されており、貯蔵穴の内面に白色粘土が貼付けられていた痕跡と考えられる。**柱穴**：確認されていない。**掘り方**：表面は、床下土坑が存在する中央部分を除いて凹凸がみられ、全体的に掘り込まれている。住居跡壁面付近に対して中央部分がやや低い。掘り方調査では、床下土坑1基(D 1)が検出された。D 1は住居跡中央に位置し、平面 $1.29\text{ m} \times 1.19\text{ m}$ 、深さ 0.16 m を測る。**遺構埋没状態**：埋没土は、ロームブロック・A s - C・焼土を含む暗褐色土と黒褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。**遺物出土状態**：住居跡埋没土からは、破片資料が少量出土した。床面上からは、須恵器皿(1)・灰釉陶器皿(2)が出土しており、カマド前面や北寄り及び住居跡中央北寄りにそれぞれ分布している。**出土遺物**：本住居跡に帰属する遺物として須恵器壺・灰釉陶器皿・土師器甕等が出土しており、このうち3点を掲載している。**時期**：9世紀代。

H-31号住居跡 (Fig. 43・115 / Tab. 29 / P L . 17・35)

位置：X 9・10、Y 236・237グリッド。**主軸方位**：N-4°-W。**重複**：住居跡北東コーナー及び西側半分に

おいて搅乱 7 基と重複している。形状：やや不整形の長方形状を呈する。規模：4.12 m × 3.56 m。残存深度：0.22 m。面積：15.52 m²。床面の状態：表面には若干の凹凸がみられ、硬くしまっている。北壁付近と中央部分がやや高く、南壁に向けて低く傾斜する。住居跡東壁、南壁、西壁付近の床面直上で、焼土や炭化物のブロックが複数検出されており、焼失家屋の可能性が考えられる。床面からは土坑 2 基（D 1・D 2）が検出されている。D 1 は住居跡南壁寄り中央付近に位置し、平面 1.12 m × 0.71 m、深さ 0.52 m を測る。D 2 は住居跡中央西寄りに位置し、平面 0.74 m × 0.37 m、深さ 0.09 m を測る。同土坑は遺構確認時に焼土ブロックが検出されたことから、当初は炉跡と想定した。しかし、埋没土より土師器の瓶が出土したため、炉跡である可能性は低いと判断される。壁周溝：搅乱やピット（P 1）によって切られている部分を除き、全周する。カマド：検出範囲では確認されていない。貯蔵穴：検出範囲では確認されていない。柱穴：1 基のピット（P 1）が検出されたが、主柱穴と考えられるものは確認されていない。P 1 の規模は平面 0.79 m × 0.67 m、深さ 0.17 m を測る。掘り方：表面にやや凹凸がみられるが、比較的均一に浅く掘り込まれている。住居跡北壁から南壁に向かって緩やかに低くなる。掘り方調査では、住居跡北東コーナー付近において床下土坑 2 基（D 3・D 4）が検出された。各土坑の規模は、D 3 が平面 0.94 m × 0.82 m、深さ 0.11 m、D 4 が平面 0.82 m × 0.41 m、深さ 0.24 m を測る。遺構埋没状態：埋没土は、A s - C ・ ロームブロック・炭化粒・焼土を含む黒褐色土と暗褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。遺物出土状態：埋没土から破片資料が少量出土した。床面直上で遺物はみられない。出土遺物：本住居跡に帰属する遺物として土師器瓶等が出土しており、このうち 1 点を掲載している。時期：7 世紀代。

H - 32 号住居跡 (Fig. 44 / P L . 17)

位置：X 20・21、Y 230・231 グリッド。主軸方位：N - 3° - E。重複：C - 1 号方形周溝墓と重複する。埋没土層の観察から、本住居跡は C - 1 号方形周溝墓より古い。また、住居跡中央付近が北西から南東方向に走行する溝状の搅乱によって切られている。形状：やや不整形の方形状を呈する。規模：4.03 m × 3.85 m。残存深度：0.12 m。面積：15.83 m²。床面の状態：住居跡の壁は既に削平されており、遺構確認時に貼床の残存部分を検出した。北側 3 分の 2 は比較的なだらかであるが、南側 3 分の 1 は現代の削平によって床面が破壊されている。残存する貼床の厚さは、約 0.04 m ~ 0.18 m で、硬くしまっている。壁周溝：他遺構との重複部分を除き、全周する。炉跡：中央西寄りの平面 0.46 m × [0.19] m の範囲で焼土が確認されており、炉跡の可能性がある。貯蔵穴：検出範囲では確認されていない。柱穴：検出範囲では確認されてない。掘り方：表面に凹凸があり、全体的に掘り込まれている。住居跡北側から南側に向かって低くなり、北西コーナー付近が特に高い。掘り方調査では、ピットや床下土坑は検出されなかった。遺構埋没状態：本住居跡では遺構確認時に床面が検出されており、埋没土として薄い堆積が一部で認められるに留まる。A s - C ・ ロームブロックを含む黒褐色土を主体としているが、埋没要因は不明である。遺物出土状態：埋没土から破片資料が少量出土した。出土遺物：本住居跡に帰属する遺物は出土していない。時期：埋没土の状態と C - 1 号方形周溝墓との切り合い関係から、4 世紀代と想定される。

H - 33 号住居跡 (Fig. 45・46・115 / Tab. 29・30 / P L . 17・35)

位置：X 12・13、Y 232・233 グリッド。主軸方位：N - 90° - E。重複：確認されていない。形状：隅丸方形状を呈する。規模：5.05 m × 4.85 m。残存深度：0.57 m。面積：24.49 m²。床面の状態：表面の凹凸は少なく、貼床にしまりがある。住居跡北側から南側へ向けて緩やかに傾斜している。壁周溝：カマドと貯蔵穴周辺を除き全周する。カマド：東壁や南寄りに付設され、規模は長さ 1.32 m、幅 0.58 m を測る。崩落土の状態からカマドの構築材として白色粘土を使用していたと想定される。埋没土はロームブロック・焼土・A s - C ・ 白色粘土・H r - F A 軽石・炭化粒を含む暗褐色土と褐色土が主体であり、人為埋没と想定される。貯蔵穴：住居跡南東コーナー付近に付設される。規模は平面 0.64 m × 0.55 m、深さ 0.82 m を測り、橢円形状を呈する。同貯蔵穴周囲

には、幅 0.15 m × 0.26 m、深さ 0.04 m を測るテラス状の掘り込みが認められ、蓋の存在が想定される。埋没土は、A s - C とロームブロックを少量含む暗褐色土が主体であり、自然埋没と考えられる。柱穴：柱穴と考えられる 4 基のビット（P 1 ~ P 4）が検出された。土層断面の観察により、P 1・P 2・P 3・P 4 で柱底が確認された。P 2 は底面の平面形態から 2 基の柱穴が重複すると考えられ、柱の据え替えが行われた可能性がある。各ビットの規模は、P 1 が平面 0.45 m × 0.38 m、深さ 0.55 m、P 2 が平面 0.49 m × 0.37 m、深さ 0.41 m、P 3 が平面 0.53 m × 0.56 m、深さ 0.56 m、P 4 が 0.35 m × 0.28 m、深さ 0.55 m を測る。掘り方：表面には凹凸があり、全体的に掘り込まれている。住居跡北側と中央がやや高く、南側が低い。掘り方調査では、床下土坑 1 基（D 1）とビット 1 基（P 5）、仕切り溝 1 条が検出された。D 1 は住居跡中央東寄りに位置し、平面 0.93 m × 0.81 m、深さ 0.21 m を測る。埋没土から多量の白色粘土が検出されており、カマドの構築材に関連するものと想定される。仕切り溝は、西壁から P 2 方向に概ね直線的に延び、上端幅 0.23 m ~ 0.19 m、深さ 0.08 m ~ 0.05 m を測る。P 5 は P 2 の北東に位置し、平面 0.23 m × 0.21 m、深さ 0.13 m を測る。遺構埋没状態：埋没土上位にあたる 1・2・4 層は、A s - C・H r - F A 軽石・ロームブロック・ローム粒を含む黒褐色土と暗褐色土が主体であり、自然埋没と考えられる。これに対し埋没土中～下位にあたる土層は、ロームブロックの占める割合がやや増加し、炭化物を少量含む暗褐色土とぶい黄褐色土が主体となり、人為埋没と想定される。また、炭化物の混入量から焼失家屋の可能性が考えられる。遺物出土状態：床面よりやや浮いた位置で破片資料が多く出土し、カマド・貯蔵穴・P 1 周辺を中心に分布する。埋没土中からの破片資料が多く、床面直上の遺物は少ない。出土遺物：本住居跡に帰属する遺物として土師器壺・甕等が出土しており、このうち 2 点を掲載している。時期：7 世紀代。

J - 1 号住居跡 (Fig. 46・47・116 / Tab. 30 / P.L. 17・36)

位置：X 18・19、Y 229 ~ 231。主軸方位：N - 24° - W。重複：J D - 100 号土坑、H - 27 号住居跡、C - 1 号方形周溝墓と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から、本住居跡は H - 27 号住居跡、C - 1 号方形周溝墓より古い。また、J D - 100 号土坑との新旧関係は不明である。形状：やや不整形の楕円長方形状を呈する。規模：7.44 m × 4.60 m。残存深度：0.57 m。床面の状態：表面の凹凸は少なく、比較的なだらかである。住居跡中央付近が僅かに低くなる。壁周溝：確認されていない。炉跡：確認されていない。柱穴：床面の検出作業でビットは確認されなかった。遺構埋没状態：埋没土は、白色軽石・A s - Y P・ローム粒・ロームブロック・焼土・炭化粒を含む暗褐色土とぶい黄褐色土を主体とする。本住居跡は、埋没土と地山のローム層との相違が明確ではなく、土器の分布状況から住居跡の範囲を想定した。遺物出土状態：埋没土上層～中層より破片資料が多量に出土したが、床面直上の遺物は少ない。また、住居跡南側に石器類が多く分布する傾向があり、南壁際の埋没土下層より石皿 1 点（9）が出土した。出土遺物：本住居跡に帰属する遺物として縄文土器深鉢、打製石斧、スクレイバー、磨石、石皿等が出土し、このうち 9 点を掲載している。時期：縄文時代前期後半の諸磧 a ~ b 式期に帰属すると想定される。

J - 2 号住居跡 (Fig. 47・117 / Tab. 30 / P.L. 18・36)

位置：X 11・12、Y 230・231。主軸方位：N - 46° - E。重複：確認されていない。形状：不整形の楕円形状を呈する。規模：4.05 m × 3.59 m。残存深度：0.07 m。床面の状態：表面の凹凸は少なく、比較的なだらかである。住居跡西側が僅かに低くなる。壁周溝：確認されていない。炉跡：住居跡中央付近南西寄りの床面上 0.53 m × 0.31 m で焼土が検出されており、地床炉の可能性が考えられる。柱穴：7 基のビットが検出された。これらのビットから柱底は確認できなかったものの、配列から柱穴の可能性を有する。各ビットの規模は、P 1 が平面 0.25 m × 0.21 m、深さ 0.35 m、P 2 が平面 0.22 m × 0.20 m、深さ 0.21 m、P 3 が平面 0.25 m × 0.18 m、

深さ 0.31 m、P 4 が平面 0.28 m × 0.26 m、深さ 0.12 m、P 5 が平面 0.21 m × 0.18 m、深さ 0.25 m、P 6 が平面 0.37 m × 0.28 m、深さ 0.32 m、P 7 が平面 0.27 m × 0.21 m、深さ 0.29 m を測る。遺構埋没状態：埋没土は、ローム粒・ロームブロック・白色軽石・炭化粒を含む暗褐色土とぶい黄褐色土を主体とする。遺物出土状態：埋没土より破片資料が少量出土した。出土遺物：本住居跡に帰属する遺物として縄文土器深鉢等が出土し、このうち 1 点を掲載している。時期：縄文時代中期後半の加曾利 E III 式期に帰属すると想定される。

J - 3 号住居跡 (Fig. 47・117 / Tab. 30・31 / P L . 18・37)

位置：X 13・14、Y 230・231。主軸方位：N - 16° - E。重複：土層断面の観察により、土坑 1 基のプランを確認した。土坑は、直径 1.30 m 程の円形もしくは橢円形状を呈すると想定され、残存深度 0.51 m を測る。遺構の時期は本住居跡より新しく、出土遺物から縄文時代前期後半の諸碳 a 式期に帰属すると考えられる。形状：隅丸長方形形状を呈する。規模：4.56 m × 3.48 m。残存深度：0.41 m。床面の状態：表面の凹凸はほとんどみられず、なだらかである。住居跡北側が僅かに高くなる。壁周溝：確認されていない。炉跡：確認されていない。柱穴：確認されていない。遺構埋没状態：埋没土は、白色軽石・A s - Y P ・ローム粒・ロームブロック・炭化粒を含む暗褐色土とぶい黄褐色土を主体とする。本住居跡は、埋没土と地山のローム層との相違が明確ではなく、土器の分布状況から住居跡の範囲を想定した。遺物出土状態：埋没土上層～中層より破片資料が多量に出土したが、床面直上の遺物は少ない。出土遺物：本住居跡に帰属する遺物として縄文土器深鉢、打製石斧、スクレイバー、凹石等が出土し、このうち 8 点を掲載している。時期：縄文時代前期初頭の花積下層式期に帰属すると想定される。

3 方形周溝墓

C - 1 号方形周溝墓 (Fig. 48・49・118 / Tab. 31 / P L . 18・19・37)

位置：X 17 ~ 21、Y 228 ~ 231 グリッド。主軸方位：N - 90° - E。重複：W - 1 号溝、J - 1 号住居跡、H - 27・32 号住居跡、D - 59・J D - 98・100 号土坑、P - 668・679・680 と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から、本方形周溝墓は J - 1 号住居跡、H - 27・32 号住居跡、J D - 98・100 号土坑より新しく、D - 59 号土坑、W - 1 号溝より古い。また、P - 668・679・680 との新旧関係は不明である。形状：台部は正方形であるが、東西の周溝幅が南北よりもやや広いため、周溝を含めた形状は不整形な状態になる。また、台部に盛り土は認められず、主体部の痕跡も確認されていない。規模：台部が 10.52 m × 10.18 m、周溝を含めた全長が 17.08 m × 14.8 m を測る。残存深度：0.65 m。周溝：断面形は不整形の皿状ないし逆台形状を呈する。周溝の幅は不均一であり、東溝が広い一方で、南西コーナー付近が狭くなり、上端幅 0.80 m ~ 3.98 m、下端幅 0.56 m ~ 3.52 m を測る。底面は台部側が深く、外側に向かって浅くなり、比較的緩やかな傾斜で立ち上がる。また、東側周溝の土層断面の観察では、掘り直しの痕跡が認められる。周溝のコーナー部分は、浅くなる傾向があり、南東コーナーで途切れる部分がみられる。また、北西コーナー付近も西側溝が北側溝に続かずに立ち上がる。遺構埋没状態：埋没土には A s - C が多く含まれ、軽石の角が比較的残る状態であることから、A s - C 降下からそれほど時間が経たないうちに埋没が始まったと考えられる。A s - C ・ロームブロック・炭化粒を含む黒褐色土と暗褐色土を主体とした自然埋没と想定される。遺物出土状態：出土遺物の多くは埋没土から確認され、下層では形の土器結合器台形土器（1）が横位で出土した。底面からは破片資料が少量認められる。出土遺物：本方形周溝墓に帰属する遺物として、土器結合器台形土器・小型壺・甕等が出土しており、このうち 4 点を掲載している。時期：4 世紀代。

C - 2号方形周溝墓 (Fig. 49・50・118 / Tab. 31・32 / P L . 19・37)

位置：X 24 ~ 26、Y 227 ~ 230。主軸方位：N - 20° - W。重複：H - 6号住居跡・P 490と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から、本方形周溝墓はH - 6号住居跡・P - 490より新しい。形状：本方形周溝墓の南東側は、五代江戸屋敷遺跡C - 2号方形周溝墓として既に検出されており、これを踏まえると方形状ないし長方形状を呈すると想定される。規模：検出範囲に限るが、台部が〔3.53〕m × [3.52] m、周溝を含めた全長が〔6.77〕m × [6.50] mを測る。また、五代江戸屋敷遺跡C - 2号方形周溝墓の調査結果から、周溝を含めた全長は21.2 m × 16.8 mになると想定される。残存深度：1.16 m。周溝：断面形は逆台形状を呈する。周溝の幅は不均一で、上端幅1.66 m ~ 3.22 m、下端幅1.06 m ~ 2.76 mを測る。底面は凹凸で、台部側がやや深い傾向にある。また、検出範囲では北西溝東側が1.5 m程広くなり、掘り込みが最も深い。遺構埋没状態：埋没土は、A s - C - H r - F A・ロームブロック・ローム粒・黒色土ブロックを含む暗褐色土と灰褐色土、灰黄褐色土を主体とした自然埋没と想定される。遺物出土状態：出土遺物の多くは埋没土から確認され、下層では土師器器台（1）が正位の状態で出土した。底面からは破片資料が少量認められる。出土遺物：本方形周溝墓に帰属する遺物として、土師器器台・壺・壺・甕等が出土しており、このうち5点を掲載している。時期：4世紀代。

C - 3号方形周溝墓 (Fig. 50 / P L . 19)

位置：X 21 ~ 23、Y 235 ~ 237。主軸方位：N - 22° - W。重複：P - 534 ~ 538と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から、本方形周溝墓は、P - 535・536・538より新しい。また、P 534・537との新旧関係は不明である。形状：検出範囲から、台部は長方形状ないし方形状を呈すると想定される。規模：検出範囲に限るが、台部が〔4.03〕m × [4.42] m、周溝を含めた全長が〔6.05〕m × [5.13] mを測る。残存深度：0.19 m。周溝：断面形は逆台形状ないし「U」字状を呈する。周溝の幅は比較的均一で、上端幅0.54 m ~ 0.97 m、下端幅0.27 m ~ 0.71 mを測る。底面は多少の凹凸がみられるものの、概ねなだらかである。また、同周溝墓は土層断面の観察により逆台形状を呈する掘り方を確認した。掘り方底面は凹凸が少なく比較的平坦であり、埋没土はA s - C - ロームブロックを含む暗褐色土とぶい黄褐色土を主体とする。遺構埋没状態：埋没土は、A s - C - ロームブロックを含む黒褐色土と暗褐色土を主体とした自然埋没と想定される。遺物出土状態：埋没土から後世の流入と捉えられる破片資料が僅かに出土した。出土遺物：本方形周溝墓に帰属する遺物は出土していない。時期：4世紀代。

4 土坑 (Fig. 6・51 ~ 85・119・120 / Tab. 4 ~ 9・32・33・34 / P L . 19 ~ 23・38 ~ 40)

五代伊勢宮VII遺跡では、縄文時代の土坑が66基（J D - 1 ~ 63号土坑）、弥生時代以降の土坑が21基（D - 1 ~ 21号土坑）、同VIII遺跡では、縄文時代の土坑が42基（J D - 64 ~ 102号土坑）、弥生時代以降の土坑が46基（D - 22 ~ 62号土坑）確認されている。なお、整理調査の段階で重複関係を判断した土坑は、枝番号（例：D - 54 a・D - 54 b）によって区別するものとする。以下、時代別に検出状況の概要を記し、各土坑の計測値等をTab. 4 ~ 9に表として示す。

縄文時代の土坑は、絶対的にみて遺物の出土量が少ない傾向にある。比較的良好な遺物が出土したものとしてはJ D - 33号土坑とJ D - 62号土坑、J D - 81号土坑とJ D - 84a号土坑、J D - 98号土坑が挙げられる。J D - 33号土坑では、埋没土中へ下層より加曾利E IV ~ V式期の深鉢が出土した。J D - 62号土坑では、埋没土下層より台石が出土し、砥石としても利用されていた可能性が考えられる。また、同土坑は出土遺物や埋没土層の観察から、縄文時代中期に帰属すると推測される。J D - 81号土坑は、埋没土上層へ中層へ花積下層式土器の破片や石鐵等が検出された。J D - 83 ~ 84・86 ~ 89号土坑、S X - 3号性格不明遺構は、J - 3号住居跡

南側に位置する土坑群と捉えられ、このうち J D - 84a 号土坑の底面で石皿 1 点が出土した。また、同土坑埋没土より花積下層式の土器片が出土していることから、これらの土坑群は J - 3 号住居跡と同時期に帰属すると考えられる。J D - 98 号土坑では、口縁部と底部を欠失した花積下層式土器の深鉢が正位の状態で埋設されていた。深鉢の口縁部は、同土坑に重複する C - 2 号方形周溝墓が築造された際に破壊された可能性が高く、底部は埋設当初から欠失していたとみられる。

弥生時代以降の土坑は、弥生時代、平安時代、古墳時代、A s - B 降下以降に大別される。

弥生時代に帰属する可能性のある土坑としては、D - 10・13・17・46・56 号土坑が挙げられる。これらはいずれも橢円形状を呈し、深さ 2 m 前後を測る土坑で、埋没土上位～中位に A s - C 一次堆積層を含むことから、同一の性格を持つ遺構であると判断される。また、A s - C 一次堆積より下層の埋没土は非常に軟らかく、ロームを主体とする人為埋没土のみで構成される。したがって、A s - C 降下以前に構築され、短期間に埋め戻されたと考えられる。A s - C 一次堆積より下層で遺物の出土がなく、遺構の時期を示す証左に乏しいが、弥生時代後期に帰属すると想定される。さらに位置関係をみると、北東から南西方向にのびる台地の縁辺に沿う形でほぼ一直線に並んでおり、遺構の性格を示す特徴であると把握される。

古墳時代の土坑としては、D - 2 ~ 9、D - 11・12・14・15・16・18・20・44・49・51・52 号土坑が挙げられる。ただし、出土遺物が少ないと認め、明確な時期判断は難しい。このうち、D - 3 ~ 8 号土坑は B - 1 号掘立柱建物跡の柱穴であることが判明している。

平安時代の土坑としては、D - 1・50 号土坑が挙げられる。D - 1 号土坑は、H - 1 号住居跡の中央部を掘り込む形で検出され、南北方向を長軸とする長方形を呈する。土坑北端の埋没土中より 10 世紀に帰属する黒色土器 2 点がほぼ完形の状態で出土し、遺構の性格として土壙墓の可能性が考えられる。ただし鉄釘等、棺の痕跡を示すような遺物は確認されていない。また、本土坑と重複する H - 1 号住居跡は、出土遺物から 9 世紀に帰属すると考えられる。D - 50 号土坑は、H - 30 号住居跡の西壁を掘り込む形で検出され、南北方向を長軸とする長方形を呈する。北東寄りの底面付近では、10 世紀に帰属する灰釉陶器と須恵器碗が正位の状態で出土し、遺構の性格として土壙墓の可能性が考えられる。また、H - 30 号住居跡でも 9 世紀代の須恵器皿が出土している。以上 2 基の土坑は、いずれも平安時代の住居跡と重複する土坑墓と考えられる点で共通しており、構築に際して住居跡との因果関係が想定される。

A s - B 降下以降の土坑は、41 基を数えるが、このうち特徴的な状況を示すものに関して言及する。D - 19・21・43・59 号土坑は、手作業による検出が困難であったため、本遺跡の遺構検出作業終了後に重機による断ち割り調査を行った。この結果、いずれも深さ 3 m 以上に及ぶことを確認したが、底面には至らず、検出を断念した。掘り込みの深さと平面形状から、井戸である可能性が高い。また D - 43 号土坑では、埋没土から馬の頭骨が出土している。D - 38・39 号土坑は、調査区東部中央付近で東西に並んで検出され、出土遺物や埋没土層の観察から、地下式坑であると考えられる。平面形態は異なるものの、いずれも南側がコの字状に張り出寸形状で、堅坑部分であると想定される。D - 38 号土坑は、底面付近の埋没土に天井の落盤とみられるロームブロックが多量に含まれるほか、張り出し部分の底面より疊 3 点と陶器片が出土した。一方、D - 39 号土坑では、天井が落盤した痕跡は確認されていない。

遺跡名	グリット	規模 (m)	深度 (m)	平面形態	発見遺物	時期・備考
D - 1	X 17 Y 227	2.34 × 1.33	0.88	長方形	黒色土器	10 世紀代、H - 1 号住居跡と重複し、本土坑が新しい。暗褐色と灰黃褐色の埋没土に A s - C + H r - F A + ロームブロック + ローム粒、燒土を含む。
D - 2	X 29 Y 225・226	0.92 × 0.55	0.70	鍋丸長方形	-	古墳時代初期、暗褐色と黒褐色の埋没土に A s - C + H r - F A + ロームブロックを含み、土層断面に柱の取り扱い痕が確認される。柱取り方は鍋丸長方形を呈し、柱位置にあたる部分がスローブ状に陥入となる状況である。
D - 3	X 18・19 Y 225・226	1.54 × 0.59	0.80	鍋丸長方形	-	古墳時代中期、B - 1 号掘立柱建物跡、暗褐色と灰黃褐色の埋没土に A s - C + H r - F A + ロームブロックを含み、土層断面に柱痕が確認される。
D - 4	X 19 Y 226	1.30 × 0.67	1.07	鍋丸長方形	-	古墳時代中期、B - 1 号掘立柱建物跡、暗褐色と灰黃褐色の埋没土に A s - C + H r - F A + ロームブロック + ローム粒を含み、土層断面に柱痕が確認される。

Tab. 4 土坑一覧表 (1)

遺跡名	グリット	規模 (m)	深さ (m)	平面形態	堆积物	時期・備考
D - 5	X 18 Y 225 + 226	1.27 × 0.68	1.23	隅丸長方形	—	古墳時代前期。B - 1 号竪立柱建物跡。暗褐色と黒褐色の埋没土に A - C + H r + F A + ロームブロックを含み、土層断面に柱痕が確認される。
D - 6	X 18 + 19 Y 236	1.41 × 0.80	1.09	隅丸長方形	土器部窓	古墳時代前期。B - 1 号竪立柱建物跡。暗褐色と黒褐色の埋没土に A - C + H r + F A + ロームブロックを含む。
D - 7	X 17 + 18 Y 226	1.47 × 0.67	1.38	隅丸長方形	—	古墳時代前期。B - 1 号竪立柱建物跡。暗褐色と黒褐色の埋没土に A - C + H r + F A + ロームブロックを含み、土層断面に柱痕が確認される。
D - 8	X 18 Y 226	1.25 × 0.65	1.07	隅丸長方形	—	古墳時代前期。B - 1 号竪立柱建物跡。暗褐色と黒褐色の埋没土に A - C + H r + F A + ロームブロックを含み、土層断面に柱痕が確認される。
D - 9	X 20 Y 226	0.74 × 0.67	0.64	不整形	—	古墳時代前期。埋没土に A - C + H r + F A + ロームブロックを含み、土層断面に柱痕が確認される。
D - 10	X 21 Y 225	1.89 × 1.39	1.98	楕円形	—	埋没土と黒褐色の埋没土上層に A - C の一次堆積層が認められ。埋没土下層にロームブロック・ローム・粘土を含む。
D - 11	X 17 Y 226	0.48 × 0.46	0.43	楕円形	—	古墳時代前期。暗褐色と黒褐色の埋没土にロームブロック・ローム粘土を含む。
D - 12	X 26 + 27 Y 223	0.83 × 0.79	0.39	楕円形	—	古墳時代前期。暗褐色と黒褐色の埋没土に A - C + ロームブロック・ローム粘土・化粧瓦を含む。
D - 13	X 26 + 27 Y 217	1.53 × 1.11	1.91	楕円形	—	埋没土と黒褐色の埋没土上層に A - C の一次堆積層が認められ。埋没土下層にロームブロック・ローム粘土を含む。
D - 14	X 20 Y 226	1.40 × 0.84	0.29	不整形	—	古墳時代前期。埋没土と黒褐色の埋没土に A - C + ロームブロック・黒色土ブロックを含む。
D - 15	X 25 Y 227	0.54 × 0.47	0.51	不整形	—	古墳時代前期。埋没土と黒褐色の埋没土にロームブロック・ローム粘土を含み、土層断面に柱痕が確認される。
D - 16	X 19 Y 227	0.51 × 0.59	0.60	円形	—	古墳時代前期。埋没土と黒褐色の埋没土にロームブロック・ローム粘土を含む。
D - 17	X 31 + 32 Y 212	1.44 × 0.99	1.77	楕円形	—	古墳時代前期。埋没土と黒褐色の埋没土上層に A - C の一次堆積層が認められ。埋没土下層にロームブロック・ローム粘土・化粧瓦を含む。
D - 18	X 28 Y 267 + 268	0.59 × 0.53	0.22	楕円形	—	古墳時代前期。暗褐色と黒褐色の埋没土に白色粘土・黑色土ブロックを含む。
D - 19	X 31 Y 209	0.80 × 0.72	1.46 ± 1.33	楕円形	—	A - X 月降下以降。暗褐色と黑褐色の埋没土に A - B + 白色粘土・ロームブロック・地土・黏土ブロックを含む。
D - 20	X 15 Y 236	0.68 × 0.36	0.47	不整形	—	古墳時代前期。暗褐色と黒褐色の埋没土にロームブロック・ローム粘土を含む。
D - 21	X 31 Y 210	1.73 × 1.46	1.00 ± 1.13	楕円形	—	A - X 月降下以降。W - 3 号窓と重複し、本土坑が古い。暗褐色と黑褐色の埋没土に A - B + A - C + ロームブロック・ローム粘土・炭化粘土・地土を含む。
D - 22	X 19 Y 236	1.03 × 0.94	0.15	長方形	—	A - X 月降下以降。暗褐色と黑褐色の埋没土に A - C + A - B + ロームブロックを含む。
D - 23	X 19 + 20 Y 239 + 240	1.77 × 1.22	0.37	楕円形	—	A - X 月降下以降。暗褐色と黑褐色の埋没土に A - C + A - B + H r + F A - 軽石・ロームブロックを含む。
D - 24	X 17 Y 242	0.64 × 0.42	0.15	長方形	—	A - X 月降下以降。暗褐色と黑褐色の埋没土に A - B + ロームブロックを含む。
D - 25	X 18 + 19 Y 240	1.34 × 1.22	0.28	楕円形	—	A - X 月降下以降。暗褐色と黑褐色の埋没土に A - B + A - C + ロームブロックを含む。
D - 26	X 18 Y 241 + 242	1.42 × 1.11	0.23	楕円形	—	A - X 月降下以降。暗褐色と黒褐色の埋没土に A - B + A - C + ロームブロックを含む。
D - 27	X 20 Y 240	0.70 × 0.63	0.18	円形	—	A - X 月降下以降。D - 7 号竪井と重複し。本土坑が古い。暗褐色の埋没土に A - B + A - C - ロームブロックを含む。
D - 28	X 20 Y 240	1.25 × 0.54	0.11	不整形	—	A - X 月降下以降。D - 6 号竪井と重複し。本土坑が新しい。暗褐色の埋没土に A - B + A - C - ロームブロックを含む。
D - 29	X 20 Y 240	0.60 × 0.57	0.19	楕円形	—	A - X 月降下以降。暗褐色の埋没土に A - B + A - C + H r + F A - 軽石・ロームブロックを含む。
D - 30	X 18 Y 240 + 241	4.20 × 1.49	0.47	長方形	—	A - X 月降下以降。D - 31 号竪井と重複し。本土坑が暗褐色と黒褐色の埋没土に A - B + H r + F A - 軽石・A - C - ロームブロックを含む。
D - 31	X 18 Y 240 + 241	2.45 × 0.74	0.42	[長方形]	—	A - X 月降下以降。D - 30 号竪井と重複し。本土坑が暗褐色と黒褐色の埋没土に A - B + H r + F A - 軽石・A - C - ロームブロックを含む。
D - 32	X 19 Y 240	1.74 × 0.92	0.42	長方形	—	A - X 月降下以降。D - 33 号竪井と重複し。本土坑が新しい。暗褐色と黑褐色の埋没土に A - B + A - C - ロームブロックを含む。
D - 33	X 19 Y 239 + 240	2.35 × 1.92	0.58	[長方形]	—	A - X 月降下以降。D - 32 + 34a + 34b 号竪井と重複し。D - 34 + 35 号竪井より新しく、D - 32 号竪井より古い。黒褐色と暗褐色の埋没土に A - B + A - C - ロームブロックを含む。
D - 34a	X 19 + 20 Y 239 + 240	[2.27] × —	0.56	不整形	—	A - X 月降下以降。D - 33 + 34a 号竪井と重複し。D - 34 号竪井より古く、暗褐色と暗褐色の埋没土に A - B + H r + F A - 軽石・A - C - ロームブロックを含む。
D - 34b	X 19 + 20 Y 239 + 240	[3.05] × 2.30	0.65	[長方形]	—	A - X 月降下以降。D - 34b 号竪井と重複し。本土坑が暗褐色と黒褐色の土堆より古く、A - B + A - C + H r + F A - 軽石 + A - C - ロームブロックを含む。
D - 35	X 20 Y 240	1.11 × 0.57	0.19	不整形	—	A - X 月降下以降。H - 2 号竪井と重複し。本土坑が新しい。暗褐色の埋没土に A - B + A - C - ロームブロックを含む。
D - 36	X 20 + 21 Y 225	1.12 × 1.10	0.19	円形	—	A - X 月降下以降。暗褐色と黑褐色の埋没土に A - B + A - C + ロームブロックを含む。
D - 37	X 19 Y 234	1.17 × 0.91	0.42	楕円形	—	A - X 月降下以降。H - 24 号竪井と重複し。本土坑が新しい。暗褐色と暗褐色の埋没土に A - B + A - C - ロームブロックを含む。
D - 38	X 21 + 22 Y 237 + 238	3.80 × [2.36]	1.25	不整形	陶質御器窓、陶質御器窓、古跡、古跡、洋	地下式坑。A - X 月降下以降。東西方向を長軸とする楕円形の陶器窓がコの字に並んでおり、壁面は黒褐色と暗褐色の埋没土に A - B + A - C + ロームブロックを含む。底面は丸い形状である。黒褐色と暗褐色の埋没土にロームブロックを多量に含み、天井部分の崩落土と想定される。
D - 39	X 19 + 20 Y 236 + 237	3.37 × 3.18	1.21	不整形	—	地下式坑。A - X 月降下以降。H - 2 号竪立柱建物跡と重複し。本土坑が新しい。東西方向を長軸とする楕円形の陶器窓がコの字に並んでおり、壁面は黒褐色と暗褐色の埋没土に A - B + A - C + ロームブロックを含む。
D - 40	X 18 + 19 Y 240 + 241	3.54 × 1.67	0.54	長方形	—	A - X 月降下以降。H - 18 号居宿井と重複し。本土坑が新しい。
D - 41	X 16 Y 239 + 240	1.35 × 0.91	0.20	不整形	—	A - X 月降下以降。暗褐色と暗褐色の埋没土に A - B + ロームブロック・化粧瓦を含む。
D - 42	X 20 Y 234 + 235	1.12 × 0.79	0.48	楕円形	—	A - X 月降下以降。暗褐色と黒褐色の埋没土上層に A - B + A - C - C + H r + F A - 軽石 + ロームブロック・下層に A - V P + ロームブロック・ローム粘土を含む。

Tab. 5 土坑一覧表 (2)

遺構名	グリット	規模 (m)	深さ (m)	平面形態	既報遺物	時期・備考
D-43	X 21 × 22 Y 231 × 232	1.59 × 1.49	1.1 以上	楕円形	鉄質陶器内耳端 ム配・灰化粧を含む。	A s - B 降下以降。暗褐色と緑褐色の埋没土に A s - B - A s - C - ロームブロック×13-ム配・灰化粧を含む。
D-44	X 29 × 21 Y 232	1.25 × 1.19	0.50	長方形	—	古墳時代。黒褐色と緑褐色の埋没土に A s - C - ロームブロックを含む。
D-45	X 19 Y 236	1.28 × 0.70	0.22	長方形	—	A s - B 降下以降。暗褐色と緑褐色の埋没土に A s - B - H r - F A 軽石・A s - C × 13-ムブロックを含む。
D-46	X 11 Y 237 × 238	1.83 × 1.19	2.31	楕円形	—	弥生時代中期。暗褐色と黒褐色の埋没土上層に A s - C の一次堆積が認められ。埋没土下層に A s - Y P - ロームブロック・灰化粧を含む。
D-47	X 11 Y 238 × 239	1.72 × 1.62	0.19	方形	—	A s - B 降下以降。D - 50 号土坑と重複し。本土坑が新しい。緑褐色と黒褐色の埋没土に A s - B - A s - C - ロームブロックを含む。
D-48	X 11 × 12 Y 239 × 240	2.09 × 1.83	0.41	長方形	—	A s - B 降下以降。暗褐色と黒褐色の埋没土に A s - B - H r - F A 軽石・A s - C × 13-ムブロックを含む。
D-49	X 11 × 12 Y 239 × 240	1.35 × 1.14	0.40	不整形	—	古墳時代。P - 630 と重複し。本土坑が古い。緑褐色と黒褐色の埋没土に A s - C - ロームブロックを含む。
D-50	X 12 × 13 Y 239 × 249	2.72 × 1.27	0.66	長方形	須志器極 (重複) 灰陶器内耳端 ム配・灰化粧	古墳時代。P - 16 号土坑跡。D - 62 号土坑と重複し。H - 30 号土坑跡より新しく、D - 47 号土坑より古く。緑褐色と深い黄褐色の埋没土に A s - C - ロームブロック・灰化粧を含む。
D-51	X 11 Y 239 × 231	1.81 × {1.46}	0.31	不整形	—	古墳時代。緑褐色と黒褐色の埋没土に A s - C - ロームブロック・灰化粧を含む。
D-52	X 19 Y 232 × 233	2.73 × {1.16}	0.47	長方形	—	古墳時代。緑褐色と緑黄褐色の埋没土に A s - C - H r - F A 軽石・ロームブロックを含む。
D-53	X 14 × 15 Y 235 × 236	1.29 × 0.90	0.21	小椭形	—	A s - B 降下以降。緑褐色と深い黄褐色の埋没土に A s - B - A s - C - ロームブロックを含む。
D-54e	X 14 Y 236	0.66 × 0.57	0.32	小椭形	—	A s - B 降下以降。D - 54 b - c - d 号土坑と重複し。A s 壁より新しい土坑より新しく。緑褐色の埋没土に A s - B - A s - C - ロームブロック・灰化粧を含む。
D-54b	X 14 × 15 Y 236	{0.62} × 0.49	0.09	不明	—	A s - B 降下以降。D - 54a - b - d 号土坑と重複し。D - 54 e 号土坑より新しく、D - 55a 号土坑より古く。緑褐色の埋没土に A s - B - A s - C - ロームブロックを含む。
D-54c	X 14 × 15 Y 236	{[1.26]} × {0.85}	0.12	不明	—	A s - B 降下以降。D - 54b - d - D - 55 b 号土坑と重複し。D - 54 d 号土坑より新しく、D - 54a - b - d - 55a 号土坑より古く。緑褐色の埋没土に A s - B - A s - C - H r - F A 軽石・ロームブロックを含む。
D-54d	X 14 Y 236	0.35 × 0.29	0.23	楕円形	—	A s - B 降下以降。A s - B - b - c 号土坑と重複し。本土坑が古い土坑より古く。緑褐色の埋没土に A s - B - A s - C - ロームブロック・灰化粧を含む。
D-55a	X 14 × 15 Y 235 × 236	0.90 × 0.86	0.37	楕丸形	—	A s - B 降下以降。D - 55b 号土坑と重複し。本土坑が新しく。緑褐色と黒褐色の埋没土に A s - B - A s - C - ロームブロック・灰化粧を含む。
D-55b	X 14 × 15 Y 236	1.09 × 0.93	0.38	長方形	—	A s - B 降下以降。D - 55c 号土坑と重複し。D - 54 e 号土坑より新しく、D - 55a 号土坑より古く。緑褐色の埋没土に A s - B - A s - C - ロームブロックを含む。底面より土壁が突出する。
D-56	X 14 × 15 Y 231	1.68 × 1.32	2.12	楕円形	—	弥生時代初期。黒褐色と緑褐色の埋没土上・中層に A s - C の一次堆積が認められ。に深い黄褐色の埋没土下層にロームブロックを含む。
D-57	X 16 Y 232	1.83 × 1.06	0.35	長方形	—	A s - B 降下以降。緑褐色と黒褐色の埋没土に A s - B - A s - C - ロームブロック・灰化粧を含む。
D-58	X 16 Y 230 × 231	1.25 × 0.96	0.19	長方形	—	A s - B 降下以降。緑褐色と黒褐色の埋没土に A s - B - A s - C - ロームブロックを含む。
D-59	X 19 Y 230 × 231	1.03 × 0.84	1.24 以上	楕円形	砾石	A s - B 降下以降。J D - 100 号土坑、C - 1 号方形闌溝基、W - 1 号井と重複し。J D - 100 号土坑、C - 1 号方形闌溝基より新しく、W - 3 号井より古く。緑褐色と緑灰色の埋没土に A s - B - A s - C - ロームブロックを含む。
D-60	X 15 Y 233 × 234	2.39 × 0.50	0.30	楕丸形	—	A s - B 降下以降。J D - 100 号土坑と重複し。本土坑が新しく。A s - B - A s - C - ロームブロック・灰化粧を含む。
D-61	X 29 × 21 Y 238 × 239	2.34 × {1.13}	0.20	楕円形	—	A s - B 降下以降。P - 499 - P - 601 と重複し。本土坑が P - 499 より古く、P - 681 の新しい堆積は A s - B 降下以降。緑褐色と深い黄褐色の埋没土に A s - B - A s - C - H r - F A 軽石 - G - ロームブロック・ローム粧・白色鮮石を含む。
D-62	X 14 Y 241 × 242	1.03 × {0.43}	0.09	長方形	—	A s - B 降下以降。黒褐色の埋没土に A s - B - A s - C - H r - F A 軽石 - G - ロームブロックを含む。
J D - 1	X 15 Y 225	0.56 × 0.53	0.25	楕円形	—	緑褐色の埋没土にロームブロックを含む。
J D - 2	X 14 × 15 Y 224	0.88 × 0.39	0.20	不整形	—	緑褐色の埋没土にロームブロックを含む。
J D - 3	X 24 Y 228	0.88 × 0.72	0.34	不整形	—	緑褐色の埋没土にロームブロックを含む。
J D - 4	X 24 Y 228	0.93 × 0.26	0.16	小椭形	—	緑褐色の埋没土にロームブロックを含む。
J D - 5a	X 26 Y 225	1.28 × 1.94	0.24	楕円形	—	J D - 5 b 号土坑と重複し。本土坑が新しい。緑褐色の埋没土に A s - Y P - ロームブロック・ローム粧を含む。
J D - 5b	X 26 Y 225	0.36 × 0.26	0.66	不整形	—	J D - 5 a 号土坑と重複し。本土坑が古い。緑褐色と深い黄褐色の埋没土に A s - Y P - ロームブロック・ローム粧・灰化粧・礁石を含む。
J D - 6	X 26 Y 221	0.99 × 0.76	0.44	不整形	—	緑褐色の埋没土にロームブロックを含み。土壠断面に柱筋が確認される。
J D - 7	X 19 Y 220 × 221	1.02 × 1.00	0.19	楕円形	—	緑褐色と深い黄褐色の埋没土にロームブロック・ローム粧を含む。
J D - 8	X 19 Y 221	1.00 × 0.85	0.35	不整形	—	緑褐色と深い黄褐色の埋没土にロームブロック・ローム粧を含み。土壠断面に柱筋が確認される。
J D - 9	X 18 × 19 Y 221	0.91 × 0.79	0.22	楕円形	—	緑褐色と深い黄褐色の埋没土にローム粧を含む。
J D - 10	X 18 Y 222	0.96 × 0.83	0.20	楕円形	—	緑褐色と深い黄褐色の埋没土にロームブロック・ローム粧を含む。
J D - 11	X 19 Y 222	0.73 × 0.61	0.45	楕円形	—	緑褐色の埋没土にロームブロック・ローム粧を含み。土壠断面に柱筋が確認される。
J D - 12	X 29 Y 220	1.14 × 0.85	0.25	楕円形	—	緑褐色の埋没土にロームブロック・ローム粧を含む。
J D - 13	X 18 Y 222	1.02 × 0.87	0.36	楕円形	—	緑褐色と深い黄褐色の埋没土にロームブロック・ローム粧を含み。土壠断面に柱筋が確認される。
J D - 14	X 28 × 21 Y 222	1.72 × 1.09	0.61	楕円形	—	黒褐色と深い黄褐色の埋没土に A s - Y P - 白色鮮石・ロームブロック・ローム粧を含む。
J D - 15	X 17 Y 222 × 223	1.10 × 0.97	0.25	楕円形	—	緑褐色と深い黄褐色の埋没土に A s - Y P - 白色鮮石・ロームブロック・ローム粧を含む。

Tab. 6 土坑一覧表 (3)

遺跡名	グリット	規格 (m)	深さ (m)	平面形態	堆积物	時期・備考
J D - 16	X 21 Y 223	0.84 × 0.63	0.24	不整形	—	暗褐色の埋没土にロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 17	X 16 - 17 Y 223 + 223	1.45 × 1.17	0.25	楕円形	—	暗褐色とにびい黄褐色の埋没土にA s - Y P・ロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 18	X 16 Y 223	1.86 × 1.85	0.41	円形	—	暗褐色とにびい黄褐色の埋没土にA s - Y P・ロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 19	X 17 - 18 Y 226	0.90 × 0.89	0.16	楕円形	—	暗褐色とにびい黄褐色の埋没土にロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 20	X 18 Y 226	0.67 × 0.61	0.31	不整形	—	暗褐色とにびい黄褐色の埋没土にA s - Y P・白色鮮石・ロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 21	X 19 Y 225	0.57 × 0.52	0.29	楕円形	—	暗褐色の埋没土にロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 22	X 24 - 25 Y 224	0.76 × 0.72	0.23	円形	—	暗褐色とにびい黄褐色の埋没土にA s - Y P・白色鮮石・ロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 23	X 22 Y 226	0.99 × 0.65	0.32	楕円形	—	暗褐色とにびい黄褐色の埋没土にA s - Y P・白色鮮石・ロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 24	X 24 Y 225	0.65 × 0.53	0.17	楕円形	—	暗褐色とにびい黄褐色の埋没土にA s - Y P・ロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 25	X 19 Y 217	0.78 × 0.67	0.25	不整形	—	暗褐色とにびい黄褐色の埋没土にA s - Y P・ロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 26	X 19 Y 219	0.79 × 0.64	0.27	楕円形	—	暗褐色の埋没土にロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 27	X 19 Y 219	1.16 × 1.05	0.29	不整形	—	暗褐色とにびい黄褐色の埋没土にA s - Y P・ロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 28	X 20 Y 218	0.62 × 0.55	0.25	不整形	—	暗褐色とにびい黄褐色の埋没土にロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 29	X 23 Y 221	0.56 × 0.44	0.42	不整形	—	暗褐色とにびい黄褐色の埋没土にA s - Y P・ロームブロック・ローム粒を含み、土層断面に柱状が確認される。
J D - 30a	X 22 Y 220	0.55 × 0.40	0.18	楕円形	—	J D - 30 c と本坑と重複し、本坑が新しい。暗褐色とにびい黄褐色の埋没土にA s - Y P・ローム粒を含む。
J D - 30b	X 22 - 23 Y 226	0.35 × 0.28	0.11	楕円形	—	J D - 30 d と本坑と重複し、本坑が新しい。にびい黄褐色の埋没土にA s - Y P・ローム粒・ロームブロックを含む。
J D - 30c	X 22 - 23 Y 226	[0.49] × [0.45]	0.09	（椭円形）	—	J D - 30a と本坑と重複し、1号土坑より本土坑が古い。暗褐色の埋没土にA s - Y P・ローム粒・ロームブロックを含む。
J D - 31	X 23 Y 217	0.63 × 0.58	0.25	楕円形	—	暗褐色の埋没土にA s - Y P・ロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 32	X 21 Y 216	0.75 × 0.53	0.26	楕円形	—	暗褐色とにびい黄褐色の埋没土にA s - Y P・ロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 33	X 23 Y 217	1.22 × 1.10	0.41	楕円形	（出土器深鉢、 右側）	P - 405 と重複し、本土坑が古い。暗褐色とにびい黄褐色の埋没土にA s - Y P・ロームブロック・ローム粒・炭化粒を含む。
J D - 34	X 24 Y 222 + 223	1.11 × 0.54	0.16	楕円形	—	暗褐色とにびい黄褐色の埋没土にロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 35	X 25 - 26 Y 223	0.58 × 0.55	0.13	円形	—	暗褐色の埋没土にA s - Y P・ロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 36	X 28 - 29 Y 219	1.18 × 1.10	0.14	楕円形	—	にびい黄色色の埋没土にA s - Y P・ロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 37	X 29 Y 219	0.80 × 0.64	0.16	楕円形	—	にびい黄褐色の埋没土にロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 38	X 28 Y 226	1.03 × 0.93	0.61	楕円形	—	暗褐色とにびい黄褐色の埋没土にA s - Y P・白色鮮石・ロームブロック・ローム粒・炭化粒を含む。
J D - 39	X 20 Y 218	0.82 × 0.68	0.48	楕円形	—	にびい黄色色の埋没土にロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 40	X 26 - 27 Y 223 + 224	2.56 × 1.90	0.45	楕円形	—	暗褐色とにびい黄褐色の埋没土にA s - Y P・白色鮮石・ロームブロック・ローム粒・炭化粒を含む。
J D - 41	X 25 Y 225	0.79 × 0.66	0.27	不整形	—	暗褐色とにびい黄褐色の埋没土にA s - Y P・ロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 42	X 26 Y 226	0.80 × 0.75	0.19	楕円形	—	暗褐色とにびい黄褐色の埋没土にA s - Y P・ロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 43	X 23 Y 223	1.29 × 1.15	0.34	楕円形	—	灰褐色と黄褐色の埋没土にA s - B P・A s - Y P・ロームブロックを含む。
J D - 44	X 25 Y 224	1.29 × 0.97	0.52	楕円形	—	黄褐色と灰黃褐色の埋没土にA s - B P・ロームブロック・黒色ブロックを含む。
J D - 45	X 17 - 18 Y 225 + 226	0.93 × 0.68	0.15	不整形	—	暗褐色とにびい黄褐色の埋没土にロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 46	X 17 Y 225	0.90 × 0.68	0.16	楕円形	—	暗褐色とにびい黄褐色の埋没土にA s - Y P・白色鮮石・ロームブロック・ローム粒・炭化粒を含む。
J D - 47	X 19 Y 227	1.10 × 1.06	0.09	不整形	—	暗褐色の埋没土にロームブロック・ローム粒・炭化粒を含む。
J D - 48	X 18 Y 226	0.76 × 0.49	0.42	楕円形	—	B - 1号竪立壁付跡と重複し、本土坑が古い。暗褐色の埋没土にA s - Y P・ロームブロック・ローム粒・炭化粒を含む。
J D - 49	X 30 Y 209	1.10 × 0.90	0.47	楕円形	—	暗褐色の埋没土に白色鮮石・ローム粒・炭化粒を含む。
J D - 50	X 29 - 30 Y 208 + 209	1.07 × 0.90	0.38	楕円形	—	暗褐色の埋没土にA s - Y P・白色鮮石・炭化粒・堆土を含む。
J D - 51	X 30 Y 208 + 209	0.69 × 0.65	0.15	楕円形	—	暗褐色とにびい黄褐色の埋没土に白色鮮石・ロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 52	X 31 Y 208 + 209	1.13 × 0.98	0.23	楕円形	—	暗褐色の埋没土に白色鮮石・ローム粒・炭化粒を含む。
J D - 53	X 28 Y 208	0.78 × 0.61	0.21	楕円形	—	P - 406 と重複し、本土坑が古い。にびい黄褐色の埋没土に白色鮮石・ロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 54	X 27 Y 207	0.76 × 0.58	0.21	楕円形	—	暗褐色と灰褐色の埋没土に白色鮮石・ローム粒・炭化粒を含む。
J D - 55	X 28 Y 206	1.05 × 1.09	0.45	不整形	—	暗褐色の埋没土にA s - Y P・白色鮮石・ローム粒・炭化粒を含む。

Tab. 7 土坑一覧表 (4)

遺構名	グリット	規格 (m)	深さ (m)	平面形態	既報遺物	時期・備考
J D - 56	X 29 + 30 Y 299 + 210	0.74 × 0.56	0.51	楕円形	—	暗褐色とにびい黄褐色の埋没土に A s - Y P・白色軽石・ロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 57	X 27 Y 210	0.51 × 0.47	0.31	円形	—	暗褐色の埋没土に A s - Y P・白色軽石・ロームブロック・ローム粒・炭化粧を含む。
J D - 58	X 27 Y 210	0.81 × 0.67	0.34	楕円形	—	暗褐色の埋没土に白色軽石・ロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 59	X 26 Y 210	1.13 × 0.81	0.32	楕円形	—	暗褐色とにびい黄褐色の埋没土に A s - Y P・白色軽石・ロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 60	X 26 Y 209 + 210	1.14 × 0.75	0.31	楕円形	—	暗褐色の埋没土に A s - Y P・白色軽石・ロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 61	X 28 Y 207	0.56 × 0.35	0.56	楕円形	—	灰褐色と褐色の埋没土に白色軽石・ロームブロック・黄褐色を含む。
J D - 62	X 28 + 27 Y 214	1.28 × 1.17	0.44	円形	舌石	W - 3 号坑と重複し、本土坑が古い。暗褐色と暗灰褐色の埋没土に A s - Y P・白色軽石・ロームブロック・黑色土ブロックを含む。
J D - 63	X 29 + 30 Y 208	0.6 × 0.53	0.25	楕円形	—	暗褐色の埋没土に白色軽石・ロームブロック・黑色土ブロックを含む。
J D - 64	X 15 + 16 Y 242 + 243	1.24 × (0.50)	0.17	楕円形	—	暗褐色の埋没土に白色軽石・ロームブロック・ローム粒・施土を含む。
J D - 65	X 17 + 18 Y 234	1.23 × 0.96	0.26	楕円形	—	暗褐色とにびい黄褐色の埋没土に白色軽石・ロームブロック・ローム粒・炭化粧を含む。
J D - 66	X 25 Y 231	1.48 × 1.01	0.10	楕円形	—	暗褐色の埋没土にロームブロック・ローム粒・施土を含む。
J D - 67	X 25 Y 231	0.78 × 0.77	0.17	円形	—	暗褐色の埋没土にロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 68	X 26 Y 235	1.44 × 1.27	0.16	楕円形	—	H - 9 号坑と比較的よく重複し、本土坑が古い。暗褐色の埋没土に白色軽石・ロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 69	X 22 + 23 Y 234	1.35 × 1.02	0.22	不整形	—	暗褐色とにびい黄褐色の埋没土に白色軽石・ロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 70	X 16 Y 237 + 238	(0.55) × 0.50	0.14	楕円形	—	P - 498 と重複し、本土坑が古い。暗褐色の埋没土にロームブロック・ローム粒・ローム粒を含む。
J D - 71	X 17 Y 234	0.99 × 0.86	0.23	円形	—	暗褐色とにびい黄褐色の埋没土にロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 72	X 17 + 18 Y 232	1.02 × 1.03	0.20	楕円形	—	P - 667 と重複するが、新旧関係は不明。にびい黄褐色の埋没土にロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 73	X 18 Y 236	1.32 × 0.86	0.19	楕円形	—	暗褐色とにびい黄褐色の埋没土に白色軽石・ロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 74	X 21 Y 230 + 231	1.45 × 0.92	0.34	楕円形	—	暗褐色の埋没土に白色軽石・ロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 75a	X 13 + 14 Y 240 + 241	0.78 × 0.66	0.20	楕円形	—	J D - 75 b 号坑と重複し、本土坑が新しい。暗褐色の埋没土にロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 75b	X 13 Y 240 + 241	0.76 × 0.62	0.11	不整形	—	J D - 75a 号坑と重複し、本土坑が古い。にびい黄褐色と暗褐色の埋没土にロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 76	X 11 + 12 Y 241	0.88 × 0.77	0.06	楕円形	—	暗褐色の埋没土にロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 77	X 11 Y 241	0.67 × 0.53	0.35	楕円形	—	暗褐色の埋没土にロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 78a	X 11 Y 240	0.82 × 0.41	0.31	楕円形	—	J D - 78b 号坑と重複し、本土坑が新しい。暗褐色の埋没土に白色軽石・ロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 78b	X 11 Y 240	1.10 × 0.56	0.11	不明	—	J D - 78a 号坑と重複し、本土坑が古い。暗褐色の埋没土に白色軽石・ロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 79	X 10 Y 241	0.95 × 0.82	0.17	不整形	—	暗褐色の埋没土にロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 80	X 14 Y 241	0.97 × 0.64	0.11	楕円形	—	暗褐色の埋没土に白色軽石・ロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 81	X 14 Y 229	1.79 × 1.63	0.54	楕円形	調文土器(深井、石器、スクレイバーアイアン、岩石)	調文時代前期後半花瓶下式壺。暗褐色とにびい黄褐色の埋没土に A s - Y P・白色軽石・ロームブロック・ローム粒・炭化粧を含む。
J D - 82	X 16 + 17 Y 233	1.59 × 1.07	0.38	(楕円形)	調文土器深井	S X - 3 号性格不明遺構と重複する。暗褐色とにびい黄褐色の埋没土に A s - Y P・白色軽石・ロームブロック・ローム粒・炭化粧を含む。
J D - 83	X 13 + 14 Y 232	1.42 × 1.36	0.45	楕円形	—	S X - 3 号性格不明遺構と重複する。暗褐色とにびい黄褐色の埋没土に A s - Y P・白色軽石・ロームブロック・ローム粒・炭化粧を含む。
J D - 84a	X 14 Y 230 + 232	1.41 × 1.26	0.49	楕円形	調文土器深井	調文時代初期前期花瓶下式壺。暗褐色とにびい黄褐色の埋没土に白色軽石・ロームブロック・ローム粒・炭化粧を含む。
J D - 84b	X 14 Y 230 + 232	2.06 × (1.15)	0.18	不明	石器	暗褐色とにびい黄褐色の埋没土に白色軽石・ロームブロック・ローム粒・炭化粧を含む。
J D - 85	X 15 Y 230 + 231	1.84 × 1.39	0.27	楕円形	—	暗褐色とにびい黄褐色の埋没土に白色軽石・ロームブロック・ローム粒・炭化粧を含む。
J D - 86	X 14 Y 231	1.55 × (1.36)	0.20	不明	—	暗褐色とにびい黄褐色の埋没土に白色軽石・ロームブロック・ローム粒・炭化粧を含む。
J D - 87	X 13 Y 231	1.07 × 0.90	0.37	楕円形	—	S X - 3 号性格不明遺構と重複する。暗褐色とにびい黄褐色の埋没土に A s - Y P・ロームブロック・ローム粒・炭化粧を含む。
J D - 88	X 13 Y 231 + 232	0.76 × 0.60	0.26	不整形	—	S X - 3 号性格不明遺構と重複する。にびい黄褐色と黄褐色の埋没土に A s - Y P・白色軽石・ロームブロック・ローム粒・炭化粧・施土を含む。
J D - 89	X 14 Y 231 + 232	1.52 × (0.59)	0.24	不明	—	暗褐色の埋没土に白色軽石・ロームブロック・ローム粒・炭化粧を含む。
J D - 90	X 11 Y 232	0.72 × 0.55	0.14	楕円形	—	暗褐色とにびい黄褐色の埋没土に白色軽石・ロームブロック・ローム粒・炭化粧を含む。
J D - 91	X 12 Y 229	2.67 × 1.89	0.23	楕円形	—	暗褐色とにびい黄褐色の埋没土に白色軽石・ロームブロック・ローム粒・炭化粧を含む。
J D - 92	X 12 Y 229 + 230	0.83 × 0.70	0.11	不整形	—	暗褐色の埋没土に白色軽石・ロームブロック・ローム粒・炭化粧を含む。
J D - 93	X 13 Y 231	0.69 × 0.64	0.12	楕円形	—	暗褐色とにびい黄褐色の埋没土に A s - Y P・白色軽石・ロームブロック・ローム粒・炭化粧を含む。

Tab. 8 土坑一覧表 (5)

遺跡名	グリット	規模 (m)	深さ (m)	平面形態	出土遺物	時期・備考
J D - 94	X 12・13 Y 227・228	1.03 × [0.69]	0.23	楕円形	—	暗褐色とにぶい黄褐色の埋没土にロームブロック・ローム粒・陶化粒を含む。
J D - 95	X 15 Y 229	0.87 × 0.45	0.52	楕円形	—	暗褐色の埋没土に A s - Y P・白色軽石・ロームブロック・ローム粒・陶化粒を含む。土壌断面に柱痕が確認される。
J D - 96	X 15 Y 228	0.66 × 0.57	0.44	楕円形	—	暗褐色とにぶい黄褐色の埋没土に白色軽石・ロームブロック・ローム粒・陶化粒を含む。土壌断面に柱痕が確認される。
J D - 97	X 15 Y 230	0.91 × 0.70	0.58	楕円形	—	W - 5 号 sondage と重複し、本土坑が古い。暗褐色と黒褐色に、にぶい黄褐色の埋没土に A s - Y P・白色軽石・ロームブロック・ローム粒・陶化粒を含む。土壌断面に柱痕が確認される。
J D - 98	X 21 Y 229	0.45 × 0.38	0.16	楕円形	調文土器底部	調文時代前期初頭の柱下施設 C - 1 号方形周溝槽と重複し、本土坑が古い。黒褐色、暗褐色の埋没土に A s - Y P・ロームブロック・地盤を含む。
J D - 99	X 16・17 Y 233	1.49 × [0.96]	0.18	楕円形	—	暗褐色とにぶい黄褐色の埋没土に A s - Y P・白色軽石・ロームブロック・ローム粒を含む。
J D - 100	X 19 Y 226・231	3.49 × [1.63]	0.32	不明	打製石斧	J - 1 号住居跡、H - 27 号住居跡、C - 1 号方形周溝槽、D - 9a 号土坑と重複し、新旧関係が不明な J - 1 号住居跡を除いて、本土坑が古い。暗褐色とにぶい黄褐色の埋没土に A s - Y P・白色軽石・ロームブロック・ローム粒・陶化粒を含む。
J D - 101	X 16 Y 229・240	1.54 × 1.37	0.27	不整形	—	J D - 102 号土坑と重複し、本土坑が新しい。黒褐色の埋没土に白色軽石 φ 0.2 cm が散在する。
J D - 102	X 16 Y 238	1.37 × [0.60]	0.28	不整形	—	J D - 101 号土坑と重複し、本土坑が古い。黒褐色の埋没土に白色軽石 φ 0.2 cm が散在する。

Tab. 9 土坑一覧表 (6)

5 捣立柱建物跡

B - 1号捣立柱建物跡 (Fig. 86 / P L. 23)

位置：X 17～19、Y 225・226。主軸方位：N - 74° - E。重複：J D - 48 号土坑と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から、本遺構は J D - 48 号土坑より新しい。形状：東西 2 間 × 南北 1 間の側柱構造で、長方形状を呈する。規模：桁行 3.28 m・3.28 m、梁行 2.48 m・2.48 m、桁行平均柱間は 1.64 m、梁行平均柱間は 2.48 m を測る。柱穴：6 基（D - 3～8 号土坑）の柱穴で構成される。柱掘方はいずれも隅丸長方形状を呈し、柱の位置にあたる部分が段状に約 0.5～0.9 m 深くなる形状である。土層断面の観察から全ての柱穴から柱痕が確認された。遺構埋没状態：柱痕と掘り方の埋没土上層には H r - F A が含まれる。また、軽石の角が比較的残る状態で A s - C がみられるほか、ロームブロックを含む暗褐色土と黒褐色土を主体としている。遺物出土状態：各土坑から破片資料が少量出土している。出土遺物：本遺構に帰属する遺物として、D - 4・6・7 号土坑より土師器甕の破片が出土しており、このうち D - 6 号土坑出土の 1 点（1）を掲載している。時期：本遺構は遺構の時期を示す証左に乏しいが、埋没土の状態から A s - C 降下以降に帰属すると想定される。

B - 2号捣立柱建物跡 (Fig. 88 / P L. 23)

位置：X 25・26、Y 222・223。主軸方位：N - 6° - W。重複：P - 279・296・298 と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から、本遺構は P - 279・296 上り新しく、P - 298 より古い。形状：南北 2 間 × 東西 1 間の側柱構造で、長方形状を呈する。規模：桁行 3.47 m・3.50 m、梁行 3.37 m・3.24 m、桁行平均柱間 1.74 m、梁行平均柱間 3.30 m を測る。柱穴：6 基の柱穴（P - 270～P - 275）で構成され、掘り方はいずれも隅丸長方形状を呈する。土層断面の観察から、全ての柱穴から柱痕が確認された。また、柱の掘方では、残存深度が 0.08 m～0.16 m と浅く、上部は削平されている。遺構埋没状態：埋没土には軽石の角が比較的残る状態で A s - C がみられるほか、ロームブロック・ローム粒を含む黒褐色土とにぶい黄褐色土を主体としている。遺物出土状態：遺物の出土はみられない。出土遺物：本遺構に帰属する遺物は出土していない。時期：埋没土の搅拌による A s - C の表面劣化や汚れが顕著でないことから、A s - C 降下に近い 4 世紀代に帰属すると想定される。

B - 3号捣立柱建物跡 (Fig. 87 / P L. 23)

位置：X 19～21、Y 235～237。主軸方位：N - 23° - E。重複：J D - 68 号土坑、D - 39 号土坑、P - 530・546・551・552・555・568 と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から、本遺構は J D - 68 号土坑、P - 551・552 より新しく、D - 39 号土坑、P - 546・568 より古い。また、P - 530・555 との新旧関係は不明である。

形状:南北3間×東西2間の側柱構造と想定され、長方形を呈する。規模:桁行8.02 m・(8.34) m、梁行4.35 m・(4.47) m、桁行平均柱間2.73 m、梁行平均柱間2.23 mを測る。柱穴:9基の柱穴(P-539～545、P-547・548)が検出され、南東角にあたる1基は削平により消滅したと判断される。掘り方は円形状を呈し、P-542～545、P-547・548の底面で柱の当たりによる硬化面がみられる。また、南側に位置する柱穴ほど残存深度が浅く、後世の削平が顕著である。**遺構埋没状態:**埋没土は、A s - Cを含む黒褐色土を主体とする。**遺物出土状態:**遺物の出土はみられない。**出土遺物:**本遺構に帰属する遺物は出土していない。**時期:**本遺構は遺構の時期を示す証左に乏しいが、埋没土の状態からA s - C降下以降に帰属すると想定される。

6 溝

W - 1号溝 (Fig. 88～90・123 / Tab. 34 / P L . 23・24・40)

位置:X:12～22、Y:223～242グリッド。**主軸方位:**北から南に向けてN-22° - E→N-24° - E→N-10° - E→N-87° - W→N-21° - E。**重複:**C-1号方形周溝墓、H-22号住居跡、D-59・J D-102号土坑、S X-2号性格不明遺構、P-439・618と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から、本溝は重複する全ての遺構より新しい。**規模:**上端幅1.10 m～3.36 m、下端幅0.70 m～2.70 m。**残存深度:**0.53 m。**断面形態:**土層断面の観察より、3～5条の溝が重複すると判断され、それぞれ「U」字状、「V」字状、不整形の皿状を呈する。**底面の状態:**凹凸が顕著である。底面の標高は、北から南に向かって低くなる。**遺構埋没状態:**埋没土からは、流水の痕跡は認められず、複数回の振り直しが認められることから、地割りを示す溝であると考えられる。ロームブロック・A s - B・A s - C・H r - F A軽石・炭化物・炭化粒・焼土を含む暗褐色土と黒褐色土、にぶい黄褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。**遺物出土状態:**埋没土より破片資料が少量出土している。**出土遺物:**本溝に帰属する可能性が高い遺物として、磁器碗、陶器面子、鉄錢、鐵滓、青磁、泥人形等が出土し、このうち6点を掲載している。**時期:**出土遺物と埋没土にA s - Bが含まれる点から、近世以降に帰属すると想定される。

W - 2号溝 (Fig. 86)

同溝は、地形の形状に沿って走行しており、当初は古墳時代以降の地割り溝を想定して調査を行ったが、近現代に帰属する植栽の痕跡と判断され、本項では遺構として扱わないこととする。

W - 3号溝 (Fig. 89・90・123 / Tab. 34 / P L . 40)

位置:X:25～31、Y:210～214グリッド。**主軸方位:**北から南に向けてN-45° - E→N-70° - E。**重複:**H-10・13号住居跡、D-21・J D-62号土坑、P 105と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から、本溝は重複する全ての遺構より新しい。**規模:**上端幅1.18 m～3.48 m、下端幅0.98 m～2.06 m。**残存深度:**0.45 m。**断面形態:**皿状を呈する。**底面の状態:**多少の凹凸がみられるが、比較的平坦である。流水の痕跡が認められ、底面の標高は、北から南に向かって低くなる。**遺構埋没状態:**埋没土には、砂粒の混入が顕著で硬くしまる。道路として機能していた時期もあったものと想定される。**遺物出土状態:**埋没土層より近代遺物が少量出土したが、下層からの出土はみられない。**出土遺物:**本溝に帰属する可能性が高い遺物として、砥石等が出土し、このうち1点を掲載している。**時期:**本溝は遺構の時期を示す証左に乏しいが、埋没土層の観察から、A s - B降下以降でも比較的新しい時期に帰属すると考えられる。

W - 4号溝 (Fig. 89・91 / P L . 24)

位置：X 17、Y 240～242 グリッド。主軸方位：北から南に向けてN - 8° - W→N - 9° - E。重複：H - 16・19号住居跡と重複し、本溝は重複する全ての遺構より新しい。規模：上端幅 0.40 m～0.72 m、下端幅 0.20 m～0.44 m。残存深度：0.11 m。断面形態：皿状を呈する。底面の状態：全体的に凹凸がみられ、浅く掘り込まれている。流水の痕跡は認められない。底面の標高は、北から南に向かって低くなる。遺構埋没状態：埋没土は単層で、A s - B・ロームブロックを含む暗灰色土を主体とする。遺物出土状態：遺物の出土はみられない。出土遺物：本溝に帰属する遺物は出土していない。時期：本溝は遺構の性格や時期を示す証左に乏しいが、埋没土層の観察から、A s - B 降下以降に帰属すると考えられる。

W - 5号溝 (Fig. 89・91 / P L . 24)

位置：X 14～16、Y 227～234 グリッド。主軸方位：北から南に向けてN - 19° - E→N - 21° - W→N - 19° - E→N - 4° - E→N - 84° - W。重複：J D - 97 号土坑と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から、本溝は J D - 97 号土坑より新しい。規模：上端幅 0.32 m～0.92 m、下端幅 0.20 m～0.62 m。残存深度：0.25 m。断面形態：検出部分により異なり、不整形の箱状や「U」字状を呈する。底面の状態：全体的に凹凸がみられ、浅く掘り込まれている。流水の痕跡は認められない。底面の標高は、北から南に向かって低くなる。遺構埋没状態：埋没土は、ロームブロック・ローム粒・A s - C・A s - B・白色軽石を含む暗褐色土と黒褐色土、にぶい黄褐色土を主体とする。遺物出土状態：埋没土より破片資料が少量出土した。出土遺物：本溝に帰属する遺物は出土していない。時期：本溝は遺構の性格や時期を示す証左に乏しいが、埋没土層の観察から、近世以降に帰属すると考えられる。

W - 6号溝 (Fig. 89・91 / P L . 24)

位置：X 16・17、Y 232・233。主軸方位：N - 73° - W。重複：確認されていない。規模：上端幅 0.40 m～0.72 m、下端幅 0.32 m～0.60 m。残存深度：0.54 m。断面形態：やや不整形の逆箱状を呈する。底面の状態：多少の凹凸がみられるが、比較的平坦である。底面の標高は、溝の両端が僅かに高くなる。また、北側が一段高い形状であるが、埋没土層に別遺構の痕跡は認められないため、同一遺構の掘り込みによるものと判断される。流水の痕跡は認められない。遺構埋没状態：埋没土は、ロームブロック・ローム粒・A s - C・A s - B・H r - F A 軽石を含むにぶい黄褐色土と暗褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。遺物出土状態：遺物の出土はみられない。出土遺物：本溝に帰属する遺物は出土していない。時期：本溝は遺構の性格や時期を示す証左に乏しいが、埋没土層の観察から、近世以降に帰属すると考えられる。

7 性格不明遺構

S X - 1号性格不明遺構 (Fig. 91 / P L . 24)

位置：X 31、Y 215・216。主軸方位：N - 11° - W。重複：西側の一部で擾乱が重複する。形状：検出範囲から、方形もしくは長方形状を呈するものと想定される。規模：[2.84] m × [1.60] m。残存深度：0.32 m。底面の状態：凹凸がやや顕著である。検出範囲に限れば、竪穴住居跡もしくは堅穴状遺構を想定させる平面形態を呈するが、床面は確認されていない。ピット 1基 (P 1) が検出されており、規模は平面 0.53 m × 0.38 m、深さ 0.67 m を測る。遺構埋没状態：埋没土は、ロームブロック・A s - C・H r - F A を含む黄褐色土と灰褐色土を主体とし、人為埋没と想定される。埋没土にロームブロックを多量に含む点が竪穴住居跡の掘り方調査で確認される貼床と類似する。このため本遺構の性格として堅穴住居跡の掘り方のみが残存した可能性が考えられる。遺物出

土状態：遺物の出土はない。**出土遺物**：本遺構に帰属する遺物は出土していない。**時期**：本遺構は、遺構の時期を示す証左に乏しいが、埋没土からH r - F A降下からA s - B降下の間に帰属すると想定される。

S X - 2号性格不明遺構 (Fig. 92 / P L . 24)

位置：X 13・14、Y 239・240。**主軸方位**：N - 71° - W。**重複**：W - 1号構と重複し、埋没土の観察から本性格不明遺構が古い。**形状**：不整形状。**規模**：3.53 m × 2.70 m。**残存深度**：0.59 m。**底面の状態**：多少の凹凸がみられる。全体的に浅く掘り込まれ、中央東寄りが擂鉢状にやや深くなる。**遺構埋没状態**：埋没土は、ロームブロック・A s - C・A s - B・炭化粒を含む暗褐色土とにびい黄褐色土を主体とする。**遺物出土状態**：遺物の出土はみられない。**出土遺物**：本遺構に帰属する遺物は出土していない。**時期**：本遺構は、遺構の時期を示す証左に乏しいが、埋没土からA s - B降下以降に帰属すると想定される。

S X - 3号性格不明遺構 (Fig. 83 / P L . 24)

位置：X 13・14、Y 231・232。**主軸方位**：N - 54° - W。**重複**：J D - 20・21a・21b・23～26号土坑と重複する。**出土遺物**、**埋没土層の観察**から、本遺構は重複する全ての遺構より古い。**形状**：残存部分から、やや不整形状の梢円形状を呈すると想定される。**規模**：3.22 m × [2.88] m。**残存深度**：0.18 m。**底面の状態**：多少の凹凸がみられるが、比較的なだらかである。**遺構埋没状態**：埋没土は、白色軽石・A s - Y P・ロームブロック・ローム粒・炭化粒・焼土を含む暗褐色土とにびい黄褐色土を主体とする。**遺物出土状態**：遺物の出土はみられない。**出土遺物**：本遺構に帰属する遺物は出土していない。**時期**：本遺構と重複するJ D - 21a号土坑より花積下層式土器の破片が出土していることから、本遺構は縄文時代前期初頭以前に帰属すると考えられる。

S X - 4号性格不明遺構 (Fig. 92 / P L . 24)

位置：X 15～17、Y 233・234。**主軸方位**：N - 80° - W。**重複**：確認されていない。**形状**：不整形状。**規模**：5.22 m × 1.73 m。**残存深度**：0.25 m。**底面の状態**：全体的に浅く掘り込まれており、約10～30 cm単位の細かい凹凸が顕著にみられる事から、耕作痕と想定される。**遺構埋没状態**：ロームブロック・ローム粒・A s - C・A s - B・H r - F A軽石・白色軽石を含む暗褐色土とにびい黄褐色土を主体とする。**遺物出土状態**：埋没土から破片資料が少量出土した。**出土遺物**：本遺構に帰属する遺物は出土していない。**時期**：本遺構は、遺構の時期を示す証左に乏しいが、埋没土からA s - B降下以降に帰属すると想定される。

8 ピット (Fig. 93～101・123 / Tab. 10～18・35 / P L . 41)

ピットは685基検出されている。これらのピットは、A～Eの5パターンに分類でき、概ね縄文時代・古墳時代・中世～近世・現代に帰属時期を割り振ることができる。なお、検出されたピットのうち、P - 271～P - 275はB - 2号掘立柱建物跡、P - 539～545・547はB - 3号掘立柱建物跡の柱穴として機能するものである。

A～Eに含まれる埋没土の状況を下記に、ピットの詳細（位置・規模・深さ・平面形態・掲載遺物・埋没土パターン・備考）をTab. 10～18に示した。

A. 黒褐色土 振乱土。しまり弱い。粘性弱。現代のピット。

B. 灰褐色土 A s - B φ 0.2 cm少量含む。しまりやや弱。粘性弱。A s - B降下以降のピット。中世か？

C. 黒褐色土 A s - C φ 0.5 cm少量含む。しまりややあり。粘性ややあり。A s - C降下以降のピット。古墳時代に帰属。

- D. 暗褐色土** 白色軽石 ϕ 0.2 cm微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。As - BやAs - C、Hr - FAは確認されないため、縄文時代に帰属すると想定される。
- E. 黒褐色土** 白色軽石 ϕ 0.2 cm微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。As - BやAs - C、Hr - FAは確認されないため、縄文時代に帰属すると想定される。

遺構名	グリット	規模 (m)	深さ (m)	平面形態	高載造物	埋没土	備考
P - 1 Y 227	X 19	0.47 × 0.43	0.18	楕円形	—	C	
P - 2 Y 227	X 19	0.43 × 0.36	0.30	楕円形	—	C	
P - 3 Y 227	X 19	0.42 × 0.35	0.32	不整形	—	C	
P - 4 Y 226	X 20	0.43 × 0.36	0.31	楕円形	—	C	
P - 5 Y 226	X 19	0.55 × 0.42	0.27	楕円形	—	D	
P - 6 Y 226	X 20	0.55 × 0.38	0.99	楕丸方形	—	E	
P - 7 Y 226	X 20	0.49 × 0.47	0.27	円形	—	E	
P - 8 Y 227	X 25	(0.28) × 0.40	0.31	(不整形)	—	C	
P - 9 Y 207	X 27	0.28 × 0.23	0.42	楕円形	—	E	
P - 10 Y 207	X 26	0.37 × 0.30	0.24	楕円形	—	A	
P - 11 Y 207	X 26	0.27 × 0.22	0.46	楕円形	—	A	
P - 12 Y 207	X 27	0.36 × 0.27	0.27	楕円形	—	E	
P - 13 Y 207	X 27	(0.16) × 0.36	0.67	(楕円形)	—	E	
P - 14 Y 207	X 27	0.40 × 0.28	0.19	楕円形	—	E	
P - 15 Y 207	X 28	0.29 × 0.29	0.28	楕円形	—	E	
P - 16 Y 208	X 28	0.37 × 0.34	0.26	円形	—	E	
P - 17 Y 208	X 28	0.38 × 0.34	0.23	楕円形	—	E	
P - 18 Y 208	X 28	0.26 × 0.18	0.30	楕円形	—	E	
P - 19 Y 208	X 27	0.26 × 0.19	0.30	楕円形	—	E	
P - 20 Y 208	X 26	0.32 × 0.30	0.14	円形	—	E	
P - 21 Y 208	X 26	0.22 × 0.22	0.21	(楕円形)	—	E	
P - 22 Y 208	X 26	(0.25) × 0.28	0.15	(楕円形)	—	E	
P - 23 Y 208	X 26	0.29 × 0.25	0.50	楕円形	—	A	
P - 24 Y 208	X 26	0.36 × 0.30	0.30	楕円形	—	A	
P - 25 Y 208	X 26	0.26 × 0.22	0.15	楕円形	—	A	
P - 26 Y 208	X 26	0.26 × 0.22	0.23	楕円形	—	E	
P - 27 Y 208	X 32	0.23 × 0.20	0.27	楕円形	—	B	
P - 28 Y 208	X 32	0.22 × 0.19	0.18	楕円形	—	E	
P - 29 Y 208	X 32	0.28 × 0.22	0.26	楕円形	—	E	
P - 30 Y 208	X 30	0.26 × 0.24	0.09	円形	—	E	
P - 31 Y 208	X 29	0.39 × 0.37	0.34	楕円形	—	E	
P - 32 Y 208	X 29	0.47 × 0.35	0.41	楕円形	—	E	
P - 33 Y 208	X 30	1.29 × 1.12	0.17	楕円形	—	A	
P - 34 Y 209	X 27	0.38 × 0.36	0.13	楕円形	—	E	
P - 35 Y 209	X 27	0.27 × 0.28	0.41	× 0.37	0.19	楕円形	—
P - 36 Y 209	X 27	0.45 × 0.34	0.22	楕円形	—	E	
P - 37 Y 209	X 27	0.27 × 0.25	0.19	楕円形	—	E	

遺構名	グリット	規模 (m)	深さ (m)	平面形態	高載造物	埋没土	備考
P - 38 Y 210	X 27	0.56 × 0.38	0.29	楕円形	—	E	
P - 39 Y 210	X 27	0.40 × 0.30	0.22	楕円形	—	E	
P - 40 Y 210	X 27	0.50 × 0.36	0.22	楕円形	—	E	
P - 41 Y 209	X 26	0.35 × 0.31	0.30	楕円形	—	E	
P - 42 Y 209	X 26	0.29 × 0.23	0.27	楕円形	—	E	
P - 43 Y 209	X 26	0.33 × 0.28	0.25	楕円形	—	E	
P - 44 Y 209	X 26	0.32 × 0.28	0.15	楕円形	—	E	
P - 45 Y 209	X 26	0.30 × 0.29	0.21	楕円形	—	E	
P - 46 Y 209	X 26	(0.23) × 0.22	0.33	(楕円形)	—	E	
P - 47 Y 209	X 26	0.34 × 0.32	0.50	(円形)	—	E	
P - 48 Y 209	X 26	0.19 × 0.17	0.18	(円形)	—	B	
P - 49 Y 209	X 25	(1.03) × 0.46	0.46	不整形	—	B	
P - 50 Y 209	X 25	0.30 × 0.24	0.12	楕円形	—	E	
P - 51 Y 210	X 28	0.33 × 0.25	0.24	楕円形	—	E	
P - 52 Y 210	X 28	0.43 × 0.36	0.83	楕円形	—	E	
P - 53 Y 210	X 29	0.44 × 0.36	0.33	楕円形	—	A	
P - 54 Y 209	X 30	0.27 × 0.25	0.19	円形	—	B	
P - 55 Y 209	X 30	0.38 × 0.39	0.63	楕円形	—	A	
P - 56 Y 210	X 30	0.38 × 0.34	0.84	楕円形	—	E	
P - 57 Y 209	X 30	0.21 × 0.17	0.20	楕円形	—	B	
P - 58 Y 209	X 31	0.32 × 0.24	0.47	(楕円形)	—	E	
P - 59 Y 209	X 31	0.32 × 0.25	0.19	(円形)	—	E	
P - 60 Y 210	X 31	0.24 × 0.18	0.35	(楕円形)	—	E	
P - 61 Y 209	X 31	0.22 × 0.19	0.40	円形	—	E	
P - 62 Y 209	X 31	0.28 × 0.24	0.17	楕円形	—	E	
P - 63 Y 211	X 25	0.24 × 0.21	0.19	楕円形	—	—	
P - 64 Y 211	X 25	(0.57) × 0.19	(楕円形)	—	—	—	
P - 65 Y 212	X 25	0.57 × 0.54	0.08	楕円形	—	A	
P - 66 Y 213	X 25	0.23 × 0.19	0.22	楕円形	—	B	
P - 67 Y 213	X 25	0.27 × 0.26	0.05	楕円形	—	E	
P - 68 Y 213	X 24 × 25	0.25 × 0.23	0.17	円形	—	A	
P - 69 Y 213	X 25	0.43 × 0.42	0.33	楕円形	—	E	
P - 70 Y 213	X 26	0.31 × 0.28	0.50	楕円形	—	A	
P - 71 Y 213	X 26	0.47 × 0.39	0.13	楕円形	—	E	
P - 72 Y 213	X 26	0.29 × 0.24	0.29	円形	—	E	
P - 73 Y 213	X 26	0.30 × 0.25	0.31	楕円形	—	E	
P - 74 Y 212	X 27	0.64 × 0.59	0.50	楕円形	—	E	

Tab. 10 ピット一覧表 (1)

造形名	グリット	規模 (m)	深さ (m)	平面形態	周囲造物	埋没土	備考	造形名	グリット	規模 (m)	深さ (m)	平面形態	周囲造物	埋没土	備考
P- 25	X 27 Y 212	0.22 × 0.20	0.31	楕円形	—	E		P- 116	X 21 Y 217 + 218	0.42 × 0.24	0.38	楕円形	—	E	
P- 26	X 27 Y 212	0.29 × 0.24	0.33	楕円形	—	E		P- 117	X 21 Y 217	0.24 × 0.23	0.11	楕円形	—	A	
P- 27	X 28 Y 213	0.30 × 0.29	0.13	円形	—	E		P- 118	X 20 Y 217	0.21 × 0.22	0.39	楕円形	—	E	
P- 28	X 29 Y 213	0.35 × 0.28	0.06	楕円形	—	E		P- 119	X 20 Y 217	0.19 × 0.19	0.21	円形	—	E	
P- 29	X 31 Y 211	0.32 × 0.29	0.12	楕円形	—	B		P- 120	X 19 Y 217 + 218	0.32 × 0.27	0.35	楕円形	—	E	
P- 30	X 30 Y 212	0.29 × 0.27	0.16	楕円形	—	B		P- 121	X 19 Y 218	0.33 × 0.25	0.19	楕円形	—	B	
P- 31	X 30 Y 211 - 212	0.23 × 0.19	0.10	楕円形	—	E		P- 122	X 20 Y 218	0.49 × 0.43	0.02	楕円形	—	E	
P- 32	X 32 Y 211	0.36 × 0.33	0.40	楕円形	—	E		P- 123	X 19 Y 218	0.39 × 0.35	0.45	楕円形	—	E	
P- 33	X 32 Y 211	0.29 × 0.28	0.09	楕円形	—	E		P- 124	X 19 Y 218	0.50 × 0.32	0.24	楕円形	—	E	
P- 34	X 32 Y 211	0.25 × 0.21	0.19	楕円形	—	E		P- 125	X 20 Y 218	0.68 × 0.62	0.14	不整形	—	E	
P- 35	X 32 Y 211	0.29 × 0.25	0.16	円形	—	B		P- 126	X 21 Y 218	0.37 × 0.37	0.67	円形	—	A	
P- 36	X 32 Y 211	0.41 × 0.33	0.10	楕円形	—	E		P- 127	X 21 Y 218	0.39 × 0.27	0.30	楕円形	—	B	
P- 37	X 32 Y 212	0.29 × 0.25	0.24	楕円形	—	E		P- 128	X 18 + 19 Y 218 + 219	0.69 × 0.62	0.05	円形	—	B	
P- 38	X 32 Y 212	0.22 × 0.19	0.17	円形	—	E		P- 129	X 19 Y 218 + 219	0.94 × 0.89	0.18	楕円形	—	A	
P- 39	X 32 Y 212	0.28 × 0.27	0.32	楕円形	—	E		P- 130	X 19 + 20 Y 218 + 219	0.43 × 0.32	0.11	不整形	—	D	
P- 40	X 32 Y 212	0.29 × 0.24	0.19	楕円形	—	E		P- 131	X 22 Y 216 + 217	0.54 × 0.53	0.32	不整形	—	A	
P- 41	X 32 Y 212	0.23 × 0.19	0.24	楕円形	—	E		P- 132	X 22 + 23 Y 216	0.88 × 0.87	0.09	不整形	—	A	
P- 42	X 23 Y 214	6.45 × 0.35	0.12	楕円形	—	E		P- 133	X 23 Y 216	0.67 × 0.57	0.09	楕円形	—	A	
P- 43	X 22 Y 214	(0.23) × 0.36	0.09	(円形)	—	B		P- 134	X 23 Y 216	0.47 × 0.40	0.07	楕円形	—	E	
P- 44	X 22 + 23 Y 214	0.69 × 0.46	0.32	楕円形	—	E		P- 135	X 22 Y 217	0.32 × 0.31	0.39	円形	—	B	
P- 45	X 23 Y 215	0.67 × 0.49	0.20	楕円形	—	E		P- 136	X 22 Y 217	0.37 × 0.32	0.12	楕円形	—	E	
P- 46	X 22 + 23 Y 215	0.23 × 0.18	0.13	楕円形	—	E		P- 137	X 22 Y 217	0.27 × 0.22	0.13	楕円形	—	B	
P- 47	X 23 Y 215	0.19 × 0.18	0.17	楕円形	—	E		P- 138	X 22 Y 218	0.71 × 0.45	0.16	楕円形	—	E	
P- 48	X 21 Y 215	0.49 × 0.39	0.04	楕円形	—	—		P- 139	X 22 Y 218	0.32 × 0.31	0.17	円形	—	B	
P- 49	X 21 Y 216	0.54 × 0.41	0.22	不整形	—	E		P- 140	X 24 Y 217	0.23 × 0.21	0.26	円形	—	E	
P- 50	X 21 Y 216	0.27 × 0.27	0.45	楕円形	—	C		P- 141	X 24 Y 217	0.24 × 0.18	0.25	楕円形	—	E	
P- 51	X 25 Y 214	0.53 × 0.41	0.18	不整形	—	E		P- 142	X 24 Y 217	0.43 × 0.38	0.13	楕円形	—	B	
P- 52	X 25 Y 214	0.42 × 0.38	0.13	楕円形	—	E		P- 143	X 23 Y 218	0.25 × 0.19	0.24	楕円形	—	A	
P- 53	X 25 Y 214	0.25 × 0.25	0.29	円形	—	E		P- 144	X 23 Y 218	0.21 × 0.21	0.24	楕円形	—	C	
P- 54	X 26 Y 215	0.54 × 0.38	0.54	楕円形	—	E		P- 145	X 23 Y 218	0.40 × 0.37	0.65	楕円形	—	C	
P- 55	X 26 Y 214	0.39 × 0.33	0.27	楕円形	—	—		P- 146	X 25 Y 217	0.31 × 0.22	0.29	不整形	—	E	
P- 56	X 26 Y 214	0.56 × 0.54	0.06	円形	—	E		P- 147	X 25 Y 217	0.21 × 0.18	0.40	楕円形	—	C	
P- 57	X 26 Y 214	0.61 × 0.49	0.19	楕円形	—	E		P- 148	X 25 Y 217	0.25 × 0.20	0.42	楕円形	—	E	
P- 58	X 26 Y 214	0.31 × 0.25	0.45	円形	—	E		P- 149	X 25 Y 218	0.29 × 0.19	0.22	長方形	—	E	
P- 59	X 26 Y 214	0.22 × 0.19	0.29	楕円形	—	E		P- 150	X 24 Y 218	0.77 × 0.61	0.05	楕円形	—	A	
P- 60	X 26 Y 214	0.47 × 0.25	0.05	楕円形	—	E		P- 151	X 23 Y 218	0.49 × 0.37	0.56	楕円形	—	E	
P- 61	X 26 Y 214	0.37 × 0.32	1.11	楕円形	—	E		P- 152	X 23 Y 218	0.31 × 0.29	0.38	円形	—	B	
P- 62	X 21 Y 217	0.25 × 0.23	0.25	楕円形	—	E		P- 153	X 23 Y 218	0.29 × 0.26	0.23	円形	—	E	
P- 63	X 21 Y 217	0.39 × 0.33	0.27	楕円形	—	—		P- 154	X 26 Y 217 + 218	0.25 × 0.22	0.23	不整形	—	E	
P- 64	X 27 Y 217	0.29 × 0.25	0.12	楕円形	—	E									
P- 65	X 21 Y 217 + 218	0.26 × 0.23	0.22	楕円形	—	E									

Tab. 11 ピット一覧表 (2)

造佛名	グリット	規模 (m)	深さ (m)	平面形態	施設遺物	埋没土	備考
P - 155	X 26 Y 218	0.33 × 0.31	0.30	不整形	—	E	
P - 156	X 27 Y 218	0.21 × 0.19	0.29	椭円形	—	E	
P - 157	X 27 Y 218	0.25 × 0.22	0.42	椭円形	—	E	
P - 158	X 18 Y 219	0.39 × 0.33	0.53	椭円形	—	A	
P - 159	X 18 Y 219	0.61 × 0.45	0.24	椭円形	—	A	
P - 160	X 17 Y 220	0.68 × 0.47	0.08	不整形	—	—	
P - 161	X 17 Y 221	0.57 × 0.53	0.19	椭円形	—	E	
P - 162	X 17 Y 221	0.59 × 0.34	0.18	椭円形	—	E	
P - 163	X 32 Y 299	0.21 × 0.18	0.14	円形	—	E	
P - 164	X 33 Y 299	0.27 × 0.23	0.19	椭円形	—	E	
P - 165	X 33 Y 299	0.30 × 0.28	0.17	椭円形	—	E	
P - 166	X 33 Y 299	0.24 × 0.23	0.10	円形	—	B	
P - 167	X 33 Y 299	0.23 × 0.19	0.11	椭円形	—	E	
P - 168	X 33 Y 299	0.30 × 0.29	0.35	円形	—	B	
P - 169	X 33 Y 210	0.22 × 0.17	0.14	椭円形	—	E	
P - 170	X 33 Y 210	0.18 × 0.17	0.09	椭円形	—	B	
P - 171	X 33 Y 210	0.36 × 0.21	0.07	椭円形	—	B	
P - 172	X 33 Y 210	0.28 × 0.25	0.10	円形	—	B	
P - 173	X 33 Y 210	0.29 × 0.26	0.25	椭円形	—	B	
P - 174	X 33 Y 210	0.39 × 0.34	0.25	椭円形	—	B	
P - 175	X 33 Y 211	0.29 × 0.27	0.07	円形	—	B	
P - 176	X 32 Y 211	0.29 × 0.19	0.05	椭円形	—	E	
P - 177	X 32 Y 211	0.27 × 0.25	0.15	椭円形	—	B	
P - 178	X 20 Y 219 220	0.51 × 0.45	0.50	椭円形	—	E	
P - 179	X 19 + 20 Y 219	0.66 × 0.56	0.21	不整形	—	B	
P - 180	X 19 + 20 Y 219	1.13 × 1.03	0.12	不整形	—	A	
P - 181	X 20 Y 220	0.33 × 0.29	0.30	椭円形	—	E	
P - 182	X 21 Y 219	0.27 × 0.27	0.18	円形	—	B	
P - 183	X 21 Y 219	0.44 × 0.26	0.21	椭円形	—	B	
P - 184	X 21 Y 219	0.33 × 0.24	0.21	椭円形	—	B	
P - 185	X 21 Y 219	0.32 × 0.21	0.19	椭円形	—	B	
P - 186	X 21 Y 219	0.29 × 0.17	0.41	椭円形	—	B	
P - 187	X 21 Y 219	0.16 × 0.14	0.26	椭円形	—	B	
P - 188	X 21 Y 219	0.29 × 0.13	0.35	椭円形	—	B	
P - 189	X 22 Y 219	0.49 × 0.36	0.32	椭円形	—	E	
P - 190	X 22 Y 219	0.29 × 0.27	0.04	椭円形	—	A	
P - 191	X 22 Y 219	0.27 × 0.21	0.08	椭円形	—	A	
P - 192	X 22 Y 219	0.29 × 0.24	0.17	椭円形	—	B	
P - 193	X 22 Y 220	0.34 × 0.29	0.34	椭円形	—	E	
P - 194	X 21 Y 220	0.62 × 0.29	0.15	不整形	—	E	
P - 195	X 20 Y 221	0.37 × 0.30	0.20	椭円形	—	A	

造佛名	グリット	規模 (m)	深さ (m)	平面形態	施設遺物	埋没土	備考
P - 196	X 20 Y 221	0.32 × 0.25	0.24	椭円形	—	E	
P - 197	X 19 Y 220	0.65 × 0.55	0.18	不整形	—	—	
P - 198	X 19 Y 220	0.59 × 0.52	0.07	椭円形	—	—	
P - 199	X 29 Y 219	0.21 × 0.16	0.21	椭円形	—	E	
P - 200	X 28 Y 219	0.39 × 0.33	0.10	椭円形	—	E	
P - 201	X 29 Y 219	0.35 × 0.29	0.19	椭円形	—	E	
P - 202	X 28 Y 219	0.29 × 0.26	0.12	椭円形	—	E	
P - 203	X 28 Y 220 + 221	0.29 × 0.22	0.72	椭円形	—	E	
P - 204	X 29 Y 220	0.27 × 0.25	0.25	円形	—	E	
P - 205	X 29 Y 220	0.23 × 0.23	0.20	円形	—	E	
P - 206	X 29 Y 220	0.48 × 0.28	0.33	椭円形	—	B	
P - 207	X 29 Y 220 (0.22)	0.24 × 0.21	(椭円形)	—	—	B	
P - 208	X 29 Y 221	0.28 × 0.25	0.37	(椭円形)	—	E	
P - 209	X 28 Y 220	0.29 × 0.22	0.16	不整形	—	E	
P - 210	X 28 Y 220	0.33 × 0.31	0.37	椭円形	—	E	
P - 211	X 28 Y 221	0.25 × 0.29	0.13	不整形	—	A	
P - 212	X 28 Y 220	0.30 × 0.28	0.59	椭円形	—	E	
P - 213	X 27 Y 220	0.22 × 0.21	0.27	椭円形	—	E	
P - 214	X 27 Y 220	0.31 × 0.21	0.35	椭円形	—	E	
P - 215	X 27 Y 220	0.25 × 0.17	0.26	不整形	—	E	
P - 216	X 27 Y 220	0.39 × 0.35	0.31	椭円形	—	E	
P - 217	X 27 Y 221	0.40 × 0.31	0.18	椭円形	—	E	
P - 218	X 27 Y 221	0.32 × 0.25	0.38	不整形	—	E	
P - 219	X 15 Y 222	0.30 × 0.32	(椭円形)	—	—	B	
P - 220	X 15 Y 222	0.51 × 0.26	(椭円形)	—	—	B	
P - 221	X 15 Y 223	0.37 × 0.25	0.67	椭円形	—	A	
P - 222	X 14 Y 223	0.57 × 0.49	0.12	椭円形	—	—	
P - 223	X 15 Y 222	0.41 × 0.34	0.20	椭円形	—	B	
P - 224	X 15 Y 223	0.33 × 0.28	0.17	椭円形	—	C	
P - 225	X 16 Y 222	0.54 × 0.43	0.23	椭円形	—	E	
P - 226	X 16 Y 222	0.41 × 0.39	0.18	椭円形	—	E	
P - 227	X 16 Y 222	0.49 × 0.47	0.21	椭円形	—	E	
P - 228	X 16 Y 222 + 223	0.51 × 0.42	0.16	椭円形	—	E	
P - 229	X 16 Y 222 + 223	0.37 × 0.27	0.17	椭円形	—	B	
P - 230	X 16 Y 223	0.93 × 0.47	0.14	椭円形	—	E	
P - 231	X 16 Y 223	0.34 × 0.22	0.17	椭円形	—	A	
P - 232	X 16 Y 223	0.69 × 0.65	0.12	円形	—	—	
P - 233	X 17 Y 222 + 223	0.68 × 0.56	0.21	不整形	—	E	
P - 234	X 17 Y 222	0.63 × 0.59	0.09	不整形	—	E	
P - 235	X 17 Y 222 + 223	0.35 × 0.30	0.17	長方形	—	E	

Tab. 12 ピット一覧表 (3)

造営名	グリット	規格 (m)	深さ (m)	平面形態	荷重物	埋没土	備考	造営名	グリット	規格 (m)	深さ (m)	平面形態	荷重物	埋没土	備考
P - 236	X 17 Y 223	0.37 × 0.41	0.16	楕円形	—	E		P - 277	X 25 Y 223	0.25 × 0.23	0.56	円形	—	E	
P - 237	X 17 Y 223	0.42 × 0.39	0.15	楕円形	—	E		P - 278	X 25 Y 223	0.33 × 0.27	0.17	楕円形	—	B	
P - 238	X 17 Y 223	0.33 × 0.28	0.10	楕円形	—	E		P - 279	X 25 Y 223	0.31 × 0.21	0.35	楕円形	—	E	
P - 239	X 17 Y 223	0.47 × 0.41	0.11	楕円形	—	E		P - 280	X 23 Y 223	0.70 × 0.60	0.13	不整形	—	A	
P - 240	X 17 Y 221	0.40 × 0.36	0.13	楕円形	—	E		P - 281	X 23 Y 224 + 223	0.45 × 0.32	0.25	楕円形	—	E	
P - 241	X 15 Y 223	0.29 × 0.26	0.17	円形	—	—		P - 282	X 26 Y 221	0.27 × 0.25	0.12	楕円形	—	E	
P - 242	X 19 Y 221	0.35 × 0.30	0.35	楕円形	—	E		P - 283	X 26 Y 221	0.24 × 0.22	0.20	楕円形	—	A	
P - 243	X 19 Y 221	0.44 × 0.39	0.45	不整形	—	E		P - 284	X 26 Y 221	0.39 × 0.38	0.50	楕円形	—	E	
P - 244	X 19 Y 222	0.33 × 0.31	0.34	円形	—	E		P - 285	X 26 Y 223	0.31 × 0.23	0.13	楕円形	—	E	
P - 245	X 18 Y 223	0.39 × 0.31	0.35	不整形	—	A		P - 286	X 26 Y 223	0.36 × 0.29	0.45	不整形	—	E	
P - 246	X 18 Y 223	0.45 × 0.39	0.29	楕円形	—	E		P - 287	X 27 Y 223	0.37 × 0.29	0.33	楕円形	—	E	
P - 247	X 18 Y 223	0.35 × 0.31	0.29	楕円形	—	A		P - 288	X 27 Y 223	0.20 × 0.17	0.08	楕円形	—	E	
P - 248	X 17 + 18 Y 223	0.55 × 0.39	0.22	楕円形	—	E		P - 289	X 27 Y 223 + 222	0.27 × 0.24	0.28	楕円形	—	E	
P - 249	X 18 Y 223	0.39 × 0.25	0.12	楕円形	—	E		P - 290	X 27 Y 223	0.25 × 0.25	0.17	円形	—	A	
P - 250	X 19 Y 223	0.25 × 0.24	0.71	円形	—	E		P - 291	X 27 Y 223	0.18 × 0.17	0.08	楕円形	—	E	
P - 251	X 19 Y 223	0.63 × 0.33	0.29	楕円形	—	E		P - 292	X 27 Y 223	0.47 × 0.38	0.39	楕円形	—	E	
P - 252	X 20 Y 222	0.35 × 0.29	0.33	楕円形	—	E		P - 293	X 28 Y 222	0.30 × 0.25	0.40	楕円形	—	E	
P - 253	X 21 Y 221	0.58 × 0.53	0.11	楕円形	—	E		P - 294	X 28 Y 222	0.34 × 0.29	0.26	楕円形	—	E	
P - 254	X 21 Y 222	0.68 × 0.54	0.12	楕円形	—	A		P - 295	X 28 Y 222	0.37 × 0.36	0.20	楕円形	—	E	
P - 255	X 21 Y 222	0.51 × 0.37	0.03	楕円形	—	E		P - 296	X 26 Y 222	0.35 × 0.26	0.31	楕円形	—	E	
P - 256	X 20 Y 222 + 223	0.43 × 0.32	0.47	楕円形	—	E		P - 297	X 26 Y 222	0.32 × 0.22	0.42	楕円形	—	E	
P - 257	X 20 Y 223	0.47 × 0.46	0.23	不整形	—	E		P - 298	X 26 Y 222	0.31 × 0.26	0.18	不整形	—	H	
P - 258	X 21 Y 223	0.43 × 0.31	0.14	不整形	—	E		P - 299	X 15 Y 224	0.43 × 0.34	0.19	楕円形	—	—	
P - 259	X 21 Y 223	0.31 × 0.27	1.05	楕円形	—	E		P - 300	X 15 Y 224	0.55 × 0.43	0.12	楕円形	—	—	
P - 260	X 21 Y 223	0.41 × 0.38	0.12	楕円形	—	E		P - 301	X 15 Y 224	0.38 × 0.38	0.20	楕円形	—	B	
P - 261	X 26 Y 221	0.33 × 0.26	0.21	楕円形	—	B		P - 302	X 14 Y 224	0.50 × 0.27	0.15	楕円形	—	E	
P - 262	X 26 Y 221	0.29 × 0.27	0.16	楕円形	—	E		P - 303	X 14 Y 224	0.25 × 0.17	0.06	楕円形	—	E	
P - 263	X 26 Y 221	0.35 × 0.27	0.43	楕円形	—	E		P - 304	X 14 Y 224	0.31 × 0.26	0.10	楕円形	—	E	
P - 264	X 25 Y 221 + 222	0.31 × 0.29	0.20	円形	—	E		P - 305	X 14 Y 224	0.32 × 0.32	0.14	楕円形	—	A	
P - 265	X 26 Y 222	0.25 × 0.24	0.25	不整形	—	—		P - 306	X 14 Y 224 + 223	0.61 × 0.40	0.12	不整形	—	A	
P - 266	X 25 Y 222	0.82 × 0.73	0.22	楕円形	—	—		P - 307	X 15 Y 225	0.37 × 0.32	0.18	楕円形	—	A	
P - 267	X 26 Y 222	0.34 × 0.28	0.27	楕円形	—	E		P - 308	X 15 Y 225	0.36 × 0.30	0.15	不整形	—	A	
P - 268	X 26 Y 222	0.41 × 0.28	0.11	楕円形	—	E		P - 309	X 15 Y 225	0.39 × 0.35	0.16	楕円形	—	A	
P - 269	X 26 Y 222	0.33 × 0.31	0.25	楕円形	—	E		P - 310	X 15 Y 225	0.40 × 0.32	0.23	不整形	—	A	
P - 270	X 25 Y 222	0.59 × 0.36	0.09	楕丸形	C	B - 2 号 立柱建物跡		P - 311	X 14 + 15 Y 225	0.51 × 0.37	0.07	楕円形	—	A	
P - 271	X 25 Y 222	0.53 × 0.44	0.12	楕丸形	C	B - 2 号 立柱建物跡		P - 312	X 16 Y 225	0.22 × 0.19	0.15	楕円形	—	A	
P - 272	X 25 Y 222	0.55 × 0.47	0.12	楕丸形	C	B - 2 号 立柱建物跡		P - 313	X 15 Y 226	0.29 × 0.25	0.74	楕円形	—	A	
P - 273	X 26 Y 223	0.59 × 0.36	0.15	楕丸形	C	B - 2 号 立柱建物跡		P - 314	X 15 Y 226	0.28 × 0.26	0.22	円形	—	E	
P - 274	X 26 Y 222	0.57 × 0.36	0.16	楕丸形	C	B - 2 号 立柱建物跡		P - 315	X 14 Y 224	0.83 × 0.65	0.10	不整形 形	—	A	
P - 275	X 26 Y 222	0.49 × 0.37	0.11	楕円形	C	B - 2 号 立柱建物跡		P - 316	X 14 Y 225	0.34 × 0.23	0.13	(不整 形)	—	A	
P - 276	X 25 Y 222	0.37 × 0.33	0.26	楕円形	—	E									

Tab. 13 ピット一覧表 (4)

造構名	グリット	規格 (m)	深さ (m)	平面形状	遮蔽造物	接役土	備考
P-317	X 14 Y 225	0.22 × 0.21	0.13	(不整形)	—	A	
P-318	X 14 Y 225	0.35 × 0.32	0.29	(椭円形)	—	A	
P-319	X 14 Y 224・ 225	0.65 × 0.32	0.11	(椭円形)	—	A	
P-320	X 14 Y 225	0.51 × 0.51	0.08	円形	—	A	
P-321	X 13・14 Y 225	0.25 × 0.24	0.22	円形	—	E	
P-322	X 14 Y 225	0.36 × 0.28	0.41	椭円形	—	E	
P-323	X 14 Y 225	0.36 × 0.32	0.30	不整形	—	E	
P-324	X 13 Y 226	0.74 × 0.54	0.19	(不整形)	—	E	
P-325	X 14 Y 226	0.24 × 0.23	0.34	椭円形	—	A	
P-326	X 14 Y 226	0.29 × 0.25	0.24	椭円形	—	E	
P-327	X 15 Y 226	0.21 × 0.21	0.26	円形	—	E	
P-328	X 16 Y 224	0.33 × 0.29	0.22	椭円形	—	B	
P-329	X 16 Y 224	0.33 × 0.29	0.18	椭円形	—	B	
P-330	X 17 Y 224	0.27 × 0.25	0.47	円形	—	A	
P-331	X 17 Y 224	0.23 × 0.24	0.23	不整形	—	A	
P-332	X 17 Y 224	0.57 × 0.46	0.14	(不整形)	—	—	
P-333	X 17 Y 225	0.33 × 0.29	0.23	椭円形	—	A	
P-334	X 16 Y 225	0.33 × 0.27	0.29	椭円形	—	B	
P-335	X 18 Y 224	0.35 × 0.27	0.04	椭円形	—	A	
P-336	X 18 Y 224・ 225	0.46 × 0.31	0.18	椭円形	—	A	
P-337	X 18 Y 224・ 225	0.40 × 0.35	0.07	椭円形	—	—	
P-338	X 19 Y 224	0.78 × 0.62	0.13	(不整形)	—	A	
P-339	X 19 Y 224	0.21 × 0.19	0.06	椭円形	—	A	
P-340	X 20 Y 225	0.69 × 0.46	0.26	(不整形)	—	—	
P-341	X 19 Y 225	0.25 × 0.23	0.30	円形	—	C	
P-342	X 20 Y 225	0.23 × 0.19	0.21	椭円形	—	C	
P-343	X 20 Y 225	0.39 × 0.25	0.18	椭円形	—	—	
P-344	X 20 Y 225	0.59 × 0.53	0.47	(不整形)	—	—	
P-345	X 19 Y 225	0.22 × 0.19	0.18	椭円形	—	—	
P-346	X 19 Y 226	0.23 × 0.19	0.22	椭円形	—	—	
P-347	X 24 Y 229・ 230	0.46 × 0.41	0.16	椭円形	—	E	
P-348	X 24 Y 229	0.30 × 0.28	0.21	円形	—	E	
P-349	X 19 Y 226	0.23 × 0.23	0.29	円形	—	E	
P-350	X 19 Y 226	0.35 × 0.25	0.25	椭円形	—	E	
P-351	X 17・18 Y 225	0.57 × 0.29	0.13	椭円形	—	A	
P-352	X 19 Y 225・ 226	0.79 × 0.66	0.29	(不整形)	—	—	
P-353	X 19 Y 226	0.38 × 0.33	0.35	椭円形	—	—	
P-354	X 19 Y 226	0.39 × 0.24	0.37	椭円形	—	E	
P-355	X 19 Y 226	0.39 × 0.32	0.31	椭円形	—	—	
P-356	X 18・19 Y 226・ 227	0.89 × 0.65	0.12	椭円形	—	A	
P-357	X 18 Y 226	0.27 × 0.34	0.13	椭円形	—	E	
P-358	X 19 Y 225	0.24 × 0.23	0.28	円形	—	—	
P-359	X 21 Y 224	1.12 × 0.81	0.14	椭円形	—	A	
P-360	X 21 Y 224	0.32 × 0.31	0.24	円形	—	E	
P-361	X 20 Y 225	1.03 × 0.95	0.35	円形	—	A	
P-362	X 21 Y 225	0.25 × 0.23	0.15	椭円形	—	C	
P-363	X 21 Y 226	0.63 × 0.57	0.28	椭円形	—	E	
P-364	X 21 Y 226	0.31 × 0.28	0.19	(不整形)	—	C	
P-365	X 20 Y 225・ 226	0.29 × 0.18	0.17	(不整形)	—	E	
P-366	X 21 Y 226	0.67 × 0.38	0.11	(不整形)	—	A	
P-367	X 22 Y 224	0.34 × 0.31	0.06	椭円形	—	A	
P-368	X 22 Y 224	0.46 × 0.41	0.16	(不整形)	—	E	
P-369	X 22・23 Y 224	0.59 × 0.34	0.49	椭円形	—	E	
P-370	X 22 Y 224	0.33 × 0.29	0.37	椭円形	—	E	
P-371	X 23 Y 224	0.28 × 0.23	0.17	椭円形	—	E	
P-372	X 23 Y 224	0.40 × 0.32	0.57	円形	—	E	
P-373	X 23 Y 224	0.37 × 0.35	0.13	円形	—	E	
P-374	X 23 Y 224	0.46 × 0.41	0.83	円形	—	E	
P-375	X 23 Y 224	0.28 × 0.19	0.19	椭円形	—	E	
P-376	X 23 Y 224	0.34 × 0.28	0.31	椭円形	—	E	
P-377	X 23 Y 224	0.49 × 0.41	0.22	(不整形)	—	E	
P-378	X 23 Y 224	0.38 × 0.29	0.10	椭円形	—	E	
P-379	X 23 Y 224	0.59 × 0.38	0.31	椭円形	—	E	
P-380	X 22・23 Y 224	0.64 × 0.45	0.13	椭円形	—	E	
P-381	X 22 Y 224	0.54 × 0.53	0.18	(不整形)	—	E	
P-382	X 22 Y 224	0.25 × 0.21	0.32	椭円形	—	C	
P-383	X 22・23 Y 224	0.40 × 0.18	0.07	(不整形)	—	E	
P-384	X 23 Y 224・ 225	0.45 × 0.40	0.61	椭円形	—	A	
P-385	X 24 Y 225・ 226	0.51 × 0.37	0.33	(不整形)	—	E	
P-386	X 24 Y 224	0.43 × 0.41	0.13	円形	—	A	
P-387	X 22 Y 226	0.71 × 0.49	0.31	椭円形	—	E	
P-388	X 22 Y 226	0.74 × 0.53	0.37	椭円形	—	E	
P-389	X 24 Y 224	0.63 × 0.49	0.10	椭円形	—	C	
P-390	X 25 Y 224	0.64 × 0.33	0.20	椭円形	—	A	
P-391	X 24 Y 224	0.62 × 0.45	0.09	長方形	—	A	
P-392	X 24 Y 225	0.31 × 0.24	0.14	椭円形	—	E	
P-393	X 24 Y 225	0.46 × 0.28	0.13	椭円形	—	E	
P-394	X 24・25 Y 225	0.45 × 0.31	0.36	椭円形	—	E	

Tab. 14 ピット一覧表 (5)

造形名	グリット	規格 (m)	深さ (m)	平面形態	尚載荷物	埋没土	備考	造形名	グリット	規格 (m)	深さ (m)	平面形態	尚載荷物	埋没土	備考
P-395	X 26 Y 224	0.23 × 0.18	0.20	楕円形	—	B		P-436	X 20 Y 227	0.33 × 0.29	0.11	楕円形	—	E	
P-396	X 25 Y 225	0.47 × 0.33	0.17	不整形	—	E		P-437	X 20 Y 227	0.45 × 0.41	0.31	楕円形	—	E	
P-397	X 26 Y 224	0.33 × 0.31	0.52	円形	—	E		P-438	X 20 Y 227	0.63 × 0.55	0.18	楕円形	—	E	
P-398	X 26 Y 224	0.47 × 0.35	0.15	楕円形	—	E		P-439	X 20 Y 227	0.43 × (0.38)	0.07	不整形	—	E	
P-399	X 27 Y 224	0.38 × 0.34	0.36	楕円形	—	E		P-440	X 21 Y 225	0.49 × 0.33	0.30	楕円形	—	E	
P-400	X 27 Y 224 + 225	0.39 × 0.34	0.65	楕円形	—	E		P-441	X 21 Y 227	0.19 × 0.17	0.22	楕円形	—	C	
P-401	X 26 Y 225	0.36 × 0.35	0.25	円形	—	A		P-442	X 21 Y 227	0.41 × 0.32	0.11	楕円形	—	A	
P-402	X 26 Y 225	0.66 × 0.55	0.17	円形	—	E		P-443	X 22 Y 227	0.33 × 0.21	0.13	楕円形	—	B	
P-403	X 25 Y 225	0.32 × 0.26	0.25	楕円形	—	B		P-444	X 22 Y 226 + 227	0.29 × 0.20	0.36	楕円形	—	B	
P-404	X 26 Y 225	0.26 × 0.22	0.59	円形	—	E		P-445	X 22 Y 227	0.31 × 0.25	0.15	楕円形	—	A	
P-405	X 26 Y 226	0.38 × 0.35	0.23	楕円形	—	B		P-446	X 22 Y 226	0.21 × 0.19	0.31	円形	—	E	
P-406	X 26 Y 226	0.32 × 0.27	0.21	楕円形	—	E		P-447	X 23 Y 227	0.46 × 0.32	0.21	楕円形	—	E	
P-407	X 17 Y 226	0.30 × 0.29	0.13	円形	—	E		P-448	X 23 Y 227	0.31 × 0.31	0.16	円形	—	E	
P-408	X 17 Y 228	0.29 × 0.25	0.32	円形	—	—		P-449	X 23 Y 227	0.35 × 0.32	0.27	円形	—	E	
P-409	X 17 Y 228	0.42 × 0.29	0.44	楕円形	—	—		P-450	X 23 Y 227	0.54 × 0.38	0.16	楕円形	—	C	
P-410	X 17 Y 227 + 228	0.29 × 0.23	0.13	楕円形	—	B		P-451	X 23 Y 227	0.23 × 0.22	0.16	円形	—	E	
P-411	X 18 Y 226	0.72 × 0.63	0.10	楕円形	—	A		P-452	X 23 Y 227	0.41 × 0.27	0.23	楕円形	—	E	
P-412	X 18 Y 227	0.33 × 0.31	0.17	円形	—	A		P-453	X 23 Y 228	0.45 × 0.33	0.14	楕円形	—	E	
P-413	X 18 Y 228	0.25 × 0.21	0.14	円形	—	E		P-454	X 23 Y 228	0.50 × 0.47	0.20	楕円形	—	E	
P-414	X 18 Y 227	0.38 × 0.31	0.34	楕円形	—	E		P-455	X 24 Y 227	0.51 × 0.47	0.28	円形	—	E	
P-415	X 18 + 19 Y 227	0.51 × 0.48	0.20	楕円形	—	E		P-456	X 25 Y 227	0.37 × 0.31	0.24	円形	—	E	
P-416	X 19 Y 226	0.39 × 0.33	0.52	楕円形	—	E		P-457	X 24 Y 227	0.30 × 0.27	0.10	不整形	—	E	
P-417	X 19 Y 226	0.48 × 0.34	0.29	不整形	—	E		P-458	X 25 Y 226	0.45 × 0.27	0.30	楕円形	—	E	
P-418	X 19 Y 226	0.32 × 0.27	0.46	楕円形	—	E		P-459	X 26 Y 226	0.39 × 0.36	0.24	円形	—	E	
P-419	X 19 Y 227	0.58 × 0.51	0.16	楕円形	—	C		P-460	X 26 Y 226	0.41 × 0.37	0.26	円形	—	A	
P-420	X 19 Y 227	0.51 × 0.33	0.17	楕円形	—	E		P-461	X 26 Y 226	0.24 × 0.21	0.15	楕円形	—	E	
P-421	X 19 Y 227	0.24 × 0.22	0.19	不整形	—	E		P-462	X 26 Y 226	0.31 × 0.29	0.22	円形	—	A	
P-422	X 19 Y 227	0.37 × 0.34	0.25	円形	—	E		P-463	X 26 Y 226	0.25 × 0.22	0.24	楕円形	—	E	
P-423	X 19 Y 227	0.50 × 0.42	0.21	楕円形	—	E		P-464	X 26 Y 226	0.33 × 0.32	0.22	楕円形	—	A	
P-424	X 19 + 20 Y 227	0.50 × 0.39	0.14	楕円形	—	E		P-465	X 26 Y 226 + 227	0.35 × 0.29	0.34	楕円形	—	B	
P-425	X 20 Y 226	0.72 × 0.50	0.44	不整形	—	E		P-466	X 24 Y 226	0.31 × 0.22	0.12	楕円形	—	B	
P-426	X 20 Y 226	0.49 × 0.34	0.47	楕円形	—	E		P-467	X 24 Y 226	0.32 × 0.27	0.30	楕円形	—	B	
P-427	X 20 Y 226	0.23 × 0.22	0.23	楕円形	—	B		P-468	X 26 Y 226	0.28 × 0.29	0.37	楕円形	—	E	
P-428	X 20 Y 226	0.27 × 0.20	0.18	楕円形	—	B		P-469	X 26 Y 226	0.25 × 0.23	0.47	楕円形	—	E	
P-429	X 20 Y 226	0.35 × 0.29	0.12	楕円形	—	E		P-470	X 25 Y 219	0.37 × 0.27	0.41	楕円形	—	B	
P-430	X 20 Y 226	0.74 × 0.61	0.23	不整形	—	E		P-471	X 25 Y 226	0.24 × 0.22	0.27	楕円形	—	B	
P-431	X 20 + 21 Y 226	0.64 × 0.44	0.29	楕円形	—	E		P-472	X 25 Y 219	0.29 × 0.23	0.30	楕円形	—	E	
P-432	X 20 Y 227	0.45 × 0.33	0.49	不整形	—	E		P-473	X 26 Y 219	0.26 × 0.25	0.25	楕円形	—	E	
P-433	X 20 Y 227	0.35 × 0.25	0.09	不整形	—	E		P-474	X 25 Y 220	0.22 × 0.19	0.20	不整形	—	E	
P-434	X 20 Y 227	0.33 × 0.27	0.12	楕円形	—	E		P-475	X 26 Y 219	0.27 × 0.21	0.15	楕円形	—	E	
P-435	X 20 Y 227	0.65 × 0.49	0.19	楕円形	—	A									

Tab. 15 ピット一覧表 (6)

造佛名	グリット	規格 (m)	深さ (m)	平面形状	高載造物	埋設土	備考
P-476	X-26 Y-220	0.26 × 0.17	0.25	椭円形	—	E	
P-477	X-26 Y-221	0.45 × 0.38	0.13	不整形	—	B	
P-478	X-26 Y-218+ 219	0.42 × 0.23	0.15	不整形	—	B	
P-479	X-26 Y-221	0.32 × 0.25	0.33	椭円形	—	E	
P-480	X-26 Y-221	0.29 × 0.27	0.21	椭円形	—	E	
P-481	X-26 Y-221	0.19 × 0.16	0.23	椭円形	—	E	
P-482	X-26 Y-221	0.31 × 0.22	0.27	椭円形	—	E	
P-483	X-13 Y-226	1.14 × 0.77	0.98	不整形	—	A	
P-484	X-13 Y-226	0.42 × 0.27	0.28	椭円形	—	E	
P-485	X-13 Y-226	0.49 × 0.73	0.19	(椭円形)	—	A	
P-486	X-15 Y-226+ 227	0.59 × 0.47	0.06	椭円形	—	E	
P-487	X-15 Y-226	0.47 × 0.24	0.45	椭円形	—	E	
P-488	X-24 Y-229	0.63 × 0.40	0.11	不整形	—	E	
P-489	X-24 Y-229	0.35 × 0.33	0.21	椭円形	—	E	
P-490	X-24 Y-229	0.37 × 0.33	0.19	椭円形	—	E	
P-491	X-24 Y-229	0.37 × 0.26	0.22	椭円形	—	E	
P-492	X-24 Y-229	0.33 × 0.42	0.19	(椭円形)	—	E	
P-493	X-24 Y-229	0.26 × 0.23	1.11	椭円形	—	E	
P-494	X-29 Y-227	0.59 × 0.39	0.14	椭円形	—	E	
P-495	X-23 Y-217	0.45 × 0.37	0.57	不整形	—	D	
P-496	X-29 Y-209+	0.32 × 0.22	0.32	不整形	—	D	
P-497	X-16 Y-227	0.35 × 0.28	0.17	不整形	—	A	
P-498	X-16 Y-227+ 228	0.46 × 0.30	0.17	椭円形	—	E	
P-499	X-11 Y-241	0.34 × 0.26	0.15	椭円形	—	D	
P-500	X-24 Y-230	0.29 × (0.14)	0.34	(椭円形)	—	C	
P-501	X-24 Y-230	0.36 × 0.29	0.19	椭円形	—	C	
P-502	X-23 Y-229	0.31 × 0.25	0.08	椭円形	—	C	
P-503	X-22 Y-229	0.34 × 0.31	0.16	椭円形	—	C	
P-504	X-22 Y-229	0.26 × 0.36	0.33	円形	—	C	
P-505	X-21 Y-230	0.41 × 0.36	0.22	椭円形	—	C	
P-506	X-22 Y-230	0.28 × 0.26	0.28	椭円形	—	C	
P-507	X-10 Y-240	0.60 × 0.39	0.43	椭円形	—	D	
P-508	X-20 Y-230	0.29 × 0.29	0.47	円形	古鏡	B	
P-509	X-14 Y-231+	0.37 × 0.28	0.19	椭円形	—	E	
P-510	X-22 Y-230	0.31 × 0.31	0.18	円形	—	E	
P-511	X-22 Y-230	0.33 × 0.27	0.30	不整形	—	D	
P-512	X-22 Y-230	0.24 × 0.21	0.28	円形	—	E	
P-513	X-25 Y-230	0.33 × 0.26	0.17	(椭円形)	—	C	
P-514	X-21 Y-233	0.26 × 0.23	—	椭円形	—	E	
P-515	X-22 Y-230	0.19 × 0.23	0.13	椭円形	—	E	

Tab. 16 ピット一覧表 (7)

造営名	グリット	規格 (m)	深さ (m)	平面形態	既設物	埋没土	備考	造営名	グリット	規格 (m)	深さ (m)	平面形態	既設物	埋没土	備考
P-557	X 21 Y 238	0.25 × 0.22	0.22	楕円形	—	B		P-597	X 18 Y 243	0.74 × 0.38	0.17	不整形	—	D	
P-558	X 20 Y 235	0.31 × 0.27	0.21	楕円形	—	C		P-598	X 18 Y 243	0.30 × 0.25	0.14	楕円形	—	D	
P-559	X 20 Y 235	0.33 × 0.29	0.17	楕円形	—	D		P-599	X 18 Y 243	0.33 × 0.24	0.08	楕円形	—	D	
P-560	X 20 Y 235	0.27 × 0.22	0.15	楕円形	—	E		P-600	X 16 Y 243	0.24 × 0.19	0.09	楕円形	—	D	
P-561	X 19 Y 235	0.63 × 0.46	0.16	楕円形	—	A		P-601	X 17 Y 242	0.44 × 0.42	0.16	楕円形	—	B	
P-562	X 19 Y 235	0.28 × 0.27	0.39	(楕円形)	—	E		P-602	X 16 Y 241	0.37 × 0.26	0.08	不整形	—	C	
P-563	X 19 Y 235	0.48 × 0.38	0.26	(楕円形)	—	E		P-603	X 16 Y 240	0.25 × 0.22	0.08	楕円形	—	C	
P-564	X 19 Y 235	0.94 × 0.73	0.21	不整形	—	D		P-604	X 16 Y 240 + 241	0.33 × 0.27	0.10	楕円形	—	D	
P-565	X 19 Y 235	0.36 × 0.35	0.23	円形	—	B		P-605	X 15 Y 240	0.26 × 0.26	0.20	楕円形	—	B	
P-566	X 18 Y 235	0.31 × 0.28	0.09	楕円形	—	D		P-606	X 15 Y 240	0.26 × 0.24	0.26	楕円形	—	D	
P-567	X 19 Y 236	0.44 × 0.37	0.06	楕円形	—	E		P-607	X 14 + 15 Y 240 + 241	0.42 × 0.41	0.23	楕円形	—	E	
P-568	X 19 Y 237	0.35 × 0.29	0.11	楕円形	—	B		P-608	X 15 Y 241	0.45 × 0.40	0.09	楕円形	—	D	
P-569	X 19 Y 237	0.38 × 0.38	0.20	円形	—	B		P-609	X 15 Y 241	0.38 × 0.33	0.14	楕円形	—	D	
P-570	X 19 Y 236	0.39 × 0.31	0.30	楕円形	—	C		P-610	X 15 Y 241	0.24 × 0.17	0.17	楕円形	—	C	
P-571	X 18 Y 237	0.32 × 0.31	0.31	楕円形	—	C		P-611	X 15 Y 241	0.40 × 0.27	0.16	不整形	—	D	
P-572	X 19 Y 238 + 239	0.32 × 0.28	0.23	楕円形	—	C		P-612	X 14 Y 242	0.39 × 0.32	0.28	(楕円形)	—	D	
P-573	X 20 Y 238	0.24 × 0.27	0.50	円形	—	C		P-613	X 14 Y 242	0.31 × 0.30	0.10	楕円形	—	E	
P-574	X 20 Y 238 + 239	0.37 × 0.32	0.49	楕円形	—	E		P-614	X 14 Y 242	0.40 × 0.31	0.26	楕円形	—	E	
P-575	X 20 Y 237	0.45 × 0.35	0.40	楕円形	—	C		P-615	X 14 Y 242	0.22 × 0.19	0.15	楕円形	—	E	
P-576	X 19 Y 239	0.27 × 0.24	0.31	楕円形	—	C		P-616	X 13 Y 241	0.42 × 0.32	0.31	不整形	—	E	
P-577	X 18 Y 239	0.49 × 0.36	0.18	楕円形	—	C		P-617	X 13 Y 242	0.34 × 0.29	0.26	楕円形	—	B	
P-578	X 18 Y 239	0.23 × 0.23	0.12	円形	—	E		P-618	X 20 + 21 Y 239	0.36 × 0.32	0.47	楕円形	—	D	
P-579	X 18 Y 239	0.69 × 0.42	0.81	楕円形	—	E		P-619	X 21 (0.21) Y 239	0.21 × 0.07	0.09	(楕円形)	—	B	
P-580	X 18 Y 239	0.36 × 0.32	0.21	楕円形	—	D		P-620	X 12 Y 240	0.42 × 0.37	0.31	楕円形	—	—	
P-581	X 18 Y 239 + 240	0.43 × 0.36	0.79	楕円形	—	D		P-621	X 11 Y 241	0.38 × 0.27	0.07	楕円形	—	—	
P-582	X 20 Y 240	0.30 × 0.29	0.24	楕円形	—	—		P-622	X 12 Y 242	0.66 × 0.96	0.23	楕円形	—	—	
P-583	X 18 Y 241	0.22 × 0.19	0.29	楕円形	—	C		P-623	X 11 Y 241	0.35 × 0.34	0.11	円形	—	—	
P-584	X 18 Y 241	0.39 × 0.35	0.11	楕円形	—	B		P-624	X 11 Y 241	0.30 × 0.29	0.20	円形	—	—	
P-585	X 18 Y 242	0.44 × 0.37	0.28	楕円形	—	B		P-625	X 11 Y 241	0.44 × 0.39	0.08	楕円形	—	—	
P-586	X 18 Y 242 + 243	0.45 × 0.39	0.17	楕円形	—	D		P-626	X 10 + 11 Y 241	0.45 × 0.41	0.09	(楕円形)	—	—	
P-587	X 18 Y 243	0.33 × 0.28	0.22	楕円形	—	D		P-627	X 10 + 11 Y 241	0.39 × 0.18	0.14	楕円形	—	—	
P-588	X 18 Y 243	0.33 × 0.29	0.10	楕円形	—	C		P-628	X 12 Y 242	0.44 × 0.29	0.15	不整形	—	—	
P-589	X 18 Y 243	0.36 × 0.32	0.16	楕円形	—	D		P-629	X 11 Y 241	0.44 × 0.29	0.21	楕円形	—	—	
P-590	X 18 Y 243	0.38 × 0.32	0.10	楕円形	—	D		P-630	X 10 Y 241	0.55 × 0.40	0.12	楕円形	—	—	
P-591	X 18 Y 243	0.54 × 0.53	0.20	円形	—	E		P-631	X 10 Y 241	0.36 × 0.34	0.09	楕円形	—	D	
P-592	X 18 Y 243	0.23 × 0.19	0.15	不整形	—	D		P-632	X 11 Y 240	0.35 × 0.34	0.18	円形	—	D	
P-593	X 18 Y 243	0.45 × 0.27	0.15	不整形	—	D		P-633	X 11 Y 240	0.24 × 0.21	0.14	楕円形	—	C	
P-594	X 18 Y 243	0.46 × 0.39	0.24	楕円形	—	D		P-634	X 8 Y 239	0.36 × 0.30	0.12	楕円形	—	D	
P-595	X 18 Y 243	0.53 × 0.46	0.13	楕円形	—	D		P-635	X 8 Y 238	0.36 × 0.45	0.12	楕円形	—	D	
P-596	X 18 Y 243	0.34 × 0.30	0.11	不整形	—	D		P-636	X 5 Y 239	0.47 × 0.37	0.36	楕円形	—	E	
P-597	X 18 Y 243	0.33 × 0.28	0.22	楕円形	—	D		P-637	X 7 Y 238	0.48 × 0.37	0.27	楕円形	—	D	

Tab. 17 ピット一覧表 (8)

遺物名	グリット	規格 (m)	深さ (m)	平面形態	施設遺物	埋没土	備考
P-638	X 7 Y 236	0.83 × 0.60	0.16	橢円形	—	D	
P-639	X 11・12 Y 240	0.34 × 0.34	0.18	円形	—	—	
P-640	X 8 Y 236	0.34 × 0.28	0.29	橢円形	—	D	
P-641	X 9 Y 236	0.81 × 0.45	0.20	橢円形	—	A	
P-642	X 9 Y 236	0.46 × 0.41	0.14	橢円形	—	E	
P-643	X 9・10 Y 235	0.34 × 0.26	0.13	橢円形	—	D	
P-644	X 10 Y 234	0.26 × 0.24	0.11	円形	—	E	
P-645	X 10 Y 234	0.21 × 0.17	0.16	橢円形	—	—	
P-646	X 10 Y 234	0.26 × 0.26	0.16	円形	—	C	
P-647	X 11 Y 234	0.25 × 0.23	0.16	橢円形	—	C	
P-648	X 11・12 Y 241	0.55 × 0.51	0.22	橢円形	—	—	
P-649	X 15 Y 239	0.32 × 0.27	0.16	橢円形	—	C	
P-650	X 18 Y 236	0.49 × 0.37	0.14	橢円形	—	B	
P-651	X 15 Y 239	0.46 × 0.41	0.25	橢円形	—	B	
P-652	X 16 Y 238	0.40 × 0.37	0.11	橢円形	—	C	
P-653	X 15 Y 238	0.44 × 0.34	0.17	橢円形	—	E	
P-654	X 15 Y 237	0.53 × 0.37	0.18	橢円形	—	E	
P-655	X 13 Y 235	0.34 × 0.33	0.11	円形	—	D	
P-656	X 13 Y 235	0.31 × 0.29	0.09	橢円形	—	E	
P-657	X 13・14 Y 234	0.37 × 0.32	0.08	橢円形	—	E	
P-658	X 14 Y 237・ 238	0.45 × 0.35	0.17	橢円形	—	E	
P-659	X 16 Y 235	0.42 × 0.32	0.19	橢円形	—	C	
P-660	X 16 Y 235	0.37 × 0.36	0.25	円形	—	C	
P-661	X 16 Y 234	0.39 × 0.37	0.18	橢円形	—	C	
P-662	X 17 Y 234	0.39 × 0.36	0.24	橢円形	—	E	
P-663	X 14 Y 233	0.42 × 0.38	0.14	橢円形	—	E	
P-664	X 14 Y 233	0.39 × 0.27	0.36	橢円形	—	E	
P-665	X 17 Y 231	0.34 × 0.27	0.16	橢円形	—	E	
P-666	X 17 Y 232	0.38 × 0.34	1.33	橢円形	—	—	
P-667	X 17 Y 232	(0.82) × 0.43	0.74	橢円形	—	—	
P-668	X 19 Y 229	0.35 × 0.29	0.16	橢円形	—	C	
P-669	X 12 Y 231	0.31 × 0.24	0.25	橢円形	—	E	
P-670	X 12 Y 231	0.41 × 0.30	0.15	橢円形	—	E	
P-671	X 12 Y 231	0.45 × 0.36	0.12	橢円形	—	D	
P-672	X 12・13 Y 231	0.32 × 0.27	0.09	橢円形	—	D	
P-673	X 12 Y 230・ 231	0.41 × 0.31	0.27	橢円形	—	B	
P-674	X 15 Y 230	0.36 × 0.28	0.55	橢円形	—	E	
P-675	X 15 Y 230	0.36 × 0.25	0.09	橢円形	—	D	
P-676	X 14 Y 227	0.99 × 0.49	—	橢円形	—	E	
P-677	X 13 Y 227	0.27 × 0.24	0.23	橢円形	—	C	
P-678	X 14 Y 227	0.31 × 0.39	0.24	円形	—	C	
P-679	X 18 Y 229	0.28 × 0.21	0.19	橢円形	—	C	
P-680	X 18 Y 229	(0.27) × 0.25	0.17	橢円形	—	C	
P-681	X 21・22 Y 240	0.41 × 0.39	0.21	不整形	—	—	
P-682	X 18 Y 241	0.34 × 0.31	0.29	橢円形	—	D	
P-683	X 12 Y 242	0.53 × 0.44	0.14	橢円形	—	—	
P-684	X 15 Y 242	0.30 × 0.25	0.12	橢円形	—	—	
P-685	X 15・16 Y 233	0.27 × 0.25	0.16	不整形	—	E	

Tab. 18 ピット一覧表 (9)

9 遺構外出土遺物 (Fig. 124・125 / Tab. 35・36 / P L. 41・42)

五代伊勢宮Ⅶ遺跡及びⅧ遺跡の遺構外出土遺物として、31点の土器類や石器類等を掲載した。

土器類としては、縄文土器深鉢・土師器・須恵器が挙げられる。縄文土器は、前期後半の諸磯b式土器(1)、前期末葉～中期初頭の十三菩提式土器もしくは五領ヶ台式土器(2・3)、中期中葉の阿玉台式土器(4)、後期前葉の称名寺式土器(5)、後期中葉加曾利B式土器(6)が確認されている。土師器(7・8)はいずれも5世紀後半の内斜口縁を特徴とする坏である。一方で須恵器坏(9)は、9世紀代に帰属すると想定される。

石器類としては、尖頭器(12～15)、石鏃(16～21)、石匙(22)、スクレイバー(23・24)、打製石斧(25～28)、圓石(29～31)が挙げられる。このうち、尖頭器および(23)のスクレイバーは縄文時代草創期に比定されるが、当該期の土器は確認されていない。

その他の遺物としては、古錢(10)と鉄砲玉(11)が挙げられる。

H-1号住居跡・D-1号土坑

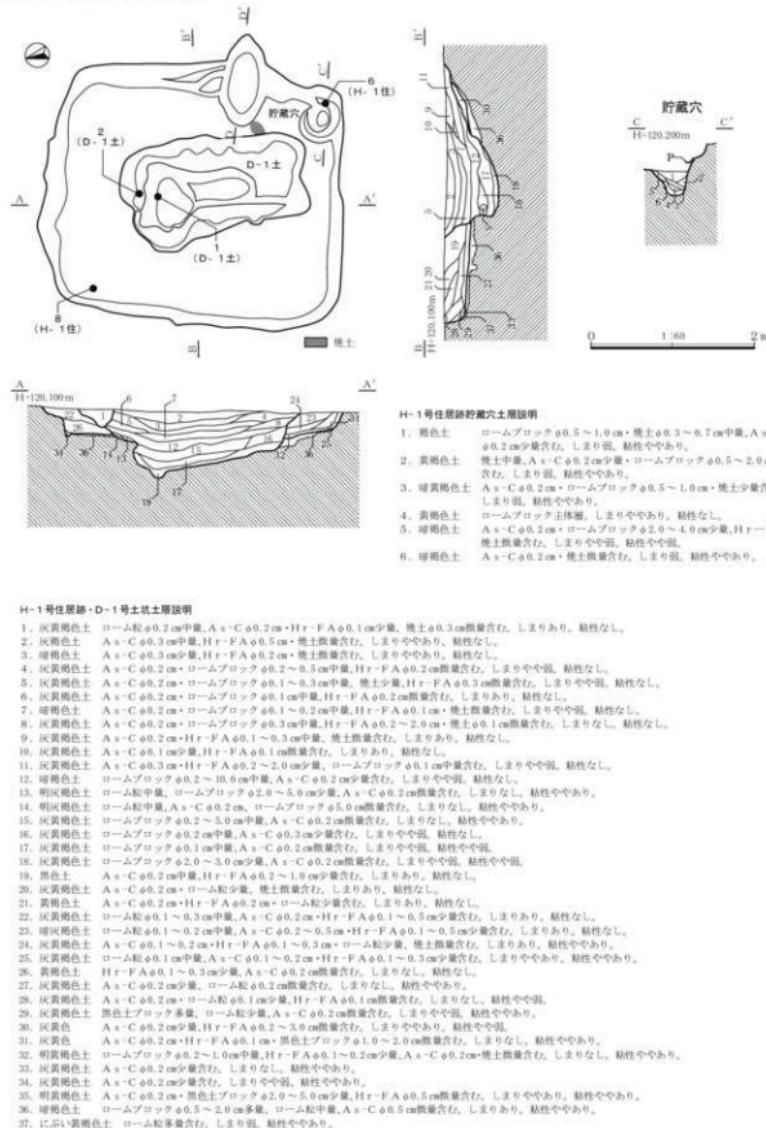
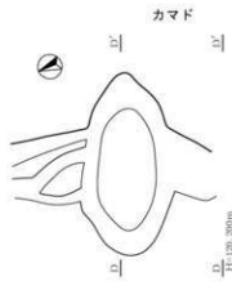


Fig. 6 住居跡 (1)

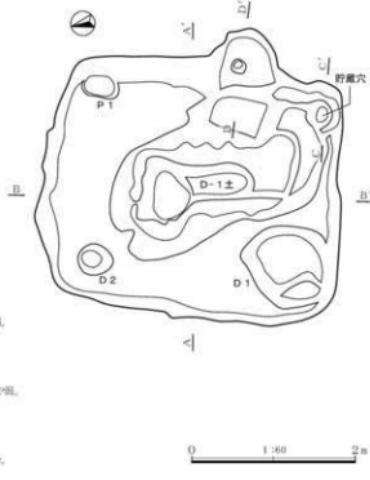
[H-1号住居跡]



H-1号住居跡カマド土層説明

1. 雜褐色土 無土・ローム粒 ϕ 0.2 cm少量, A s-C ϕ 0.2 cm+H r-F A ϕ 0.5 cm微量含む。しまりややあり。粘性あまりない。
2. 雜褐色土 無土中量, A s-C ϕ 0.2 cm少量, H r-F A L 0 cm微量含む。しまりやや弱。粘性ややあり。
3. 雜褐色土 無土・ローム粒少量, A s-C 微量含む。しまりなし。粘性ややあり。
4. 雜褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm中量。無土微量含む。しまりなし。粘性ややあり。
5. 雜褐色土 無土少量, A s-C ϕ 0.2 cm・ローム粒微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
6. 黒褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 2.0 cm少量, A s-C ϕ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
7. 雜褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm中量, A s-C ϕ 0.5 cm微量含む。
8. 雜褐色土 ローム・ロームブロック ϕ 0.5 ~ 3.0 cm中量, A s-C ϕ 0.5 cm微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。

掘り方



[H-2号住居跡]

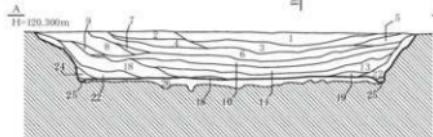
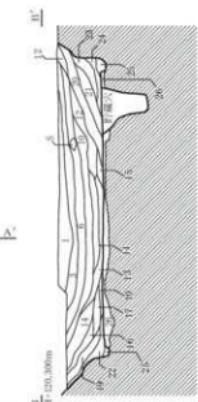
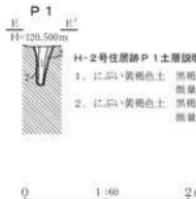


Fig. 7 住居跡 (2)

H-2号住居跡

H-2号住居跡層説明

1. 黒色土 A s - C φ 0.3cm中量, H r - F A φ 0.3 ~ 1.0cm少量化む。
しまりやや泥。粘性あり。
2. 黒色土 A s - C φ 0.3cm・H r - F A φ 0.3cm少量化, ロームブロック φ 0.3 ~ 0.5cm微量含む。しまりやや泥。粘性あり。
3. 黒色土 A s - C φ 0.2 ~ 1.0cm中量, H r - F A φ 0.3 ~ 3.0cm少量化む。
しまりやや泥。粘性あり。
4. 黒色土 A s - C φ 0.3cm少量化, H r - F A φ 0.4cm微量含む。しまりやや泥。粘性あり。
5. 黒褐色 A s - C φ 0.3cm少量化, H r - F A φ 0.3 ~ 0.5cm少量化む。
しまりやや泥。粘性あり。
6. 黑褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5cm中量, H r - F A φ 0.3 ~ 0.7cm少量化含む。燒土微量含む。しまりやや泥。粘性ややか。
7. 黑褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.4cm少量化, H r - F A φ 0.3 ~ 0.5cm少量化む。
しまりやや泥。粘性ややか。
8. 黑褐色土 A s - C φ 0.3cm少量化, ロームブロック φ 0.2cm微量含む。
しまりやや泥。粘性ややか。
9. 墓褐色土 A s - C φ 0.3cm・ロームブロック φ 0.2cm微量含む。
しまりやや泥。粘性ややか。
10. 黑褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5cm中量, H r - F A φ 0.2cm微量含む。
しまりやや泥。粘性ややか。
11. 黑褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5cm中量, H r - F A φ 0.2cm・ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0cm微量含む。しまりやや泥。粘性あり。
12. 墓褐色土 A s - C φ 0.3 ~ 0.5cm少量化, H r - F A φ 0.2cm・燒土微量含む。
しまりやや泥。粘性ややか。
13. 墓褐色土 A s - C φ 0.4 ~ 1.0cm中量, H r - F A φ 1.0 ~ 3.0cm少量化む。
しまりやや泥。粘性ややか。
14. 墓褐色土 A s - C φ 0.4cm少量化む。しまりやや泥。粘性ややか。
15. 墓褐色土 A s - C φ 0.3cm・H r - F A φ 0.2cm微量。ロームブロック φ 0.2 ~ 0.5cm少量化む。しまりやや泥。粘性ややか。
16. 墓褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5cm少量化む。しまりやや泥。粘性ややか。
17. 墓褐色土 A s - C φ 0.3cm少量化, H r - F A φ 0.2cm微量含む。
しまりやや泥。粘性ややか。
18. 灰黄褐色土 A s - C φ 0.5 ~ 2.0cm少量化, A s - C φ 0.4cm・H r - F A φ 0.2cm微量含む。しまりやややか。粘性ややか。
19. 墓褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 3.0cm中量, A s - C φ 0.3cm微量含む。
しまりやややか。粘性ややか。
20. 墓褐色土 A s - C φ 0.3cm少量化, H r - F A φ 0.2cm微量含む。
しまりやややか。粘性ややか。
21. 墓褐色土 A s - C φ 0.5 ~ 1.0cm少量化, A s - C φ 0.3cm微量含む。
しまりやややか。粘性ややか。
22. 灰黄褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 2.0cm中量, A s - C φ 0.2 ~ 0.4cm少量化含む。しまりややややか。粘性あり。
23. 灰黄褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 3.0cm少量化, A s - C φ 0.2cm・H r - F A φ 0.2cm微量含む。しまりややややか。粘性ややか。
24. 灰黄褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5cm少量化含む。しまりやややややや。粘性ややか。
25. 灰褐色土 A s - C φ 0.3 ~ 1.0cm少量化含む。
しまりややや。粘性やや。
26. 墓褐色土 A s - C φ 0.5 ~ 2.0cm中量, A s - C φ 0.2cm微量含む。
しまりやや。粘性やや。



H-2号住居跡貯藏穴土層説明

1. 黑褐色土 ロームブロック φ 0.2 ~ 0.5cm中量, A s - C φ 0.2 ~ 0.5cm少量化。燒土少量化, H r - F A φ 0.1cm微量含む。しまりやや。粘性やや。
2. 灰黄褐色土 ロームブロック φ 2.0 ~ 3.0cm中量, 黑色土ブロック φ 1.0 ~ 2.0cm少量化, A s - C φ 0.2cm微量含む。しまりやややや。粘性やや。
3. 墓灰土 ローム φ 0.1 ~ 0.3cm中量, A s - C φ 0.2cm・黑色土ブロック φ 2.0 ~ 3.0cm微量含む。
4. 黄褐色土 A s - C φ 0.2cm・H r - F A φ 0.1 ~ 0.3cm・黑色土ブロック φ 2.0 ~ 5.0cm微量含む。しまりやや。粘性やや。
5. 黄褐色土 A s - C φ 0.2cm・燒土微量含む。しまりや。粘性やや。



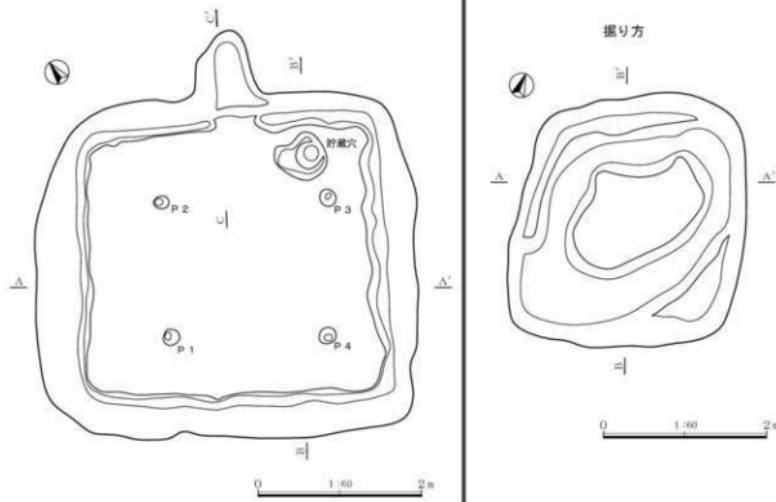
H-2号住居跡カマド土層説明

1. 墓褐色土 烧土多量, A s - C φ 0.2 ~ 0.3cm・灰ブロック φ 7.0cm少量化, H r - F A φ 0.2cm微量含む。しまりやや。粘性やや。
2. 墓褐色土 ロームブロック φ 0.2 ~ 1.0cm中量, A s - C φ 0.2cm・焼土多量, H r - F A φ 0.2cm微量含む。しまりやや泥。
3. 墓灰色土 A s - C φ 0.2cm中量, 烧土少量化。黑色土ブロック φ 1.0 ~ 2.0cm微量含む。しまりやや。粘性やや。
4. 墓褐色土 A s - C φ 0.2cm・燒土少量化。ロームブロック φ 0.2 ~ 1.0cm少量化。しまりやや。粘性やや。
5. 灰黄褐色土 A s - C φ 0.2cm・燒土少量化, H r - F A φ 0.2cm微量含む。しまりやや。粘性やや。
6. 灰黄褐色土 烧土多量, A s - C φ 0.2cm・ロームブロック φ 0.5cm少量化, H r - F A φ 0.2cm微量含む。しまりやや。粘性やや。
7. 黄褐色土 A s - C φ 0.2cm・燒土少量化, ロームブロック φ 0.2cm少量化。しまりやや。粘性やや。
8. 黑褐色土 烧土多量, 烧土少量化含む。しまりやや。粘性弱。
9. 黄褐色土 烧土多量, ロームブロック φ 0.2 ~ 0.5cm中量, A s - C φ 0.2cm少量化。燒土ブロック φ 1.0cm微量含む。しまりやや。粘性弱。
10. 墓褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 3.0cm多量, A s - C φ 0.2cm微量含む。しまりやや。粘性弱。
11. 墓褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0cm中量, A s - C φ 0.2cm・燒土微量含む。しまりやや。粘性弱。
12. 墓褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 2.0cm中量, A s - C φ 0.2cm微量含む。しまりや。粘性弱。

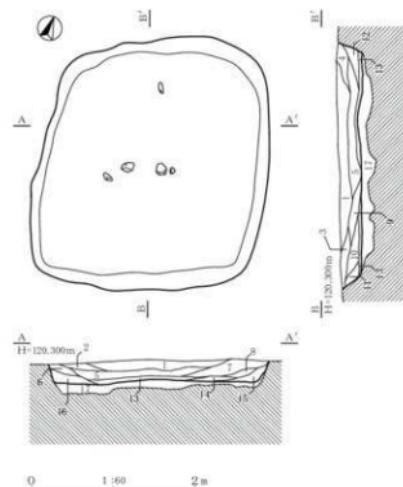
Fig. 8 住居跡 (3)

H-2号住居跡

掘り方



H-3号住居跡

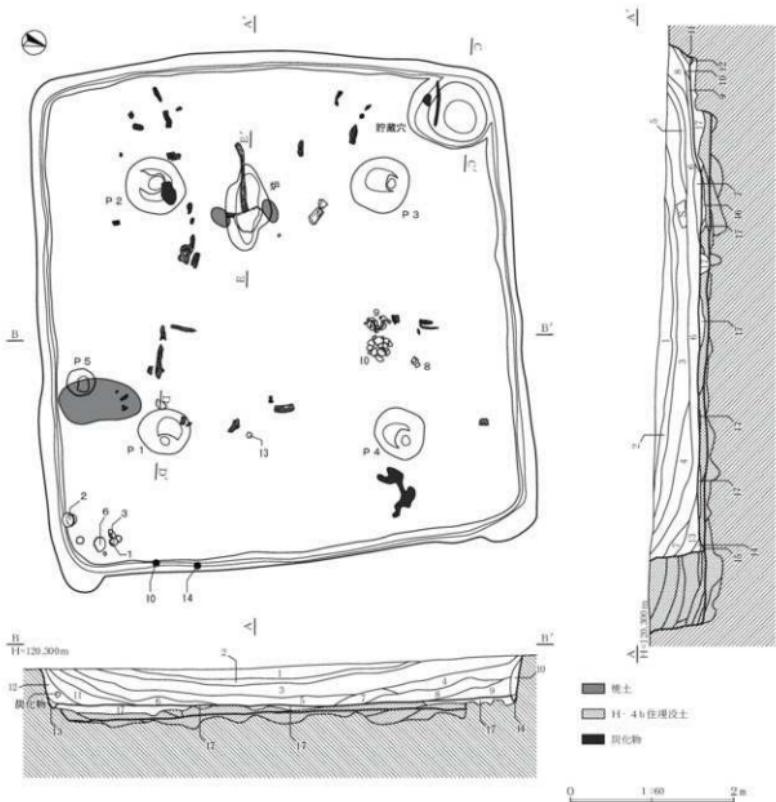


H-3号住居跡土層説明

1. 黒褐色土 $A + C \phi 0.5$ cm中量, $Hr - FA$ 少量含む。しまりあり。粘性やや弱。
2. 黒褐色土 $A + C \phi 0.5$ cm・ $Hr - FA$ 少量含む。しまりあり。粘性やや弱。
3. 黒褐色土 $A + C \phi 0.5$ cm中量, $Hr - FA$ 微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
4. 黒褐色土 $A + C \phi 0.5$ cm中量, $Hr - FA$ 微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
5. 黑褐色土 $A + C \phi 0.5$ cm中量, $Hr - FA$ 微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
6. 黑褐色土 $A + C \phi 0.5$ cm中量, $Hr - FA$ 少量。ロームブロック微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
7. 墓褐色土 $A + C \phi 0.5$ cm・ロームブロック少量, $Hr - FA$ 微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
8. 墓褐色土 $A + C \phi 0.5$ cm少量, $Hr - FA$ ・ロームブロック微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
9. 黑褐色土 $A + C \phi 0.5$ cm中量, $Hr - FA$ 微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
10. 墓褐色土 $A + C \phi 0.5$ cm少量, $Hr - FA$ ・ロームブロック微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
11. 墓褐色土 ロームブロック少量, $A + C \phi 0.5$ cm・ $Hr - FA$ 微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
12. 墓褐色土 $A + C \phi 0.5$ cm・ロームブロック少量, $Hr - FA$ 微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
13. 墓褐色土 ロームブロック中量, $A + C \phi 0.5$ cm・ $Hr - FA$ 微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
14. 墓褐色土 ロームブロック中量, $A + C \phi 0.5$ cm少量, $Hr - FA$ 微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
15. 黑褐色土 ロームブロック少量, $A + C \phi 0.5$ cm・ $Hr - FA$ 微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
16. 黑褐色土 ロームブロック中量, $A + C \phi 0.5$ cm・ $Hr - FA$ 微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
17. 深黄褐色土 $A + C \phi 0.2 \sim 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 2.0 \sim 10.0$ cm・黒褐色土ブロック $\phi 2.0 \sim 8.0$ cm中量含む。しまりあり。粘性やや弱。底床。

Fig. 9 住居跡 (4)

H-4a号住居跡

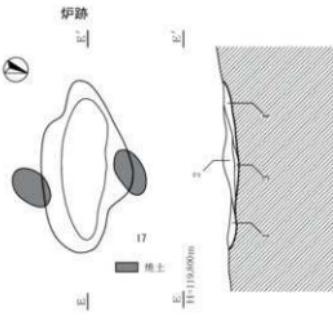
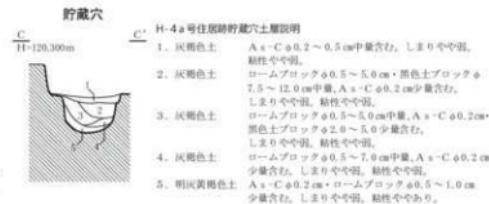
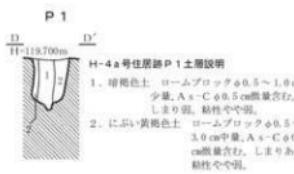


H-4a号住居跡層説明

1. 黒褐色土 A = C ϕ 0.2 ~ 0.4 cm + H r - F A ϕ 0.5 ~ 1.0 cm少量、焼土 ϕ 0.1 cm微量含む。しまりあり。粘性なし。
2. 細粒土 H r - F A ϕ 0.5 ~ 20.0 cm多量、A = C ϕ 0.2 ~ 0.4 cm微量含む。しまりあり。粘性なし。
3. 黑褐色土 A = C ϕ 0.2 ~ 1.0 cm少量、ローム粒 ϕ 0.2 cm微量含む。しまりやや弱。粘性ややあり。
4. 灰黒褐色土 A = C ϕ 0.2 cm微量、H r - F A ϕ 0.3 cm + ロームブロック ϕ 0.2 ~ 1.0 cm少量、炭化物微量含む。しまりやや弱。粘性ややあり。
5. 灰黒褐色土 A = C ϕ 0.2 cm微量、焼土・炭化物微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
6. 灰黒褐色土 A = C ϕ 0.2 cm微量、焼土・炭化物微量含む。しまりやや弱。粘性なし。
7. 灰黒褐色土 A = C ϕ 0.2 cm + ロームブロック ϕ 0.2 ~ 0.5 cm少量、H r - F A ϕ 0.2 cm + 焼土微量含む。しまりやや弱。粘性なし。
8. 灰黒褐色土 A = C ϕ 0.2 ~ 0.4 cm + ロームブロック ϕ 0.2 ~ 1.0 cm少量含む。しまりなし。粘性なし。
9. 灰黒褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 5.0 cm中量、A = C ϕ 0.2 cm微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
10. 灰黒褐色土 ロームブロック ϕ 0.2 ~ 10.0 cm少量、A = C ϕ 0.2 cm微量含む。しまりなし。粘性なし。
11. 灰黒褐色土 ローム粒多量、A = C ϕ 0.2 cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
12. 黄褐色土 A = C ϕ 0.2 cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
13. 黄褐色土 ローム粒中量、A = C ϕ 0.2 cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
14. 灰黒褐色土 A = C ϕ 0.2 cm + ロームブロック ϕ 0.2 ~ 0.5 cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
15. 灰黒褐色土 ローム粒中量、A = C ϕ 0.2 cm微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
16. 灰褐色土 焼土少量、A = C ϕ 0.5 cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
17. 灰褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 2.0 cm中量、A = C ϕ 0.5 cm少量含む。しまり強。粘性やや弱。

Fig. 10 住居跡 (5)

H-4-a号住居跡



H-4-a号住居跡炉跡土層説明

1. 増粘土層 硅化物中量, A s - C $\phi 0.5\text{cm}$ 微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
 2. 増粘土層 硅化物少量, A s - C $\phi 0.5\text{cm}$ 微量含む。しまりやや弱。
 3. 增粘土層 堆土少量, A s - C $\phi 0.5\text{cm}$ 微量含む。しまりやや弱。
 4. 増粘土層 A s - C $\phi 0.5\text{cm}$ 微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
- 0 1:30 1 m

掘り方

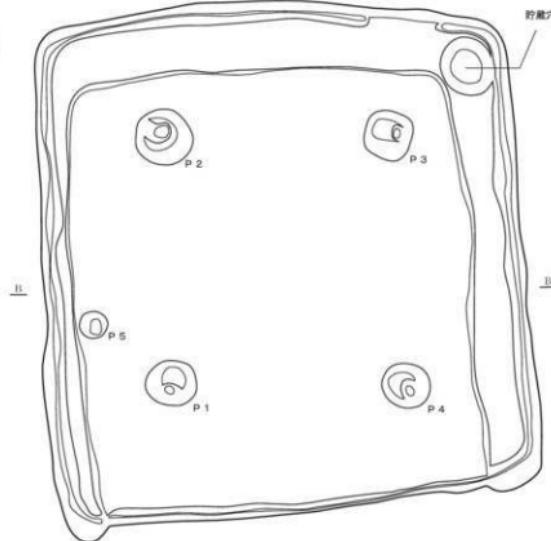
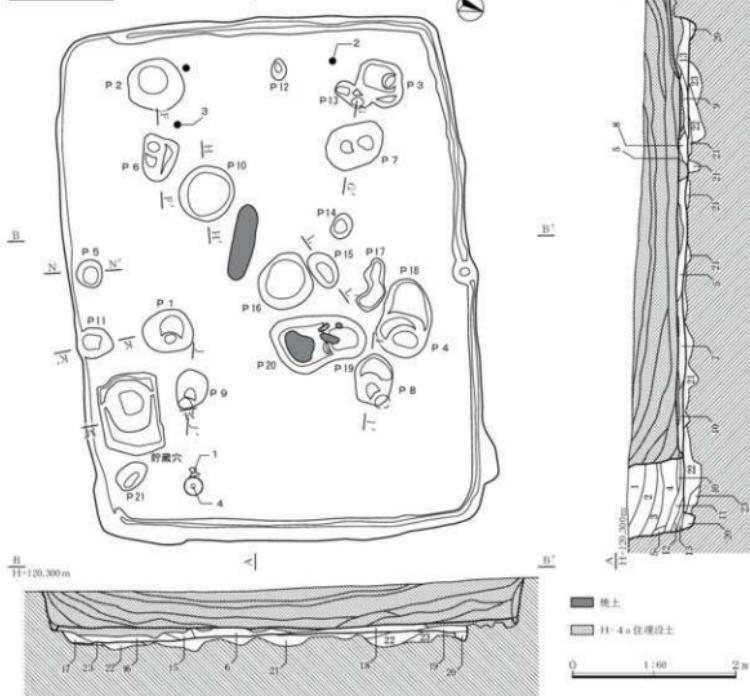


Fig. 11 住居跡 (6)

H-4b 号住居跡



H-4b 号住居跡土層説明

- 暗褐色土 A + C ϕ 0.5 cm 中量、ロームブロック ϕ 0.5 cm 少量含む。しまりやあり。粘性や中弱。
- 暗褐色土 A + C ϕ 0.5 cm、ロームブロック ϕ 0.5 ~ 2.0 cm 中量。炭化灰少少量含む。しまりやあり。粘性や弱。
- 黒褐色土 A + C ϕ 0.5 cm 中量、ロームブロック ϕ 0.5 ~ 0.5 cm 少量含む。しまりやあり。粘性や弱。
- 暗褐色土 A + C ϕ 0.5 cm 多量、ロームブロック ϕ 0.5 cm 中量含む。しまりやあり。粘性や中弱。
- 暗褐色土 A + C ϕ 0.5 cm ロームブロック ϕ 0.5 cm 少量含む。しまりやあり。粘性や中弱。
- 暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 cm 炭化灰少量、A + C ϕ 0.5 cm、燃土微量含む。しまりややあり。粘性や弱。
- 暗褐色土 炭化灰中量、A + C ϕ 0.5 cm ロームブロック ϕ 0.5 ~ 2.0 cm 少量含む。しまりややあり。粘性や弱。
- 暗褐色土 炭化灰中量、A + C ϕ 0.5 cm ロームブロック ϕ 0.5 ~ 3.0 cm 少量含む。しまりややあり。粘性や弱。
- 暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 2.0 cm 中量、A + C ϕ 0.5 cm 少量。炭化灰少量含む。しまりややあり。粘性や中弱。
- 暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 2.0 cm 中量、A + C ϕ 0.5 cm 少量含む。しまりややあり。粘性や弱。
- 暗褐色土 A + C ϕ 0.5 cm、ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm 中量、A + C ϕ 0.5 cm 少量含む。しまりややあり。粘性や弱。
- 黒褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm 中量、A + C ϕ 0.5 cm 少量含む。しまりややあり。粘性や弱。
- 暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm 中量、A + C ϕ 0.5 cm 少量含む。しまりややあり。粘性や弱。
- 暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm 中量、A + C ϕ 0.5 cm 少量含む。しまりややあり。粘性や弱。
- 暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm 中量、A + C ϕ 0.5 cm 少量含む。しまりややあり。粘性や弱。
- 暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm 中量、A + C ϕ 0.5 cm 少量含む。しまりややあり。粘性や弱。
- 暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm 中量、A + C ϕ 0.5 cm 少量含む。しまりややあり。粘性や弱。
- 暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm 中量、A + C ϕ 0.5 cm 少量含む。しまりややあり。粘性や弱。
- 暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm 中量、A + C ϕ 0.5 cm 少量含む。しまりややあり。粘性や弱。
- 暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm 中量、A + C ϕ 0.5 cm 少量含む。しまりややあり。粘性や弱。
- 暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm 中量、A + C ϕ 0.5 cm 少量含む。しまりややあり。粘性や弱。
- 暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm 中量、A + C ϕ 0.5 cm 少量含む。しまりややあり。粘性や弱。
- にがい 黄褐色土 ローム土、ロームブロック ϕ 0.5 ~ 3.0 cm 多量、A + C ϕ 0.5 cm、A + YP ϕ 0.5 cm 略量含む。しまり強。粘性や中弱。
- 暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 2.0 cm 中量。ローム粘少量、A + C ϕ 0.5 cm、炭化灰微量含む。しまりあり。粘性や中弱。
- 暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 3.0 cm 多量。ローム粘中量、A + C ϕ 0.5 cm 略量含む。しまり強。粘性や中弱。

Fig. 12 住居跡 (7)

貯藏穴



H-4b 号住居跡貯藏穴説明

- 暗褐色土 A + C ϕ 0.5 cm + ローム
粘・ロームブロック
 ϕ 0.5 cm 少量含む。しまり
やや弱。粘性や中弱。
- 暗褐色土 A + C ϕ 0.5 cm + ローム
粘少量含む。しまりやや弱。粘性や中弱。
- 暗褐色土 A + C ϕ 0.5 cm + ローム
粘少量含む。しまりやや弱。粘性や中弱。
- 暗褐色土 A + C ϕ 0.5 cm、炭化灰
微量含む。しまりやや弱。粘性や中弱。
- にがい 黄褐色土 ローム粘多量
含む。しまりやや弱。粘性や中弱。

H-4b号住居跡

P 5
H=119.800m



H-4b号住居跡P5土層説明

- 堆積色土 A + C φ0.5cm少量、ローム粒・粘土質含む。しまりあり。粘性やや弱。
- 堆積色土 A + C φ0.5cm少量、ロームブロックφ0.5~1.0cm微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
- 堆積色土 A + C φ0.5cm、ローム粒・粘土質含む。しまりあり。粘性やや弱。
- 堆積色土 A + C φ0.5cm、ロームブロックφ0.5~1.0cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。
- 堆積色土 A + C φ0.5cm、ローム粒・粘土質含む。しまりあり。粘性やや弱。

P 6
H=119.600m



H-4b号住居跡P6土層説明

- 堆積色土 ローム中量、ロームブロックφ0.5~1.0cm少量、A + C φ0.5cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
- 堆積色土 ローム中量、ロームブロックφ0.5cm少量、A + C φ0.5cm微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
- にふい黄色土色土 ローム中量、ロームブロックφ0.5~1.0cm中量、A + C φ0.5cm微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
- 堆積色土 A + C φ0.5cm、ローム粒・ロームブロックφ0.5~1.0cm少量含む。炭化粒少量含む。しまりあり。粘性やや弱。
- にふい黄色土色土 ローム粒・ロームブロックφ0.5cm多量、A + C φ0.5cm微量含む。しまり弱。粘性やや弱。

P 9
H=119.700m

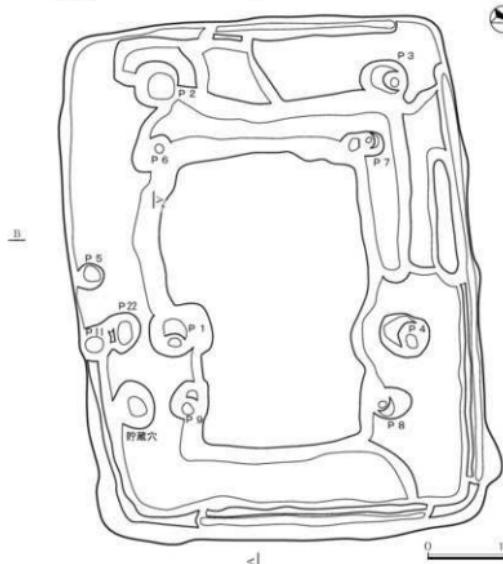


H-4b号住居跡P9土層説明

- 堆積色土 A + C炭化粒少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
- 堆積色土 地土少量、A + C φ0.5cm、ローム粒・ロームブロックφ0.5~3.0cm少量。炭化粒微量含む。しまり弱。粘性やや弱。
- 堆積色土 地土少量、A + C φ0.5cm、炭化粒少量含む。しまり弱。粘性やや弱。
- 堆積色土 A + C φ0.5cm、ローム粒・ロームブロックφ0.5cm、地土・炭化粒少量含む。しまり弱。粘性やや弱。

掘り方

<|



H-4b号住居跡P7土層説明



P 7
H=119.700m

- 堆積色土 A + C φ0.5cm、ローム粒・ロームブロックφ0.5~1.0cm少量含む。しまり弱。粘性やや弱。
- 黒褐色土 A + C φ0.5cm、ローム粒・炭化粒少量含む。しまり弱。粘性やや弱。
- 堆積色土 ローム少量、A + C φ0.5cm、炭化粒微量含む。しまり弱。粘性やや弱。
- にふい黄色土色土 ローム中量、ロームブロックφ0.5~1.0cm少量含む。しまり弱。粘性やや弱。

H-4b号住居跡P8土層説明



P 8
H=119.700m

- 堆積色土 A + C φ0.5cm、ローム粒・ロームブロックφ0.5~2.0cm少量、炭化粒少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
- 黒褐色土 ローム中量、A + C φ0.5cm、ローム粒・ロームブロックφ0.5~1.0cm少量、原化粧微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
- 堆積色土 ローム粒・ロームブロックφ0.5~1.0cm中量、A + C φ0.5cm微量含む。しまり弱。粘性やや弱。
- 堆積色土 ローム粒・ロームブロックφ0.5~1.0cm少量、A + C φ0.5cm微量含む。しまり弱。粘性やや弱。

H-4b号住居跡P10土層説明



P 10
H=119.600m

- 堆積色土 A + C φ0.5cm、ローム粒・ロームブロックφ0.5~1.0cm少量、炭化粒少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
- 堆積色土 ローム粒・ロームブロックφ0.5~1.0cm中量、A + C φ0.5cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。

H-4b号住居跡P11土層説明



P 11
H=119.700m

H-4b号住居跡P11土層説明

- 堆積色土 ローム粒少量、A + C φ0.5cm、地土少量含む。しまり弱。粘性やや弱。
- 堆積色土 A + C φ0.5cm、ローム粒・ローム少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
- 堆積色土 A + C φ0.5cm、ローム粒・炭化粒少量含む。しまり弱。粘性やや弱。
- 堆積色土 A + C φ0.5cm、ローム粒・ロームブロックφ0.5~2.0cm中量、A + C φ0.5cm炭化粒少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。

H-4b号住居跡P15土層説明

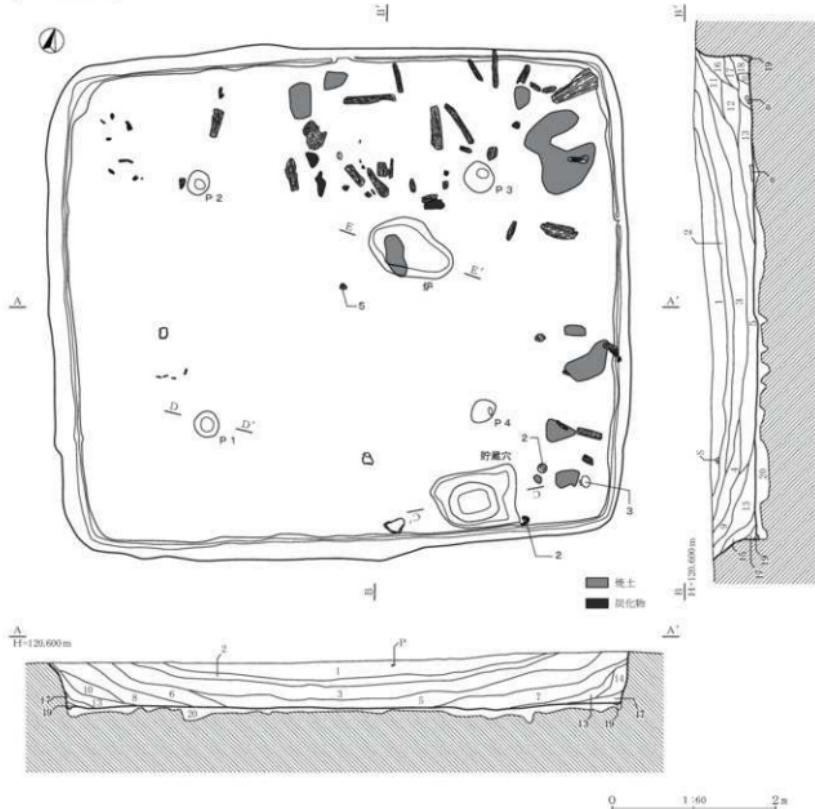


P 15
H=119.700m

- 堆積色土 炭化粒少量、A + C φ0.5cm微量含む。しまり弱。粘性やや弱。
- 堆積色土 ローム粒中量、A + C φ0.5cm、炭化粒微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
- 堆積色土 ローム粒・ロームブロックφ0.5~1.0cm中量、A + C φ0.5cm炭化粒少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。

Fig. 13 住居跡 (8)

H-5号住居跡

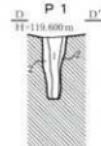


同-步最佳实践土壤剖面

1. 黒褐色土 ハリ-PA $\phi 0.2 \sim 3.0$ cm・A-C $\phi 0.2 \sim 0.4$ cm少量、ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm細粒含む。しまりあり。粘性や中弱。
 2. 黒褐色土 ハリ-PA (火山灰・輕石) $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm多量、A-C $\phi 0.2 \sim 0.4$ cm少量含む。しまりややあり。粘性や中弱。
 3. 黑褐色土 ハリ-PA $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm少量、A-C $\phi 0.2 \sim 0.4$ cm少量含む。しまりややあり。粘性や中弱。
 4. 黑褐色土 ハリ-PA $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm少量、A-C $\phi 0.2 \sim 0.4$ cm少量含む。しまりややあり。粘性や中弱。
 5. 黑褐色土 ハリ-PA $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm少量、A-C $\phi 0.2 \sim 0.4$ cm少量含む。しまりややあり。粘性や中弱。
 6. 黑褐色土 ローム-ブロック $\phi 0.2 \sim 10.0$ cm少量、A-C $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm少量含む。しまりややあり。粘性や中弱。
 7. 黑褐色土 A-C $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm少量、ハリ-ブロック $\phi 0.2 \sim 0.4$ cm少量、土と $\phi 0.2$ cm細粒含む。しまりややあり。粘性弱。
 8. 黑褐色土 A-C $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm少量、ローム-ブロック $\phi 0.2 \sim 0.7$ cm細粒含む。しまりやや中弱。粘性や中弱。
 9. 灰褐色土 A-C $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm少量、ローム-ブロック $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm少量含む。しまりやや中弱。粘性や中弱。
 10. 灰褐色土 A-C $\phi 0.2 \sim 0.4$ cm、ローム-ブロック $\phi 0.2 \sim 0.7$ cm少量含む。しまりやや中弱。粘性や中弱。
 11. 塗壁土 ハリ-PA $\phi 0.2 \sim 0.4$ cm少量、A-C $\phi 0.2 \sim 0.4$ cm少量、ローム-ブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm細粒含む。しまりやや中弱。粘性弱。
 12. 黄褐色土 A-C $\phi 0.2 \sim 0.4$ cm、ローム-ブロック $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm少量含む。しまりやや中弱。粘性弱。
 13. 黄褐色土 A-C $\phi 0.2 \sim 0.4$ cm、ローム-ブロック $\phi 0.5 \sim 0.5$ cm少量含む。化成粘土 $\phi 0.5 \sim 10.0$ cm少量含む。しまりやや中弱。粘性弱。
 14. 黑褐色土 ローム-ブロック $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm少量、A-C $\phi 0.2$ cm細粒含む。しまりやや中弱。粘性や中弱。
 15. 黑褐色土 ローム-ブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm少量、A-C $\phi 0.2$ cm、黒褐色土 $\phi 0.5 \sim 10.0$ cm少量含む。しまりやや中弱。粘性ややあり。
 16. 黑褐色土 ローム-ブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm少量、A-C $\phi 0.2$ cm、黒褐色土 $\phi 0.5 \sim 10.0$ cm少量含む。しまりやや中弱。粘性ややあり。
 17. 黑褐色土 ローム-ブロック $\phi 0.2 \sim 0.7$ cm中量、A-C $\phi 0.2$ cm細粒含む。しまりやや中弱。粘性やや中弱。
 18. 黑褐色土 ローム-ブロック $\phi 0.2 \sim 0.7$ cm中量、A-C $\phi 0.2$ cm、黒褐色土 $\phi 0.2 \sim 0.7$ cm少量含む。しまりやや中弱。粘性やや中弱。
 19. 黄褐色土 ローム-ブロック 玉体、ローム-ブロック $\phi 1.0 \sim 5.0$ cm多量、A-C $\phi 0.2$ cm少量含む。しまりやや中弱。粘性やや中弱。
 20. 灰褐色土 ローム-ブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm少量、A-C $\phi 0.2$ cm少量含む。しまりやや中弱。粘性やや中弱。脈状。

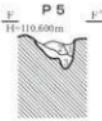
Fig. 14 住居跡 (9)

H-5号住居跡



H-5号住居跡P1土層説明

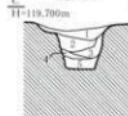
1. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0\text{ cm}$ 中量、A s-C $\phi 0.2\text{ cm}$ 少量。炭化物微量含む。しまり弱。粘性や中弱。
2. こぶ塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0\text{ cm}$ 多量、A s-C $\phi 0.2\text{ cm}$ 略微量含む。しまりあり。粘性や中弱。



H-5号住居跡P5土層説明

1. 緑褐色土 A s-C $\phi 0.5\text{ cm}$ ローム粒少量含む。しまり弱。粘性や中弱。
2. こぶ塗褐色土 ローム粒・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0\text{ cm}$ 多量、A s-C $\phi 0.5\text{ cm}$ 略微量含む。しまりあり。粘性や中弱。
3. こぶ塗褐色土 ローム粒多量、ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0\text{ cm}$ 中量、A s-C $\phi 0.5\text{ cm}$ 略微量含む。しまりあり。粘性や中弱。

貯藏穴

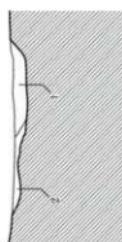


H-5号住居跡貯藏穴土層説明

1. 灰黄褐色土 A s-C $\phi 0.2\text{ cm}$ 少量、ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0\text{ cm}$ 略微量含む。しまりやや弱。粘性や中弱。
2. 灰黄褐色土 A s-C $\phi 0.2\text{ cm}$ ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0\text{ cm}$ 少量含む。しまりやや弱。粘性や中弱。
3. 緑黃褐色土 A s-C $\phi 0.2\text{ cm}$ 中量、ロームブロック $\phi 0.2 \sim 0.5\text{ cm}$ 略微量含む。しまりやや弱。粘性や中弱。
4. 灰黄褐色土 A s-C $\phi 0.2\text{ cm}$ 少量、ロームブロック $\phi 0.5 \sim 5.0\text{ cm}$ 略微量含む。しまりやや弱。粘性や中弱。
5. 緑褐色土 ロームブロック $\phi 0.5\text{ cm}$ 少量、A s-C $\phi 0.2\text{ cm}$ 略微量含む。しまりやや弱。粘性や中弱。

0 1:60 2m

炉跡



■ 焼土

H-5号住居跡炉跡土層説明

1. 塗褐色土 A s-C $\phi 0.5\text{ cm}$ ローム粒・焼土・炭化物少量含む。しまりやや弱。粘性や中弱。
2. 塗褐色土 A s-C $\phi 0.5\text{ cm}$ ローム粒・焼土少量、炭化物微量含む。しまりやや弱。粘性や中弱。

0 1:30 2m

掘り方

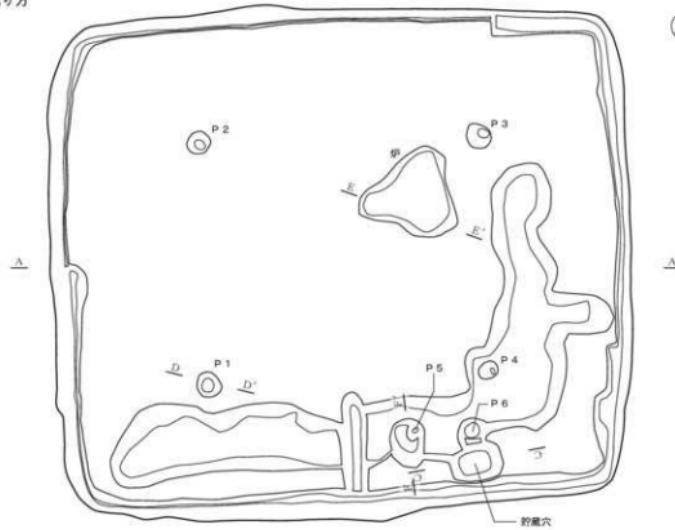
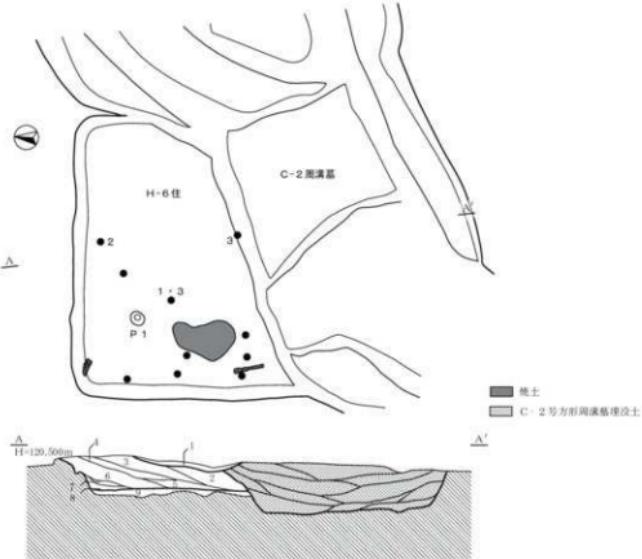


Fig. 15 住居跡 (10)

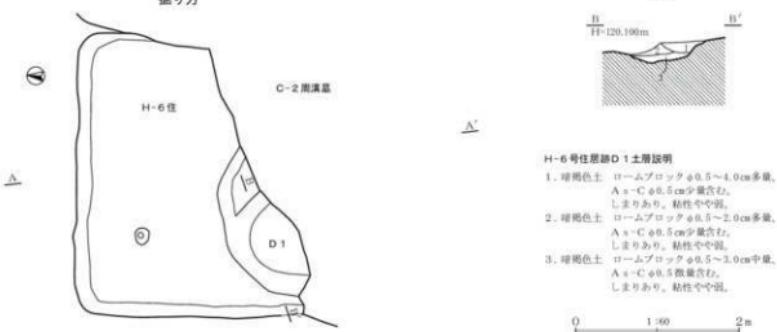
(H-6号住居跡)



H-6号住原跡土層説明

1. 塗褐色土 塗土・腐化物多量。A s-C φ 0.2 cm中量。A s-C φ 0.2 ~ 0.5 cm少量。ロームブロック φ 0.3 ~ 1.0 cm微量含む。しまりや弱。粘性やや弱。複屈土。
2. 灰黃褐色土 A s-C φ 0.2 ~ 0.5 cm中量。ロームブロック φ 0.2 ~ 2.0 cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
3. 灰褐色土 A s-C φ 0.5 cm中量。ロームブロック φ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
4. 灰黃褐色土 A s-C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.2 ~ 2.0 cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
5. 灰黃褐色土 A s-C φ 0.2 ~ 0.5 cm中量。ロームブロック φ 0.5 ~ 5.0 cm少量。黑色土ブロック φ 0.5 ~ 5.0 cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
6. 塗褐色土 A s-C φ 0.2 ~ 0.5 cm中量。ロームブロック φ 0.2 ~ 1.0 cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
7. 黑褐色土 A s-C φ 0.2 ~ 0.5 cm中量。ロームブロック φ 0.2 ~ 1.5 cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
8. 灰黃褐色土 A s-C φ 0.2 ~ 0.5 cm中量。ロームブロック φ 0.2 ~ 0.5 cm少量。塗土微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。粘土。
9. 塗褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 5.0 cm多量。A s-C φ 0.5 cm微量含む。しまり強。粘性やや弱。粘土。

掘り方

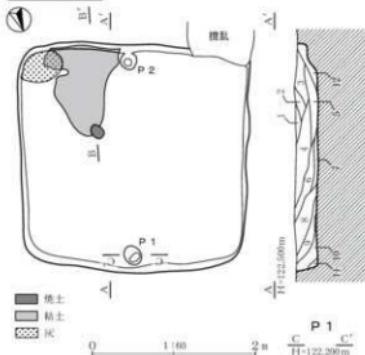


H-6号住跡D 1 土層説明

1. 塗褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 4.0 cm多量。A s-C φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
2. 塗褐色土 ロームブロック φ 0.3 ~ 2.0 cm多量。A s-C φ 0.5 cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
3. 塗褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 3.0 cm中量。A s-C φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性やや弱。

Fig. 16 住跡 (11)

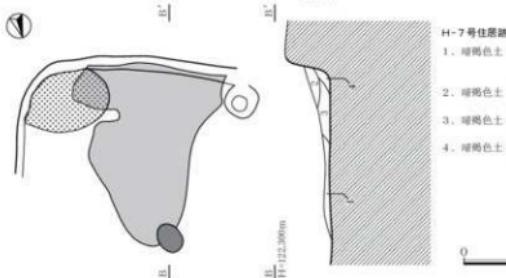
H-7号住居跡



H-7号住居跡土層説明

- 堆積土。ロームブロック $\phi 0.5$ cm多量, A \times B $\phi 0.2$ cm少量, A \times C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり性。粘性や少弱。
- 堆積土。A \times B $\phi 0.2$ cm。ロームブロック $\phi 0.5$ cm少量, A \times C $\phi 0.5$ cm微量含む。
- 堆積土。ロームブロック $\phi 0.5$ cm中量, A \times B $\phi 0.2$ cm少量, A \times C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり性。粘性や少弱。
- 堆積土。ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm多量, A \times B $\phi 0.2$ cm少量, A \times C $\phi 0.5$ cm・白色粘土。炭化物微量含む。しまり性。粘性や少弱。
- 堆積土。ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm中量, A \times B $\phi 0.2$ cm少量, A \times C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり性。粘性や少弱。
- 堆積土。A \times B $\phi 0.2$ cm。ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm少量, A \times C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり性。粘性や少弱。
- 堆積土。A \times B $\phi 0.2$ cm。ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm中量, A \times C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり性。粘性や少弱。
- 堆積土。ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm多量, A \times B $\phi 0.2$ cm少量, A \times C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり性。粘性や少弱。
- 堆積土。A \times B $\phi 0.2$ cm。ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm中量, A \times C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり性。粘性や少弱。
- 堆積土。A \times B $\phi 0.2$ cm。ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm少量, A \times C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり性。粘性や少弱。
- 堆積土。ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm多量, A \times B $\phi 0.2$ cm少量, A \times C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり性。粘性や少弱。
- 堆積土。白色粘土中量, A \times B $\phi 0.2$ cm。ロームブロック $\phi 0.5$ cm少量。

カマド



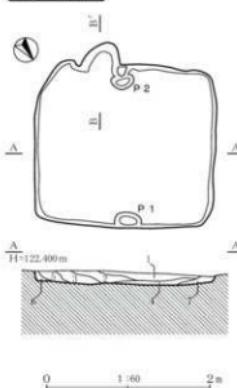
H-7号住居跡P1土層説明

- 堆積土。ローム泥・ロームブロック $\phi 0.5$ cm中量, A \times B $\phi 0.2$ cm少量含む。しまり性。粘性や少弱。
- 堆積土。ローム泥・ロームブロック $\phi 0.5$ cm多量, A \times B $\phi 0.2$ cm微量含む。しまり性。粘性や少弱。

H-7号住居跡カマド土層説明

- 堆積土。A \times B $\phi 0.2$ cm中量, ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm・白色粘土少量, A \times C $\phi 0.5$ cm・地土微量含む。しまり性。粘性や少弱。
- 堆積土。白色粘土中量, A \times B $\phi 0.2$ cm・ローム泥・地土少量, A \times C $\phi 0.5$ cm・ $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm。しまり性。粘性や少弱。
- 堆積土。白色粘土多量, ローム泥・地土少量, A \times C $\phi 0.5$ cm・A \times B $\phi 0.2$ cm微量含む。しまり性。粘性や少弱。
- 堆積土。ローム泥中量, A \times B $\phi 0.2$ cm・白色粘土少量, A \times C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり性。粘性や少弱。

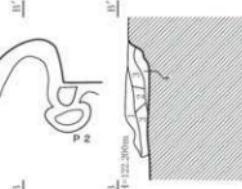
H-8号住居跡



H-8号住居跡土層説明

- 堆積土。ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm中量, A \times B $\phi 0.2$ cm少量, A \times C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり性。粘性や少弱。
- 堆積土。ロームブロック $\phi 0.5 \sim 4.0$ cm中量, A \times B $\phi 0.2$ cm少量, A \times C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり性。粘性や少弱。
- 堆積土。ロームブロック $\phi 0.5 \sim 5.0$ cm中量, A \times B $\phi 0.2$ cm少量, A \times C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり性。粘性や少弱。
- 堆積土。ロームブロック $\phi 0.5 \sim 5.0$ cm中量, A \times B $\phi 0.2$ cm少量, A \times C $\phi 0.5$ cm・炭化粘土微量含む。しまり性。粘性や少弱。
- 堆積土。ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm中量, A \times B $\phi 0.2$ cm少量, A \times C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり性。粘性や少弱。
- 堆積土。A \times B $\phi 0.2$ cm。ロームブロック $\phi 0.5$ cm少量, A \times C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり性。粘性や少弱。
- 堆積土。ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm中量, A \times B $\phi 0.2$ cm少量, A \times C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり性。粘性や少弱。

カマド

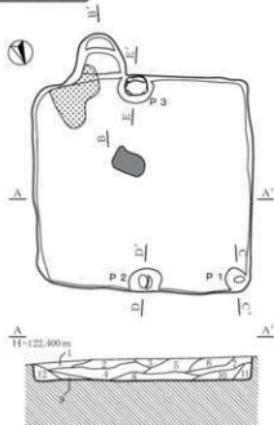


H-8号住居跡カマド土層説明

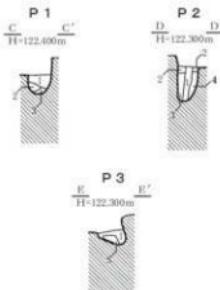
- 灰土。白色粘土多量, A \times C $\phi 0.5$ cm・地土微量含む。しまり性。粘性あり。
- 堆積土。白色粘土少量含む。しまり性。粘性あり。
- 灰土。白色粘土多量, 地土・炭化粘土少量, A \times C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり性。粘性あり。
- 堆積土。白色粘土少量, A \times C $\phi 0.5$ cm・炭化粘土少量含む。しまり性。粘性あり。

Fig. 17 住居跡 (12)

H-9号住居跡



■ 地土
□ 灰



H-9号住居跡P-1土層説明

1. 黄褐色土 黒色ブロック $\phi 0.5 \sim 1.0\text{cm}$ 少量含む。しまりあり。
2. 黄褐色土 白色軽石 $\phi 0.2\text{cm}$ 微量含む。しまりややあり。粘性あり。
3. 黄褐色土 $A \times B \phi 0.2\text{cm}$ 少量。しまりあり。粘性あり。

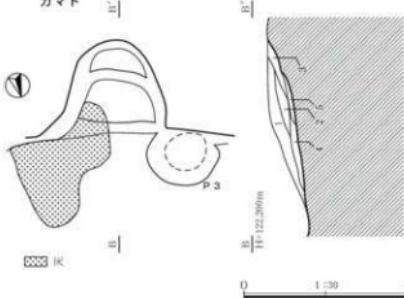
H-9号住居跡P-2土層説明

1. 黒褐色土 $A \times C \phi 0.2\text{cm}$ 少量。 $A \times B \phi 0.2\text{cm}$ 多量。ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1\text{cm}$ 少量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
2. 黒褐色土 $A \times B \phi 0.2\text{cm}$ 多量。 $A \times C \phi 0.3\text{cm}$ ロームブロック $\phi 0.2 \sim 0.5\text{cm}$ 少量含む。しまりややあり。
3. 黄褐色土 $A \times B \phi 0.2\text{cm}$ 多量。ロームブロック $\phi 0.5\text{cm}$ 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 黄褐色土 $A \times C \phi 0.2\text{cm}$ 微量。黒色ブロック $\phi 0.2\text{cm}$ 少量。しまりややあり。

H-9号住居跡P-3土層説明

1. 黄褐色土 $A \times B \phi 0.2\text{cm}$ 多量。 $H \times F A \phi 0.2\text{cm}$ 中量。 $A \times C \phi 0.5\text{cm}$ 微量含む。しまり強。粘性ややあり。

カマド

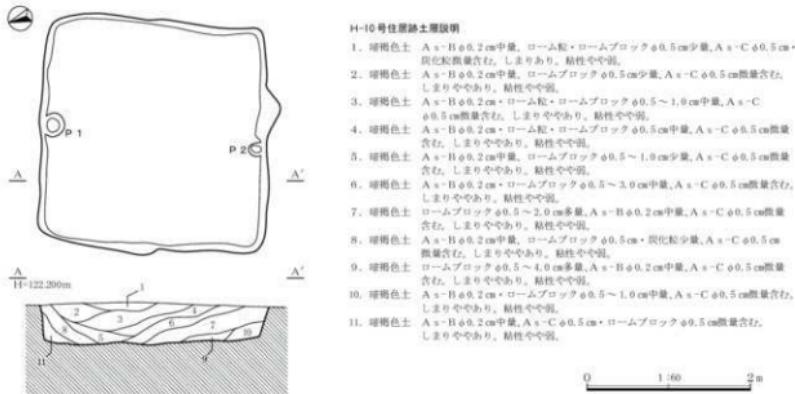


H-9号住居跡カマド土層説明

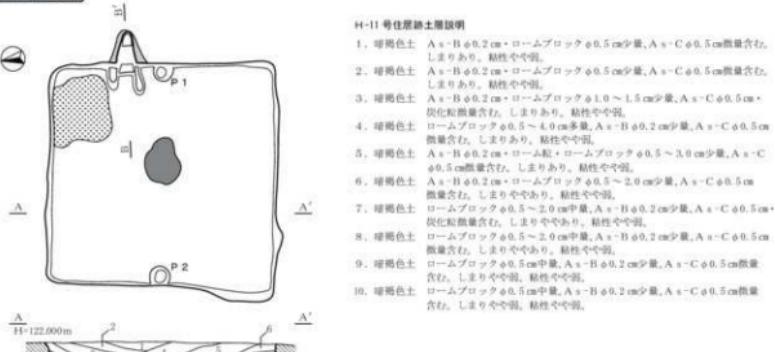
1. 増褐色土 $A \times B \phi 0.2\text{cm}$ ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0\text{cm}$ 、白色粘土少量。他土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 増褐色土 白色粘土多量。 $A \times B \phi 0.2\text{cm}$ 少量含む。しまりあり。粘性あり。
3. 増褐色土 ロームブロック $\phi 0.5\text{cm}$ 、白色粘土多量。 $A \times B \phi 0.2\text{cm}$ 少量含む。しまりあり。粘性あり。
4. 増褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0\text{cm}$ 、白色粘土多量。 $A \times B \phi 0.2\text{cm}$ 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 黑褐色土 沖中量。ローム少量。炭化粘土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

Fig. 18 住居跡 (13)

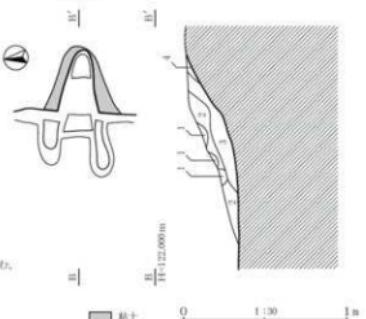
H-10号住居跡



H-11号住居跡



カマド

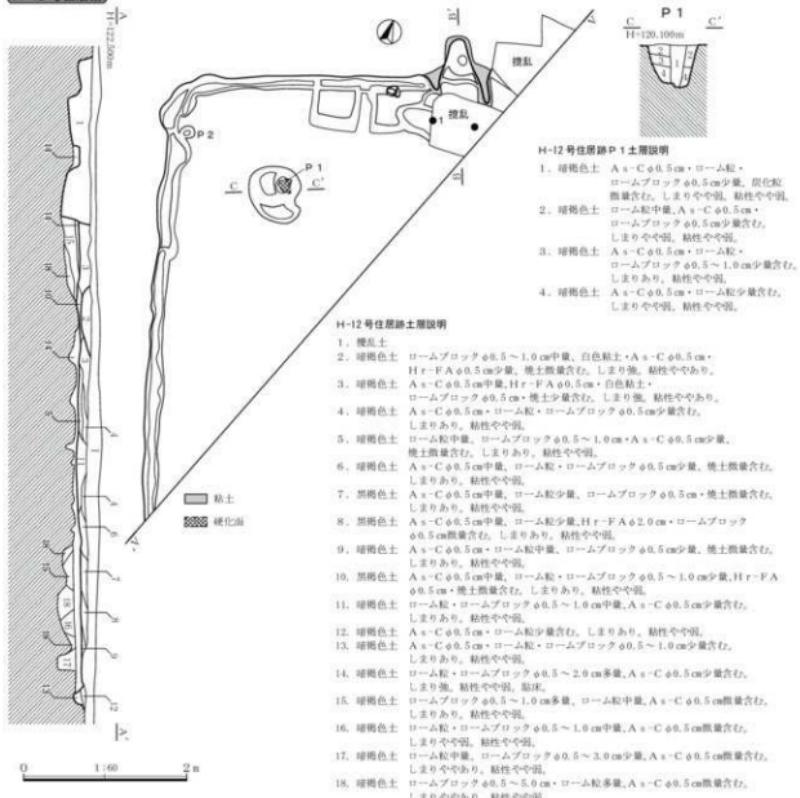


H-11号住居跡カマド土層説明

- 暗褐色土 ローム粒中量。A + B $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりややあり。粘性やや弱。
- にじい黄褐色土 白色粘土中量。ロームブロック $\phi 0.5$ cm少量含む。しまりあり。粘性あり。
- にじい黄褐色土 白色粘土多量。ロームブロック $\phi 0.5$ cm中量。炭化粒微量含む。しまり強。粘性あり。
- にじい黄褐色土 白色粘土・ロームブロック $\phi 0.5$ cm中量含む。しまりあり。粘性あり。

Fig. 19 住居跡 (14)

H-12号住居跡



カマド

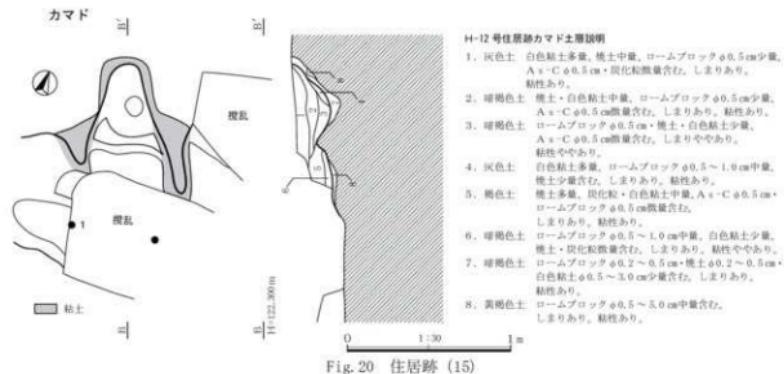
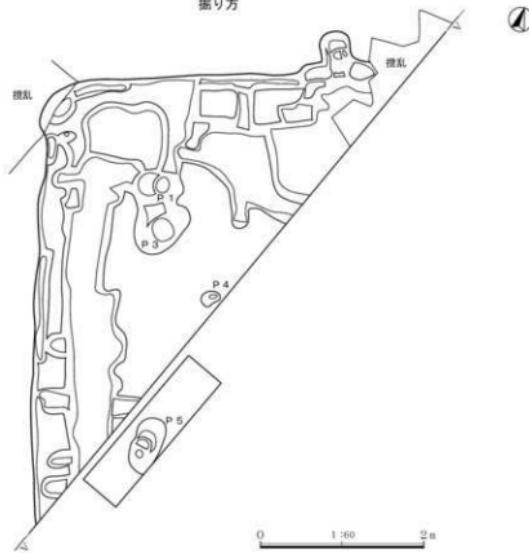


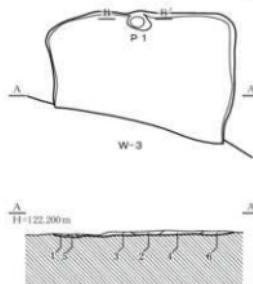
Fig. 20 住居跡 (15)

H-12号住居跡

塗り方



H-13号住居跡



H-13号住居跡土層説明

- 堆積色土 A s - B φ 0.2 cm・砂粒・ローム粒少量含む。しまり無し。粘性や小弱。
- 堆積色土 A s - B φ 0.2 cm・ローム少量、ロームブロック φ 0.5 cm程度含む。しまりあり。粘性や中弱。
- 堆積色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm中量、A s - B φ 0.2 cm・ローム粒少量、A s - C φ 0.5 cm程度含む。しまりあり。粘性や中弱。
- 堆積色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm中量、A s - B φ 0.2 cm・ローム粒少量、A s - C φ 0.5 cm程度含む。しまりあり。粘性や中弱。
- 堆積色土 ローム粒・ロームブロック φ 0.5 ~ 2.0 cm中量、A s - B φ 0.2 cm少量含む。しまりあり。粘性や中弱。
- 堆積色土 A s - B φ 0.2 cm・ローム粒・ロームブロック φ 0.5 cm少量、A s - C φ 0.5 cm程度含む。しまりあり。粘性や小弱。

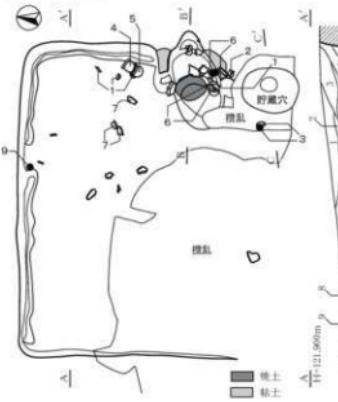


H-13号住居跡P1土層説明

- 堆積色土 ロームブロック φ 0.5 cm中量、A s - B φ 0.2 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性や中弱。
- 堆積色土 ローム粒・ロームブロック φ 0.5 cm中量、A s - B φ 0.2 cm少量、炭化粧鉢含む。しまりあり。粘性や小弱。

Fig. 21 住居跡 (16)

H-14号住居跡

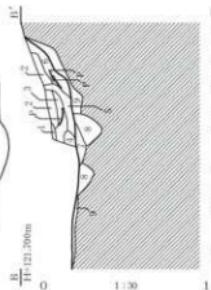
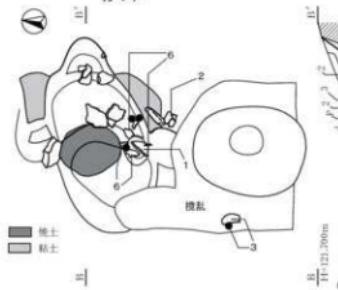


H-14号住居跡土層説明

- 暗褐色土 ローム・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm中量, A s-C $\phi 0.5$ cm少量含む。しまりややあり。粘性やや弱。
- 暗褐色土 A s-C $\phi 0.5$ cm・ローム粒少量含む。しまりややあり。
- 暗褐色土 粘性やや弱。
- 黒褐色土 ローム粒・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm中量, A s-C $\phi 0.5$ cm少量、炭化粒微細含む。しまりややあり。粘性やや弱。
- 黒褐色土 ローム粒・ロームブロック $\phi 0.5$ cm中量, A s-C $\phi 0.5$ cm・炭化粒少量含む。しまりやや弱。
- 暗褐色土 A s-C $\phi 0.5$ cm・ローム粒・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm, 炭化粒少量含む。しまりややあり。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ローム粒・ロームブロック $\phi 0.5$ cm中量, A s-C $\phi 0.5$ cm・炭化粒少量含む。しまりややあり。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ローム粒・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm中量, A s-C $\phi 0.5$ cm少量、炭化粒微細含む。しまりややあり。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ローム粒・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm中量, A s-C $\phi 0.5$ cm少量、炭化粒微細含む。しまりややあり。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ローム粒・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm中量, A s-C $\phi 0.5$ cm少量含む。しまりややあり。粘性やや弱。
- 暗褐色土 A s-C $\phi 0.5$ cm・ローム粒少量含む。しまりややあり。
- 暗褐色土 ローム粒・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm中量, A s-C $\phi 0.5$ cm少量含む。しまりややあり。

0 1:60 2m

カマド



H-14号住居跡カマド土層説明

- 黒色土 ロームブロック $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm少量含む。しまりややあり。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ロームブロック $\phi 0.3$ cm・粘土 $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm少量含む。しまりややあり。粘性やや弱。
- 灰色土 粘土 $\phi 0.5$ cm少量含む。しまりややあり。粘性やや弱。
- 褐色土 粘土 $\phi 0.5$ cm少量含む。しまりややあり。粘性やや弱。
- 褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm・粘土 $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm少量含む。しまりややあり。粘性やや弱。
- 黒色土 ロームブロック $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm少量含む。しまりややあり。粘性やや弱。
- 褐色土 粘土 $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm少量含む。しまりややあり。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 5.0$ cm多量, A s-C $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm少量含む。しまりややあり。粘性やや弱。
- 黄褐色土 A s-C $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。

0 1:30 2m

貯蔵穴



0 1:60 2m

H-14号貯蔵穴土層説明

- 黒褐色土 A s-C $\phi 0.2$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm少量, H r-F A $\phi 0.2$ cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
- 黒褐色土 ロームブロック $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm中量, A s-C $\phi 0.2$ cm・H r-F A $\phi 0.2$ cm・粘土 $\phi 0.2$ cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
- 黒褐色土 A s-C $\phi 0.2$ cm・H r-F A $\phi 0.2$ cm・ロームブロック $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
- 黒褐色土 A s-C $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ロームブロック $\phi 1.0 \sim 5.0$ cm中量, A s-C $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
- 黒褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm少量, A s-C $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
- 黒褐色土 A s-C $\phi 0.2$ cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
- 灰褐色土 A s-C $\phi 0.2$ cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。

Fig. 22 住居跡 (17)

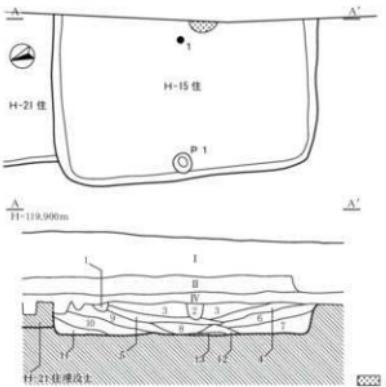
掘り方



掘立

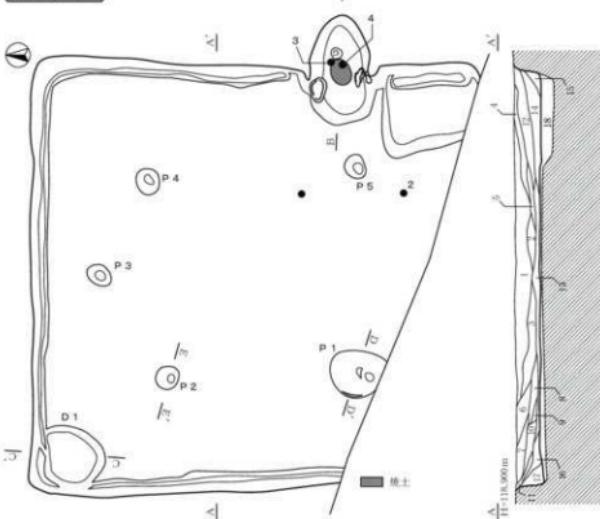
0 1:60 2m

H-15号住居路



H-15 号性黑耕土層說明

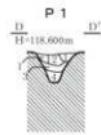
H-16号住居跡



H-16 号住居跡土層説明

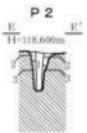
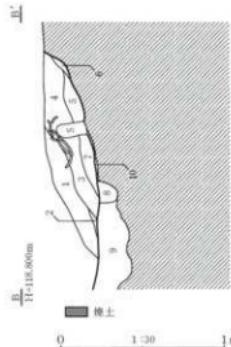
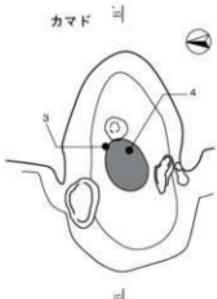
1. 鮎褐色土 A + C < 0.5 cm, H + F + A = 粘土石 0.5 ~ 1.9 cm, ローム・
ラグマット ϕ 0.5 cm少量化
す, しまりり。粘性度中やあり。
 2. 鮎褐色土 A + C < 0.5 cm,
H + F + A = 粘土石 0.5
cm, ローム・ラグマット
 ϕ 0.5 cm少量化す,
しまりり。粘性度中やあり。
 3. 黒褐色土 ローム・ラグマット ϕ 0.5
~ 2.9 cm多量, C +
C + ϕ 0.5 ~ 1.0 cm中量, H +
F + A = 粘土石 0.5 cm少量化す,
しまりり。粘性度中やあり。
 4. 鮎褐色土 A + C < 0.5 cm,
ローム・ラグマット
 ϕ 0.5 ~ 1.0 cm中量,
H + F + A = 粘土石 0.5
cm少量化す,
しまりややなり。粘性度中やあり。
 5. 黑褐色土 A + C < 0.5 cm,
ローム・ラグマット
 ϕ 0.5 cm少量化す,
H + F + A = 粘土石 0.5
cm少量化す,
しまりり。粘性度中やあり。

(H-16 号住居跡)



H-16 号住居跡 P 1 土層説明

1. 黒褐色土 A s-C φ0.5cm・ロームブロック
φ0.5～1.0cm少量含む。
しまりやや弱。粘性ややあり。
2. 塗褐色土 ロームブロック φ0.5～2.0cm多量、
A s-C φ0.5cm少量含む。
しまりやや弱。粘性ややあり。
3. 塗褐色土 ロームブロック φ0.5～1.0cm
粘性ややあり。
4. 塗褐色土 A s-C φ0.5cm・ロームブロック
φ0.5cm少量含む。しまり弱。
粘性ややあり。



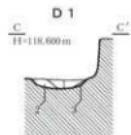
H-16 号住居跡 P 2 土層説明

1. 塗褐色土 A s-C φ0.5cm・ローム少量
含む。しまり弱。粘性ややあり。
2. 黒褐色土 ロームブロック φ0.5～2.0cm
中量、A s-C φ0.5cm少量含む。
しまりややあり。
3. 塗褐色土 ロームブロック φ0.5～1.0cm
少量、A s-C φ0.5cm少量含む。
しまりややあり。粘性ややあり。

H-16 号住居跡カマド 土層説明

1. 塗褐色土 ロームブロック φ0.5～1.0cm中量、A s-C φ0.5cm・白色粘土少量。他土、斑状粘土少量含む。
しまりあり。粘性あり。
2. 塗褐色土 ロームブロック φ0.5cm・他土少量、A s-C φ0.5cm微量含む。
しまりややあり。粘性ややあり。
3. 塗褐色土 ロームブロック φ0.5cm白色粘土・他土少量、A s-C φ0.5cm微量含む。
しまりややあり。粘性ややあり。
4. 塗褐色土 ロームブロック φ0.5～2.0cm少量、A s-C φ0.5cm微量含む。
しまりややあり。粘性ややあり。
5. 塗褐色土 ロームブロック φ0.5cm白色粘土・他土少量含む。
しまりあり。粘性ややあり。
6. 塗褐色土 壁面多量、ロームブロック φ0.5～1.0cm
中量、A s-C φ0.5cm微量含む。
しまりやや弱。粘性やや弱。
7. 塗褐色土 壁面多量、ロームブロック φ0.5～1.0cm
中量、A s-C φ0.5cm微量含む。
白色粘土少量含む。しまりややあり。粘性やや弱。
8. 黑褐色土 A s-C φ0.5cm・ロームブロック φ0.5～1.0cm少量、他土微量含む。
しまりややあり。粘性ややあり。
9. 塗褐色土 ロームブロック φ0.5～10.0cm多量、A s-C φ0.5cm少量、H-F A 斜石 φ0.5cm微量含む。
しまり強。粘性やや強。
10. 黄褐色土 地上多量含む。しまりやや強。粘性弱。地山が僵化した層。
しまり強。粘性やや強。

10. 黄褐色土 地上多量含む。しまりやや強。粘性弱。地山が僵化した層。



H-16 号住居跡 D 1 土層説明

1. 塗褐色土 ロームブロック φ0.5～5.0cm多量、
A s-C φ0.5cm微量含む。
しまりややあり。粘性やや弱。
2. 塗褐色土 ロームブロック φ0.5～10.0cm中量、
A s-C φ0.5cm微量含む。
しまりややあり。粘性やや弱。
3. にじみ黄褐色土 ロームブロック φ0.5～
3.0cm多量、A s-C φ0.5cm
微量含む。しまりややあり。
粘性やや弱。

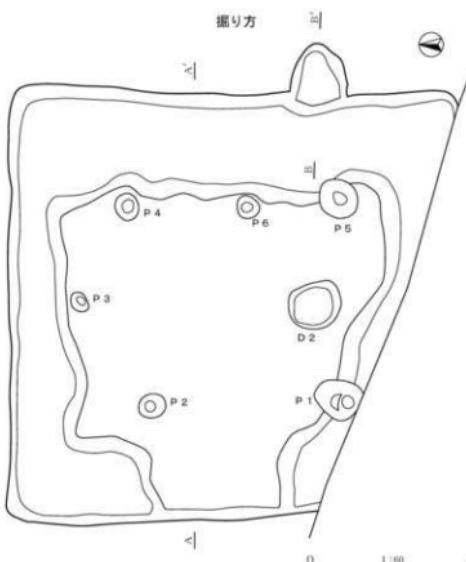
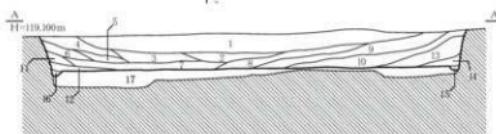
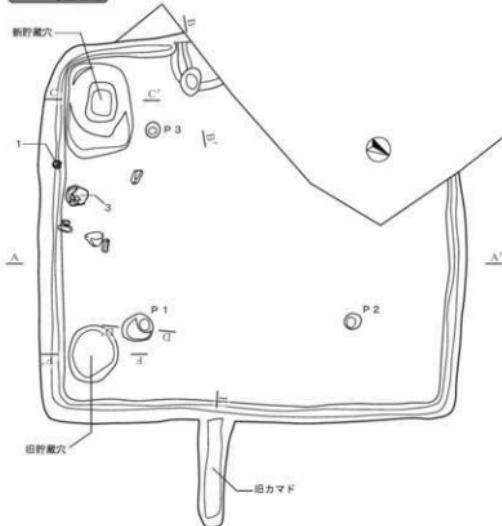


Fig. 24 住居跡図 (19)

H-17号住居跡



H-17号住居跡土層説明

1. 塗褐色土 $A \sim C \oplus 0.5 \text{ cm}$ 中量, $H - F$ A軽石 $\phi 0.5 \text{ cm}$ 少量, ロームブロック $\phi 0.5 \text{ cm}$ 開量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
2. 塗褐色土 $A \sim C \oplus 0.5 \text{ cm}$ 中量, $H - F$ A軽石 $\phi 0.5 \text{ cm}$ 少量, ロームブロック $\phi 0.5 \text{ cm}$ 少量, 固化粘泥量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
3. 塗褐色土 $A \sim C \oplus 0.5 \text{ cm}$ 中量, $H - F$ A軽石 $\phi 0.5 \text{ cm}$ 開量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
4. 黒褐色土 $A \sim C \oplus 0.5 \text{ cm}$ 多量, ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0 \text{ cm}$ 中量, $H - F$ A軽石 $\phi 0.5 \text{ cm}$, 植土, 固化粘泥量含む, しまりあり, 粘性やややあり。
5. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0 \text{ cm}$ 多量, $A \sim C \oplus 0.5 \text{ cm}$ 少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
6. にいが黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \text{ cm}$ 中量, $A \sim C \oplus 0.5 \text{ cm}$, 固化粘泥量含む。
7. 塗褐色土 $A \sim C \oplus 0.5 \text{ cm}$, ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0 \text{ cm}$, 植土少量, $H - F$ A軽石 $\phi 0.5 \text{ cm}$ 開量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
8. 塗褐色土 $A \sim C \oplus 0.5 \text{ cm}$, ロームブロック $\phi 0.5 \text{ cm}$ 少量, $H - F$ A軽石 $\phi 0.5 \text{ cm}$ 開量含む, しまりあり, 粘性やややあり。
9. 黒褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0 \text{ cm}$, $A \sim C \oplus 0.5 \text{ cm}$ 少量, $H - F$ A軽石 $\phi 0.5 \text{ cm}$ 開量含む, しまりあり, 粘性やややあり。
10. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0 \text{ cm}$ 中量, $A \sim C \oplus 0.5 \text{ cm}$ 少量, 固化粘泥量含む, しまりあり, 粘性やややあり。
11. 黒褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0 \text{ cm}$ 多量, $A \sim C \oplus 0.5 \text{ cm}$ 開量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
12. 塗褐色土 $A \sim C \oplus 0.5 \text{ cm}$, ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0 \text{ cm}$ 中量含む, しまりあり, 粘性やややあり。
13. 塗褐色土 $A \sim C \oplus 0.5 \text{ cm}$, ロームブロック $\phi 0.5 \text{ cm}$ 少量, 固化粘泥量含む, しまりあり, 粘性やややあり。
14. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0 \text{ cm}$ 中量, $A \sim C \oplus 0.5 \text{ cm}$ 開量含む, しまりあり, 粘性やややあり。
15. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0 \text{ cm}$ 中量, $A \sim C \oplus 0.5 \text{ cm}$ 開量含む, しまりやや弱, 粘性やややあり。
16. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0 \text{ cm}$ 中量, $A \sim C \oplus 0.5 \text{ cm}$ 開量含む, しまりやや弱, 粘性やややあり。
17. にいが黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 5.0 \text{ cm}$ 多量, $A \sim C \oplus 0.5 \text{ cm}$ 少量含む, しまり強, 粘性ややあり。

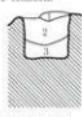
P 1
 $H=118.700 \text{ m}$



H-17号住居跡 P 1土層説明

1. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \text{ cm}$ 少量, $A \sim C \oplus 0.5 \text{ cm}$ 開量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
2. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0 \text{ cm}$ 中量, $A \sim C \oplus 0.5 \text{ cm}$ 開量含む, しまりあり, 粘性やや。

F
 $H=118.600 \text{ m}$



H-17号住居跡旧窓戸穴土層説明

1. にいが黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 5.0 \text{ cm}$ 多量, $A \sim C \oplus 0.5 \text{ cm}$ 少量含む, しまり強, 粘性やや強。
2. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0 \text{ cm}$ 中量, $A \sim C \oplus 0.5 \text{ cm}$, 植土, 白色粘土少量, $A \sim C \oplus 0.5 \text{ cm}$, 固化粘泥量含む, しまりやや弱, 粘性あり。
3. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0 \text{ cm}$, $A \sim C \oplus 0.5 \text{ cm}$, 白色粘土少量, $A \sim C \oplus 0.5 \text{ cm}$, 固化粘泥量含む, しまり弱, 粘性やや弱。

参考 旧カマドを調した土で埋め戻されているものと考えられる。

C
 $H=118.600 \text{ m}$



H-17号住居跡新窓戸穴土層説明

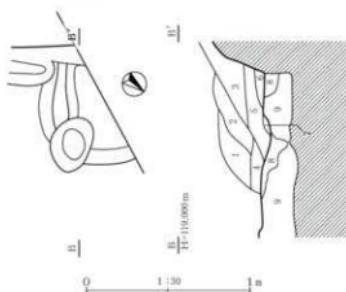
1. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \text{ cm}$ 中量, $A \sim C \oplus 0.5 \text{ cm}$ 少量含む, しまりやや弱, 粘性ややあり。
2. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \text{ cm}$, $A \sim C \oplus 0.5 \text{ cm}$ 少量含む, しまりやや弱, 粘性やや。
3. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \text{ cm}$, $A \sim C \oplus 0.5 \text{ cm}$ 少量含む, しまりやや弱, 粘性やや。
4. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 5.0 \text{ cm}$ 中量, $A \sim C \oplus 0.5 \text{ cm}$ 少量含む, しまり弱, 粘性やや弱。
5. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0 \text{ cm}$ 少量, $A \sim C \oplus 0.5 \text{ cm}$ 少量含む, しまりやや弱, 粘性やや弱。

0 1:60 2m

Fig. 25 住居跡 (20)

(H-17号住居跡)

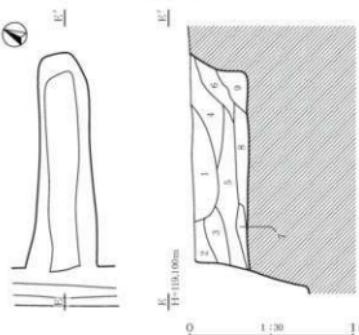
新カマド



H-17号住居跡新カマド土層説明

1. 喀爾色土 A s-C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5 cm中量。白色粘土少量。堆土微量含む。しまりあり。粘性あり。
2. 喀爾色土 堆土中量 A s-C φ 0.5 cm少量。白色粘土少量含む。しまりあり。粘性あり。
3. 喀爾色土 堆土。白色粘土中量 A s-C φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性あり。
4. 喀爾色土 A s-C φ 0.5 cm堆土少量含む。しまりあり。粘性あり。
5. 黑色土 堆土多量。白色粘土中量。炭化物少量。A s-C φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性あり。
6. 黑色土 堆土中量。ロームブロック φ 0.5 cm・灰少量含む。しまりやや固。粘性やや硬。
7. 黑色土 灰中量。堆土微量含む。しまりやや固。粘性やや硬。
8. 喀爾色土 ロームブロック φ 0.5～5.0 cm多量。A s-C φ 0.5 cm少量含む。しまり強。粘性やや硬。
9. にぶい黄褐色土 ロームブロック φ 0.5～5.0 cm中量。A s-C φ 0.5 cm少量含む。しまり強。粘性やや硬。

旧カマド



H-17号住居跡旧カマド

1. 喀爾色土 A s-B φ 0.2 cm・A s-C φ 0.5 cm・堆土少量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
2. にぶい黄褐色土 堆土中量 A s-C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. にぶい黄褐色土 ロームブロック φ 0.5～2.0 cm中量 A s-C φ 0.5 cm・堆土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 喀爾色土 堆土中量 A s-C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5～3.0 cm・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 喀爾色土 堆土中量 A s-C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
6. 喀爾色土 A s-C φ 0.5 cm少量。ロームブロック φ 0.5 cm・堆土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
7. 黑色土 堆土多量。ロームブロック φ 0.5 cm少量。A s-C φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
8. 喀爾色土 A s-C φ 0.5 cm・堆土少量含む。しまりあり。粘性やや硬。
9. 喀爾色土 A s-C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5 cm・堆土少量含む。しまりあり。粘性やや硬。

掘り方

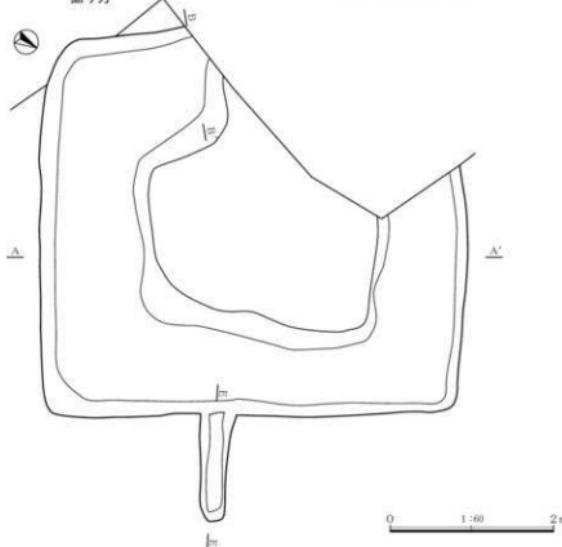
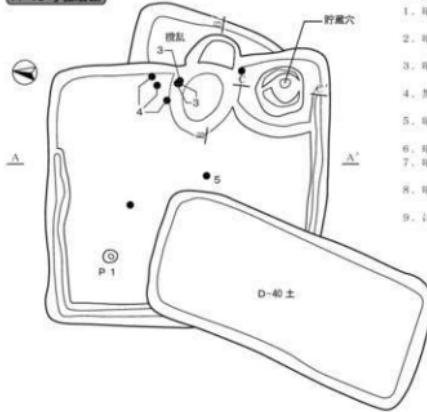


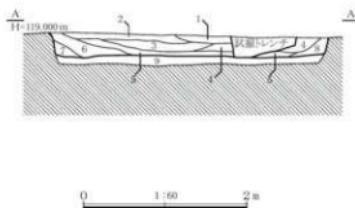
Fig. 26 住居跡 (21)

H-18号住居跡



H-18号住居跡土層説明

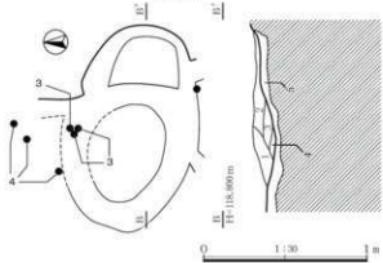
- 暗褐色土 $A s - C \phi 0.5$ cm中量、ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm少量、Hr-F A
軽石 $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 暗褐色土 $A s - C \phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5$ cm・Hr-F A軽石 $\phi 0.5$ cm
少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 暗褐色土 $A s - C \phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5$ cm・塵土少量、Hr-F A軽石
 $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 黒褐色土 $A s - C \phi 0.5$ cm中量、Hr-F A軽石 $\phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5$
cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 暗褐色土 $A s - C \phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5$ cm少量含む。炭化粧微量含む。
しまりややあり。粘性ややあり。
- 暗褐色土 $A s - C \phi 0.5$ cm中量、Hr-F A軽石 $\phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5$ cm
微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 暗褐色土 $A s - C \phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm少量含む。しまりあり。
粘性ややあり。
- 暗褐色土 $A s - C \phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm少量含む。しまりあり。
粘性ややあり。
- にじい黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm多量、 $A s - C \phi 0.5$ cm少量、
Hr-F A軽石 $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり強。粘性ややあり。
基盤。



H-18号住居跡の窓穴土層説明

- 暗褐色土 $A s - C \phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm少量含む。
しまりやや弱。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm中量、 $A s - C \phi 0.5$ cm微量含む。
しまり弱。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm中量・ $A s - C \phi 0.5$ cm少量含む。しまり弱。
粘性やや弱。
- 暗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm中量、 $A s - C \phi 0.5$ cm少量含む。
しまりやや弱。粘性やや弱。
- にじい黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm多量、 $A s - C \phi 0.5$ cm微量含む。
しまりやや弱。粘性やや弱。

カマド



H-18号住居跡カマド土層説明

- 暗褐色土 地土中量。白色粘土少量、 $A s - C \phi 0.5$ cm微量含む。
しまりあり。粘性あり。
- 暗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm多量、 $A s - C \phi 0.5$ cm
微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5$ cm・白色粘土中量。塵土少量。
 $A s - C \phi 0.5$ cm微量含む。しまりあり。粘性あり。
- 暗灰色土 地土中量。ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm中量、塵土少量含む。
しまり弱。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm中量、 $A s - C \phi 0.5$ cm
微量含む。しまり強。粘性やや弱。

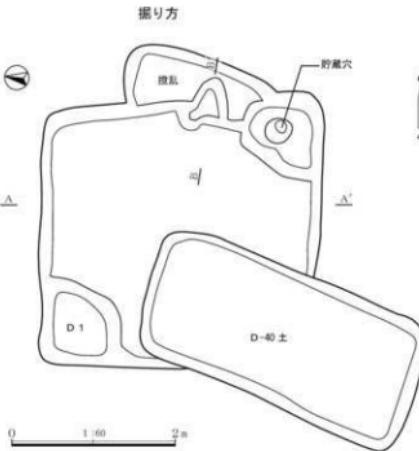
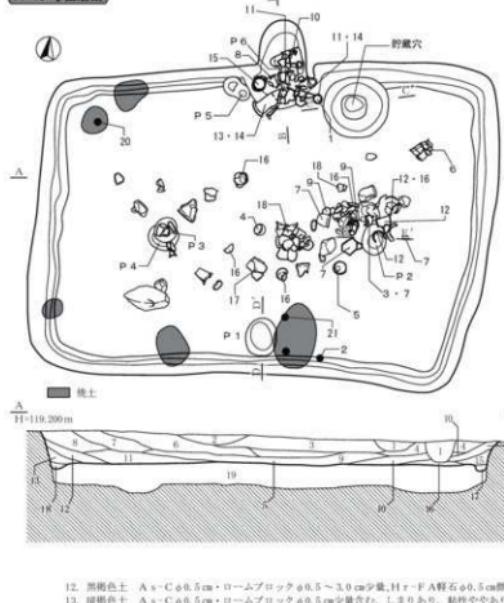


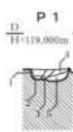
Fig. 27 住居跡 (22)

H-19号住居跡



12. 黒褐色土 A - C < 0.5% ロームブロッカ ϕ 0.5 ~ 3.0 cm 粒度混合土。しまりあり。粘性ややあり。
13. 黒褐色土 A - C < 0.5% ロームブロッカ ϕ 0.5 cm 粒度混合土。しまりあり。粘性ややあり。
14. 黑褐色土 ロームブロッカ ϕ 0.5 cm 中量 A - C < 0.5% 少量 H - F A 砂石 ϕ 0.5 cm 混在含む。しまりあり。粘性ややあり。
15. 黑褐色土 A - C < 0.5% 少量 ロームブロッカ ϕ 0.5 cm 地上、凍結融解混在含む。しまりあり。粘性ややあり。
16. 黑褐色土 ロームブロッカ ϕ 0.5 ~ 1.0 cm 中量 A - C < 0.5% 少量 H - F A 砂石 ϕ 0.5 cm 混在含む。しまりあり。粘性ややあり。
17. 黑褐色土 ロームブロッカ ϕ 0.5 ~ 1.0 cm 中量 A - C < 0.5% 少量混合土。しまりやややや。粘性ややあり。
18. 黑褐色土 ロームブロッカ ϕ 0.5 cm 中量 A - C < 0.5% 少量混合土。しまりやややや。粘性ややあり。
19. こぶ・黒色土 ロームブロッカ ϕ 0.5 ~ 5.0 m 多量 A - C < 0.5 ~ 0.5 cm 粒度混合土。しまり強。粘性ややあり。

0 1 :60 2



H-19 号住居跡 P 1 土層説明

- 暗褐色土 A + C < 0.5 cm、ロームブロック ϕ 0.5 cm、炭化鉱少量含む。
しまりあり。粘性や砂性。
 - 暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm中量、A + C ϕ 0.5 cm微量含む。
しまりあり。粘性や砂性。
 - にぶい暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 cm中量、A + C ϕ 0.5 cm微量含む。
しまりやや粘性や砂性。
 - 暗褐色土 A + C ϕ 0.5 cm微量含む。
しまりやや粘性や砂性。
 - 暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm微量含む。
A + C ϕ 0.5 cm微量含む。

P 2



14-10. 亂世魔物D.D. 大魔頭明

1. 鮎褐色色 ローマンブック $\phi 0.5$ cm程度、A - C $\phi 0.5$ cm微開合含む。
しまりやけあり。粘性や粘り。

2. 磨褐色色 ローマンブック $\phi 0.5$ - 2.0 cm程度、A - C $\phi 0.5$ cm微開合含む。
しまりやけあり。

3. にふや黒褐色色 ローマンブック $\phi 0.5$ cm程度、A - C $\phi 0.5$ cm
微開合微開合含む。
しまりやけあり。

4. 磨褐色色 ローマンブック $\phi 0.5$ cm程度、A - C $\phi 0.5$ cm微開合含む。
しまりやけあり。粘性やけあり。

5. 磨褐色色 ローマンブック $\phi 0.5$ - 3.0 cm程度、A - C $\phi 0.5$ cm微開合含む。
しまりやけあり。粘性やけあり。

6. 磨褐色色 ローマンブック $\phi 0.5$ - 1.0 cm程度、A - C $\phi 0.5$ cm微開合含む。
しまりやけあり。粘性やけあり。

H-19 号住居跡土器説明

1. 磯灰白色 A + C + 0.2cm中量, H + F + 0.5cm・
ロームブロッサム 0.5cm少量含む。
しまりあり。粘性や中。

2. 磯褐色土 A + C + 0.5cm中量, H + F + 鉄鉱石
0.5cm・ロームブロッサム 0.5cm少量
含む。しまりあり。粘性や中。

3. 磯褐色土 A + C + 0.5cm・ロームブロッサム
0.5cm中量, H + F + 鉄鉱石 0.5cm少量。
他土類混在す。しまりあり。
粘性や中。

4. 磯褐色土 A + C - 0.5cm中量・H + F + 鉄鉱石
0.5cm・ロームブロッサム 0.5cm ~ 1.0
cm少量含む。しまりあり。粘性や中。

5. 磯褐色土 A + C - 0.5cm・ロームブロッサム
0.5cm少量, H + F + 鉄鉱石 0.5cm,
他土類混在す。しまりあり。
粘性や中。

6. 磯褐色土 A + C - 0.5cm中量, ロームブロッサム
0.5cm少量, H + F + 鉄鉱石 0.5cm,
他土類混在す。しまりあり。粘性や中。

7. 磯褐色土 A + C - 0.5cm中量, ロームブロッサム
0.5cm少量, H + F + 鉄鉱石 0.5cm,
炭化物微含む。しまりあり。
粘性や中。

8. 磯褐色土 A + C - 0.5cm + H + F + 鉄鉱石 0.5cm
・ロームブロッサム 0.5cm少量含む。
しまりあり。粘性や中。

9. 黑褐色土 A + C - 0.5cm・ロームブロッサム 0.5
cm・鉄鉱石 0.5cm・炭化物微含む。
しまりあり。
粘性や中。

10. 黑褐色土 A + C - 0.5cm ~ 0.5 ~ 1.0cm中量,
A + C - 0.5cm少量, H + F + 鉄鉱石
0.5cm, 炭化物微含む。しまりあり。
粘性や中。

11. 磯褐色土 A + C - 0.5cm・ロームブロッサム
0.5cm少量, H + F + 鉄鉱石 0.5cm,
他土類混在す。しまりあり。
粘性や中。

12. しまりあり。粘性や中。

貯藏穴



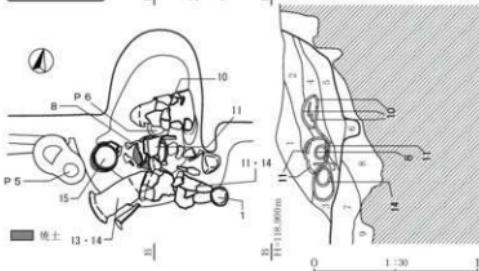
H-19 骨性鼻腔腔隙六上颌缺牙

1. 増殖色土 A-C < 0.5 cm 中量。ロームブロック約0.5 ~ 5 cm 中量。粒状混在す。粒状やあり。
 2. にふる葉褐色土 ロームブロック約0.5 ~ 5 cm 多量。A-C < 0.5 cm 少量含む。しりまき。粒状やあり。
 3. 増殖色土 ロームブロック約0.5 ~ 2.0 cm 多量。A-C < 0.5 cm 中量含む。粒状やあり。
 4. 增殖色土 A-C < 0.5 cm ロームブロック約0.5 ~ 2.0 cm 粒状含む。しりまき。粒状やあり。
 5. 増殖色土 ロームブロック約0.5 ~ 5 cm 中量。A-C < 0.5 cm 中量含む。しりまき。粒状やあり。

Fig. 28 住居跡 (23)

H-19号住居跡

カマド



H-19号機黒崎カマド主附設手

1. 暗褐色土 ロームブロッサ $\phi = 0.5$ cm・白色土中量:A_s-C $\phi = 0.5$ cm・黒土少量含む。しまりやや強。粘性やや弱。

2. 暗褐色土 他地土量:A_s-C $\phi = 0.5$ cm・ロームブロッサ $\phi = 0.5$ cm少量。H-Fアリ・白鐵石微少量含む。しまりよりやや強。H-Fアリ。

3. 暗褐色土 A_s-C $\phi = 0.5$ cm・ロームブロッサ $\phi = 0.5$ cm・白色土少々。黒土少量含む。しまりよりやや強。粘性やや弱。

4. 暗褐色土 A_s-C $\phi = 0.5$ cm・ロームブロッサ $\phi = 0.5$ cm・白色土少々。黒土少量含む。しまりよりやや強。粘性やや弱。

5. 暗褐色土 ロームブロッサ $\phi = 0.5\sim 1.0$ cm中量:A_s-C $\phi = 0.5\sim 1.0$ cm中量。黒土少量含む。しまりよりやや強。粘性やや弱。

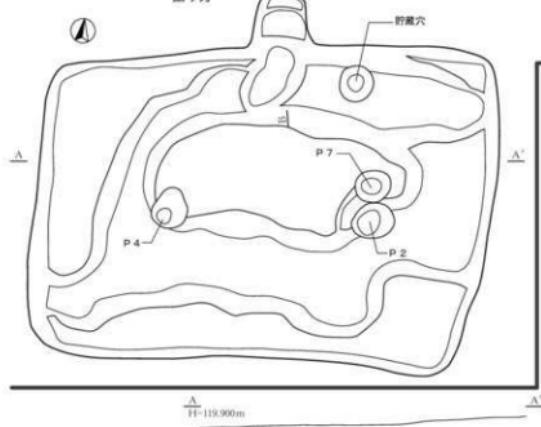
6. 暗褐色土 ロームブロッサ $\phi = 0.5\sim 1.0$ cm・黒土少量。A_s-C $\phi = 0.5$ cm微量含む。しまりよりやや強。粘性やや弱。

7. 暗褐色土 ロームブロッサ $\phi \sim 10.0$ cm多量。A_s-C $\phi = 0.5$ cm少量。灰化鈷灰微少量含む。しまり強。粘性やや弱。

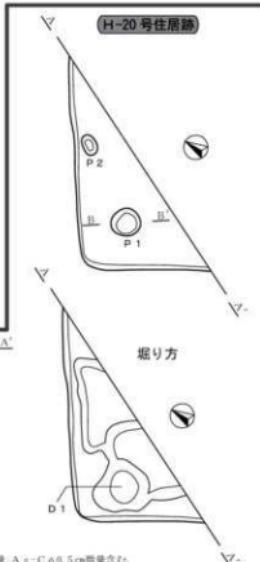
8. 暗褐色土 ロームブロッサ $\phi = 0.5\sim 1.0$ cm多量。A_s-C $\phi = 0.5$ cm少量含む。しまりよりやや強。粘性やや弱。

9. 暗褐色土 A_s-C $\phi = 0.5$ cm・ロームブロッサ $\phi = 0.5\sim 3.0$ cm中量。黒土少量含む。しまりよりやや強。粘性やや弱。

操作方法



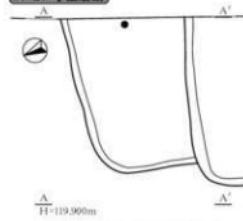
0 1:60 2 m



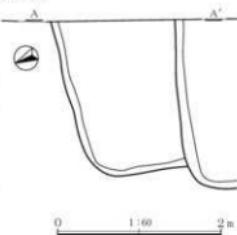
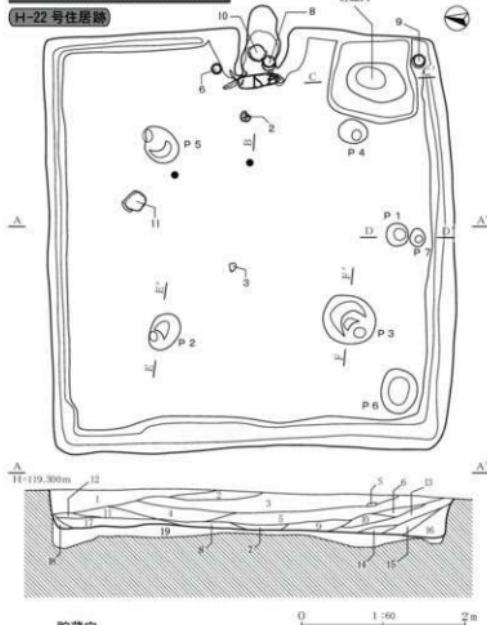
日-20 假性胆胰十二指肠炎

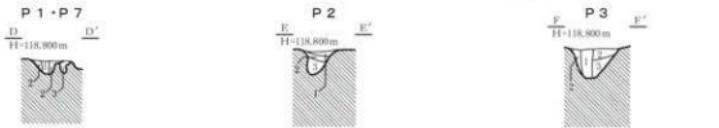
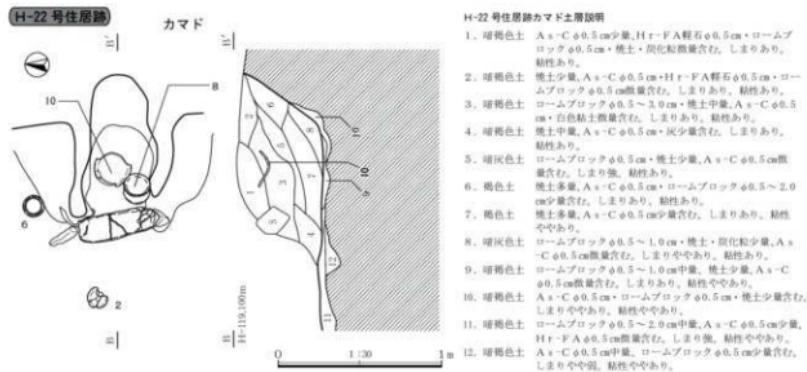
1. 带褐毛色 ロームブロッサムφ 5.0 ~ 5.5 cm 中茎。A - B - H φ 0.2 cm □ 形。A - C φ 0.5 cm 開花含む。
2. 带灰褐色色 ロームブロッサムφ 5.0 cm 中茎。A - C φ 0.5 cm 開花含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 带褐色色 A - B - H φ 0.2 cm 中茎。ロームブロッサムφ 5.0 cm 中茎。H + F A 花序φ 0.5 cm 開花含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 带褐色色 A - C φ 0.5 cm 中茎。ロームブロッサムφ 5.0 cm 中茎。H + F A 花序φ 0.5 cm 開花含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 带褐色色 A - C φ 0.5 cm 中茎。ロームブロッサムφ 5.0 ~ 5.5 cm 中茎。A - C φ 0.5 cm 開花含む。しまりあり。粘性ややあり。
6. 黑褐色色 A - C φ 0.5 cm 中茎。ロームブロッサムφ 5.0 ~ 5.5 cm 中茎。H + F A 花序φ 0.5 cm 開花含む。しまりあり。粘性ややあり。
7. 带褐色色 A - C φ 0.5 cm 中茎。ロームブロッサムφ 5.0 ~ 5.5 cm 中茎。H + F A 花序φ 0.5 cm 開花含む。しまりあり。粘性ややあり。
8. 带褐毛色 A - C φ 0.5 cm 中茎。ロームブロッサムφ 5.0 cm 中茎。H + F A 花序φ 0.5 cm 開花含む。しまりあり。粘性ややあり。
9. 带褐色色 A - C φ 0.5 cm 中茎。ロームブロッサムφ 5.0 ~ 5.5 cm 中茎。H + F A 花序φ 0.5 cm 開花含む。しまりあり。粘性ややあり。
10. 黑褐色色 A - C φ 0.5 cm 少頭。ロームブロッサムφ 5.0 cm 中茎。H + F A 花序φ 0.5 cm 開花含む。しまりあり。粘性ややあり。
11. 带褐色色 ロームブロッサムφ 5.0 ~ 5.5 cm 中茎。A - C φ 0.5 cm 少頭含む。しまりあり。粘性ややあり。
12. 带褐色色 A - C φ 0.5 cm 中茎。ロームブロッサムφ 5.0 ~ 5.5 cm 中茎。H + F A 花序φ 0.5 cm 開花含む。しまりあり。粘性ややあり。
13. 带褐色色 A - C φ 0.5 cm 中茎。ロームブロッサムφ 5.0 ~ 5.5 cm 中茎。H + F A 花序φ 0.5 cm 開花含む。しまりあり。粘性ややあり。
14. 带褐色色 ロームブロッサムφ 5.0 cm 多頭。A - C φ 0.5 cm 少頭含む。しまりあり。粘性ややあり。
15. 带褐色色 ロームブロッサムφ 5.0 ~ 5.5 cm 多頭。A - C φ 0.5 cm 少頭含む。S - T の花序。粘性ややあり。

Fig. 29 住居跡 (24)

(H-21号住居跡)**H-21号住居跡土層説明**

- 暗褐色土 A × C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5 ~ 2.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 黒褐色土 A × C φ 0.5 cm中量、H-r-F A 輻石 φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。
- 黒褐色土 A × C φ 0.5 cm中量、H-r-F A 輻石 φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。
- 黒褐色土 A × C φ 0.5 cm中量、ロームブロック φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 暗褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm中量、A × C φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 黒褐色土 A × C φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。
- 暗褐色土 A × C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5 ~ 2.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 暗褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 2.0 cm中量、A × C φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。

掘り方**(H-22号住居跡)**



H-22号住居跡P 1 - P 7 土層説明

- 暗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5$ cm・炭化粘土少量, $A - C \phi 0.5$ cm地盤含む。しまりやや弱。粘性ややあり。P 1 硅土。
- 暗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5$ cm少量, $A - C \phi 0.5$ cm地盤含む。しまりあり。粘性やや弱。P 1 硅土。
- 暗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5$ cm少量, $A - C \phi 0.5$ cm地盤含む。しまりやや弱。P 1 硅土。

H-22号住居跡 P 2 土層説明

- 暗褐色土 $A - C \phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5$ cm・地盤少量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
- にぶい黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm多量, $A - C \phi 0.5$ cm少量, 炭化粘土混含す。しまりやや弱。粘性ややあり。
- 暗褐色土 $A - C \phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm少量含む。しまりやや弱。粘性ややあり。

H-22号住居跡 P 3 土層説明

- 暗褐色土 硅化粘土中量, $A - C \phi 0.5$ cm少量, ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm少量含む。しまりやややや。粘性ややあり。
- 暗褐色土 $A - C \phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm少量含む。しまりややや。粘性ややあり。
- 暗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm中量, $A - C \phi 0.5$ cm地盤含む。しまりややや。粘性ややあり。

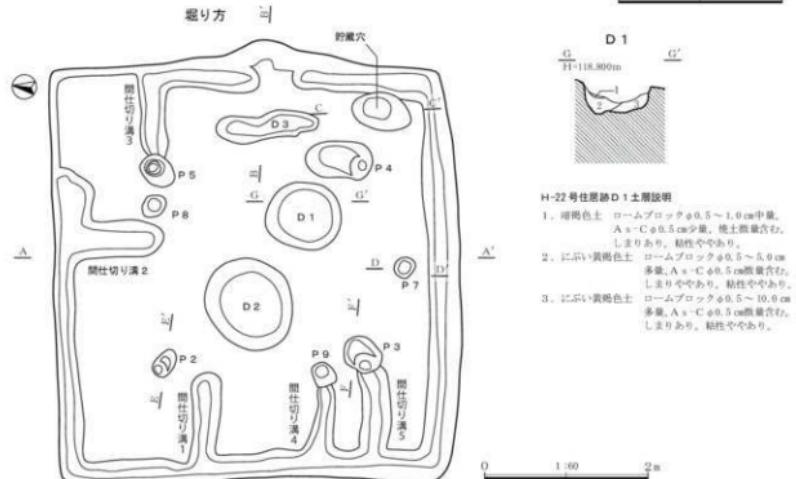
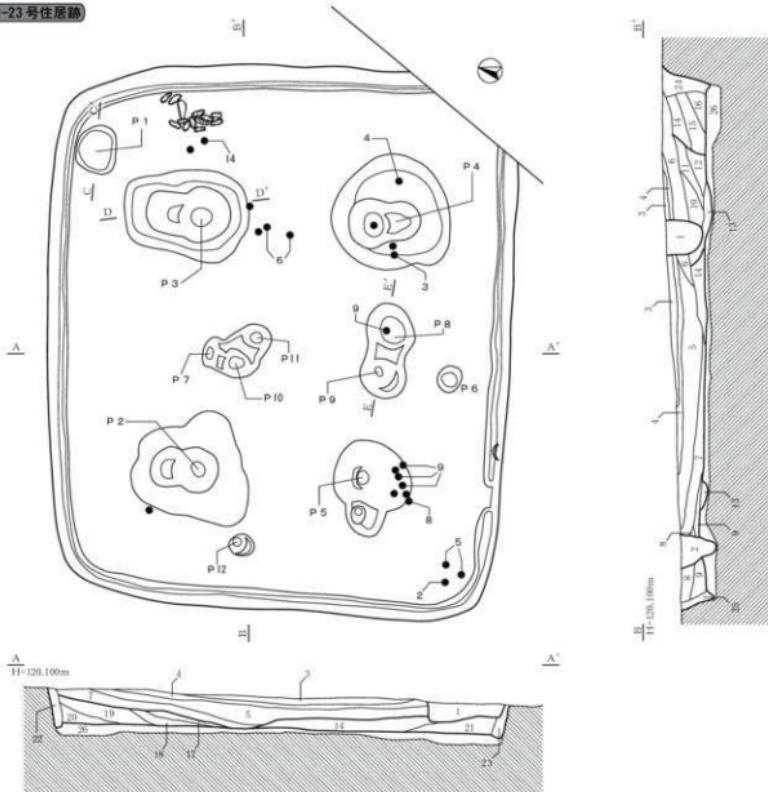


Fig. 31 住居跡 (26)

H-23号住跡



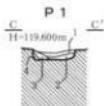
H-23号住跡土層図解

1. 砂灰褐色土 A + B φ 0.2cm多量、A + C φ 0.5cm・ロームブロックφ 0.5~2.0cm少量、H r - F A 磷石φ 0.5cm粗粒含む。しまり弱。粘性弱。
2. 砂灰褐色土 A + B φ 0.2cm多量、A + C φ 0.5cm少量、ロームブロックφ 0.5cm粗粒含む。しまり弱。粘性弱。
3. 砂褐色土 A + C φ 0.5cm少量、H r - F A 磷石φ 0.5cm・堆土・炭化粒粗粒含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 黄褐色土 H - P A - 次堆積層、しまりあり。粘性ややあり。部分的に上位からの砸き込みが認められる。しまりあり。粘性ややあり。
5. 黑褐色土 A + C φ 0.5cm中量、ロームブロックφ 0.5~2.0cm・炭化粒含む。しまりあり。粘性ややあり。
6. 黑褐色土 A + C φ 0.5cm中量、ロームブロックφ 0.5cm粗粒含む。しまりあり。粘性ややあり。
7. 黑褐色土 A + C φ 0.5cm中量、ロームブロックφ 0.5cm粗粒含む。しまりややあり。粘性ややあり。
8. 黑褐色土 A + C φ 0.5cm中量、ロームブロックφ 0.5cm粗粒含む。しまりややあり。粘性ややあり。
9. 黑褐色土 ロームブロックφ 0.5~3.0cm粗粒量、A + C φ 0.5cm粗粒含む。しまりややあり。粘性ややあり。
10. 砂褐色土 A + C φ 0.5cm中量、ロームブロックφ 0.5cm粗粒含む。しまりややあり。粘性ややあり。
11. 砂褐色土 A + C φ 0.5cm中量、ロームブロックφ 0.5cm粗粒含む。しまりややあり。粘性ややあり。
12. 砂褐色土 A + C φ 0.5cm中量、ロームブロックφ 0.5cm少含む。しまりややあり。粘性ややあり。
13. 砂褐色土 A + C φ 0.5cm中量、ロームブロックφ 0.5cm粗粒含む。しまりやややや。粘性やややや。
14. 砂褐色土 ローム粘多量、A + C φ 0.5cm中量、ロームブロックφ 0.5cm粗粒含む。しまりあり。粘性やややや。
15. 黑褐色土 A + C φ 0.5cm中量、ロームブロックφ 0.5cm中量含む。しまりやや。粘性やややや。
16. 黑褐色土 A + C φ 0.5cm中量、ロームブロックφ 0.5cm少量、炭化粒粗粒含む。しまりあり。粘性やややや。
17. 黑褐色土 A + C φ 0.5cm中量、ロームブロックφ 0.5cm少含む。しまりあり。粘性あり。
18. 砂褐色土 ロームブロックφ 0.5cm中量、A + C φ 0.5cm少含む。しまりあり。粘性あり。
19. 砂褐色土 A + C φ 0.5cm中量、ロームブロックφ 0.5cm少含む。しまりあり。粘性やややや。
20. 砂褐色土 A + C φ 0.5cm中量、ロームブロックφ 0.5~1.0cm中量含む。しまりあり。粘性やややや。
21. 砂褐色土 A + C φ 0.5cm中量、ロームブロックφ 0.5~1.0cm中量含む。しまりやや。粘性やややや。
22. 砂褐色土 A + C φ 0.5cm中量、ロームブロックφ 0.5~1.0cm中量含む。しまりやや。粘性やややや。
23. 砂褐色土 A + C φ 0.5cm中量、ロームブロックφ 0.5~1.0cm少含む。しまりやや。粘性やややや。
24. 砂褐色土 A + C φ 0.5cm中量、ロームブロックφ 0.5~1.0cm少含む。しまりやや。粘性やややや。
25. 黑褐色土 ロームブロックφ 0.5cm少量、A + C φ 0.5cm粗粒含む。しまりやや。粘性やややや。
26. にじい黄褐色土 ロームブロックφ 0.5~5.0cm多量、A + C φ 0.5cm粗粒含む。しまり強。粘性やややや。

Fig. 32 住跡 (27)

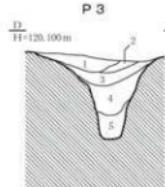
0 1/60 2m

H-23号住居跡



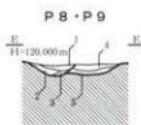
H-23号住居跡P 1土層説明

1. 墓褐色土 A s-C φ 0.5cm・ロームブロック φ 0.5cm少量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
2. 墓褐色土 ロームブロック φ 0.5cm中量。A s-C φ 0.5cm微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
3. 墓褐色土 A s-C φ 0.5cm・ロームブロック φ 0.5cm少量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
4. 黒褐色土 A s-C φ 0.5cm・ロームブロック φ 0.5cm少量含む。しまりややあり。粘性ややあり。



H-23号住居跡P 3土層説明

1. 黒褐色土 A s-C φ 0.5cm中量。ロームブロック φ 0.5cm少量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
2. 墓褐色土 A s-C φ 0.5cm・ロームブロック φ 0.5cm少量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
3. にじみ黄褐色土 A s-C φ 0.5cm・ロームブロック φ 0.5cm少量含む。粘性ややあり。
4. にじみ黄褐色土 ロームブロック φ 0.5~1.0cm少量。A s-C φ 0.5cm・炭化物微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
5. 墓褐色土 ロームブロック φ 0.5~3.0cm少量。A s-C φ 0.5cm微量含む。しまりやや弱。粘性ややあり。

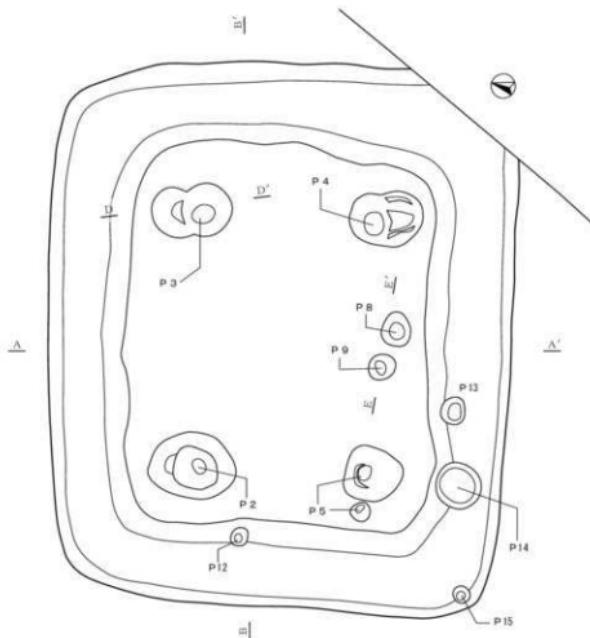


H-23号住居跡P 3土層説明

1. 黑褐色土 A s-C φ 0.5cm中量。ロームブロック φ 0.5cm少量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
2. 墓褐色土 A s-C φ 0.5cm・ロームブロック φ 0.5cm少量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
3. にじみ黄褐色土 A s-C φ 0.5cm・ロームブロック φ 0.5cm少量含む。粘性ややあり。
4. にじみ黄褐色土 ロームブロック φ 0.5~1.0cm少量。A s-C φ 0.5cm・炭化物微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
5. 墓褐色土 ロームブロック φ 0.5~3.0cm少量。A s-C φ 0.5cm微量含む。しまりやや弱。粘性ややあり。

0 1:60 2m

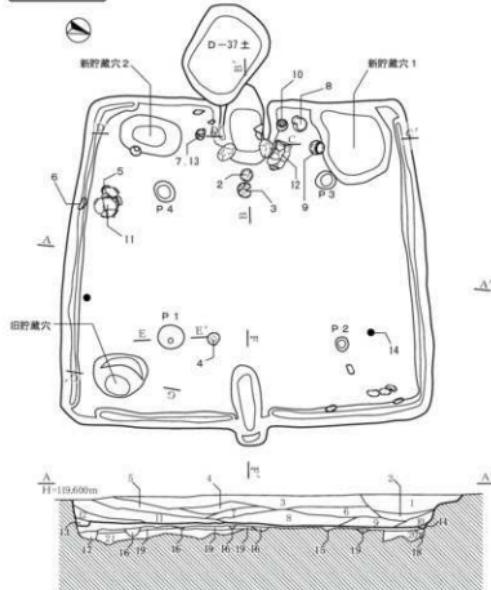
振り方



0 1:60 2m

Fig. 33 住居跡 (28)

H-24号住居跡



H-24号住居跡土器設置

1. 黒褐色土 $A - c < 0.5\text{ cm中層}, Hr - F - A < 0.5\text{ cm}, A - S - B < 0.2\text{ cm少量}$. ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0\text{ cm}$ 錠化合せ. しまりあり。粘性ややあり。

2. 固色土 $A - S < 0.2\text{ cm中層}, A - S - C < 0.5\text{ cm}, Hr - F - A < 0.5\text{ cm少量含む}$. しまり強。粘性やや弱。

3. 増褐色土 $A - c < 0.5\text{ cm中層}, Hr - F - A < 0.5\text{ cm} \sim$ ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0\text{ cm少量}$. 増化粘土錠化含む。

4. 黑褐色土 $A - c < 0.5\text{ cm} \sim$ ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0\text{ cm中層}, Hr - F - A < 0.5\text{ cm少量含む}$. しまりあり。粘性ややあり。

5. 増褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0\text{ cm中層}, A - c < 0.5\text{ cm少量}, Hr - F - A < 0.5\text{ cm少量含む}$. しまりあり。粘性ややあり。

6. 黑褐色土 $A - c < 0.5\text{ cm中層}, \text{ロームブロック } \phi 0.5\text{ cm少量}, Hr - F - A < 0.5\text{ cm少量含む}$. しまりあり。粘性ややあり。

7. 增褐色土 $A - c < 0.5\text{ cm} \sim$ ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0\text{ cm中層}, Hr - F - A < 0.5\text{ cm} \sim$ 粘土少量含む。

8. 增褐色土 $A - c < 0.5\text{ cm} \sim$ ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0\text{ cm中層}, Hr - F - A < 0.5\text{ cm} \sim$ 粘土. 増化粘土錠化含む。

9. 增褐色土 $A - c < 0.5\text{ cm} \sim$ ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0\text{ cm少量}, Hr - F - A < 0.5\text{ cm少量含む}$. しまりあり。粘性ややあり。

10. 增褐色土 $A - c < 0.5\text{ cm中層}, \text{ロームブロック } \phi 0.5 \sim 1.0\text{ cm少量}, Hr - F - A < 0.5\text{ cm少量含む}$. しまりあり。粘性ややあり。

11. 黑褐色土 $A - c < 0.5\text{ cm中層}, Hr - F - A < 0.5\text{ cm} \sim$ ロームブロック $\phi 0.5\text{ cm少量含む}$. しまりあり。粘性ややあり。

12. 增褐色土 $A - c < 0.5\text{ cm} \sim$ ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0\text{ cm少量}, Hr - F - A < 0.5\text{ cm少量含む}$. しまりあり。粘性ややあり。

13. 增褐色土 $A - c < 0.5\text{ cm} \sim$ ロームブロック $\phi 0.5\text{ cm少量含む}$. しまりやや弱。粘性ややあり。

14. 增褐色土 $A - c < 0.5\text{ cm} \sim$ ロームブロック $\phi 0.5\text{ cm少量含む}$. しまりやや弱。粘性ややあり。

15. 增褐色土 $A - c < 0.5\text{ cm} \sim$ ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0\text{ cm中層}, Hr - F - A < 0.5\text{ cm少量含む}$. しまり強。粘性ややあり。

16. 增褐色土 $A - c < 0.5\text{ cm少量}, \text{ロームブロック } \phi 0.5\text{ cm少量含む}$. しまり強。粘性ややあり。

17. 增褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0\text{ cm中層}, A - c < 0.5\text{ cm少量含む}$. しまりややや。粘性ややあり。

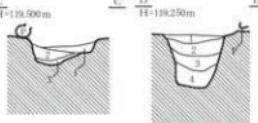
18. 增褐色土 1号・2号褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0\text{ cm中層}, A - c < 0.5\text{ cm少量含む}$. しまりややや。粘性ややあり。

19. にふる黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0\text{ cm多量}, A - c < 0.5\text{ cm少量含む}$. しまり強。粘性ややあり。古くは泥炭。

20. 増褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0\text{ cm中層}, A - c < 0.5\text{ cm少量含む}$. しまりあり。粘性ややあり。

21. 増褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0\text{ cm中層}, A - c < 0.5\text{ cm少量含む}$. しまりやや。粘性ややあり。

新貯藏穴 1 C' R 新貯藏穴 2 D'

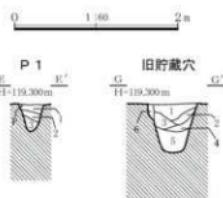


H-24 假性原路軸腔瘤空 1 全腦標記

1. 増毛褐色土 ロームブロック約0.5～1.0cm中程度。
A + C = 0.5～0.6%。堆肥量微含む。
しまりややゆる、粘性ややあり。
 2. 増毛褐色土 ロームブロック約0.5～1.0cm中程度。
A + C = 0.5～0.6%微含む。しまりややゆる、粘性ややあり。
 3. 増毛褐色土 ロームブロック約0.5～1.0cm中程度。
A + C = 0.5～0.6%微含む。
しまりややゆる、粘性ややあり。

H-24 野尻原野町敷戸2土層説明

 1. 黒褐色土 A + C = 0.5～0.6%。ロームブロック約0.5cm。
堆肥化や炭合せなし。
しまり弱、粘性ややあり。
 2. 黑褐色土 A + C = 0.5～0.6%。ロームブロック約0.5cm。
堆肥化や炭合せなし。
しまり弱、粘性ややあり。
 3. 増毛褐色土 A + C = 0.5～0.6%。ロームブロック約0.5cm。
堆肥化や炭合せなし。
しまり弱、粘性ややあり。
 4. 増毛褐色土 ロームブロック約0.5～1.0cm中程度。
A + C = 0.5～0.6%。堆肥化や炭合せなし。
しまり弱、粘性ややあり。



H-24 倍佳麗牌P-1土壤指明

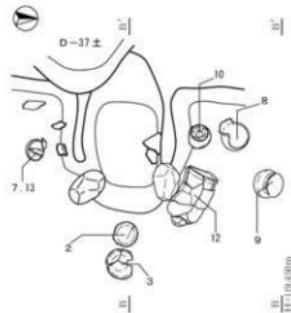
- 堆褐色土 $A = C \phi 0.5\text{cm} \cdot \text{ロームブロック} \phi 0.5\text{cm} \cdot \text{炭化鉄少量含む。} \cdot \text{主} \cdot \text{に} \cdot \text{粘性} \cdot \text{や} \cdot \text{強} \cdot \text{。}$
 - 堆褐色土 $\text{ロームブロック} \phi 0.5 \sim 1.0\text{cm} \cdot \text{中量} \cdot A = C \phi 0.2 \sim 0.5\text{cm} \phi 0.5\text{cm} \cdot \text{炭化鉄微量含む。} \cdot \text{しま} \cdot \text{り} \cdot \text{や} \cdot \text{少} \cdot \text{量} \cdot \text{、} \cdot \text{質} \cdot \text{に} \cdot \text{強} \cdot \text{。}$
 - 堆褐色土 $\text{ロームブロック} \phi 0.5 \sim 1.0\text{cm} \cdot \text{少} \cdot \text{量} \cdot A = C \phi 0.5\text{cm} \cdot \text{炭化鉄含む。} \cdot \text{しま} \cdot \text{り} \cdot \text{の} \cdot \text{弱} \cdot \text{、} \cdot \text{細} \cdot \text{。}$

H-24 動作履歴記録表

1. 嫩褐色土 ロームブリック $0.5 \sim 3.0$ cm 中量。A + C = 0.5 cm 中量。塵土量微少。しまりあり。粘性や砂り。
 2. 嫩褐色土 A + C = 0.5 cm ロームブリック $0.5 \sim 3$ cm 鹿毛少々含む。しまりや砂り。粘性や砂り。
 3. 嫩褐色土 ロームブリック $0.5 \sim 3.0$ cm 中量。A + C = 0.5 cm 灰土少量微少。しまりや砂り。粘性や砂り。
 4. 黑褐色土 A + C = 0.5 cm ロームブリック $0.5 \sim 3$ cm 鹿毛少々含む。しまりや砂り。粘性や砂り。
 5. 嫩褐色土 A + C = 0.5 cm ロームブリック $0.5 \sim 3$ cm 少々含む。しまりや砂り。粘性や砂り。
 6. にじみ 黄褐色土 ロームブリック $0.5 \sim 3.0$ cm 中量。A + C = 0.5 cm 中量。

H-24号住居跡

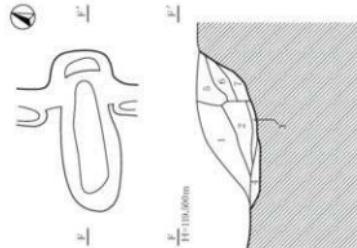
新カマド



H-24号住居跡新カマド土層説明

1. 塗鶲色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm中量、A s-C $\phi 0.5$ cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 塗鶲色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 5.0$ cm・焼土中量、A s-C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 深灰色土 多量、焼土中量、A s-C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性弱。
4. 塗鶲色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm・焼土中量、A s-C $\phi 0.5$ cm・同化粘少量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
5. 塗鶲色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm少量、A s-C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
6. 塗鶲色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm中量、Hr-F A $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりやや強。粘性ややあり。
7. 塗鶲色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm・焼土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
8. 塗鶲色土 白色粘土中量、A s-C $\phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm・焼土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
9. 塗鶲色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm・焼土・白色粘土中量、A s-C $\phi 0.5$ cm少量、灰微量含む。しまり少。粘性ややあり。
10. 塗鶲色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm多量、A s-C $\phi 0.5$ cm・Hr-F A $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりやや。粘性ややあり。

旧カマド



H-24号住居跡旧カマド土層説明

1. 塗鶲色土 A s-C $\phi 0.5$ cm中量、ロームブロック $\phi 0.5 \sim 5.0$ cm少量、Hr-F A $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性ややあり。
2. 塗鶲色土 A s-C $\phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5$ cm・焼土少量含む。しまり少。粘性やや中強。
3. 塗鶲色土 白色粘土中量、A s-C $\phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5$ cm・焼土少量含む。しまりやや。粘性弱。
4. 塗鶲色土 ロームブロック $\phi 0.5$ cm中量、A s-C $\phi 0.5$ cm少量、同化粘微量含む。しまり少。粘性ややあり。
5. 塗鶲色土 焼土多量、A s-C $\phi 0.5$ cm・白色粘土少量含む。しまりやや。粘性ややあり。
6. 塗鶲色土 烧土中量、A s-C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりやや。粘性ややあり。
7. 塗鶲色土 烧土中量、A s-C $\phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm微量含む。しまり少。粘性ややあり。

0 1:30 1m

掘り方

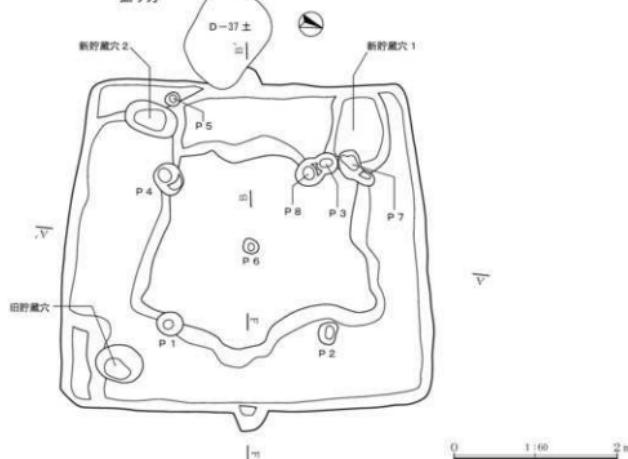
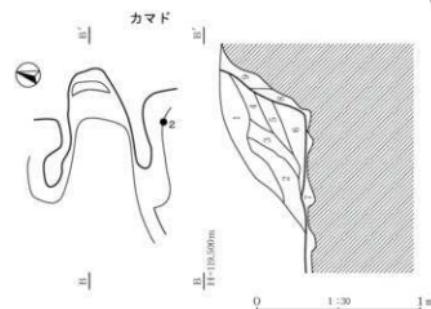
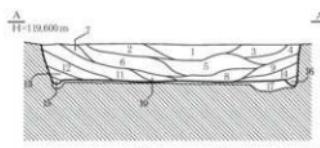
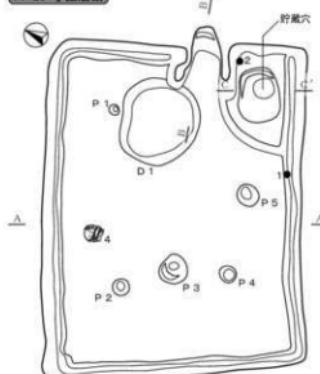


Fig. 35 住居跡 (30)

H-25号住居跡



H-25号住居跡カマド土層説明

1. 増褐色土 ロームブロック $\phi 0.5$ cm中量、A \sim C $\phi 0.5$ cm・焼土。白色粘土少量含む。しまりややあり。粘性やや弱り。
2. 増褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 5.0$ cm中量、A \sim C $\phi 0.5$ cm・白色粘土少量。焼土微量含む。しまりややあり。粘性やや弱り。
3. にぶい黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 10.0$ cm多量、焼土、白色粘土微量含む。しまりややあり。粘性やや弱り。
4. 増褐色土 A \sim C $\phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm・白色粘土少量。焼土微量含む。しまりややあり。粘性やや弱り。
5. 増褐色土 A \sim C $\phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm・焼土、白色粘土少量含む。しまりややあり。粘性やや弱り。
6. 増褐色土 A \sim C $\phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 5.0$ cm中量、焼土、炭化灰少量含む。しまりややあり。粘性やや弱り。
7. 增褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm中量、A \sim C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりや。粘性やや弱り。
8. にぶい黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm中量、A \sim C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりや。粘性やや弱り。
9. 細土 烧土中量、ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm少量、A \sim C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりや。粘性やや弱り。

H-25号住居跡土層説明

1. 増褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm中量、A \sim C $\phi 0.5$ cm少量含む。しまりややあり。粘性やや弱り。
2. 黒褐色土 A \sim C $\phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm中量、H \sim F-A $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりややあり。粘性やや弱り。
3. 増褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm中量、A \sim C $\phi 0.5$ cm少量。炭化灰微量含む。しまりやややあり。粘性やや弱り。
4. 増褐色土 A \sim C $\phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5$ cm少量含む。しまりやややあり。粘性やや弱り。
5. 黑褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm多量、A \sim C $\phi 0.5$ cm少量含む。しまりやややあり。粘性やや弱り。
6. 黑褐色土 A \sim C $\phi 0.5$ cm中量、ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm少量、H \sim F-A $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりやややあり。粘性やや弱り。
7. 増褐色土 A \sim C $\phi 0.5$ cm中量、ロームブロック $\phi 0.5$ cm少量含む。しまりやややあり。粘性やや弱り。
8. 増褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm多量、A \sim C $\phi 0.5$ cm少量。炭化灰微量含む。しまりやややあり。粘性やや弱り。
9. 増褐色土 A \sim C $\phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5$ cm少量含む。しまりやややあり。粘性やや弱り。
10. 黑褐色土 A \sim C $\phi 0.5$ cm中量、ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm少量、H \sim F-A $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりやややあり。粘性やや弱り。
11. 増褐色土 A \sim C $\phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm中量、H \sim F-A $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりやややあり。粘性やや弱り。
12. 黑褐色土 A \sim C $\phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm中量含む。しまりやややあり。粘性やや弱り。
13. 黑褐色土 A \sim C $\phi 0.5$ cm中量、ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm多量、H \sim F-A $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりやややあり。粘性やや弱り。
14. 黑褐色土 A \sim C $\phi 0.5$ cm中量、ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm少量含む。しまりやややあり。粘性やや弱り。
15. 増褐色土 ロームブロック $\phi 0.5$ cm中量、A \sim C $\phi 0.5$ cm少量含む。しまりややや弱り。粘性やや弱り。
16. 増褐色土 ロームブロック $\phi 0.5$ cm中量、A \sim C $\phi 0.5$ cm少量含む。しまりやや弱り。粘性やや弱り。
17. 増褐色土 A \sim C $\phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm少量含む。しまりや。粘性やや弱り。

H-25号住居跡貯藏穴土層説明

1. 増褐色土 A \sim C $\phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm中量含む。しまりやや弱り。粘性やや弱り。
2. 増褐色土 A \sim C $\phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm少量含む。しまりやや弱り。粘性やや弱り。
3. 増褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 5.0$ cm中量。A \sim C $\phi 0.5$ cm少量含む。しまりやや弱り。粘性やや弱り。
4. 増褐色土 A \sim C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりやや弱り。ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm少量。A \sim C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりやや弱り。粘性やや弱り。

掘り方

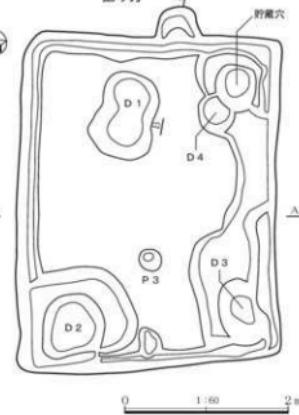
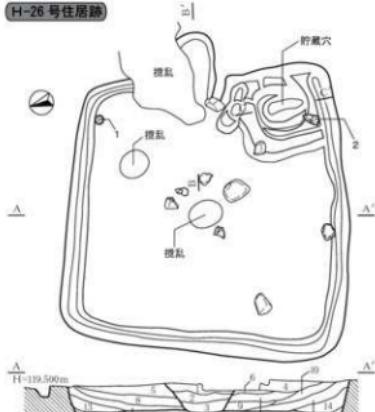
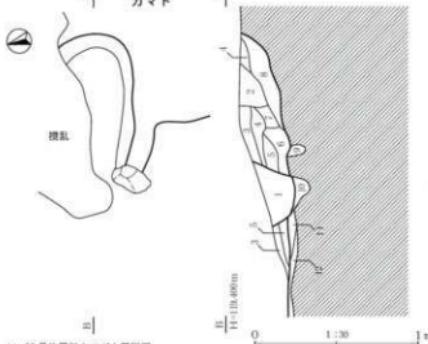


Fig. 36 住居跡 (31)

H-26 号住居跡



カマド



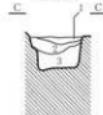
H-26号住居跡カマド土層説明

1. 黒褐色土 A-s-B φ 0.2 cm中量, A-s-C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5 cm少量, 植土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. にぶい 黃褐色土 ロームブロック φ 0.5～1.0 cm多量, 白色粘土少量, A-s-C φ 0.5 cm・Hr-F-A φ 0.5 cm・植土微量含む。しまり強。粘性ややあり。
3. 黑褐色土 A-s-C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5～1.0 cm少量, 植土微量含む。しまり強。粘性ややあり。
4. 噴褐色土 ロームブロック φ 0.5 cm中量, A-s-C φ 0.5 cm少量, 植土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 黑褐色土 A-s-C φ 0.5 cm・A-s-B φ 0.2 cm・ロームブロック φ 0.5～3.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
6. 黑褐色土 A-s-C φ 0.5 cm・A-s-B φ 0.2 cm・ロームブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
7. 黑褐色土 A-s-C φ 0.5 cm中量, ロームブロック φ 0.5～1.0 cm少量, Hr-F-A φ 0.5 cm・植土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
8. 黑褐色土 A-s-C φ 0.5 cm中量, ロームブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
9. 黑褐色土 A-s-C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5 cm中量, 植土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
10. 噴褐色土 A-s-C φ 0.5 cm中量, ロームブロック φ 0.5～1.0 cm少量, Hr-F-A φ 0.5 cm・植土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
11. 黑褐色土 A-s-C φ 0.5 cm中量, ロームブロック φ 0.5 cm少量, 植土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
12. 黑褐色土 A-s-C φ 0.5 cm中量, ロームブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
13. 噴褐色土 ロームブロック φ 0.5～1.0 cm中量, A-s-C φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
14. 黑褐色土 A-s-C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5～1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
15. 黑褐色土 ロームブロック φ 0.5 cm中量, A-s-C φ 0.5 cm少量含む。しまりやや弱。粘性ややあり。
16. 黑褐色土 ロームブロック φ 0.5 cm中量, A-s-C φ 0.5 cm少量含む。しまりやや弱。粘性ややあり。
17. にぶい 黄褐色土 ロームブロック φ 0.5～1.0 cm多量, A-s-C φ 0.5 cm少量, Hr-F-A φ 0.5 cm少量含む。しまり強。粘性ややあり。

H-26号住居跡貯蔵穴

1. 噴褐色土 A-s-C φ 0.2 cm中量, ロームブロック φ 0.5～1.0 cm少量含む, A-s-C φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 黑褐色土 A-s-C φ 0.5 cm・A-s-B φ 0.2 cm・ロームブロック φ 0.5～3.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 黑褐色土 A-s-C φ 0.5 cm・A-s-B φ 0.2 cm・ロームブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 噴褐色土 A-s-C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5～1.0 cm中量, Hr-F-A φ 0.5 cm・植土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 噴褐色土 A-s-C φ 0.5 cm中量, ロームブロック φ 0.5～1.0 cm少量, Hr-F-A φ 0.5 cm・植土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
6. 噴褐色土 A-s-C φ 0.5 cm中量, ロームブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
7. 噴褐色土 A-s-C φ 0.5 cm中量, ロームブロック φ 0.5～1.0 cm少量, Hr-F-A φ 0.5 cm・植土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
8. 黑褐色土 A-s-C φ 0.5 cm中量, ロームブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
9. 黑褐色土 A-s-C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5 cm中量, 植土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
10. 噴褐色土 A-s-C φ 0.5 cm中量, ロームブロック φ 0.5～1.0 cm少量, Hr-F-A φ 0.5 cm・植土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
11. 黑褐色土 A-s-C φ 0.5 cm中量, ロームブロック φ 0.5 cm少量, 植土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
12. 黑褐色土 A-s-C φ 0.5 cm中量, ロームブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
13. 噴褐色土 ロームブロック φ 0.5～1.0 cm中量, A-s-C φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
14. 黑褐色土 A-s-C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5～1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
15. 黑褐色土 ロームブロック φ 0.5 cm中量, A-s-C φ 0.5 cm少量含む。しまりやや弱。粘性ややあり。
16. 黑褐色土 ロームブロック φ 0.5 cm中量, A-s-C φ 0.5 cm少量含む。しまりやや弱。粘性ややあり。
17. にぶい 黄褐色土 ロームブロック φ 0.5～1.0 cm多量, A-s-C φ 0.5 cm少量, Hr-F-A φ 0.5 cm少量含む。しまり強。粘性ややあり。

貯蔵穴

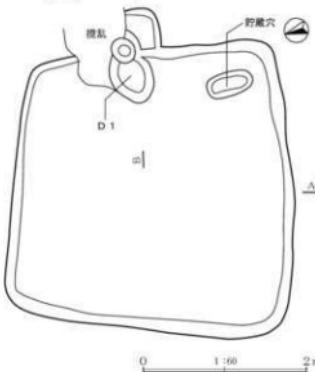


0 1:60 2m

H-26号住居跡貯蔵穴土層説明

1. 黑褐色土 A-s-C φ 0.5 cm中量, ロームブロック φ 0.5～1.0 cm少量含む, しまりやや弱。粘性ややあり。
2. にぶい 黄褐色土 ロームブロック φ 0.5～3.0 cm多量, A-s-C φ 0.5 cm少量含む。しまりやや弱。粘性ややあり。
3. 噴褐色土 A-s-C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5～1.0 cm少量, 植土微量含む。しまりやや弱。粘性ややあり。

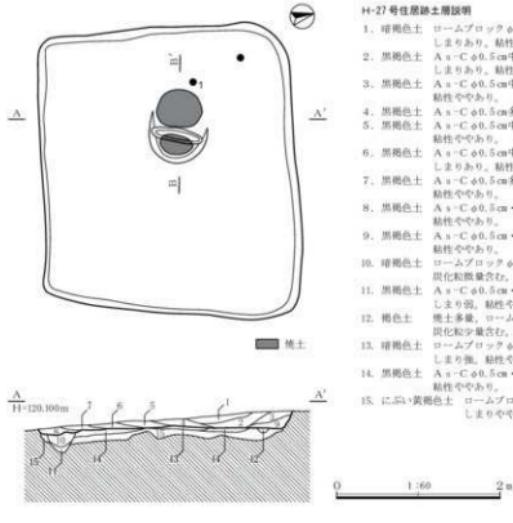
振り方



0 1:60 2m

Fig. 37 住居跡 (32)

(H-27号住居跡)



炉跡

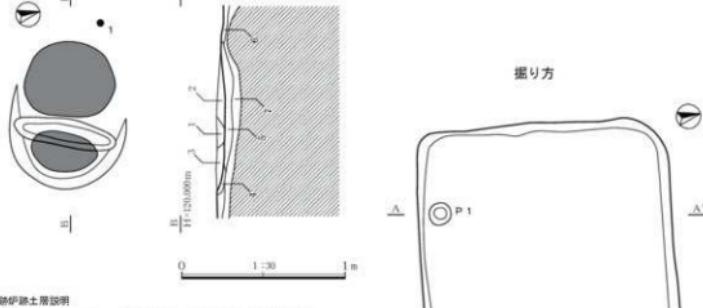
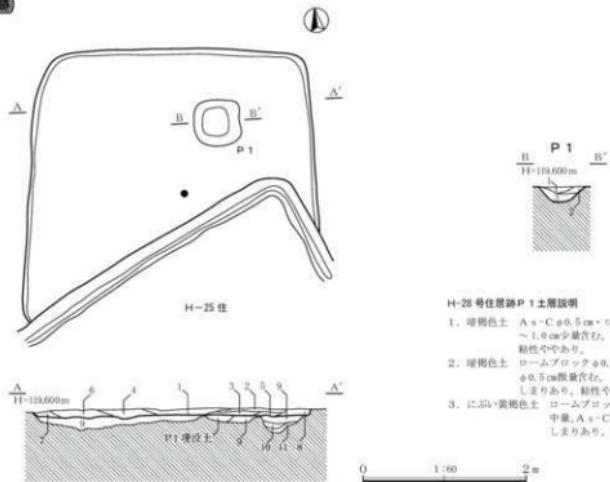


Fig. 38 住居跡 (33)

[H-28号住居跡]



H-28号住居跡 P1 土層説明

1. 塗褐色土 $A = C \phi 0.5\text{cm} \sim ロームブロック \phi 0.5\text{cm} \sim 2.0\text{cm}$ 中含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5\text{cm} \sim 1.0\text{cm}$ 中量。 $A = C \phi 0.5\text{cm}$ 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5\text{cm} \sim 1.0\text{cm}$ 多量。 $A = C \phi 0.5\text{cm}$ 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5\text{cm} \sim 1.0\text{cm}$ 中量。 $A = C \phi 0.5\text{cm}$ 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 黒褐色土 $A = C \phi 0.5\text{cm}$ 中量。ロームブロック $\phi 0.5\text{cm} \sim 1.0\text{cm}$ 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
6. 黒褐色土 ロームブロック $\phi 0.5\text{cm} \sim 1.0\text{cm}$ 中量。 $A = C \phi 0.5\text{cm}$ 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
7. 塗褐色土 $A = C \phi 0.5\text{cm} \sim ロームブロック \phi 0.5\text{cm} \sim 1.0\text{cm}$ 中量。 $A = C \phi 0.5\text{cm}$ 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
8. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5\text{cm} \sim 1.0\text{cm}$ 中量。 $A = C \phi 0.5\text{cm}$ 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
9. にぶい黃褐色土 ロームブロック $\phi 0.5\text{cm} \sim 1.0\text{cm}$ 多量。 $A = C \phi 0.5\text{cm}$ 少量含む。しまり強。粘性ややあり。
10. 塗褐色土 $A = C \phi 0.5\text{cm} \sim ロームブロック \phi 0.5\text{cm} \sim 2.0\text{cm}$ 中含む。しまりややあり。粘性ややあり。
11. にぶい黃褐色土 ロームブロック $\phi 0.5\text{cm} \sim 2.0\text{cm}$ 多量。 $A = C \phi 0.5\text{cm}$ 微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

掘り方

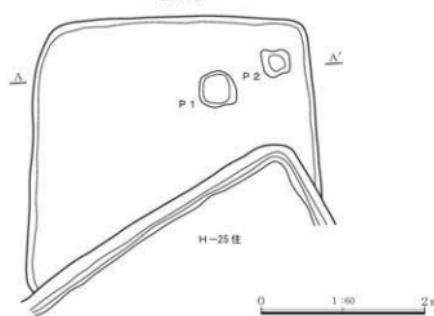
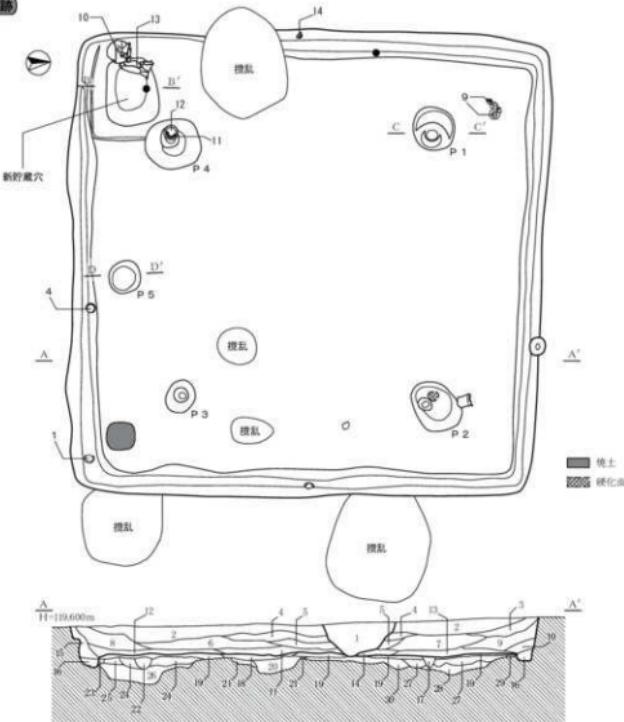


Fig. 39 住居跡 (34)

H-29号住居跡



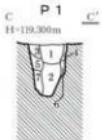
H-29号住居跡説明

1. 黄褐色土 A s-C φ 0.5 cm多量, H-T-A輕石φ 0.3 ~ 1.0 cm・コームブロックφ 1.0 ~ 2.0 cm中量。純土少量, A s-C φ 0.2 cm微量含む。しまりややあり。粘性弱。
2. 増粘土 A s-C φ 0.5 cm多量, H-T-A輕石φ 0.5 ~ 0.8 cm中量。ロームブロックφ 0.3 ~ 0.5 cm・純土少量含む。しまりあり。粘性弱。
3. 黒褐色土 壊化物多量, A s-C φ 0.5 cm。ロームブロックφ 0.3 ~ 0.5 cm中量。純土微量含む。しまりややあり。粘性やや弱。
4. 黑褐色土 A s-C φ 0.5 cm中量。U-アーブロックφ 0.3 ~ 0.8 cm中量, H-T-F-A φ 0.1 ~ 0.5 cm・純土微量含む。しまり弱。粘性弱。
5. 黑褐色土 A s-C φ 0.5 cm中量。U-アーブロックφ 0.3 ~ 0.8 cm中量, H-T-F-A φ 0.1 ~ 0.5 cm・純土微量含む。しまり弱。粘性弱。
6. 黑褐色土 A s-C φ 0.5 cm中量。ロームブロックφ 0.3 ~ 0.8 cm中量, H-T-F-A φ 0.1 ~ 0.5 cm・純土微量含む。しまりややあり。粘性弱。
7. 黑褐色土 A s-C φ 0.5 cm中量。ロームブロックφ 0.3 ~ 0.8 cm中量, H-T-F-A φ 0.1 ~ 0.5 cm・純土微量含む。しまりややあり。粘性弱。
8. 黑褐色土 壊化物多量, U-アーブロックφ 0.3 ~ 0.8 cm中量, H-T-F-A φ 0.1 ~ 0.5 cm・純土微量含む。しまりややあり。粘性弱。土質基層の二次堆積土。
9. 黑褐色土 ロームブロックφ 0.3 ~ 0.5 cm・壊化物多量, A s-C φ 0.5 cm微量含む。しまりややあり。粘性なし。土質基層の二次堆積土。
10. 黑褐色土 ロームブロックφ 0.3 ~ 0.5 cm・壊化物多量, A s-C φ 0.5 cm微量含む。しまりややあり。粘性弱。土質基層の二次堆積土。
11. 黑褐色土 A s-C φ 0.5 cm, ロームブロックφ 0.3 cm・純土微量含む。しまりややあり。粘性弱。土質基層の崩落土。
12. 黑褐色土 ロームブロックφ 0.2 ~ 0.5 cm中量, A s-C φ 0.5 cm微量含む。純土・壊化物少量含む。しまりややあり。粘性弱。土質基層の崩落土。
13. 黄褐色土 ロームブロックφ 0.0 ~ 0.5 cm多量, H-T-A輕石φ 0.1 ~ 0.5 cm微量含む。しまりややあり。粘性弱。
14. 増粘土 ロームブロックφ 0.3 ~ 0.5 cm中量, 壊化物少量, A s-C φ 0.5 cm微量含む。しまりややあり。粘性弱。土質基層の崩落土。
15. 黄褐色土 壊化物多量, ロームブロックφ 0.3 ~ 0.5 cm少量, A s-C φ 0.5 cm微量含む。しまりややあり。粘性弱。崩落土。
16. 増粘土 ロームブロックφ 0.5 cm・壊化物中量, A s-C φ 0.5 cm微量含む。しまりややあり。粘性弱。崩落土。
17. 増粘土 ロームブロックφ 0.3 ~ 0.5 cm中量, H-T-A輕石φ 0.1 ~ 0.5 cm・純土微量含む。A s-C φ 0.5 cm微量含む。しまりややあり。粘性弱。
18. 増粘土 ロームブロックφ 0.3 ~ 0.5 cm中量, 壊化物多量, A s-C φ 0.5 cm微量含む。しまりややあり。粘性弱。
19. 黄褐色土 ロームブロックφ 0.3 ~ 0.5 cm中量, 壊化物多量, A s-C φ 0.5 cm微量含む。しまりややあり。粘性弱。
20. 黄褐色土 ロームブロックφ 0.3 ~ 0.5 cm中量, 壊化物多量, A s-C φ 0.5 cm微量含む。しまりややあり。粘性弱。
21. 黄褐色土 ロームブロックφ 0.1 ~ 0.3 cm中量, A s-C φ 0.5 cm微量含む。しまりややあり。粘性弱。
22. 増粘土 ロームブロックφ 0.5 ~ 1.0 cm中量, A s-C φ 0.5 cm微量含む。しまりややあり。粘性弱。
23. 増粘土 ロームブロックφ 0.5 ~ 1.0 cm中量, A s-C φ 0.5 cm微量含む。H-T-A輕石φ 0.5 cm微量含む。しまり強。粘性弱。旧河床堆土の可能性。
24. 増粘土 ロームブロックφ 0.1 ~ 0.5 cm中量, A s-C φ 0.5 cm微量含む。H-T-A輕石φ 0.3 ~ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性弱やや弱。旧粘土。
25. 黄褐色土 ロームブロックφ 0.5 ~ 10.0 cm多量, A s-C φ 0.5 cm微量含む。しまりややあり。粘性弱。
26. 黄褐色土 ロームブロックφ 0.3 ~ 10.0 cm多量, A s-C φ 0.5 cm微量含む。しまりややあり。粘性弱ややあり。旧粘土。
27. 増粘土 ロームブロックφ 0.3 ~ 10.0 cm多量, A s-C φ 0.5 cm微量含む。H-T-F-A輕石φ 0.1 ~ 0.5 cm微量含む。しまりややあり。粘性弱。
28. 増粘土 ロームブロックφ 0.5 ~ 10.0 cm多量, A s-C φ 0.5 cm微量含む。しまりややあり。粘性弱。
29. 黄褐色土 ロームブロックφ 0.3 ~ 10.0 cm多量, A s-C φ 0.5 cm微量含む。しまりややあり。粘性弱ややあり。旧粘土。
30. 黄褐色土 ロームブロックφ 0.3 ~ 20.0 cm多量, A s-C φ 0.5 cm微量含む。しまり強。粘性弱ややあり。旧粘土。

Fig. 40 住居跡 (35)

H-29号住居跡

新貯蔵穴		H-29号住居跡挖土層説明	
B	H=19.300m	1. 増褐色土	白色粘土中量、A s - C φ 0.5cm・堆土・炭化物少量、ロームブロック φ 0.5cm微量含む。 しまり弱、粘性弱。
2'		2. 増褐色土	白色粘土多量、A s - C φ 0.5cm・堆土・炭化物少、ロームブロック φ 0.1cm～3.0cm中量。 しまり弱、粘性弱。
3.		3. 黄褐色土	白色粘土多量、A s - C φ 0.5cm・堆土・粘性弱、ロームブロック φ 0.1cm～3.0cm中量。 しまり弱、粘性弱。
4.		4. 増褐色土	白色粘土中量、A s - C φ 0.5cm・炭化物少量、ロームブロック φ 0.5cm・堆土微量含む。 しまり弱、粘性弱。
5.		5. 黑褐色土	A s - C φ 0.5cm微量、H=19.300m右 φ 0.5cm・ ロームブロック φ 0.5～1.0cm・白色粘土微量 含む、しまり弱、粘性弱。
6.		6. 黄褐色土	ロームブロック φ 0.5～3.0cm・炭化物中量、A s - C φ 0.5cm・白色粘土を少量、堆土微量含む。 しまり弱、粘性弱。
7.		7. 増褐色土	A s - C φ 0.5cm・炭化物少、ロームブロック φ 0.5cm～2.0cm微量含む。 しまり弱、粘性弱。
8.		8. 増褐色土	A s - C φ 0.5cm・炭化物少、ロームブロック φ 0.5～1.0cm・堆土・微量含む。 しまり弱、粘性弱。
9.		9. 増褐色土	A s - C φ 0.5cm・ロームブロック φ 0.5～1.0cm・堆土・炭化物・白色粘土微量含む。 しまり弱、粘性弱。
10.		10. 增褐色土	ロームブロック φ 3.0～5.0cm中量、炭化物少、A s - C φ 0.5cm微量含む。 しまりあり。粘性あり。



H-29号住居跡 P 1 土層説明

5.	黄褐色土	ロームブロック φ 3.0cm多量、A s - C φ 0.5cm微量含む。 しまりやや弱、粘性弱。
6.	黄褐色土	ロームブロック φ 3.0～10.0cm多量、A s - C φ 0.5cm微量含む。 しまりあり、粘性弱。
7.	黄褐色土	ロームブロック φ 3.0～5.0cm多量、A s - C φ 0.5cm微量含む。 しまりやや弱、粘性弱。

掘り方

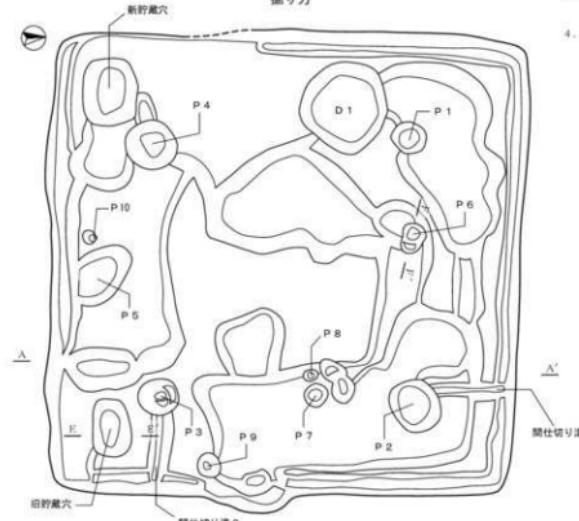
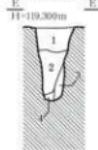


Fig. 41 住居跡 (36)

H-29号住居跡 P 5 土層説明

1.	黑褐色土	ロームブロック φ 0.3～1.0cm中量、 A s - C φ 0.5cm少微量含む。 しまりややあり、粘性弱。
2.	增褐色土	ロームブロック φ 0.1～2.5cm多量、 A s - C φ 0.5cm少微量含む。 しまりややあり、粘性弱。
3.	黄褐色土	ロームブロック φ 3.0～5.0cm多量、 A s - C φ 0.5cm微量含む。 しまりあり。粘性やや強。

旧貯蔵穴



H-29号住居跡旧貯蔵穴土層説明

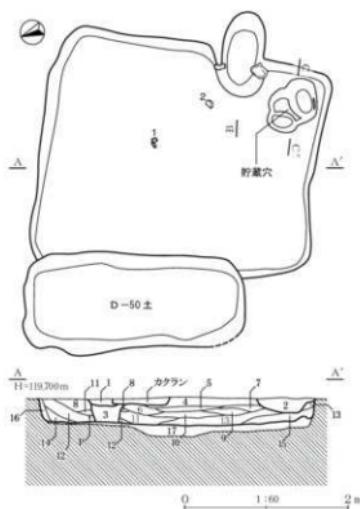
1.	增褐色土	ロームブロック φ 0.5～10.0cm 多量、A s - C φ 0.5cm少微量含む。 堆土・炭化物微量含む。 粘性弱、しまりやや弱。
2.	增褐色土	ロームブロック φ 0.5～5.0cm 多量、A s - C φ 0.5cm少微量含む。 しまりやや弱。
3.	黄褐色土	ロームブロック φ 0.5～10.0cm 多量、A s - C φ 0.5cm少微量含む。 しまり弱、粘性やや弱。
4.	增褐色土	A s - C φ 0.5cm・ロームブロック φ 0.5cm微量含む。 しまりやや弱。粘性弱。

P 6 土層説明

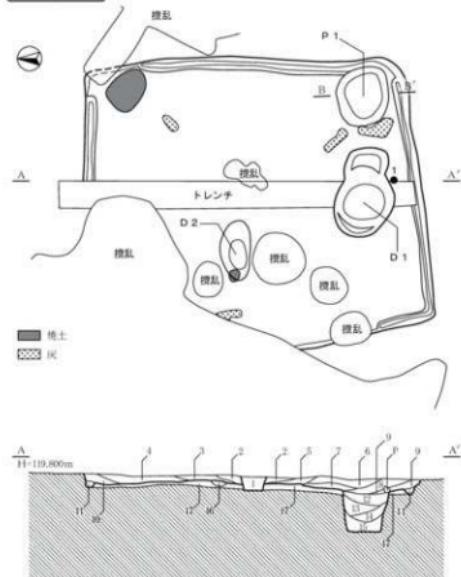
1.	增褐色土	ロームブロック φ 0.5cm 少微量、A s - C φ 0.5cm・ 堆土微量含む。 しまりあり。粘性弱。
2.	增褐色土	ロームブロック φ 0.5cm 中量、A s - C φ 0.5cm微量 含む。しまりやや弱。 粘性やや弱。

0 1:60 2m

(H-30 号住居跡)



H-31号住居跡



H-31号住居跡土層説明

1. 喀褐色土 A s-C φ 0.5 cm中量, H-F-A φ 0.5 cm・A s-B φ 0.2 cm ロームブロック φ 0.5 cm・炭化粧土含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 黒褐色土 A s-C φ 0.5 cm多量。ロームブロック φ 0.5 cm・炭化粧土含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 黑褐色土 A s-C φ 0.5 cm ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm中量。炭化粧土含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 黑褐色土 φ 0.5 cm ロームブロック φ 0.5 cm・A s-C φ 0.5 cm 粉量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 喀褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm中量, A s-C φ 0.5 cm 粉量含む。しまりあり。粘性ややあり。
6. 喀褐色土 φ 0.5 cm ロームブロック φ 0.5 cm粉量含む。しまりあり。粘性ややあり。
7. 喀褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm中量, A s-C φ 0.5 cm 少量。地土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
8. 喀褐色土 A s-C φ 0.5 cm中量。炭化粧土含む。しまりあり。粘性ややあり。
9. 喀褐色土 A s-C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5 cm粉量含む。しまりあり。粘性ややあり。
10. 黑褐色土 A s-C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5 cm 少量。地土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
11. 喀褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 2.0 cm多量, A s-C φ 0.5 cm 粉量含む。しまりやや弱。粘性ややあり。
12. 喀褐色土 A s-C φ 0.5 cm中量。ロームブロック φ 0.5 cm粉量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
13. 喀褐色土 A s-C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm 中量, A s-C φ 0.5 cm 粉量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
14. 喀褐色土 A s-C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5 cm・炭化粧土少量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
15. 喀褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm中量, A s-C φ 0.5 cm 粉量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
16. 黑褐色土 A s-C φ 0.5 cm粉量含む。しまりあり。粘性ややあり。
17. 黑褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm多量, A s-C φ 0.5 cm少量含む。しまり強。粘性ややあり。

掘り方

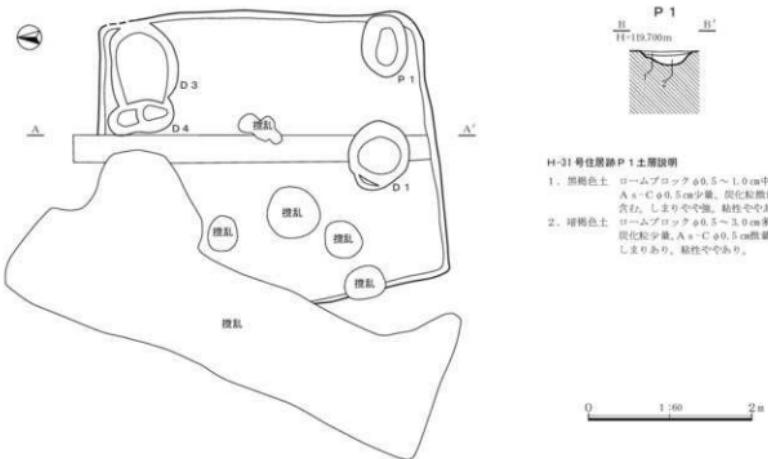
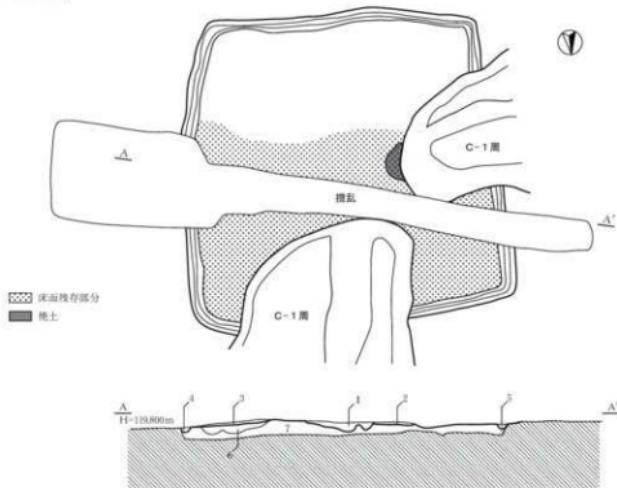


Fig. 43 住居跡 (38)

(H-32号住居跡)



H-32号住居跡土壤説明

1. 黒褐色土 A-s-C ϕ 0.5cm・ロームブロック ϕ 0.5～3.0cm少量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
2. 黒褐色土 A-s-C ϕ 0.5cm中量、ロームブロック ϕ 0.5～1.0cm炭化粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 黑褐色土 A-s-C ϕ 0.5cm中量、ロームブロック ϕ 0.5cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 黑褐色土 ロームブロック ϕ 0.5～1.0cm中量、A-s-C ϕ 0.5cm少量含む。しまりやや弱。粘性ややあり。
5. 黑褐色土 ロームブロック ϕ 0.5～1.0cm中量、A-s-C ϕ 0.5cm少量含む。しまりやや弱。粘性ややあり。
6. 黑褐色土 ロームブロック ϕ 0.5～2.0cm中量、A-s-C ϕ 0.5cm少量含む。しまりやや弱。粘性ややあり。
7. にじみ 黄褐色土 ロームブロック ϕ 0.5～5.0cm多量、A-s-C ϕ 0.5cm少量含む。しまり強。粘性ややあり。粘土。

掘り方

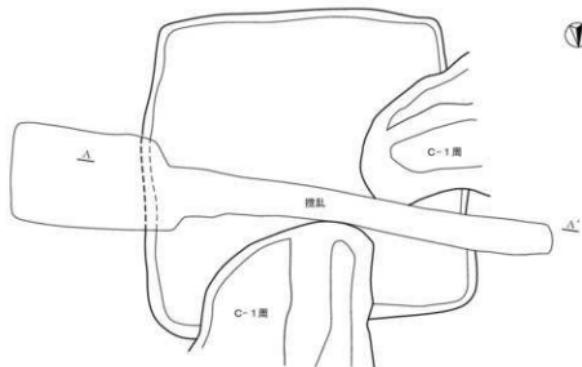


Fig. 44 住居跡 (39)

H-33号住居跡

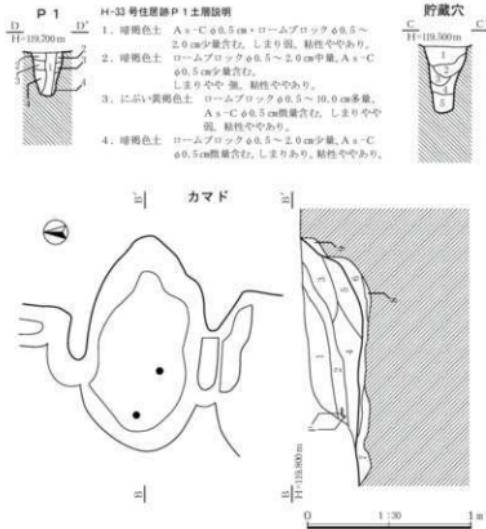
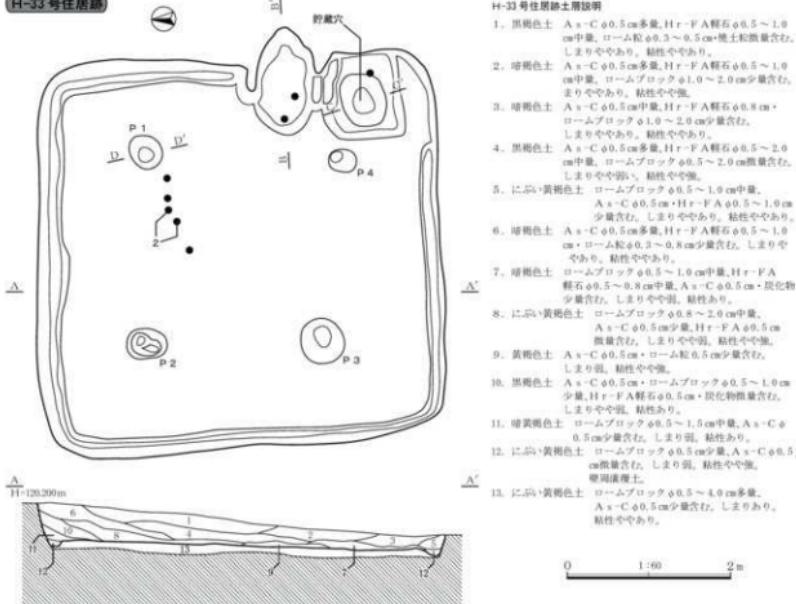
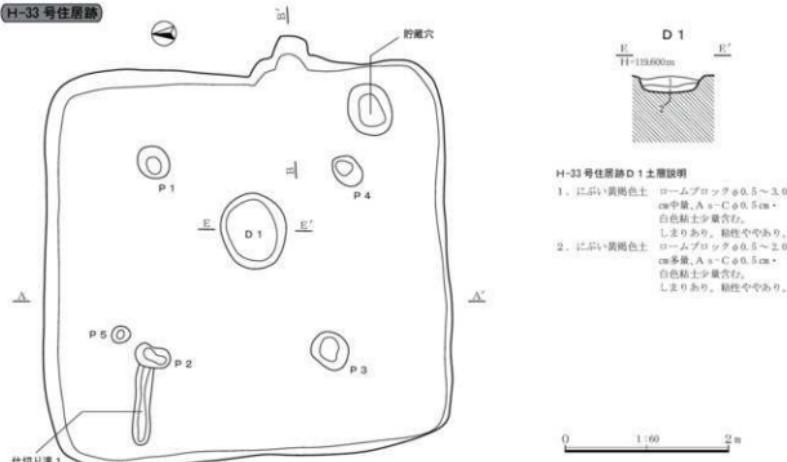


Fig. 45 住居跡 (40)

(H-33号住居跡)



(J-1号住居跡)



Fig. 46 住居跡 (41)

J-1号性居跡

J-1号位爆破土层说明

1. 硬褐色土：白色蛭石 \pm 0.2cm 層。ロームブロッフ \pm 0.5 ~ 2.0 cm層。炭化物質含む。上り強。粘性ややあり。

2. 硬褐色土：白色蛭石 \pm 0.2cm 層。ロームブロッフ \pm 0.5 ~ 3.0 cm層。A - Y \pm 0.5 cm層。炭化物質含む。上り強。粘性ややあり。

3. 褐褐色土：ローム中層。白色蛭石 \pm 0.2cm 層。ロームブロッフ \pm 0.5cm層。炭化物質含む。上り強。粘性ややあり。

4. [同じ] 黄褐色土：ローム土。ロームブロッフ \pm 0.5 ~ 3.0 cm層。白色蛭石 \pm 0.2 cm層中。A - Y \pm 0.5 cm層。炭化物質含む。上り強。粘性ややあり。

5. [同じ] 黄褐色土：ローム土。ロームブロッフ \pm 0.5 ~ 2.0 cm層中。白色蛭石 \pm 0.2 cm層含む。上り強。粘性ややあり。

6. 褐褐色土：ローム中層。白色蛭石 \pm 0.2cm 層。ロームブロッフ \pm 0.5 ~ 1.0 cm層。炭化物質含む。A - Y \pm 0.5 cm層含む。上り強。粘性ややあり。

7. 褐褐色土：白色蛭石 \pm 0.2cm 層。ロームブロッフ \pm 0.5 ~ 2.0 cm層。炭化物質含む。上り強。粘性ややあり。

8. 褐褐色土：ローム中層。白色蛭石 \pm 0.2cm 層。ロームブロッフ \pm 0.5 ~ 2.0 cm層。炭化物質含む。上り強。粘性ややあり。

9. 硬褐色土：ローム土。ロームブロッフ \pm 0.5 ~ 2.0 cm層中。白色蛭石 \pm 0.2 cm層。炭化物質含む。上り強。粘性ややあり。

10. 硬褐色土：白色蛭石 \pm 0.2cm 層。ロームブロッフ \pm 0.5 ~ 3.0 cm層。炭化物質含む。上り強。粘性ややあり。

11. [同じ] 黄褐色土：ローム多量。白色蛭石 \pm 0.2cm 層。ロームブロッフ \pm 0.5 ~ 1.0 cm層。炭化物質含む。上り強。粘性ややあり。

12. [同じ] 黄褐色土：ローム土。ロームブロッフ \pm 0.5 ~ 1.0 cm層中。白色蛭石 \pm 0.2 cm層含む。上り強。粘性ややあり。

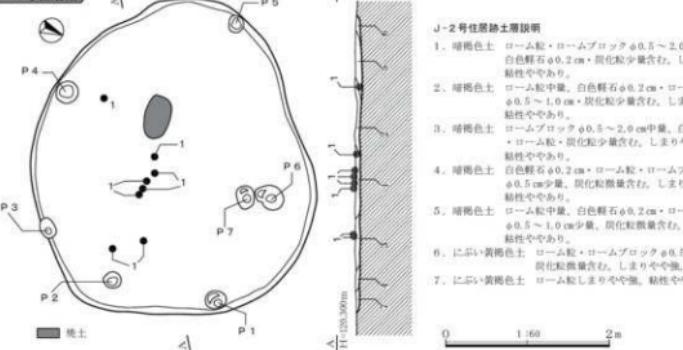
13. [同じ] 黄褐色土：ローム土。ロームブロッフ \pm 0.5 ~ 2.0 cm多量。白色蛭石 \pm 0.2 cm層含む。上り強。粘性ややあり。

14. 硬褐色土：ローム土。ロームブロッフ \pm 0.5 ~ 2.0 cm層中。白色蛭石 \pm 0.2 cm層。A - Y \pm 0.5 cm層。炭化物質含む。上り強。粘性ややあり。

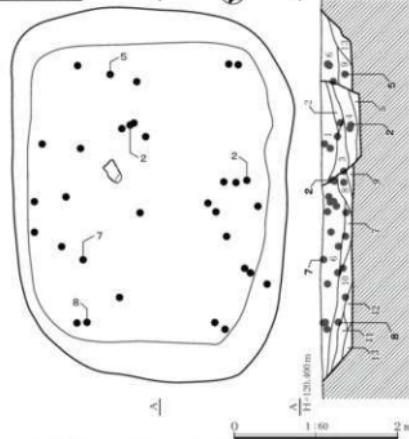
15. [同じ] 黄褐色土：ローム多量。ロームブロッフ \pm 0.5 ~ 4.0 cm層中。白色蛭石 \pm 0.2 cm層。炭化物質含む。上り強。粘性ややあり。

16. [同じ] 黄褐色土：ローム多量。ロームブロッフ \pm 0.5 ~ 2.0 cm層中。A - Y \pm 0.5 cm層。白色蛭石 \pm 0.2 cm層。炭化物質含む。上り強。粘性ややあり。

J-2号住居跡



J-3号住居跡



13. にぶい黄褐色土 ローム・ロームブロック $\phi=0.5 \sim 2.0$ cm多量。
白色粘土粉 $0.2 \sim 0.3$ cm少量。A_s-Y_f $\phi=0.5$ cm微細含む。しまり強。
粘性ややあり。

12. にぶい黄褐色土 ローム・ロームブロック $\phi=0.5 \sim 3.0$ cm多量。
白色粘土粉 $0.1 \sim 0.2$ cm少量。褐化微細含む。しまり強。
粘性ややあり。

Fig. 47 住居跡 (42)

C-1号方形周溝墓

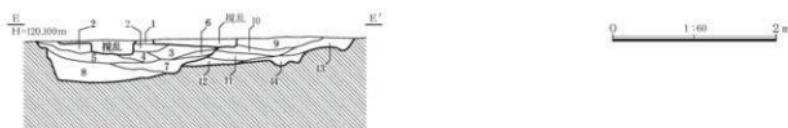
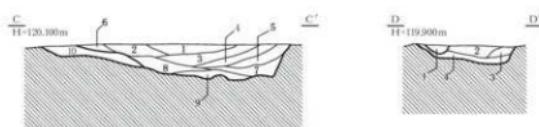
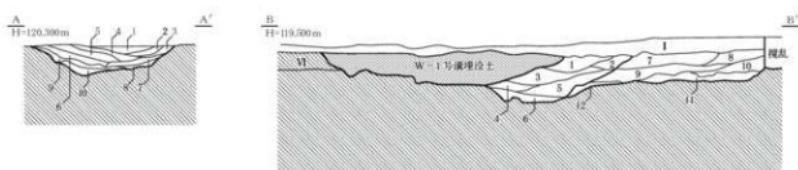
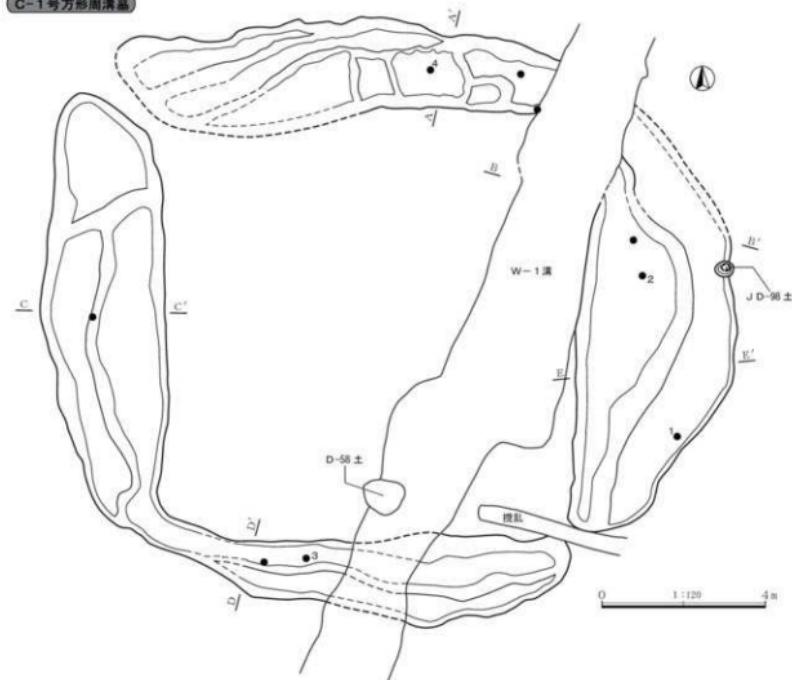


Fig. 48 方形周溝墓 (1)

C-1号方形周溝墓

C-1号方形周溝墓A-A' 土層説明

1. 喀褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm多量, Hr - F A 無量含む。しまりややあり。
2. 喀褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.3 cm・ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm少量。Hr - F A 無量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
3. 黒褐色土 ロームブロック φ 0.2 ~ 0.5 cm多量, A s - C φ 0.5 cm・Hr - F A 無量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
4. 喀褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.4 cm・ロームブロック φ 0.5 少量。黒色土ブロック φ 0.5 ~ 2.0 cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
5. 黒褐色土 ローム多量, A s - C 少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
6. 黄褐色土 ロームブロック φ 0.2 ~ 0.5 cm多量, A s - C φ 0.5 cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
7. 黄褐色土 ロームブロック φ 0.1 ~ 0.3 cm多量, A s - C φ 0.5 cm無量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
8. 黄褐色土 ロームブロック φ 0.2 ~ 0.7 cm多量, A s - C φ 0.5 cm無量含む。しまりやや弱。粘性弱。
9. 喀褐色土 ロームブロック φ 0.2 ~ 0.7 cm中量, A s - C φ 0.5 cm無量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
10. 黄褐色土 ロームブロック主体層。しまりやや弱。粘性やや弱。

C-1号方形周溝墓B-B' 土層説明

1. 黒褐色土 A s - C φ 0.5 cm中量、ロームブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。
2. 黑褐色土 A s - C φ 0.5 cm中量、ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。
3. 黑褐色土 A s - C φ 0.5 cm中量、ロームブロック φ 0.5 cm・黒土無量含む。しまりや弱。粘性やや弱。
4. 黑褐色土 A s - C φ 0.5 cm中量、ロームブロック φ 0.5 ~ 0.5 cm少量含む。しまりや弱。粘性やや弱。
5. 喀褐色土 A s - C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5 cm中量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
6. 喀褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 3.0 cm中量, A s - C φ 0.5 cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
7. 黑褐色土 A s - C φ 0.5 cm中量、ロームブロック φ 0.5 cm少量、炭化物無量含む。しまりや弱。粘性やや弱。
8. 黑褐色土 A s - C φ 0.5 cm中量、ロームブロック φ 0.5 cm少量、炭化物無量含む。しまりや弱。粘性やや弱。
9. 喀褐色土 A s - C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5 ~ 3.0 cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
10. 喀褐色土 A s - C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm中量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
11. 喀褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 5.0 cm多量, A s - C φ 0.5 cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。

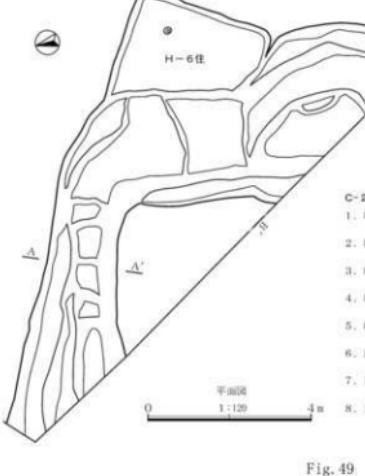
C-1号方形周溝墓C-C' 土層説明

1. 黑褐色土 A s - C φ 0.5 cm多量、ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。粘性微弱含む。しまりあり。粘性やや弱。
2. 黑褐色土 A s - C φ 0.5 cm中量、ロームブロック φ 0.5 ~ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。
3. 黑褐色土 A s - C φ 0.5 cm多量、ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。
4. 喀褐色土 A s - C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm中量含む。しまりあり。粘性やや弱。
5. 黑褐色土 A s - C φ 0.5 cm中量、ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。
6. 黑褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 2.0 cm中量, A s - C φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。
7. 喀褐色土 A s - C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5 ~ 3.0 cm中量含む。しまりあり。粘性やや弱。
8. 喀褐色土 A s - C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm中量含む。しまりあり。粘性やや弱。
9. 喀褐色土 A s - C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5 ~ 2.0 cm中量含む。しまりあり。粘性やや弱。
10. 喀褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 3.0 cm中量, A s - C φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。

C-1号方形周溝墓E-E' 土層説明

1. 黑褐色土 A s - C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。
2. 喀褐色土 A s - C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
3. 喀褐色土 A s - C φ 0.5 cm中量、ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。しまりや弱。粘性やや弱。
4. 喀褐色土 A s - C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
5. 喀褐色土 A s - C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm少量、炭化物無量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
6. 黑褐色土 A s - C φ 0.5 cm中量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
7. 喀褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 5.0 cm中量, A s - C φ 0.5 cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
8. 喀褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 5.0 cm多量, A s - C φ 0.5 cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
9. 喀褐色土 A s - C φ 0.5 cm中量、ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
10. 黑褐色土 A s - C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
11. 喀褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 2.0 cm中量, A s - C φ 0.5 cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
12. 喀褐色土 A s - C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
13. 喀褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 2.0 cm中量, A s - C φ 0.5 cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
14. 喀褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 3.0 cm多量, A s - C φ 0.5 cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。

C-2号方形周溝墓



C-2号方形周溝墓 南断面図A-A' 土層説明

1. 喀褐色土 ローム中量, A s - C φ 0.2 ~ 0.7 cm少量, Hr - F A φ 0.1 cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
2. 喀褐色土 ローム中量, A s - C φ 0.2 ~ 0.7 cm少量。ロームブロック φ 0.5 cm無量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
3. 喀褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.7 cm・ローム中量。ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
4. 喀褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 3.0 cm・ローム中量, A s - C φ 0.2 ~ 0.4 cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
5. 喀褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 4.0 cm・ローム中量, 黒色土ブロック φ 1.0 ~ 2.0 cm少量, A s - C φ 0.2 ~ 0.4 cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
6. 黑褐色土 A s - C φ 0.1 ~ 0.2 cm・ロームブロック φ 0.3 ~ 1.0 cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
7. 黄褐色土 ロームブロック φ 0.3 ~ 10.0 cm多量, A s - C φ 0.1 ~ 0.2 cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
8. 黄褐色土 ロームブロック φ 0.3 ~ 10.0 cm多量, A s - C φ 0.1 ~ 0.2 cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。

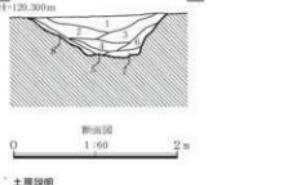
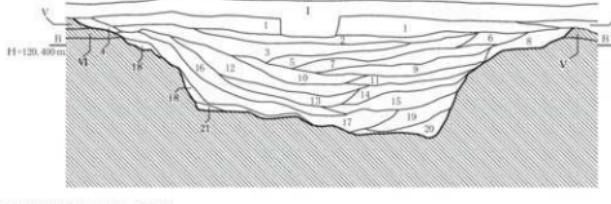


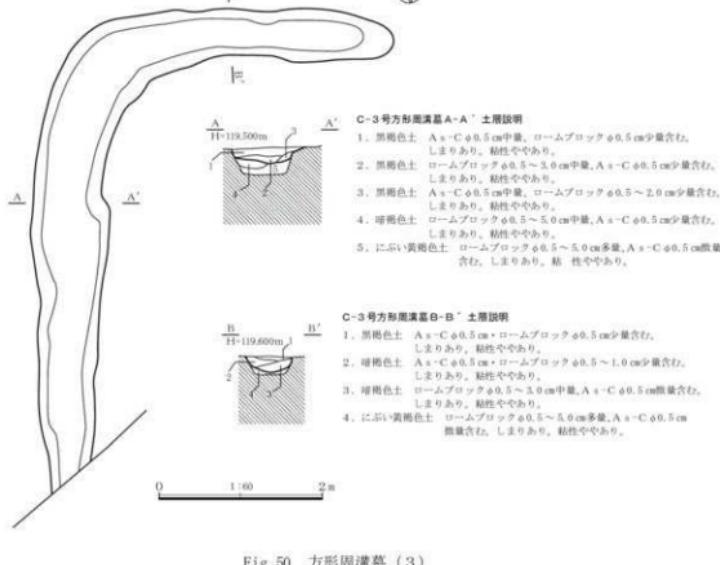
Fig. 49 方形周溝墓 (2)

C-2号方形脚踏基



1. 棕褐色土 $\Delta s \cdot C = 9.2 \sim 9.5$

— 1 —



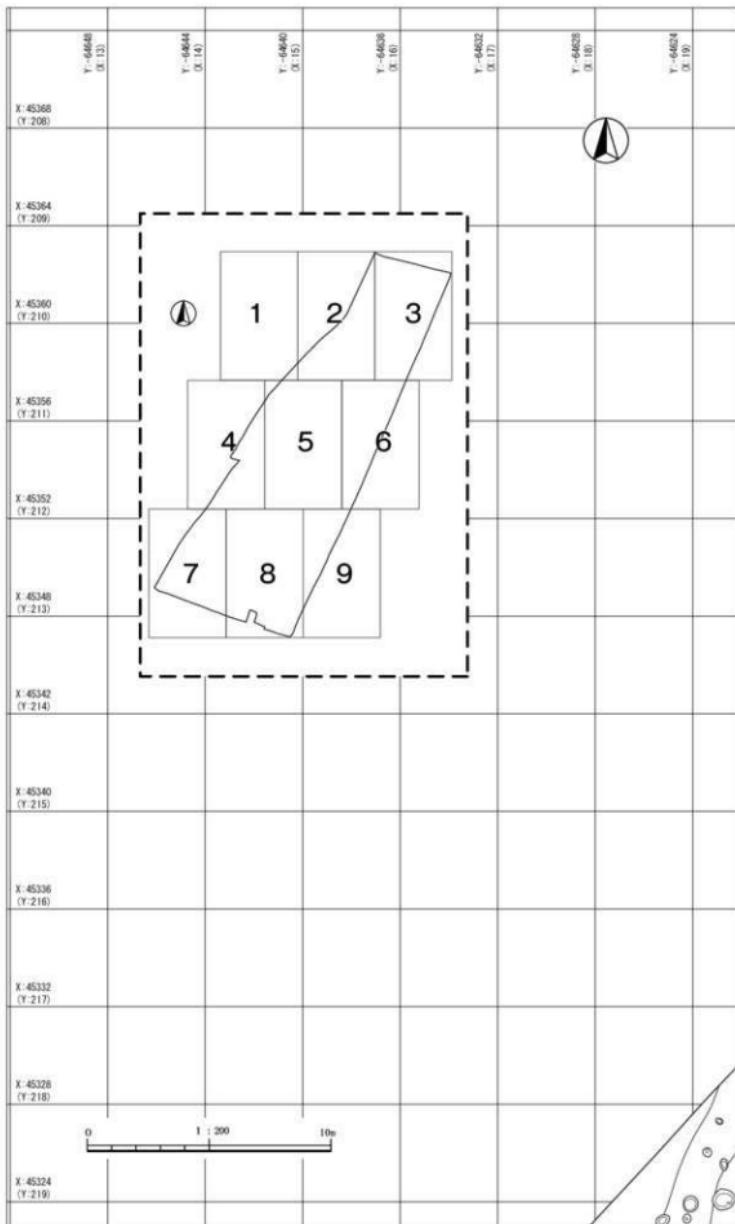


Fig. 51 土坑分布図 (1)

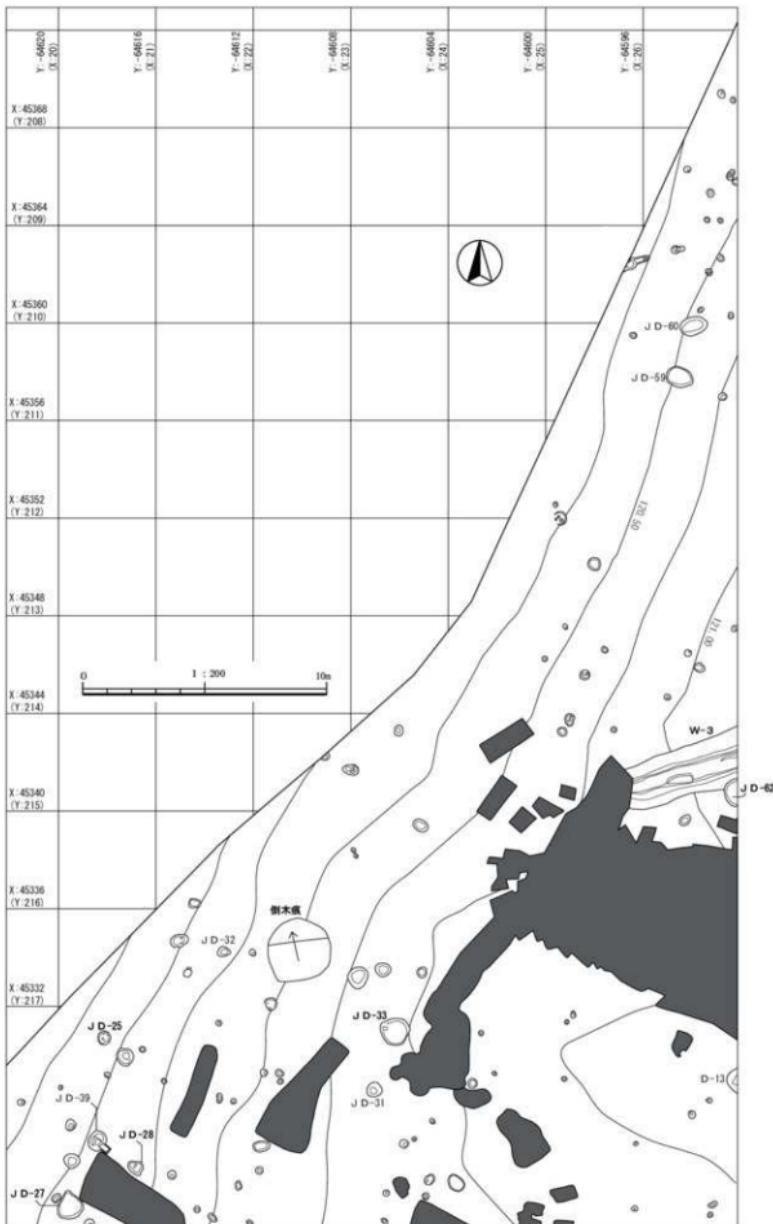


Fig. 52 土坑分布図 (2)



Fig. 53 土坑分布図 (3)

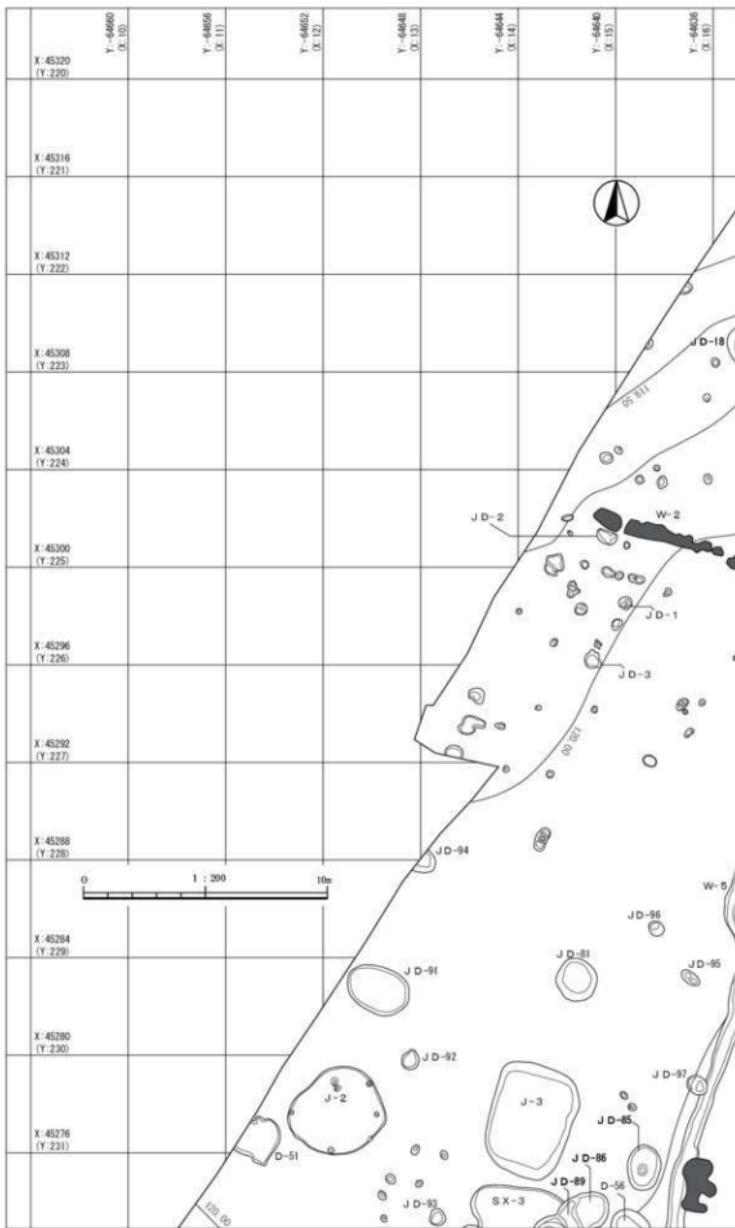


Fig. 54 土坑分布図 (4)

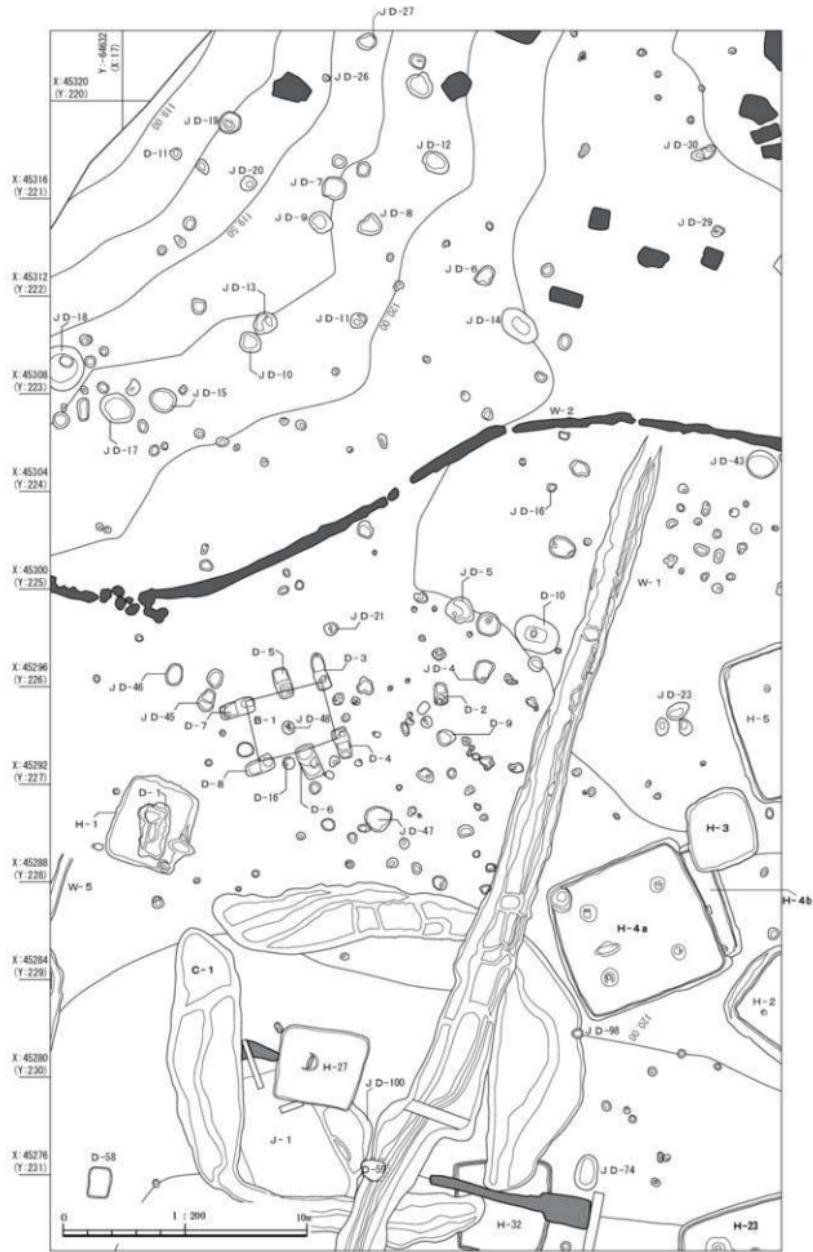


Fig. 55 土坑分布図 (5)

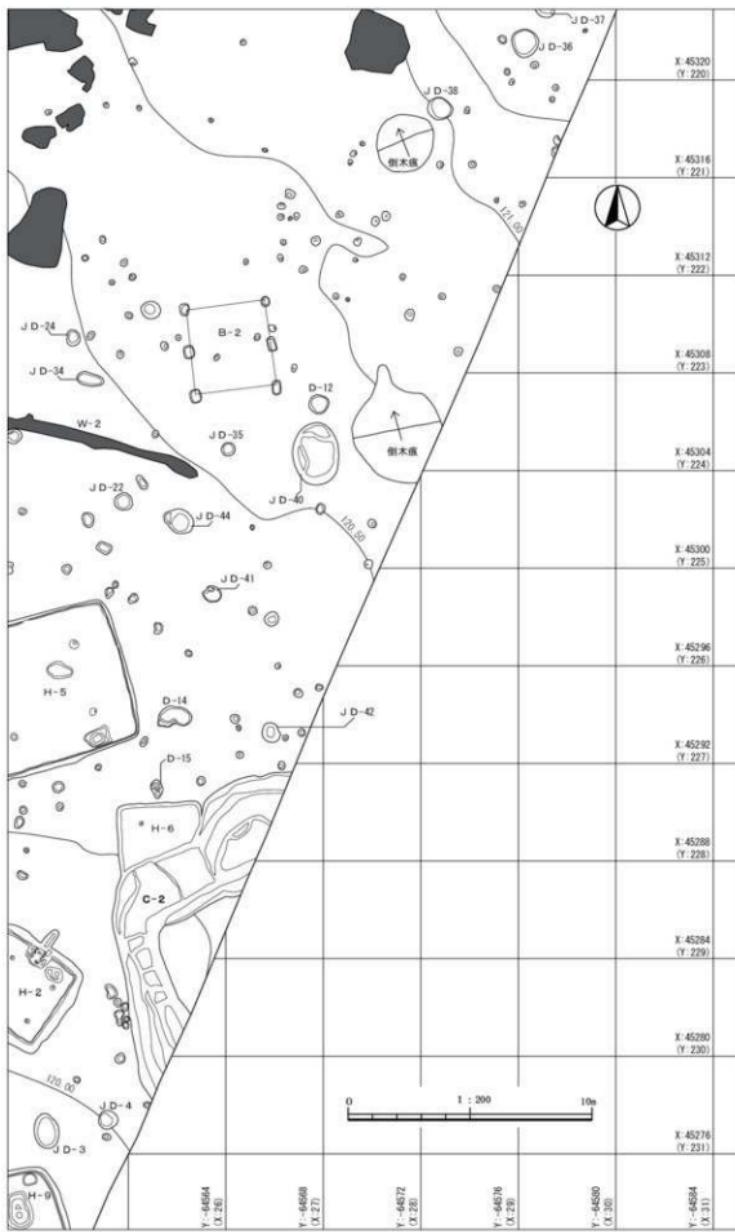


Fig. 56 土坑分布図 (6)

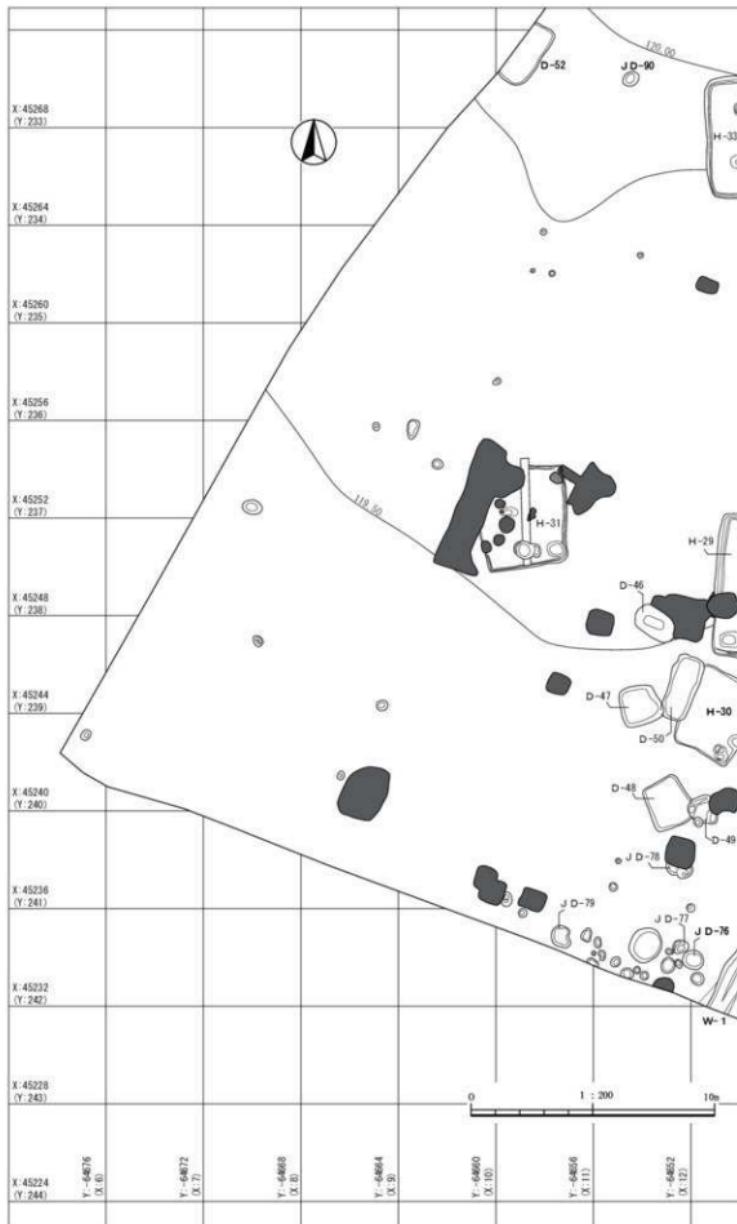


Fig. 57 土坑分布図 (7)

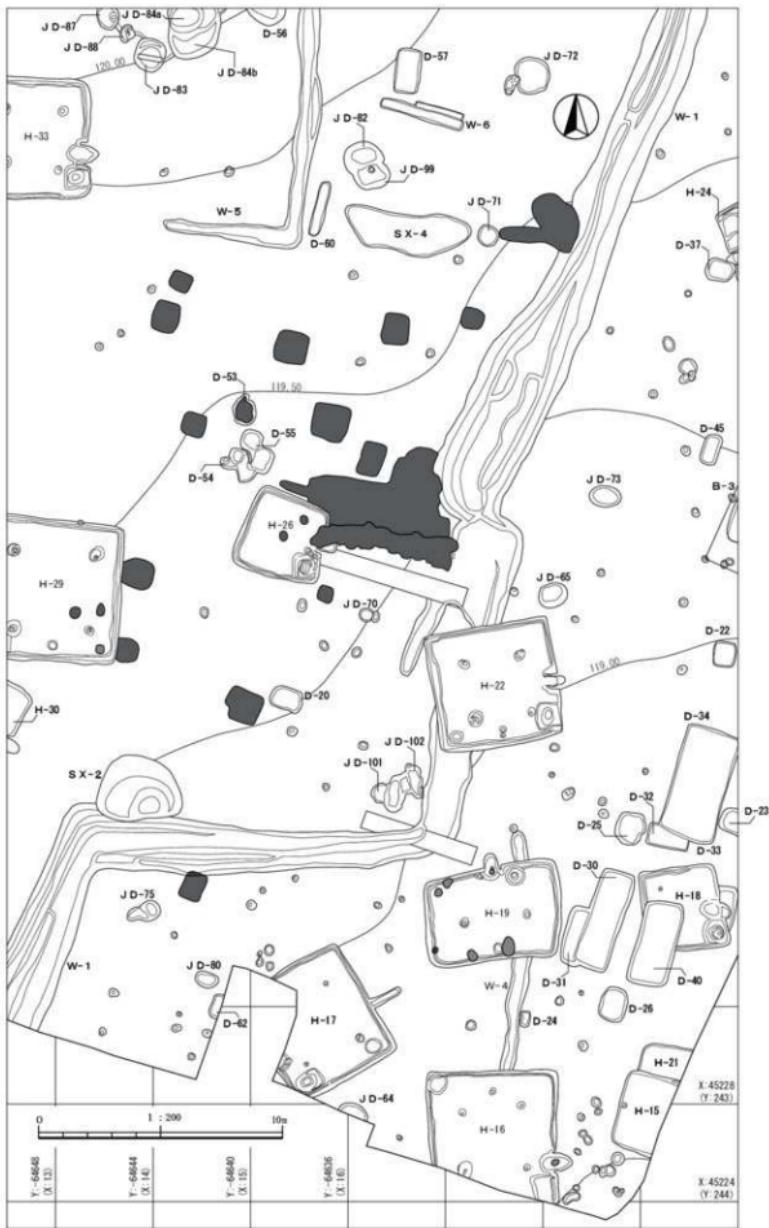


Fig. 58 土坑分布図 (8)

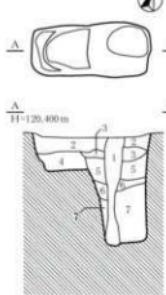


Fig. 59 土坑分布图 (9)



Fig. 60 土坑 (1)

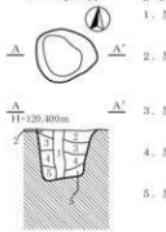
D-7 号土坑



D-7号土坑土層説明

1. 黄褐色土 A s - C φ 0.2 cm少量。
H+120.400m ロームブロック φ 0.2 ~ 1.0cm
微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 墓面土 ロームブロック φ 0.5 ~
5.0 cm中量。A s - C φ 0.2
cm少量含む。しまりやや
あり。粘性ややあり。
3. 墓面土 ロームブロック φ 0.2 ~
1.0 cm中量。A s - C φ 0.2
cm少量。H+120.400m
ロームブロック φ 0.2 ~ 1.0cm
微量含む。しまりあり。
粘性ややあり。
4. 黄褐色土 ロームブロック φ 0.2 ~
7.0 cm多量。A s - C φ 0.2
cm少量。H+120.400m
ロームブロック φ 0.2 ~ 1.0cm
微量含む。しまりやや
あり。粘性ややあり。
5. 黑褐色土 A s - C φ 0.2 cm少量含む。
しまりやや。粘性ややあり。
6. 黒色土 A s - C φ 0.2 cm少量。ロームブロック φ 0.5 ~ 5.0 cm
微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
7. 灰褐色土 A s - C φ 0.2 cm少量。ロームブロック φ 0.5 cm微量含む。
しまりあり。粘性ややあり。

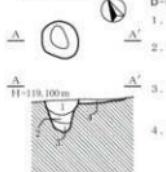
D-9号土坑



D-9号土坑土層説明

1. 黑褐色土 A s - C φ 0.5 cm中量。ロームブロック
φ 0.5 cm多量。H+120.400m
ロームブロック φ 0.5 ~ 5.0 cm
微量含む。しまりやや。粘性
やや弱。
2. 黑褐色土 A s - C φ 0.5 cm中量。ロームブロック
φ 0.5 ~ 5.0 cm中量。H+120.400m
ロームブロック φ 0.5 ~ 5.0 cm
微量含む。しまりやや。粘性
やや弱。
3. 黑褐色土 A s - C φ 0.5 cm中量。ロームブロック
φ 0.5 ~ 5.0 cm中量。H+120.400m
ロームブロック φ 0.5 ~ 5.0 cm
微量含む。しまりやや。粘性
やや弱。
4. 黑褐色土 A s - C φ 0.5 cm中量。ロームブロック
φ 0.5 cm多量。H+120.400m
ロームブロック φ 0.5 ~ 5.0 cm
微量含む。しまりやや。粘性
やや弱。
5. 黑褐色土 A s - C φ 0.5 cm中量。ロームブロック
φ 0.5 cm多量。H+120.400m
ロームブロック φ 0.5 ~ 5.0 cm
微量含む。しまりやや。粘性
やや弱。

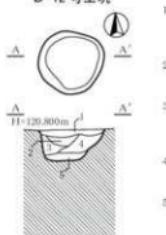
D-11号土坑



D-11号土坑土層説明

1. 黑褐色土 ローム粉・ロームブロック φ 0.5
cm少量。A s - C φ 0.5 cm。炭化物
微量含む。しまりやや。粘性
やや弱。
2. 黑褐色土 ローム粉・ロームブロック φ 0.5
cm少量。A s - C φ 0.5 cm。炭化物
微量含む。しまりやや。粘性
やや弱。
3. 黑褐色土 ローム粉・ロームブロック φ 0.5
~ 3.0 cm多量含む。しまりやや
あり。粘性やや弱。
4. 硫褐色土 ローム粉・ロームブロック φ 0.5
~ 2.0 cm多量含む。しまりやや。
粘性やや弱。

D-12号土坑



D-12号土坑土層説明

1. 墓面土 ローム粉・ロームブロック φ 0.5
cm少量。A s - C φ 0.5 cm。炭化物
微量含む。しまりやや。粘性
やや弱。
2. 墓面土 ローム粉・ロームブロック φ 0.5
cm少量。A s - C φ 0.5 cm。炭化物
微量含む。しまりやや。粘性
やや弱。
3. 墓面土 ローム粉・ロームブロック φ 0.5
~ 10.0 cm中量。A s - C φ 0.5 cm
微量含む。しまりやや。粘性
やや弱。
4. 墓面土 ローム粉・ロームブロック φ 0.5 cm
少量。A s - C φ 0.5 cm。炭化物
微量含む。しまりやや。粘性
やや弱。
5. 墓面土 ローム粉・ロームブロック φ 0.5 cm
少量。A s - C φ 0.5 cm。炭化物
微量含む。しまりやや。粘性
やや弱。

D-8号土坑



D-8号土坑土層説明

1. 黄褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm少量
含む。しまり弱。粘性やや弱。
H+120.400m A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm
中量。ロームブロック φ 0.5 ~ 5.0 cm
少量。H+120.400m A s - C φ 0.2 ~ 1.0 cm
微量含む。しまりあり。
2. 黑褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 5.0 cm
多量。A s - C φ 0.2 cm少量含む。
しまりあり。粘性やや弱。
3. 黑褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 5.0 cm
中量。A s - C φ 0.2 cm少量含む。
しまり弱。粘性弱。
4. 黄褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 5.0 cm
中量。A s - C φ 0.2 cm少量含む。
しまりあり。粘性やや弱。
5. 黄褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 5.0 cm
中量。A s - C φ 0.2 cm少量含む。
しまり弱。粘性弱。
6. 黑褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 5.0 cm
中量。A s - C φ 0.2 cm少量含む。
しまりあり。粘性やや弱。
7. 黑褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 5.0 cm中量。
しまりやや。粘性やや弱。
8. 墓面土 A s - C φ 0.2 cm少量。ロームブロック φ 0.2 ~ 0.5 cm
微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
9. 墓面土 A s - C φ 0.2 cm。ロームブロック φ 0.5 ~ 2.0 cm
少量含む。しまりあり。粘性やや弱。

D-10号土坑



D-10号土坑土層説明

1. 黑褐色土 A s - C φ 0.5 cm中量。
ロームブロック φ 0.5 ~ 0.5
cm少量含む。しまり弱。粘性
やや弱。
 2. 墓面土 ローム粉・多量。
A s - C φ 0.5 cm中量。
ロームブロック φ 0.5 ~ 0.5
cm少量含む。しまり弱。粘性
やや弱。
 3. 黑褐色土 A s - C φ 0.5 cm少量
含む。しまりあり。粘性やや弱。
 4. 墓面土 A s - C φ 0.5 cm中量。
ローム粉・ロームブロック
φ 0.5 ~ 0.5 cm少量含む。
しまりやや。粘性やや弱。
 5. 黑褐色土 A s - C φ 0.5 cm多量。
ローム粉少量含む。
しまりやや。粘性やや弱。
 6. 黑褐色土 A s - C φ 0.5 cm少量。
ローム粉少量含む。
しまりやや。粘性やや弱。
- A s - C 次堆積層
7. 黑褐色土 ローム粉・中量。A s - C φ 0.5 cm少量。
ロームブロック φ 0.5 cm微量
含む。しまりやや。粘性やや弱。
 8. 墓面土 A s - C φ 0.5 cm少量。
ローム粉・中量。A s - C φ 0.5 cm
微量含む。しまりやや。粘性
やや弱。
 9. 墓面土 A s - C φ 0.5 ~ 1.0 cm多量含む。
しまり弱。粘性なし。次堆積層。
 10. 墓面土 ローム粉多量。A s - C φ 0.5 cm少量含む。
しまり弱。粘性やや弱。
 11. 墓面土 ローム粉多量。ロームブロック φ 0.5 ~ 2.0 cm少量含む。
しまり弱。粘性やや弱。
 12. 墓面土 ローム粉多量。ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。
しまり弱。粘性やや弱。
 13. 黑褐色土 ローム粉・ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。
しまり弱。粘性やや弱。
 14. 墓面土 ロームブロック φ 0.5 ~ 4.0 cm多量含む。
しまり弱。粘性やや弱。
 15. 墓面土 ローム粉・ロームブロック φ 0.5 ~ 2.0 cm少量含む。
しまり弱。粘性やや弱。
 16. 墓面土 ローム粉・ロームブロック φ 0.5 ~ 5.0 cm中量。炭化物
少量含む。しまり弱。粘性やや弱。
 17. 黑褐色土 炭化物中量。ローム粉・ロームブロック φ 0.5 cm少量含む。
しまり弱。粘性やや弱。
 18. 墓面土 ローム粉・ロームブロック φ 0.5 ~ 4.0 cm多量含む。
しまり弱。粘性やや弱。
 19. 墓面土 ローム粉多量。ロームブロック φ 0.5 ~ 3.0 cm中量含む。
しまり弱。粘性やや弱。

Fig. 61 土坑 (2)

D-13号土坑



H=121.500m



1. 黒褐色土 A s-C ϕ 0.5cm中量、ローム粒少量含む。しまりあり。粘性や少弱。
2. 黒褐色土 A s-C ϕ 0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性や少弱。
3. 増褐色土 A s-C ϕ 0.5cm・ローム粒・ロームブロック ϕ 0.5cm少量含む。しまりあり。粘性や少弱。
4. 黑褐色土 A s-C ϕ 0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性や少弱。
5. 增褐色土 A s-C ϕ 0.5cm・ローム粒・ロームブロック ϕ 0.5cm少量含む。しまりあり。粘性や少弱。
6. 黑褐色土 A s-C ϕ 0.5cm・ロームブロック ϕ 0.5cm少量含む。しまりややあり。粘性や少弱。
7. 增褐色土 ローム粒中量、A s-C ϕ 0.5cm・ロームブロック ϕ 0.5cm・1.0cm少量含む。しまりややあり。粘性や少弱。
8. 增褐色土 ローム粒中量、A s-C ϕ 0.5cm・ロームブロック ϕ 0.5cm・1.0cm少量含む。しまりややあり。粘性や少弱。

9. 深黄褐色土 A s-C 一次堆積層。しまりなし。粘性なし。

10. 增褐色土 ローム粒・ロームブロック ϕ 0.5~3.0cm中量含む。しまりやや。粘性や少弱。

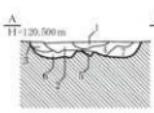
D-13号土坑土層説明

1. 黒褐色土 A s-C ϕ 0.5cm中量、ローム粒少量含む。しまりあり。粘性や少弱。
2. 黒褐色土 A s-C ϕ 0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性や少弱。
3. 増褐色土 A s-C ϕ 0.5cm・ローム粒・ロームブロック ϕ 0.5cm少量含む。しまりあり。粘性や少弱。
4. 黑褐色土 A s-C ϕ 0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性や少弱。
5. 增褐色土 A s-C ϕ 0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性や少弱。
6. 黑褐色土 A s-C ϕ 0.5cm・ロームブロック ϕ 0.5cm少量含む。しまりややあり。粘性や少弱。
7. 增褐色土 ローム粒中量、A s-C ϕ 0.5cm・ロームブロック ϕ 0.5cm・1.0cm少量含む。しまりややあり。粘性や少弱。

D-14号土坑



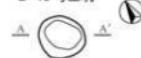
H=120.500m



D-14号土坑土層説明

1. 明褐色土 ロームブロック ϕ 0.5~1cm少量、A s-C ϕ 0.2cm中量。しまりあり。粘性や少弱。
2. 黑褐色土 ロームブロック ϕ 0.5~1cm少量、A s-C ϕ 0.2cm中量。しまりあり。粘性や少弱。
3. 增褐色土 ローム粒中量、A s-C ϕ 0.2~3cm中量。しまりあり。粘性や少弱。
4. 增褐色土 A s-C ϕ 0.2cm中量、ロームブロック ϕ 0.2~0.5cm少量含む。粘性や少弱。
5. 深黄褐色土 無色粒中量、A s-C ϕ 0.2~3cm中量。しまりあり。粘性や少弱。
6. 深黄褐色土 無色粒中量、A s-C ϕ 0.2~3cm中量。しまりあり。粘性や少弱。
7. 黄褐色土 しまりあり。粘性や少弱。A s-C BP ϕ 0.2~0.5cm中量。無色ブロック ϕ 1~3cm散在。

D-18号土坑



H=121.500m



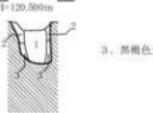
D-18号土坑土層説明

1. 黑色土 白色粒 ϕ 0.2cm少量含む。しまり強。粘性や少弱。
2. 黄褐色土 白色粒 ϕ 0.2cm少量含む。しまり強。粘性や少弱。
3. 增褐色土 黑色土ブロック ϕ 2.0cm少量含む。しまり強。粘性や少弱。

D-15号土坑



H=120.500m



D-15号土坑土層説明

1. 黒褐色土 ロームブロック ϕ 0.5cm中量、ローム粒微細多量、ローム粒少量含む。しまりやや。粘性や少弱。
2. 增褐色土 ローム粒多量、ロームブロック ϕ 0.5cm少量含む。しまりやや。粘性や少弱。
3. 黑褐色土 ローム粒・ロームブロック ϕ 0.5cm少量含む。しまりやや。粘性や少弱。

D-16号土坑



H=120.400m



D-16号土坑土層説明

1. 增褐色土 ローム粒少量含む。しまりあり。粘性や少弱。
2. 增褐色土 ローム粒・ロームブロック ϕ 0.5~1.0cm少量含む。しまりやや。粘性や少弱。
3. 增褐色土 ローム粒中量含む。しまりやや。粘性や少弱。
4. 增褐色土 ローム粒少量含む。しまりやや。粘性や少弱。

D-17号土坑



H=122.300m

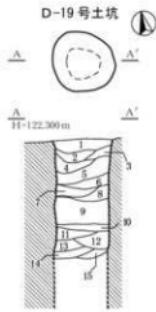


D-17号土坑土層説明

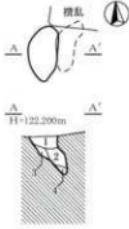
1. 黑褐色土 A s-C ϕ 0.5cm中量。ロームブロック ϕ 0.5cm少量、少量、炭化物微細含む。しまりやや。粘性や少弱。
2. 黑褐色土 A s-C ϕ 0.5cm・ローム粒中量、ロームブロック ϕ 0.5cm少量含む。しまりやや。粘性や少弱。
3. 黑褐色土 A s-C ϕ 0.5cm・ローム粒少量。少量含む。しまりやや。粘性や少弱。
4. 黑褐色土 A s-C ϕ 0.5cm少量。ロームブロック ϕ 0.5cm少量含む。しまりやや。粘性や少弱。
5. 黑褐色土 A s-C ϕ 0.5cm・ローム粒中量、A s-C ϕ 0.5cm・ローム粒少量。少量含む。しまりやや。粘性や少弱。
6. 黑褐色土 A s-C ϕ 0.5cm・ローム粒少量。少量含む。しまりやや。粘性や少弱。
7. 黑褐色土 ローム粒少量、A s-C ϕ 0.5cm少量含む。しまりやや。粘性や少弱。

8. 増褐色土 ローム粒多量、A s-C ϕ 0.5cm・ロームブロック ϕ 0.5cm少量含む。しまりやや。粘性や少弱。
9. 増褐色土 ローム粒中量、A s-C ϕ 0.5cm少量、ロームブロック ϕ 0.5cm少量含む。しまりやや。粘性や少弱。
10. 深黄褐色土 A s-C 一次堆積層。しまり強。粘性なし。
11. 增褐色土 ローム粒少量含む。しまり弱。粘性弱。
12. にじい黄褐色土 ローム粒多量、ロームブロック ϕ 0.5~2.0cm中量、炭化物少量含む。しまり弱。粘性弱。
13. にじい黄褐色土 ローム粒多量、ロームブロック ϕ 0.5~3.0cm少量含む。しまり弱。粘性弱。

Fig. 62 土坑 (3)



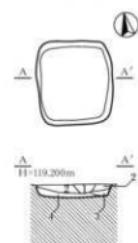
D-19号土坑



D-20号土坑

1. 黒褐色土 $A + B \phi 0.2 \text{ cm}$ 少量。ロームブロック $\phi 0.2 \text{ cm}$ 少量含む。しまり強。粘性やや弱。
2. 黒褐色土 $H + F - A \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ 少量含む。白色粘土。
3. 黄褐色土 $H + F - A \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ 少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
4. 黑褐色土 $H + F - A \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ 少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。

D-22号土坑



0 1:60 2m

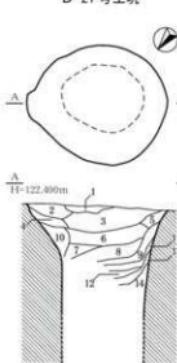
D-19号土坑土層説明

1. 黒褐色土 $A + B \phi 0.2 \text{ cm}$ 少量。ロームブロック $\phi 0.2 \text{ cm}$ 少量含む。しまり強。粘性やや弱。
2. 黒褐色土 $A + B \phi 0.2 \text{ cm}$ 少量。白色粘土 $\phi 0.2 \text{ cm}$ 少量含む。しまりやや弱。
3. 黒褐色土 $A + B \phi 0.3 \text{ cm}$ 少量。ロームブロック $\phi 0.2 \text{ cm}$ 少量含む。しまりやや弱。
4. 黑褐色土 $A + B \phi 0.3 \text{ cm}$ 少量。ロームブロック $\phi 0.2 \text{ cm}$ 少量含む。白色粘土 $\phi 0.2 \text{ cm}$ 少量含む。しまりやや弱。
5. 黑褐色土 $A + B \phi 0.2 \text{ cm}$ 少量。ロームブロック $\phi 0.2 \text{ cm}$ 少量含む。しまりやや弱。
6. 黑褐色土 $A + B \phi 0.2 \text{ cm}$ 少量。ロームブロック $\phi 0.2 \sim 1.0 \text{ cm}$ 少量。白色粘土 $\phi 1.0 \text{ cm}$ 少量含む。しまりやや弱。
7. 黑褐色土 $A + B \phi 0.2 \text{ cm}$ 少量。ロームブロック $\phi 0.2 \text{ cm}$ 少量含む。しまりやや弱。
8. 黑褐色土 $A + B \phi 0.2 \text{ cm}$ 少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
9. 黑褐色土 $A + B \phi 0.2 \text{ cm}$ 少量含む。ロームブロック $\phi 0.5 \text{ cm}$ 少量含む。しまりやや弱。
10. 黑褐色土 $A + B \phi 0.2 \text{ cm}$ 少量。白色粘土 $\phi 0.2 \sim 1.0 \text{ cm}$ 少量含む。しまりやや弱。
11. 田園土 $A + B \phi 0.2 \text{ cm}$ 少量。白色粘土 $\phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ 少量含む。しまりやや弱。
12. 墓塚褐色土 $A + B \phi 0.2 \text{ cm}$ 少量。白色粘土 $\phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ 少量含む。しまりやや弱。
13. 黑褐色土 $A + B \phi 0.2 \text{ cm}$ 少量。ロームブロック $\phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ 少量含む。しまりやや弱。
14. 黑褐色土 $A + B \phi 0.2 \text{ cm}$ 少量。ロームブロック $\phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ 少量含む。しまりやや弱。
15. 黑褐色土 $A + B \phi 0.2 \text{ cm}$ 少量含む。しまりやや弱。

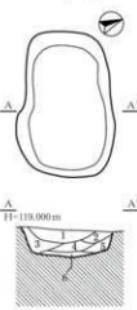
D-22号土坑土層説明

1. 墓塚褐色土 $A + C \phi 0.2 \text{ cm}$ 中量。ロームブロック $\phi 0.2 \text{ cm}$ 少量含む。しまり強。粘性やや弱。
2. 墓塚褐色土 $H + F - A \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ 少量含む。白色粘土。
3. 黄褐色土 $H + F - A \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ 少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
4. 黑褐色土 $H + F - A \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ 少量含む。白色粘土。

D-21号土坑土層説明



D-23号土坑

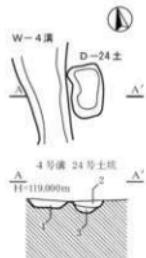


D-23号土坑土層説明

1. 墓塚褐色土 $A + B \phi 0.2 \text{ cm}$ 少量。 $A + C \phi 0.5 \text{ cm}$ $H + F - A$ 粘土 $\phi 0.5 \text{ cm}$ 少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
2. 墓塚褐色土 $A + B \phi 0.2 \text{ cm}$ 少量。 $A + C \phi 0.5 \text{ cm}$ 少量含む。しまりやや弱。
3. 墓塚褐色土 $A + B \phi 0.2 \text{ cm}$ 少量。 $A + C \phi 0.5 \text{ cm}$ 少量含む。しまりやや弱。
4. 墓塚褐色土 $A + B \phi 0.2 \text{ cm}$ 少量。 $A + C \phi 0.5 \text{ cm}$ 少量含む。しまりやや弱。
5. 墓塚褐色土 $A + B \phi 0.2 \text{ cm}$ 少量含む。しまりやや弱。
6. にい黄褐色土 $A + B \phi 0.2 \text{ cm}$ 少量含む。しまり強。粘性やや弱。

Fig. 63 土坑 (4)

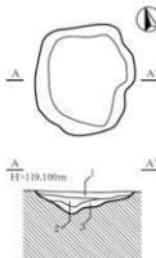
W-4号溝・D-24号土坑



W-4号溝・D-24号土坑土層説明

1. 増灰色土 A + B ϕ 0.2 cm・ロームブロック ϕ 0.5 cm
少混合土。しまりややあり。
 2. 増褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 2.0 cm多量、A + B ϕ 0.2 cm少量
含む。しまりややあり。
 3. 増褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm中量、A + B ϕ 0.2 cm少量
含む。しまりややあり。
- 粘性ややあり。

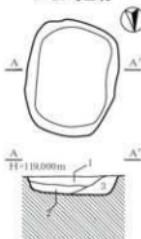
D-25号土坑



D-25号土坑土層説明

1. 増褐色土 A + C ϕ 0.5 cm・A + B ϕ 0.2 cm・ロームブロック ϕ 0.5 ~ 2.0 cm少量含む。
しまりややあり。
 2. 増灰色土 A + C ϕ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。
しまりあり。粘性ややあり。
 3. 増褐色土 A + C ϕ 0.5 cm多量、A + B ϕ 0.2 cm少量、A + C ϕ 0.5 cm少量含む。
しまりあり。
- 粘性ややあり。

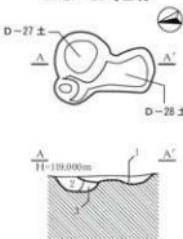
D-26号土坑



D-26号土坑土層説明

1. 増褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 2.0 cm中量、
A + B ϕ 0.2 cm少量、A + C ϕ 0.5 cm少量含む。
しまりややあり。
 2. 増褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 3.0 cm中量、
A + B ϕ 0.2 cm少量、A + C ϕ 0.5 cm少量含む。
しまりややあり。
 3. 黑褐色土 A + B ϕ 0.2 cm・ロームブロック ϕ 0.5 ~ 4.0 cm中量、A + C ϕ 0.5 cm少量含む。
しまりややあり。
- 粘性ややあり。

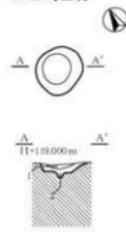
D-27・28号土坑



D-27・28号土坑土層説明

1. 増灰色土 A + B ϕ 0.2 cm・ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm少量、A + C ϕ 0.5 cm少量含む。
しまりあり。
2. 増褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 5.0 cm少量、
A + C ϕ 0.5 cm・A + B ϕ 0.2 cm
少量含む。
しまりあり。粘性やや
あり。
3. 増褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 3.0 cm中量、
A + C ϕ 0.5 cm・A + B ϕ 0.2 cm
少量含む。
しまりあり。粘性やや
あり。

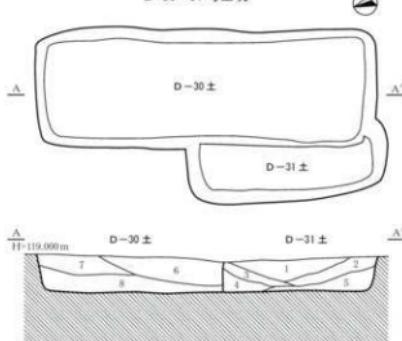
D-29号土坑



D-29号土坑土層説明

1. 増灰色土 A + B ϕ 0.2 cm中量、
A + C ϕ 0.5 cm・
H r - F A 軽石 ϕ 0.5 cm
少量含む。
しまりあり。
 2. 増灰色土 A + B ϕ 0.2 cm中量、
ロームブロック ϕ 0.5 cm少量、
A + C ϕ 0.5 cm少量含む。
しまりあり。
- 粘性やや弱。

D-30・31号土坑

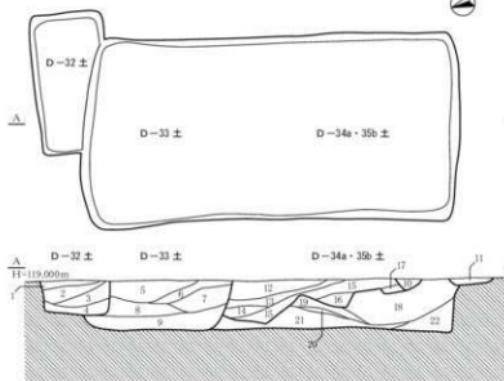


D-30・31号土坑土層説明

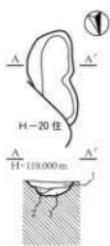
1. 増褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 5.0 cm多量、A + C ϕ 0.5 cm・A + B ϕ 0.2 cm少量、H r - F A 軽石 ϕ 0.5 cm少量含む。
しまりあり。
 2. 黑褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 5.0 cm多量、A + B ϕ 0.2 cm少量、
A + C ϕ 0.5 cm・H r - F A 軽石 ϕ 0.5 cm少量含む。
しまりややあり。粘性やや
あり。
 3. 増褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 3.0 cm多量、A + C ϕ 0.5 cm・A + B ϕ 0.2 cm少量含む。
しまりあり。粘性やや
あり。
 4. 増褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 3.0 cm多量、A + C ϕ 0.5 cm・A + B ϕ 0.5 cm少量含む。
しまりやや弱。
 5. 増褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 2.0 cm多量、A + B ϕ 0.2 cm少量含む。
しまりやや弱。粘性やや
あり。
 6. 増褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 4.0 cm多量、A + C ϕ 0.5 cm・A + B ϕ 0.2 cm少量。
しまりやや弱。
 7. 増褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 2.0 cm多量、A + C ϕ 0.5 cm・A + B ϕ 0.2 cm少量含む。
しまりやや弱。粘性やや
あり。
 8. 黑褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 3.0 cm多量、A + C ϕ 0.5 cm・A + B ϕ 0.2 cm少量、H r - F A 軽石 ϕ 0.5 cm少量含む。
しまり強。
- 粘性ややあり。

Fig. 64 土坑 (5)

D-32・33・34a・34b号土坑



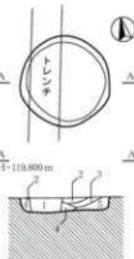
D-35号土坑



D-35号土坑土層説明

1. 硅褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 2.0 cm中量。A + C φ 0.5 cm・A + B φ 0.2 cm少量含む。しまりややあり。
 2. 硅褐色土 A + C φ 0.5 cm・A + B φ 0.2 cm・ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。しまりややあり。
 3. 硅褐色土 ロームブロック φ 0.5 cm中量。A + C φ 0.5 cm・A + B φ 0.2 cm少量含む。しまりややあり。

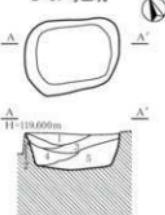
D-36号土坑



D-36号土坑土層説明

1. 硅灰土 A + B φ 0.2 cm・A + C φ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5 ~ 10.0 cm少量含む。しまりややあり。
 2. 硅褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 2.0 cm中量。
 3. 硅褐色土 A + B φ 0.2 cm・ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm中量。A + C φ 0.5 cm少量含む。しまりややあり。
 4. 硅褐色土 A + B φ 0.2 cm中量。A + C φ 0.5 cm少量含む。しまりややあり。
 5. 硅灰土 A + B φ 0.2 cm・ロームブロック φ 0.5 ~ 5.0 cm中量。A + C φ 0.5 cm少量含む。しまりややあり。

D-37号土坑



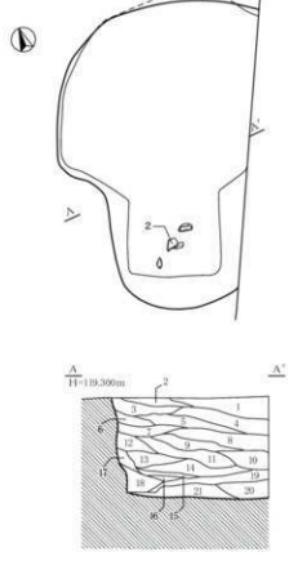
D-37号土坑土層説明

1. 黑褐色土 A + B φ 0.2 cm・ロームブロック φ 0.5 ~ 5.0 cm少量。A + C φ 0.5 cm少量含む。しまりややあり。粘性やや弱い。
2. 黑褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 2.0 cm中量。A + B φ 0.2 cm少量。A + C φ 0.5 cm少量含む。しまりややあり。粘性やや弱い。
3. 黑褐色土 A + B φ 0.2 cm・ロームブロック φ 0.5 ~ 0.5 cm少量含む。しまりややあり。粘性やや弱い。
4. 黑褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 2.0 cm中量。A + B φ 0.2 cm少量。A + C φ 0.5 cm少量含む。しまりややあり。粘性やや弱い。
5. 硅褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 2.0 cm多量。A + B φ 0.2 cm少量。A + C φ 0.5 cm少量含む。しまりややあり。粘性やや弱い。

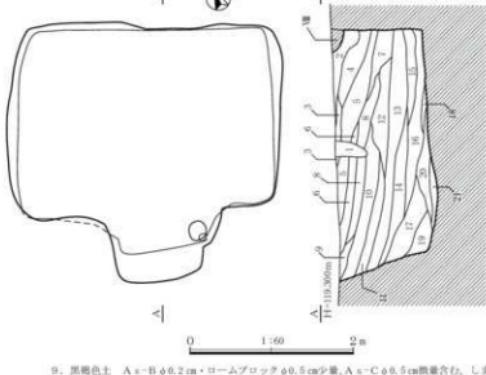
0 1:60 2m

Fig. 65 土坑 (6)

D-38 号土坑

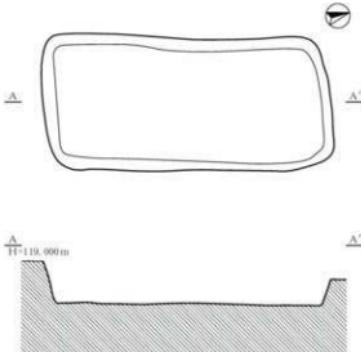


D-39 号工机

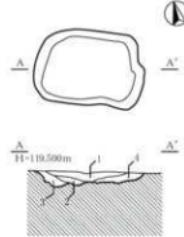


10. 鹿毛色土 ロームブロック $\phi=0.5 \sim 2.0$ cm程度, $A - B = 0.2$ cm程度含む。しまりややあります。粘性ややあります。
11. 鹿毛色土 ロームブロック $\phi=0.5 \sim 2.0$ cm程度, $A - C = 0.5 \sim 1.0$ cm程度含む。しまりややあります。粘性ややあります。
12. 鹿毛色土 ロームブロック $\phi=0.5 \sim 1.0$ cm程度, $A - C = 0.5 \sim 1.0$ cm程度含む。しまりややあります。粘性ややあります。
13. 鹿毛色土 ロームブロック $\phi=0.5 \sim 2.0$ cm程度, $A - C = 0.5 \sim 1.0$ cm程度含む。しまりややあります。粘性ややあります。
14. 鹿毛色土 ロームブロック $\phi=0.5 \sim 1.0$ cm程度, $A - C = 0.5 \sim 1.0$ cm程度含む。しまりややあります。粘性ややあります。
15. 鹿毛色土 ロームブロック $\phi=0.5 \sim 1.0$ cm程度, $A - C = 0.5 \sim 1.0$ cm程度含む。しまりややあります。粘性ややあります。
16. 鹿毛色土 ロームブロック $\phi=0.5 \sim 1.0$ cm程度, $A - C = 0.5 \sim 1.0$ cm程度含む。しまりややあります。粘性ややあります。
17. 鹿毛色土 ロームブロック $\phi=0.5 \sim 1.0$ cm程度, $A - C = 0.5 \sim 1.0$ cm程度含む。しまりややあります。粘性ややあります。
18. 黒色土 $A - C < 0.5$ cm $A - B = 0.2$ cm、ロームブロック $\phi=0.5$ cm程度含む。しまりややあります。粘性ややあります。
19. 布縞色土 ロームブロック $\phi=0.5 \sim 2.0$ cm程度, $A - B = 0.2$ cm程度, $A - C < 0.5$ cm程度含む。しまりややあります。粘性ややあります。
20. 布縞色土 ロームブロック $\phi=0.5 \sim 2.0$ cm程度, $A - B = 0.2$ cm程度, $A - C < 0.5$ cm程度含む。しまりややあります。粘性ややあります。
21. に面く黄褐色土 ロームブロック $\phi=0.5 \sim 5.0$ cm程度, $A - B = 0.2$ cm程度, $A - C < 0.5$ cm程度含む。しまり強。粘性ややあります。

D-40号土坑



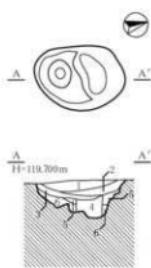
D-41号土坑



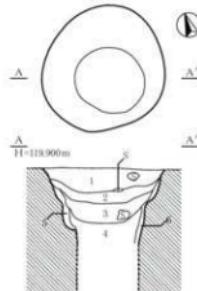
D-41号土坑土層説明

1. 増灰色土 A s-B φ 0.2 cm ロームブロック
φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 増灰色土 A s-B φ 0.2 cm ロームブロック
φ 0.5~1.0 cm少量。炭化鉄微量含む。しまり
ややあり。粘性あり。
3. 増褐色土 ロームブロック φ 0.5~1.0 cm中量。
A s-B φ 0.2 cm少量含む。しまりあり。粘性あり。
4. 増灰色土 A s-B φ 0.2 cm ロームブロック
φ 0.5cm少量含む。しまりややあり。粘性ややあり。

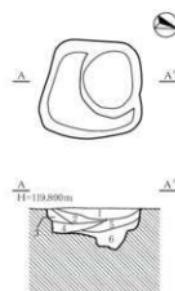
D-42号土坑



D-43号土坑



D-44号土坑



D-42号土坑土層説明

1. 増褐色土 A s-B φ 0.2 cm少量。A s-C φ
0.5 cm ロームブロック φ 0.5 cm微量含む。
しまりあり。粘性ややあり。
2. 増褐色土 A s-B φ 0.2 cm ロームブロック
φ 0.5 cm多量。A s-C φ 0.5 cm微量
含む。しまりややあり。粘性ややあり。
3. 増褐色土 ロームブロック φ 0.5~1.0 cm少量。
A s-C φ 0.5 cm A s-B φ 0.2 cm微量
含む。しまり弱。粘性ややあり。
4. 増褐色土 ローム粒 ロームブロック φ 0.5~
2.0 cm少量含む。しまりあり。
粘性ややあり。
5. にぶい黃褐色土 ローム粒 ロームブロック φ
0.5~3.0 cm多量。A s-Y P φ
0.5 cm少量含む。しまりやや強。
粘性ややあり。
6. 増褐色土 ローム粒 ロームブロック φ 0.5~
1.0 cm少量。A s-Y P φ 0.5 cm少量
含む。しまりあり。粘性ややあり。

D-42号土坑土層説明

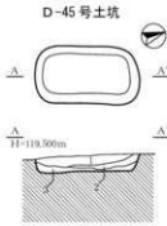
1. 増灰色土 A s-B φ 0.2 cm ロームブロック
φ 0.5 cm少量。炭化鉄
微量含む。しまりややあり。
2. 増灰色土 A s-B φ 0.2 cm少量。A s-C φ 0.5 cm
ロームブロック φ 0.5 cm中量含む。
しまりやや弱。粘性やや弱。
3. 増褐色土 A s-B φ 0.2 cm ロームブロック
φ 0.5 cm少量。A s-C φ 0.5 cm
微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
4. 増灰色土 A s-B φ 0.2 cm ロームブロック
φ 0.5 cm少量。A s-C φ 0.5 cm微量含む。
しまり弱。粘性やや弱。
5. 増褐色土 ロームブロック φ 0.5~2.0 cm中量。
A s-B φ 0.2 cm微量含む。
しまり弱。粘性やや弱。
6. 増褐色土 A s-B φ 0.2 cm微量含む。
しまり弱。粘性やや弱。

D-44号土坑土層説明

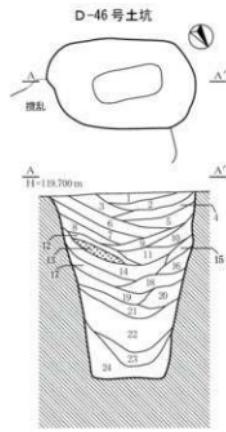
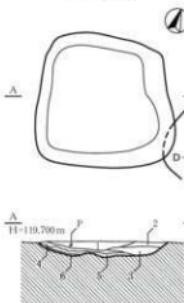
1. 黒褐色土 A s-C φ 0.5 cm中量。ロー
ムブロック φ 0.5 cm中量含む。
しまりあり。粘性ややあり。
2. 増褐色土 A s-C φ 0.5 cm ロームブ
ロック φ 0.5 cm中量含む。
しまりあり。粘性ややあり。
3. 黑褐色土 A s-C φ 0.5 cm中量。ロー
ムブロック φ 0.5 cm少量含む。
しまりあり。粘性ややあり。
4. 黑褐色土 ロームブロック φ 0.5~1.0
cm中量。A s-C φ 0.5 cm少量含
む。しまりあり。
粘性ややあり。
5. 黑褐色土 A s-C φ 0.5 cm ロームブ
ロック φ 0.5~1.0 cm少量含
む。しまりあり。
6. 増褐色土 ロームブロック φ 0.5~4.0
cm中量。A s-C φ 0.5 cm少量
含む。しまりあり。
粘性ややあり。

0 1:60 2m

Fig. 67 土坑 (8)



D-47号土坑



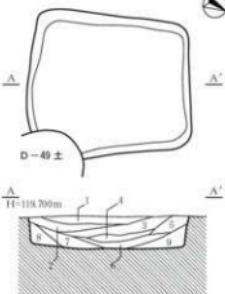
■ A-C一次堆積層

0 1:60 2m

D-45号土坑土層説明

- 暗褐色土 A-B φ 0.2 cm・ロームブロックφ 0.5 ~ 2.0 cm中量、A-C φ 0.2 cm・H=F-A φ 0.5 cm少量含む。
しまりややあり。粘性やや弱。
- 暗灰色土 A-B φ 0.2 cm中量、A-C φ 0.5 cm・ロームブロックφ 0.5 cm少量含む。
しまりやや弱。粘性やや弱。
- 暗褐色土 A-B φ 0.2 cm・ロームブロックφ 0.5 ~ 2.0 cm中量、A-C φ 0.5 cm少量含む。
しまりややあり。粘性やや弱。

D-48号土坑



D-48号土坑土層説明

- 暗褐色土 A-C φ 0.5 cm・A-B φ 0.2 cm・ロームブロックφ 0.5 ~ 2.0 cm少量含む。
しまりあり。粘性やや弱。
- 黒褐色土 A-C φ 0.5 cm・A-B φ 0.2 cm・ロームブロックφ 0.5 ~ 2.0 cm中量、H=F-A φ 0.5 cm少量含む。
しまりあり。粘性やや弱。
- 黒褐色土 A-B φ 0.2 cm中量、A-C φ 0.5 cm・ロームブロックφ 0.5 ~ 2.0 cm少量含む。
しまりあり。粘性やや弱。
- 黒褐色土 A-B φ 0.2 cm・ロームブロックφ 0.5 ~ 1.0 cm中量、A-C φ 0.5 cm少量含む。
あら。人為埋土。
- 黒褐色土 A-C φ 0.5 cm・ロームブロックφ 0.5 ~ 1.0 cm中量、A-B φ 0.2 cm少量含む。
しまりやや強。粘性やや弱。
- 黒褐色土 A-C φ 0.5 cm・A-B φ 0.2 cm少量含む。
人為埋土。
- 黒褐色土 A-C φ 0.5 cm・ロームブロックφ 0.5 ~ 1.0 cm中量、A-B φ 0.2 cm少量含む。
しまりやや強。粘性やや弱。
- 黒褐色土 A-B φ 0.2 cm・ロームブロックφ 0.5 ~ 1.0 cm中量、A-C φ 0.5 cm少量含む。
しまりあり。粘性やや弱。
- 黒褐色土 A-B φ 0.2 cm・ロームブロックφ 0.5 ~ 1.0 cm中量、A-C φ 0.5 cm少量含む。
しまりあり。粘性やや弱。

Fig. 68 土坑 (9)

D-49号土坑·P-620

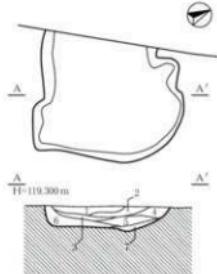


A geological cross-section labeled A-A'. The diagram shows a vertical column of rock layers. Layer 1 is at the top, followed by layer 2, then a thick, hatched layer representing shale. Layer 4 is a thin, light-colored layer above layer 5. Layer 6 is a thin, light-colored layer below layer 5. Layer 3 is at the very bottom. Numbered labels 1 through 6 point to these respective layers.

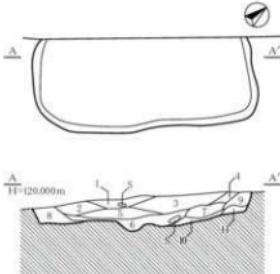
- P-620-D-49 土壌微生物群落

 1. 嗜酸灰土 A + B + C 2.0cm層中, A + C + ϕ 0.5cm, ローム+プロック ϕ 0.5cm 少量含む。しまりややあります。粘性ややあります。
 2. 嗜酸灰土 A + C + ϕ 0.5cm, A + B + ϕ 0.2cm少量含む。しまり弱。粘性ややあります。
 3. 嗜酸白土 ローム+プロック ϕ 0.5~2.0cm 層中, A + C + ϕ 0.5cm, A + B + ϕ 0.2cm少量化。しまりあります。粘性ややあります。
 4. 黑褐色土 A + C + ϕ 0.5cm層中, ローム+ プロック ϕ 0.5cm少量含む。しまりあります。粘性ややあります。
 5. 黑褐色土 A + C + ϕ 0.5cm層中, ローム+ プロック ϕ 0.5cm少量化。しまりあります。粘性ややあります。
 6. 嗜酸褐土 A + C + ϕ 0.5cm, ローム+プロック ϕ 0.5~1.0cm少量化。しまります。粘性ややあります。
 7. 嗜酸灰土 ローム+プロック ϕ 0.5~1.0cm層中, A + C + ϕ 0.5cm少量含む。しまりあります。粘性ややあります。

D-51号土坑



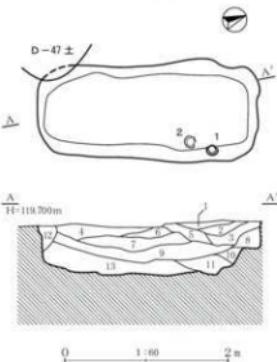
D-52号土坑



D-51 脊土坑土層說明

1. 黒褐色土 A + C < 0.5 cm中量。ロームブロックや0.5 cm細粒含む。
しまり強。粘性ややあり。
 2. 増褐色土 A + C < 0.5 cm中量。ロームブロックや0.5 cm細粒含む。
しまり強。粘性ややあり。
 3. 増褐色土 ロームブロックや0.5 ~ 1.0 cm中量。A + C < 0.5 cm少數含む。
しまり強。粘性ややあり。
 4. 増褐色土 A + C < 0.5 cm。ロームブロックや0.5 ~ 1.0 cm少數含む。炭化鉄含む。
しまりやや。粘性ややあり。
 5. 増褐色土 ロームブロックや0.5 ~ 2.0 cm多量。A + C < 0.5 cm少數含む。
しまりより。粘性ややあり。
 6. 増褐色土 ロームブロックや0.5 ~ 2.0 cm多量。A + C < 0.5 cm少數。
炭化鉄含む。
粘性ややあり。
 7. 增褐色土 ロームブロックや0.5 ~ 2.0 cm少量。A + C < 0.5 cm少數含む。
しまりあり。粘性ややあり。
 1. 増褐色土 A + C < 0.5 cm中量。Hr + FA 軽石や0.5 cm細粒含む。
しまり弱。粘性弱。
 2. 増褐色土 A + C < 0.5 cm中量。ロームブロックや0.5 ~ 3.0 cm細粒含む。
しまり弱。粘性弱。
 3. 黒褐色土 A + C < 0.5 cm中量。Hr + FA 軽石や0.5 cm少數。
ロームブロックや0.3 cm
地土細粒含む。
しまりやややや。粘性ややあり。
 4. 増褐色土 A + C < 0.5 cm中量。Hr + FA 軽石や0.8 cm
ローム0.3 cm細粒含む。
しまりやや。粘性ややあり。
 5. 増褐色土 A + C < 0.5 cm中量。Hr + FA 軽石や0.5 cm
ローム0.3 cm細粒含む。
しまりやや。粘性やや。
 6. 増褐色土 ロームブロックや0.1 ~ 3.0 cm中量。
A + C < 0.5 cm少數含む。
しまりやや。粘性やや。
 7. 黑褐色土 ロームブロックや0.3 ~ 3.0 cm中量。A + C < 0.5 cm
少數含む。
しまりやや。粘性やや。
 8. 黃褐色土 ロームブロックや0.5 ~ 2.0 cm多量。A + C <
0.5 cm少數含む。
しまり弱。粘性ややあり。
 9. 増褐色土 ロームブロックや0.1 ~ 3.0 cm中量。
A + C < 0.5 cm少數含む。
しまりやや。粘性やや。
 10. 増褐色土 ロームブロックや0.1 ~ 2.0 cm多量。
A + C < 0.5 cm少數含む。
しまりやや。粘性弱。
 11. 増褐色土 ロームブロックや0.1 ~ 3.0 cm中量。
A + C < 0.5 cm少數含む。
しまりやや。粘性やや。

D-50 号土壤



D-50号土坑土质说明

- 暗褐色土 A × C 0.5cm・ロームブロック 0.5 × 0.5cm 少量、Hr-F A × C 0.5cm・炭化粘土微含む。しまりあり。
 - 暗褐色土 A × C 0.5cm・ロームブロック 0.5 × 1.0cm 少量含む。しまりあり。
 - にふく 黄褐色土 ロームブロック 0.5 × 3.0cm 多量、A × C 0.5cm 略含む。
しまりあり。粘性ややあり。
 - 暗褐色土 ロームブロック 0.5 × 3.0cm 中量、A × C 0.5cm 少量、炭化粘土微含む。
しまりあり。粘性ややあり。
 - 暗褐色土 A × C 0.5cm・ロームブロック 0.5 × 0.5cm 少量、炭化粘土微含む。
しまりあり。粘性ややあり。
 - にふく 黄褐色土 ロームブロック 0.5 × 5.0cm 略量、A × C 0.5cm・炭化粘土微含む。
しまりあり。粘性ややあり。
 - にふく 黄褐色土 ロームブロック 0.5 × 10.0cm 多量、A × C 0.5cm 略含む。
しまりあり。粘性ややあり。
 - にふく 黄褐色土 ロームブロック 0.5 × 10.0cm 多量、A × C 0.5cm 略含む。
しまりあり。粘性ややあり。
 - 暗褐色土 ロームブロック 0.5 × 2.0cm 中量、A × C 0.5cm 少量含む。しまりあり。
 - 暗褐色土 ロームブロック 0.5 × 3.0cm 多量、A × C 0.5cm 略含む。しまりあり。
 - 暗褐色土 A × C 0.5cm・ロームブロック 0.5 × 2.0cm 少量含む。しまりあり。
 - 暗褐色土 A × C 0.5cm・ロームブロック 0.5 × 2.0cm 少量含む。しまりあり。
 - にふく 黄褐色土 ロームブロック 0.5 × 20.0cm 多量含む。しまり張。粘性ややあり。
 - 黒褐黄褐色土 ロームブロック 0.5 × 5.0cm 中量、A × C 0.5cm 少量含む。

Fig. 69 土坑 (10)

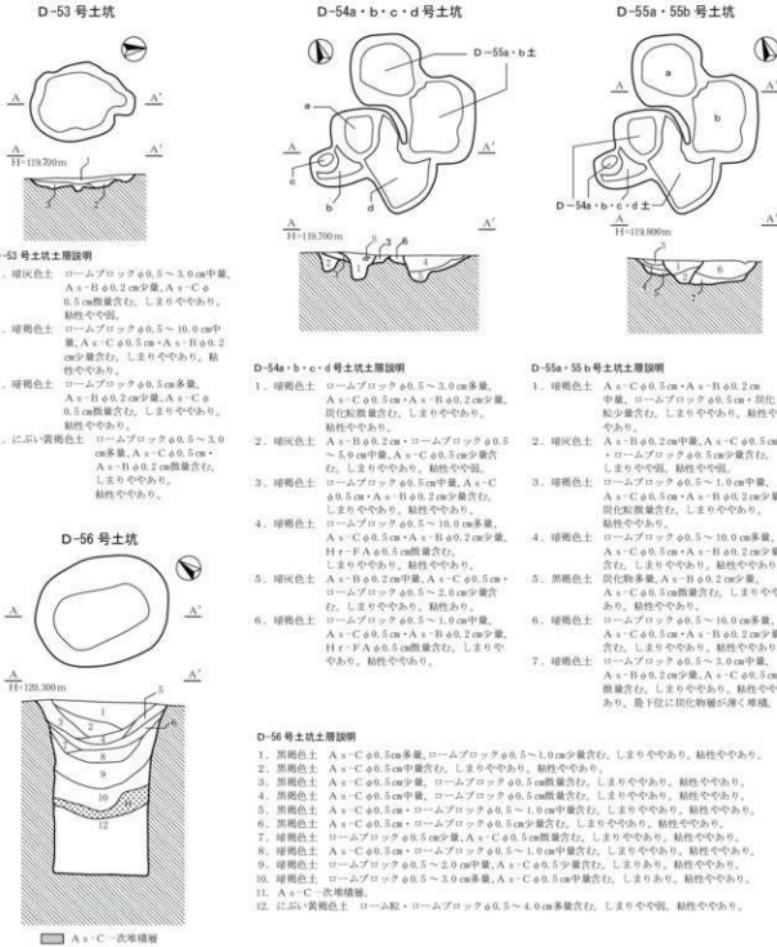


Fig. 70 土坑 (11)

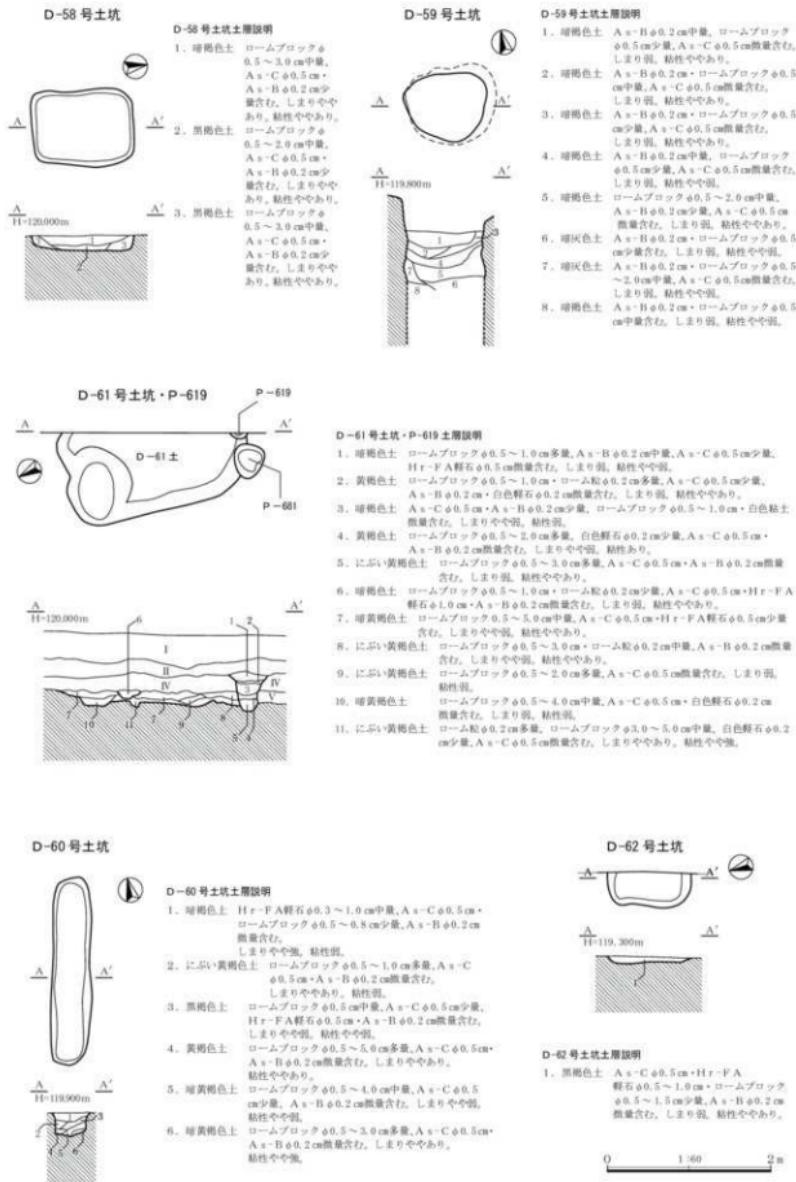
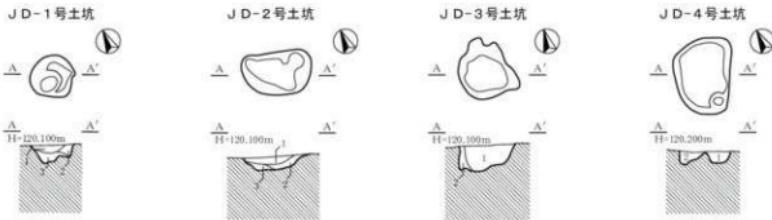


Fig. 71 土坑 (12)



J D-1号土坑土層説明

- 暗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5$ cm 少量含む。しまりあり。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm中量含む。しまり強。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5$ cm 少量含む。しまりややあり。粘性やや弱。

J D-2号土坑土層説明

- 暗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5$ cm 中量含む。しまりあり。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm中量含む。しまり強。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm中量含む。しまりやや。粘性やや弱。

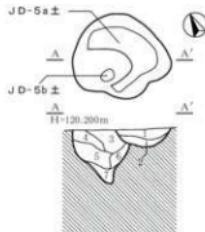
J D-3号土坑土層説明

- 暗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm中量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm中量含む。しまり強。粘性やや弱。

J D-4号土坑土層説明

- 暗褐色土 ローム板・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm 中量含む。しまり強。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ローム板・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm 中量含む。しまり強。粘性やや弱。

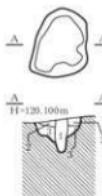
J D-5a・5b号土坑



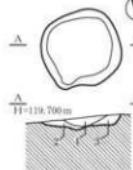
J D-5a・5b号土坑土層説明

- 暗褐色土 A-s-Y P $\phi 0.5$ cm・ローム板・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm少量含む。しまり強。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ローム板・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm中量。ローム板・A-s-Y P $\phi 0.5$ cm少量含む。しまり強。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ローム板・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm中量。A-s-Y P $\phi 0.5$ cm少量含む。しまり強。粘性やや弱。
- にぶい黃褐色土 ローム板多量。ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm。A-s-Y P $\phi 0.5$ cm少量含む。しまり強。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ローム板中量。ロームブロック $\phi 0.5$ cm・炭化粧・A-s-Y P $\phi 0.5$ cm少量含む。しまり強。粘性やや弱。
- にぶい黃褐色土 ローム板・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm多量。ローム板中量含む。しまり強。粘性やや弱。
- にぶい黃褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm多量。ローム板中量含む。しまり強。粘性やや弱。

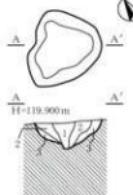
J D-6号土坑



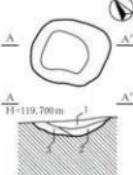
J D-7号土坑



J D-8号土坑



J D-9号土坑



J D-6号土坑土層説明

- 暗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm中量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm中量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm中量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。

J D-7号土坑土層説明

- 暗褐色土 ローム板少量。しまりややあり。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ローム板・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm中量含む。しまり強。粘性やや弱。
- にぶい黃褐色土 ローム板・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm多量。しまり強。粘性やや弱。

J D-8号土坑土層説明

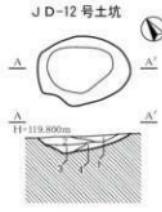
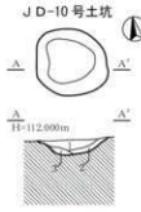
- 暗褐色土 ローム板少量含む。しまりややあり。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ローム板・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm中量含む。しまり強。粘性やや弱。
- にぶい黃褐色土 ローム板・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm多量。しまり強。粘性やや弱。

J D-9号土坑土層説明

- 暗褐色土 ローム板中量含む。しまりあり。粘性やや弱。
- にぶい黃褐色土 ローム板多量含む。しまりあり。粘性やや弱。
- にぶい黃褐色土 ローム板多量含む。しまりあり。粘性やや弱。

0 1:60 2 m

Fig. 72 土坑 (13)



JD-10号土坑土壤剖面図

- 暗褐色土 ローム粘中量、ロームブロック $\phi 0.5$ cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。
- にぶい黄褐色土 ローム粘・ロームブロック
 $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm多量含む。しまり強。粘性やや弱。
- にぶい黄褐色土 ローム粘・ロームブロック
 $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm中量含む。しまり強。粘性やや弱。

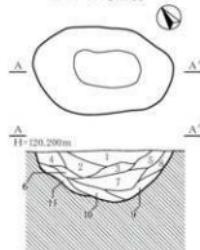
JD-11号土坑土壤剖面図

- 暗褐色土 ローム粘中量、ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm少量含む。しまり弱。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5$ cm少量含む。しまり強。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm中量含む。しまり強。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm多量含む。しまり強。粘性やや弱。

JD-12号土坑土壤剖面図

- 暗褐色土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5$ cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5$ cm少量含む。しまり強。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm中量含む。しまり強。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm多量、ローム粘中量含む。しまり強。粘性やや弱。

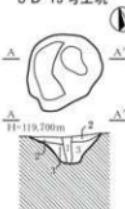
JD-14号土坑



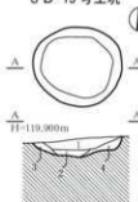
JD-14号土坑土壤剖面図

- 黒褐色土 A-Y P $\phi 0.5$ cm・ローム粘中量含む。しまり強。粘性やや弱。
- 黒褐色土 ローム粘・白色輝石 $\phi 0.2$ cm中量、A-Y P $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり強。粘性やや弱。
- 黒褐色土 白色輝石 $\phi 0.2$ cm・ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5$ cm少量、A-Y P $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり強。粘性やや弱。
- にぶい黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm多量、ローム粘中量、A-Y P $\phi 0.5$ cm・白色輝石 $\phi 0.2$ cm微量含む。しまり強。粘性やや弱。
- にぶい黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 10.0$ cm多量、ローム粘中量、A-Y P $\phi 0.5$ cm・白色輝石 $\phi 0.2$ cm微量含む。しまり強。粘性やや弱。
- にぶい黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm中量、A-Y P $\phi 0.5$ cm・白色輝石 $\phi 0.2$ cm少量含む。しまり強。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ローム粘中量、白色輝石 $\phi 0.2$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm少量、A-Y P $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり強。粘性やや弱。
- にぶい黄褐色土 ローム粘多量、ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm中量、A-Y P $\phi 0.5$ cm・白色輝石 $\phi 0.2$ cm微量含む。しまり強。粘性やや弱。
- にぶい黄褐色土 ローム粘中量、A-Y P $\phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm少量、白色輝石 $\phi 0.2$ cm微量含む。しまり強。粘性やや弱。
- にぶい黄褐色土 ローム粘中量、ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm少量、A-Y P $\phi 0.5$ cm・白色輝石 $\phi 0.2$ cm微量含む。しまり強。粘性やや弱。
- にぶい黄褐色土 ローム粘多量、ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm中量、A-Y P $\phi 0.5$ cm・白色輝石 $\phi 0.2$ cm微量含む。しまり強。粘性やや弱。

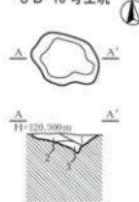
JD-13号土坑



JD-15号土坑



JD-16号土坑



JD-13号土坑土壤剖面図

- 暗褐色土 ローム粘中量、ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
- にぶい黄褐色土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm中量含む。しまり強。粘性やや弱。
- にぶい黄褐色土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm多量含む。しまり強。粘性やや弱。

JD-15号土坑土壤剖面図

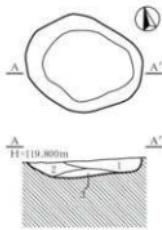
- 暗褐色土 ローム粘少量、A-Y P $\phi 0.5$ cm・白色輝石 $\phi 0.2$ cm微量含む。しまり強。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm少量含む。しまり強。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ローム粘中量、ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm少量、白色輝石 $\phi 0.2$ cm微量含む。しまり強。粘性やや弱。
- にぶい黄褐色土 ローム粘多量、ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm少量、A-Y P $\phi 0.5$ cm・白色輝石 $\phi 0.2$ cm微量含む。しまり強。粘性やや弱。

JD-16号土坑土壤剖面図

- 暗褐色土 ローム粘少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm少量含む。しまりやや弱。
- 暗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm少量含む。しまりやや弱。

Fig. 73 土坑 (14)

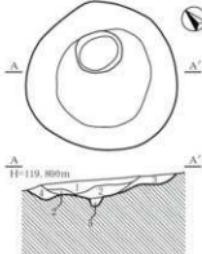
J D-17号土坑



J D-17号土坑土層説明

1. 塗褐色土 ローム粘中量, A s + Y P ϕ 0.5 cm微量含む, しまりあり, 粘性やや弱。
2. 塗褐色土 ローム粘中量, ロームブロック ϕ 0.5~1.0 cm少量, A s + Y P ϕ 0.5 cm微量含む, しまりあり, 粘性やや弱。
3. にぶい黄褐色土 ローム粘多量, ロームブロック ϕ 0.5~1.0 cm少量, A s + Y P ϕ 0.5 cm微量含む, しまり強, 粘性やや弱。

J D-18号土坑



J D-18号土坑

1. 塗褐色土 ローム粘少量, A s + Y P ϕ 0.5 cm微量含む, しまりあり, 粘性やや弱。
2. 塗褐色土 ローム粘中量, A s + Y P ϕ 0.5~1.0 cm少量含む, しまり強, 粘性やや弱。
3. 塗褐色土 ローム粘, ロームブロック ϕ 0.5~1.0 cm少量含む, しまり強, 粘性やや弱。
4. にぶい黄褐色土 ローム粘・ロームブロック ϕ 0.5~1.0 cm中量, A s + Y P ϕ 0.5 cm微量含む, しまり強, 粘性やや弱。
5. 塗褐色土 ローム粘中量, ロームブロック ϕ 0.5 cm少量, A s + Y P ϕ 0.5 cm微量含む, しまり強, 粘性やや弱。

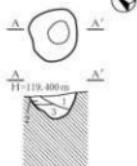
J D-19号土坑



J D-19号土坑土層説明

1. 塗褐色土 ローム粘中量, 白色鮮石 ϕ 0.2 cm微量含む, しまりやや弱。
2. にぶい黄褐色土 ローム粘, ロームブロック ϕ 0.5~1.0 cm中量含む, しまり強, 粘性やや弱。
3. にぶい黄褐色土 ローム粘多量, ロームブロック ϕ 0.5~3.0 cm中量, A s + Y P ϕ 0.5 cm微量含む, しまり強, 粘性やや弱。

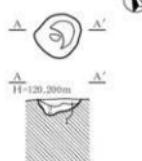
J D-20号土坑



J D-20号土坑

1. 塗褐色土 ローム粘中量, A s + Y P ϕ 0.5 cm, 白色鮮石 ϕ 0.2 cm, ロームブロック ϕ 0.5 cm微量含む, しまり強, 粘性やや弱。
2. にぶい黄褐色土 ロームブロック ϕ 0.5~3.0 cm多量, 白色鮮石 ϕ 0.2 cm微量含む, しまり強, 粘性やや弱。
3. にぶい黄褐色土 ローム粘・ロームブロック ϕ 0.5~2.0 cm中量含む, しまり強, 粘性やや弱。

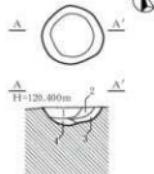
J D-21号土坑



J D-21号土坑土層説明

1. 塗褐色土 ローム粘・ロームブロック ϕ 0.5~1.0 cm少量含む, しまりやや弱, 粘性やや弱。
2. 塗褐色土 ローム粘中量, ロームブロック ϕ 0.5~3.0 cm少量含む, しまり強, 粘性やや弱。

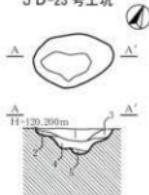
J D-22号土坑



J D-22号土坑土層説明

1. 塗褐色土 白色鮮石 ϕ 0.2 cm中量, ローム粘少量, A s + Y P ϕ 0.5 cm微量含む, しまり強, 粘性やや弱。
2. 塗褐色土 ローム粘少量, ロームブロック ϕ 0.2 cm少量含む, しまり強, 粘性やや弱。
3. にぶい黄褐色土 ローム粘・ロームブロック ϕ 0.5~3.0 cm中量含む, 白色鮮石 ϕ 0.2 cm少量含む, しまり強, 粘性やや弱。
4. 塗褐色土 ローム粘・ロームブロック ϕ 0.5~2.0 cm中量, A s + Y P ϕ 0.5 cm, 白色鮮石 ϕ 0.2 cm微量含む, しまり強, 粘性やや弱。
5. にぶい黄褐色土 ローム粘・ロームブロック ϕ 0.5~3.0 cm多量含む, しまりやや強, 粘性やや弱。

J D-23号土坑

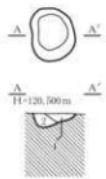


J D-23号土坑土層説明

1. 塗褐色土 白色鮮石 ϕ 0.2 cm, ローム粘少量, A s + Y P ϕ 0.5 cm微量含む, しまりやや弱, 粘性やや弱。
2. 塗褐色土 ローム粘少量, A s + Y P ϕ 0.5 cm, 白色鮮石 ϕ 0.2 cm微量含む, しまりやや弱, 粘性やや弱。
3. にぶい黄褐色土 ローム粘, ロームブロック ϕ 0.5~2.0 cm, 白色鮮石 ϕ 0.2 cm中量, A s + Y P ϕ 0.5 cm微量含む, しまりやや強, 粘性やや弱。
4. 塗褐色土 13~14.5 cm, ロームブロック ϕ 0.5~2.0 cm中量, A s + Y P ϕ 0.5 cm, 白色鮮石 ϕ 0.2 cm微量含む, しまりやや弱, 粘性やや弱。
5. にぶい黄褐色土 ローム粘・ロームブロック ϕ 0.5~3.0 cm多量含む, しまりやや強, 粘性やや弱。

Fig. 74 土坑 (15)

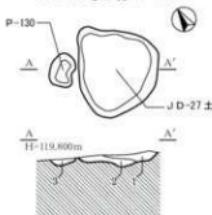
J D-24 号土坑



J D-24号土坑土層説明

1. 塗褐色土 ローム粘少量含む。しまり強。
粘性ややあり。
2. にぶい黄褐色土 ローム粘・ロームブロック
 $\phi 0.5 \sim 4.0\text{ cm}$ 多量。
 $A + Y P \phi 0.5\text{ cm}$ 微量含む。
しまり強。粘性ややあり。

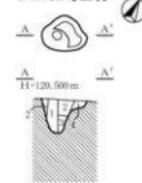
J D-27 号土坑・P-130



J D-27号土坑・P130 土層説明

1. 塗褐色土 ローム粘中量、ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0\text{ cm}$ 少量含む。しまりあり。粘性やや強。
2. にぶい黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 5.0\text{ cm}$ 多量。ローム粘中量。
 $A + Y P \phi 0.5\text{ cm}$ 微量含む。
しまりあり。粘性やや弱。
3. 塗褐色土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0\text{ cm}$ 中量含む。しまりあり。粘性やや弱。

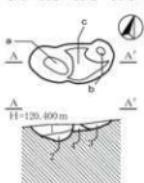
J D-29 号土坑



J D-29号土坑土層説明

1. 塗褐色土 $A + Y P \phi 0.5\text{ cm}$ ・ローム粘少量含む。しまり強。
粘性やや弱。
2. 塗褐色土 $A + Y P \phi 0.5\text{ cm}$ ・ローム粘・ロームブロック
 $\phi 0.5 \sim 1.0\text{ cm}$ 少量含む。しまり強。粘性やや弱。
3. 塗褐色土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5\text{ cm}$ 微量含む。しまり強。粘性やや弱。
4. にぶい黄褐色土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0\text{ cm}$ 中量。
 $A + Y P \phi 0.5\text{ cm}$ 微量含む。しまり強。
粘性やや弱。

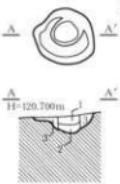
J D-30a・30b・30c 号土坑



J D-30a・30b・30c 号土坑土層説明

1. 塗褐色土 ローム粘中量、 $A + Y P \phi 0.5\text{ cm}$ 微量含む。しまり強。
粘性やや弱。
2. にぶい黄褐色土 ローム粘多量、 $A + Y P \phi 0.5\text{ cm}$ 少量含む。しまり強。
粘性やや弱。
3. 塗褐色土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0\text{ cm}$ 少量。
 $A + Y P \phi 0.5\text{ cm}$ 微量含む。しまり強。粘性やや弱。
4. にぶい黄褐色土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0\text{ cm}$ 中量。
 $A + Y P \phi 0.5\text{ cm}$ 微量含む。しまり強。粘性やや弱。

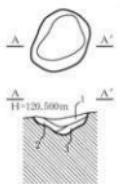
J D-25 号土坑



J D-25号土坑土層説明

1. 塗褐色土 ローム粘中量、ロームブロック $\phi 0.5\text{ cm}$ 少量。
 $A + Y P \phi 0.5\text{ cm}$ 微量含む。しまり強。粘性やや弱。
2. 塗褐色土 ローム粘中量含む。しまりあり。
粘性やや弱。
3. にぶい黄褐色土 ローム粘・ロームブロック
 $\phi 0.5 \sim 2.0\text{ cm}$ 中量含む。しまりあり。粘性やや弱。

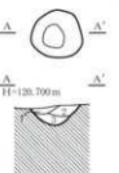
J D-26 号土坑



J D-26号土坑土層説明

1. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0\text{ cm}$ 中量。ローム粘少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
2. 塗褐色土 ローム粘中量、ロームブロック
 $\phi 0.5\text{ cm}$ 少量含む。しまりやや弱。
3. 塗褐色土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0\text{ cm}$ 中量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。

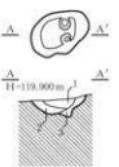
J D-31 号土坑



J D-31号土坑土層説明

1. 塗褐色土 ローム粘少量含む。しまり強。
粘性やや強。
2. 塗褐色土 ローム粘中量、ロームブロック
 $\phi 0.5 \sim 1.0\text{ cm}$ 少量。 $A + Y P \phi 0.5\text{ cm}$ 微量含む。しまり強。
粘性やや弱。
3. 塗褐色土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0\text{ cm}$ 中量含む。しまり強。粘性やや弱。

J D-32 号土坑

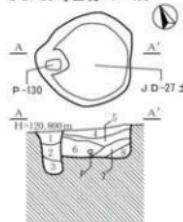


J D-32号土坑土層説明

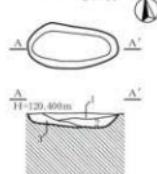
1. 塗褐色土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0\text{ cm}$ 少量。 $A + Y P \phi 0.5\text{ cm}$ 微量含む。しまり強。粘性やや弱。
2. 塗褐色土 ローム粘 $\phi 0.5 \sim 2.0\text{ cm}$ 中量。ローム粘少量。 $A + Y P \phi 0.5\text{ cm}$ 微量含む。しまり強。
粘性やや弱。
3. にぶい黄褐色土 ローム粘・ロームブロック
 $\phi 0.5 \sim 1.0\text{ cm}$ 多量。
 $A + Y P \phi 0.5\text{ cm}$ 微量含む。しまり強。粘性やや弱。

Fig. 75 土坑 (16)

J D-33 号土坑 P-495



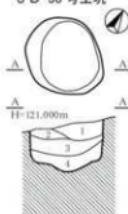
J D-34 号土坑



J D-34号土坑土層説明

1. 單褐色土 ローム粒少量含む。し
まり強。粘性やや弱。
2. 單褐色土 ローム粒・ロームブロッ
ク少量含む。し
まり強。粘性やや弱。
3. にぶい黄褐色土 ローム粒多量
含む。ロームブロ
ック少量含む。し
まり強。粘性やや弱。
4. にぶい黄褐色土 ローム粒・ローム
ブロック少量含む。し
まり強。粘性やや弱。
5. 單褐色土 ローム粒少量含む。し
まり強。粘性やや弱。
6. にぶい黄褐色土 ローム粒・ローム
ブロック少量含む。し
まり強。粘性やや弱。

J D-38 号土坑



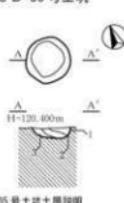
J D-38号土坑土層説明

1. 單褐色土 ローム粒・ロームブロック少量
～3.0cm中量。A s-Y P 0.5
cm・白色鮮石0.2cm少量。炭化
粒微量含む。し
まり強。粘性や
や弱。
2. 單褐色土 ロームブロック少量～5.0cm中
量。A s-Y P 0.5cm・白色鮮石
0.2cm少量。炭化
粒微量含む。し
まり強。粘性や
や弱。
3. にぶい黄褐色土 ローム粒・ロームブロッ
ク少量～5.5cm中量。A s-Y P
0.5cm・白色鮮石0.2
cm少量含む。し
まり強。粘性や
や弱。
4. にぶい黄褐色土 ローム粒・ロームブロッ
ク少量～2.0cm中量。
A s-Y P 0.5cm・白色
鮮石0.2cm微量含む。し
まり強。粘性や
や弱。

J D-33号土坑 P-495 土層説明

1. 單褐色土 ローム粒・ロームブロック少
量含む。し
まり強。粘性や
や弱。
2. 單褐色土 ローム粒・ロームブロック少
量～2.0cm中量。ローム粒少量。A s-Y P 0.5cm微量含
む。し
まり強。粘性や
や弱。
3. 單褐色土 ローム粒ブロック少量～3.0cm多
量。ローム粒少量。A s-Y P 0.5cm・炭化
粒微量含む。し
まり強。粘性や
や弱。
4. 單褐色土 ローム粒少量。A s-Y P 0.5cm・炭化
粒微量含む。し
まり強。粘性や
や弱。
5. 單褐色土 ローム粒少量。A s-Y P 0.5cm・炭化
粒微量含む。し
まり強。粘性や
や弱。
6. にぶい黄褐色土 ローム粒・ロームブロック少
量～1.0cm中量。A s-Y P 0.5cm・炭化
粒微量含む。し
まり強。粘性や
や弱。
7. 單褐色土 ローム粒少量。A s-Y P 0.5cm・ローム
ブロック少量含む。し
まり強。粘性や
や弱。
8. 單褐色土 ローム粒中量。ロームブロック少
量。A s-Y P 0.5cm・炭化
粒微量含む。し
まり強。粘性や
や弱。

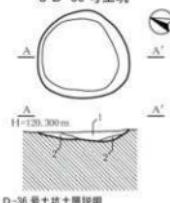
J D-35 号土坑



J D-35号土坑土層説明

1. 單褐色土 ロームブロック少量含む。し
まり強。粘性や
や弱。
2. 單褐色土 ローム粒・ロームブロッ
ク少量含む。A s-Y P
0.5cm微量含む。し
まり強。粘性や
や弱。
3. 單褐色土 ローム粒少量含む。し
まり強。粘性や
や弱。

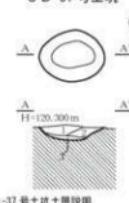
J D-36 号土坑



J D-36号土坑土層説明

1. にぶい黄褐色土 ローム粒多量。ロ
ームブロック少
量含む。し
まり強。粘性や
や弱。
2. にぶい黄褐色土 ローム粒多量。ロー
ムブロック少
量～1.0cm中量。A
s-Y P 0.5cm微量
含む。し
まり強。粘性や
や弱。

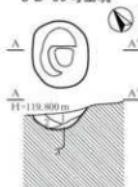
J D-37 号土坑



J D-37号土坑土層説明

1. にぶい黄褐色土 ローム粒多量。ロー
ムブロック少
量～1.0cm中量。A
s-Y P 0.5cm微量
含む。し
まり強。粘性や
や弱。
2. にぶい黄褐色土 ローム粒多量含
む。し
まり強。粘性や
や弱。
3. にぶい黄褐色土 ローム粒多量含
む。し
まり強。粘性や
や弱。

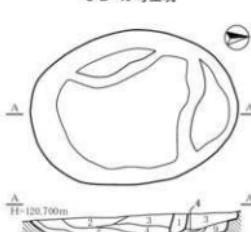
J D-39 号土坑



J D-39号土坑土層説明

1. にぶい黄褐色土 ローム粒・ロームブロック少
量～1.0cm中量含む。し
まり強。粘性や
や弱。
2. にぶい黄褐色土 ローム粒中量。ロームブロ
ック少量～1.0cm少
量含む。し
まり強。粘性や
や弱。
3. にぶい黄褐色土 ローム粒・ロームブロック少
量～2.0cm中量含む。し
まり強。粘性や
や弱。

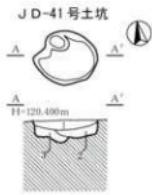
J D-40 号土坑



J D-40号土坑土層説明

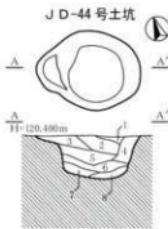
1. 單褐色土 白色鮮石0.2cm・ローム粒・ローム
ブロック少量含む。し
まりややあり。粘性や
や弱。
2. 單褐色土 ローム粒中量。白色鮮石0.2cm少量。A s-Y P 0.5cm炭化
粒微量含む。し
まり強。粘性や
や弱。
3. にぶい黄褐色土 ローム粒中量。A s-Y P 0.5cm・白色鮮石0.2cm・ロー
ムブロック少量含
む。し
まり強。粘性や
や弱。
4. にぶい黄褐色土 ローム粒中量。A s-Y P 0.5cm・白色鮮石0.2cm微量含
む。し
まり強。粘性や
や弱。
5. にぶい黄褐色土 ローム粒中量。A s-Y P 0.5cm・白色鮮石0.2cm・炭化
粒微量含む。し
まり強。粘性や
や弱。
6. にぶい黄褐色土 ローム粒多量含む。し
まり強。粘性や
や弱。
7. にぶい黄褐色土 ローム粒多量。ロームブロック少
量～0.5cm中量含
む。し
まり強。粘性や
や弱。
8. 單褐色土 ローム粒・ロームブロック少
量～0.5cm中量。A s-Y P 0.5cm・白色
鮮石0.2cm微量含
む。し
まり強。粘性や
や弱。
9. 單褐色土 ローム粒・ロームブロック少
量～1.0cm中量。A s-Y P 0.5cm・炭化
粒微量含む。し
まり強。粘性や
や弱。

Fig. 76 土坑 (17)



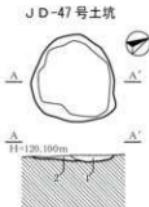
JD-41号土壤剖面图

1. 布穂色土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm中量, A = Y P $\phi 0.5$ cm少量含む。しまり強, 粘性や弱。
 2. にふい黄褐色土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm中量, A = Y P $\phi 0.5$ cm少量含む。しまり強, 粘性や弱。
 3. にふい黃褐色土 ローム粘多量, A = Y P $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり強, 粘性や弱。



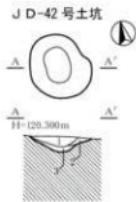
JD-44号土壤层说明

- 黄褐色土 しまり強い。粘性あり。
 - 灰黄褐色土 しまり強い。粘性あり。
 - 灰褐色土 しまり強い。粘性あり。A \times B P ϕ 0.2 cm層、黒色プロック1 cm微量。
 - 灰褐色土 しまり強い。粘性あり。A \times B P ϕ 0.2 cm層、黒色プロック0.2 ~ 0.5 cm微量。
 - 灰黄褐色土 しまり強い。粘性あり。A \times B P ϕ 0.2 cm中量。
 - 灰黄褐色土 しまり強い。粘性あり。A \times B P ϕ 0.2 cm少量。
 - 灰黄褐色土 しまり強い。粘性あり。A \times B P ϕ 0.2 cm少量。ロームプロック ϕ 0.2 ~ 0.5 cm微量。
 - 灰黄褐色土 しまり強い。粘性あり。A \times B P ϕ 0.2 cm少量。



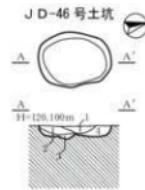
JD-47号土壤剖面图

1. 増粘色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm 中量、
ローム粒少量、炭化粒微量含む。
しまり強。粘性や弱。
2. 増粘色土 ローム粒・ロームブロック $\phi 0.5$ cm
少量含む。しまり強。粘性や弱。



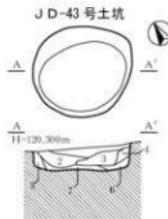
JD-42号土坑土层说明

- 暗褐色土 ロームブロック $0.5\sim3.0$ cm 中量、
A s + YP $0.5\sim0.6$ cm ローム混少量含む。
しまり強、粘性や半強。
 - にふい黄褐色土 ローム混中量、A s + YP $0.5\sim0.6$ cm ロームブロック $0.5\sim1.5$ cm 中量含む。
しまり強、粘性や半強。
 - にふい黄褐色土 ローム混 $0.5\sim3.0$ cm 中量、A s + YP $0.5\sim0.6$ cm 少量含む。
しまり強、粘性や半強。



1.D. 亂世女神

1. 雌褐色土 ローム粘少量。A s - YP φ 0.5 cm
無鉢栽培。しまり強。耐性やや弱。
 2. 雌褐色土 ローム中量。A s - YP φ 0.5 cm
無鉢栽培。しまり強。耐性やや弱。
 3. 雌褐色土 ローム量。ロームブロックφ 0.5 ~ 2.0 cm 中量含む。しまり強。
耐性やや弱。
 4. にぶい黄褐色土 ローム粘少量。ロームブロ
ックφ 0.5 ~ 3.0 cm 中量。
A s - YP φ 0.5 cm 白色鉢
石φ 0.2 cm 黒色鉢混む。
しまり強。耐性やや弱。



JD-43号土坑土质說明

1. 深褐色土 しゆあじきど 地性あまりない、粘性あまりない、A_s-B-P
0.2cm厚。

2. 亜褐色土 あじやきど 地性あり、粘性あまりない、A_s-B-P
0.2cm厚。A_s-Y-P_{0.3cm}層厚。
ローム^{シロウム}ヨコタ^{ヨコタ} 5cm~1m少厚。

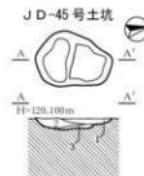
3. 灰褐色土 けいじやきど 地性あり、粘性あまりない、A_s-B-P
0.2cm厚。ローム^{シロウム}ヨコタ^{ヨコタ} 3mm厚。

4. 黄褐色土 こうじやきど 地性あまりない、粘性あまりない、A_s-B-P
0.2cm厚。

5. 黑褐色土 くろじやきど 地性あり、粘性^{シキニン}あり。

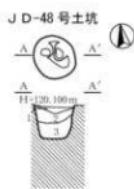
6. 黑灰褐色土 くろけいじやきど 地性あり、粘性^{シキニン}あり。A_s-B-P
0.3cm厚。

7. 灰褐色土 けいじやきど 地性あり、粘性^{シキニン}あり。A_s-B-P
0.3~3.5cm厚。



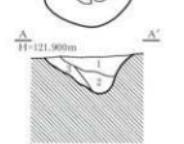
J.D.-45 号土壤主题说明

1. 雜褐色土 ローム松・ロームブロック約0.5cm量含む。しまり強。粘性やや弱。
 2. 雜褐色土 ローム松中量、ロームブロック約0.5cm少含む。しまり強。粘性やや弱。
 3. にぶい黃褐色土 ローム松多量、ロームブロック約0.5～1.0cm量含む。しまり強。粘性やや弱。



-1D-4

- 暗褐色土 ローム粒少混合。しまり強。粘性や小粒。
 - 暗褐色土 ローム粒・ロームブロック ϕ 0.5 cm・炭化鉄少量、A + Y'P ϕ 0.5 cm微混含。しまり強。粘性や小粒。
 - 暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm中量、ローム・炭化鉄少混合。しまり強。粘性や小粒。



JD-49号土壤

1. 喜褐色土 白色鮮石 ϕ 0.2 cm・ローム粒少量、炭化微細含む。しまり強、粘性やや弱。
 2. 喜褐色土 ローム粒中量、白色鮮石 ϕ 0.2 cm 少量、炭化微細含む。しまり強、粘性やや弱。
 3. 喜褐色土 ローム粒中量、白色鮮石 ϕ 0.2 cm 少量、炭化微細含む。しまり強、粘性やや弱。

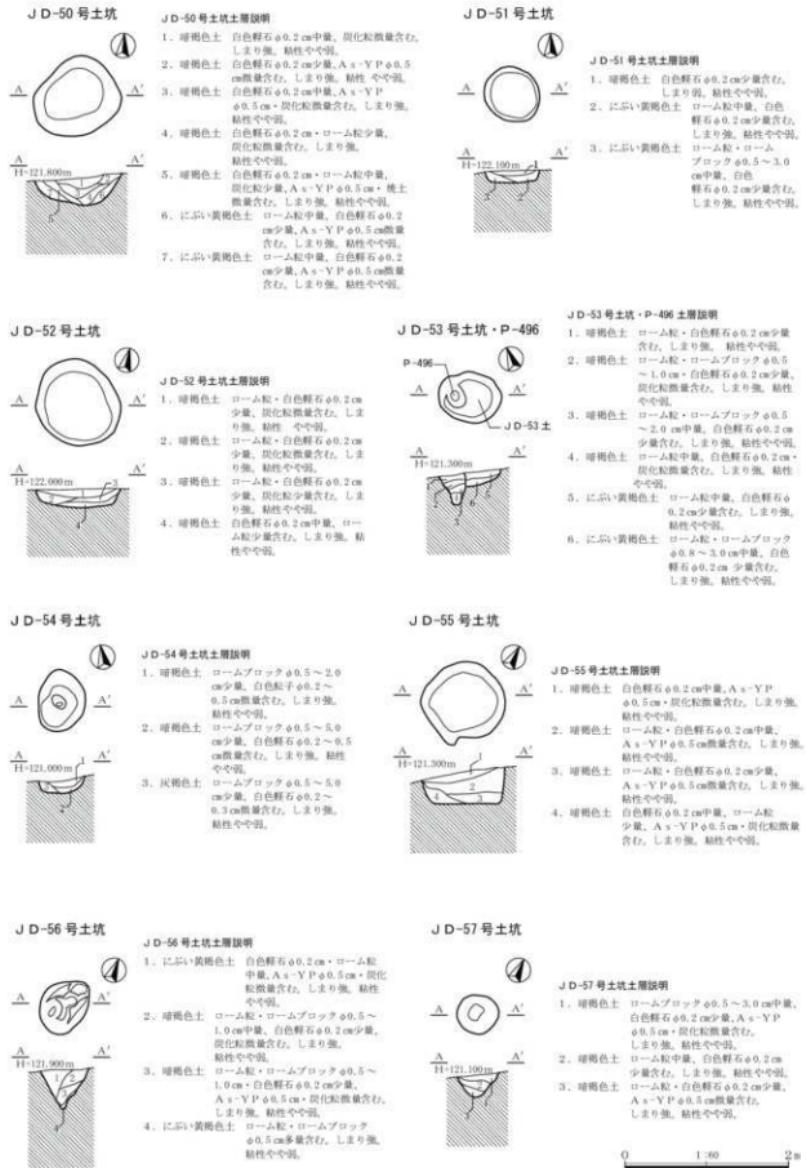
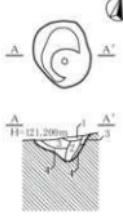
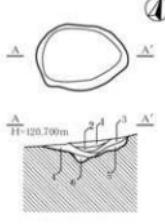


Fig. 78 土坑 (19)

J D-58 号土坑



J D-59 号土坑



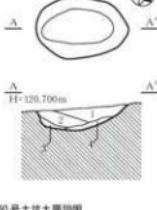
J D-58 号土坑土層説明

- 暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 cm・白色軽石 ϕ 0.2 cm少量含む。しまり強。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ローム粘中量。ロームブロック ϕ 0.5 cm・白色軽石 ϕ 0.2 cm少量含む。しまり強。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ローム粘・ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm少量。白色軽石 ϕ 0.2 cm少量含む。しまり強。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ローム粘・ロームブロック ϕ 0.5 ~ 2.0 cm中量。白色軽石 ϕ 0.2 cm少量含む。しまり強。粘性やや弱。

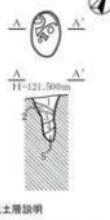
J D-59 号土坑土層説明

- 暗褐色土 ローム粘・白色軽石 ϕ 0.2 cm少量含む。しまり強。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ローム粘中量。白色軽石 ϕ 0.2 cm少量。A + Y P ϕ 0.5 cm微量含む。しまり強。粘性やや弱。
- にぶい黄褐色土 ローム粘・ロームブロック ϕ 0.5 cm少。A + Y P ϕ 0.5 cm微量含む。しまり強。粘性やや弱。
- にぶい黄褐色土 ローム粘・ロームブロック ϕ 0.5 ~ 2.0 cm中量。白色軽石 ϕ 0.2 cm微量含む。しまり強。粘性やや弱。
- にぶい黄褐色土 ローム粘・ロームブロック ϕ 0.5 ~ 2.0 cm多量。白色軽石 ϕ 0.2 cm微量含む。しまり強。粘性やや弱。
- にぶい黄褐色土 ローム粘・ロームブロック ϕ 0.5 ~ 2.0 cm中量。白色軽石 ϕ 0.2 cm微量含む。しまり強。粘性やや弱。

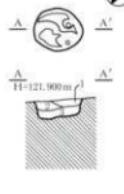
J D-60 号土坑



J D-61 号土坑



J D-63 号土坑



J D-60 号土坑土層説明

- 暗褐色土 ローム粘・ロームブロック ϕ 0.5 ~ 2.0 cm少量含む。しまり強。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ローム粘少量含む。しまり強。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ローム粘・ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm中量。ローム粘少量含む。しまり強。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ローム粘・ロームブロック ϕ 0.5 ~ 2.0 cm中量含む。しまり強。粘性やや弱。

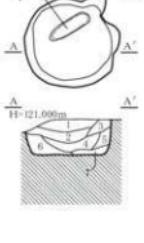
J D-61 号土坑土層説明

- 灰褐色土 白色粘子 ϕ 0.2 cm少。黄色粘子 ϕ 0.5 cm微量含む。しまり強。粘性やや弱。
- 灰褐色土 白色粘子 ϕ 0.2 cm中量。ロームブロック ϕ 0.5 cm微量含む。しまり強。粘性やや弱。
- 暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.2 cm・白色粘子 ϕ 0.5 cm微量含む。しまり強。粘性やや弱。
- 暗褐色土 白色粘子 ϕ 0.2 cm微量含む。しまり強。粘性やや弱。
- 暗褐色土 白色粘子 ϕ 0.2 cm微量含む。しまり強。粘性やや弱。

J D-63 号土坑土層説明

- 黄褐色土 しまりややあり。粘性あまりない。ロームブロック ϕ 0.5cm微量。
- 灰黄褐色土 しまりややあり。粘性あまりない。白色軽石 ϕ 0.3cm微量。
- 灰黄褐色土 しまりあまりない。黑色ブロック ϕ 1 ~ 2cm少。白色軽石 ϕ 0.3cm微量。

J D-62 号土坑

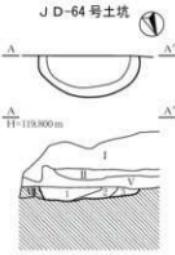


J D-62 号土坑土層説明

- 灰黃褐色土 白色軽石 ϕ 0.2 ~ 0.3 cm多量。A + B P ϕ 0.2 cm・ロームブロック ϕ 0.5 ~ 5.0 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。
- 灰褐色土 A + B P ϕ 0.2 cm・白色軽石 ϕ 0.2 ~ 0.5 cm少量。A + Y P ϕ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
- 暗褐色土 白色軽石 ϕ 0.2 cm少量含む。無色土ブロック ϕ 0.1 cm微量含む。しまり強。粘性やや弱。
- 暗褐色土 白色軽石 ϕ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しまりややあり。粘性やや弱。
- 灰黃褐色土 白色軽石 ϕ 0.2 ~ 0.3 cm少量含む。しまりややあり。粘性やや弱。
- 暗褐色土 白色軽石 ϕ 0.2 ~ 0.3 cm微量含む。しまりややあり。粘性やや弱。
- 暗褐色土 白色軽石 ϕ 0.2 cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。

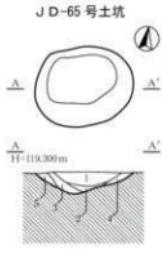
0 1:60 2m

Fig. 79 土坑 (20)



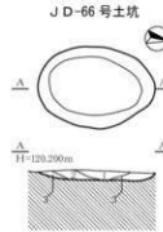
JD-64号土坑土層説明

1. 單褐色土 白色軽石 ϕ 0.2 cm・ロームブロック ϕ 0.5 cm少量。壤土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 單褐色土 ローム粘中量、ロームブロック ϕ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 單褐色土 ローム粘少量含む。しまりあり。



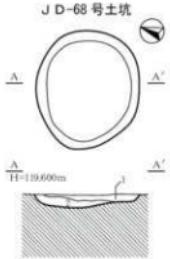
JD-65号土坑土層説明

1. 單褐色土 白色軽石 ϕ 0.2 cm・ロームブロック ϕ 0.5 ~ 5.0 cm少量。炭化物微量含む。しまり強。粘性ややあり。
2. 單褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 cm少量含む。白色軽石 ϕ 0.2 cm微量含む。しまり強。粘性ややあり。
3. 單褐色土 ローム粘中量、ロームブロック ϕ 0.5 cm少量含む。しまり強。粘性ややあり。
4. にい黄褐色土 ローム粘多量、白色軽石 ϕ 0.2 cm少量含む。しまり強。粘性ややあり。



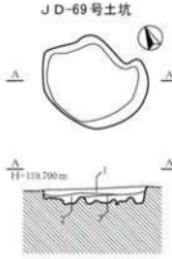
JD-66号土坑土層説明

1. 單褐色土 ローム粘・ロームブロック ϕ 0.5 cm少量。壤土微量含む。しまりやや強。粘性ややあり。
2. 單褐色土 ローム粘・ロームブロック ϕ 0.5 ~ 2.0 cm中量含む。しまりやや強。粘性ややあり。
3. 單褐色土 ローム粘・ロームブロック ϕ 0.5 cm少量含む。しまりやや強。粘性ややあり。



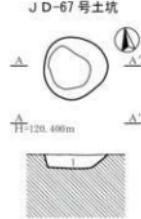
JD-68号土坑土層説明

1. 單褐色土 ローム粘少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 單褐色土 ローム粘・ロームブロック ϕ 0.5 ~ 3.0 cm中量。白色軽石 ϕ 0.2 cm少量含む。しまりやや強。粘性ややあり。



JD-69号土坑土層説明

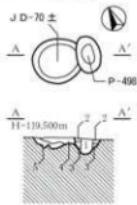
1. 單褐色土 ローム粘・ロームブロック ϕ 0.5 ~ 2.0 cm中量。白色軽石 ϕ 0.2 cm少量含む。しまりやや強。粘性ややあり。
2. 單褐色土 ローム粘・ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm中量。白色軽石 ϕ 0.2 cm微量含む。しまり強。粘性ややあり。
3. にい黄褐色土 ローム粘多量、ロームブロック ϕ 0.5 ~ 3.0 cm中量。白色軽石 ϕ 0.2 cm微量含む。しまり強。粘性ややあり。



JD-67号土坑土層説明

1. 單褐色土 ローム粘中量。ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。しまりやや強。粘性ややあり。

JD-70号土坑・P-498

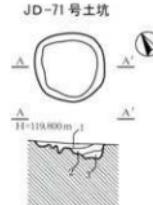


JD-70号土坑・P-498 土層説明

1. 黒褐色土 ローム粘少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 黑褐色土 ローム粘微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 單褐色土 ローム粘中量。ロームブロック ϕ 0.5 ~ 2.0 cm中量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 單褐色土 ローム粘・ロームブロック ϕ 0.5 ~ 2.0 cm少量含む。しまりやや強。粘性ややあり。
5. 單褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 2.0 cm中量。ローム粘少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

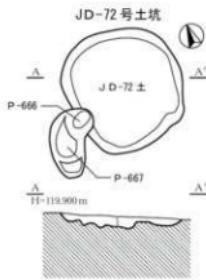
0 1:60 2m

Fig. 80 土坑 (21)



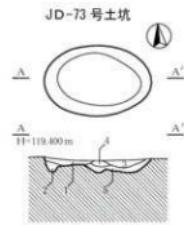
JD-71号土坑土層説明

1. 單褐色土 ローム粘・ロームブロック ϕ 0.5 cm少量含む。しまりやや強。粘性ややあり。
2. 單褐色土 ローム粘中量。ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. にい黄褐色土 ローム粘多量。ローム粘少量含む。しまりやや強。粘性ややあり。



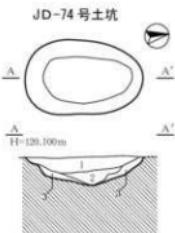
J D-72 号土坑土層説明

1. にぶい黄褐色土 ローム粘土・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm 中量含む。しまりややあり。
粘性ややあり。
2. 増粘土 ローム粘土・ロームブロック $\phi 0.5$ cm 少量含む。
しまりややあり。
粘性ややあり。
3. 増粘土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm 中量、ローム
粘少量含む。しまり強。
粘性ややあり。
4. 増粘土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm 少量含む。
しまり強。
粘性ややあり。
5. にぶい黄褐色土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm 多量含む。
しまりあり。
粘性ややあり。



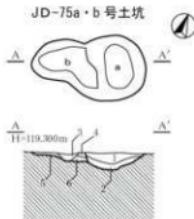
J D-73 号土坑土層説明

1. 増粘土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm
中量含む。しまりあり。
粘性ややあり。
2. 増粘土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5$ cm 少量含む。
しまりややあり。
粘性ややあり。
3. 増粘土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm 中量、ローム
粘少量含む。しまり強。
粘性ややあり。
4. 増粘土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm 少量含む。
しまり強。
粘性ややあり。
5. にぶい黄褐色土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm 多量含む。
しまりあり。
粘性ややあり。



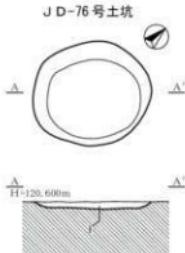
J D-74 号土坑土層説明

1. 増粘土 ローム粘中量。白色軽石 $\phi 0.2$ cm・
ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm 少量
含む。しまり強。
粘性ややあり。
2. 増粘土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm 中量、
ローム粘含む。しまり強。
粘性ややあり。
3. 増粘土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm 中量、
白色軽石 $\phi 0.2$ cm 少量
含む。しまり強。
粘性ややあり。



J D-75a・b 号土坑土層説明

1. 増粘土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm 多量含む。しまりやや弱。
粘性ややあり。
2. 增粘土 ローム粘中量。ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm 少量含む。しまりあり。
粘性やや少。
3. 増粘土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm 中量。
ローム粘少量含む。しまりあり。
粘性やや少。
4. 増粘土 ローム粘中量。ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm 少量含む。しまりあり。
粘性やや少。
5. にぶい黄褐色土 ローム粘・ロームブロック
 $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm 少量含む。しまりあり。
粘性やや少。
6. 増粘土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5$ cm 中量
含む。しまりややあり。
粘性やや少。



J D-76 号土坑

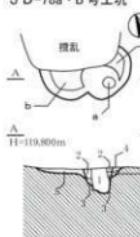
1. 増粘土 ローム粘中量。ローム
ブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm
少量含む。しまりやや強。
粘性やや少。



J D-77 号土坑・P-499 土層説明

1. 増粘土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5$ cm 少量、
炭化粘土少量含む。しまりやや少。
粘性やや少。
2. にぶい黄褐色土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm 中量含む。しまりあり。
粘性やや少。
3. 増粘土 ローム粘中量。ローム
ブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm 中量含む。しまりやや少。
粘性やや少。
4. 増粘土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm 少量含む。しまりやや強。
粘性やや少。
5. 増粘土 ローム粘中量。ローム
ブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm 少量含む。しまりやや少。
粘性やや少。
6. 増粘土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm
中量含む。しまりやや強。
粘性やや少。

J D-78a・b 号土坑



J D-78a・b 号土坑土層説明

1. 増粘土 ローム粘中量、白色軽石 $\phi 0.2$ cm・
ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm
少量含む。しまりやや強。
粘性やや少。
2. 増粘土 ローム粘少量含む。しまりやや少。
粘性やや少。
3. 増粘土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm 中量、
ローム粘少量含む。しまりやや少。
粘性やや少。
4. 増粘土 ローム粘・ロームブロック
 $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm 中量含む。しまりや
や少。
粘性やや少。
5. 増粘土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm
中量、白色軽石 $\phi 0.2$ cm・
ローム粘少量含む。しまりや
少。
粘性やや少。



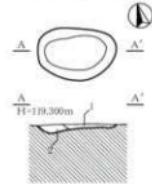
J D-79 号土坑土層説明

1. 増粘土 ローム粘・ロームブロック
 $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm 少量含む。
粘性やや少。
2. 増粘土 ローム粘・ロームブロック
 $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm 中量含む。
粘性やや少。



Fig. 81 土坑 (22)

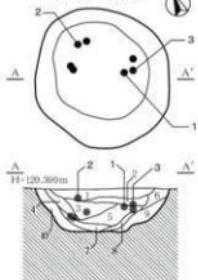
JD-80号土坑



JD-80号土坑土層説明

1. 噴褐色土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm中量、白色鮮石 $\phi 0.2$ cm少量含む。しまりやや強。粘性ややあり。
2. 噴褐色土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5$ cm少量、白色鮮石 $\phi 0.2$ cm微量含む。しまり強。粘性ややあり。

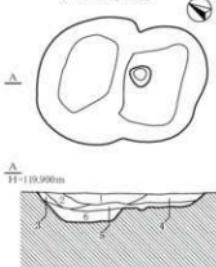
JD-81号土坑



JD-81号土坑土層説明

1. 噴褐色土 白色鮮石 $\phi 0.2$ cm中量。ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5$ cm・炭化灰少量、A s-Y P $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり強。粘性ややあり。
2. 噴褐色土 白色鮮石 $\phi 0.2$ cm中量。ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5$ cm・炭化灰少量含む。しまり強。粘性ややあり。
3. 黒褐色土 炭化灰中量、白色鮮石 $\phi 0.2$ cm・ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm少量、A s-Y P $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり強。粘性やや弱。
4. 噴褐色土 ローム粘中量、白色鮮石 $\phi 0.2$ cm・ロームブロック $\phi 0.5$ cm・炭化灰少量、A s-Y P $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり強。粘性やや弱。
5. 黑褐色土 白色鮮石 $\phi 0.2$ cm・ローム粘中量、ロームブロック $\phi 0.5$ cm・炭化灰少量、A s-Y P $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり強。粘性やや弱。
6. にじみ黄褐色土 ローム粘多量、ロームブロック $\phi 0.5$ cm中量。白色鮮石 $\phi 0.2$ cm少量、A s-Y P $\phi 0.5$ cm・炭化灰微量含む。しまり強。粘性やや弱。
7. 噴褐色土 ローム粘中量、白色鮮石 $\phi 0.2$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm・炭化灰少量含む。しまり強。粘性ややあり。
8. 噴褐色土 A s-Y P $\phi 0.5$ cm・白色鮮石 $\phi 0.2$ cm・ローム粘多量、炭化灰微量含む。しまり強。粘性ややあり。
9. にじみ黄褐色土 ローム粘多量、白色鮮石 $\phi 0.2$ cm・炭化灰少量、A s-Y P $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり強。粘性やや弱。
10. にじみ黄褐色土 ローム粘中量、白色鮮石 $\phi 0.2$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm少量、A s-Y P $\phi 0.5$ cm・炭化灰微量含む。しまり強。粘性やや弱。

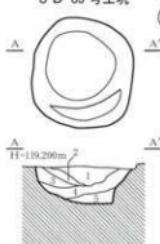
JD-82号土坑



JD-82号土坑土層説明

1. 噴褐色土 白色鮮石 $\phi 0.2$ cm・ローム粘中量、A s-Y P $\phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5$ cm少量、炭化灰微量含む。しまり強。粘性ややあり。
2. 噴褐色土 白色鮮石 $\phi 0.2$ cm・ローム粘中量、ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm少量、撲土・炭化灰微量含む。しまりやや強。粘性ややあり。
3. にじみ黄褐色土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm中量、A s-Y P $\phi 0.5$ cm・白色鮮石 $\phi 0.2$ cm少量含む。しまり強。粘性やや弱。
4. 噴褐色土 白色鮮石 $\phi 0.2$ cm・ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5$ cm少量、撲土・炭化灰微量含む。しまり強。粘性ややあり。
5. 噴褐色土 ローム粘中量、白色鮮石 $\phi 0.2$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm少量、A s-Y P $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり強。粘性やや弱。
6. にじみ黄褐色土 ローム粘多量、ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm少量、A s-Y P・白色鮮石 $\phi 0.2$ cm微量含む。しまり強。粘性やや弱。

JD-83号土坑



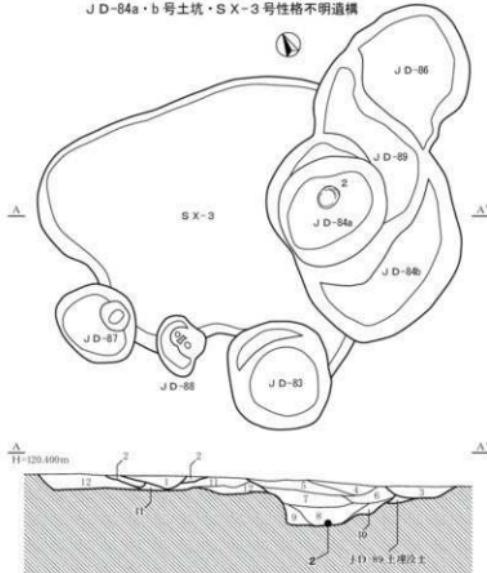
JD-83号土坑土層説明

1. 噴褐色土 白色鮮石 $\phi 0.2$ cm・ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 4.0$ cm少量、炭化灰・褐色粘微量含む。しまり強。粘性やや弱。
2. 噴褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm中量、白色鮮石 $\phi 0.2$ cm・ローム粘少量、A s-Y P $\phi 0.5$ cm・炭化灰微量含む。しまり強。粘性やや弱。
3. 噴褐色土 ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm中量、白色鮮石 $\phi 0.2$ cm少量、A s-Y P $\phi 0.5$ cm・炭化灰微量含む。しまり強。粘性やや弱。
4. にじみ黄褐色土 ローム粘多量、ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm中量、A s-Y P $\phi 0.5$ cm・白色鮮石 $\phi 0.2$ cm・炭化灰微量含む。しまりやや強。粘性やや弱。
5. 噴褐色土 A s-Y P $\phi 0.5$ cm・ローム粘・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。本鉛鉱。

0 1:60 2m

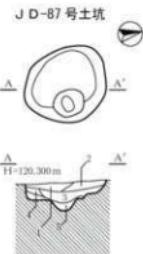
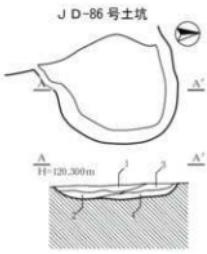
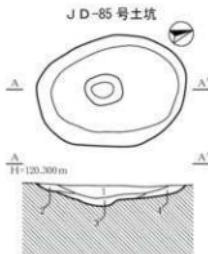
Fig. 82 土坑 (23)

J D-84a・b号土坑・S X-3号性格不明透構



J D-84a・b号土坑・S X-3号性格不明透構土層説明

1. 墓灰色土 A + B + 0.2 cm・A + C + 0.5 cm少量。炭化粧微量含む。しまりやや強。粘性やや弱。
2. 墓褐色土 白色鮮石 φ 0.5 cm・ムク・ロームブロック φ 0.5 cm少量。土上・炭化粧微量含む。しまり強。粘性やや弱。
3. にせい黄褐色土 白色鮮石 φ 0.5 ~ 2.0 cm少量。ロームブロック φ 0.5 ~ 3.0 cm多量。炭化粧微量含む。しまり強。粘性やや弱。
4. 墓褐色土 ローム・ロームブロック φ 0.5 ~ 2.0 cm中量。白色鮮石 φ 0.2 cm多量。炭化粧微量含む。しまり強。粘性やや弱。
5. 墓褐色土 白色鮮石 φ 0.2 cm・ローム・ロームブロック φ 0.5 ~ 3.0 cm中量。炭化粧微量含む。しまり強。粘性やや弱。
6. にせい黄褐色土 ローム・ロームブロック φ 0.5 ~ 4.0 cm多量。白色鮮石 φ 0.2 cm少量含む。しまり強。粘性やや弱。
7. 墓褐色土 ローム・ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm少量。白色鮮石 φ 0.2 cm・土上・炭化粧微量含む。しまり強。粘性やや弱。
8. 墓褐色土 ローム・ロームブロック φ 0.5 ~ 0.5 cm少量。白色鮮石 φ 0.2 cm・ロームブロック φ 0.5 ~ 5.0 cm少量。土上・炭化粧微量含む。しまり強。粘性やや弱。
9. 墓褐色土 ローム・ロームブロック φ 0.5 ~ 2.0 cm少量。炭化粧微量含む。白色鮮石 φ 0.2 cm少量。しまり強。粘性やや弱。
10. にせい黄褐色土 ローム・ロームブロック φ 0.5 ~ 5.0 cm多量含む。しまり強。粘性やや弱。
11. 墓褐色土 白色鮮石 φ 0.2 cm・ローム・ロームブロック φ 0.5 cm少量。A + YP φ 0.5 cm少量含む。しまり強。粘性やや弱。
12. にせい黄褐色土 ローム・ロームブロック φ 0.5 ~ 3.0 cm多量。A + YP φ 0.5 cm・白色鮮石 φ 0.2 cm少量含む。しまり強。粘性やや弱。



J D-85号土坑土層説明

1. 墓褐色土 ローム・ロームブロック φ 0.5 ~ 2.0 cm中量。ローム・白色鮮石 φ 0.2 cm少量。A + YP φ 0.5 cm少量。ローム・白色鮮石 φ 0.2 cm・炭化粧微量含む。しまりやや強。粘性やや弱。
2. 墓褐色土 ローム・ロームブロック φ 0.5 ~ 2.0 cm少量。白色鮮石 φ 0.2 cm・炭化粧微量含む。しまりやや強。粘性やや弱。
3. にせい黄褐色土 ローム・ロームブロック φ 0.5 ~ 2.0 cm中量。炭化粧微量含む。しまり強。粘性やや弱。
4. にせい黄褐色土 ローム・ロームブロック φ 0.5 ~ 4.0 cm多量。ローム・白色鮮石 φ 0.2 cm少量。白色鮮石 φ 0.2 cm少量含む。しまり強。粘性やや弱。

J D-86号土坑土層説明

1. 墓褐色土 ローム・ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm少量。白色鮮石 φ 0.2 cm・炭化粧微量含む。しまりやや強。粘性やや弱。
2. にせい黄褐色土 ローム・ロームブロック φ 0.5 ~ 2.0 cm中量。炭化粧微量含む。しまり強。粘性やや弱。
3. 墓褐色土 ローム・ロームブロック φ 0.5 ~ 2.0 cm少量。白色鮮石 φ 0.2 cm・炭化粧微量含む。しまりやや強。粘性やや弱。
4. にせい黄褐色土 ローム・ロームブロック φ 0.5 ~ 3.0 cm中量。白色鮮石 φ 0.2 cm少量。炭化粧微量含む。しまりやや強。粘性やや弱。

J D-87号土坑土層説明

1. 黑褐色土 白色鮮石 φ 0.2 cm多量。ローム・泥 φ 0.3 cm少量。A + YP φ 0.5 cm少量含む。しまり強。粘性やや弱。
2. 墓褐色土 白色鮮石 φ 0.2 cm多量。ロームブロック φ 0.5 cm・土上・炭化粧微量含む。しまりやや強。粘性やや弱。
3. にせい黄褐色土 白色鮮石 φ 0.2 cm多量。A + YP φ 0.5 cm少量。ローム・ロームブロック φ 0.5 cm少量。炭化粧微量含む。しまりやや強。粘性やや弱。
4. にせい黄褐色土 白色鮮石 φ 0.2 cm少量。A + YP φ 0.5 cm少量。ローム・ロームブロック φ 0.2 cm少量。炭化粧微量含む。しまりやや強。粘性やや弱。
5. 黄褐色土 白色鮮石 φ 0.2 cm中量。A + YP φ 0.5 cm少量。ローム・ロームブロック φ 0.2 cm少量含む。しまりやや弱。粘性強。

Fig. 83 土坑 (24)

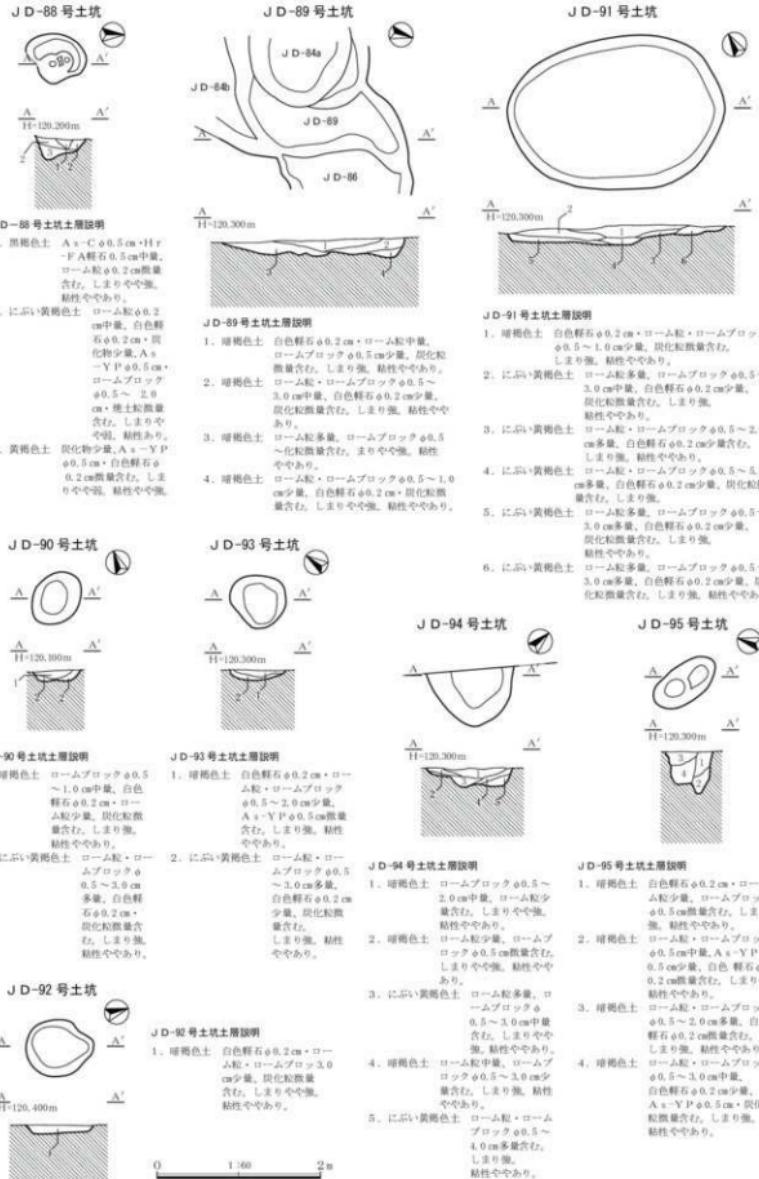
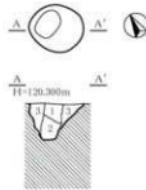


Fig. 84 土坑 (25)

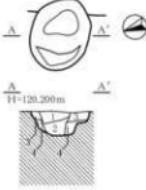
JD-96号土坑



JD-96号土坑土層説明

1. 塗褐色土 ローム粘中量、白色軽石φ0.2cm・ロームブロックφ0.5～2.0cm少量、炭化粘土少量含む。しまり強、粘性ややあり。
2. 塗褐色土 ローム粘・ロームブロックφ0.5～2.0cm少量、白色軽石φ0.2cm・炭化粘土少量含む。しまり強、粘性ややあり。
3. にぶい黄褐色土 ローム粘・ロームブロックφ0.5～0.5～3.0cm多量、白色軽石φ0.2cm中量、炭化粘土少量含む。しまり強、粘性ややあり。

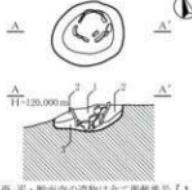
JD-97号土坑



JD-97号土坑土層説明

1. 塗褐色土 ローム粘中量、白色軽石φ0.2cm・ロームブロックφ0.5cm少量、炭化粘土少量含む。しまり強、粘性ややあり。
2. 黒褐色土 ローム粘・ロームブロックφ0.5～2.0cm中量、A s-Y P φ0.5cm・白色軽石φ0.2cm少量、炭化粘土少量含む。しまり強、粘性ややあり。
3. にぶい黄褐色土 ローム粘・ロームブロックφ0.5～3.0cm中量、白色軽石φ0.2cm少量含む。しまり強、粘性ややあり。
4. にぶい黄褐色土 ローム粘・ロームブロックφ0.5～2.0cm多量、白色軽石φ0.2cm・炭化粘土少量含む。しまり強、粘性ややあり。

JD-98号土坑



参考 断面内の遺物は全て複数番号

JD-98号土坑土層説明

1. 黒褐色土 ロームブロックφ0.5cm・焼土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 塗褐色土 ローム粘・ロームブロックφ0.5cm少量、焼土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. にぶい黄褐色土 ローム粘・ロームブロックφ0.5～1.0cm中量、A s-Y P φ0.5cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

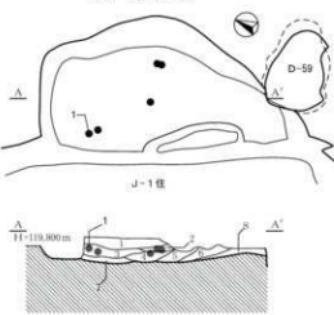
JD-99号土坑



JD-99号土坑土層説明

1. 塗褐色土 白色軽石φ0.2cm・A s-Y P φ0.5cm・ロームブロックφ0.5cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. にぶい黄褐色土 ローム粘・ロームブロックφ0.5～3.0cm多量、白色軽石φ0.2cm中量、A s-Y P φ0.5cm少量含む。しまり強、粘性ややあり。
3. 塗褐色土 白色軽石φ0.2cm・ローム粘・ロームブロックφ0.5～3.0cm中量、A s-Y P φ0.5cm少量含む。しまり強、粘性ややあり。

JD-100号土坑



JD-100号土坑土層説明

1. 塗褐色土 白色軽石φ0.2cm・ローム粘中量、ロームブロックφ0.5cm少量、A s-Y P φ0.5cm・炭化粘土・白色軽石微量含む。しまり強、粘性ややあり。
2. にぶい黄褐色土 ローム粘・ロームブロックφ0.5～2.0cm中量、白色軽石φ0.2cm少量、A s-Y P φ0.5cm・炭化粘土微量含む。しまり強、粘性ややあり。
3. 塗褐色土 白色軽石φ0.2cm・ローム粘・ロームブロックφ0.5～1.0cm中量、A s-Y P φ0.5cm・炭化粘土微量含む。しまり強、粘性ややあり。
4. にぶい黄褐色土 ローム粘・ロームブロックφ0.5～2.0cm中量、白色軽石φ0.2cm少量、A s-Y P φ0.5cm微量含む。しまり強、粘性ややあり。
5. にぶい黄褐色土 ローム粘・ロームブロックφ0.5～1.0cm多量、白色軽石φ0.2cm少量、A s-Y P φ0.5cm・炭化粘土微量含む。しまり強、粘性ややあり。
6. にぶい黄褐色土 ローム粘多量、ロームブロックφ0.5cm中量、A s-Y P φ0.5cm・白色軽石φ0.2cm少量、A s-Y P φ0.5cm・炭化粘土微量含む。しまり強、粘性ややあり。
7. にぶい黄褐色土 ローム粘・ロームブロックφ0.5～1.0cm中量、A s-Y P φ0.5cm・白色軽石φ0.2cm・炭化粘土微量含む。しまり強、粘性ややあり。
8. にぶい黄褐色土 ローム粘・ロームブロックφ0.5～2.0cm多量、白色軽石φ0.2cm少量、A s-Y P φ0.5cm・炭化粘土微量含む。しまり強、粘性ややあり。

JD-101・102号土坑

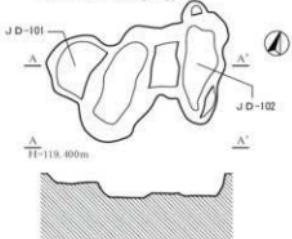


Fig. 85 土坑 (26)

(B-1号) 挖立柱建物跡

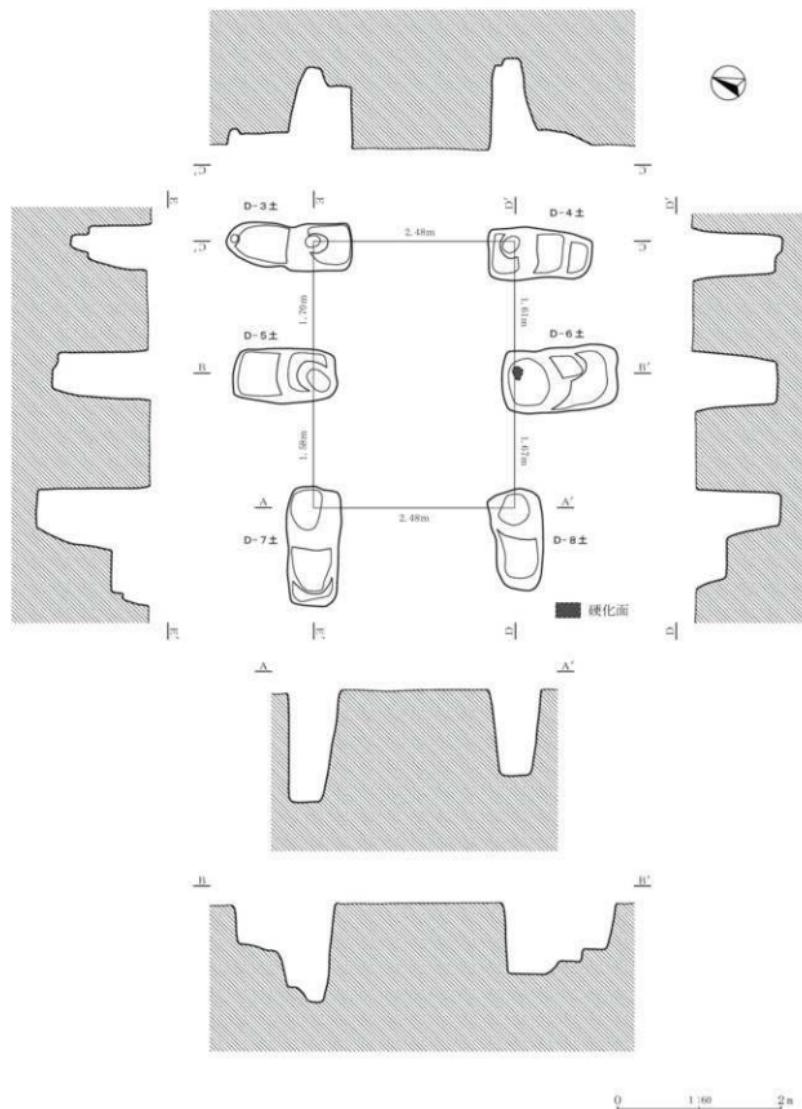


Fig. 86 挖立柱建物跡 (1)

(B-3号掘立柱建物跡)

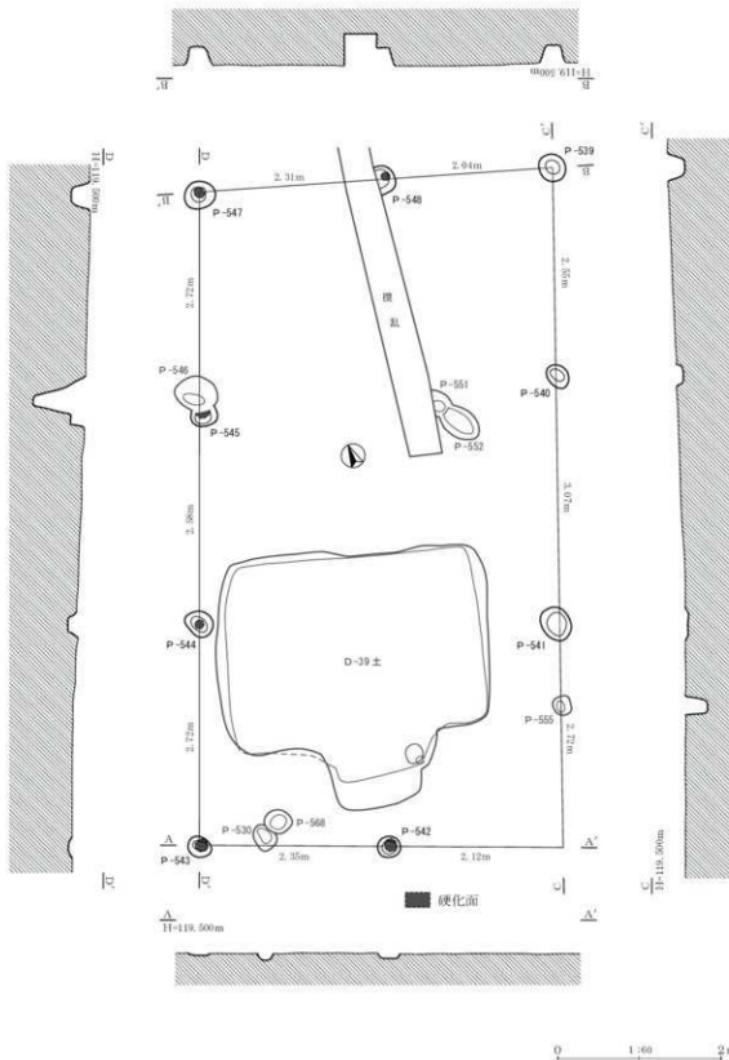
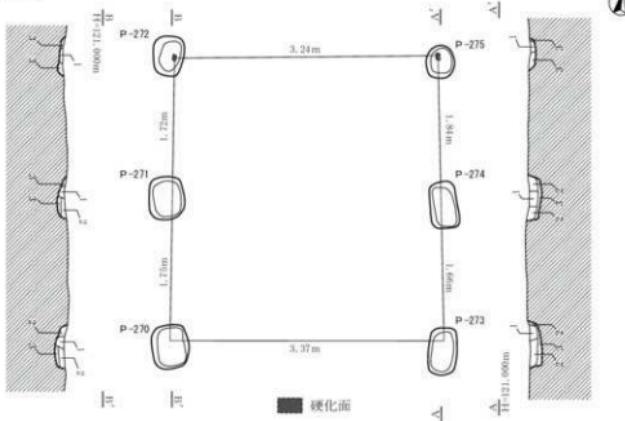


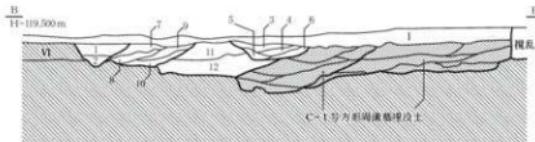
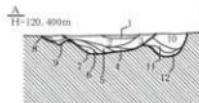
Fig. 87 掘立柱建物跡 (2)

B-2号掘立柱建物跡



W-1号溝

- W-1号溝A' 土質説明**
1. 黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm中量、A + C $\phi 0.5$ cm少量含む。しまりややあり。粘性弱。
 2. 黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.5$ cm多量、A + C $\phi 0.5$ cm少量、Hr - F A $\phi 0.3$ cm微量含む。しまりややあり。
 3. 塗覆色土 A + C $\phi 0.5$ cm・Hr - F A $\phi 0.2$ cm・ロームブロック $\phi 2.0 \sim 5.0$ cm微量含む。しまりややあり。
 4. 黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 5.0$ cm多量、A + C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性ややあり。
 5. 塗覆色土 ロームブロック $\phi 2.0 \sim 3.0$ cm少量、A + C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりややあり。粘性やや弱。
 6. 塗覆色土 A + C $\phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
 7. 黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 10.0$ cm多量、A + C $\phi 0.5$ cm少量、Hr - F A $\phi 0.3$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
 8. 黄褐色土 A + C $\phi 0.5$ cm少量、Hr - F A $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりややあり。粘性やや弱。
 9. 黄褐色土 ロームブロック $\phi 2.0 \sim 3.0$ cm多量、A + C $\phi 0.5$ cm少量、Hr - F A $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
 10. 黄褐色土 ロームブロック $\phi 2.0 \sim 15.0$ cm多量、A + C $\phi 0.5$ cm、Hr - F A $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりあり。
 11. 黄褐色土 ロームブロック $\phi 2.0 \sim 5.0$ cm多量、A + C $\phi 0.5$ cm・Hr - F A $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりややあり。
 12. 黄褐色土 ロームブロック $\phi 2.0 \sim 20.0$ cm多量、A + C $\phi 0.5$ cm・Hr - F A $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性弱。



W-1号溝土質説明B'

1. 塗覆色土 A + C $\phi 0.5$ cm・A + B $\phi 0.2$ cm少量、Hr - F A 粒石 $\phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
2. 塗覆色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm中量、A + C $\phi 0.5$ cm・A + B $\phi 0.2$ cm少量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
3. 塗覆色土 A + C $\phi 0.5$ cm・A + B $\phi 0.2$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm中量、Hr - F A 粒石 $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 塗覆色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm中量、A + C $\phi 0.2$ cm少量、A + C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりやや。粘性ややあり。
5. 塗覆色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm中量、A + C $\phi 0.5$ cm・A + B $\phi 0.2$ cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
6. 塗覆色土 A + C $\phi 0.5$ cm・A + B $\phi 0.2$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
7. 塗覆色土 A + C $\phi 0.5$ cm・A + B $\phi 0.2$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
8. 塗覆色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm・A + C $\phi 0.5$ cm・A + B $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
9. 塗覆色土 A + C $\phi 0.2$ cm中量、A + C $\phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
10. 塗覆色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 4.0$ cm中量、A + C $\phi 0.5$ cm・A + B $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
11. 塗覆色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm中量、A + C $\phi 0.5$ cm・A + B $\phi 0.2$ cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。
12. 塗覆色土 A + C $\phi 0.5$ cm・A + B $\phi 0.2$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。

0 1:60 2m

Fig. 88 掘立柱建物跡 (3)・溝 (1)

[W-1 ~ 6号溝]

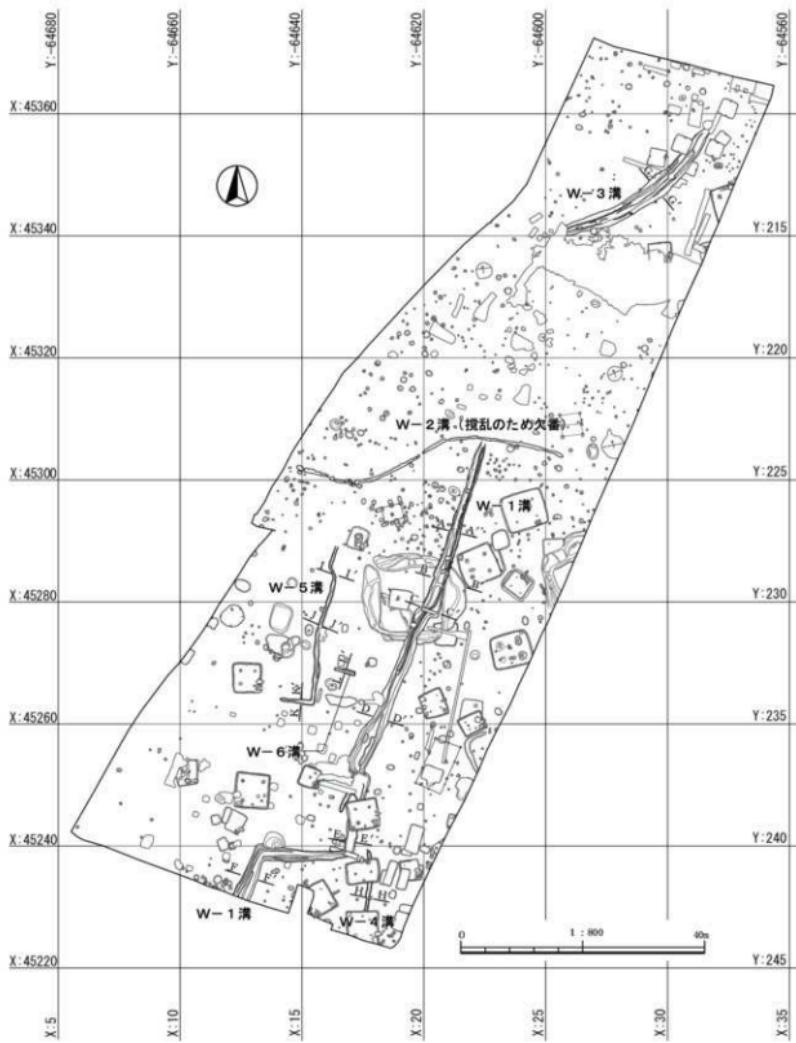
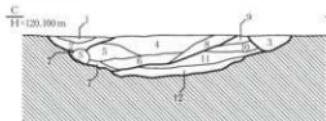


Fig. 89 溝 (2)

W-1号溝

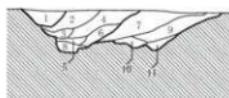


W-1号溝 C-C' 土層説明

1. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 0.5$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性あり。
2. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性あり。
3. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm中量。A + C $\phi 0.5$ cm・A + B $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
4. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm中量。A + C $\phi 0.5$ cm・A + B $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
5. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm中量。A + B $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
6. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm中量。A + B $\phi 0.2$ cm微量含む。A + C $\phi 0.5$ cm・炭化物微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
7. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 0.2$ cm微量含む。A + B $\phi 0.2$ cm微量含む。しまり弱。粘性やや弱。

8. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm中量。A + B $\phi 0.2$ cm微量含む。A + C $\phi 0.5$ cm・炭化物微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
9. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5$ cm中量。A + B $\phi 0.2$ cm微量含む。A + C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
10. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 5.0$ cm多量。A + B $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
11. 塗褐色土 A + B $\phi 0.2$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 5.0$ cm多量。A + C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
12. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 10.0$ cm多量。A + B $\phi 0.2$ cm微量含む。A + C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。

D-D'
H=119,700m



W-1号溝 D-D' 土層説明

1. 黒褐色土 ロームブロック $\phi 0.5$ cm微量含む。A + C $\phi 0.5$ cm・Hr-F A輕石 $\phi 0.5$ cm・A + B $\phi 0.2$ cm・炭化物・燒土・燒土灰微量含む。しまり弱。粘性弱。
2. 塗褐色土 A + C $\phi 0.5$ cm・A + B $\phi 0.2$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.5$ cm微量含む。しまり弱。粘性やや弱。
3. 黑褐色土 A + B $\phi 0.2$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.5$ cm。A + C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性弱。
4. 黑褐色土 A + B $\phi 0.2$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm・炭化物多量。A + C $\phi 0.5$ cm・燒土灰微量含む。しまり弱。粘性弱。
5. 黑褐色土 A + C $\phi 0.5$ cm中量。ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm微量。A + B $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。

6. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm多量。A + C $\phi 0.5$ cm中量。Hr-F A輕石 $\phi 0.5$ cm・燒土灰・燒土灰微量含む。しまり弱。粘性やや弱。
7. 黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 10.0$ cm多量。A + C $\phi 0.5$ cm中量。A + B $\phi 0.2$ cm微量含む。しまり弱。粘性強。
8. 塗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm多量。A + C $\phi 0.5$ cm中量。燒土灰多量。A + B $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
9. 黑褐色土 A + C $\phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 10.0$ cm少量。A + B $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
10. にぶい黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 10.0$ cm多量。A + C $\phi 0.5$ cm中量。A + B $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性弱。
11. にぶい黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 5.0$ cm多量。A + C $\phi 0.5$ cm中量。A + B $\phi 0.2$ cm微量含む。燒土灰微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。

E-E'
H=119,200m



W-1号溝 E-E' 土層説明

1. 塗褐色土 A + B $\phi 0.2$ cm中量。ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm微量含む。しまり弱。粘性やや弱。
2. にぶい黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm多量。A + B $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
3. 増褐色土 A + C $\phi 0.5$ cm・A + B $\phi 0.2$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm少量。A + C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり弱。粘性やや弱。
4. 塗褐色土 A + B $\phi 0.2$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm少量。A + C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり弱。粘性やや弱。

F-F'
H=119,500m



W-1号溝 F-F' 土層説明

1. 黑褐色土 A + C $\phi 0.5$ cm・Hr-F A輕石 $\phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm微量含む。A + B $\phi 0.2$ cm微量含む。燒土灰微量含む。しまり弱。粘性やや弱。
2. 増褐色土 ロームブロック $\phi 0.5$ cm中量。A + C $\phi 0.5$ cm微量含む。Hr-F A輕石 $\phi 0.5$ cm・A + B $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
3. にぶい黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 5.0$ cm多量。A + C $\phi 0.5$ cm・A + B $\phi 0.2$ cm微量含む。燒土灰微量含む。しまり弱。粘性やや弱。
4. 増褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 5.0$ cm中量。A + C $\phi 0.5$ cm・A + B $\phi 0.2$ cm微量含む。燒土灰微量含む。しまり弱。粘性弱。
5. 増褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 5.0$ cm中量。A + C $\phi 0.5$ cm微量含む。燒土灰微量含む。しまり弱。粘性やや弱。
6. 増褐色土 ロームブロック $\phi 0.5$ cm中量。A + C $\phi 0.5$ cm・A + B $\phi 0.2$ cm微量含む。燒土灰微量含む。しまり弱。粘性やや弱。
7. 黑褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 5.0$ cm中量。Hr-F A輕石 $\phi 0.5$ cm・A + B $\phi 0.2$ cm微量含む。しまり弱。粘性やや弱。
8. 黑褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 5.0$ cm中量。A + B $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性弱。
9. にぶい黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 10.0$ cm多量。A + C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性弱。
10. 黑褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 4.0$ cm中量。A + C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり弱。粘性やや弱。
11. 黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5$ cm多量。A + C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり弱。粘性弱。

W-3号溝

G-G'
H=122,600m



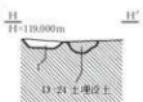
土層江記録

埋没土には近世以降の遺物が含まれ、浸水の痕跡が認められる。

0 1:60 2m

Fig. 90 溝 (3)

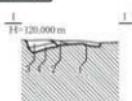
W-4号溝



W-4号溝土層説明

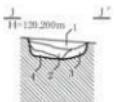
1. 喀斯特色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm少量、A s - C $\phi 0.5$ cm・A s - B $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりややあり。粘性弱。

W-5号溝



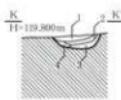
W-5号溝 I-I' 土層説明

1. 黒褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm少量、A s - C $\phi 0.5$ cm・A s - B $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりややあり。粘性弱。
2. 黄褐色土 ローム粒 $\phi 0.2$ cm中量、白色鮮石 $\phi 0.2$ cm少量、A s - C $\phi 0.5$ cm・A s - B $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりややあり。粘性弱。
3. にじみ黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm多量、白色鮮石 $\phi 0.2$ cm少量、A s - C $\phi 0.5$ cm・A s - B $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりややあり。粘性弱。
4. 黄褐色土 ローム粒中量、ロームブロック $\phi 0.5$ cm・白色鮮石 $\phi 0.2$ cm少量、A s - C $\phi 0.5$ cm・A s - B $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりややあり。粘性弱。



W-5号溝 J-J' 土層説明

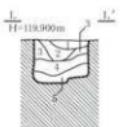
1. 黒褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm中量、A s - C $\phi 0.5$ cm少量、A s - B $\phi 0.2$ cm微量含む。しまり弱。粘性やや弱。
2. 黑褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm中量、H r - F A 粒 $\phi 0.5$ cm微量含む。しまり弱。粘性弱。
3. にじみ黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm多量、A s - C $\phi 0.5$ cm・A s - B $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
4. 喀斯特色土 ロームブロック $\phi 2.0 \sim 3.0$ cm中量、A s - C $\phi 0.5$ cm少量、A s - B $\phi 0.2$ cm微量含む。しまり弱。粘性弱。



W-5号溝 K-K' 土層説明

1. 喀斯特色土 A s - B $\phi 0.2$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm少量、A s - C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりややあり。粘性やや弱。
2. 喀斯特色土 A s - B $\phi 0.2$ cm少量、A s - C $\phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
3. 喀斯特色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 5.0$ cm中量、A s - B $\phi 0.2$ cm少量、A s - C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
4. 喀斯特色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 5.0$ cm中量、A s - C $\phi 0.5$ cm・A s - B $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。

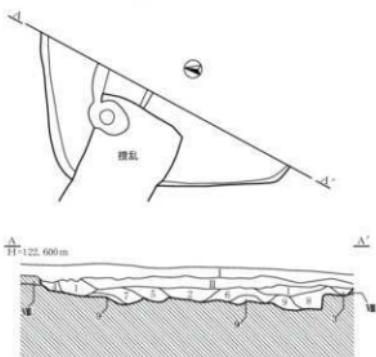
W-6号溝



W-6号溝土層説明

1. にじみ黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 5.0$ cm多量、A s - Y P $\phi 0.5$ cm少量、A s - C $\phi 0.5$ cm・H r - F A 鮫石 $\phi 0.7$ cm・A s - B $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
2. にじみ黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 5.0$ cm中量、A s - Y P $\phi 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性弱。
3. 喀斯特色土 ローム粒 $\phi 0.2$ cm・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0$ cm少量、A s - C $\phi 0.5$ cm・H r - F A 鮫石 $\phi 0.5$ cm・A s - B $\phi 0.2$ cm微量含む。しまり弱。粘性弱。
4. 喀斯特色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm中量、A s - Y P $\phi 0.5$ cm・A s - C $\phi 0.5$ cm・A s - B $\phi 0.2$ cm微量含む。しまり弱。粘性弱。
5. にじみ黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm少量、A s - Y P $\phi 0.5$ cm・A s - C $\phi 0.5$ cm・A s - B $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性弱。

S X-1号性格不明遭構



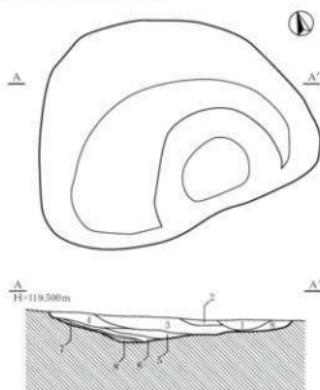
S X-1号性格不明遭構土層説明

1. 黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 6.0$ cm多量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
2. 黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 7.0$ cm中量、A s - C $\phi 0.5$ cm中量、H r - F A $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
3. 喀斯特色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 10.0$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
4. 黑褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 3.0$ cm・黒褐色土ブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
5. 黑褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 10.0$ cm多量、A s - C $\phi 0.5$ cm・H r - F A $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
6. 黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 2.0$ cm多量、A s - C $\phi 0.5$ cm・H r - F A $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
7. 黑褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 5.0$ cm多量、A s - C $\phi 0.5$ cm・H r - F A $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
8. 黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 10.0$ cm多量、A s - C $\phi 0.5$ cm・H r - F A $\phi 0.2$ cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
9. 黄褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 15.0$ cm多量、A s - C $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりあり。粘性弱。

0 1:60 2 m

Fig. 91 溝 (4)・性格不明遭構 (1)

(S X-2号性格不明遺構)

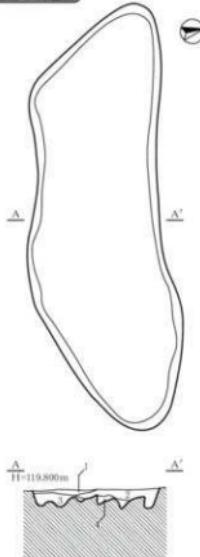


S X-2号性格不明遺構土層説明

1. 雜褐色土 A s-C φ0.2cm ロームブロック φ0.5~1.0cm少量。
A s-C φ0.5cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 雜褐色土 ロームブロック φ0.5~1.0cm中量。A s-B φ0.5cm。
A s-B φ0.2cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. にぶい・黃褐色土 ロームブロック φ0.5~1.0cm中量、A s-C φ0.5cm。
A s-B φ0.2cm・炭化鉱物量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 墓褐色土 A s-C φ0.5cm ロームブロック φ0.5~2.0cm少量。
A s-B φ0.2cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 雜褐色土 ロームブロック φ0.5~1.0cm中量。A s-B φ0.2cm少量。
A s-C φ0.5cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
6. にぶい・黃褐色土 ロームブロック φ0.5~3.0cm多量。A s-B φ0.2cm微量含む。しまりやや強。粘性ややあり。
7. 黒褐色土 ロームブロック φ0.5cm少量。A s-B φ0.2cm微量含む。
しまりやや強。粘性ややあり。
8. にぶい・黃褐色土 ロームブロック φ0.5~3.0cm多量。A s-B φ0.2cm微量含む。しまりやや強。粘性ややあり。

0 1:60 2m

(S X-4号性格不明遺構)



S X-4号性格不明遺構土層説明

1. 黑褐色土 ロームブロック φ0.5~1.0cm中量。A s-C φ0.5cm少量。
H r-F 白色軽石 φ0.5cm。A s-B φ0.2cm・白色軽石 φ0.2cm微量含む。しまり弱。剛性弱。
2. 墓褐色土 ロームブロック φ0.5~1.0cm中量。A s-C φ0.5cm中量。
A s-B φ0.2cm・白色軽石 φ0.2cm微量含む。しまりややあり。剛性ややあり。
3. にぶい・黃褐色土 ロームブロック φ2.0~5.0cm多量。白色軽石 φ0.2cm中量。A s-C φ0.5cm-A s-B φ0.2cm微量含む。しまりやや強。剛性ややあり。
4. にぶい・黃褐色土 ローム粘 φ0.2cm多量。A s-C φ0.5cm-A s-B φ0.2cm・白色軽石 φ0.2cm微量含む。しまりややあり。剛性あり。

Fig. 92 性格不明遺構 (2)

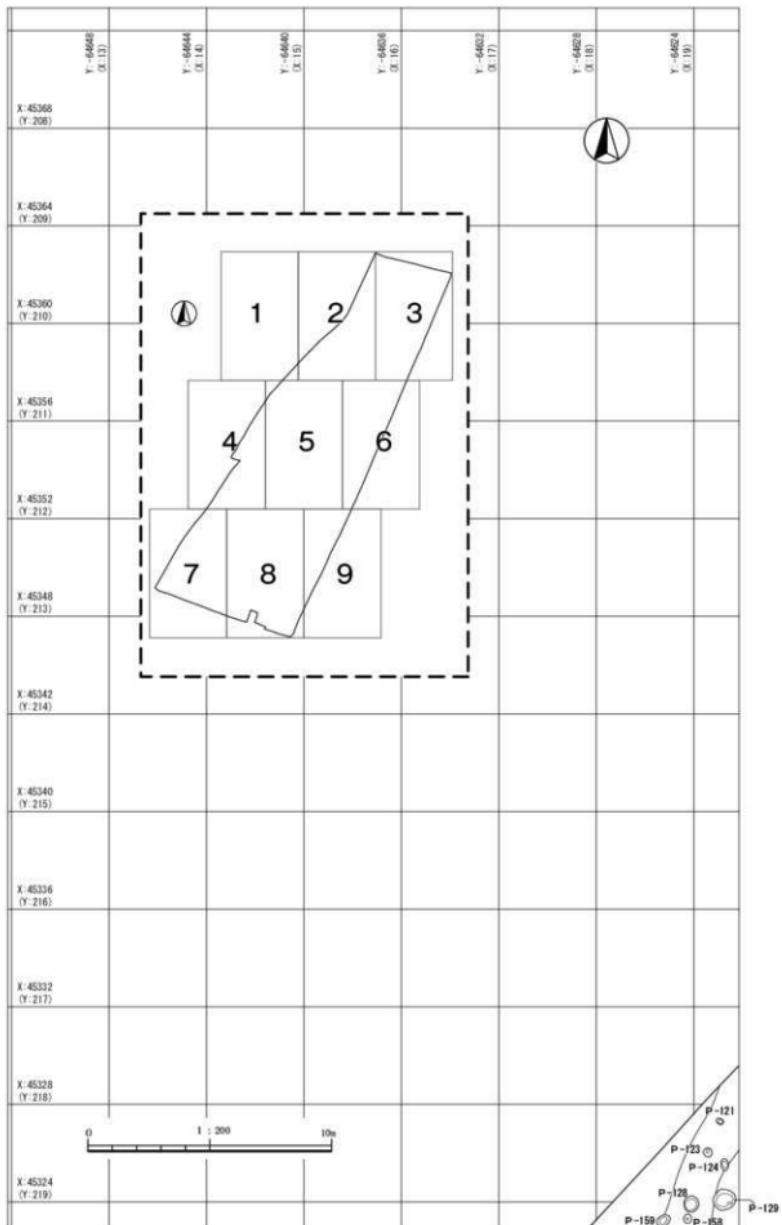


Fig. 93 ピット分布図 (1)

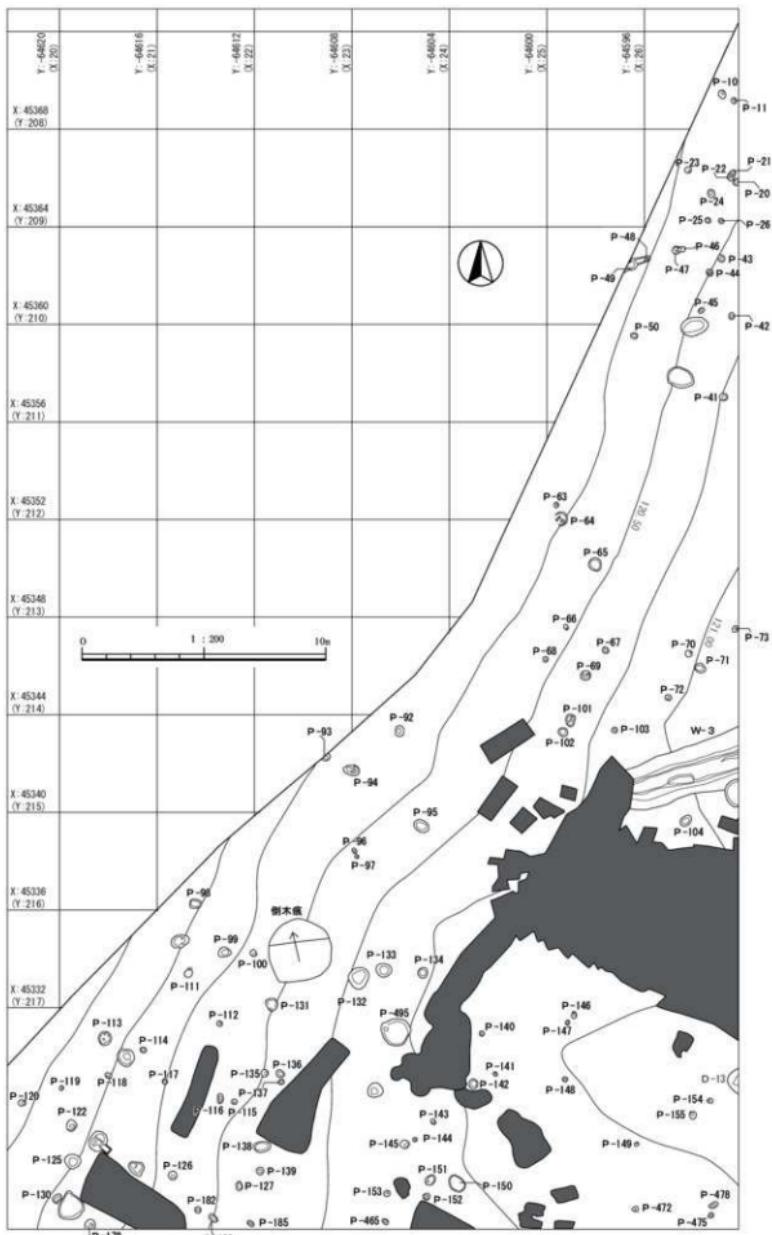


Fig. 94 ピット分布図（2）



Fig. 95 ピット分布図 (3)

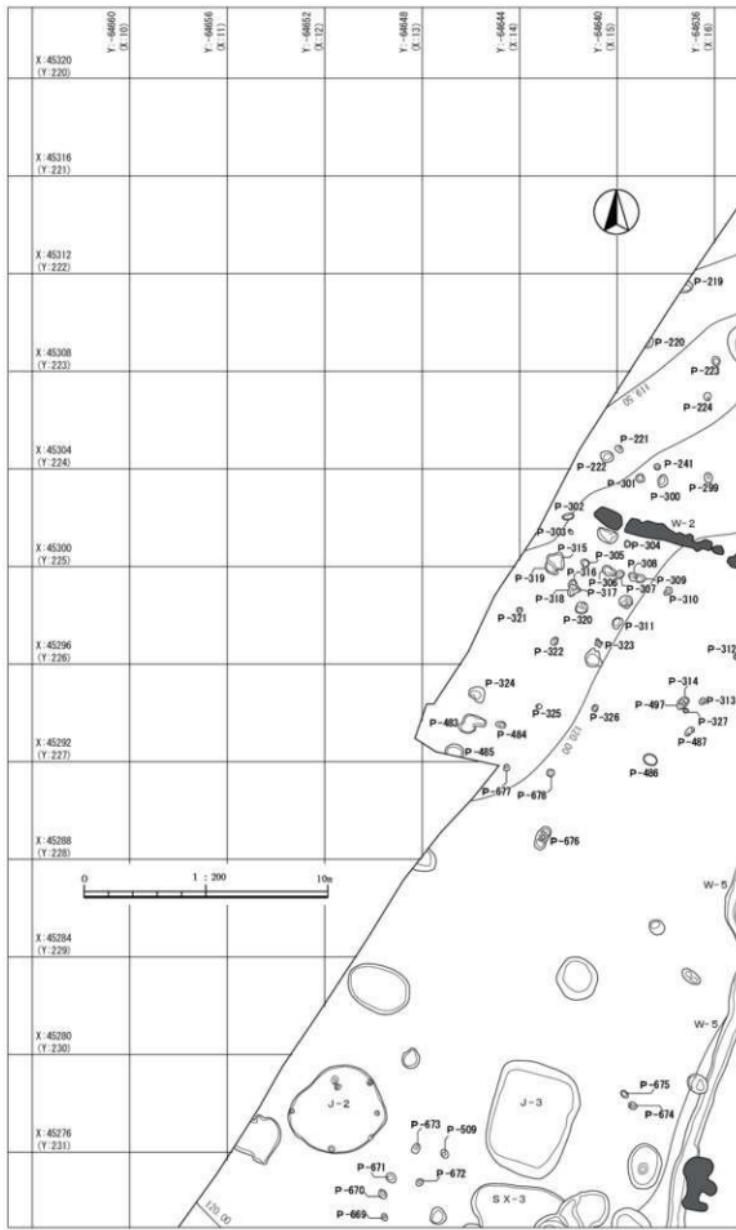


Fig. 96 ピット分布図 (4)

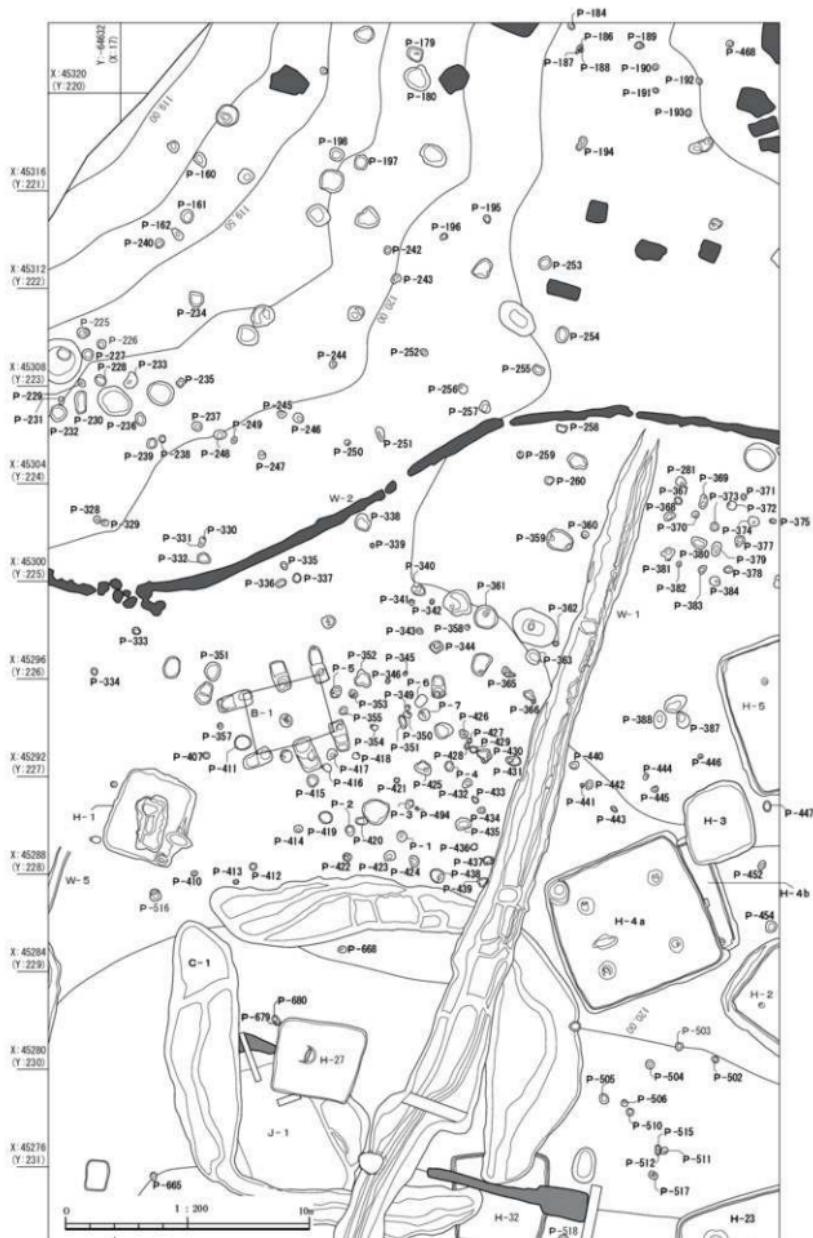


Fig. 97 ピット分布図 (5)

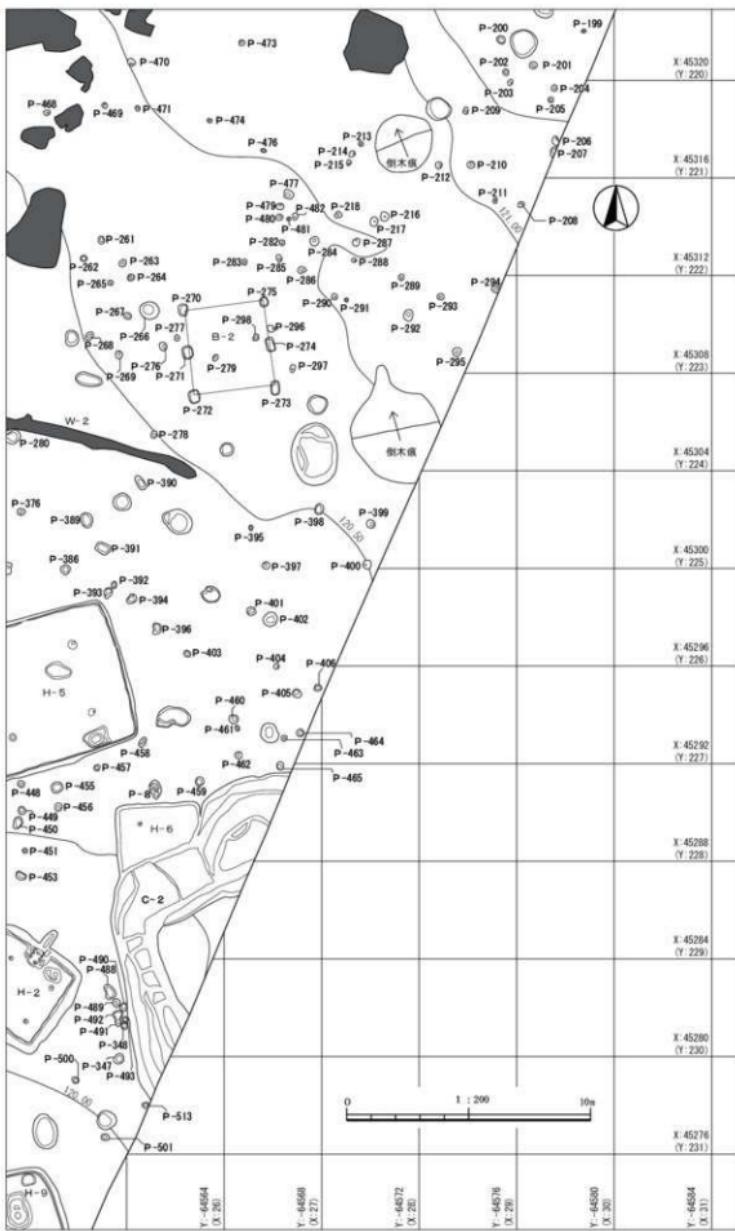


Fig. 98 ピット分布図（6）

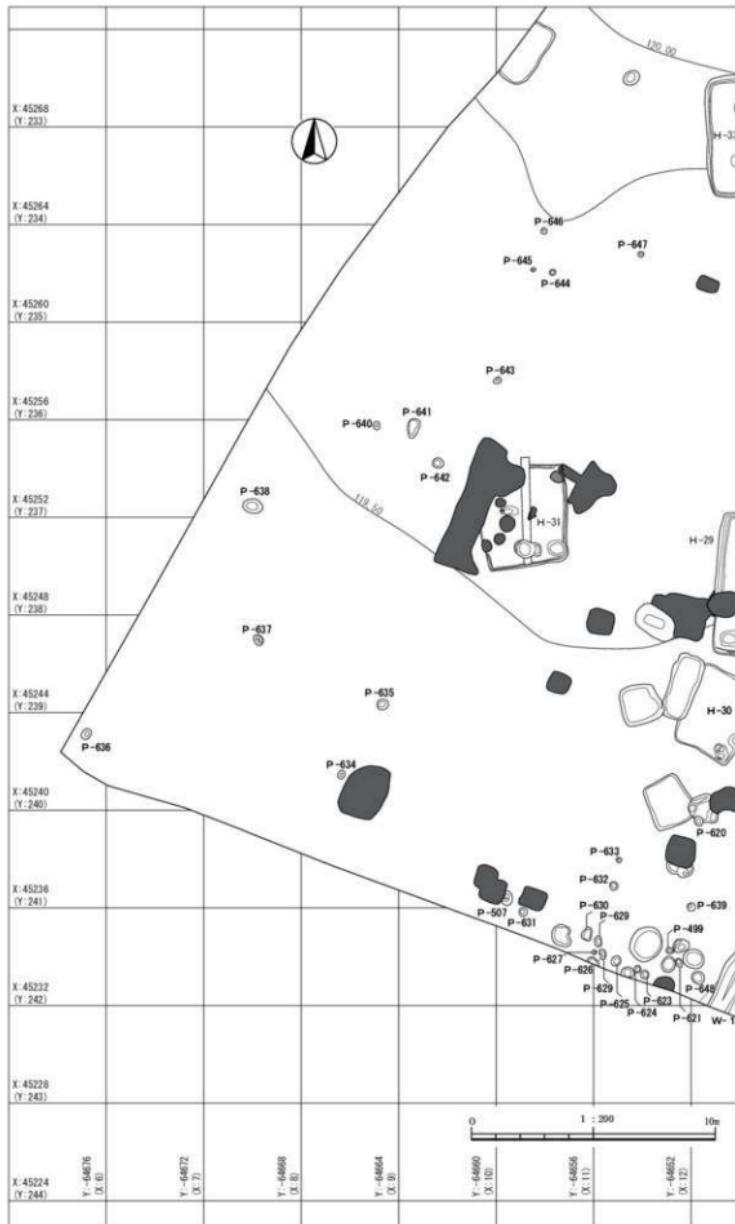


Fig. 99 ピット分布図 (7)

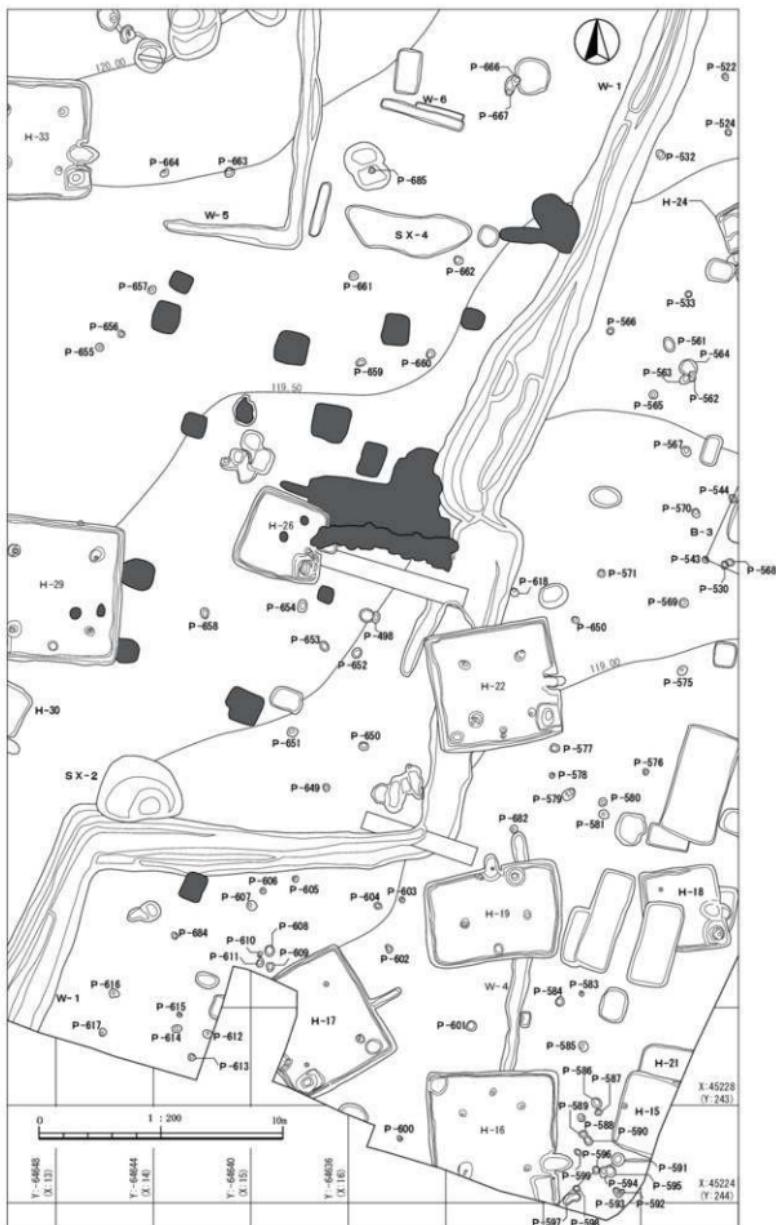
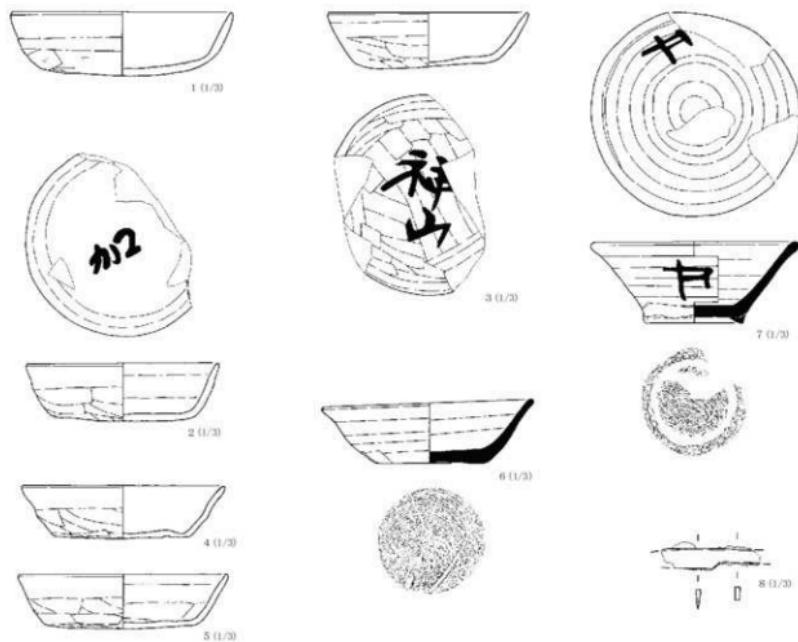


Fig. 100 ピット分布図 (8)

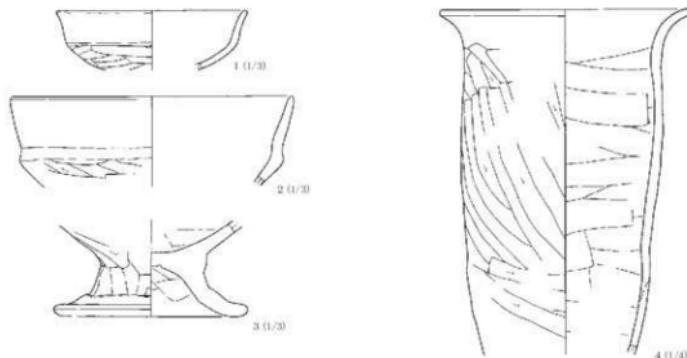


Fig. 101 ピット分布図 (9)

H-1号住居跡



H-2号住居跡



H-3号住居跡



Fig. 102 遺物実測図 (1)

H-4 a号住居跡

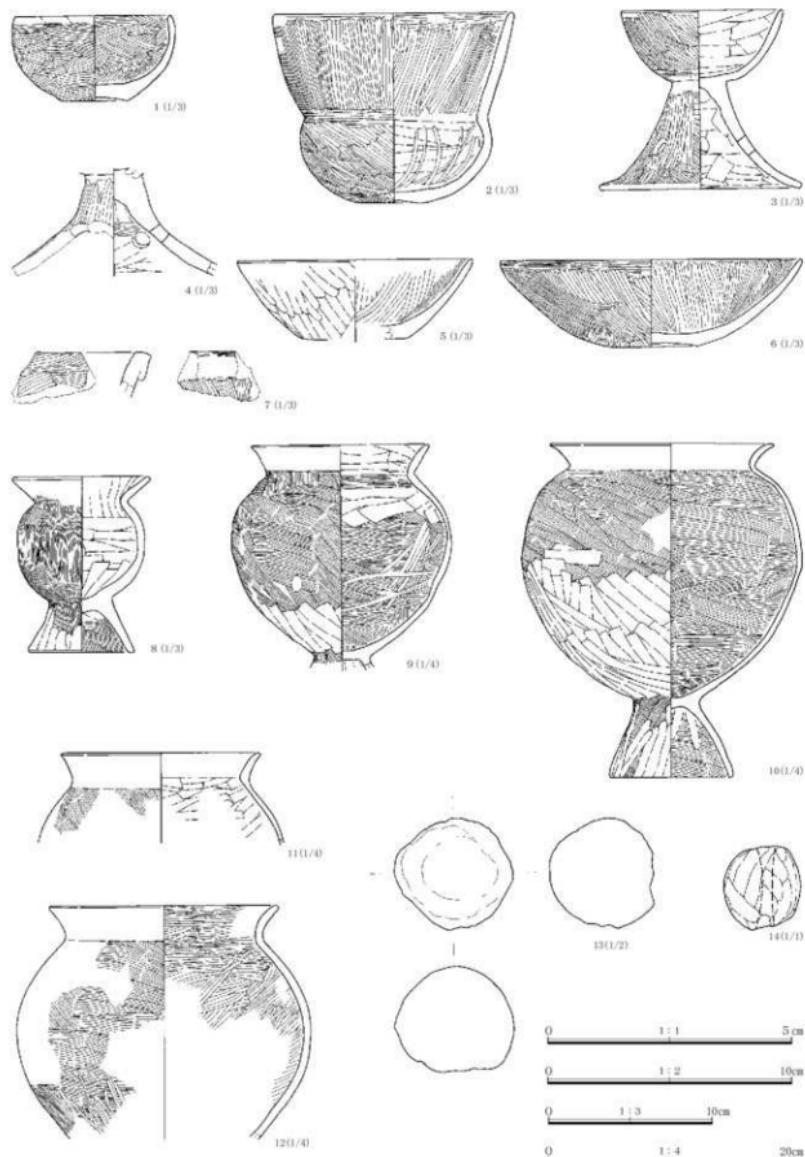
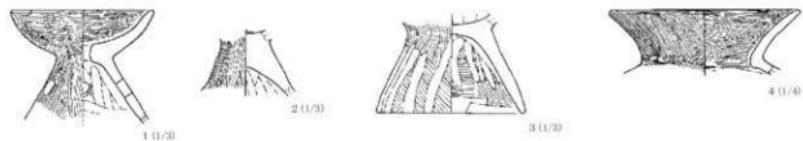
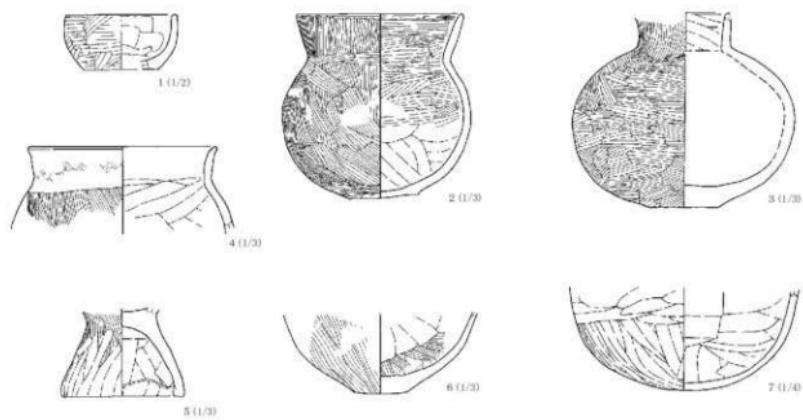


Fig. 103 遺物実測図 (2)

H-4b号住居跡



H-5号住居跡



H-6号住居跡

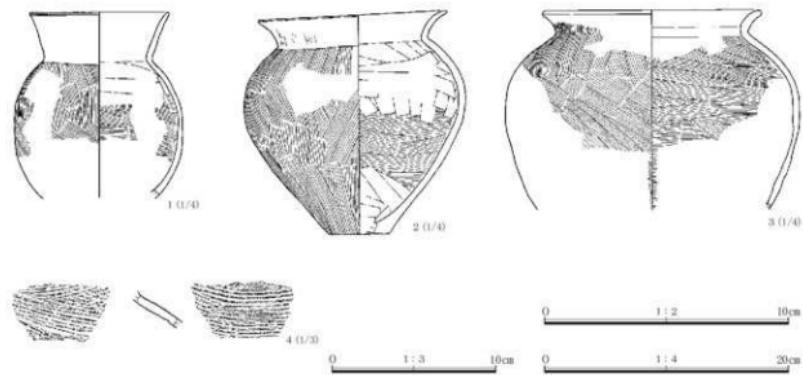


Fig. 104 遺物実測図 (3)

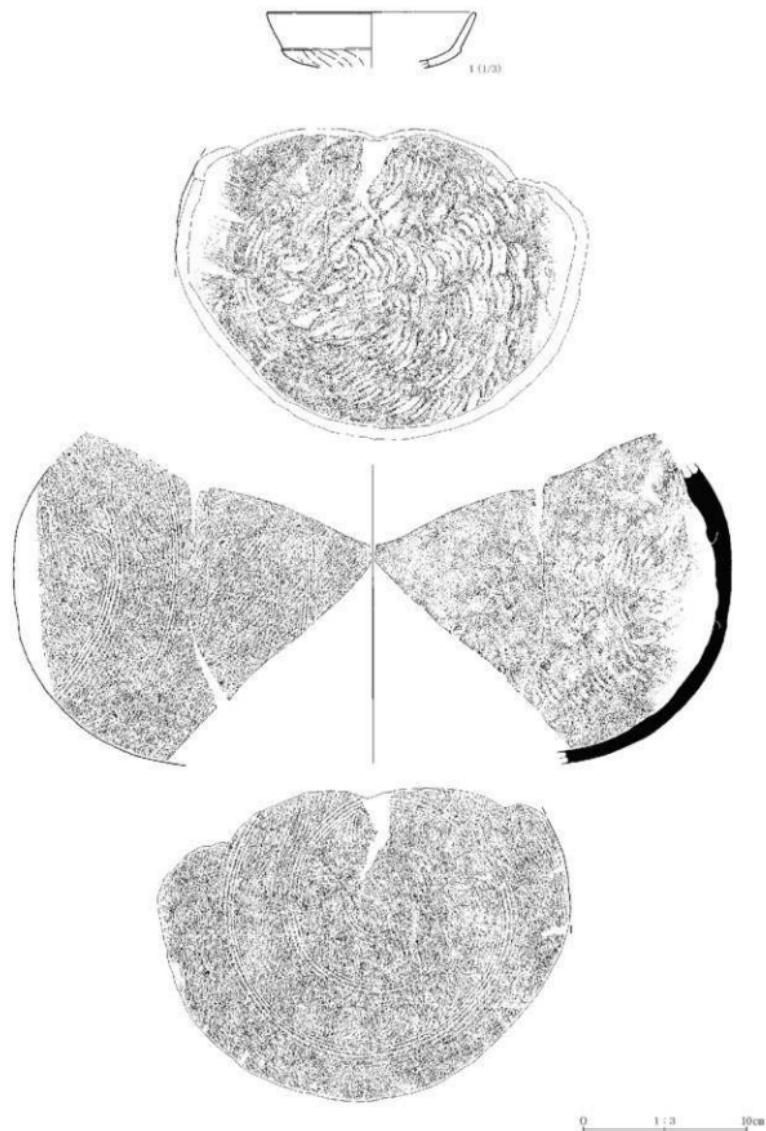
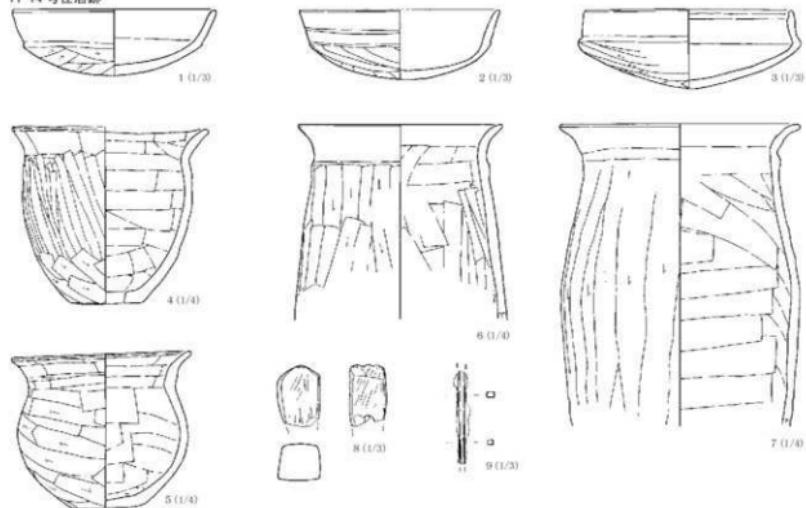
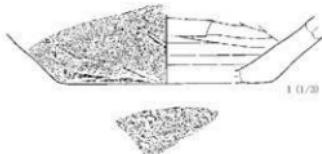


Fig. 105 遺物実測図 (4)

H-14号住居跡



H-15号住居跡



H-16号住居跡

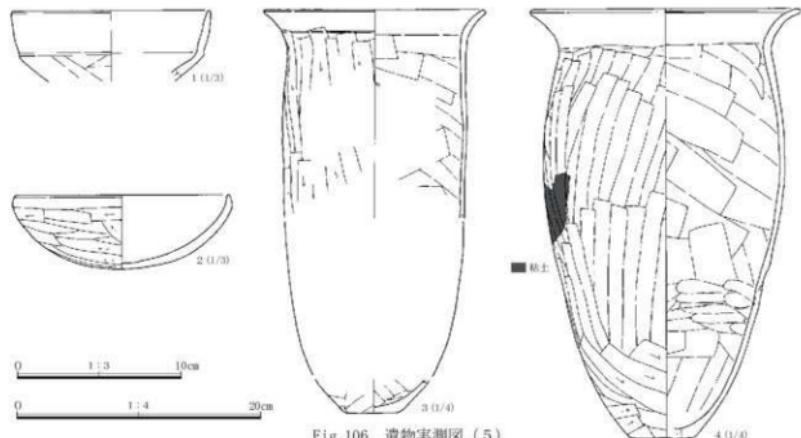
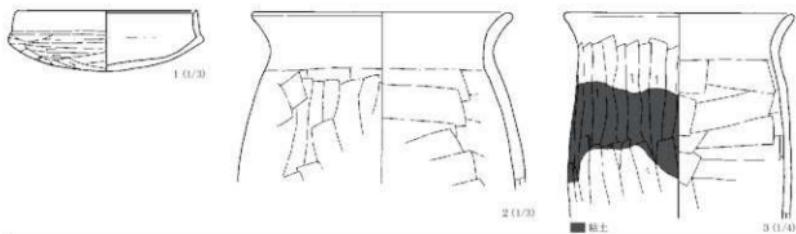
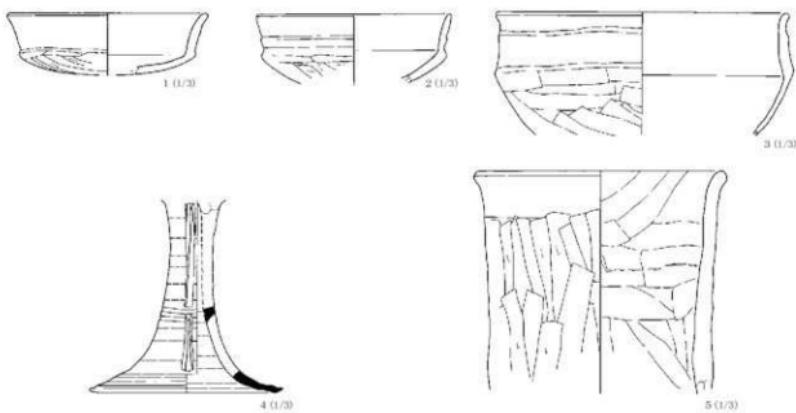


Fig. 106 遺物実測図 (5)

H-17号住居跡



H-18号住居跡



H-19号住居跡

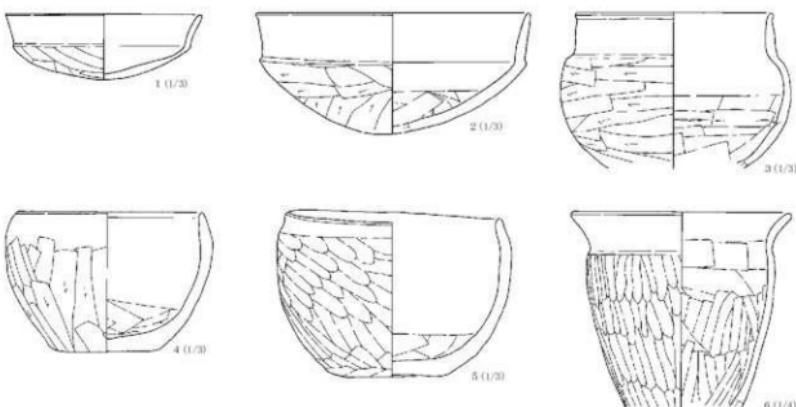


Fig. 107 遺物実測図 (6)

H-19号住居跡

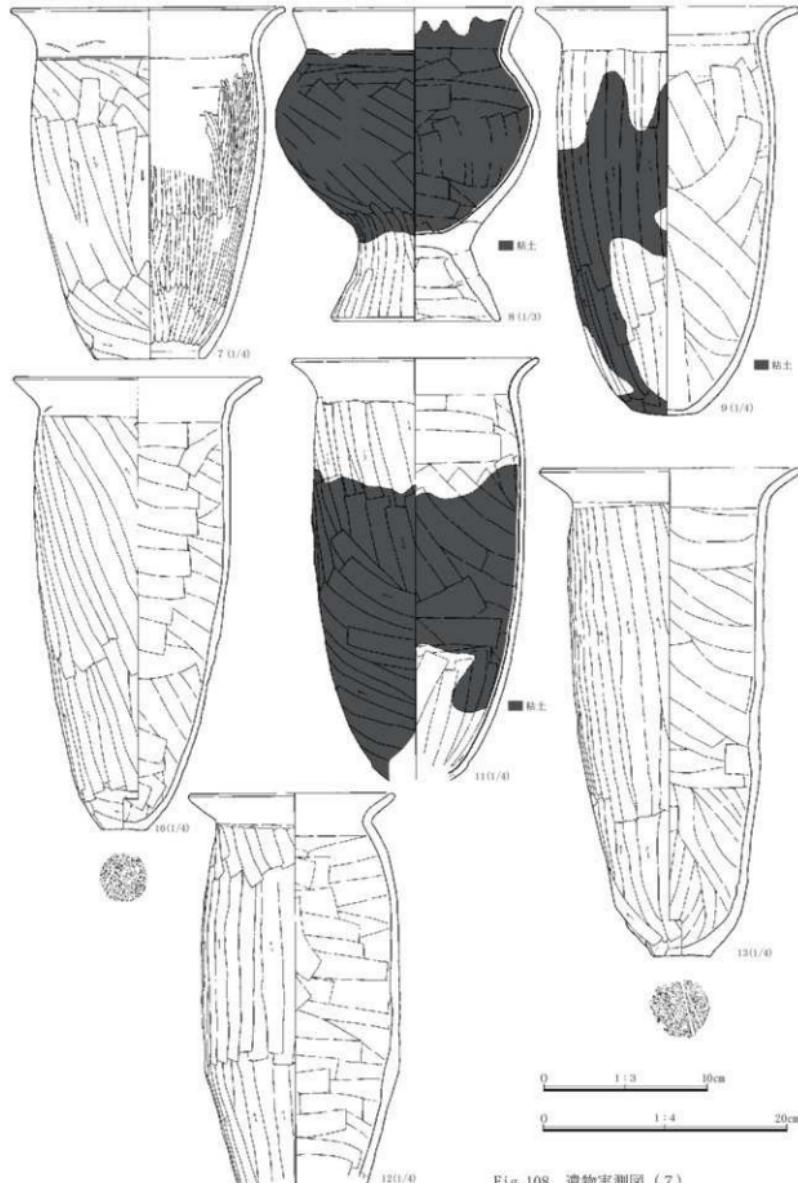


Fig. 108 遺物実測図 (7)

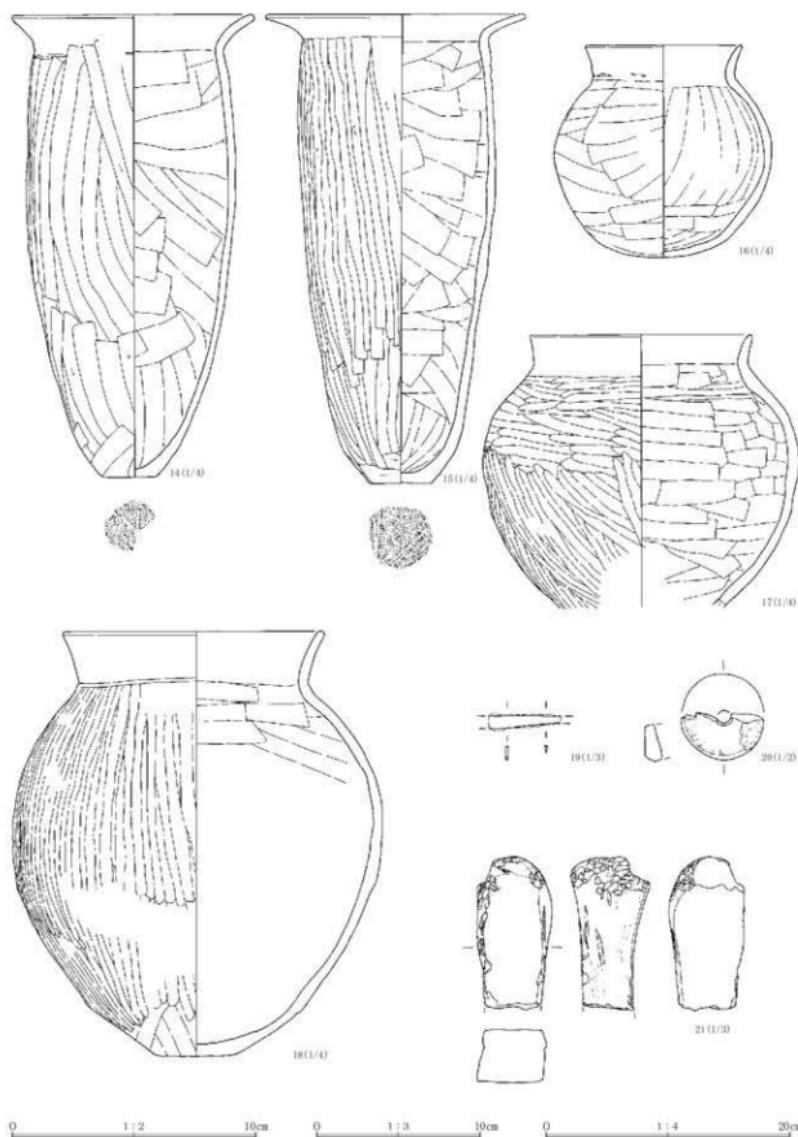


Fig. 109 遺物実測図 (8)

H-22号住居跡

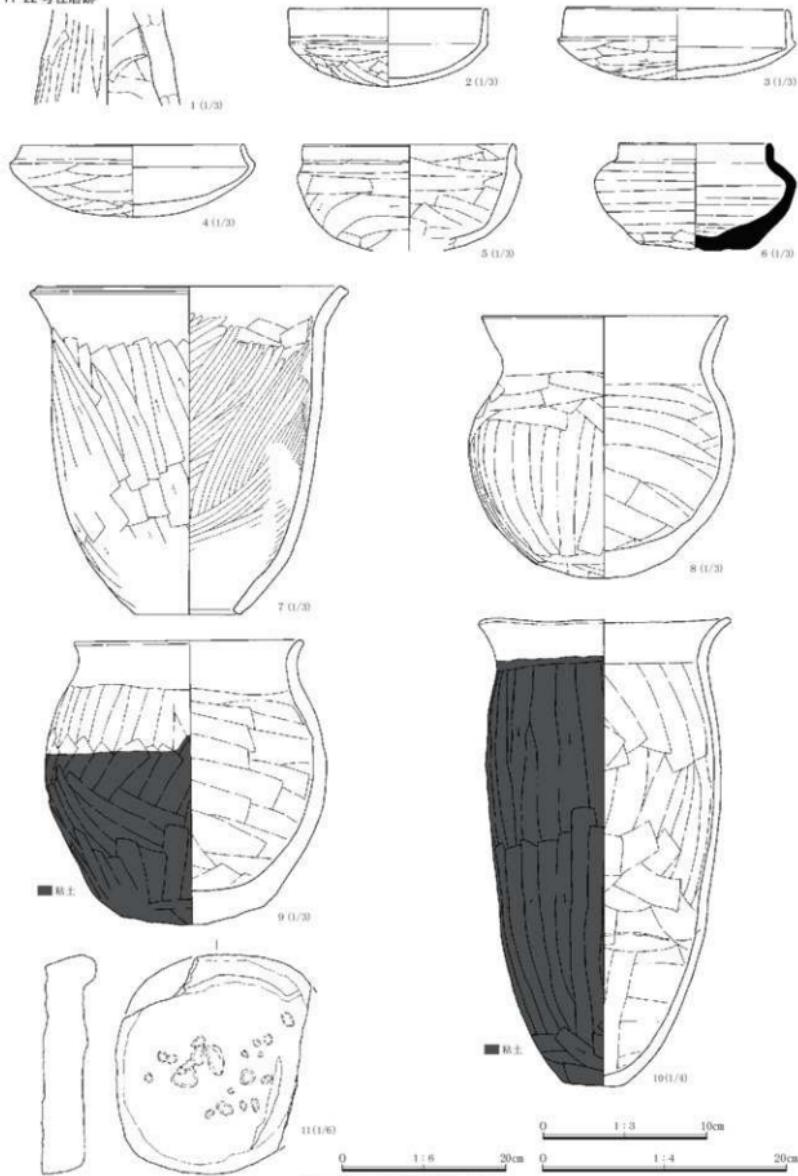


Fig. 110 遺物実測図 (9)

H-23号住居跡

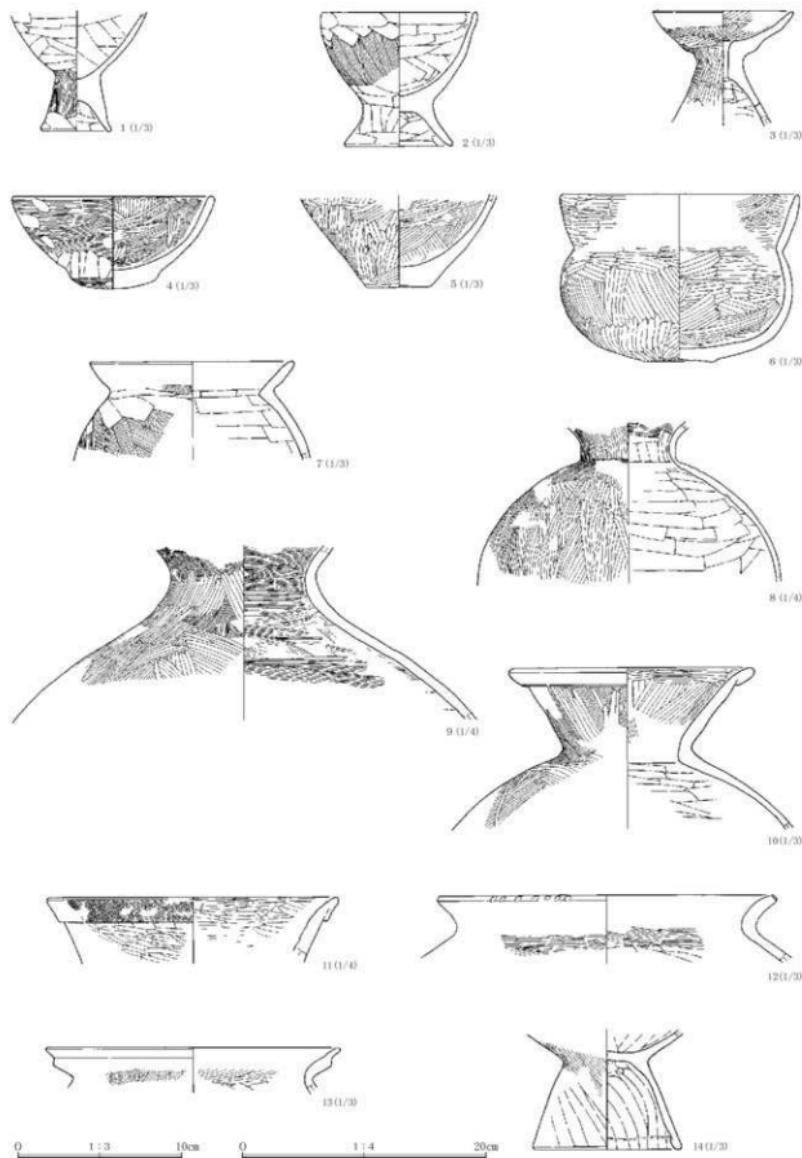


Fig. 111 遺物実測図 (10)

H-24号住居跡

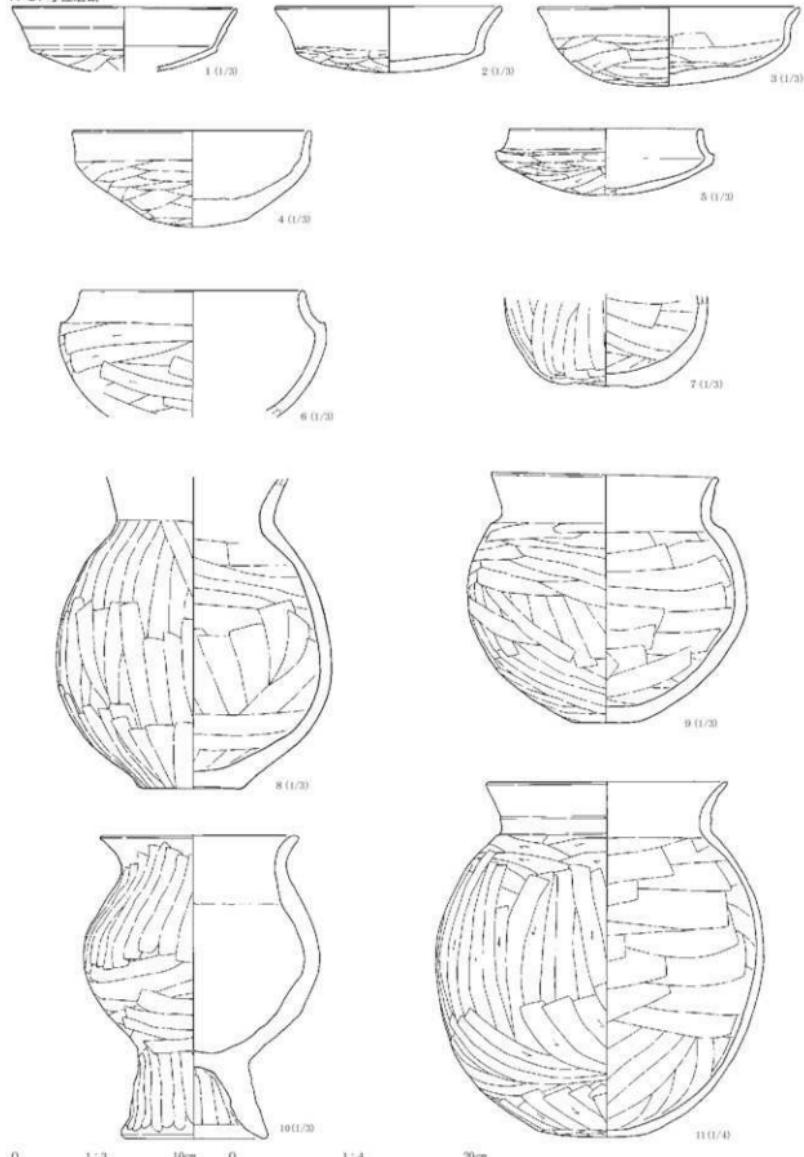
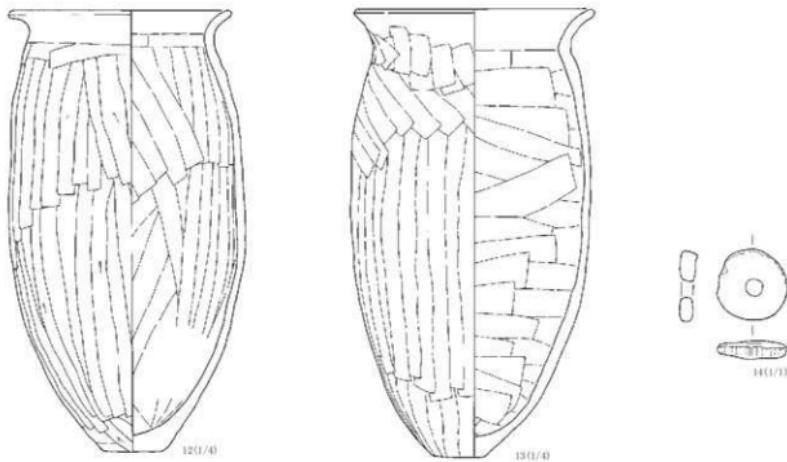
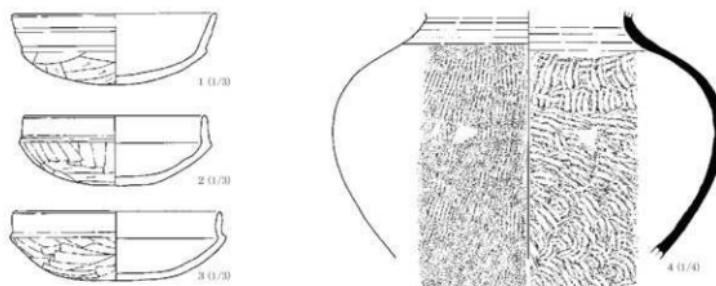


Fig. 112 遺物実測図 (11)

H-24号住居跡



H-25号住居跡



H-26号住居跡

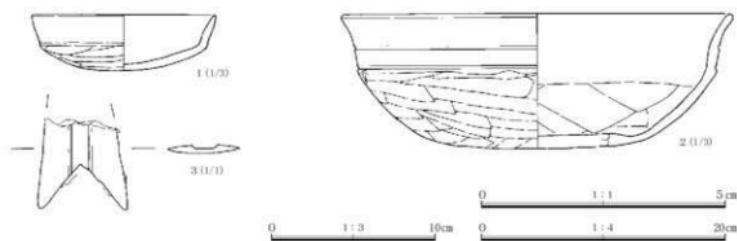
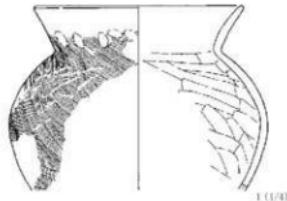
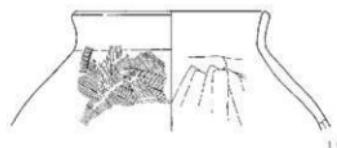


Fig. 113 遺物実測図 (12)

H-27号住居跡



H-28号住居跡



H-29号住居跡

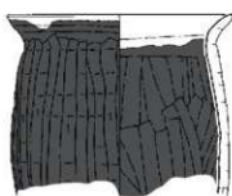
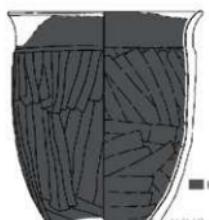
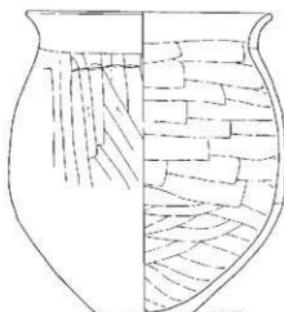
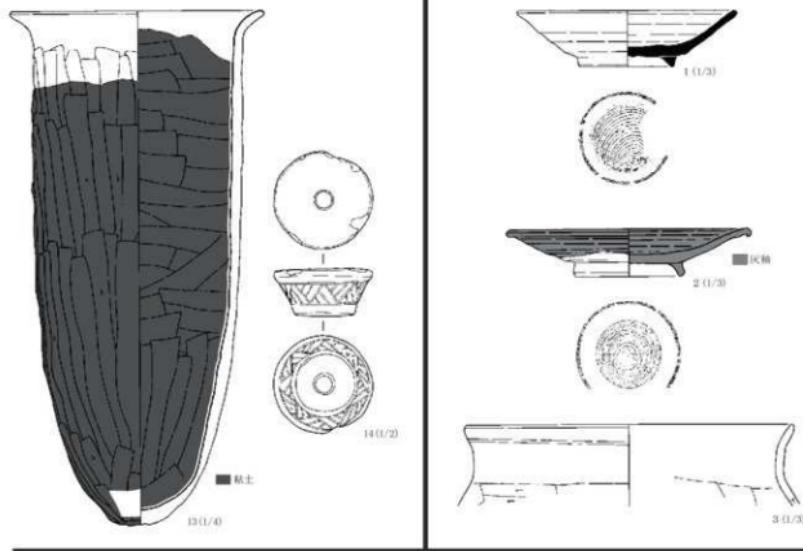
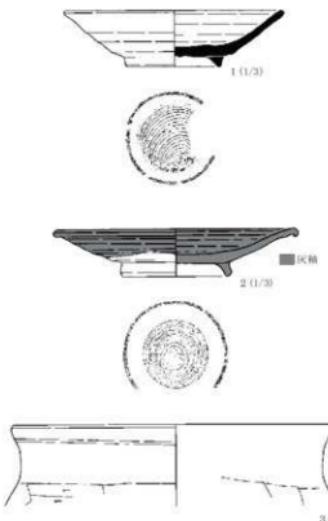


Fig. 114 遺物実測図 (13)

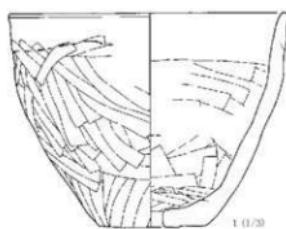
H-29号住居跡



H-30号住居跡



H-31号住居跡



H-33号住居跡

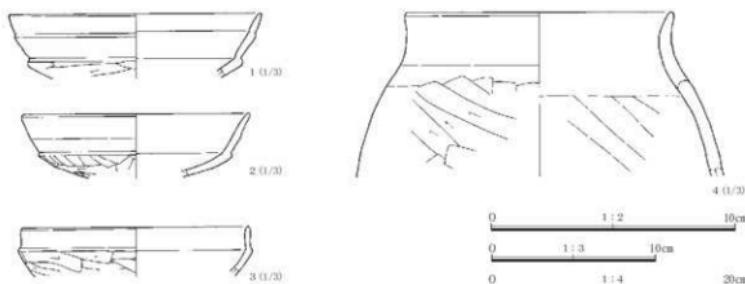


Fig. 115 遺物実測図 (14)

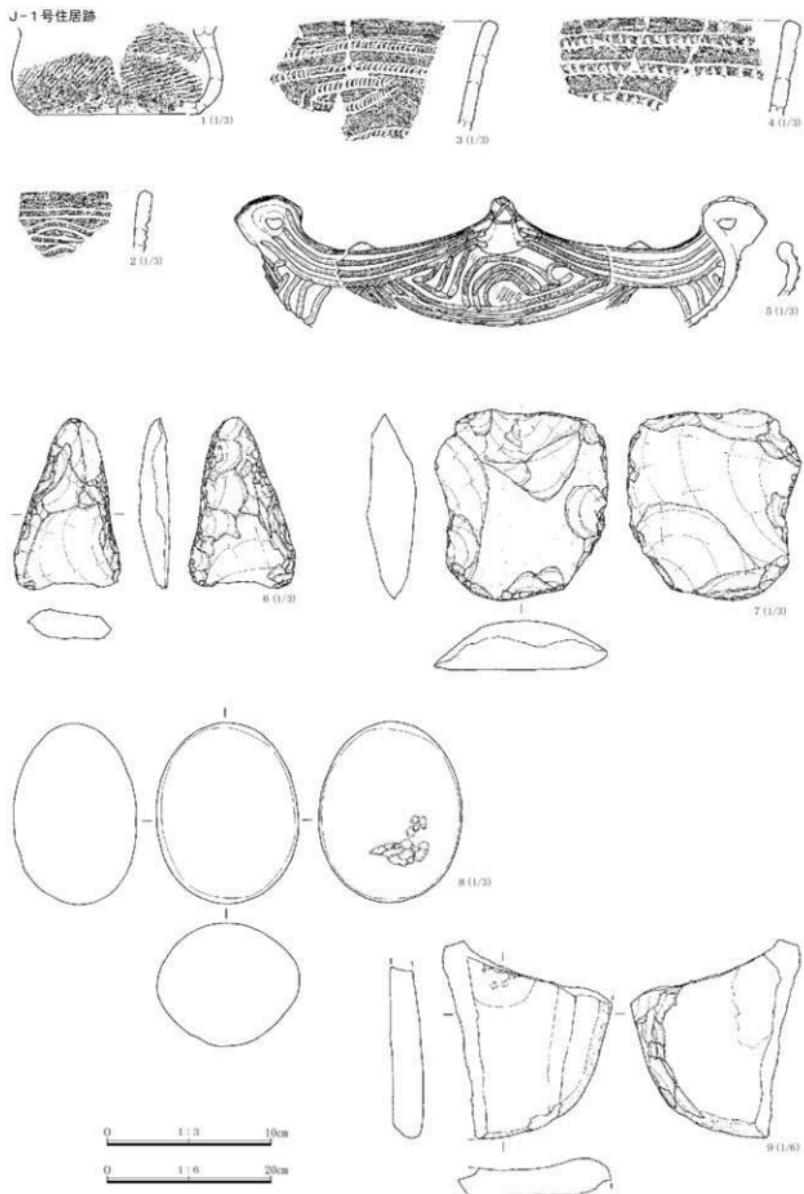
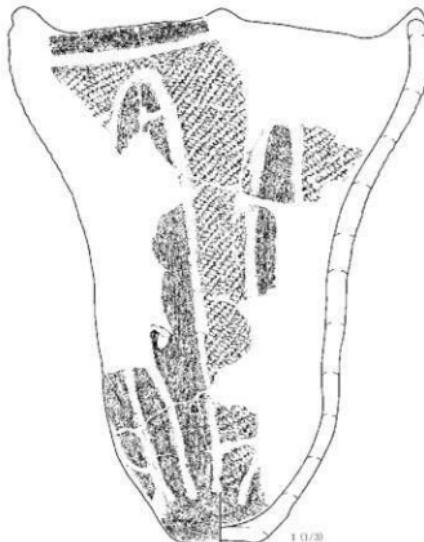


Fig. 116 遺物実測図 (15)

J-2号住居跡



J-3号住居跡

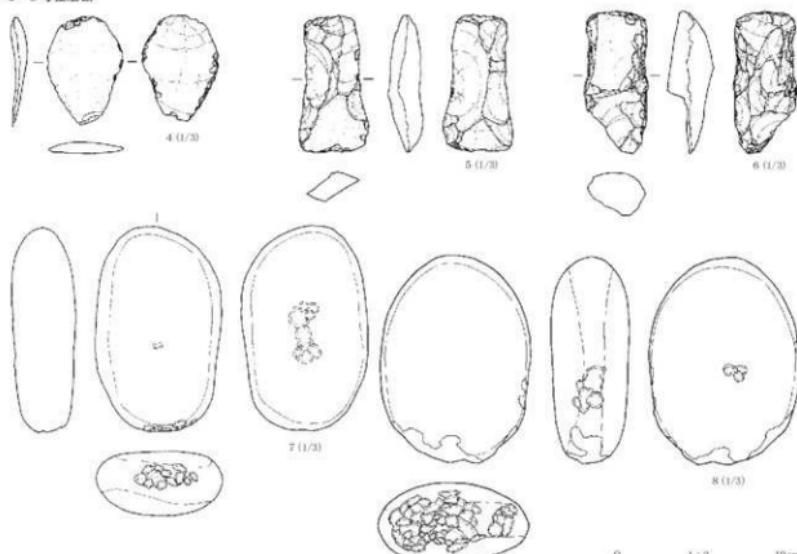
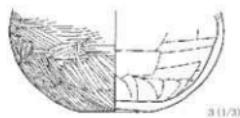
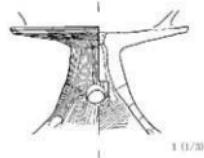
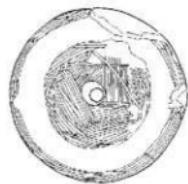
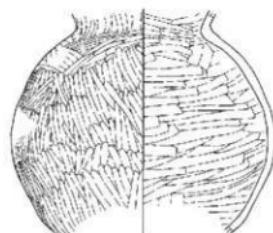
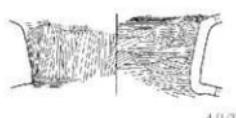


Fig. 117 遺物実測図 (16)

C-1号方形周溝墓



C-2号方形周溝墓



0 1:3 10cm
0 1:4 20cm

Fig. 118 遺物実測図 (17)

D-1号土坑



1 (1/3)



2 (1/3)



D-6号土坑



D-38号土坑

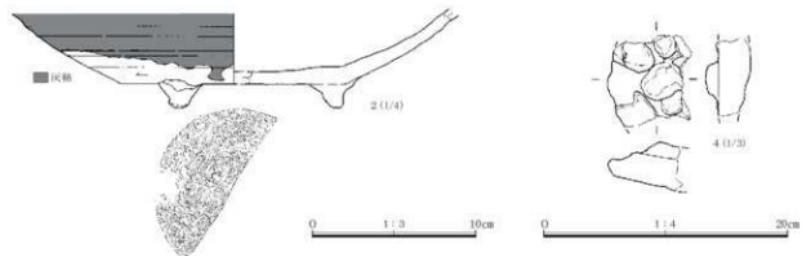
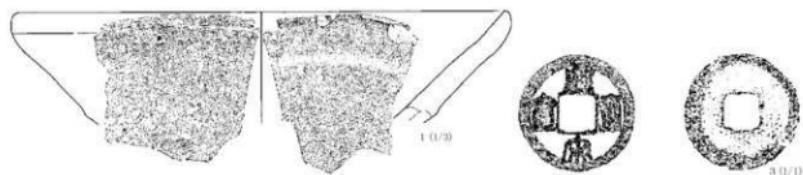
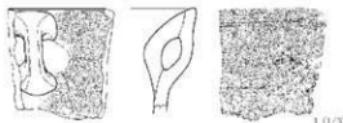
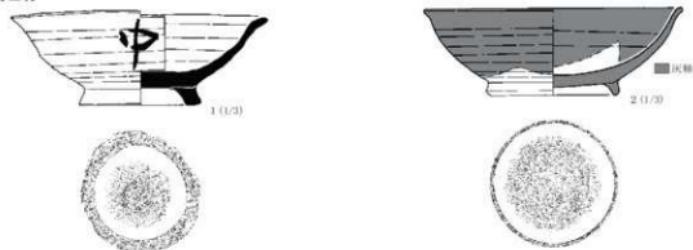


Fig. 119 遗物实测图 (18)

D-43号土坑



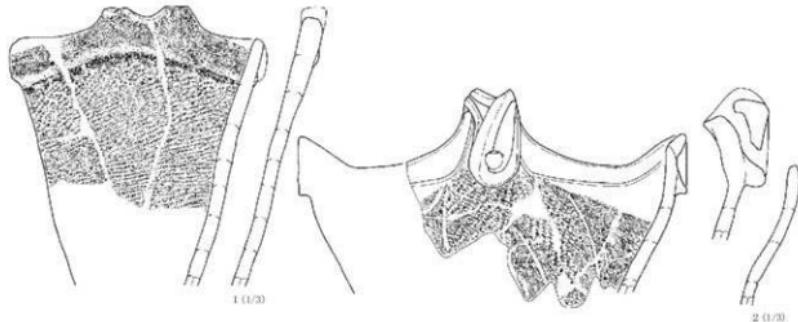
D-50号土坑



D-59号土坑



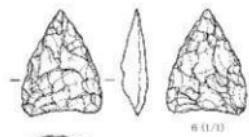
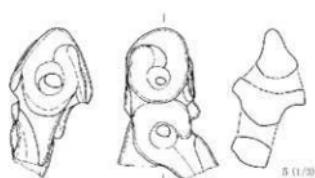
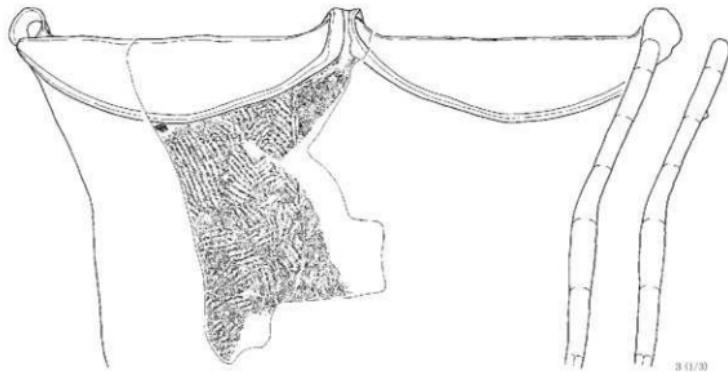
J D-33号土坑



0 1:3 10cm

Fig. 120 遺物実測図 (19)

J D-33 号土坑



0 1:1 5 cm

0 1:3 10 cm

0 1:6 20 cm

J D-62 号土坑

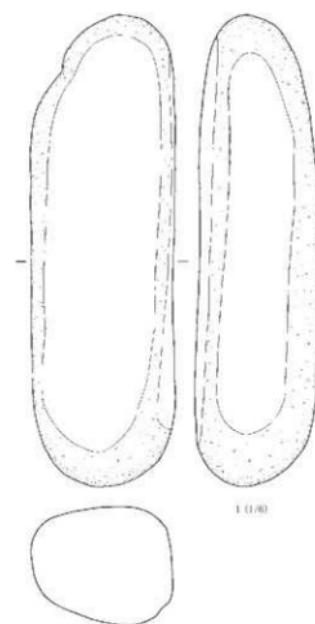
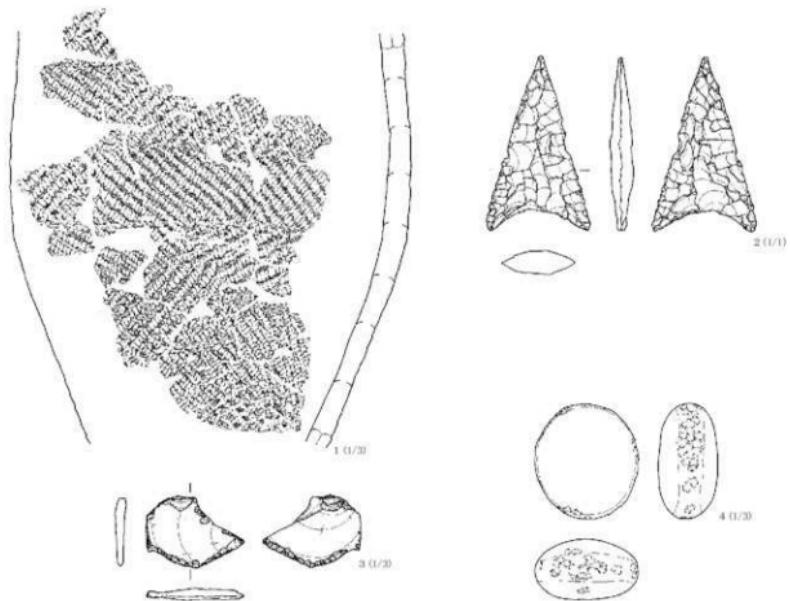


Fig. 121 遗物实测图 (20)

J D-81 号土坑



J D-82 号土坑



J D-84 号土坑

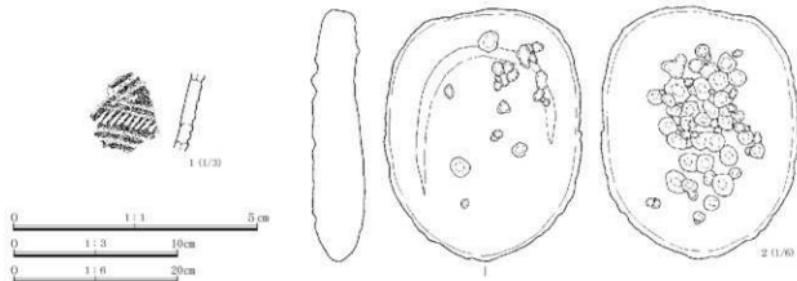
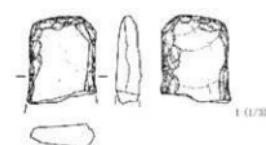


Fig. 122 遗物実測図 (21)

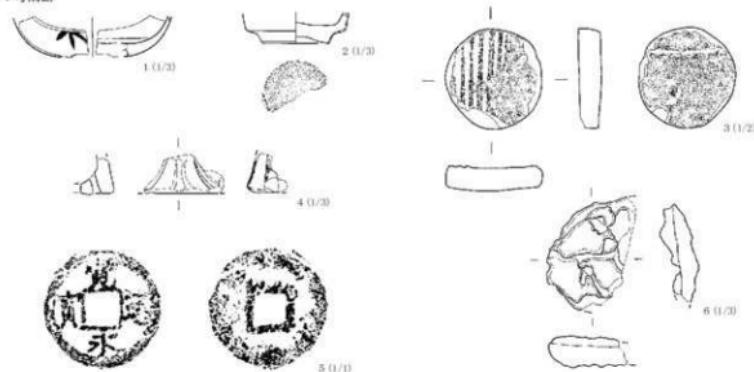
J D-98 号土坑



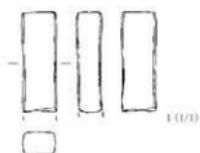
J D-100 号土坑



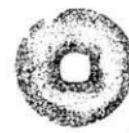
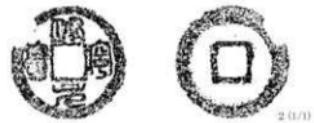
W-1 号溝跡



W-3 号溝跡



P-508 号



0 1:3 10cm

0 1:2 10cm

0 1:1 5cm

Fig. 123 遺物実測図 (22)

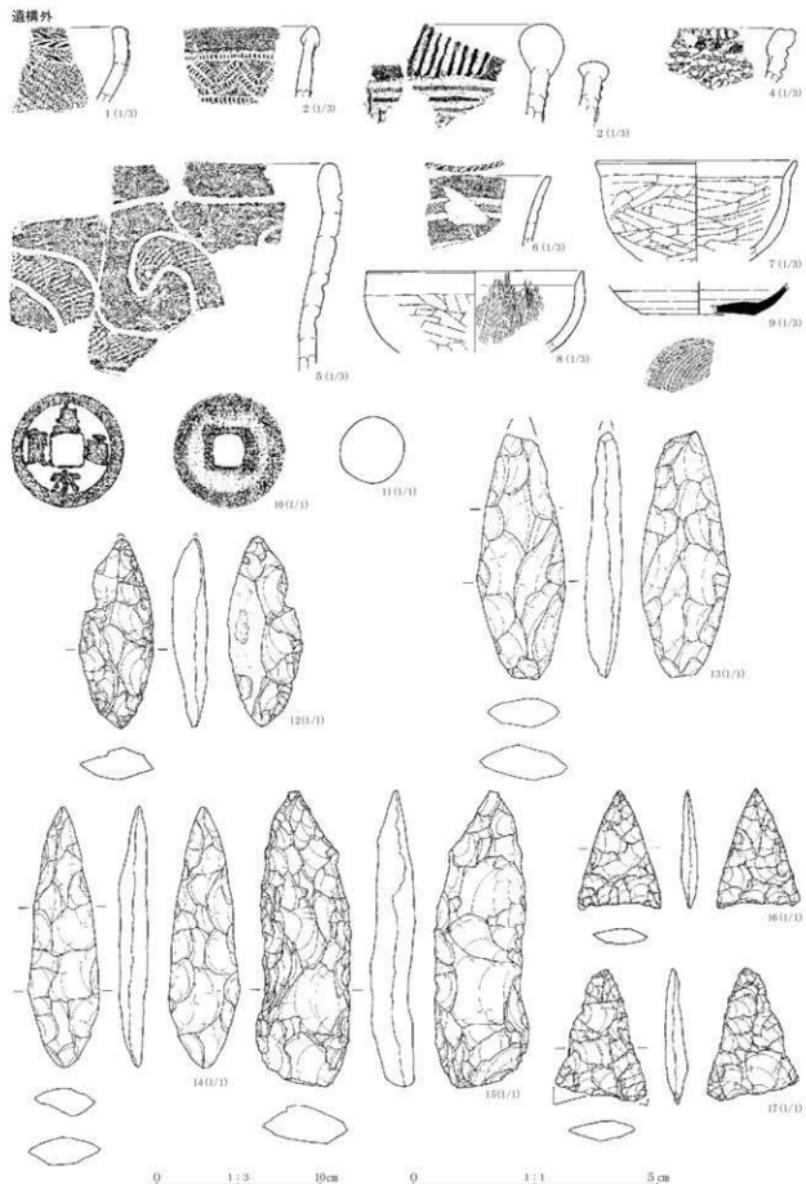


Fig. 124 遺物実測図 (23)

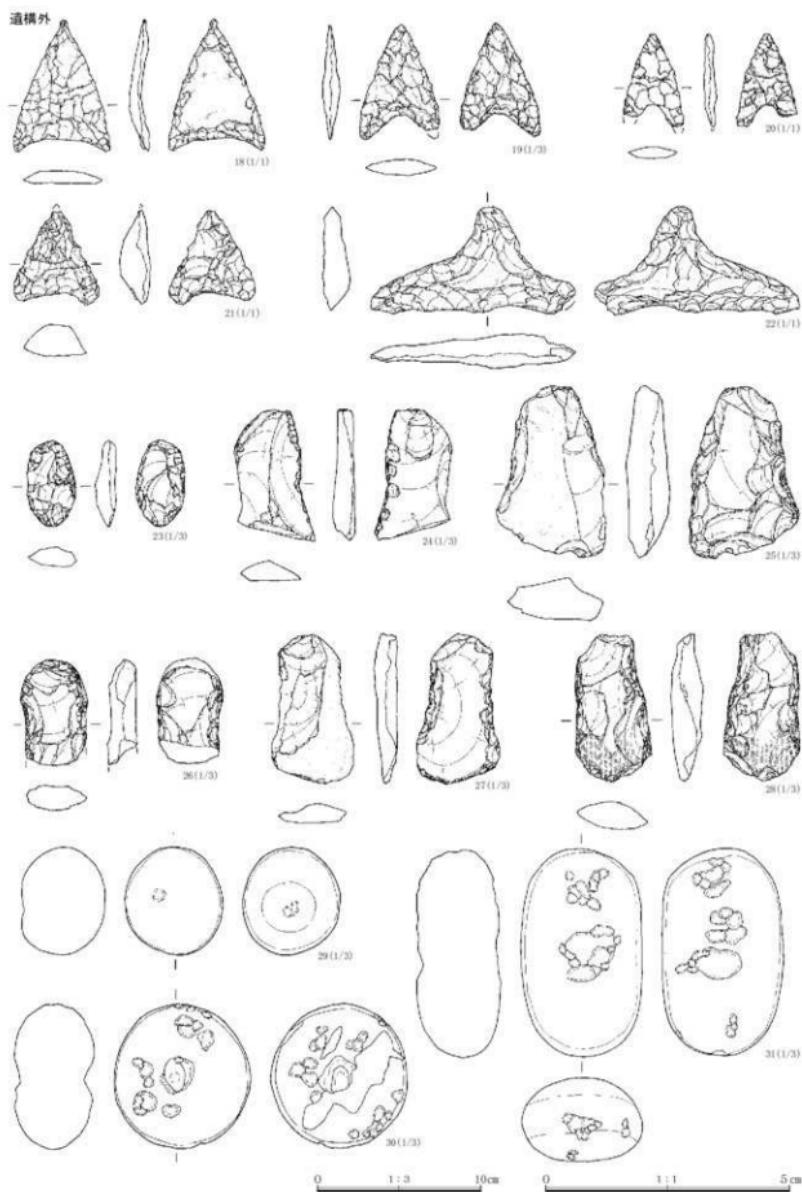


Fig. 125 遺物実測図 (24)

H-1号住居跡遺物観察表

番号	器種	法量(cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 壺	口径:13.6 底径:— 器高:3.9	①酸化焰②にぶい橙③白色粒・石英・黒色鉱物④口縁～底部一部欠	外面: 口縁部横ナデ。体部～底部窓ケズリ。 内面: 横ナデ。	
2	土師器 壺	口径:(11.8) 底径:— 器高:3.5	①酸化焰②にぶい橙③白色粒・石英・黒色鉱物④2/3	外面: 口縁部横ナデ。体部窓ナデ。底部窓ケズリ。 内面: 口縁～底部窓ナデ。見込みに墨書。	墨書「加」?
3	土師器 壺	口径:12.2 底径:— 器高:3.5	①酸化焰②橙③白色粒・石英・黒色鉱物④1/3	外面: 口縁部横ナデ。体部～底部窓ナデ。底部に墨書。 内面: 横ナデ。	墨書「神仙」
4	土師器 壺	口径:(12.4) 底径:(8.0) 器高:3.1 3/4	①酸化焰②にぶい橙③白色粒・チャート・黒色鉱物④	外面: 口縁部横ナデ。体部窓ナデ。 内面: 横ナデ。	
5	土師器 壺	口径:12.8 底径:9.3 器高:3.3	①酸化焰②にぶい橙③白色粒・チャート・黒色鉱物④	外面: 口縁部横ナデ。体部窓ナデ。底部窓ケズリ。 内面: 口縁～底部窓ナデ。	
6	須恵器 壺	口径:13.0 底径:6.5 器高:3.9	①還元焰②灰黄③白色粒・石英・チャート・黒色粒④	外面: 軸轉整形後体部下端窓ナデ。底部右回転糸切り。 内面: 軸轉整形。	
7	須恵器 碗	口径:12.8 底径:6.1 器高:5.0	①還元焰②浅黄③白色粒・チャート・黒色鉱物④口縁～底部一部欠	外面: 軸轉整形。底部右回転糸切り後高台貼付け。体部に墨書。 内面: 軸轉整形。体部に墨書。	墨書内外とも 判読不能
番号	器種	法量(cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
8	鉄製品 刀子	残存長:6.0 幅:1.2 厚さ:0.3	重さ:6.38g 片開	刃部・柄部とも端部欠損。	

H-2号住居跡遺物観察表

番号	器種	法量(cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 壺	口径:(11.6) 底径:— 器高:<3.6>	①酸化焰②橙③白色粒・褐色粒・黒色鉱物④1/3	外面: 口縁部横ナデ。体部～底部窓ケズリ。 内面: 横ナデ。	
2	土師器 壺	口径:(17.4) 底径:— 器高:5.5	①酸化焰②橙③白色粒・チャート・褐色粒・黒色鉱物④口縁～体部1/5	外面: 口縁部横ナデ。体部窓ケズリ。 内面: 横ナデ。	
3	土師器 台付甕	口径:— 底径:11.7 器高:<5.8>	①酸化焰②灰褐黄③白色粒・石英・チャート・褐色粒・黒色鉱物④胴部下位～脚部	外面: 脚部上位窓ケズリ。脚部下位横ナデ。 内面: 底部窓ナデ。脚部上位窓ナデ。脚部下位横ナデ。	
4	土師器 甕	口径:20.4 底径:— 器高:<28.3>	①酸化焰②にぶい黄橙③白色粒・石英・黒色鉱物④口縁～胴部下位	外面: 口縁部横ナデ。胴部窓ケズリ。胴部上位～下位に粘土付着。 内面: 口縁部横ナデ。胴部窓ナデ。	

H-3号住居跡遺物観察表

番号	器種	法量(cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 壺	口径:(10.2) 底径:— 器高:<2.2>	①酸化焰②橙③白色粒・石英・片岩・黒色鉱物④口縁～体部上位片	外面: 口縁部横ナデ。体部窓ケズリ。 内面: 横ナデ。	

H-4a号住居跡遺物観察表

番号	器種	法量(cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 碗	口径:9.4 底径:4.0 器高:5.2	①酸化焰②にぶい黄橙③白色粒・石英・チャート・黒色鉱物④完形	外面: 口縁部窓ナデ。体部ミガキ。底部窓ナデ。 内面: ミガキ。	

Tab. 19 出土遺物観察表 (1)

番号	器種	法量(cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
2	土師器 罐	口径:14.8 底径:— 器高:11.6	①酸化焰②赤褐③白色粒・ 石英・黒色鉱物④ほぼ完形	外面: 口縁～体部ミガキ。底部籠ナデ。 内面: 口縁部ミガキ。体部～底部籠ナデ後ミガキ。	
3	土師器 高坏	口径:9.9 底径:12.4 器高:10.9	①酸化焰②浅黄褐③白色粒・ チャート・黒色鉱物④	外面: 口縁部横ナデ。体部ミガキ。体部下端～脚部上 端籠ナデ。 内面: 篦ナデ。脚部透孔1段3孔。	
4	土師器 高坏	口径:— 底径:— 器高:(6.5)	①酸化焰②にぶい橙③白色粒・ チャート・黒色鉱物④ 脚部1/8	外面: 脚部上端籠ナデ。脚部ミガキ。 内面: 底部籠ナデ。脚部籠ナデ後中位ミガキ。脚部透 孔4孔。	
5	土師器 高坏	口径:(14.4) 底径:— 器高:(4.8)	①酸化焰②にぶい褐③白色粒・ チャート・黒色鉱物④ 口縁～底部1/3	外面: 篦ナデ。 内面: ミガキ。	
6	須恵器 鉢	口径:18.5 底径:4.8 器高:5.2	①酸化焰②にぶい橙③白色粒・ 石英・チャート・黒色 粒④一部欠	外面: ミガキ。 内面: ミガキ。	
7	土師器 甕	口径:— 底径:— 器高:—	①酸化焰②黒褐③白色粒・ チャート④口縁～頸部片 器高:—	外面: 口唇部ミガキ。口縁部横ナデ。頸部ミガキ。 内面: ミガキ。	
8	土師器 台付甕	口径:(8.4) 底径:6.5 器高:10.7	①酸化焰②にぶい黄③白色粒・ チャート・黒色鉱物④ 口縁部7/8欠	外面: 口縁部横ナデ。胴部刷毛目。台部刷毛目後指ナデ。 内面: 口縁部指ナデ。胴部籠ナデ。台部上位指ナデ。 台部下位刷毛目。	
9	土師器 台付甕	口径:14.6 底径:— 器高:(18.4)	①酸化焰②明赤褐③白色粒・ 石英・チャート④口縁 部1/7欠・脚部1/3欠・台 部下位欠	外面: 口縁部横ナデ。胴部刷毛目後下位籠ナデ。台部 上位刷毛目。内面: 口縁部籠ナデ。頸部刷毛目。胴部 刷毛目後上位籠ナデ・下位ミガキ。台部籠ナデ。	
10	土師器 台付甕	口径:(18.4) 底径:10.1 器高:27.2	①酸化焰②にぶい褐③白色粒・ 石英・チャート④口縁 部3/4欠・胴部1/2欠	外面: 口縁部横ナデ。胴部刷毛目後下位籠ナデ。台部 刷毛目後下位指ナデ。 内面: 口縁部横ナデ。胴部刷毛目。台部刷毛目後上位 指ナデ。	
11	土師器 台付甕	口径:(16.4) 底径:— 器高:(7.6)	①酸化焰②にぶい橙③白色粒・ 石英・黒色鉱物④口縁 ～胴部1/3	外面: 口縁部横ナデ。胴部刷毛目。 内面: 口縁部横ナデ。胴部籠ナデ。	
12	土師器 甕	口径:(18.8) 底径:— 器高:(19.0)	①酸化焰②橙③白色粒・石 英・チャート・黒色鉱物④ 口縁～胴部1/3	外面: 口縁部横ナデ。胴部刷毛目後下位ミガキ。 内面: ミガキ。	
番号	器種	法量(cm)	成・整形技法の特徴	備考	
13	赤玉	長さ:4.5 幅:4.9 厚さ:4.2 重さ:8.91g			
14	土製品 土玉	長さ:1.7 幅:1.6 厚さ:1.4 重さ:3.35g	酸化焰焼成。色調黒色。白色粒・黒色鉱物含む。外 面調整指ナデ。両面穿孔。		

H-4 b号住居跡遺物観察表

番号	器種	法量(cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 器台	口径:8.7 底径:— 器高:(6.8)	①酸化焰②浅黄③白色粒・ チャート・黒色鉱物④口縁 部一部欠・台部下端欠	外面: ミガキ。 内面: 口縁～底部ミガキ。台部指ナデ。台部透孔3孔。	
2	土師器 高坏	口径:— 底径:— 器高:(4.0)	①酸化焰②にぶい褐③白色 粒・石英・黒色鉱物④底部 ～脚部上位	外面: ミガキ。 内面: 底部ミガキ。脚部指ナデ。	
3	土師器 台付甕	口径:— 底径:9.1 器高:(6.0)	①酸化焰②にぶい褐③白色 粒・チャート・黒色鉱物④ 脚部3/4	外面: 刷毛目後脚部下位指ナデ。 内面: 底部籠ナデ。脚部刷毛目後上位指ナデ・下端 籠ナデ。	

Tab. 20 出土遺物観察表（2）

番号	器種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
4	土師器 壺	口径 : 15.7 底径 : - 器高 : <5.3>	①酸化焰②橙③白色粒・石英・チャート・黑色鉱物④口縁部	外面 : 口縁部ミガキ。頸部刷毛目。肩部ミガキ。 内面 : 口縁部ミガキ。肩部窓ナデ。	

H-5号住居跡遺物観察表

番号	器種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	ミニチ ュア	口径 : (4.6) 底径 : (3.0) 器高 : 2.3	①酸化焰②浅黄③白色粒・黑色鉱物④1/4	外面 : ミガキ。 内面 : 窓ナデ。	
2	土師器 壺	口径 : 10.2 底径 : 4.3 器高 : 11.2	①酸化焰②にぶい桜③白色粒・石英・チャート・黑色鉱物④一部欠	外面 : 口縁部～体部ミガキ。底部窓ナデ。 内面 : 口縁部～体部上位ミガキ。体部下位～底部窓ナデ。	
3	土師器 壺	口径 : - 底径 : 4.0 器高 : (11.9)	①酸化焰②浅黄③白色粒・石英・黑色鉱物④口縁部欠	外面 : 頸部～底部ミガキ。 内面 : 口縁部ミガキ。頸部～底部窓ナデ。	
4	土師器 甕	口径 : (11.6) 底径 : - 器高 : <5.3>	①酸化焰②オリーブ黒③白色粒・石英・黑色鉱物④口縁～胴部上位 1/4	外面 : 口縁部横ナデ。胴部刷毛目。 内面 : 口縁部横ナデ。胴部窓ナデ。	
5	土師器 台付甕	口径 : - 底径 : 7.5 器高 : (5.4)	①酸化焰②にぶい黄緑③白色粒・石英・チャート・黑色鉱物④脚部 3/4	外面 : 刷毛目後指ナデ。 内面 : 底部窓ナデ。脚部窓ナデ。	
6	土師器 甕	口径 : - 底径 : 3.1 器高 : (4.9)	①酸化焰②灰黄褐③白色粒・チャート・黑色鉱物④胴部下位 1/8・底部 7/8	外面 : 脚部刷毛目。底部窓ナデ。 内面 : 脚部窓ナデ。底部刷毛目。	
7	土師器 甕	口径 : - 底径 : - 器高 : <8.4>	①酸化焰②にぶい桜③白色粒・石英・チャート・黑色鉱物・褐色粒④胴部下位～底部 3/4	外面 : 窓ナデ。 内面 : 窓ナデ。	

H-6号住居跡遺物観察表

番号	器種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 甕	口径 : 11.5 底径 : - 器高 : (15.1)	①酸化焰②黒褐③白色粒・チャート・黑色鉱物④口縁～胴部中位 3/4	外面 : 口縁部横ナデ。胴部刷毛目。胴部下位剥落顕著。 内面 : 口縁部横ナデ。胴部刷毛目後上位窓ナデ。	
2	土師器 甕	口径 : (15.5) 底径 : 5.1 器高 : 18.1	①酸化焰②にぶい赤褐③白色粒・チャート・黑色鉱物④口縁部 3/4・胴部下位～底部 1/4 欠	外面 : 口縁部横ナデ。胴部刷毛目。底部窓ナデ。 内面 : 口縁部横ナデ胴部上位・下位～底部窓ナデ。胴部中位刷毛目。	
3	土師器 甕	口径 : (18.0) 底径 : - 器高 : <16.2>	①酸化焰②にぶい赤褐③白色粒・石英・黑色鉱物④口縁～胴部中位 1/4	外面 : 口縁部横ナデ。胴部刷毛目。 内面 : 口縁部横ナデ。胴部刷毛目。	
4	土師器 甕	口径 : - 底径 : - 器高 : <2.4>	①酸化焰②黒褐③白色粒・黑色鉱物④胴部上位片	外面 : 刷毛目。 内面 : 刷毛目。	

H-12号住居跡遺物観察表

番号	器種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 环	口径 : (12.8) 底径 : - 器高 : <3.4>	①酸化焰②褐灰③白色粒・石英・チャート・黑色鉱物④口縁～体部 1/8	外面 : 口縁部横ナデ。体部窓ナデ。 内面 : 横ナデ。	

Tab. 21 出土遺物観察表 (3)

番号	器種	法量(cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
2	須恵器 横瓶	口径 : - 底径 : - 器高 : <19.0	①還元焰②暗赤③白色粒・ チャート・黒色鉱物④閉塞 側面～胴部1/6	①外面：搔目・平行叩き。 内面：閉塞側面波状当具瓶。胴部箇ナデか？	

H-14 14号住居跡遺物観察表

番号	器種	法量(cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 壺	口径 : (12.5) 底径 : - 器高 : 4.0	①酸化焰②橙③白色粒・石英・チャート・黒色鉱物④ 1/3	外面：口縁部横ナデ。体～底部箇ケズリ。 内面：横ナデ。	
2	土師器 壺	口径 : (12.3) 底径 : - 器高 : 4.2	①酸化焰②橙③白色粒・ チャート・褐色粒④口縁部 3/4欠・体部1/4欠	外面：口縁部横ナデ。体～底部箇ケズリ。 内面：横ナデ。	
3	土師器 壺	口径 : (12.8) 底径 : - 器高 : 4.8	①酸化焰②にぶい黄緑③白 色粒・チャート・黒色粒④ 口縁部7/8欠・体部1/3欠	外面：口縁部横ナデ。体～底部箇ケズリ。 内面：横ナデ。	
4	土師器 甕	口径 : 16.1 底径 : 5.9 器高 : 14.5	①酸化焰②にぶい橙③白色 粒・石英・チャート・黒色 鉱物④注口完形	外面：口縁部横ナデ。胴部上位～中位箇ナデ。胴部下 位～底部箇ケズリ。 内面：箇ナデ。	
5	土師器 甕	口径 : 14.8 底径 : 5.8 器高 : 12.9	①酸化焰②にぶい黄緑③白 色粒・石英・チャート・黒 色鉱物④完形	外面：口縁部箇ナデ。胴部箇ケズリ。底部箇ナデ。 内面：箇ナデ。	
6	須恵器 甕	口径 : 16.8 底径 : - 器高 : (15.9)	①酸化焰②にぶい褐③白色 粒・石英・チャート・黒色 鉱物④口縁部3/4・胴部上 位～中位1/2	外面：口縁部横ナデ。胴部箇ケズリ。胴部中位に粘土 付着。 内面：口縁部横ナデ。胴部箇ナデ。	
7	土師器 甕	口径 : 19.8 底径 : - 器高 : <24.6	①酸化焰②明赤褐③白色 粒・石英・チャート・黒 色鉱物④口縁部3/4・胴部 1/3	外面：口縁部横ナデ。胴部箇ケズリ。 内面：口縁部横ナデ。胴部箇ナデ。	
番号	器種	法量(cm)	成・整形技法の特徴	備考	
8	石製品 硯石	残存長 : 3.2 幅 : 2.7 厚さ : 2.3	重さ : 34.0g 流紋石製。磨面5面。片面穿孔。		
9	鉄製品 鉄鎌	残存長 : 5.7 幅 : 0.5 厚さ : 0.3	重さ : 13g 簾被部。		

H-15 15号住居跡遺物観察表

番号	器種	法量(cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	陶器 甕	口径 : - 底径 : (13.2) 器高 : <4.0	①還元焰②褐赤③白色粒・ 石英・チャート④胴部下位 ～底部1/6	外面：胴部箇ナデ後釉薬。底部箇ナデ。 内面：箇ナデ。	常滑

H-16 16号住居跡遺物観察表

番号	器種	法量(cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 壺	口径 : (12.0) 底径 : - 器高 : (4.3)	①酸化焰②橙③白色粒・ 母・褐色粒・黒色粒④口縁 ～体部1/6	外面：口縁部横ナデ。体部箇ナデ。 内面：横ナデ。	
2	土師器 壺	口径 : (13.0) 底径 : - 器高 : 4.5	①酸化焰②にぶい橙③白色 粒・チャート・黒色鉱物④ 口縁～底部1/4	外面：口縁部横ナデ。体部～底部箇ケズリ。 内面：横ナデ。	
3	土師器 甕	口径 : 18.1 底径 : 4.3 器高 : <19.8	①酸化焰②にぶい褐③白色 粒・石英・チャート・黒色 鉱物④胴部下位欠	外面：口縁部横ナデ。胴部箇ケズリ。底部箇ナデ。胴 部上～中位に粘土の付着が部分的に認められる。 内面：口縁部横ナデ。胴部～底部箇ナデ。	

Tab. 22 出土遺物観察表 (4)

番号	器種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
4	土師器 甕	口径:22.1 底径:(5.2) 器高:35.2	①酸化焰②にぶい褐③白色 粒・チャート・黒色鉱物④ 底部 2/3 次	外面:口縁部横ナデ。胴部上位～中位箇ケズリ後箇ナデ。 胴部下位箇ケズリ。底部箇ナデ。胴部中位に粘土の付着が認められる。 内面:口縁部横ナデ。胴部～底部接合部指ナデ部分を除き箇ナデ。	

H-17 号住居跡遺物観察表

番号	器種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 壺	口径:11.0 底径:— 器高:3.7	①酸化焰②灰 黄褐③白色 粒・黑色鉱物④ほぼ完形	外面:口縁部横ナデ。体部後箇ナデ。体部～底部箇ケズリ。 内面:横ナデ。	
2	土師器 甕	口径:(16.0) 底径:— 器高:(10.8)	①酸化焰②にぶい褐③白色 粒・石英・チャート・黒色 鉱物④口縁～胴部上位 1/8	外面:口縁部横ナデ。胴部箇ナデ。 内面:口縁部横ナデ。胴部箇ナデ。	
3	土師器 甕	口径:19.0 底径:— 器高:(16.7)	①酸化焰②灰 黄褐③白色 粒・チャート・黒色鉱物④ 口縁～胴部中位	外面:口縁部横ナデ。胴部上位～中位に 粘土の付着が認められる。 内面:口縁部横ナデ。胴部箇ナデ。	

H-18 号住居跡遺物観察表

番号	器種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 壺	口径:(12.3) 底径:— 器高:(3.7)	①酸化焰②橙③白色粒・褐色 粒・黑色粒④口縁～底部 1/3	外面:口縁部横ナデ。体部後箇ナデ。体部～底部箇ケズリ。 内面:横ナデ。	
2	土師器 甕	口径:(11.9) 底径:— 器高:(4.2)	①酸化焰②黒褐③白色粒・ チャート・黒色鉱物④口縁 ～体部 1/7	外面:口縁部横ナデ。体部上端箇ナデ。体部箇ケズリ。 内面:横ナデ。	
3	土師器 壺	口径:18.0 底径:— 器高:(7.5)	①酸化焰②橙③白色粒・ チャート・黒色鉱物④口縁 ～体部中位 3/4	外面:口縁部横ナデ。体部箇ナデ。 内面:横ナデ。	
4	須恵器 高环	口径:— 底径:11.8 器高:(11.7)	①還元焰②灰③白色粒・石 英・黒色鉱物④脚部	外面:輪埴整形。 内面:輪埴整形。透孔 2段 2孔。	
5	土師器 甕	口径:(14.5) 底径:— 器高:(13.6)	①酸化焰②にぶい褐③白色 粒・石英・チャート・黒色 鉱物④口縁～胴部中位 1/5	外面:口縁部横ナデ。胴部箇ケズリ。 内面:口縁部横ナデ。胴部箇ナデ。	

H-19 号住居跡遺物観察表

番号	器種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 壺	口径:12.0 底径:— 器高:4.0	①酸化焰②橙③白色粒・ チャート・褐色粒・黑色粒 ④完形	外面:口縁部横ナデ。体部～底部箇ケズリ。 内面:横ナデ。	
2	土師器 壺	口径:16.9 底径:— 器高:(7.4)	①酸化焰②橙③白色粒・ 褐色粒・黑色粒④口縁～底部 3/4	外面:口縁部横ナデ。体部～底部箇ケズリ。 内面:横ナデ。底部箇ケズリ。内面:口縁部～体部上位横ナデ。体部下位～底部箇ナデ。	
3	土師器 小型壺	口径:12.1 底径:— 器高:(9.5)	①酸化焰②橙③白色粒・ 黑色粒④口縁～体部下位 2/3	外面:口縁部横ナデ。体部箇ケズリ。 内面:口縁部～体部上位横ナデ。体部下位箇ナデ。	
4	土師器 鉢	口径:11.4 底径:6.5 器高:8.5	①酸化焰②黒③白色粒・石 英・チャート・黒色鉱物④ 完形	外面:口縁部横ナデ。胴部箇ケズリ。底部箇ナデ。 内面:口縁部～胴部中位箇ナデ後横ナデ。胴部下位～底部箇ナデ。	

Tab. 23 出土遺物観察表 (5)

番号	器種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整彩技法の特徴		備考
				外面: 口縁部横ナデ。胴部～底部鏡ナデ。	内面: 口縁部横ナデ。胴部鏡ナデ。	
5	土師器 鉢	口径: 13.2 底径: 6.5 器高: 11.2	①酸化焰②にぶい黄褐色③白色 色粒・石英・チャート・黒 色鉱物④口縁部 1/4 次	外面: 口縁部横ナデ。胴部～底部鏡ナデ。	内面: 口縁部横ナデ。胴部鏡ナデ。	
6	土師器 瓶	口径: 18.1 底径: 一 器高: <16.0	①酸化焰②にぶい赤褐色③白色 色粒・石英・チャート・雲母・ 黒色鉱物④底部欠	外面: 口縁部横ナデ。胴部鏡ナデ。	内面: 口縁部横ナデ。胴部鏡ナデ。	
7	土師器 瓶	口径: (22.5) 底径: 8.8 器高: 28.7 1/3・底部 5/6	①酸化焰②にぶい黄褐色③白色 色粒・石英・チャート・黒 色鉱物④口縁部 1/4・胴部	外面: 口縁部横ナデ。胴部鏡ケズリ。 内面: 口縁部横ナデ。胴部鏡ナデ後棒状工具によるナデ。		
8	土師器 台付甕	口径: (14.1) 底径: 10.4 器高: 19.1	①酸化焰②にぶい褐③白色 粒・チャート・黒色鉱物④白 口縁～胴部 2/3 次	外面: 口縁部～胴部上端横ナデ。胴部鏡ケズリ。台部 鏡ナデ。胴部に粘土の付着顕著。	内面: 口縁部横ナデ。胴部～底部鏡ナデ。台部鏡ナデ。 口縁部～底部に粘土の付着顕著。	
9	土師器 甕	口径: 21.7 底径: 5.4 器高: 33.4	①酸化焰②にぶい褐③白色 粒・石英・チャート・黒色 鉱物④胴部下位～底部 1/3 欠	外面: 口縁部横ナデ。胴部鏡ケズリ。底部鏡ナデ。胴 部上位～下位に粘土の付着顕著。	内面: 口縁部横ナデ。胴部～底部鏡ナデ。	
10	土師器 甕	口径: 20.4 底径: 3.7 器高: 37.1 ほぼ完形	①酸化焰②褐③白色粒・石 英・チャート・黒色鉱物④白 色	外面: 口縁部横ナデ。胴部鏡ケズリ。底部鏡ナデ。胴 部に粘土の付着痕残る。	内面: 口縁部横ナデ。胴部～底部鏡ナデ。	
11	土師器 甕	口径: 20.2 底径: 一 器高: <34.5	①酸化焰②にぶい黄褐色③白色 色粒・石英・チャート・黒 色鉱物④胴部下位 1/3 次 底部欠	外面: 口縁部横ナデ。胴部鏡ケズリ。胴部上位から下 位に粘土の付着顕著。	内面: 口縁部横ナデ。胴部鏡ナデ。胴部上位～下位に 粘土の付着顕著。	
12	土師器 甕	口径: 16.9 底径: 一 器高: <32.0	①酸化焰②にぶい赤褐色③白 色粒・チャート・黒色鉱物 ④口縁部 1/4 次・胴部下位 1/4 次・底部欠	外面: 口縁部横ナデ。胴部鏡ケズリ。 内面: 口縁部横ナデ。胴部鏡ナデ。		
13	土師器 甕	口径: 21.5 底径: 4.8 器高: 39.9	①酸化焰②にぶい赤褐色③白 色粒・石英・チャート・雲母・ 黒色鉱物④口縁部 1/4 次	外面: 口縁部横ナデ。胴部鏡ケズリ。底部鏡ナデ。胴 部上位～下位に粘土付着。	内面: 口縁部横ナデ。胴部～底部鏡ナデ。胴部上位～ 底部粘土付着。	
14	土師器 甕	口径: 19.8 底径: 4.3 器高: 37.8 ほぼ完形	①酸化焰②にぶい赤褐色③白 色粒・石英・チャート・黒色 鉱物④ほぼ完形	外面: 口縁部横ナデ。胴部鏡ケズリ。底部木葉模。胴 部上位～下位に粘土付着。	内面: 口縁部横ナデ。胴部～底部鏡ナデ。胴部中位～ 下位粘土付着。	
15	土師器 甕	口径: (21.3) 底径: 5.1 器高: 38.4 部上位 1/2 次	①酸化焰②にぶい赤褐色③白 色粒・石英・チャート・黒 色鉱物④口縁部 6/7 次・胴 部上位 1/2 次	外面: 口縁部横ナデ。胴部鏡ケズリ。底部植物压痕。	内面: 口縁部横ナデ。胴部～底部鏡ナデ。	
16	土師器 甕	口径: 12.8 底径: 一 器高: 17.3 ほぼ完形	①酸化焰②褐③白色粒・ チャート・黑色粒④ほぼ完 形	外面: 口縁部横ナデ。胴部～底部鏡ケズリ。 内面: 口縁部横ナデ。胴部～底部鏡ナデ。		
17	土師器 甕	口径: (18.2) 底径: 一 器高: <22.2 部上位 1/8・胴部 1/3	①酸化焰②明赤褐色③白色 粒・石英・黒色鉱物④口縁 部 1/8・胴部 1/3	外面: 口縁部横ナデ。胴部鏡状工具によるミガキ。 内面: 口縁部横ナデ。頭部～胴部鏡ナデ。		
18	土師器 甕	口径: (21.4) 底径: 6.5 器高: 34.8 1/3 次	①酸化焰②にぶい褐③白色 粒・石英・黒色鉱物④口縁 部 2/3 次・胴部上位～中位	外面: 口縁部横ナデ。胴部～底部鏡ナデ。 内面: 口縁部横ナデ。胴部～底部鏡ナデ。表面剥落顕著。		

Tab. 24 出土遺物観察表 (6)

番号	器種	法量 (cm)	法量 (cm)、成・整形技法の特徴	備考
19	鉄製品 刀子	残存長:4.5 幅:0.8 厚さ:0.2 重さ:3.10g	刀部欠損。柄部端部欠損。	
20	石製品 劫錐車?	残存長:<2.0> 残存幅:<3.4> 厚さ:<0.7> 重さ:5.01g	滑石製。	
21	石製品 砥石	残存長:<9.44> 幅:4.6 厚さ:<4.8> 重さ:256.28g	滑紋岩製。4面使用。砥面使用により平滑化し、側面および上面の一部に線刻あり。端部欠損。	

H-22号住居跡遺物観察表

番号	器種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 台付甕 ?	口径: - 底径: - 器高:<5.7> 1/2	①酸化焰②明赤褐色③白色 粒・石英・黒色鉱物④台部	外面: 篦ナデ。 内面: 篦ナデ。	
2	土師器 壺	口径:(12.2 底径: - 器高: 4.7 1/4欠	①酸化焰②褐灰③白色粒・石英・黒色鉱物④口縁部	外面: 口縁部横ナデ。体部～底部箒ナデ。 内面: 横ナデ。	
3	土師器 壺	口径:(12.7 底径: - 器高: 4.4 部3/4欠・体～底部1/2欠	①酸化焰②灰黄褐色③白色 粒・石英・黒色鉱物④口縁部	外面: 口縁部横ナデ。体部～底部箒ケズリ。 内面: 横ナデ。	
4	土師器 壺	口径:(13.7 底径: - 器高: 4.4 位7/8欠	①酸化焰②橙③白色粒・石英・褐色粒④口縁～体部上	外面: 口縁部横ナデ。体部～底部箒ナデ。 内面: 横ナデ。	
5	土師器 壺	口径:(13.0 底径: - 器高:<6.5> ～体部下位1/2	①酸化焰②にぶい檻③白色 粒・石英・黒色鉱物④口縁	外面: 口縁部横ナデ。体部箒ケズリ。 内面: 篦ナデ。	
6	須恵器 短頸壺	口径: 9.4 底径: 7.0 器高: 6.5	①還元焰②灰③白色粒・石英・チャート・黒色粒④完形	外面: 軸轆整形後胴部下端～底部箒ナデ。 内面: 軸轆整形。	
7	土師器 甕	口径:(19.6 底径: (6.4 器高: 20.0	①酸化焰②にぶい赤褐色③白色粒・石英・黒色粒④口縁部～胴部1/2欠・底部5/6欠	外面: 口縁部横ナデ。胴部箒ケズリ。 内面: 口縁部横ナデ。胴部箒ナデ後ミガキ。	
8	土師器 甕	口径: 15.0 底径: - 器高: 16.0	①酸化焰②にぶい赤褐色③白色粒・石英・チャート・黒色粒④完形	外面: 口縁部横ナデ。胴部～底部箒ナデ。 内面: 口縁部横ナデ。胴部～底部箒ナデ。	
9	土師器 甕	口径: 14.0 底径: - 器高: 17.4	①酸化焰②灰黄褐色③白色粒・石英・チャート・黒色粒④口縁部～胴部欠・底部一部剥落	外面: 口縁部横ナデ。胴部～底部箒ナデ。胴部中位～底部に粘土付着。 内面: 口縁部横ナデ。胴部～底部箒ナデ。	
10	土師器 甕	口径: 20.7 底径: 4.7 器高: 38.4	①酸化焰②にぶい褐色③白色粒・石英・チャート・黒色粒④口縁部1/4欠	外面: 口縁部横ナデ。胴部箒ケズリ。底部箒ナデ。胴部～底部に粘土付着。 内面: 口縁部横ナデ。胴部～底部箒ナデ。	
番号	器種	法量 (cm)	法量 (cm)、成・整形技法の特徴	備考	
11	石器	石皿	長さ: 27.3 残存幅:<24.2> 厚さ: 6.7 重さ: 5460g	安山岩製。大型板状剥片を素材とする。縁部あり。皿面は敲打による凹穴や摩耗痕が認められる。敲打後磨面成型。一部欠損。	

H-23号住居跡遺物観察表

番号	器種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 小型 台付甕	口径: - 底径: 4.3 器高:<7.3>	①酸化焰②にぶい黄褐色③白色粒・石英・チャート・黒色粒④胴部中位～台部	外面: 脇部箒ナデ。台部刷毛目後下端箒ナデ。 内面: 篦ナデ。	
2	土師器 台付鉢	口径: 9.4 底径: (6.5 器高: 8.1	①酸化焰②にぶい檻③白色粒・チャート・黒色鉱物④口縁～台部1/2	外面: 口縁部箒ナデ。胴部刷毛目後下端箒ナデ。台部箒ナデ。 内面: 篦ナデ。	

Tab. 25 出土遺物観察表 (7)

番号	器種	法量(cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
3	土師器 器台	口径 : 8.6 底径 : - 器高 : <7.0	①酸化焰②浅黄③白色粒・ 石英・チャート・黒色鉱物 ④口縁部1/4欠・台部下端 2欠	外面: 口縁部横ナデ。体部～台部ミガキ。 内面: 口縁～底部ミガキ。台部箇ナデ。透孔4孔。	
4	土師器 壺	口径 : (12.4) 底径 : 5.0 器高 : 5.6	①酸化焰②にぶい橙③白色 粒・石英・チャート・黒色 鉱物④口様～体部上位4/5 欠	外面: 口縁～底部刷毛目後一部箇ナデ。 内面: ミガキ。	
5	土師器 壺?	口径 : - 底径 : 4.0 器高 : <5.6	①酸化焰②にぶい黄橙③白 色粒・石英・チャート・黒 色鉱物④胴部下位～底部	外面: 脊部ミガキ。底部箇ナデ。 内面: ミガキ。	
6	土師器 鉢	口径 : (14.6) 底径 : 4.0 器高 : 10.2	①酸化焰②にぶい褐③白色 粒・石英・チャート・黒色 鉱物④口縁部3/4欠・胴部下 位1/5欠	外面: 口縁部～胴部ミガキ。底部箇ナデ。 内面: 口縁部～底部ミガキ。	
7	土師器 甕	口径 : (12.6) 底径 : - 器高 : <6.0	①酸化焰②にぶい黄橙③白 色粒・石英・チャート・黒 色鉱物④口縁部1/4・胴部 上位1/2	外面: 口縁部横ナデ。胴部刷毛目後上位箇ナデ。 内面: 口縁部横ナデ。胴部箇ナデ。	
8	土師器 壺	口径 : - 底径 : - 器高 : <13.0	①酸化焰②灰黄③白色粒・ チャート・黒色鉱物④頸部 4/5・胴部上位1/4	外面: 頸部刷毛目後ミガキ。胴部ミガキ。 内面: 頸部刷毛目後箇ナデ。胴部箇ナデ。	
9	土師器 壺	口径 : - 底径 : - 器高 : <14.4	①酸化焰②明赤褐③白色 粒・石英・チャート・褐色粒・ 黒色鉱物④頸部3/4・胴部 上位1/3	外面: 刷毛目後ミガキ。 内面: 刷毛目後箇ナデ。	
10	土師器 壺	口径 : (15.1) 底径 : - 器高 : <9.9	①酸化焰②橙③白色粒・ チャート・黒色鉱物④口縁 部1/5・胴部上位1/3	外面: 口縁部横ナデ。頸部～胴部刷毛目後ミガキ。 内面: 口縁部～頸部刷毛目後ミガキ。胴部箇ナデ。	
11	土師器 甕	口径 : (24.0) 底径 : - 器高 : <5.4	①酸化焰②にぶい黄橙③白 色粒・石英・チャート・黒 色鉱物④口縁～頸部1/6	外面: 口縁部單節且説文。頸部箇ナデ後ミガキ。 内面: ミガキ。	
12	土師器 甕	口径 : (20.8) 底径 : - 器高 : <3.3	①酸化焰②にぶい褐③白色 粒・チャート・黒色鉱物④口 縁～胴部上位1/8	外面: 口唇部丸棒状工具による刻み。口縁部横ナデ。 内面: 口縁部横ナデ。胴部刷毛目後箇ナデ。	
13	土師器 甕	口径 : (18.0) 底径 : - 器高 : <2.6	①酸化焰②灰黄褐③白色 粒・チャート・黒色粒④口 縁～胴部上位1/8	外面: 口縁部横ナデ。胴部刷毛目。 内面: 口縁部横ナデ。胴部刷毛目後箇ナデ。	
14	土師器 台付甕	口径 : - 底径 : 9.1 器高 : <7.3	①酸化焰②にぶい黄橙③白 色粒・チャート・黒色鉱物 ④胴部下端～底部・台部 2/3	外面: 胎部刷毛目。台部刷毛目後指ナデ。 内面: 胎部下端～底部箇ナデ。台部指ナデ。	

H-24 号住居跡遺物観察表

番号	器種	法量(cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 壺	口径 : (13.8) 底径 : - 器高 : <3.9	①酸化焰②明赤褐③白色 粒・石英・褐色粒④口縁～ 体部1/3	外面: 口縁部横ナデ。体部箇ケズリ。粘土付着。 内面: 横ナデ。粘土付着。	
2	土師器 壺	口径 : 14.0 底径 : - 器高 : 4.0	①酸化焰②にぶい橙③白色 粒・チャート・片岩・雲母・ 黒色鉱物④ほぼ完形	外面: 口縁部横ナデ。体部～底部箇ケズリ。 内面: 横ナデ。	

Tab. 26 出土遺物観察表 (8)

番号	器種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
3	土師器 壺	口径 : 16.0 底径 : - 器高 : 4.8	①酸化焰②橙③白色粒・石英・褐色粒④口縁～体部上位1/4欠	外面 : 口縁部横ナデ。体部～底部窓ケズリ。 内面 : 口縁部横ナデ。体部～底部窓ナデ。	
4	土師器 壺	口径 : 14.7 底径 : - 器高 : 5.9	①酸化焰②にぶい橙③白色粒・石英・黒色鉱物④口縁部1/4欠	外面 : 口縁部横ナデ。体部～底部窓ナデ。 内面 : 横ナデ。	
5	土師器 壺	口径 : 11.8 底径 : - 器高 : (4.0) 久	①酸化焰②灰黒③白色粒・チャート・黒色鉱物④底部	外面 : 口縁部横ナデ。体部上端窓ナデ。体部窓ケズリ。 内面 : 横ナデ。	
6	土師器 小型壺	口径 : (13.8) 底径 : - 器高 : (7.7)	①酸化焰②暗灰黄③白色粒・チャート・黒色鉱物④口縁～体部1/2欠	外面 : 口縁部横ナデ。体部窓ケズリ。 内面 : 横ナデ。	
7	土師器 鉢？	口径 : - 底径 : 5.2 器高 : (5.6)	①酸化焰②にぶい黄褐③白色粒・石英・チャート・黒色鉱物④胴部下位～底部	外面 : 脇部窓ナデ。底部窓ケズリ。 内面 : 窓ナデ。	
8	土師器 壺	口径 : - 底径 : 6.3 器高 : <18.9	①酸化焰②浅黄③白色粒・チャート・黒色鉱物④口縁部欠～胴部中位1/3欠	外面 : 頭部横ナデ。胴部～底部窓ナデ。 内面 : 頭部横ナデ。胴部～底部窓ナデ。	
9	土師器 甕	口径 : 13.9 底径 : 4.0 器高 : 15.3	①酸化焰②橙③白色粒・石英・黒色鉱物④完形	外面 : 口縁部横ナデ。胴部～底部窓ナデ。 内面 : 口縁部横ナデ。胴部～底部窓ナデ。	
10	土師器 台付甕	口径 : 12.2 底径 : 9.0 器高 : 18.4	①酸化焰②にぶい褐③白色粒・石英・黒色鉱物④ほぼ完形	外面 : 口縁部横ナデ。胴部下端横ナデ後指ナデ。 内面 : 口縁部横ナデ。胴部～底部剥落顯著。台部指ナデ後下端横ナデ。	
11	土師器 甕	口径 : 19.7 底径 : 9.0 器高 : 29.1	①酸化焰②にぶい褐③白色粒・石英・チャート・黒色鉱物④ほぼ完形	外面 : 口縁部横ナデ。胴部窓ケズリ。底部窓ナデ。 内面 : 口縁部横ナデ。胴部～底部窓ナデ。	
12	土師器 甕	口径 : (18.2) 底径 : 4.8 器高 : 36.2	①酸化焰②灰黄褐③白色粒・石英・チャート④口唇部2/3欠・胴部一部欠	外面 : 口縁部横ナデ。胴部窓ケズリ。底部窓ナデ。胴部上位～底部に粘土付着。 内面 : 口縁部横ナデ。胴部～底部窓ナデ。	
13	土師器 甕	口径 : 19.7 底径 : 4.1 器高 : 36.8	①酸化焰②にぶい赤褐③白色粒・石英・黒色鉱物④ほぼ完形	外面 : 口縁部横ナデ。胴部～底部窓ナデ。 内面 : 口縁部横ナデ。胴部～底部窓ナデ。	
番号	器種	法量 (cm)	成・整形技法の特徴		備考
14	石製品 臼玉	長さ : 1.48 幅 : 1.45 厚さ : 0.4 重さ : 1.07g	側面には研磨による調整が施される。		

H-25 号住居跡遺物観察表

番号	器種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 壺	口径 : 12.5 底径 : - 器高 : 4.3	①酸化焰②橙③白色粒・チャート・黒色鉱物④口縁～底部2/3欠	外面 : 口縁部横ナデ。体部～底部窓ケズリ。 内面 : 横ナデ。	
2	土師器 壺	口径 : 11.2 底径 : - 器高 : 4.3	①酸化焰②にぶい赤褐③白色粒・石英・黒色鉱物④口縁部一部欠	外面 : 口縁部横ナデ。体部上位窓ナデ。体部下位～底部窓ケズリ。 内面 : 横ナデ。	
3	土師器 壺	口径 : 12.8 底径 : - 器高 : 4.2	①酸化焰②黒褐③白色粒・チャート・黒色鉱物④口縁部一部欠	外面 : 口縁部横ナデ。体部～底部窓ナデ。 内面 : 横ナデ。	
4	須恵器 壺	口径 : - 底径 : - 器高 : <20.3>	①還元焰②灰白③白色粒・石英④頭部～胴部下位1/4欠	外面 : 頭部～肩部輪轍整形。胴部平行叩き。 内面 : 頭部～肩部輪轍整形。胴部同心円状の当て具痕。	

Tab. 27 出土遺物観察表 (9)

H-26号住居跡遺物観察表

番号	器種	法量(cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 坏	口径:11.2 底径:— 器高:3.4	①酸化焰②橙③白色粒・ チャート・黒色鉱物④完形	外面:口縁部横ナデ。体部~底部窓ケズリ。 内面:横ナデ。	
2	土師器 鉢	口径:(24.0) 底径:— 器高:(8.2)	①酸化焰②橙③白色粒・黒 色鉱物④口縁部~体部下位 1/3	外面:口縁部横ナデ。体部窓ナデ。 内面:口縁部横ナデ。体部窓ナデ。	
番号	器種	法量(cm)	成・整形技法の特徴	備考	
3	鉄製品 鉄鎌	残存長:(1.9)	幅:1.8 厚さ:0.2 重さ:1.09g		

H-27号住居跡遺物観察表

番号	器種	法量(cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 甕	口径:(17.2) 底径:— 器高:(15.0)	①酸化焰②黒褐③白色粒・ 石英・チャート・黒色鉱物④口縁 ～胴部中位1/4	外面:口縁部横ナデ。胴部刷毛目。 内面:口縁部横ナデ。胴部窓ナデ。	

H-28号住居跡遺物観察表

番号	器種	法量(cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 甕	口径:(12.0) 底径:— 器高:(7.3)	①酸化焰②黄灰③白色粒・ チャート・黒色鉱物④口縁 ～胴部上位1/8	外面:口縁部横ナデ。胴部刷毛目。 内面:口縁部横ナデ。胴部窓ナデ。	

H-29号住居跡遺物観察表

番号	器種	法量(cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 坏	口径:13.0 底径:— 器高:4.2	①酸化焰②浅黄③白色粒・ チャート・黒色鉱物④口縁 部1/4欠	外面:口縁部横ナデ。体部上端窓ナデ。体部中位～底 部窓ケズリ。 内面:横ナデ。	
2	土師器 坏	口径:(14.2) 底径:— 器高:(4.1)	①酸化焰②にぶい橙③白色 粒・チャート・黒色粒④口 縁～体部1/5	外面:口縁部横ナデ。体部窓ナデ。 内面:横ナデ。	
3	土師器 坏	口径:12.9 底径:— 器高:4.9	①酸化焰②にぶい赤褐③白 色粒・石英・チャート・黒 色鉱物④口縁～底部1/2	外面:口縁部横ナデ。体部～底部窓ナデ。 内面:横ナデ。	
4	土師器 坏	口径:12.5 底径:— 器高:4.2	①酸化焰②灰黄③白色粒・ チャート・黒色鉱物④口縁 部1/5欠	外面:口縁部横ナデ。体部～底部窓ナデ。 内面:横ナデ。	
5	土師器 坏	口径:(13.8) 底径:— 器高:(3.9)	①酸化焰②にぶい黄褐③白 色粒・石英・黒色鉱物④口 縁～体部上位1/8	外面:口縁部横ナデ後ミガキ・赤彩。体部窓ナデ。 内面:横ナデ後ミガキ・赤彩。	
6	土師器 坏	口径:(16.3) 底径:— 器高:(3.7)	①酸化焰②にぶい黄褐③白 色粒・石英・黒色鉱物④口 縁～体部上位1/7	外面:口縁部横ナデ後ミガキ・赤彩。体部窓ナデ。 内面:横ナデ後ミガキ・赤彩。	
7	須恵器 坏	口径:(12.5) 底径:— 器高:(3.5)	①還元焰②灰③白色粒・ チャート④口縁～体部上位 1/8	外面:輪轍整形。 内面:輪轍整形。	
8	土師器 鉢	口径:14.4 底径:— 器高:(8.2)	①酸化焰②にぶい黄褐③白 色粒・石英・黒色鉱物④口 縁～胴部中位1/3	外面:口縁部横ナデ。胴部窓ナデ。 内面:口縁部横ナデ。胴部窓ナデ。	

Tab. 28 出土遺物観察表 (10)

番号	器種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
9	土師器 台付甕	口径 : 12.5 底径 : 12.5 器高 : 18.4	①酸化焰②にぶい褐③白色粒・石英・黒色鉱物④口縁～胴部下位 1/3 次	外面 : 口縁部横ナデ。胴部窓ケズリ。台部上位窓ナデ。 台部下位横ナデ。	
10	土師器 甕	口径 : 20.1 底径 : 7.6 器高 : 25.0	①酸化焰②灰黄褐③白色粒・石英・黒色鉱物④ほぼ完形	外面 : 口縁部横ナデ。胴部～底部窓ナデ。台部横ナデ。 横ナデ。胴部上位～中位窓ケズリ。胴部下位～底部剥落顯著。 内面 : 口縁部横ナデ。胴部～底部窓ナデ。	
11	土師器 甕	口径 : 16.0 底径 : - 器高 : <17.8	①酸化焰②灰黄褐③白色粒・石英・黒色鉱物④口縁部 1/4 次・胴部下位 1/3 次 底部欠	外面 : 口縁部横ナデ。胴部窓ケズリ。口縁部～胴部下位粘土付着顯著。 内面 : 口縁部横ナデ。胴部窓ナデ。口縁部～胴部下位粘土付着顯著。	
12	土師器 甕	口径 : 18.5 底径 : - 器高 : <14.9	①酸化焰②明褐③白色粒・石英・チャート・黒色鉱物④胴部中位～底部欠	外面 : 口縁部横ナデ。胴部窓ケズリ。口縁部～胴部中位粘土付着顯著。 内面 : 口縁部横ナデ。胴部窓ナデ。口縁部～胴部中位粘土付着顯著。	
13	土師器 甕	口径 : 20.8 底径 : 4.8 器高 : 42.5	①酸化焰②橙③白色粒・石英・チャート・黒色鉱物④ほぼ完形	外面 : 口縁部横ナデ。胴部窓ケズリ。底部窓ナデ。胴部上位～底部粘土付着顯著。 内面 : 口縁部横ナデ。胴部～底部窓ナデ。胴部～底部粘土付着顯著。	
番号	器種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
14	石製品 軽鍋車	長さ : 4.0 幅 : 4.1 厚さ : 1.95 重さ : 40.87g	滑石製。側面に線刻が施される。		

H-30号住居跡遺物観察表

番号	器種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 皿	口径 : (13.4) 底径 : 5.7 器高 : 3.4	①還元焰②灰黄③白色粒・石英・チャート・黒色鉱物④口縁～体部 7/8 次・底部 1/4 次	外面 : 軸轆整形。底部右回転糸切り後高台貼付け。 内面 : 軸轆整形。	
2	灰釉 陶器 皿	口径 : (15.0) 底径 : 6.7 器高 : 2.9	①墨綴②灰白③黒色鉱物④口縁～体部 2/3 次・底部 1/4 次	外面 : 軸轆整形。底部回転糸切り後高台貼付け・範記号。 内面 : 軸轆整形。釉濁け掛け。	
3	土師器 甕	口径 : (20.2) 底径 : - 器高 : <5.0	①酸化焰②にぶい黄褐③白色粒・石英・チャート・片岩④口縁～胴部上端 1/5	外面 : 口縁部横ナデ。胴部窓ケズリ。 内面 : 口縁部横ナデ。胴部窓ナデ。	

H-31号住居跡遺物観察表

番号	器種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 甕	口径 : (17.2) 底径 : 6.6 器高 : 13.1	①酸化焰②浅黄③白色粒・石英・チャート・黒色鉱物④口縁～胴部中部 4/5 次	外面 : 口縁部横ナデ。胴部～底部窓ナデ。 内面 : 口縁部横ナデ。胴部～底部窓ナデ。	

H-33号住居跡遺物観察表

番号	器種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 坏	口径 : (15.4) 底径 : - 器高 : (3.9)	①酸化焰②橙③白色粒・石英・チャート・黒色鉱物④口縁～体部上位 1/5	外面 : 口縁部横ナデ。体部窓ケズリ。 内面 : 横ナデ。	
2	土師器 坏	口径 : 14.0 底径 : - 器高 : <3.9	①酸化焰②にぶい黄③白色粒・石英・チャート・黒色鉱物④口縁 1/8 次・底部欠	外面 : 口縁部横ナデ。体部窓ケズリ後上端窓ナデ。 内面 : 横ナデ。	
3	土師器 坏	口径 : (14.0) 底径 : - 器高 : <3.0	①酸化焰②橙③白色粒・石英④口縁～体部上位 1/3	外面 : 口縁部横ナデ。体部窓ケズリ。 内面 : 横ナデ。	

Tab. 29 出土遺物観察表 (11)

番号	器種	法量(cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴		備考
				外側: 口縁部横ナデ。胸部笠ケズリ。 内側: 口縁部横ナデ。胸部笠ナデ。	1/7	
4	土器 甕	口径:(16.6) 底径:— 器高:(10.0)	①酸化焰②にぶい黄橙③白色粒・石英・チャート・黒色鉱物④口縁～胸部上位			

J-1号住居跡遺物観察表

番号	器種	法量(cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴		備考
				外側: 口縁部横ナデ。胸部笠ケズリ。 内側: 口縁部横ナデ。胸部笠ナデ。	1/4	
1	甕文 土器 深鉢	口径:— 底径:(10.0) 器高:(5.3)	①良好②にぶい黄橙③白色粒・石英・チャート・黒色鉱物④口縁部片	体部文様帯には無筋L. 繩文が施される。	前期後葉 諸穢b式	
2	甕文 土器 深鉢	口径:— 底径:— 器高:(3.7)	①良好②にぶい黄橙③白色粒・石英・チャート・黒色鉱物④口縁部片	平縁口縁。口縁部文様帯は半截竹簡状工具による横位平行沈線で多段に区画後横位区画内に半截竹簡状工具による波状平行沈線を横位に施される。	前期後葉 諸穢b式	
3	甕文 土器 深鉢	口径:— 底径:— 器高:(6.6)	①良好②にぶい黄橙③白色粒・チャート・黒色鉱物④口縁部片	平縁口縁。口縁部文様帯は連続爪形文を有する半截竹簡状工具による横位平行沈線で区画され区画内に連続爪形文を有する半截竹簡状工具による木葉文が施される。	前期後葉 諸穢b式	
4	甕文 土器 深鉢	口径:— 底径:— 器高:(5.7)	①普通②にぶい黄橙③白色粒・石英・チャート・黒色鉱物④口縁部片	平縁口縁。口縁部文様帯には刻みを有する半截竹簡状工具による横位・弧状平行沈線が施される。	前期後葉 諸穢b式	
5	甕文 土器 深鉢	口径:(32.3) 底径:— 器高:(8.0)	①良好②にぶい赤褐③白色粒・チャート・片岩・黒色鉱物④口縁部1/5	4単位波状口縁と想定される。波頂部には浮線文で飾られる橋状把手・波底部には山形の小突起が付される。口縁部文様帯には刻みを有する斜位・弧状の浮線文貼付後單節LR. 繩文が施される。	前期後葉 諸穢b式	

番号	器種	法量(cm)	成・整形技法の特徴	備考	
				外側: 口縁部横ナデ。胸部笠ケズリ。 内側: 口縁部横ナデ。胸部笠ナデ。	1/4
6	石器 打製石斧	長さ:10.5 幅:6.55 厚さ:1.85 重さ:108.69g 片岩製。形態。割礫を素材として両側縁に直接打撃による両面加工を施す。刃部は脱い縁邊をそのまま利用している。			
7	石器 スクレイ バー	長さ:11.1 幅:10.6 厚さ:3.0 重さ:439.95g (黒色) 片岩製。割礫を素材として周縁に不連続な両面加工を施し刃部とする。刃部には微細剝離痕あり。			
8	石器 敲石	長さ:11.1 幅:8.8 厚さ:7.5 重さ:980.94g 安山岩製。椭円形。表・裏面に摩耗痕が認められ、裏面の一側に敲打範囲あり。磨石を敲石に転用。			
9	石器 石皿	残存長:(24.6) 残存幅:(21.0) 厚さ:5.0 重さ:2814.70g 片岩製。板状礫を素材とする。皿面は使用により頗る摩耗が認められ、中央付近は敲打痕があり浅く残る。台部は摩耗により滑らか。欠損品。			

J-2号住居跡遺物観察表

番号	器種	法量(cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴		備考
				外側: 口縁部横ナデ。胸部笠ケズリ。 内側: 口縁部横ナデ。胸部笠ナデ。	1/4	
1	甕文 土器 深鉢	口径:— 底径:(10.0) 器高:(5.3)	①良好②にぶい黄橙③白色粒・石英・チャート④口縁部片	体部文様帯には無筋L. 繩文が施される。	前期後葉 諸穢b式	

J-3号住居跡遺物観察表

番号	器種	法量(cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴		備考
				外側: 口縁部横ナデ。胸部笠ケズリ。 内側: 口縁部横ナデ。胸部笠ナデ。	1/2	
1	甕文 土器 深鉢	口径:— 底径:— 器高:(5.3)	①良好②にぶい黄橙③白色粒・石英・チャート④口縁部片	口縁部文様帯には無筋L. 繩文が施される。	前期初頭 花穂下層式	
2	甕文 土器 深鉢	口径:— 底径:— 器高:(14.7)	①良好②にぶい赤褐③白色粒・石英・チャート・雲母④体部上位～下位1/2	体部文様帯には単節RL. 繩文が施される。	前期後葉 諸穢a式	

番号	器種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
3	縄文 土器	口径：— 底径：—	①良好②にぶい褐色③白色粒・チャート・黒色鉱物④	平縁口線。口縁部文様帯は2段の結節浮線文により区画され、区画内に半截竹筒状工具による斜位平行沈線施文後斜位浮線文が付される。下段の結節浮線文下には鋸歯状に飾られる。	前期末葉 十三世模式
	深鉢	器高：<4.3)	口縁～体部片		
番号	器種	法量 (cm)	成・整形技法の特徴	備考	
4	石器	スクレイ バー	残存長：<6.5) 幅：4.65 厚さ：1.0 重さ：25.06g	黑色安山岩製。縄皮をもつ剥片の2側縁に片面加工を施し刃部とする。先端部欠損。	
5	石器	打製石斧	長さ：8.4 幅：4.3 厚さ：2.2 重さ：68.05g	ホルンフェルス製。割礲を素材とし周縁に直接打撃による両面加工を施す。全体に粗い剥離調整。	
6	石器	打製石斧	残存長：(8.75) 残存幅：<3.95) 厚さ：(2.85) 重さ：(2.81g	直岩製。短冊形。割礲を素材とし周縁に直接打撃による両面加工を施す。やや厚みあり。中央～刃部欠損後の剥離痕が認められる。スクレイバーとして再利用か？	
7	石器	磨石	長さ：12.5 幅：7.75 厚さ：3.9 重さ：603.18g	閃緑岩製。表・裏面に摩耗痕が認められ、裏面中央や下端部に敲打集中あり。敲石を磨石に転用。裏面は被熱により赤化している。	
8	石器	凹石	長さ：12.65 幅：9.25 厚さ：3.8 重さ：819.26g	閃緑岩製。表・裏面に摩耗痕が認められ、部分的に敲打痕あり。下端部は敲打痕が顕著。磨石を凹石に転用。	

C - 1 号方形周溝墓遺物観察表

番号	器種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 結合部 台形 土器	口径：— 底径：— 器高：(6.5)	①酸化焰②橙③白色粒・石英・チャート・黒色鉱物④	外面：器受～台部ミガキ。 内部：見込み部ミガキ。器受部ミガキ。台部上位箇ナデ。	
		口縁部欠・器受部1/8欠	台部下位ミガキ。台部透孔2段、上段3孔、下段4孔。		
		台部下端欠			
2	土師器 小型壺	口径：— 底径：4.4 器高：<2.83	①酸化焰②赤褐③白色粒・石英・チャート④胴部下位～底部	外面：ミガキ。赤彩。 内部：箇ナデ。	
3	土師器 小型壺	口径：— 底径：4.2 器高：(6.1)	①酸化焰②にぶい黄褐③白色粒・石英・チャート・黒色鉱物④胴部下位1/3・底部	外面：ミガキ。 内部：箇ナデ。	
4	土師器 甕	口径：(15.6) 底径：— 器高：<5.9)	①酸化焰②浅黄褐③白色粒・チャート・黒色鉱物④	外面：口縁部横ナデ。頸部刷毛目後ミガキ。肩部ミガキ。 内部：口縁～頸部刷毛目後ミガキ。肩部箇ナデ。	

C - 2 号方形周溝墓遺物観察表

番号	器種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 器台	口径：7.8 底径：— 器高：(6.9)	①酸化焰②にぶい黄褐③白色粒・チャート・黒色鉱物④	外面：口縁部ミガキ。台部上位箇ナデ。台部中位刷毛目後ミガキ。 内部：口縁部ミガキ。台部上位箇ナデ。台部中位刷毛目。台部透孔4孔。	
2	土師器 甕	口径：(13.8) 底径：— 器高：<5.3)	①酸化焰②にぶい黄褐③白色粒・チャート・黒色鉱物④	外面：口縁部横ナデ。体部刷毛目。 内部：口縁部横ナデ。体部箇ナデ。	
3	土師器 壺？	口径：(6.2) 底径：— 器高：(2.5)	①酸化焰②にぶい黄褐③白色粒・黒色鉱物④口縁部3/8・胴部上位一部残	外面：口縁部箇ナデ。口縁部指ナデ。胴部箇ナデ。 内部：口縁部箇ナデ。胴部刷毛目。	
4	土師器 壺	口径：— 底径：— 器高：(5.0)	①酸化焰②にぶい黄褐③白色粒・石英・チャート・黒色鉱物④口縁～肩部1/6	外面：口縁部～頸部刷毛目後ミガキ。肩部ミガキ。 内部：口縁～頸部ミガキ。肩部箇ナデ。	

Tab. 31 出土遺物観察表 (13)

番号	器種	法量(cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
5	土師器 甕	口径: - 底径: - 器高: <18.4	①酸化焰②にぶい黄褐③白色粒・石英・チャート④口 縁～胴部下位 1/4	外面: 篓ナデ。 内面: 篓ナデ。	

D-1 号土坑遺物観察表

番号	器種	法量(cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	黒色 土器 椀	口径: 12.0 底径: 6.4 器高: 5.0	①還元焰氣味②黒③白色粒・チャート④口縁～体部 1/4欠	外面: 口縁部～高台部輪轍整形後ミガキ。高台貼付け 後底部～高台輪轍整形。 内面: 口縁部～底部輪轍整形後ミガキ。	
2	黒色 土器 椀	口径: 15.8 底径: 7.6 器高: 6.9	①還元焰氣味②黒③白色粒・石英・黑色鉱物④完形	外面: 口縁部～高台部輪轍整形後ミガキ。高台貼付け 後底部～高台輪轍整形。 内面: 口縁部～底部輪轍整形後ミガキ。	

D-6 号土坑遺物観察表

番号	器種	法量(cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 甕	口径: (21.0) 底径: - 器高: <4.8	①酸化焰②黄褐③白色粒・ 石英・チャート・黑色鉱物④口 縁～胴部片	外面: 口縁部横ナデ。胴部刷毛目後一部籠ナデ。 内面: 口縁部刷毛目後横ナデ。胴部籠ナデ。	

D-38 号土坑遺物観察表

番号	器種	法量(cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	軟質 陶器 鉢	口径: (30.0) 底径: - 器高: <6.8	①酸化焰②橙③白色粒・雲母・黑色鉱物④口縁～胴部 中位 1/8	外面: 横ナデ。内面: 口縁部横ナデ。胴部風化顕著。	
2	陶器 盤	口径: - 底径: (14.0) 器高: <6.1	①酸化焰②にぶい黄褐・釉 オリーブ灰③白色粒・石英・ チャート④胴部下位～底部 1/3	外面: 輪轍整形。胴部下位回転造ケズリ。底部回転系瀬戸 切り後端部回転造ケズリ後足部貼付け。足部指ナデ。 灰釉胴部下位まで。 内面: 輪轍整形。胴部下位～底部灰釉。	
番号	器種	法量(cm)	成・整形技法の特徴		備考
3	古鏡 皇宋通寶	長さ: 2.4 幅: 2.4 厚さ: 0.09	重さ: 2.47g 宋銭。		
4	鉄滓 楕円形鐵治津	残存長: <5.5> 残存幅: <5.2> 厚さ: 2.6	重さ: 127.08g 酸化土砂付着。		

D-43 号土坑遺物観察表

番号	器種	法量(cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	軟質 陶器 内耳鍋	口径: - 底径: - 器高: <6.4	①酸化焰氣味②浅黄③白色粒・チャート・雲母・黒色 鉱物④口縁部片	外面: 横ナデ。煤付着顕著。 内面: 横ナデ。	

D-50 号土坑遺物観察表

番号	器種	法量(cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 椀	口径: 15.7 底径: 7.4 器高: 5.8	①還元焰氣味②浅黄③白色粒・チャート・黒色粒④は ば完形	外面: 輪轍整形。底部高台貼付後指ナデ。 内面: 輪轍整形。	墨書「中」
2	灰釉 陶器 椀	口径: 15.8 底径: 8.1 器高: 5.3	①堅緻②灰白・雜: 灰白③白色粒・チャート④はば完形	外面: 輪轍整形。底部高台貼付後回転ナデ。 内面: 輪轍整形。釉漬け掛け。	

D-59 号土坑遺物観察表

番号	器種	法量(cm)	成・整形技法の特徴	備考
1	石製品 硃石	残存長: <6.7> 幅: 2.8 厚さ: <2.55> 重さ: 67.06g	流紋岩製。4面使用。硃面 は使用により平滑。上部および右側面に(盤状工具による)調整痕。全体的に黒色化。 端部欠損。	

番号	器種	法量(cm)、成・整形技法の特徴	備考
2	石製品 砥石	残存長:<7.2> 幅:2.9 厚さ:2.1 重さ:58.62g 波紋岩製。4面使用。砥面は使用により平滑化し、部分的に擦痕が認められる。	
3	石製品 砥石	長さ:5.4 幅:3.6 厚さ:2.65 重さ:28.25g (多孔質) 安山岩製。全面使用。砥面は使用により平滑化。	

JD -33号土坑遺物観察表

番号	器種	法量(cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	縄文 土器 深鉢	口径:15.5 底径:— 器高:<17.0>	①普通②にぶい黄③白色 粒・石英・チャート・黒色 鉱物④口縁部1/9・体部 下位～底部欠	2単位小波状口縁。波頂部は正副で正が双頭状の山形突起、副が山形を呈し、波頂部下に小突起が付される。 口縁部文様帶は横位隆帯で区画され、区画内に縱位隆帯が付される。体部文様帶には無節し縄文が施される。	後期初頭 加曾利E V
2	縄文 土器 深鉢	口径:(23.8) 底径:— 器高:<13.2>	①普通②にぶい黄③白色 粒・チャート・片岩④口縁 ～体部上位1/4	4単位波状口縁と想定される。波頂部には捻転状突起、満巻状の突起が付される。口縁部と体部は口縁形状に沿った丸棒状工具による沈線により画される。口縁部無文。体部文様帶には単節BL縄文施文後丸棒状工具による弧状沈線が施される。沈線間無文。	後期初頭 加曾利E V
3	縄文 土器 深鉢	口径:(41.2) 底径:— 器高:<21.8>	①良好②にぶい褐③白色 粒・チャート・黒色鉱物④ 口縁～体部中位1/5	平縁口縁に4単位の小突起が付されるものと想定される。口縁部文様帶は小突起から派生する弧状隆帯により区画される。体部文様帶には無節し縄文施文後角棒状工具による縱位沈線が施される。沈線間無文。	後期初頭 加曾利E V
4	縄文 土器 深鉢	口径:— 底径:— 器高:<8.0>	①普通②黒褐③白色粒・石 英・チャート・黒色鉱物④ 口縁～体部上位片	平縁口縁。口縁部と体部は斜位隆帯により画される。口縁部無文。体部文様帶には無節し縄文が施される。	後期初頭 加曾利E V
5	縄文 土器 深鉢	口径:— 底径:— 器高:<9.1>	①良好②にぶい椎③白色 粒・石英・チャート・黒色 鉱物④突起片	口縁部に付される捻転状突起。	後期初頭 加曾利E V
番号	器種	法量(cm)	成・整形技法の特徴	備考	
6	石器 石鏃	長さ:<2.2> 幅:1.65 厚さ:0.55 重さ:1.60g	黒色安山岩製。平基無茎。完形品。		

JD -62号土坑遺物観察表

番号	器種	法量(cm)、成・整形技法の特徴	備考
1	石器 台石 (砥石)	長さ:58.6 幅:18.1 厚さ:14.8 重さ:27700g 石英斑岩製。大型棒状礪を素材とし、表・右側面に摩耗痕が認められる。右側面は顕著な使用により平滑。	

JD -81号土坑遺物観察表

番号	器種	法量(cm)、成・整形技法の特徴	備考	
1	縄文 土器 深鉢	口径:— 底径:— 器高:<25.3>	①普通②にぶい根③鐵維・0段多条羽状縄文が施される。 白色粒・チャート・黒色鉱物④体部1/5	前期初頭 花積下層式
番号	器種	法量(cm)、成・整形技法の特徴	備考	
2	石器 石鏃	長さ:3.6 幅:2.13 厚さ:0.5 重さ:2.28g チャート製。回基無茎。完形品。		
3	石器 スクレイ バー	長さ:4.4 幅:6.0 厚さ:7.5 重さ:16.25g 真岩製。薄型削片を素材とし、両面加工を施し、刃部とする。		
4	石器 磨石	長さ:7.13 幅:6.4 厚さ:3.7 重さ:217.74g 安山岩製。小型橢円形を呈する。表・裏面に摩耗痕が認められ、周縁の一部に敲打痕あり。敲石を磨石に転用。		

Tab. 33 出土遺物観察表 (15)

J D -82 号土坑遺物観察表

番号	器種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
I	縄文 土器	口径 : - 底径 : -	①良好②にぶい黄橙③白色 粒・石英・チャート・黒色	平縁口線。口唇部に半截竹簡状工具による連続爪形文が施される。	前期末葉
	深鉢	器高 : <3.7>	鉱物④口縁部片	口縁部文様帶は半截竹簡状工具による横位平行沈線により区画され、区画内に半截竹簡状工具による縱位・横位平行沈線・陰刻文が施される。	十三菩提式 ～
					中期初頭 五頭ヶ台式

J D -84 a 号土坑遺物観察表

番号	器種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
			①良好②にぶい褐③織維・白色粒・チャート・黒色鉱物④口縁部片	口縁部文様帶には無節しの横位・斜位撲糸側面圧痕・刺切文が施される。	
番号	器種	法量 (cm)、成・整形技法の特徴			備考
2	石器	石皿	長さ : 31.4 幅 : 24.5 厚さ : 6.55 重さ : 5520g 安山岩製。大型板状礫を素材とする。皿面は敲打による凹穴や漏斗状の凹穴が認められ、中央部は浅く窪む。摩耗痕は顕著に認められない。裏面は凹穴が多数認められ、漏斗状の凹穴が大半を占める。中央部は黒く変色している。		

J D -98 号土坑遺物観察表

番号	器種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
			①普通②にぶい褐③織維・白色粒・石英・チャート④	O段多条羽状織文が施される。	
番号	器種	法量 (cm)、成・整形技法の特徴			備考
1	縄文 土器	口径 : - 底径 : - 器高 : <15.2>	①普通②にぶい褐③織維・白色粒・石英・チャート④脚部	O段多条羽状織文が施される。	前期初頭 花積下層式

J D -100 号土坑遺物観察表

番号	器種	法量 (cm)、成・整形技法の特徴	備考
1	石器 打製石斧	残存長 : <5.4> 残存幅 : <4.3> 厚さ : <1.6> 重さ : 48.51g 真岩製。短冊形。割離を素材とし周縁に直接打撃による両面加工を施す。中央～刃部欠損。	

W - 1 号構遺物観察表

番号	器種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備考
			①壓縮②灰白③-④体部片	外面 : 草花文。圓線。貫入する。ビンボールあり。 内面 : 圓線。貫入する。	
1	染付 磁器	口径 : - 底径 : - 器高 : <2.5>	①壓縮②灰白・輪 : オリー	外面 : 輪轂整形。体部～高台部旋軸。底部回転箇切り	
	楕	底径 : 4.0 器高 : <1.9>	③-④体部下位 1/4, 底部 1/2	後ナデ。 内面 : 輪轂整形。自然輪付着。	
番号	器種	法量 (cm)、成・整形技法の特徴			備考
3	陶器 面子か?	長さ : 4.1 幅 : 4.0 厚さ : 1.0 重さ : 21.73g	渦戸搔鉢の転用。鉄軸。端部摩耗顕著。		
4	土製品 泥人形	残存長 : <2.4> 残存幅 : <4.3> 厚さ : <2.5>	酸化塗装成。色調にぶい模。筋土に		
5	鉄銭 寛永通寶	白色粒・雲母含む。背面残存。花嫁。前後型合せ。中空。底面～中空部に穿孔。			
6	鉄津 楕形鋸治津	長さ : 2.4 幅 : 2.4 厚さ : 0.15 重さ : 3.25g			
		残存長 : <6.8> 残存幅 : <5.5> 厚さ : 2.0 重さ : 101.42g	酸化土砂付着。		

W - 3 号構遺物観察表

番号	器種	法量 (cm)、成・整形技法の特徴	備考
1	石製品 砾石	残存長 : <6.1> 幅 : 2.2 厚さ : 1.6 重さ : 32.69g 砂岩製。4面使用。砾石は使用により平滑。端部欠損。	

Tab. 34 出土遺物観察表 (16)

P-508 遺物観察表

番号	器種	法量(cm)、成・整形技法の特徴	備考
1	古鉢	至和元宝 長さ:2.4 幅:2.4 厚さ:0.1 重さ:1.91g 北宋銭。	
2	古鉢	熙寧元宝 長さ:2.3 幅:2.3 厚さ:0.1 重さ:1.74g 北宋銭。	
3	古鉢	元祐通宝 長さ:2.4 幅:2.4 厚さ:0.1 重さ:2.38g 北宋銭。	

遺構出土物観察表

番号	器種	法量(cm)	①焼成②色調③始士④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	織文 土器 深鉢	口径: - 底径: - 器高: <4.5	①良好②にぶい黄③白色粒・黒色鉱物④口縁部片	平縁口縁。口縁部文様帯には単節RL織文施文後矢羽状の刻みを有する横位・斜位浮線文が付される。	前期後葉 諸葛b式
2	織文 土器 深鉢	口径: - 底径: - 器高: <4.3	①良好②にぶい褐③白色粒・石英・雲母・黒色鉱物④口縁部片	平縁口縁。口縁部文様帯には横位・斜位結節浮線文が付される。	前期末葉 十三菩提式
3	織文 土器 深鉢	口径: - 底径: - 器高: <6.0	①良好②にぶい黄褐③白色粒・チャート・雲母・黒色鉱物④口縁部片	平縁口縁に浮線文を有する円錐状の突起が付される。 口縁部文様帯には刻みを有する横位浮線文と刻みを持たない横位浮線文を交互に配列後縱位浮線文が付される。	前期末葉 十三菩提式
4	織文 土器 深鉢	口径: - 底径: - 器高: <3.3	①良好②にぶい椎③白色粒・石英・チャート・雲母・黒色鉱物④口縁部片	平縁口縁。口唇部に連続刻み・角棒状工具による沈線が施される。口縁部文様帯には複列の横位・斜位結節沈線が施される。	阿玉台II式
5	織文 土器 深鉢	口径: - 底径: - 器高: <12.6	①良好②にぶい黄褐③白色粒・チャート・黒色鉱物④口縁部片	平縁口縁。口縫部と体部は丸棒状工具による横位沈線で施される。口縫部無文。体部文様帯は丸棒状工具による沈線で「J」字状のモティーフを描き、モティーフ内に単節LR織文が施される。	称名寺式
6	織文 土器 鉢	口径: - 底径: - 器高: <4.3	①良好②黄灰③白色粒・チャート④口縁部片	波状口縁と想定される。口唇部に刻み。口縁部文様帯は単節LR織文を横位施文後角棒状工具による横位沈線が施される。	加曾利B式
7	土師器 坏	口径: (12.4) 底径: - 器高: <6.1	①酸化塗②灰黄褐③白色粒・チャート・黒色鉱物④口縁～体部下位1/5	外面: 口縫部横ナデ。 内面: 口縫部横ナデ。体部竪ナデ。	
8	土師器 坏	口径: (15.3) 底径: - 器高: <5.0	①酸化塗②にぶい赤褐③白色粒・石英・チャート・黒色鉱物④口縁～体部下位1/7	外面: 口縫部横ナデ。 内面: 口縫部横ナデ。体部横ナデ後ミガキ。	
9	須恵器 坏	口径: - 底径: (7.0) 器高: <1.9	①還元塗②暗灰黄③白色粒・チャート④体部中位～底部1/5	外面: 雜輪整形。底部回転糸切り。 内面: 雜輪整形。	
番号	器種	法量(cm)	成・整形技法の特徴	備考	
10	古鉢	皇宋通宝	長さ:2.4 幅:2.4 厚さ:0.09 重さ:3.07g 本銭。		
11	鉢製品	鉢底玉	長さ:1.35 幅:1.3 厚さ:1.3 重さ:13.26g		
12	石器	尖頭器	残存長:<3.9 幅:1.55 厚さ:0.7 重さ:3.44g 黒曜石製。木葉形。先端部欠損。		
13	石器	尖頭器	残存長:<5.05 幅:1.8 厚さ:0.8 重さ:7.55g ホルンフェルス製。柳葉形。先端部欠損。風化顯著。		
14	石器	尖頭器	長さ:5.35 幅:1.5 厚さ:0.6 重さ:4.63g ホルンフェルス製。柳葉形。		
15	石器	尖頭器	長さ:6.1 幅:1.95 厚さ:0.9 重さ:12.25g 貝岩製。不整定形。		
16	石器	石鏃	長さ:2.45 残存幅:<1.7 厚さ:0.35 重さ:1.13g チャート製。凹基無茎。片面脚欠損。		
17	石器	石鏃	残存長:<2.73 残存幅:<1.88 厚さ:0.45 重さ:1.70g チャート製。凹基無茎。完形。片面脚欠損。		
18	石器	石鏃	長さ:2.7 幅:1.98 厚さ:0.4 重さ:1.26g チャート製。凹基無茎。完形。		
19	石器	石鏃	長さ:2.35 幅:1.65 厚さ:0.35 重さ:0.92g 黑色安山岩製。凹基無茎。片面脚欠損。		
20	石器	石鏃	残存長:<1.9 残存幅:<1.28 厚さ:0.26 重さ:0.41g 黑曜石製。凹基無茎。片面脚欠損。		

Tab. 35 出土遺物観察表 (17)

番号	器種	法量(㎝)、成・整形技法の特徴	備考
21	石器 石鏃	残存長 : <1.93> 幅 : 1.75 厚さ : 0.65 重さ : 1.52g 黒曜石製。凹基無基。先端部・片側欠損。	
22	石器 石匙	長さ : 2.2 残存幅 : <4.2> 厚さ : 0.7 重さ : 3.49g チャート製。小型横長。刃端部欠損。	
23	石器 スクレイバーアー	長さ : 5.3 幅 : 3.0 厚さ : 1.3 重さ : 19.22g 貞岩製。小型剥片を素材とし周縁に両面加工を施し刃部とする。削器か?	
24	石器 スクレイバーアー	残存長 : <8.0> 残存幅 : <4.8> 厚さ : 1.4 重さ : 51.68g 硬質貞岩製。縫皮をもつ縦長剥片を素材とし1側縁に両面加工を施し刃部とする。縁辺部欠損。	
25	石器 打製石斧	長さ : 10.5 幅 : 6.75 厚さ : 2.7 重さ : 184.06g 貞岩製。擬形。割礫を素材とし2側縁に直接打撃による両面加工を施す。偏刃。	
26	石器 打製石斧	残存長 : <6.5> 残存幅 : <4.1> 厚さ : 1.85 重さ : 61.26g 貞岩製。割礫を素材とし両側縁に直接打撃による両面加工を施す。中央～刃部欠損。	
27	石器 打製石斧	長さ : 9.15 幅 : 5.1 厚さ : 1.45 重さ : 68.07g 貞岩(砂岩質)製。擬形。縫皮をもつ剥片を素材とし両側縁に直接打撃による片面加工を施す。刃部周辺に摩耗痕や微細剝離痕あり。	
28	石器 打製石斧	長さ : 9.03 幅 : 4.7 厚さ : 2.0 重さ : 92.04g 貞岩製。横長剥片を素材とし周縁に直接打撃による両面加工を施す。刃部にはリダクションとみられる剥離痕があり、周辺には摩耗痕が顕著。	
29	石器 開石	長さ : 6.6 幅 : 6.0 厚さ : 5.1 重さ : 213.14g 安山岩製。小型品。自然縫の表・裏面に摩耗痕が認められ、裏面中央には敲打痕とみられる凹穴あり。表面の一部に被熱らしき変色範囲あり。	
30	石器 開石	長さ : 8.9 幅 : 8.4 厚さ : 4.9 重さ : 439.87g 安山岩製。自然縫の表・裏面に摩耗痕が認められ、中央には敲打集中による凹穴あり。裏面の一部に新しい欠損あり。磨石を開石に転用。	
31	石器 開石	長さ : 12.7 幅 : 7.45 厚さ : 5.15 重さ : 778.27g 開縫岩製。自然縫の表・裏面に摩耗痕が認められ、中央には敲打・摩痕による凹穴あり。下端部には敲打集中が認められる。磨石を開石に転用。	

Tab. 36 出土遺物観察表 (18)

VI まとめ

1 A s - B 痕土が埋没土に含まれる竪穴住居跡（竪穴状遺構）について

本遺跡の調査では、縄文時代を除く竪穴住居跡が 34 軒検出されたが、このうち 7 軒の竪穴住居跡は、埋没土を観察した結果、A s - B の混入が認められるものであった。調査当初、これらの遺構は平面プランの状態から平安時代に帰属する竪穴住居跡と想定して検出作業を進めたものの、段階を経るにあたり埋没土中に A s - B の混入を確認するに至った。なお、埋没土中に A s - B 一次堆積層が認められる竪穴住居跡は、大渡道場遺跡 No. 2 などで例をみると、A s - B 混土を埋没土に含む竪穴住居跡は類例が少ないのが現状と言える。補足としてだが、A s - B 一次堆積層が埋没土中に確認されるものは 12 世紀初頭、A s - B 混土を埋没土とするものは 12 世紀初頭以降に位置づけられるものである。

本遺跡で検出されたこの 7 基(軒)の遺構は、「竪穴住居跡」として取り扱ったが、厳密には「竪穴住居跡」とも「竪穴状遺構」とも言及し難いものである。また、形状から「竪穴住居跡」に近いものと判断されるものもあれば、「竪穴状遺構」と捉えられるものもある。ここでは、この 7 軒の遺構を系統的・変遷的に捉え、補足を加えていきたいと思う。

A s - B 混土を埋没土に含む 7 軒の遺構は、H - 7・8・9・10・11・13・15 号住居跡と名称を付してある。これらの遺構は、形状から 2 つの系統に分類することが可能で、さらに内部の状態から分類が可能と考えられる。

系統としては、カマドの煙道に似た張り出しをもち、カマドを有する堅穴住居跡の平面形態と同様のⅠ群、張り出しを持たずに、方形状の平面形態となるⅡ群に分類できる。さらに、遺構内部の状態で、灰・焼土・粘土を有するものをa類、これらを持たないものをb類とした。なお、各群・各類において共通するものは柱穴で、基本的に2本柱穴で構成され、対角線をなす壁面に接するように設置されることを特徴とする。また、柱穴の掘り込みは浅く、H-9号住居跡やH-15号住居跡のように柱穴内に礎石としての機能を想像させる砾が設置されるものもある。

統いて、各群・類における時間的な変遷を確認していきたい。これら、A s - B 混土を埋没土に持つ遺構からの出土遺物は、ほぼ見られないと言っても過言ではなく、H-15号住居跡の床面から常滑の鉢片が1点出土しているに過ぎない。このため、出土遺物から各遺構ごとに明確な時期を付加することは出来ないと言える。しかしながら、Ⅰ群a類としたH-9号住居跡とⅠ群b類としたH-8号住居跡は重複関係にあり、明確な時期こそは不明なもの、時間的な前後関係は把握できると言える。なお、両住居跡の新旧関係は、埋没土の観察から、H-8号住居跡（Ⅰ群b類）がH-9号住居跡（Ⅰ群a類）よりも新しいと判断している。この状況から、a類とb類の間では、新旧関係が存在すると見えよう。また、当然ながらⅡ群にも各類が存在するため、b類にあたるH-10号住居跡がa類のH-7号住居跡より新しいと捉えられる。

Ⅰ群とⅡ群の新旧関係に関しては、調査当初、カマドが形骸化したもの（Ⅰ群）が、消失していく（Ⅱ群）過程が見えていたものと考えていた。しかしながら、この変遷で遺構を時間軸に当てはめると、Ⅰ群b類の次の段階としてⅡ群a類が配置されることになる。これは、遺構内部に灰・焼土・粘土が含まれる状況から消失することを原則とするa類からb類への流れに逆行することになる。このため、Ⅰ群とⅡ群との間に時間的な差異を見出すことは困難であり、同時期に併存する系統の差異と捉えたい。なお、Ⅰ群とⅡ群における系統の差異が生じる理由は、事例が乏しいことから不明と言わざるを得ず、張り出し部分の使用目的を今後捉えていくことが急務と言える。現段階において推測の範囲内となるが先述したカマドの形骸化、または出入口施設の可能性を指摘しておきたい。

以上のように形状や遺構内に含まれる構成物などから系統や変遷を示したが、次に別遺跡の例を概観していきたく思う。本遺跡で検出された遺構と最も近い形態を示すものとしては、高崎市下佐野遺跡寺前地区1号館跡方形遺構や伊勢崎市下瀬名塚越遺跡IV区1号方形堅穴遺構が挙げられる。特に下佐野遺跡寺前地区1号館跡方形遺構は2本の柱穴が壁面に接すことから近似すると言える。一方、下瀬名塚越遺跡IV区1号方形堅穴遺構は2本柱穴ではあるが、壁面に接していない。なお、これらの遺構は、館跡に付随する施設と考えられており、遺物の出土は見られないものの館から出土する遺物からは14世紀後半以降に位置づけ

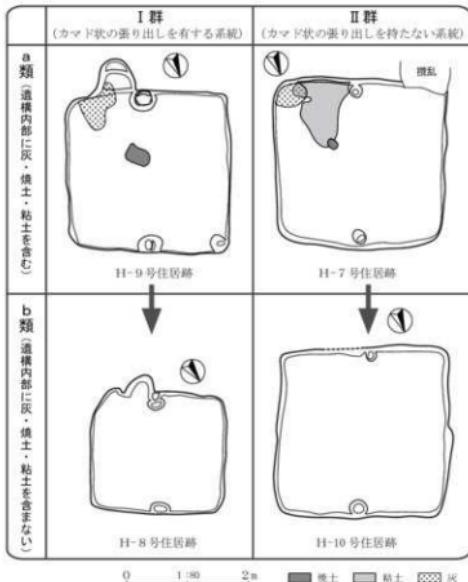


Fig. 126 A s - B 混土が埋没土に含まれる堅穴住居跡の系統と変遷

られるものである。統いて、本遺跡で検出されたものとは柱穴配列が異なるが、A s - B 混土を埋没土に持つ遺構が富岡市一ノ宮本宿・郷土遺跡 II (6・39 号住居跡) や同市中高瀬觀音前遺跡 (12 号住居跡) で確認されている。一ノ宮本宿・郷土遺跡 II では、A s - B が埋没土に混入する住居跡が 24 軒検出されており、いずれの住居跡も柱穴は 2 本以上認められるものである。39 号住居跡は 2 本の主柱穴を本遺跡の堅穴住居跡と同じ位置に設け、さらに両側壁面に柱穴が 3 本ずつ配置され、II 群とした形態に柱穴が追加されたものと考えられる。6 号住居跡は、住居跡内部に張り出す出入口施設が設けられており、その両脇と対をなす壁面に 2 本ずつ主柱穴が設置され、さらに各コーナーには柱穴が配置されている。これは I 群のカマド状の張り出しが内部へ入り込み、さらに柱穴が追加されたものとも推測できるが、別系統の可能性も否めないものである。

なお、これらの遺構からは遺物の出土は見られず、明確な時期決定にはおよばない。しかしながら、下佐野遺跡や下瀬名塚越遺跡と同様に館を想定させる構が検出されており、そこからは 15 世紀代に比定される遺物の出土が認められていることから、検出されてた住居跡の帰属時期も当該期である可能性が極めて高いものと考えられる。

ここで、本遺跡で検出された住居跡の帰属時期について補足を加えていきたい。先に述べた通り本遺跡で検出された A s - B が埋没土に含まれる住居跡からは、時期を決定付ける遺物の出土は見られない。また、下佐野遺跡・下瀬名塚越遺跡・一ノ宮本宿・郷土遺跡 II のように館を想定させる場も確認されていないのも事実である。しかし、埋没土の状態が近似する遺構を検索すると、地下式壙と捉えた D - 38・39 号土坑が挙げることができる。なお、D - 38 号土坑からは、軟質陶器の鉢・瀬戸美濃の盤等が出土しており (Fig. 119 参照)、これらの遺物から、帰属時期を 14 世紀代に比定される。このように本遺跡内において、中世段階の遺構は非常に少なく、限定的と言えるが、その分密接度は高いものと考えられる。このような視点から推測すると、本遺跡で検出された住居跡の帰属時期は、D - 38 号土坑と同様に 14 世紀代に築かれたものと捉えられよう。

最後に、仮設の範囲内ながらも A s - B が埋没土に含まれる住居跡 (堅穴状遺構) についてまとめていきたい。系統としては、I 群・II 群の 2 形態が存在し、これは時間的な差異を示すものではない。また、一ノ宮本宿・郷土遺跡 II 6 号住居跡のような、内部に向けて張り出しを有するものは、I 群からの変化もしくは別系統の可能性を有するものと言及したい。時間的な差異を示す各類は本遺跡で示された通り 14 世紀代に内部に灰・焼土・粘土を持つ a 類からこれらを持たない b 類への変遷が辿れ、さらに 15 世紀代になると、一ノ宮本宿・郷土遺跡 II で示したように柱穴が 2 本以上に増える段階へと移り替わっていくものと想定しておきたい。



Fig. 127 堅穴状遺構の類例

付編 火山灰調査分析

(株) 火山灰考古学研究所

1.はじめに

関東地方北西部に位置する前橋市域とその周辺には、赤城、榛名、浅間など関東地方とその周辺に分布する火山のほか、中部地方や中国地方さらには九州地方など遠方に位置する火山から噴出したテフラ（火山碎屑物、いわゆる火山灰）が数多く降灰している。とくに後期更新世以降に降灰したそれらの多くについては、層相や年代さらに岩石記載的な特徴がテフラ・カタログなどに収録されており（町田・新井、1992、2003、2011）、考古遺跡などで調査分析を行いテフラを検出することで、地形や地層の形成年代のみならず考古学的に遺物や遺構の年代などに関する研究を実施できるようになっている。

そこで、層位や年代が不明な土層や遺構が検出された五代伊勢宮VII遺跡においても、地質調査を実施して、土層の層序や遺構の層位を確認するとともに、高純度で分析用試料を採取して、実験室内でテフラ分析（テフラ検出分析・火山ガラスの屈折率測定）を実施して、すでに年代が明らかにされている指標テフラの検出同定を行うことになった。調査分析の対象は、分析試料が発掘調査担当者により採取されたH-7住居址（図1）、H-8住居址（図2）のほか、実際に分析者が土層断面を観察したH-10住居址、H-11住居址、D-17土坑の合計5遺構である。

2. 地質調査実施地点の土層層序

（1）H-10住居址

H-10住居址の覆土断面（SPA-A'、図3）における住居址覆土は、全体的に砂分を多く含む暗灰褐色～灰褐色土からなり、土層によっては基盤の黄色土ブロック（最大径47mm）を含む。

（2）H-11住居址

H-11住居址の覆土断面（SPA-A'、図4）における住居址覆土もH-10住居址に類似しており、全体的に砂分を多く含む暗灰褐色～灰褐色土からなり、土層によっては基盤の黄色土ブロック（最大径51mm）を含む。

（3）D-17土坑

D-17土坑の覆土は、下位よりやや灰色がかった褐色土（層厚8cm）、やわらかい灰褐色土（層厚11cm）、やや灰色がかったやわらかい褐色土（層厚18cm）、正の級化構造をもつ灰白色軽石層（層厚15cm、軽石の最大径15mm、石質岩片の最大径2mm）、褐色土ブロック混じり灰褐色土（層厚13cm）、やや暗い灰褐色土（層厚7cm）、暗灰褐色土（層厚11cm）、褐色土ブロック混じり灰褐色土（層厚14cm）、暗灰褐色土（層厚12cm）、暗灰褐色土（層厚12cm）、やや明るい黒灰褐色土（層厚14cm）、とくに暗い暗灰褐色土（層厚11cm）、白色細粒軽石を多く含む黒灰褐色土（層厚17cm、軽石の最大径6mm）からなる。

3. テフラ検出分析

（1）分析試料と分析方法

上述5地点において採取された試料のうちの11試料を対象に、含まれるテフラ粒子の量や特徴を定性的に明らかにするテフラ検出分析を行って、指標テフラの検出同定を実施した。分析方法は次のとおりである。

- 分析対象の試料のうち、テフラ層をのぞく試料について7g、またテフラ層の試料について4gを秤量。
- 超音波洗浄装置により泥分を除去。
- 恒温乾燥器により80°Cで恒温乾燥。
- 実体顕微鏡下で観察。

(2) 分析結果

テフラ検出分析の結果を表1に示す。テフラ検出分析で検出されたテフラ粒子の多くは、次の3種類である。これらについては、岩相などからその起源を知ることができる。

タイプ1：スponジ状に良く発泡した灰白色の軽石（最大径9.2mm）や、その細粒物であるスponジ状軽石型ガラス。班晶には、強磁性鉱物以外の重鉱物として、斜方輝石や单斜輝石が認められる。このタイプのテフラ粒子は、D-17土坑覆土中の軽石層（試料1）にとくに多く含まれている。また、H-7、H-8、H-10、H-11の各住居址の分析対象試料のいずれにもごく少量ずつ含まれている。

タイプ2：さほど発泡の良くない白色、わずかに灰色をおびた白色、灰色の軽石（最大径2.0mm）や、それらの細粒物であるスponジ状軽石型ガラス。班晶には、強磁性鉱物以外の重鉱物として、斜方輝石や角閃石が認められる。また、H-7、H-8、H-10、H-11の各住居址の分析対象試料のいずれにも少量ずつ含まれている。

タイプ3：比較的よく発泡した淡灰色、淡褐色、褐色の比較的の細粒の軽石（最大径4.03mm）や、その細粒物であるスponジ状軽石型ガラス。班晶には、強磁性鉱物以外の重鉱物として、斜方輝石や单斜輝石が認められる。このタイプのテフラ粒子は、H-7、H-8、H-10、H-11の各住居址の分析対象試料のいずれにも比較的多く含まれている。

これらのほかに、D-17土坑覆土基底部付近（試料2および試料4）から、わずかに灰色がかった白色や灰色のスponジ状軽石型ガラスや、灰色や無色透明の中間型（塊状、破片状）ガラスがわずかに検出された。

4. 屈折率測定（火山ガラス）

(1) 測定試料と測定方法

テフラ検出分析により、特徴的なテフラ粒子が検出された試料のうち、H-11住居址の試料10に含まれる褐色の軽石型ガラスを対象に、日本列島周辺のテフラ同定によく利用されている屈折率測定を実施して、火山ガラスの起源を明らかにすることになった。屈折率測定は、温度変化型屈折率測定法（塙原、1993）による。測定の対象は、1/8～1/16mm粒子の火山ガラスである。なお、測定には古澤地質社製MAIOTを使用した。

(2) 測定結果

屈折率の測定結果を表2に示す。この表には、関東地方中部周辺に降灰している代表的な指標テフラの火山ガラスの屈折率特性も合わせて示した。H-11住居址の試料10に含まれる褐色の軽石型ガラス（29粒子）の屈折率（n）は、1.525-1.533である。

5. 考察

(1) 指標テフラとの同定

テフラ検出分析により検出されたテフラのうち、タイプ1は、岩相から、3世紀後半に浅間火山から噴出した浅間C軽石（As-C、荒牧、1968、新井、1979、町田・新井、1992、坂口、2010）と考えられる。このことから、D-17土坑覆土中の軽石層（試料1）はAs-Cに同定される。

タイプ2のテフラに関しては、岩相から、6世紀初頭に榛名火山から噴出したと推定されている榛名渋川テフ

ラ (Hr-FA, 新井, 1979, 坂口, 1986, 早田, 1989, 町田・新井, 1992など)、または、6世紀中葉に榛名火山から噴出した榛名二ツ岳伊香保テフラ (Hr-FP, 新井, 1962, 坂口, 1986, 早田, 1989, 町田・新井, 1992など) に由来すると考えられる。岩相から、D-17 土坑覆土最上部の土層中の細粒の白色軽石もこれらに由来すると思われる。

タイプ3のテフラは、岩相および火山ガラスの屈折率特性から、1108（天仁元）年に浅間火山から噴出した浅間Bテフラ (As-B, 荒牧, 1968, 新井, 1979, 町田・新井, 1992など) に同定される。

なお、D-17 土坑において、As-Cの下位より少量検出された火山ガラスは、その岩相から浅間系テフラに由来すると考えられる。

(2) 指標テフラと遺構の層位関係について

テフラ検出分析と屈折率測定の結果、H-7, H-8, H-10, H-11 の各住居址覆土の最下部の土層のいずれからも As-B が検出された。したがって、人为的に土層の除去が行われていなければ、これらの住居址の層位は As-B より上位となる。また、D-17 土坑については、覆土中に As-C のテフラ層が認められたことから、As-C より下位と判断される。

6.まとめ

前橋市五代伊勢宮Ⅷ遺跡の発掘調査において、地質調査を実施するとともに、採取された試料を対象にテフラ分析（テフラ検出分析・火山ガラスの屈折率測定）を実施した。その結果、下位より浅間C軽石 (As-C, 3世紀後半)、榛名二ツ岳渡川テフラ (Hr-FA, 6世紀初頭) や榛名二ツ岳伊香保テフラ (Hr-FP, 6世紀中葉)、浅間Bテフラ (As-B, 1108年)などを認めることができた。発掘調査で検出された D-17 土坑は As-C より下位、また H-7, H-8, H-10, H-11 の各住居址は As-B より上位と推定される。

文献

- 新井房夫（1962）関東盆地北西部地域の第四紀編年。群馬大学紀要自然科学編, 10, p. 1-79.
- 新井房夫（1972）斜方輝石・角閃石の屈折率によるテフラの同定—テフロクロノロジーの基礎的研究。第四紀研究, 11, p. 254-269..
- 新井房夫（1979）関東地方北西部の縄文時代以降の示標テフラ層。考古学ジャーナル, no. 53, p. 41-52.
- 新井房夫（1993）温度一定型屈折率測定法。日本第四紀学会編「第四紀試料分析法2」, 東京大学出版会, p. 136-149.
- 荒牧重雄（1968）浅間火山の地質。地団研専報, no. 14, p. 1-45.
- 塙原 徹（1993）温度変化型屈折率測定法。日本第四紀学会編「第四紀試料分析法2」, 東京大学出版会, p. 149-158.
- 町田 洋・新井房夫（1992）「火山灰アトラス」, 東京大学出版会, 276p.
- 町田 洋・新井房夫（2003）「新編火山灰アトラス」, 東京大学出版会, 336p.
- 町田 洋・新井房夫（2011）「新編火山灰アトラス（第2刷）」, 東京大学出版会, 336p.
- 町田 洋・新井房夫・小田静夫・遠藤邦彦・杉原重夫（1984）テフラと日本考古学—考古学研究に關係する テフラのカタログ。古文化財編集委員会編「古文化財に関する保存科学と人文・自然科学」, p. 865-928.
- 坂口 一（1986）榛名二ツ岳起源FA・FP層下の土師器と須恵器。群馬県教育委員会編「荒砥北原遺跡・今井神社古墳群・荒砥青柳遺跡」, p. 103-119.

- 坂口 一 (2010) 高崎市・中居町一丁目遺跡周辺集落の動向－中居町一丁目遺跡 H22 の水田耕作地と周辺集落との関係－. 群馬県埋蔵文化財調査事業団編「中居町一丁目遺跡 3」, p. 17–22.
- 早田 勉 (1989) 6 世紀における榛名火山の 2 回の噴火とその災害. 第四紀研究, 27, p. 297–312.
- 早田 勉 (1996) 関東地方～東北地方南部の示標テフラの諸特徴－とくに御岳第 1 テフラより上位のテフラ について－. 名古屋大学加速器質量分析計業績報告書, 7, p. 256–267.
- 早田 勉 (2014) 渋川市有馬寺畠遺跡の土層とテフラ. 渋川市教育委員会編「有馬寺畠遺跡」, p. 197–211.

表1 五代伊勢宮跡におけるテフラ検出分析結果

地点	試料	蛭石・スコリア			火山ガラス			重晶石 (不透明な物以外)
		量	色調	最大径	量	形態	色調	
H-7号住居跡	7層	*	淡灰、白	3.0、2.0	**	pm (sp)	淡灰、淡褐色、褐、白、灰白	opx, cpx
H-7号住居跡	12層	*			**	pm (sp)	淡灰、淡褐色、褐、白、灰白	opx, cpx
H-8号住居跡	4層				**	pm (sp)	淡灰、淡褐色、褐、白、灰白	opx, cpx, (am)
H-8号住居跡	7層	(*)	白	2.2	**	md	淡灰、淡褐色、褐、白、灰白	opx, cpx, (am)
H-10号住居跡	9層	*	灰白	6.3、3.1	**	pm (sp)	淡灰、淡褐色、褐、白、灰白	opx, cpx
H-10号住居跡	11層	**	淡灰、灰白	4.0、2.1	***	pm (sp)	淡灰、淡褐色、褐、白、灰白	opx, cpx
H-11号住居跡	4層	*	灰白、淡灰	3.2、2.9	**	pm (sp)	淡灰、淡褐色、褐、白、灰白	opx, cpx, (am)
H-11号住居跡	10層	**	灰白、淡灰	6.1、2.4	***	pm (sp)	淡灰、淡褐色、褐、白、灰白	opx, cpx, (am)
D-17号土坑	1層	****	灰白	9.2	**	pm (sp)	灰白	opx, cpx
D-17号土坑	2層	*	白	4.3	*	pm (sp) · md	灰、無色透明	opx, cpx
D-17号土坑	4層	(*)	(灰) 白	2.1	*	pm (sp) · md	(灰) 白、灰、無色透明	opx, cpx

****：多くが多い、 ***：多い、 **：中程度、 *：少ない、 (*)：非常に少くない。

bw：バブル型、 md：中間型、 pm：軽石型、 sp：スボンジ状、 fb：繊維束状。

opx：斜方輝石、 cpx：单斜辉石、 am：角閃石。重晶石の()は、非常に量が少ないことを示す。

表2 屈折率測定結果

試料・テフラ	火山ガラス		文献
	屈折率 (n)	測定粒子数	
五代伊勢宮跡・H-11号住居跡・試料10	1.525-1.533	29	本報告
〈前橋市域周辺の後期更新世後半以降の指標テフラ〉			
浅間A (A s - A, 1783年)	1.507-1.512		1)
浅間船川 (A s - K k, 1108年)	未詳		2)
浅間B (A s - B, 1108年)	1.524-1.532		1)
榛名二ツ岳伊香保 (H r - F P, 6世紀中葉)	1.501-1.504		1)
榛名二ツ岳洪川 (H r - F A, 6世紀初頭)	1.500-1.502		1)
	1.498-1.505		3)
榛名有馬 (H r - A A, 5世紀)	1.500-1.502		4)
浅間C (A s - C, 3世紀後半)	1.514-1.520		1)
浅間D 軽石 (A s - D, 約4,500年前*1)	1.513-1.516		1)
鬼界アカホヤ (K - A h, 約7,300年前)	1.506-1.513		1)
浅間藤岡軽石 (A s - F o, 約8,200年前*1)	1.508-1.516		2)
浅間總社 (A s - S j, 約1.0~1.1万年前*1)	1.501-1.518		5)
浅間草津 (A s - K)	1.501-1.503		1)
浅間板鼻黃色 (A s - Y P, 約1.5~1.65万年前)	1.501-1.505		1)
浅間大塙沢2 (A s - O k 2, 約1.6万年前*1)	1.502-1.504		1)
浅間大塙沢1 (A s - O k 1, 約1.7万年前*1)	1.500-1.502		1)
浅間白糸 (A s - S r)	1.506-1.510		1)
浅間萩生 (A s - H g, 約1.9万年前*1)	1.500-1.502		2)
浅間板鼻褐色 (群) (A s - B P Group)	上部 : 1.515-1.520 中部 : 1.508-1.511 下部 : 1.505-1.515		1) 1) 1)
始良T n (A T, 約2.8~3万年前)	1.499-1.500		1)
榛名箱田 (H r - H A)	未詳		2)
赤城鹿沼 (A g - K P, 約4.5万年前以前)	1.504-1.508		1)
榛名八崎 (H r - H P, 約5万年前)	1.505-1.508		1)
赤城湯の口 (A g - U P)	未詳		1)

1) 町田・新井 (1992, 2003, 2011), 2) 早田 (1996), 3) 早田 (2014), 4) 町田ほか (1984), 5) 早田 (未公表).

本報告, 3)・5) 温度変化型屈折率法 (塙原, 1993), 1)・2)・4) 温度一定型屈折率測定法 (新井, 1972, 1993).

* 1 : 放射性炭素 (¹⁴C) 年代.

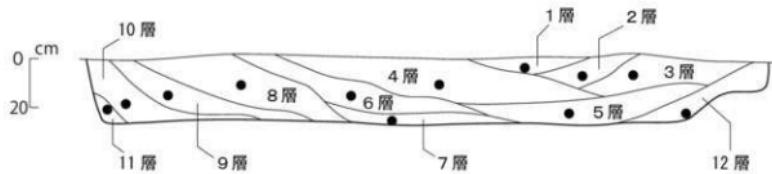


図1 H-7号住居跡覆土断面におけるテフラ分析試料の層位
●: テフラ分析試料の層位 試料採取: 発掘調査担当者による

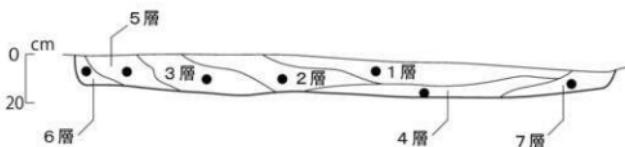


図2 H-8号住居跡覆土断面におけるテフラ分析試料の層位
●: テフラ分析試料の層位 試料採取: 発掘調査担当者による

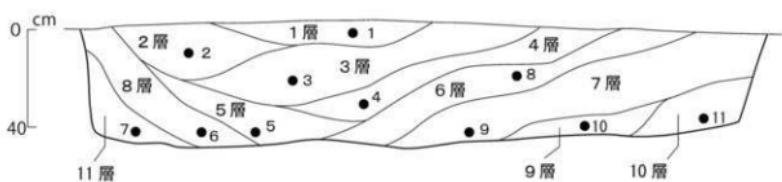


図3 H-10号住居跡覆土断面におけるテフラ分析試料の層位
●: テフラ分析試料の層位 数字: テフラ分析の試料番号

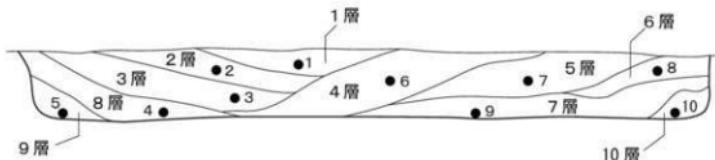


図4 H-11号住居跡覆土断面におけるテフラ分析試料の層位
●: テフラ分析試料の層位 数字: テフラ分析の試料番号

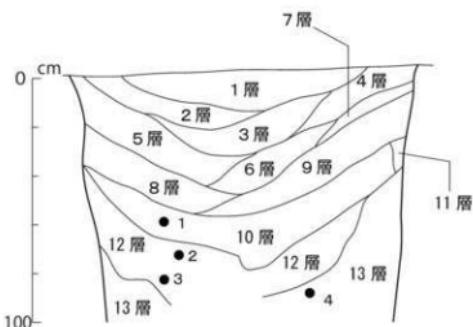


図4 D-17号土坑覆土断面におけるテフラ分析試料の層位
●: テフラ分析試料の層位 数字: テフラ分析の試料番号

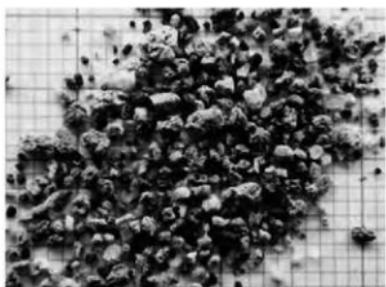


写真 1

H-11号住居跡・試料10 (A s - B混在)。
背後は1mmメッシュ。
淡灰色、淡褐色。褐色の軽石やスponジ状
軽石型ガラスが比較的多く含まれている。

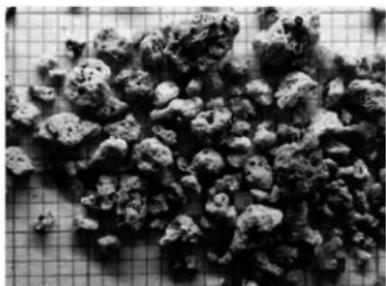


写真 2

D-17号土坑・試料1 (A s - C)
背後は1mmメッシュ。
よく発泡したわずかに灰色がかかった白色
の軽石やスponジ状軽石型ガラスがとくに
多く含まれている。

抄 錄

フリ ガ ナ	ゴダイイセミヤナナ・ハチイセキ
書 名	五代伊勢宮VII・VIII遺跡
副 書 名	五代南部工業団地（拡張）土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
卷 次	
シリーズ名	
シリーズ番号	
編 著 者 名	小峰 篤 春里桃子 日沖剛史
編 集 機 関	有限会社毛野考古学研究所 〒379-2146 群馬県前橋市公田町1002番地1 TEL 027-265-1804
発 行 機 関	前橋市教育委員会 〒371-0852 群馬県前橋市総社町3-11-4 TEL 027-280-6511
発行年月日	平成30年3月23日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		位置		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡	北緯	東経			
五代伊勢宮 VII・VIII遺跡	群馬県前橋市 五代町952-1他	10201	28C49 28C50	36° 24' 33"	139° 06' 35"	20160715 ～ 20170517	7,350 m ²	土地区画整理事業

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
五代伊勢宮 VII・VIII遺跡	集落跡	縄文時代前期・中期	住居跡3軒	縄文土器・石器	大胡火碎流堆積面の台地上における土地利用が捉えられた。
			土坑108基		
			性格不明遺構1基 ビット389基		
	集落城 墓域	古墳時代前期・後期・平安時代 平安時代	住居跡27軒 方形周溝墓3基 土坑27基	土師器・須恵器・土製品・鉄製品・石製品	
			掘立柱建物跡3棟 性格不明遺構1基 ビット75基		
	集落城 墓域	A.s - B降下以降	住居跡7軒 土坑40基 溝5条 性格不明遺構2基 ビット221基	軟質陶器・陶器・磁器・土製品・鉛製品・石製品・古銭・鉄滓	

写 真 図 版



五代伊勢宮VII遺跡南半全景



五代伊勢宮VII遺跡南半全景



五代伊勢宮VII遺跡南半全景



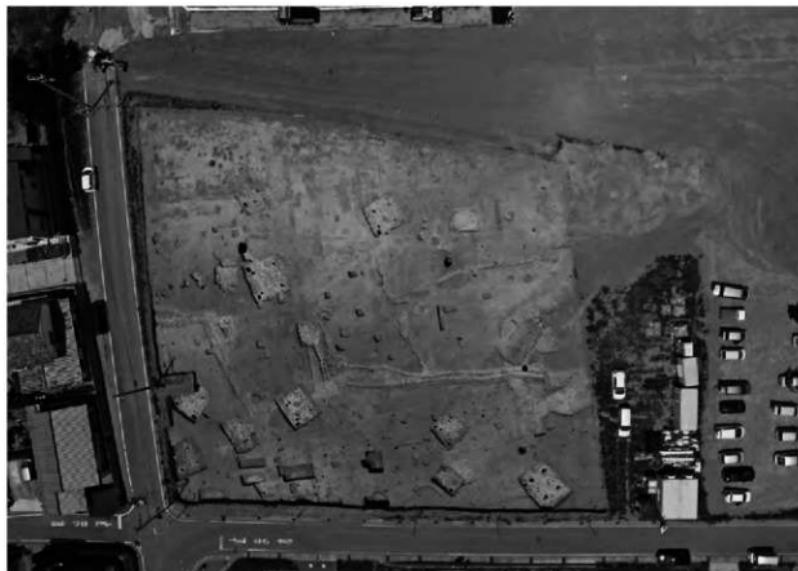
五代伊勢宮VII遺跡北半全景



五代伊勢宮遺跡全景（南から）



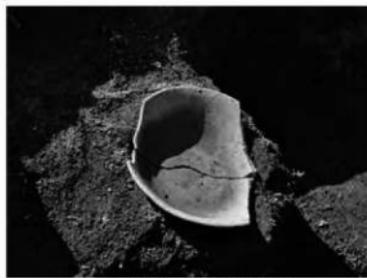
五代伊勢宮遺跡全景



五代伊勢宮跡全景



H-1号住居跡全景



H-1号住居跡遺物出土状況



H-1号住居跡カマド全景



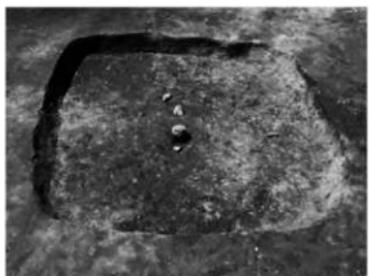
H-2号住居跡全景



H-2号住居跡遺物出土状況



H-2号住居跡カマド全景



H-3号住居跡全景



H-4a号住居跡遺物出土状況



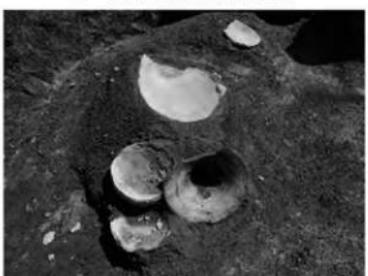
H-4a号住居跡土層断面



H-4a号住居跡遺物出土状況



H-4a号住居跡遺物出土状況



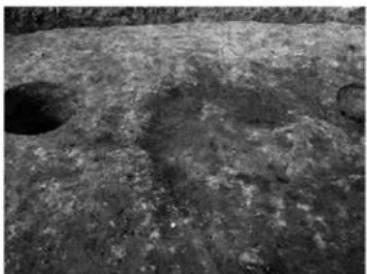
H-4a号住居跡遺物出土状況



H-4 a号住居跡遺物出土状況



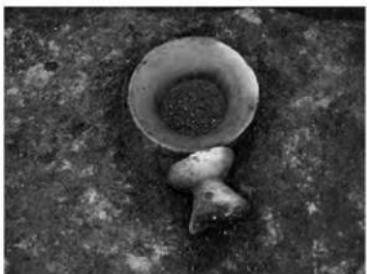
H-4 a号住居跡全景



H-4 a号住居跡炉跡全景



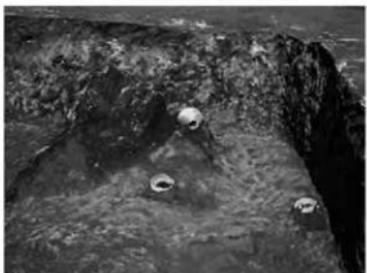
H-4 b号住居跡全景



H-4 b号住居跡遺物出土状況



H-5号住居跡全景



H-5号住居跡遺物出土状況



H-5号住居跡遺物出土状況



H-5号住居跡遺物出土状況



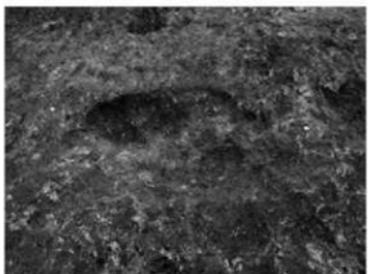
H-5号住居跡遺物出土状況



H-5号住居跡全景



H-5号住居跡土層断面



H-5号住居跡炉跡全景



H-6号住居跡全景



H-6号住居跡遺物出土状況



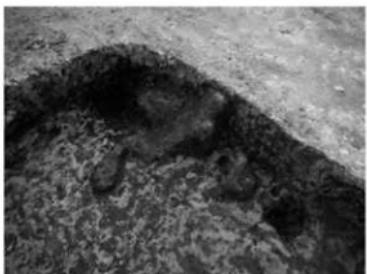
H-6号住居跡炉跡全景



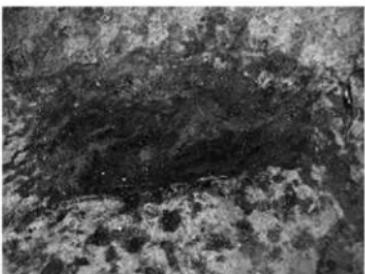
H-7号住居跡全景



H-7号住居跡粘土出土状況



H-7号住居跡粘土・炭化物出土状況



H-7号住居跡炭化物・灰出土状況



H-8号住居跡全景



H-8号住居跡カマド全景



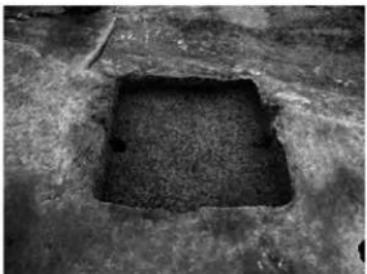
H-8号住居跡カマド土層断面



H-9号住居跡全景



H-9号住居跡P3発出土状況



H-10号住居跡全景



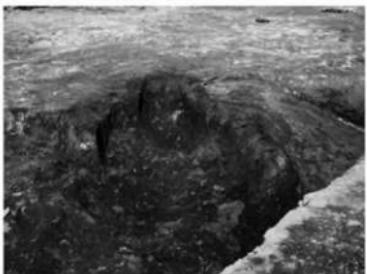
H-11号住居跡全景



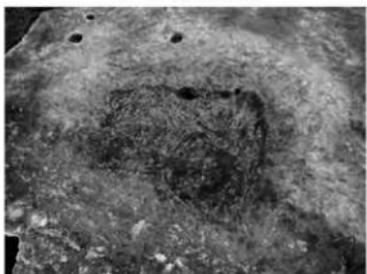
H-11号住居跡カマド全景



H-12号住居跡全景



H-12号住居跡カマド全景



H-13号住居跡全景



H-14号住居跡全景



H-14号住居跡カマド全景



H-14号住居跡カマド遺物出土状況



H-14号住居跡遺物出土状況



H-15号住居跡全景



H-15号住居跡P1磐出土状況



H-16号住居跡全景



H-16号住居跡遺物出土状況



H-16号住居跡カマド遺物出土状況



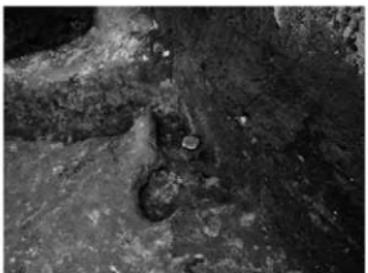
H-16号住居跡カマド全景



H-17号住居跡全景



H-17号住居跡遺物出土状況



H-17号住居跡新カマド全景



H-17号住居跡旧カマド全景



H-17号住居跡旧カマド煙道近景



H-18号住居跡全景



H-18号住居跡カマド全景



H-19号住居跡全景



H-19号住居跡遺物出土状況



H-19号住居跡カマド全景



H-20号住居跡全景



H-21号住居跡全景



H-22号住居跡全景



H-22号住居跡遺物出土状況



H-22号住居跡遺物出土状況



H-22号住居跡カマド全景



H-22号住居跡カマド遺物出土状況



H-23号住居跡全景



H-23号住居跡遺物出土状況



H-23号住居跡遺物出土状況



H-23号住居跡遺物出土状況



H-24号住居跡全景



H-24号住居跡遺物出土状況



H-24号住居跡遺物出土状況



H-24号住居跡遺物出土状況



H-24号住居跡新カマド全景



H-24号住居跡旧カマド全景



H-25号住居跡全景



H-25号住居跡遺物出土状況



H-25号住居跡カマド全景



H-26号住居跡全景



H-26号住居跡遺物出土状況



H-26号住居跡遺物出土状況



H-26号住居跡カマド全景



H-27号住居跡全景



H-27号住居跡炉跡全景



H-28号住居跡全景



H-29号住居跡全景



H-29号住居跡遺物出土状況



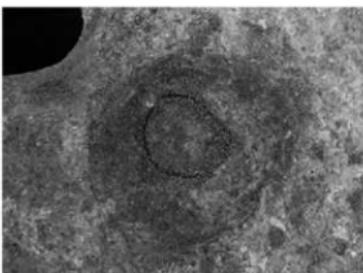
H-29号住居跡P1柱痕アタリ検出状況



H-29号住居跡貯藏穴・柱穴検出状況



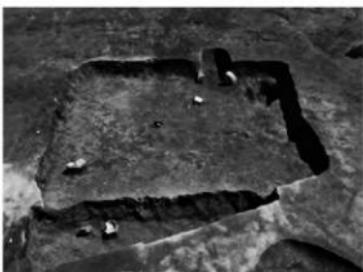
H-29号住居跡柱穴(P4)内遺物出土状況



H-29号住居跡P4柱痕確認状況



H-29号住居跡柱穴(P4)内遺物取り上げ状況



H-30号住居跡全景



H-30号住居跡遺物出土状況



H-30号住居跡カマド全景



H-31号住居跡全景



H-32号住居跡全景



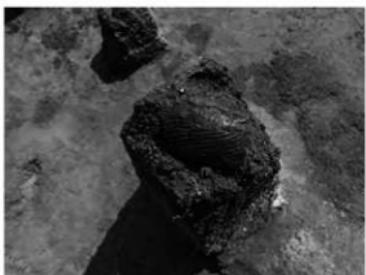
H-33号住居跡全景



H-33号住居跡カマド全景



J-1号住居跡全景



J-1号住居跡遺物出土状況



J-1号住居跡遺物出土状況



J-1号住居跡遺物出土状況



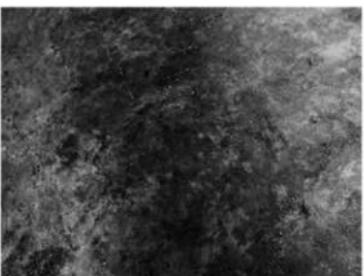
J-2号住居跡全景



J-2号住居跡遺物出土狀況



J-2号住居跡遺物出土狀況



J-2号住居跡爐跡全景



J-3号住居跡全景



J-3号住居跡全景



C-1号方形周溝墓全景



C-1号方形周溝墓遺物出土狀況



C-1号方形周溝墓全景



C-1号方形周溝墓遺物出土狀況



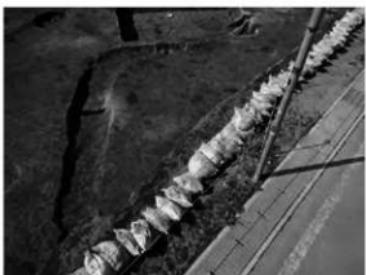
C-2号方形周溝墓全景



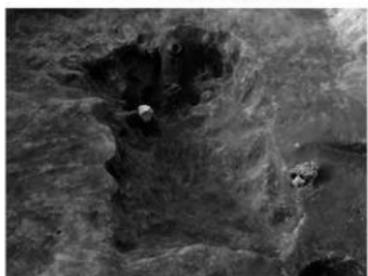
C-2号方形周溝墓全景



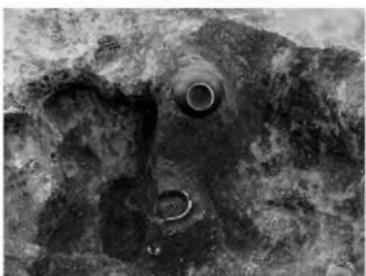
C-2号方形周溝墓遺物出土狀況



C-3号方形周溝墓全景



D-1号土坑全景



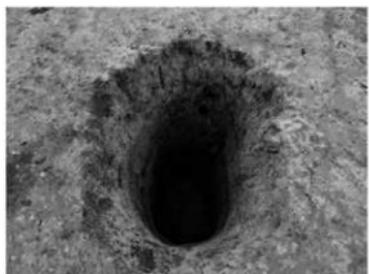
D-1号土坑遺物出土狀況



D-10号土坑土层断面



D-10号土坑A-s-C堆积状况



D-10号土坑全景



D-13号土坑土层断面



D-13号土坑全景



D-17号土坑土层断面



D-17号土坑全景



D-38号土坑全景



D-38号土坑土层断面



D-38号土坑遗物出土状况



D-39号土坑全景



D-39号土坑土层断面



D-46号土坑土层断面



D-46号土坑全景



D-50号土坑全景



D-50号土坑遗物出土状况



J D - 33 号土坑全景



J D - 33 号土坑遗物出土状况



J D - 33 号土坑遗物出土状况



J D - 62 号土坑遗物出土状况



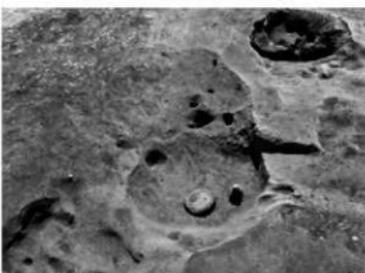
J D - 81 号土坑全景



J D - 81 号土坑遗物出土状况



J D - 81 号土坑遗物出土状况



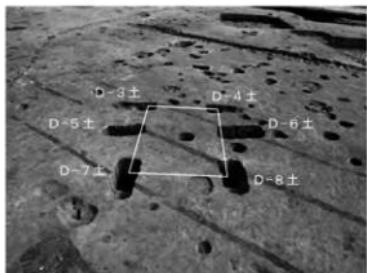
J D - 84 号土坑遗物出土状况



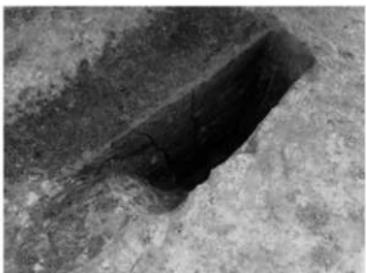
J D - 98 号土坑遺物出土狀況



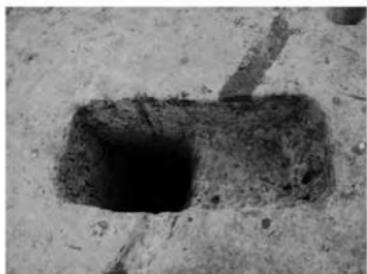
B - 1 号掘立柱建物跡全景



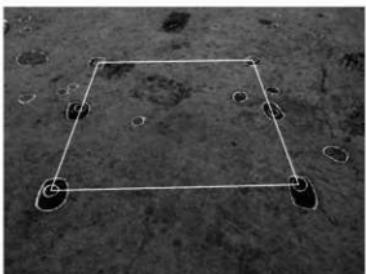
B - 1 号掘立柱建物跡全景



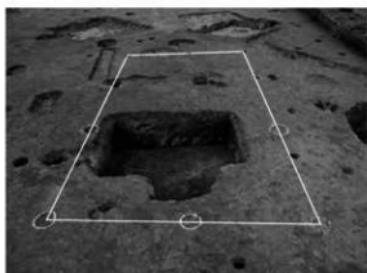
B - 1 号掘立柱建物跡 D - 3 号土坑土層斷面



B - 1 号掘立柱建物跡 D - 7 号土坑全景



B - 2 号掘立柱建物跡全景



B - 3 号掘立柱建物跡全景



W - 1 号溝全景



W-1号溝全景



W-4号溝全景



W-5号溝全景



W-6号溝全景



SX-1号性格不明遺構全景



SX-2号性格不明遺構全景



SX-3号性格不明遺構全景

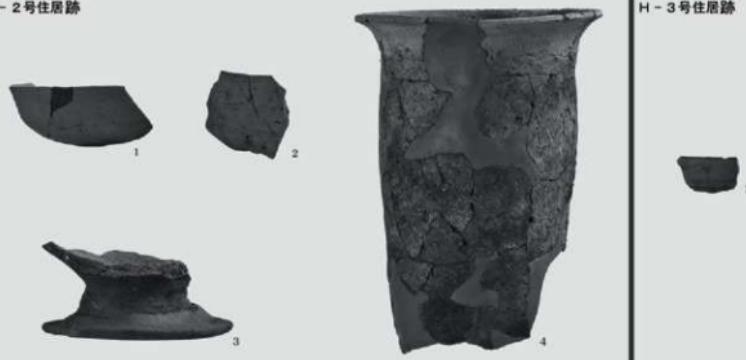


SX-4号性格不明遺構全景

H - 1号住居跡



H - 2号住居跡



H - 3号住居跡



H - 4a号住居跡



出土遺物①

H - 4a 号住居跡



H - 4b 号住居跡



H - 5 号住居跡



出土遺物②

H - 5号住居跡



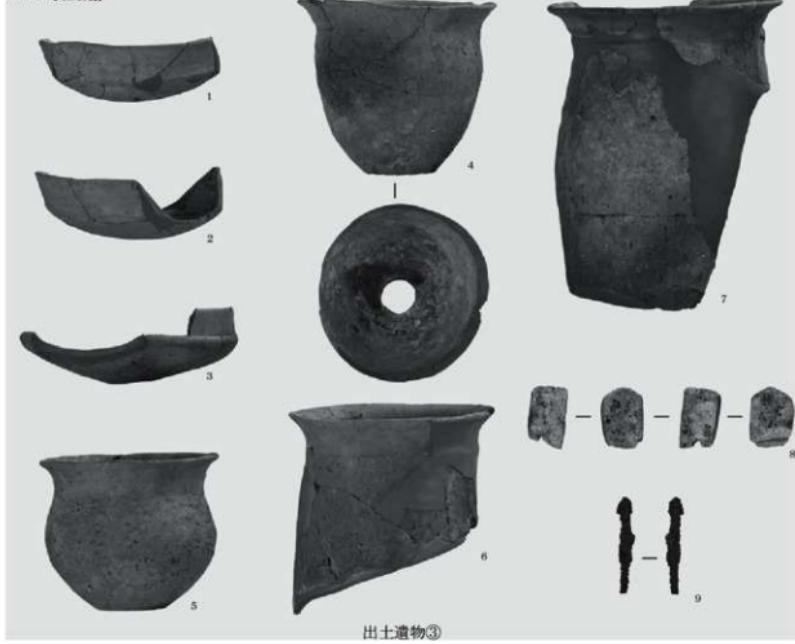
H - 6号住居跡



H - 12号住居跡

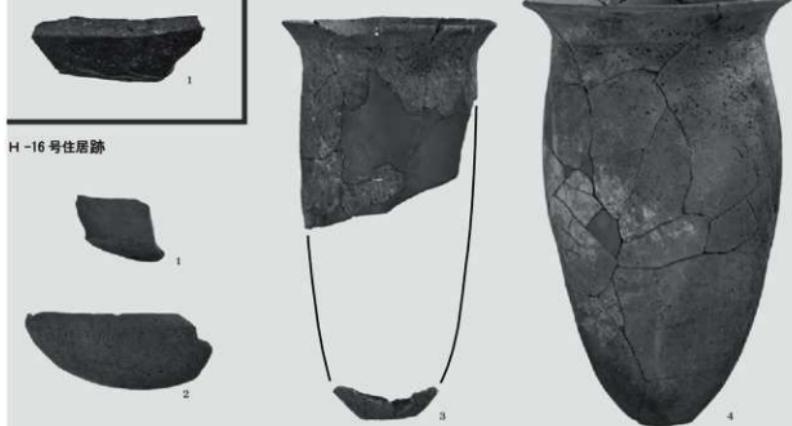


H - 14号住居跡



出土遺物③

H -15号住居跡



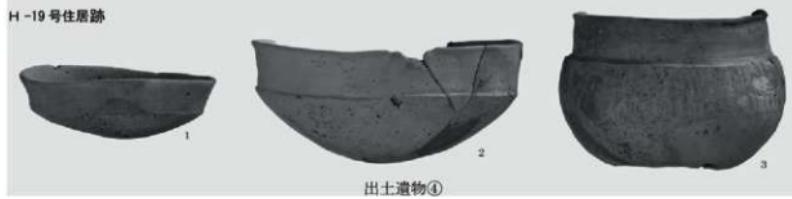
H -16号住居跡



H -18号住居跡



H -19号住居跡



出土遺物④

H -19 号住居跡



出土遺物⑤



20



H -19号住居跡



H -22号住居跡



出土遺物⑦

H-23号住居跡



H-24号住居跡



出土遺物⑧

H-24号住居跡



7



8



11



9



12



13



10



14

出土遺物⑤

H -25 号住居跡



H -26 号住居跡



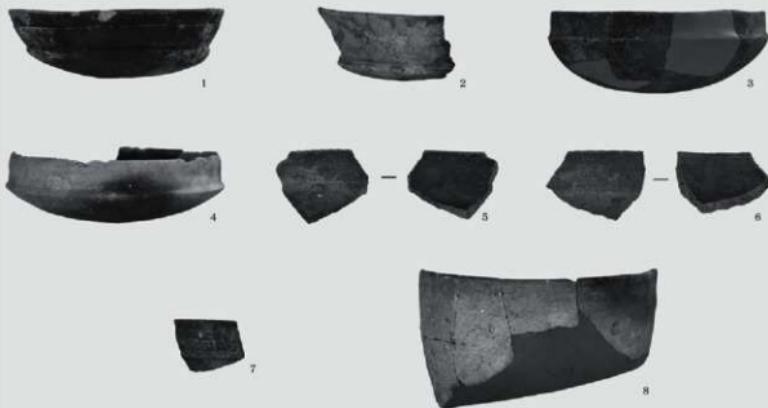
H -27 号住居跡



H -28 号住居跡



H -29 号住居跡



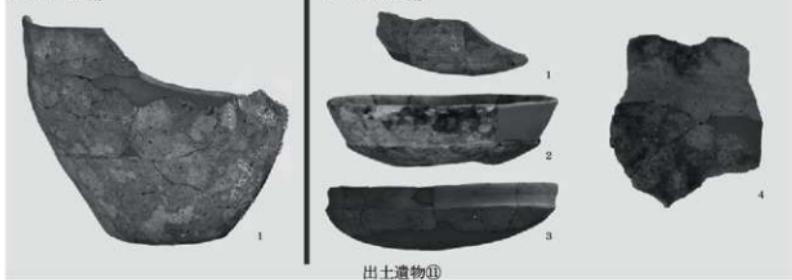
H -29 号住居跡



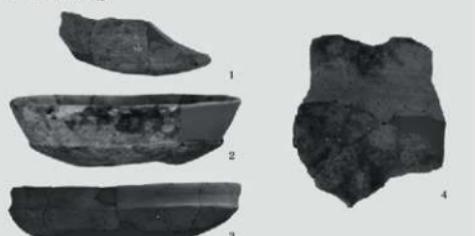
H -30 号住居跡



H -31 号住居跡

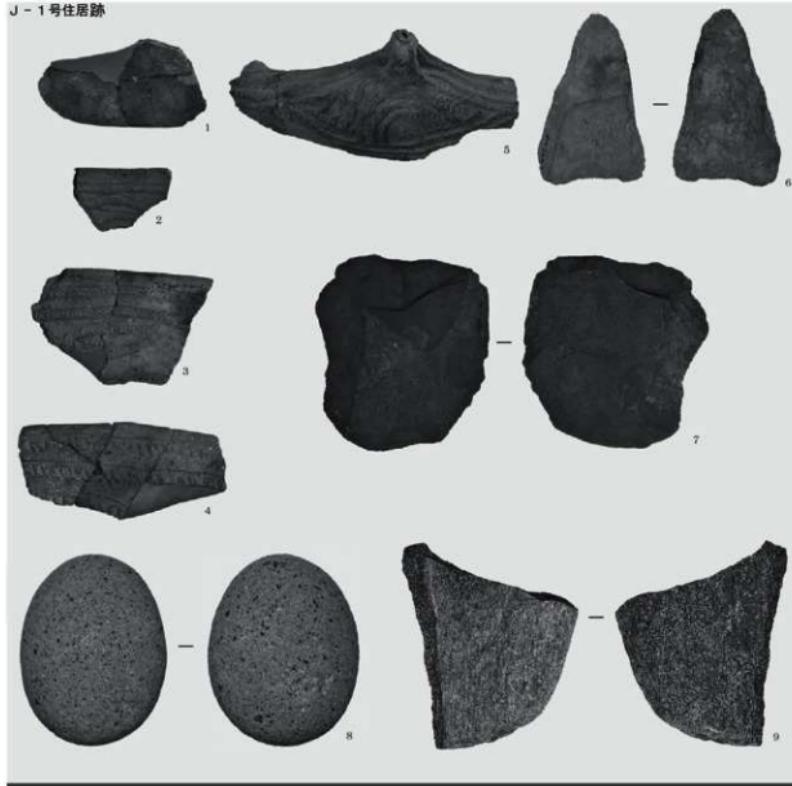


H -33 号住居跡

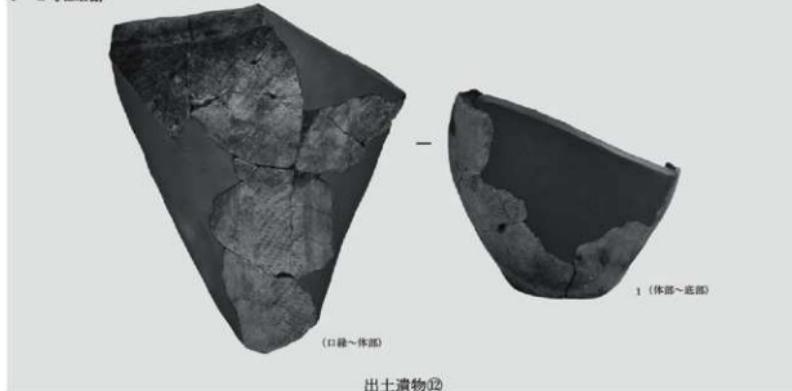


出土遺物⑪

J - 1号住居跡



J - 2号住居跡



出土遺物⑫

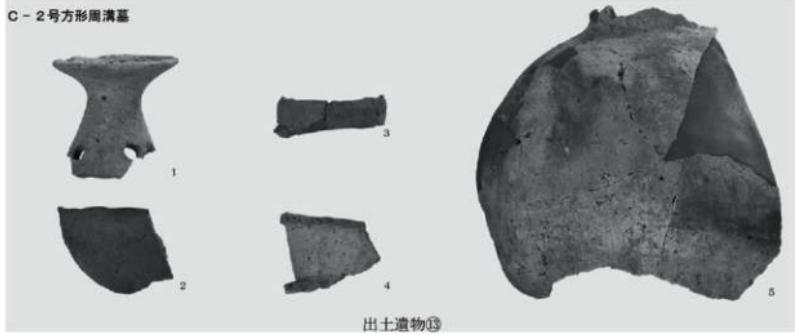
J - 3号住居跡



C - 1号方形周溝墓



C - 2号方形周溝墓



出土遺物⑩

D -22 号土坑



D -27 号土坑



D -38 号住居跡



D -43 号住居跡



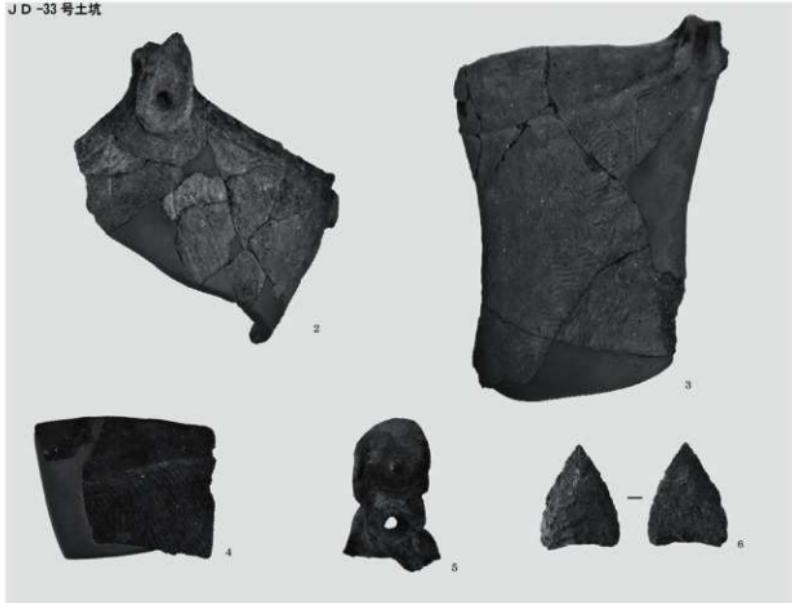
D -50 号住居跡



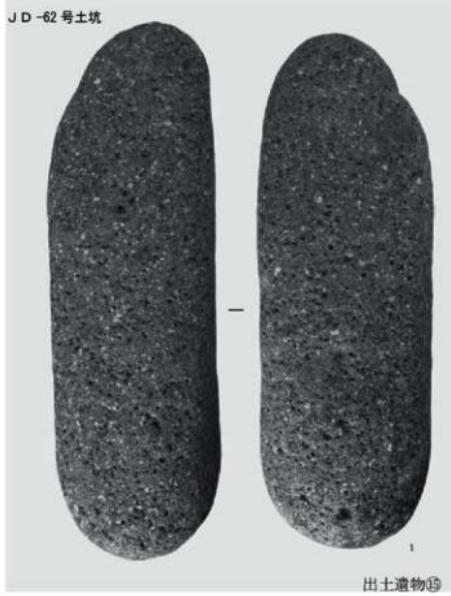
D -59 号住居跡



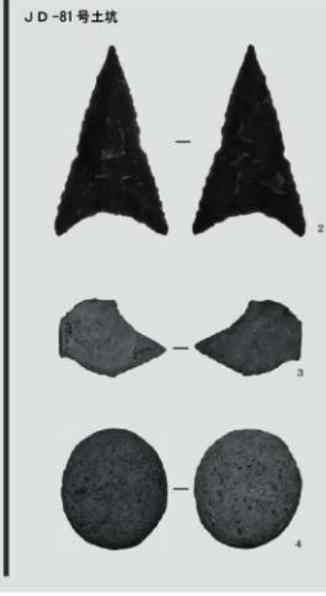
J D -33 号土坑



J D -62 号土坑



J D -81 号土坑

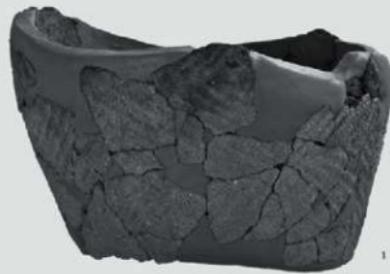


出土遗物⑬

JD -81 号土坑



JD -98 号土坑



JD -84 号土坑



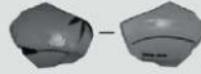
JD -82 号土坑



JD -100 号土坑



W - 1号 满

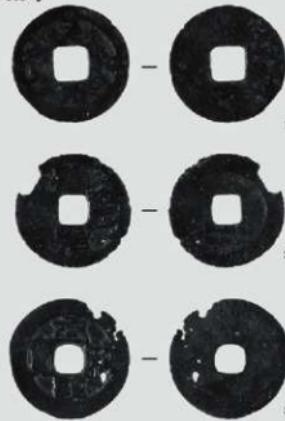


W - 3号 满

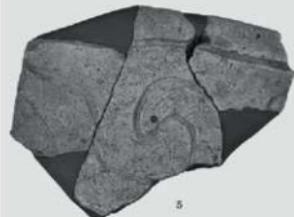


出土遗物⑩

P-508 号



造模外出土遗物



出土遗物⑩



五代伊勢宮VII・VIII遺跡

五代南部工業団地（拡張）土地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

平成 30 年 3 月 16 日印刷

平成 30 年 3 月 23 日発行

編集／有限会社毛野考古学研究所

発行／前橋市教育委員会

印刷／朝日印刷工業株式会社
